

栄村域所在古文書目録

長 野 県

栄村教育委員会

目録刊行にあたって

令和4年2月に発刊された栄村誌歴史編に活用された文書を中心に、このたび12,115点を超える文書目録が完成しました。この背景には大切な古文書をご寄贈・ご寄託いただいた村内外の皆様のご厚意をはじめ、村誌編纂に関わっていただいた編纂委員の皆さんのご尽力があつての賜と心より御礼申し上げます。

この目録に収録されている文書には、村民に脈々と受け継がれてきた歴史とともに、人々の日々の営みや国の流れに関わる村の動きなども克明に記録されています。村で何があり、何が行われていたのか、どんな思いで生活を紡ぎ、乗り越えてきたのかなど、我々村民のルーツを知る上で、大変貴重な文書群でもあります。

これらの文書群を抛り所にしながら栄村誌は発刊されましたが、その足がかりとなったこの目録を最大限活用いただき、現物にも触れながら当時の人々の息づかいを感じていただければと切に思います。劣化の激しいものもあり、扱いには細心の注意が必要なものもありますが、この村の歩みを明らかにする宝のような文書に実際に触れ、村や各地区の今後の励みとしてほしいと願っております。

目録作成にあたり、村誌編纂室の樋口和雄氏、保坂順一氏をはじめ、古文書整理を行っていただいた関口武雄氏、芳川伊吹氏、大月公男氏、齋藤正人氏、市川憲一氏に心より御礼を申し上げます。また、村誌編纂以前から当村において史料の保存・整理・目録とりを行っていただいていた白水智氏、鈴木努氏をはじめ地域史料保全有志の会の皆様方には多大なるご尽力をいただき、今回の目録発刊につながっていることにも感謝申し上げます。

今回の目録が多く研修・研究の機会に利用され、さらに栄村の歴史に興味を持っていただくとともに、歴史の事実をさらに深く掘り下げていただく一助となることをご期待申し上げ、発刊のご挨拶といたします。

令和5年3月 栄村教育委員会
教育長 下 育郎

【凡 例】

- 1 本目録には、個人宅から栄村が寄贈または寄託を受けた古文書を掲載した。
- 2 文書名は文書の寄贈者または寄託者の意思にもとづいて名付けた。
- 3 本目録掲載の順番は栄村役場で採用している地区順に依った。
- 4 村が文書を受け入れた際、過去に附番されていたものがあつたため、文書の附番に統一した基準を設けられなかつた。したがつて、原秩序を基準にしたもの、内容別に分類したもの、年代順に並べたもの、無作為に並べたものがある。
- 5 文書を収納した袋には番号を記したが、原文書にはラベル番号などは附してない。ただし、島田汎家文書は過去に添付されたラベルをそのまま残した。
- 6 それぞれの文書については、本目録の前段に簡単な概要を記した。
- 7 本目録とは別に電子データ目録も作成したので、そちらの活用も可能である。
- 8 本目録の編集は栄村誌発刊後の令和4年度に、会計年度任用職員の樋口和雄と市川憲一がおこなつた。1～12頁は樋口が執筆し、13頁以降のデータ入力は市川が担当した。
- 9 本目録に掲載した文書は、「栄村歴史文化館こらっせ」の文書室で保管している。
- 10 本目録に掲載した文書の閲覧や利用については、教育委員会が別途定めている。

なお、本目録には栄村域では最多点数の廣瀬博明家文書（森地区）を収録していない。膨大な点数であるため整理作業が途中で、完了までにこの先数年は要すると思われる。

一 栄村域の地誌、歴史的環境

栄村は長野県の最北端に位置する。広大な面積を有しているが、その92.8%を山林原野が占めている。北部を千曲川が東西に横断し、志久見川・中津川が南北を縦断して流れ、これらの川の沿岸平坦部に集落を形成している。南部は烏甲山、苗場山を中心に2,000m級の山々が連なる山岳地帯で、全国でも有数の豪雪地として知られている。昭和20年2月12日に、観測史上最高の7m85cmを記録した。

栄村は現在、いくつもの市町村と接している。南方の秋山方面は山ノ内町や木島平村、あるいは野反湖のある群馬県中之条町、西方は野沢温泉村や飯山市、北方は野々海峠を越えると上越市、深坂峠を越えると十日町市、東方は津南町といった具合である。千曲川沿いの往環道は勿論、峠越えの山道も周辺地域との交易には重要な役割を果たしてきた。千曲川の渡舟や通船の存在、飯山鉄道開通の恩恵も見逃せない。

栄村域内には旧石器時代や縄文時代の遺跡が確認されており、出土遺物も豊富に残っている。鎌倉時代から戦国末期まで志久見郷（通称「市川谷」）を統治した豪族市河氏のゆかりの地として知られる。仙当城・城坂城といった規模の大きな山城跡も現存し、近年は訪れる人が多い。箕作地区の常慶院は信越界の古刹として知られ、その周辺は城下町的な町場であったとも推測されている。

市河氏が伝えた市河文書(149点)は山形県酒田市の本間美術館が所有し重要文化財に指定されている。同じく市河家文書(91点)は山梨県立博物館が所有し山梨県の文化財に指定されている。どちらも栄村の歴史解明にとって欠かせない一級史料である。市河氏に関する古文書は残念ながら栄村内には残っておらず、栄村域所在では江戸時代初期の慶長年間の古文書が最古である。

栄村域内には鷹が巣をかける巣鷹場(山)があったことは、鎌倉時代から知られていた。戦国大名の武田氏や上杉氏に鷹のヒナを献上したとも伝わる。千曲川を遡上した鮭が村域内の支流でも捕獲でき、村人はその漁業権を得ていた。秋山の奥地では鉱石の採掘がおこなわれたことがあり、所々で温泉が湧き出していた。村域内の山間地では焼畑耕作(カンノ)が多く見られ、粟・稗・蕎麦などが栽培された。山菜・蠟実・青苧などの採集、林野資源を活用した炭焼きや木工細工もさかんだった。

二 江戸時代における栄村域の村

江戸時代には、森・青倉・平滝・白鳥の水内郡4か村と志久見・箕作の高井郡2か村とがあった。現在の横倉地区は青倉村に含まれていた。志久見村には柳在家・切欠・雪坪・塩尻・仁手野・坪野・野口・堀切・暮坪といった枝村が、箕作村には月岡・小滝・野田沢・大久保・天代・泉平・中野・北野・当部・笹原・長瀬・秋山といった枝村があった。

江戸時代後期の各村の家数と人口は次の通りである（出典『栄村史水内編』・『栄村史堺編』）。

村	家数(戸)	人口(人)
森	59 (天保11年〈1840〉)	253
青倉	103 (天保11年〈1840〉)	453
平滝	78 (嘉永6年〈1853〉)	329
白鳥	83 (弘化5年〈1848〉)	369
志久見	199 (天保9年〈1838〉)	831
箕作	322 (弘化4年〈1847〉)	1,591

江戸時代後期における栄村域の家数は約850軒、人口は約3,800人であった。慶長7年(1602)の「信州川中島四郡検地打立之帳」および正保4年(1647)と天保5年(1834)の「郷村帳」によれば、各村の村高

は以下の通りである。なお、単位は(石)で、石以下は端数切捨て(出典『新編信濃史料叢書』第11巻、『長野県史近世史料編』第9巻)。

村	慶長7年	正保4年	天保5年
森	99 (石)	101 (石)	178 (石)
青倉	139	140	268
平滝	112	114	188
白鳥	151	156	200
志久見	245	256	432
箕作	252	274	567

正保4年から天保5年までの約200年間に、新田の開発が進んで村高はほぼ倍増した。栄村域6か村の中では、箕作村が村高・戸数・人数のいずれも最多であった。

三 江戸時代の領主支配

江戸時代の初期、慶長8年(1603)から同15年までは、どの村も海津(松代)城主松平忠輝領であった。忠輝は家臣の皆川広照を飯山城に置き、水内郡と高井郡の北部4万石を治めさせた。ついで慶長15年から元和2年(1616)までは堀直寄が飯山に入封した。元和2年から享保2年(1717)までの間は、水内郡の白鳥・平滝・青倉・森の各村は一貫して飯山領であったが、高井郡の志久見・箕作の両村は、私領(中村藩領・飯山藩領)と幕府領とを繰り返した。具体的には次のようであった。

元和2年に堀直寄が飯山を去った時、水内郡の村々は飯山に入った佐久間氏が治め、高井郡の村々は木島平の中村に陣屋を構えた岩城氏が治めた。岩城氏の支配期間はわずかで、元和9年からは志久見・箕作の両村は幕府領となった。一方、水内郡の4か村を治めていた佐久間氏が寛永16年(1639)に改易となったため、飯山には松平忠俱が入封し、以来、松平氏の治世が67年間もつづいた。松平氏の飯山入封を契機に、高井郡の志久見村と箕作村も松平領になったことで、栄村域はすべて飯山松平領になった。

ところが、宝永3年(1706)、松平氏が遠州掛川へ移封となった時、水内郡の4か村は飯山永井領とされたが、高井郡の2か村は木島平の中村に陣屋を置いた幕府代官窪島氏の管轄下(幕府領)に入った。正徳元年(1711)、永井氏にかわって青山氏が飯山に入封した時、幕府領だった志久見・箕作の両村はまたしても飯山領に編入された。こうして再び栄村域はすべて飯山領になった。

享保2年、青山氏にかわって本多氏が糸魚川から飯山へ入封したのを契機に、こんどは栄村域のすべての村々が幕府領になった。その後は、維新时期の慶応3年(1867)までの150年間は幕府領であった。ただし、管轄の支配陣屋は何度も変わった。おもには中野陣屋(中野市)の管轄下であったが、越後の新井(妙高市)・脇野町(長岡市)・川浦(上越市)や信濃の中之条(坂城町)といった陣屋の管轄下に置かれた。そうした中であって、最北端の森村だけは150年間ほぼ一貫して中野陣屋の管轄下のままだった。

領主支配の詳細は、令和4年刊行の『長野県栄村誌歴史編』に記されている。

四 明治時代以降の栄村

慶応4年(1868)9月、旧幕府領のすべてが伊那県(飯島県庁)に編入された。明治3年(1870)9月には、伊那県中野局が東北信の14万石余を管轄とする中野県として独立した。栄村域は中野県の管轄下に置かれた。しかし、中野県庁(旧中野陣屋)が明治3年の12月に勃発した中野騒動で焼失したため、翌4年7月には県庁

が長野へ移り長野県となった。同年 11 月には、飯山・須坂・松代など旧私領の東北信諸県が長野県へ編入された。地租改正・学制・徴兵制などの新規施策は長野県政のもとで推し進められた。東北信地方を管轄下とした長野県と中南信地方を管轄下とした筑摩県とが合県して長野県が誕生したのは、明治 9 年 8 月のことである。

明治初期の全国的な町村合併の動きの中で、明治 8 年 6 月、高井郡の箕作村と志久見村が合併して堺村が誕生した。水内郡の白鳥・平滝・青倉・森の 4 か村でも合併の動きが起こり、明治 9 年 7 月に豊栄村(白鳥・平滝)と北信村(青倉・森)が誕生した。

明治 21 年に市制・町村制が公布されたことにより、翌年には豊栄村と北信村が合併して水内村となった。それ以降の栄村域は、下水内郡の水内村と下高井郡の堺村が昭和 31 年まで併存した。昭和 28 年(1953)に合併促進法が制定されたことをうけて、水内村と堺村の協議が重ねられた末、促進法の期限である 31 年 9 月 30 日に合併して下水内郡栄村が誕生した。合併当時の人口は、堺村が 5,641 人(862 戸)、水内村が 2,331 人(432 戸)だった。

五 古文書の所在確認と目録作成

村誌編纂室では、長野県史刊行会によって昭和 40 年代に実施された古文書調査のリストをもとに、あらためて栄村域内の所在確認をおこなった。その際、昭和 50 年度に刊行された『長野県史近世史料編第八卷北信地方(一)(二)』の古文書所蔵者名も参考にした。家の新築や増改築によって古文書が廃棄されてはいないか、平成 23 年(2011)3 月の長野県北部地震で失われてはいないかなど、残存状態等が危惧されたが、思いのほか散逸は少なかった。

村誌編纂にあたって、古文書の提供を呼び掛けたところ、村外在住の方も含めて予定した方全員にご協力いただいた。しかも古文書を村へ寄贈または寄託していただけたため、今後は散逸する心配がなくなった。収集できた古文書を村誌の執筆に活かすために、早急に目録の作成に取り組む必要があった。古文書に造詣の深い会計年度任用職員 5 人の方に目録作成への協力をお願いした。こうして栄村域に残る古文書の全容が見えてきた。森の廣瀬博明家(5,000 点以上)・箕作の島田汎家(約 5,000 点)・長瀬の齋藤励二家(約 3,100 点)、青倉の島田亨家(約 1,100 点)、この 4 家の点数が特に多いことも判明した。

廣瀬博明家文書は編纂開始前に地域史料保全有志の会(代表 中央学院大学教授白水智氏)によって、整理と目録作成が進められていた。コト禍の影響もあって整理が途中で、目録は未完成であるため、本目録には掲載してない(別途に途中までの目録冊子はある)。島田汎家文書は自宅で大事に保管されていたが、編纂開始時に「こらっせ」へ移管した。また、月岡の市川和雄家文書と大巻の南雲誠家文書は、平成 9 年に長野県立歴史館に寄託されており、歴史館で閲覧できる状態になっている。

編纂時に調査はしたが本目録に掲載しなかった史料群について、以下に附記しておく。

秋山屋敷の山田寿章家には、同家の清蔵が明治、大正時代に毎年記録した「農業日誌」が何冊もある。これらは当面、山田家で保存していただくこととした。小赤沢の黒駒太子堂に保存されていた黒駒太子・孝養太子など 13 の掛軸は、阿部宗由家から寄託を受け村の「こらっせ」へ移管した。借用した白鳥・平滝・森・志久見の区有文書は、その一部を目録化した但文書は区へ返却した。青倉の区有文書は、平成 29 年に青倉区有文書調査団によって『青倉区有文書調査報告書』(文書目録)が発行されている(平成 28 年度栄村ふるさと復興支援事業)。

六 目録掲載古文書の概要・解題

1 月岡 哲家文書(白鳥)

総点数は 248 点である。江戸時代から明治時代にかけての妙高山信仰に関する文書が特徴といえる。先達月岡三之助が記した寛政 6 年(1794)の「妙高山御唱」と文政元年(1818)の「妙高入峰記」が興味深い。月岡家からは法螺貝や先達旗も提供されたが返却した。

元禄 12 年(1699)の「越後糸魚川宗門人別帳」、文化 9 年(1812)「飯山藩士宗門人別帳」、天保 15 年(1844)「飯山藩士家内人数書上帳」など、飯山藩本多家関係の文書が見える。「初登山手習教訓書」など手習い手本が数種類ある。慶応 2 年(1866)の「御買物之通帳」には当時の日用品が、明治 9 年(1876)の「作手間帳」で一年の農作業の様子がわかる。

【平成 30 年 9 月 長野市 月岡哲氏寄贈】

2 半藤源太郎家文書 (白鳥)

総点数は 139 点である。幕末から明治にかけての金子借用証文の類が多い。天保 4 年(1833)の「白鳥村絵図」(73 番)は、彩色が美しく小字名が書き込まれているため、その写真は『栄村誌歴史編』の第 3 章扉に載っている。脇野町陣屋の鈴木半十郎代官に提出した絵図とみられる。嘉永 7 年(1854)の品川沖台場の石積みに関係した「石積渡世人」の報告がある(44 番)。異国船が渡来するようになったため、幕府は品川沖に台場(砲台場)を設置するため、中野幕府領の村々から石積職人を出府させて、建設に当たらせた。その期間は一月とわずかではあったが、栄村域からは平滝村の 4 人が赴いた。野沢温泉村域からは多数の石工が動員されたことが知られている。

寛政から天保期の北国脇往還道・橋の普請出来形帳が何冊かある(91 番ほか)。谷街道西通りの調査には見逃せない史料である。白鳥村関係のものとしては弘化 2 年(1845)の「十王堂普請奉加帳」(87 番)や明治初期の高久山神社関係の文書がある。幕末期の幕府への上納金や博奕事件に関する文書も興味深い。

【平成 30 年 7 月 白鳥 半藤源太郎氏寄贈】

3 小林弘毅家文書(白鳥)

2 巻の「小林家系図」である。皇極、孝徳天王(マ)から始まるものと、朱雀、一條、六條、伏見天王から始まるものがある。江戸時代までの神主家(高久山神社)としての記載がある。

【平成 30 年 9 月 長野市 小林弘毅氏寄贈】

4 油科福夫家文書(平滝)

安永 7 年(1778)の「平滝村絵図」(縦 130 cm、横 220 cm)1 点である。安永の新田検地に併せて作成された絵図で、写真は『栄村誌歴史編』の口絵に載っている。民家が描かれているほか、秋葉山・稲荷大明神・光厳寺・諏方大明神・若宮八幡宮・十二大明神などの寺社や小堂も描かれている。

【平成 30 年 5 月 須坂市 油科福夫氏寄贈】

5 山岸克己家文書(横倉)

横倉村の島田要右衛門が記した天保 2 年(1831)の「納経帳」1 点である。善光寺の参拝を済ませてから西国の札所巡りに赴いている。遠方への巡礼・物見遊山に赴く際には、まず善光寺へ立ち寄って旅の無事

を祈願し、無事に帰ると帰宅する前にお礼参りとして参拝するのが通例だった。

【平成 29 年 10 月 横倉 山岸克己夫氏寄贈】

6 島田 亨家文書（青倉）

総点数は 1,100 点余のものぼる。青倉の「酒屋」(屋号)に伝わった文書群である。当主の島田亨氏亡きあと、島田家から長野市の米持家に嫁いだ妹の稲実氏が文書を引き継いだ。稲実氏が令和元年(2019)9 月に他界されたため、文書名は父亨氏の名前を用いた。古文書の寄贈は平成 30 年(2018)と令和元年の 2 度に分けておこなわれた。文書の多くは茶箱に収まっていた。

慶長 14 年(1609)の飯山城代皆川広照時代の文書を最古とする。その暫く後、飯山藩主堀丹後守直寄が青倉村の肝煎に宛てた書状(初鮭を所望する文書、正確な年次は不詳)がある。亨氏が東大卒であったことから、亨氏は皆川広照時代の文書と堀直寄書状の解説を、東京帝大元教授で国史研究者の平泉澄氏に依頼した。2 点の文書はその翻刻文と一緒に、専用の文書箱に入れて他の文書とは別扱いしてある。文書の写真は『栄村誌歴史編』の口絵に載っている。

島田亨家は青倉村の庄屋・名主を務め酒造業を営んだ。所持高は 20 石余であった。幕末期に発生した青倉村と森村との中尾山の山論文書がいくつかあるが、幕末期の庄右衛門が記したものであろう。安政 3 年(1856)、庄右衛門は寺石・上野・羽倉・芦ヶ崎の若者たちの芝居稽古を見舞っている(C-4-14)。明治 13 年(1880)に勇作が 46 歳で亡くなり、その後は丑三郎が島田家を継いだ。勇作も丑三郎も旅行好きだったとみえ、伊勢・讃岐・湯殿山への旅日記などが何冊も残っている。明治 25 年、庄右衛門の葬儀には 359 人の齋来者があった。C-③-27 の文書には迎えた側の役割配置、献立品目が記されている。

寛政 2 年(1790)の森村・白鳥村・青倉村による鮭猟場争いの内済証文がある(D-1-30)。江戸時代の横倉組は青倉村に含まれていたが、その従属的な関係は文久元年(1861)の文書でもわかる(E-10,11)。明治 6 年の「詫書一札」(E-33)は、村内に桐下駄職人を留め置いて細工を始めたことに起因している。のちに有名になる横倉桐下駄の隠れた緒元か。

一橋大学大学院教授の若尾政希氏が、平成 29 年に「ヤウク!」で島田家文書 225 点を購入し、同大学院の関千賀子氏がこれらの文書の解題を、雑誌『書物・出版と社会変容』で「長野県水内郡青倉村島田家文書目録」と題して報告している。酒造業を営む島田丑三郎に関する文書が多く含まれていることなどから、島田亨家文書の一部が流出したことは明らかである。

【平成 30 年 10 月 令和元年 8 月 長野市 米持稲実氏寄贈】

7 桑原 亮家文書(森)

文書は年次順に 73 点を本目録に載せてある。切欠の齋藤光子氏(桑原亮氏の妹)が長野県北部地震の直後、森の実家(屋号「はばて」)で段ボール 1 箱分の古文書を発見した。当時、実家の当主桑原亮氏は千葉市稲毛区在住。その後この古文書は、栄村役場へ運ばれ教育委員会で保管していた。

最古は慶安 5 年(1652)の森村検地帳(写し)があるが、この帳面を除けば、ほかは安永 7 年(1778)以降のもので明治中頃までの文書群である。質地証文が多い。天保期から嘉永期にかけて、名主廣瀬与右衛門と小前百姓とが石代値段、荷物継立て運送駄賃、災害復旧普請などをめぐって対立した。小前百姓たちは鎮守社で寄合をもったこともあった。近隣諸村の庄屋らが立入って示談内済とした。村中 55 人の連判書もある。弘化 4 年(1847)3 月の善光寺地震で森村背後の三宝山が崩れ、村に大きな被害がでた。安政 7 年(1860)、

森村は名主役を重立 8 人による 1 年番と定めたが、桑原亮家の先祖常右衛門もその 1 人だった。常右衛門はすでに安政 4 年には名主に就いていて、中野役所から届いた通知を「御用留」に書き残している。

【平成 29 年 7 月 切欠 齋藤光子氏寄贈】

8 広瀬 昇家文書(森)

森村の力士越ノ藤重次郎に関する文書 2 点である。四股名の「越ノ藤」は、広瀬昇家の屋号にちなんでつけたものと伝わる。栄村域では幕末期に角力(相撲)が盛んにおこなわれていた。箕作の島田汎家や月岡の保坂良徳家などにも角力に関する文書が残っている。平滝には明治期に活躍した「滝川」の石碑がある。

【令和 3 年 7 月 長野市 広瀬 昇氏寄贈】

9 保坂憲一家文書(泉平)

総点数は 178 点で、おもには明治時代から昭和戦前までの保坂家に関する史料である。日記や掛軸が多い。平成 23 年(2011)と同 30 年の二度、白水智氏らによって整理された経過がある。旧母屋の取り壊しが契機であった。文書および史料は平成 30 年に「こらっせ」に搬入された。

目に留まったものを 3 点取り上げると、1 点は慶応元年(1865)から明治 41 年(1908)まで書き続けられた「稲苧数記帳」(A-d-5)である。どの田からどれだけの稲束を刈り上げたかを、毎年ていねいに書き留めている。2 点目は明治 2 年から同 36 年まで書き続けられた「小使覚帳」(A-d-2)である。この帳面には、どこの商人から何を買ったかが克明に記されている。箕作の紺屋・横倉の油屋・白鳥の鍛冶屋・飯山の古着屋などから物品を購入していることが知れ、日常品の油・茶・薬・蠟燭・塩などの値段もわかる。人は日常のありふれたことは記さないことが多かったが、保坂家の当主は几帳面に記録を残した。3 点目は明治 37 年の「日露戦闘実践日記」(A-d-7-13)で、横半帳のこの文書は当時の新聞の抜書を整理したものである。

【平成 30 年 4 月 泉平 保坂憲一氏寄贈】

10 島田 汎家文書(箕作)

総点数は 5,000 点を超え、本目録中では最多の文書群である。昭和 54 年(1979)から開始された『津南町史』の編さんに併せて、津南町史編さん室によって島田家文書の目録作成が試みられた。その手法は、島田家文書を分類項目に則して仕分けし、附番するというものだった。整理し終えた目録を昭和 57 年に栄村教育委員会が『島田氏 古文書目録』として刊行した。本目録では教育委員会が刊行した目録をほぼそのまま収録した。大項目は A(支配)からアルファベット順に V(絵図)までの 22 項目に、次いで中項目は 273 に細分化してある。分類項目が示すように島田家文書の内容は多様である。通巻史料番号 1 番から 1747 番までは近世文書を、1748 番から 1970 番までは近現代文書を載せている。明治以前の近世文書が圧倒的に多く、近現代文書は少ない。文書はすべて古文書専用の中性紙袋に収まっている。

島田家は江戸時代中頃の一時期、自家立て直しのために分家に名主役を任せた時期があった。しかし、その期間以外は世襲的に箕作村の名主を務め、三左衛門を襲名することが多かった。田畑の所持高は 30~50 石前後であったとみられる。齋藤励二家文書の文政 9 年(1826)「本郷諸勘定向帳写」(A-1-23)には、三左衛門の所持高が 48 石 6 斗余とある。

L-4 には酒造関係の文書がまとまってある。N-8 の多数の「仕切り」から、島田家(屋号は大和屋)は酒造を営み、縮・紬・蠟・荏草などを商っていたことが窺える。

本目録に少し加筆したことを断っておく。E-1-562 は人別送り状 272 点を一括でまとめてあったが、1 点ごとに解説して枝番号を附して目録化した。L-17 の銅山関係の書簡 37 点も同様である。V-1 から V-7 までの絵図 80 枚は、縦横を採寸して目録に大きさを示した。1971 番の「銅山願書類」と 1972 番の「猟業禁止の制札」は近世史料であるが、今回新規に追加したため、近現代の最終に載せた。

古い文書には慶長 13 年(1608)の「覚」がある(21 番)。秋山で木を伐ることを禁じた文書である。元和 8 年(1622)の「口上」は秋山の貢租「かんな役」について記したものである(21 番)。これは支配期間が短かった岩城氏関連の文書である。元和 9 年に箕作村は幕府領になった。その後の幕府領期間および飯山領時代の年貢割付状(C-5)がしっかり残っている。宝永 3 年(1706)から 7 年までの幕府領期間の山蠟・里蠟の文書(C-4)は、中村役所(木島平村)に關係する文書である。

元禄期の上信越国境文書や数冊の「村明細帳」(D-1)および「御用留」(D-5-525)は貴重である。J-22 に載せてある享保年間の信越国境論争は、箕作村・志久見村と越後国 34 か村との間で起きた。論地は巢鷹山で、訴訟は幕府の勘定奉行所の扱いにまで発展した。この論争は『栄村誌歴史編』の 254 頁に詳述されている。J-14 には巢守・巢おろしに関する文書が 65 点もある。巢鷹の文書が多いのは、L-17 の銅山関係の文書と同様に島田汎家文書の特徴である。

島田汎家文書のうち秋山関係の文書は、すでに鈴木努氏が翻刻・解説して『島田汎家文書(秋山関係史料抄・その一)』『島田汎家文書(秋山関係史料抄・その二)』の 2 冊にまとめている(栄村教委所蔵)。また、島田家の文書は『信濃史料』『長野県史近世史料編第八巻』『津南町史資料編』などに掲載されているため、それらの活用をお勧めしたい。なお、文書の所蔵者は『信濃史料』では島田光世、『長野県史』では島田志代子となっている。

【平成 29 年 5 月 箕作 島田敬子氏永年寄託】

11 関谷晃一家文書(月岡)

点数は 85 点。幕末から近代以降の「土地売渡証文」がほとんどである。昭和 44 年(1969)、飯山南高校歴史班発行の「流れ」(80 番)がある。これは部落問題など個々人の研究[※] 収録である。

【平成年月不詳 月岡 関谷晃一氏寄贈】

12 保坂良徳家文書(月岡)

点数は 125 点。昭和前期の月岡耕地整理組合関係資料(14,20 番ほか)、昭和期の岡山尋常高等小学校関係資料(92 番ほか)、大正、昭和期の堺尋常小学校ほか卒業証書(74 番ほか)、明治期の算法に関する資料(7 番)、草相撲に関する資料(27~29 番)、終戦直後の仙当への入植開墾に対する反対陳情書(8 番)、大正期の消防手人名簿(10 番)など、近代の歴史や教育に係るものがほとんどである。

【令和 2 年 10 月 月岡 保坂良徳氏寄贈】

13 阿部晴夫家文書(野田沢)

箕作青年団が作成した歌舞伎のポスター 1 点である。年次は不詳だが仮名手本忠臣蔵や鎌倉三代記などの演目が見える。青年団が三柙梅昇一座を招いて歌舞伎公演を計画した。村人の娯楽を知る良い手がかりになる。『栄村誌歴史編』の 598 頁にポスターの写真がある。

【平成 30 年 12 月 野田沢 阿部晴夫氏寄贈】

14 上倉健一郎家文書(雪坪)

総点数は 21 点と少ないが、江戸時代に作成された多様な文書が残されている。乾燥によるためか、傷みのある文書が目につくが、内容の読み取りを妨げるほどではない。特に注目される文書としては、江戸時代のさまざまな出来事を端的にまとめた「諸事心覚記帳」、江戸時代前期の信越国境論争の記録「信州森村、越後羽倉村山論願書返答書写」、文政 11 年(1828)に越後三条を震源とする大地震の被害記録「越後大地震書付」、文化 6 年(1809)年に発生した山崩れの被害記録「雪坪山割崩覚」である。天保 9 年(1838)の「志久見村差出明細帳」には各集落の戸口などが記されている。

令和 4 年(2022)12 月、上倉家では雪坪の自宅を取り壊して新築することになった。このとき新たに質地証文を中心に近世、近代文書が 200 点ほど発見された。村教委では追加分を収集したが本目録には掲載できていない。

【平成 30 年 11 月 雪坪 上倉健一郎氏寄贈】

15 桑原 章家文書(志久見)

志久見村の名主桑原重左衛門家に伝わった文書群 800 点余である。江戸時代から明治時代の文書がほとんどを占める。目録は年次順にしてある。飯山藩松平家は慶安 4、5 年(1651,2)に領内の総検地を実施したが、そのときの「志久見村検地帳」がある。江戸時代前期(慶安から正徳年間)までの年貢免状もかなりそろっている。そのほか幕府領時代の検地帳もある。

宝暦 10 年(1760)、志久見村では名主役家 8 軒を選び 1 年番で役を務めることを決めている。宝暦年間の越後酒造渡世人と奥信濃渡世人の争いは、「旅酒」についての記録である。安永 9 年(1780)には組頭の年番規定も定めている。安永 6 年の安永騒動とそれにつづく幕府領の新田検地に関する文書が多くある。年不詳だが、安永騒動時の廻状(参加呼びかけ)とみられる文書は唯一無二で貴重である(270 番)。天明 3 年(1783)の浅間山噴火と飢饉について記した願書もある。文化元年(1804)の「村差出明細帳」(204 番)は、じつは安永 2 年の明細帳を書き写したものである。289 番の「懐中録」には幕末期の名主小山家の自害事件(志久見区内に石碑がある)について記してある。

明治 6 年(1873)からの地租改正に関する文書もそろっている。大正元年(1912)の「養蚕日誌」は女性たちによる共同作業の様子がよくわかる。写真と解説が『栄村誌歴史編』の 361 頁にある。

【平成 29 年 6 月 中野市吉田 桑原 章氏寄託】

16 桑原れい子家文書(志久見)

目録上の点数は 36 点であるが、数点をまとめて目録化したものもあるため、実際の点数はさらに多い。志久見の桑原永寿家に伝わった文書である。れい子氏は森地区に在住。明治時代中頃の東京の錦絵が多くある。そのほかでは、従軍関係の史料が多い。昭和 17、18 年の「故郷の便里」(33 番)には、村の人たちが桑原永寿(満州三六二部隊の陸軍兵長)に宛てた慰問の手紙がまとめてある。小学生が書いた手紙の一部が『栄村誌歴史編』の 416 頁に紹介してある。

【平成 31 年 1 月 森 桑原れい子氏寄贈】

17 石澤三郎家文書(志久見)

総点数は約 550 点で、これらは石澤三郎氏本人の寄贈史料である。堺村の志久見で生まれ育った石澤三郎は、教職の傍ら地元地域の古代史、中世史の研究に心血を注いだ。特に信越の古代、中世交通史、市河文書の解読、城館踏査(特に市河氏の志久見館)に情熱を燃やし、津南町や柴村できめ細かな現地調査をおこなった。また、研究誌の「信濃」や「高井」への論文執筆にあたっては多くの史料を収集した。論文の数も多い。地方史研究者の栗岩英治や一志茂樹、あるいは金井喜久一郎らと親交をもち、著作物の執筆をいくつも任された。本人執筆の原稿はもとより、書籍・地形図・写真が多く残されている。

たいへん几帳面な性格であったらしく、蔵書や史料は整理が行き届いている。「市河文書写真集」がアルバム一冊(E-6)にまとめてあり、「志久見村史料」「地方史資料」(E-1,2)には貴重史料が翻刻して収められている。明治初年の志久見村名主自刃事件史料、青倉の一里塚調査記録、羽倉の古銭発掘調査書、村内城館跡の縄張り図なども有益な研究資料である。出所が柳在家の関澤家のものと思われる実物の古文書もある(え-7-A-15 ほか)。

石澤三郎氏の所蔵史料は、村史編纂の開始以前に村へ寄贈されていた。『信濃史料』や『長野県史』、そのほか自治体誌などの書籍は、村の図書室で利用に供されている。

【平成年月不詳 志久見 石澤三郎氏寄贈】

18 関澤友子家文書(柳在家)

総点数は 259 点である。もともと関澤家にはかなりの文書があったが、石澤三郎が収集したように散逸したものもあったとみられる。平成 19 年(2007)に白水智氏によって仮目録が作成された。その目録を頼りにして、村史編纂室であらためて本目録を作成した。259 点の多くは江戸時代の古文書だが、明治から昭和までの文書も混じっている。

最も古い文書は、延宝 4 年(1676 年)のもので、内容としては、田畑の売り渡し証文・金子預かり証文・借入金証文など、私有財産に関するものがたいへん多い。年貢の領収の小手形が 23 点ほどある。なにより参考になるのが、志久見村内で起こったさまざまな出来事をまとめて記録した「諸覚帳」(A-1, A-6)である。林秀庵に現存する大地蔵の造立、天明と天保の凄まじい飢饉、善光寺如来の勧化(出開帳)通行、若者たちによる祭礼芝居、中野町 400 軒焼失大火などが記されている。天明 2 年(1782)と寛政 6 年(1794)の 2 度、越後方面からやって来た善光寺如来仏が志久見村や箕作村を通った時、荷物運搬のために村々が人馬を提供した。

17 世紀後半の「名子証文」が何通もあってたいへん珍しい(A-15-2 ほか)。名子百姓は関澤家から田畑を借りるなどして耕作していたため、一年に何日も無償で農作業夫役をつとめた。また、烏帽子親や烏帽子子といった関係を結んでいたこともわかる。関澤家の当主は源右衛門を名乗っていたとみられる。

文化 6 年(1809)、柳在家に住む娘が盲目になったため、親が神子にしたいと村人の奉加を募ったとみられる文書(A-27-2)は身に迫る内容である。ほかには、天保 8 年(1837)に越後で起きた百姓一揆(魚沼騒動)について記録した文書(A-27-6)がある。この文書によれば、大井平村や宮野原村(ともに津南町)も不穏な状況だったため、柳在家の村人は騒動に加わらないことを五人組頭に誓っている。大正 7 年(1918)に、下船渡村(津南町)の娘が川岸村(岡谷市)の製糸工場へ伝習工女として働きにいった時の契約書(A-40)がある。

【平成 30 年 5 月 柳在家 関澤友子氏寄贈】

19 齋藤 哲家文書(長瀬)

目録上の点数は 31 点としてあるが、類似の複数資料を一括して目録化したため、実際の点数はかなりあ

る。昭和前期の兵事に関する資料がほとんどである。兵事資料が廃棄されずにまとまって残ったのは珍しく、また貴重である。特に在郷軍人会堺分会(堺村)の資料が多く、軍人分会の運営や太平洋戦争勃発前の村の動態を知ることができる。たとえば、勤労奉仕・日の丸行進・長瀬の音楽隊・忠魂祭・教練・防空訓練・貴骨奉迎などについて、その具体が記されている資料がある。書籍は埃まみれになっていた。

これまで存在が知られていなかったこの文書群は、栄村役場職員の越智勇氣氏が齋藤哲氏から家の管理を任されたことから、令和元年に村史編纂室へ搬入したものである。時間の都合で史料群はまだ十分な整理ができていない。

【令和元年5月 長瀬 越智勇氣氏寄贈】

20 齋藤勳二家文書(長瀬)

総点数は3,000点を超え、目録に載せた中では島田汎家文書に次いで点数の多い文書群である。土蔵に保管されていた文書群は、平成18年(2006)8月から翌年にかけて白水智氏・鈴木努氏ら45名によって母屋で整理がおこなわれた。文書群は小箆筒・木箱・行李・文書箱などに収まっていた。その折、保存現況によりAからTまでのアルファベット順に大分類され、一部は附番された。平成23年3月に栄村を長野県北部地震が襲ったことなどもあって、文書の管理や整理等はほぼそのままとなっていた。

令和2年(2020)7月に文書が村へ寄贈されたため、役場内の村史編纂室へ搬入した。ここで改めて大・中・小分類に準拠しつつ、無番号の文書に附番するなどして目録化作業を進めた。平成期の附番と重複しないように新たに附番したため、欠番が生じてしまった箇所もある。小箆筒や木箱に収納されていた文書を1点ごと文書袋に移し替えたが、小手形などは複数で1袋としたものもある。袋には文書の年次と表題・内容などを記した。G-2の文書(撮影写真あり)は平成期には存在していたが、編纂室での再整理時には見当たらなかった。ともあれ、今回の目録化で齋藤家文書のほぼ全容が明らかになった。

齋藤家文書には慶長18年(1613)の「覚」(G-6)をはじめ、巢守・巢鷹山に関する文書や地図が何点もある。齋藤家は巢守衆の惣代や箕作村枝長瀬の触頭を務めた。初代当主の甚右衛門は弘治3年(1557)出生、寛永8年(1631)75歳で没したとされる。この人の時に松平忠輝の家臣から巢守に任じられた。善右衛門、甚右衛門、幸右衛門、琢郎が齋藤家当主の名前として登場する。齋藤家には江戸時代前期の文書がほとんどない。江戸時代後期の質地証文・小作証文と明治期の売渡証文がおびただしくある。また、書簡も数百通にのぼるため、目録では一括として扱っている。青苧(I-2-1 ほか)や縮の商いをしていたため、越後の商人らが齋藤家に泊まっていた(L12 ほか)。以下に目に留まった文書を取り上げる。

文政3年(1820)、中野代官古山善吉から渡された「人生訓」(D-b-18)がある。同6年の浄土真宗長命寺「差し纏れ一件」の文書が何点もある(D-b-20 ほか)。同7年には女房と娘が善光寺参りと称して欠落(出奔)した事件があった(D-b-47)。同11年の越後三条地震の口説(D-b-143)がある。死者1,600人以上、焼失1,200軒といった甚大な被害がでたことで知られる大地震である。文化10年(1813)に齋藤大輔(のちの甚右衛門)が、師匠野口湖龍(木島平計見)のもとで和算を学んだことを示す文書(D-b-16-13, O-1-7 ほか)もある。和算については『栄村誌歴史編』の315頁に詳しく記されている。

天保8年(1837)、長瀬ではしばしば畑作物が盗まれていた。そこで野口の修験常光院に鉄鍬加持による祈祷を依頼した(D-b-9-8)。つまり、熱した鉄鍬を村人に握らせる手法で犯人を割り出そうとしたのである。文久元年(1861)の「和宮下向助郷入用帳」がある(M5)。高井郡の村々が佐久郡の小田井宿と岩村田宿の助郷(継立)を命じられ、箕作村からも人夫が出向いたためである。

明治 12 年(1879)のコレに関する手紙(H-a-③-2-17,18)、同 13 年の伊勢参り関係文書(C-a-7-1 ほか)、同 14 年の再建「十王堂建立寄進記」(C-a-1-4,I-4-1)、同 38 年に長野県知事が秋山視察後に長瀬へ向かうとの通知などは興味深い。幸右衛門が学務掛だったため、箕城学校長瀬支校に関する文書がまとまってある(N-2)。明治期に齋藤家が自家用濁酒製造をしていたことを記した文書が随所にある。

なお、齋藤励二家の母屋や土蔵は令和 4 年(2022)の夏に売却が決定した。家屋内部の家財道具などが処分される前に点検させていただいたところ、文書類が相当数見つかった(追加文書箱 2 箇)。これらについては整理が手付かずで目録化できていない。

【令和 2 年 8 月 令和 4 年 8 月 長野市 齋藤千秋氏寄贈】

21 福原国吉家文書(小赤沢)

総点数は 353 点である。昭和 51 年(1976)に新潟大学法文学部農村社会研究室が編集した目録(全 41 頁)がある(A-①-2)。その後、平成 12 年(2000)に白水智氏が新たに目録を作成した。本目録には白水氏作成の目録を収録させていただいた。小赤沢は箕作本郷の枝で、本郷には名主がいて小赤沢には年貢(秋山役・かな役)収納などをおこなう組頭がいた。そのため、本郷の名主島田三左衛門と小赤沢の組頭福原平右衛門とがやりとりした文書が多い。平右衛門家(福原本家)に伝わったのがこの文書群である。

正徳から享保期にかけて、京都の商人田中九右衛門が秋山銅山の開発にかかわった。その文書が多くある。材木伐りだしに関する文書も見える。赤沢計真氏は著書『越後信濃地域史の構造と伝承』(第一書店 昭和 54 年)の中で、福原家文書を用いて「近世秋山郷の銅山経営」を論じている。天明飢饉の危機的状況を記した覚書(A-①-5-2)はよく知られている。伊勢・高野山・戸隠・善光寺などとの関りを示す文書が散見される。また、近江(滋賀県)と富山の薬を購入服用していたことも判明する(A-①-16-2 ほか)。

【平成 31 年 2 月 小赤沢 福原廣司氏寄贈】

22 福原照一家文書(小赤沢)

総点数は 69 点で、そのほとんどが江戸時代や明治前期に、江戸や京都で出版された和装本である。内容は俳諧・和歌・物語など文学に関するもの、書画人や武将列伝に関するもの、論語や孟子など哲学ものに大別できる。たとえば書画人の書籍(24 番)では、「大和絵の土佐派は昔からの遺風を今に伝え、狩野派は土佐派流を継承しつつも、探幽の時に一変して新たな画風を生み出した」としている。

同家に残された書籍類は、購入するには大金が、読みこなすには高い教養が必要だったはずである。じつは、古くから同家に伝わったものではなく、のちに他所から入手したものではないかとも伝わる。

【令和年月不詳 小赤沢 福原照一氏寄贈】

23 福原さき家文書(小赤沢)

総点数は 40 点である。平成 18 年(2006)に村教育委員会に持ちこまれ、同年、白水智氏によって目録が作成された。本目録ではそれを採用させていただいた。新聞紙で梱包された 2 包の文書群である。1 包(A)には福原家の香典帳や棟上げ時の普請見舞いなど 13 点が、別の 1 包(B)には天保 10 年(1839)以降の伊勢暦 23 点が収められていた。破損がみられる文書が多い。伊勢暦は秋山を訪れていた御師から入手したものであろう。福原さき家は今はない。

【平成 18 年教育委員会預り 令和元年 1 月 小赤沢 山田勝宏氏仲介寄贈】

「栄村域所在古文書目録」 目次

番号	(旧)所蔵者	地区	年代	点数	箱数	箱番号
1	ツキオカ サトシ 月岡 哲	白鳥	江戸前期～昭和	248	2	12～13
2	ハンドウ ゲンタロウ 半藤 源太郎	白鳥	江戸前期～大正	139	1	14
3	コバヤシ ヒロキ 小林 弘毅	白鳥	不明	2	1	43
4	ユシナ フクオ 油科 福夫	平滝	江戸中期	1	1	43
5	ヤマギシ カツミ 山岸 克己	横倉	江戸後期	1	1	43
6	シマダ トオル 島田 亨	青倉	江戸初期～平成	1,118	8	16～23
7	クワハラ マコト 桑原 亮	森	江戸前期～明治	73	1	24
8	ヒロセ ノボル 広瀬 昇	森	江戸後期～明治	2	1	43
9	ホサカ ケンイチ 保坂 憲一	泉平	江戸後期～平成	178	5	27～31
10	シマダ ヒロシ 島田 汎	箕作	江戸初期～昭和	5,000	26	
11	セキヤ コウイチ 関谷 晃一	月岡	江戸後期～昭和	83	1	34
12	ホサカ ヨシノリ 保坂 良徳	月岡	江戸後期～昭和	125	1	46
13	アベ ハルオ 阿部 晴夫	野田沢	不明	1	1	43
14	カミクラ ケンイチロウ 上倉 健一郎	雪坪	江戸前期～明治	21	1	9、74～75※
15	クワハラ アキラ 桑原 章	志久見	江戸前期～昭和	819	8	1～8
16	クワハラ コイ子 桑原 れい子	志久見	明治～昭和	80	1	15
17	イシザワ サブロウ 石澤 三郎	志久見	江戸後期～平成	550	8	35～42
18	セキザワ トモコ 関澤 友子	柳在家	江戸前期～平成	259	2	10～11
19	サイトウ サトシ 齋藤 哲	長瀬	大正～昭和	31	1	45
20	サイトウ レイジ 齋藤 励二	長瀬	江戸初期～大正	3,155	27	47～73※
21	フクハラ クニヨシ 福原 国吉	小赤沢	江戸中期～昭和	353	2	25～26
22	フクハラ ショウイチ 福原 照一	小赤沢	江戸前期～大正	69	2	32～33
23	フクハラ さき 福原 さき	小赤沢	江戸後期～昭和	40	1	44

※ このうち8箱(箱番号68～75)は目録未整備(2022年12月現在)

江戸時代以降の年代区分

年代区分	年号	西暦
江戸時代	慶長	1596 ~ 1615
	元和	1615 ~ 1624
	寛永	1624 ~ 1644
	正保	1644 ~ 1648
	慶安	1648 ~ 1652
	承応	1652 ~ 1655
	明暦	1655 ~ 1658
	万治	1658 ~ 1661
	寛文	1661 ~ 1673
	延宝	1673 ~ 1681
	天和	1681 ~ 1684
	貞享	1684 ~ 1688
	元禄	1688 ~ 1704
	宝永	1704 ~ 1711
	正徳	1711 ~ 1716
	享保	1716 ~ 1736
	元文	1736 ~ 1741
	寛保	1741 ~ 1744
	延享	1744 ~ 1748
	寛延	1748 ~ 1751
宝暦	1751 ~ 1764	

年代区分	年号	西暦
江戸時代	明和	1764 ~ 1772
	安永	1772 ~ 1781
	天明	1781 ~ 1789
	寛政	1789 ~ 1801
	享和	1801 ~ 1804
	文化	1804 ~ 1818
	文政	1818 ~ 1830
	天保	1830 ~ 1844
	弘化	1844 ~ 1848
	嘉永	1848 ~ 1854
	安政	1854 ~ 1860
	万延	1860 ~ 1861
	文久	1861 ~ 1864
	元治	1864 ~ 1865
慶応	1865 ~ 1868	
明治時代	明治	1868 ~ 1912
大正時代	大正	1912 ~ 1926
昭和時代	昭和	1926 ~ 1989
平成時代	平成	1989 ~ 2019
令和時代	令和	2019 ~

1 月岡哲（さとし）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 1	慶安5年辰4月	白鳥村田畑検地帳写		縦帳	寛文10年 元禄8年合冊
A 2	寛政9年巳12月	一札之事（白鳥村村役勤め取極め）	願人三右衛門◎ほか→御百姓衆中	状	扱人飯山伊勢や金兵衛 小林丹後守（神主） 文書の端欠損
A 3	慶応4年辰8月	御申上一札之事（3人の者、越後国頸城郡上船倉村の住人に相違なく、この旅江戸表へ冬働きに罷り越したく）	上船倉村庄屋五郎助→信州・上州・武州御関所 御番所	状	
A 4	嘉永6年丑2月	御仕置五人組帳	白鳥村	縦帳	嘉永7年写し
A 5	文化11年3月	尾崎村戌年浄土真宗人別改帳（飯山西念寺 真宗寺 明德寺 妙専寺ほか）	尾崎村庄屋三郎兵衛◎→本多源五兵衛ほか	縦帳	
A 6	元禄12年3月	卯歳越後国頸城郡糸魚河大町宗門御改帳	名主新兵衛◎	縦帳	人数合639人
A 7	明治12年7月	御租税之通	豊栄村戸長役場◎ 月岡作十郎	横半帳	3冊あり
A 8	明治30年6月	長野縣褒詞（戦役の際軍資の内へ金献納）	縣知事権藤貫一→月岡重太郎	郵紙	
A 9	明治20年5月	記（租税 月岡三左衛門分）	豊栄村 北信村戸長役場◎→月岡三左衛門	郵紙	
A 10	寛政11年未9月	頼母子講取立名前帳	白鳥村発起人仁助◎	横帳	寛政11年から文化7年
A 11	元禄8年亥5月	（検地帳写）	飯山藩役人川井清太夫ほか	縦帳	1番の検地帳参照
A 12	天保5年3月	（飯山藩）御家中法花宗午年宗門人別改帳	飯山伊勢町法華宗本光寺◎→本多隼之助殿 田中原左衛門	縦帳	大久保久右衛門 高田茂左衛門 木内八左衛門 伊奈権平 中條次左衛門 足立玄修ほか家中24家
A 13	文化9年3月	（飯山藩）御家中浄土宗宗門人別改帳	飯山奈良沢村浄土宗忠恩寺◎→本多源五兵衛 大久保五郎太夫 本多又五郎 広田孫大夫	縦帳	本多十郎右衛門 本多助之進 水島与兵衛 伊奈三右衛門 本多内匠 中嶋左部 本多丑蔵 杉江源八ほか家中61家
B 1	慶応元年丑10月	御買物之通帳	青倉村嘉田屋三郎右衛門◎→白鳥村月岡三左衛門	切紙	
B 2	安政4年巳5月	取極内済一札之事（三左衛門の田地へ掛かる用水堰、近來堰形痛み水洩れに付幅広げ）	白鳥村源之助◎ 名主新八◎ほか	状	
B 3	寛政8年辰12月	差上申内済證文之事（桑名川村の松之助、白鳥村の若者19人に打擲され出訴。吟味の結果、松之助と白鳥村治兵衛の娘「ひめ」との不義が原因と判明し、和解内済。但し松之助への治療代金壹分は支払うことに）	桑名川村松之助、白鳥村21人連名→中野郡中代林右衛門 中野村名主彦兵衛 平滝村名主富右衛門 中野郷宿新右衛門 同郷宿孫助	状	
B 4	近代年不詳	（月岡家家族6人の生まれ年書留め 月岡三左衛門 文政12年6月25日生ほか）		郵紙	
B 5	近世年不詳正月	書簡（親父死去の知らせ）	牛ヶ鼻村七郎兵衛倅藤蔵→信州白鳥村三之助	切紙	牛ヶ鼻村は上越市大島
B 6	近世年不詳正月	書簡（新春の挨拶 追伸 縮市立之義は4月8日頃、相変わらずの御光来の程）	竹内八左衛門→仁助	折紙	
B 7	近世年不詳12月	急廻文村役元（今日昼飯後、夫銭割立て候間、お出でござられたく）	名主三郎兵衛→卯左衛門外4人宛て	切紙	
B 8	文久元年7月	第日本一宮神名記（山城国賀茂大明神 信濃国諏訪大明神ほか）		横半帳	手書き
B 9	明治8年亥2月	御年貢諸役長（ママ）	侍主（ママ）月岡三左衛門	横半帳	
B 10	近世年不詳	初登山手習教訓書		縦帳	
B 11	近世年不詳	證文向（借用申金子之事 質地證文之事 手紙文ほか用文集）		縦帳	
B 12	明治8年亥9月	万覚帳	白鳥村中嶋屋重太郎	横半帳	焼け焦げあり
B 13	（嘉永元年正月）	赤穂記（播州赤穂の城主浅野内匠長矩）	白鳥村月岡市左衛門◎	縦帳	筆写本
B 14	近世年不詳	新板用文章上巻（正月初めて状を遣わす事ほか）		縦帳	刷り本
B 15	近世年不詳	文武宝林古状大成（内題）	江戸日本橋須原屋茂兵衛	板本	

1 月岡哲(さとし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
B 16	近世年不詳	十二運之事(丑の年に生まれたる人は一代の守り本尊は虚空蔵菩薩也…)		豎紙綴り	
B 17	(近世)年不詳	篆書体手習い帳	白鳥村三左衛門	豎紙綴り	
B 18	明治12年卯10月	借用日記	借主月岡三左衛門①→白鳥村佐藤茂左衛門	状	
B 19	安政4年巳6月	為取替内済一札之事(源之助、三左衛門両人屋敷間にこれ有り道筋に付、異論出来)	白鳥村源之助①三左衛門①ほか村三役人①扱人取締役西大滝村三郎右衛門①	状	半藤源太郎家文書にも同類の文書あり
B 20	慶応2年寅3月	乍恐以書付奉願上候(天保度、三左衛門親父文治郎、村の梅蔵へ質入れの雑木林一か所請け返し願書)	白鳥村三左衛門→松本直一郎野御役所	中 状	
B 21	天保3年辰	武鑑	江戸日本橋須原屋茂兵衛	豆板本	題箋なし
B 22	近世年不詳	(和算 帯縦開平 相応開平 相応開立)		折紙	
B 23	天保15年辰	(飯山藩士家内人数書上帳)本多作十郎家内4人・召仕10人 中嶋半兵衛家内2人・召仕6人 本多助之進家内7人・召仕8人以下省略		豎帳	藩士数205人(藩医等を含む)表紙欠く備み多い
B 24	明治16年未2月	全日記覚帳(借用銭 借用糶等書上)		横半帳	
B 25	嘉永元年酉10月	御年貢夫錢長(ママ)	名主→三之助	横半帳	書留め
B 26	明治13年辰3月	日記手間覚帳(かんの焼畑 大工)	白鳥村月岡氏	横半帳	
B 27	明治14年巳1月	畑田日記(染玉40×3つ)	月岡万作	横半帳	
B 28	明治年不詳	作手間	万作	横半帳	
B 29	近世年不詳	仮名手本忠臣蔵		豎帳	合冊
B 30	近世年不詳	丑御年貢皆済目録	白鳥村	状	200石4斗6升2合
B 31	近世年不詳辰年	傳馬人足帳	助人平滝村三左衛門	横半帳	
B 32	明治13年辰5月	通帳	月岡三左衛門	横半帳	
B 33	慶応元年卯	年号字寄(天元乾延安仁万など66字)		横半帳	
B 34	明治16年未正月	日記日付帳(月日 世話人 銭)		横半帳	
B 35	安政4年巳正月	大福覚帳(遣い金 借り金)	月岡三左衛門	横帳	
B 36	明治8年亥3月	百人首(天智天皇 持統天皇ほか)	月岡三左衛門	横半帳	
B 37	明治10年丑5月	御手本	淡路コウ	豎帳	「明治27年月岡くら様」記入あり
B 38	明治19年酉5月	人足控恵(ママ)帳	白鳥村月岡重太郎	横帳	
B 39	天保10年亥12月	貸方内調帳	箕作村常慶院	横半帳	
B 40	文久元年酉正月	日付日覚帳(借用金 糶)	三左衛門	横帳	
B 41	寛政11年未4月	香代万覚帳	白鳥村中嶋重太郎	横帳	文化3年香代万覚帳とも
B 42	慶応3年卯4月	證文覚帳(借用申金子證文之事ほか)	白鳥村中嶋	横帳	
B 43	慶応元年丑11月	御買物之通帳(塩ます 数の子 昆布 のり お神酒徳利ほか)	青倉村島田屋店①→中嶋三右衛門	横半帳	
B 44	明治11年寅3月	日記目録帳 日記手間帳(明治12年卯3月)	月岡 嶋や	横半帳	2冊括り 明治25年度地租領収書2枚混入
B 45	明治6酉年	日雇扣貨拂		横半帳	
B 46	天保~慶応	山林荒の覚帳	祖父文四郎伝、伴三左衛門	横半帳	
B 47	明治8年	萬日賀意(控)	月岡口左衛門	横半帳	
B 48	明治35年9月	木炭取引帳(炭〇俵 代金〇円〇銭)	西大滝山屋綱吉→月岡重太郎	横半帳	
B 49	明治14年巳3月	萬日賀意(控) 手間覚帳(明治19年4月)		横半帳	2冊括り
B 50	明治6年7月	地券之證	持主月岡三左衛門	横帳	
B 51	慶応3年卯11月	御年貢諸役	三左衛門	横半帳	
B 52	明治39年4月	家根屋人夫日記覚帳		横帳	
B 53	天保7年申正月	第八證文帳	文四郎	横帳	
B 54	安政6年未正月	大福覚帳(遣い金 借り金) 萬出入書上(万延元年)	三左衛門	横帳	

1 月岡哲(さとし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
B 55	近世年不詳	覚(使金)	飯山上町嶋田酒店⑩	横半帳	
B 56	明治19年戌2月	作手間帳(こい敷 田うない 田かき かの 田くさ 春山 田ない 稲刈り)		横半帳	
B 57	大正3年3月	手紙(屋根葺替え断りの手紙)	江口染之助→屋根職人中島	縦紙	
B 58	近世年不詳卯3月	手習い手本	布川たき女 朱印	折本	
B 59	文政9年戌7月	妙高山六堂再建勸化帳	越後国久米村大先達五位雅愛佐勝 重末孫与左衛門⑩	横半帳	
B 60	文政元年寅6月	妙高山(6月21日晚平丸村宿弥左衛門殿、22日関の宿村越平左衛門殿、相極めに御座候)	先達三之助	横半帳	×11人 文政3年辰×5人申(さる)はし 万右衛門宿 永楽通宝1枚紐で添付
B 61	明治9年子4月	萬覚帳	白鳥村月岡重太郎	横帳	
B 62	明治13年辰4月	萬日記覚帳	月岡重太郎	横帳	
B 63	明治21年子6月	牛馬仕入帳(越後西蒲原郡 鹿毛5歳馬 金24円)	豊栄村月岡重太郎	横半帳	
B 64	慶応2年寅正月	御買物之通帳(綿入れ 煙草 させる 油 いか のり 山かさ 塩 ます 村上茶 数の子 手拭紙)	青倉村島田店⑩→月岡三左衛門	横半帳	
B 65	明治7年戌4月	萬覚帳		横半帳	
B 66	明治13年辰6月	作手間	月岡三左衛門⑩→石沢庄治郎	横半帳	
B 67	明治17年7月	地租 地方税受取通	豊栄村戸長役場⑩→月岡三左衛門	横半帳	
B 68	(明治)年不詳	祝儀品々おほい(酒 肴 昆布 するめ 茶 手拭ほか)	東大滝村水井重左衛門→月岡文左衛門	縦紙	
B 69	近世年不詳	差出申一札之事(白鳥村四郎左衛門大酒呑み癡狂のあまり同村三左衛門を打擲一件)		縦紙	後ろ切れ
B 70	近世年不詳	乍恐書付を以奉願上濟口離第一札之事(乱病中の智観による常慶院への心得違い一件)	離弟智観ほか→雙林寺御役寮中	縦紙	
B 71	明治24年4月	差上申一札之事(うめ女乱心の行状に付き詫び状)	月岡うめほか親類衆→半藤彦三郎 本家親類様	縦紙	
B 72	近世~明治	質地證文一括		縦紙	約100点
C 1	現代	写真(先達旗 白鳥絵柄)		写真	明治40年作り替え
C 2	近世年不詳	御唱全(なむぼんでんたいしゃく 四天王衆んまほう王…なむ阿弥陀如来)	信州白鳥村三之助所持	縦帳	
C 3	近代年不詳	御賜金	上等兵月岡幸一	切紙	包紙 2円也
C 4	昭和14年12月	第六十九回記念祭絵葉書	東部第三部隊	葉書	3枚
C 5	大正15年8月	関山妙高山三尊阿弥陀如来御影(御参拜)	月岡清作	写真	
C 6	文政11年子6月	妙高山古印(白鳥旗)万人帳	白鳥村世話人三之助 名主又右衛門以下124人(女性多く含む)	横帳	少々傷みあり 旗作成の寄付帳カ
C 7	安政5年午10月	借用申金子之事	借用主白鳥村三左衛門→桑名川村田中又右衛門	縦紙	金1両2分
C 8	近世年不詳	断簡(和歌 国名尽 浄瑠璃)		縦紙	3枚
C 9	明治40年10月	旗有志簿(妙高山御旗、一名白鳥古印と称す、幾年の久しき今やその使用堪え難く、有志諸君のあつき勤めにまかせ新規仕立て替えいたし永遠に保存致し置きたく…応分の御助成を)	月岡重太郎 有志連名八人	縦帳	
C 10	寛政6年寅正月	妙高山御唱(南無阿弥陀如来)	先達月岡三之助	横半帳	
C 11	万延元年申6月	妙高山(御唱 南無阿弥陀如来) 関村平左衛門宿、野尻村かつら屋 心じや宿平五郎	先達白鳥村月岡三左衛門	横半帳	同行者熊吉ら7人 善光寺宿のふじ屋で宿泊カ
C 12	宝暦10年辰6月	明(ママ)高山御はた古印帳	平右衛門以下24人	横帳	2通あり
C 13	近世年不詳	妙高山阿弥陀三尊図(刷物)		切紙	17枚
C 14	昭和35年5月	福祉年金受給権者綴	栄村長石沢清一→月岡清一、くら	B4判	ガリ版刷り2枚
C 15	近代年不詳	断簡(信越新聞 手習い 厚紙)		紙	傷みあり
C 16	近世~明治	法螺貝(妙高山関係)		貝	27cm 【返却】
C 17	近世~明治	古峯神社掛軸		軸	
C 18	年不詳	歳徳大善神(御札カ)		切紙	色刷り 汚れあり
C 19	年不詳	掛軸3本(聖徳太子像 庚申青面金剛 画不明) 御札3枚		軸	太子軸(長72cm) 庚申軸(長92cm破れあり)

1 月岡哲（さとし）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C 20	年不詳	綿入り飾り紐朱房付		紐	【返却】
C 21	年不詳	桐製鞞（さや）カ		木	針金使用 長さ24cm 直径4.7cm
C 22	近代年不詳	千人針（朱糸）		木綿布	
C 23	近世年不詳	白髭山西蔵院（文化12年） 戸 隠山力雄尊 戸隠山三社大権現 （奥院手力雄尊 中院天忠兼尊 宝光院天表春尊） 恵心僧都法語 九頭龍大権現 御 本地弁財天 大日靈尊		刷紙	7枚綴り
C 24	年不詳	掛軸（天照大神 八幡大神 春日 大神）		軸	破損
C 25	昭和19年3月	毎日新聞ほか（C23の包紙）		紙	包紙4枚
C 26	近世～明治	妙高山白鳥旗（鳥は鷲カ）		麻布	傷みあり 扱い注意 【返却】
C 27	明治	妙高山白鳥旗		絹布	傷みあり 【返却】
C 28		旗の破損部分残等及び風袋		布	広げた際に割かれた もの 風袋2袋 【返却】
C 29	年不詳	白鳥旗の棒カ		木製	先は鉄製 太さ径2.4cm 長さ150cm 【返却】
C 30	近世末	「大給書札方」（蓋と身に墨書あり） 文箱		木製	大給藩（佐久郡の竜岡藩）の關係品カ 縦20cm×横8cm×高3cm 【返却】

A：厚手白袋入 B：黒色蓋箱 C：赤色木箱

2 半藤源太郎家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
1	明治39年8月	書簡（森林開墾の件）	長野県知事大山綱昌㊟→水内村半藤与左衛門	封書	2通あり、1から72迄はばらけていた文書
2	天保13年寅正月	断簡（所有地石高一覧）		折紙	
3	明治 年不詳	廃嫡願（3通認め大至急差出）	豊栄村半藤甚兵衛→長野県知事木梨精十郎	切紙	戸長役場広瀬善左衛門の名前あり
4	文久元年10月	覚（皆済目録相渡し申し候）	青倉村庄右衛門→白鳥村源之助	切紙	
5	嘉永4年亥4月	借用金子証文之事	白鳥村借用人源之助→青倉村庄右衛門	状	金3両 名主治右衛門の奥書あり
6	文久元年4月	質地証文之事	白鳥村質置主源之助㊟ほか2人→当村七右衛門	状	金10両 字城平
7	天保8年酉4月	質地証文之事	白鳥村質置主伝助㊟ほか2人→当村新八	状	金6両 名主又右衛門
8	明治 年不詳	断簡（下書き 抵当差し入れ致し）		状	
9	近世 年不詳10月	卯御年貢請取通	名主浅右衛門㊟→元右衛門	切紙	永594文 初納 夫銭 手間代
10	近世 申8月	覚（金1両3分）	新八㊟→源之助	切紙	
11	明治17年11月	金壹円五十銭 金五十銭 金拾円	かし月岡十太郎	折紙	受取記録あり
12	明治21年8月	金拾円借用	半藤佐左衛門	切紙	返済期限9月20日
13	近世 年不詳	断簡（持田畑の石高）		折紙	字大門
14	元治元年子5月	覚（金3両3朱余）	青倉村庄右衛門㊟→白鳥村源之助	切紙	
15	天保10年亥6月	借用申証文之事	白鳥村借用人源之助㊟ほか→同村勘之丞	状	代金3分 字城平畑2枚
16	元治2年丑9月	一札之事	箕作村宿弥左衛門㊟ほか→白鳥村源之助	状	
17	天保4年12月	借用申証文之事	借主伊之助㊟→羽倉村貴殿	状	金1分
18	嘉永5年子閏2月	借用申金子証文之事	白鳥村源之助㊟ほか→青倉村庄右衛門	状	金3両 名主治右衛門
19	明治 年不詳	恩文書（金子借用文下書き）	借用人月岡藤助→嘉十郎	状	
20	嘉永2年酉4月	借用申金子証文之事	白鳥村借用人源之助㊟ほか→当所勝之丞	状	金3両 字中川原田地3俵取り
21	天保9年戌11月	借用申金子之事	白鳥村借用人源之助㊟ほか→同村又右衛門	状	金1両1朱他 字中川原田地1俵半取り
22	万延2年酉2月	質田地証文之事	白鳥村借用人源之助㊟ほか→七右衛門	状	金3両 字中川原糶子3俵取り
23	天保7申年6月	借用申金子之事	白鳥村借用人伊之助㊟ほか→当村源之助	状	大平林・荒野
24	嘉永4年亥10月	質入田地証文之事	白鳥村源之助㊟ほか→青倉村庄右衛門	状	金3両 稲草50束刈
25	嘉永4年亥10月	質入田地証文之事	白鳥村源之助㊟ほか→青倉村庄右衛門	状	金3両 稲草50束刈 ※24番と同じ
26	安政2年卯4月	譲り渡シ田地証文之事	白鳥村譲渡人源之助ほか→当村新三郎	状	金10両 名所大門ひな型文書カ
27	元治元年子10月	借用申年賦済証文之事	白鳥村借用人源之助㊟ほか→北原村三左衛門	状	金10両 名主広右衛門 10俵取
28	嘉永3年戌4月	借用申金子之事	白鳥村借主源之助㊟ほか→青倉村庄右衛門	状	金5両 名主又右衛門 5俵取
29	昭和2年10月	連帯借入金証書	連帯借用人半藤達明㊟ 半藤勝猪㊟→岡山村風間喜三郎	状	金115円
30	大正13年4月	領収証	西大滝斎藤福蔵㊟→白鳥半藤与左衛門	切紙	金43円余 利息受取
31	明治24年8月	差入念証	白鳥佐藤丑松㊟ほか→半藤甚兵衛	状	金2円借用
32	明治年不詳	家族調	戸主半藤甚兵衛 隠居新十郎ほか	切紙	甚兵衛弘化2年生 新十郎天保7年生
33	大正3年8月	金子借用証書	借用人半藤与左衛門㊟ほか→月岡鉄三	状	金50円
34	嘉永3年戌9月	頼書差出申一札之事（近年勘之丞新堰を掘り、水車など仕掛け旱魃の遠慮もなく）	差出人無記	状	
35	明治42年8月	金子借用証書	半藤与左衛門㊟→水内村巳之吉	状	金15円
36	明治42年4月	證	半藤与左衛門㊟→東京市国益社谷口金次	切紙	金1円70銭
37	明治42年12月	借用金子証書	借用人半藤与左衛門㊟ほか→岡山村渡辺要助	状	金30円

2 半藤源太郎家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
38	明治42年1月	金子借用證書	借用人半藤与左衛門@ほか→岡山村桑名川渡辺文治	状	金10円
39	明治41年5月	連帯借用金證書	連帯借用人半藤与左衛門@ほか→岡山村風間喜三郎	切紙	金35円
40	明治41年11月	連帯借用金證書	連帯借用人半藤与左衛門@ほか→岡山村風間喜三郎	切紙	金50円
41	明治42年7月	借用金證書	借主半藤与左衛門@ほか→岡山村風間喜三郎	切紙	金30年
42	慶応元年丑6月	乍恐以書付奉申上候(蚕種元紙漉き立て候者、一切御座無く候)	高井水内郡村々→中野御役所	状	下書き
43	近世 年不詳	乍恐以書付御返答奉申上候(青蓮院宮様御貸付金拝借に付御尋ね)	差出人無記	状	
44	嘉永7年寅5月	乍恐以書付奉申上候(農間石積み職渡世の者名前書上げ)	白鳥村又右衛門@ほか→高木清左衛門中野御役所	状 包紙	品川沖御台場の石積み 白鳥村2人親方 文治郎・小吉 平滝村2人親方 左衛門・庄左衛門ほか計20人 長野県史近世史料編8巻2幕府領に翻刻登載
45	明治2年巳正月	永代護摩万人講(今般本山聖護院宮天下泰平国家安寧のため)	高井郡柏尾村玄龍院@	豎帳	毎年2月8月、朔日から17日まで護摩修行
46	安政5年午7月	乍恐以書付御届ヶ奉申上候(去冬より当春にかけ大雪降積り)	高井水内郡村々→柴田善一郎 中野御役所 箕作村名主三左衛門・柏尾村取締役伊兵衛・西大滝村名主三郎右衛門	状	
47	天保12年巳3月	一札之事(文四郎腹違いの弟丑松、伊七の女房、子ども相続一件)	白鳥村一礼人穰多文四郎@立合人 留治郎@→村役人重立衆中→脇野町御役所	状	
48	明治4年末10月	差出申一札之事(柏崎町より野々海峯通り信州路まで、今般新道開拓、新駅御願い成られ候)	白鳥村名主小林三郎兵衛 組頭月岡又右衛門 百姓代半藤彦右衛門→柏崎町馬場口右衛門 菅蒲村飯田茂三郎	状	小林 月岡 半藤の苗字は後筆
49	明治4年末3月	規定取究一札之事(名主役之義、古来より隔年番に相勤め来たり候処、時々融通を以て二年又は三年ずつ相勤め…今般王政御一新、一年番に致し旧例之通り三月四日には引き渡し)	白鳥村三郎兵衛@ 又右衛門@ 治右衛門@ 新八@ 彦右衛門@ 市郎右衛門@	状	包紙あり
50	万延2年酉3月	一札之事(天保12年以来、伊七義…相続相成らず取極め、春秋廻村は勘弁、物乞い廻りは相成らず、葬礼の節、五節句の節…堅く相守り万事怠りなく相勤め)	白鳥村一礼人穰多伊七 同徳右衛門@ 立合人穰多新右衛門@→村役人重立衆中 脇野町御役所	状	関連文書47番(天保12年)
51	慶応3年卯正月	差出申一札之事(御取締として御出役様野沢村止宿、私共御呼出しの差紙…御宿免下し置かれたきよう歎願奉り候処)	白鳥村徳十郎@ 茂左衛門@ 藤右衛門@→村役人衆中	状	
52	元治2年丑2月	乍恐以書付奉願上候(白鳥村・平滝村両村共、安政6年暴雨洪水にて往來道橋大破におよび、自普請御拝借金奉願上候)	白鳥村名主廣右衛門 平滝村尋十郎→小川達太郎 中野御役所	状	
53	天保3年辰5月	一札之事(作場通り相改め、以来農業差支えこれ無きため村方一同相談の上)	五人組孫左衛門@ほか重立、五人組連@→村役人名主治右衛門 組頭又右衛門 百姓代新八	状	包紙あり
54	宝暦5年亥3月	虎巻(「皈命頂禮梵天帝釈一切諸天正八幡大菩薩…」山城の国鞍馬山宝蔵、義経勢法眼娘盗此巻、奥州衣川にて文治四年四月…天下一人相伝秘法也)		卷子	寛文2年6月の作を宝暦5年に写す
55	嘉永4年亥9月	差出申一札之事(何分博奕にも似寄候類義に事寄せ、村役人中より嚴重の御吟味を受け…農業大切に相守り)	一札差出人徳十郎@ほか→御役人衆中	状	51番も関連か
56	天保14年卯正月	(高200石4斗6升 白鳥村)	白鳥村→川浦御役所	豎帳	延享元年、宝暦2年の経過あり
57	年不詳	書簡(娘貰い受け有り難く…、2か年の違作に付村方への慮外もあり、当秋まで婚礼延引)	不明→貴君	状	

2 半藤源太郎家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
58	安政4年巳10月	利米金子借用證文之事	金子借用人源之助 [㊟] ほか→青倉村庄右衛門 名主新八 [㊟] 奥書	状	金2両3分 粃子3俵取り 字中川原
59	天保9年戌11月	借用金子之事	白鳥村借用人源之助 [㊟] ほか→同村又右衛門	状	金1両1朱他 字中川原田地1俵半取り 21番と同じ(下書きカ)
60	万延元年申正月	大福帳(油9升、種油小樽4本ほか)	白鳥村増五良	横半帳小	水内郡大坪村澤田屋の割印あり 明治36年まで記載あり
61	年不詳5月	普請覚(大工手間 見廻覚)	善八	横半帳	
62	明治年不詳	越後の国菅谷不動明王祈念を奉じ、提灯燈明を燈献致したく		横半帳	64番と関連
63	明治10年12月	地所売渡証(田・原野、売渡代金100円)	豊栄村小林梅吉 [㊟] ほか→同村半藤甚兵衛	状	奥書戸長代理筆生月岡又右衛門 [㊟]
64	明治17年申11月	願奉 不動明王提灯有志簿	願人豊栄村半藤和十郎	横半帳	寄付者133人 62番と関連
65	明治13年11月	隠居仮一札之事(病気に付、私共へ家督を譲られ隠居されたく)	白鳥村一人半藤甚兵衛 [㊟] →兄半藤新十郎 立合人おきせ爪印	状	田反別8畝余 金23円余 一銭印紙添付
66	天明4年辰2月	御心じ能さうし	信州水内郡白鳥村半藤氏写す	竖帳	御富士南無大権現と八へんとないいし
67	明和2年酉10月	高覚(田畑惣 ^ㇿ 2石3斗8升1合)	七兵衛	折紙	
68	明治34年2月	土地台帳謄本(地目 字 地番 面積)	所有者水内村半藤甚兵衛 湯本勝治 [㊟]	切紙綴り	
69	明治20年代	田租売渡証8通、楮皮売渡証(8通)	飯山町北島屋与三郎→白鳥半道(ママ) 甚兵衛	切紙	包紙あり
70	年不詳	帰依佛 不殺生戒(4通)		状	
71	年不詳	断簡(20通 内容はバラバラ)		切紙	
72	明治16年5月	借用証書	豊栄村金子借用人佐藤広吉 [㊟] →半藤新十郎	状	金11円
73	天保4年巳9月	白鳥村絵図(字 田畑 荒地 諏方宮 御林 権現 十二社)	名主治右衛門 [㊟] 組頭又右衛門 [㊟] 百姓代新八 [㊟] →鈴木半十郎 脇野町御役所	鋪	絵図方寸39 ^ㇿ ×56 ^ㇿ 73から98迄は厚手の袋(表に朱書きあり)入り文書
74	安政2年卯4月	為取替和談之事(新三郎義呑水に引取候に付、口論に及び候)	白鳥村為取替人治右衛門 [㊟] 名主三郎兵衛家ほか	状	
75	近世 年不詳	鈴木半十郎様御役人衆(江戸詰 川浦詰 脇野町詰 元締・手付・手代名前)		状	金原武助ほか
76	近世 年不詳閏5月	書簡(村方源之助いろいろ面倒…意見を以てお下げくだされ在り難く仕合せ…漸々内済に相成り)	白鳥村名主新八→富田屋久助	切紙	
77	安政6年末5月	内済為取替證文之事(弥左衛門と久内女扨みきとの密通、出奔、金5両で内済)	白鳥村願人久内 [㊟] みき引受人庄八 [㊟] ほか 名主又右衛門ほか村役人	状	包紙あり
78	安政3年辰11月	差上申拜見證文之事(割付、皆済目録拜見)	白鳥村清蔵ほか73名→中野御役所今川要作	状	名主新八 包紙あり
79	元治2年丑3月	取究疑定書之事(村方三役之義、当丑年より隔一年番に)	白鳥村五人組 名主又右衛門 [㊟] ほか村役人、重立	状	包紙あり
80	慶応元年丑閏5月	乍恐以書付奉願上候(上納金200両年賦返済)	村々惣代柏尾村名主定右衛門ほか→小川達太郎 中野御役所	状	
81	安政4年巳5月	取極内済一札之事(三左衛門の田地へ掛かる用水堰、近来堰形痛み水洩れに付幅広げ)	白鳥村三左衛門 [㊟] 親類 [㊟] ほか村役人連 [㊟]	状	
82	文政7年申3月	村取究一札之事(村役年番の件 役屋退転同様に相成り)	白鳥村名主又右衛門 [㊟] ほか85名連 [㊟]	状	天保10年子3月書替え 当節御代官平岡熊太郎様 脇野町御役所支配 当時村役名主三郎兵衛
83	安政4年巳6月	為取替内済一札之事(源之助、三左衛門兩人屋敷間にこれ有り道筋に付、異論出来)	白鳥村源之助 [㊟] ほか 村役人 [㊟] 扱人取締役西大滝村三郎右衛門 [㊟]	状	84番文書と関連
84	安政4年巳4月	乍恐以書付奉願上候(不当出入り 源之助と三左衛門との屋敷田畑・堰・道争い)	源之助→今川要作 中野御役所	状	83番文書と関連
85	慶応2年寅6月	乍恐以書付奉願上候(菖蒲村へ売渡した米80俵の内、50俵分の代金いまだ支払なきに付、支払うよう代官所へ訴え)	白鳥村名主又右衛門 [㊟] ほか村役人→川浦御役所	状	

2 半藤源太郎家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
86	慶応3年卯正月	乍恐以書付奉願上候(博奕・賭けの諸勝負、其の外御法度筋に携わり候趣、お聞きに達し村々願ひ上げ)	桑名川名主太郎右衛門ほか村々名主→御出役小林嘉太郎 柏尾村取締役長八郎 同断西大滝村太左衛門	状	御呼び出し白鳥3人・平滝4・青倉4・横倉1・森1・志久見2・極野1・箕作2・小滝1・東大滝1・七ヶ巻1・平林2・坪山2・野沢4・中尾2・桑名川4・柄山4・柏尾6・北原新田2・笹原1 計48人
87	弘化2年巳正月	十王堂普請奉加帳	世話人源之助	横帳	杉の木一本 又右衛門ほか 木挽き7日 半半左衛門ほか 大工賄い
88	弘化2年巳9月	十王堂笠出し覚帳	白鳥村世話人源之助	横帳	笠15把 竿2本 竹5本 縄3把 切針2本 吾人前にこれを出し申し候
89	弘化3年午3月	米俵請取帳	白鳥村源之助	横帳	
90	天保4年巳3月	長塚村より白鳥村へ掛り一件内済御願下書扣 乍恐書付ヲ以奉願上候(長塚村の甚古、農業の間牛追い駄貢稼ぎ…塩荷付け出し、道中にて塩売捌き…行方不明)	白鳥村百姓伝助留め書き 榊原式部大輔御預所 長塚村又左衛門・白鳥村藤右衛門ほか→川浦御役所	縦帳	
91	天保7年申5月	北国脇往還橋御普請所目論見帳(打ち続く大雪にて大破、百姓自普請になり兼ね候に付、御普請所に仰せ付けられたく願ひ上げ)	百姓代三郎兵衛◎ 組頭新八◎ 名主又右衛門◎→平岡文治郎 脇野町御役所	縦帳	投渡土橋延長六間 人足12人 橋台枠8組 人足177人 雑木48本 大工20人 橋台枠左右石積み延長20間
92	文政元年寅6月	北国脇往還橋御普請出来書上帳(古橋2か所 橋場川・白鳥沢川)	白鳥村名主又右衛門◎ほか村役人◎→大草太郎右衛門 中野御役所	縦帳	
93	寛政4年子正月	川除御普請出来形帳(橋場川 白鳥沢川) 石積延長455間 2か所	白鳥村名主治右衛門◎ 組頭三右衛門◎ 百姓代勘兵衛◎→三河口太忠 中之条御役所	縦帳	大工・人足・材料の記載あり
94	寛政4年子正月	往還橋御普請出来形帳(土橋延長六間 二か所 幅三尺 厚さ一尺)	白鳥村名主治右衛門◎ 組頭三右衛門◎ 百姓代勘兵衛◎→三河口太忠 中之条御役所	縦帳	大工10人 材木等の記載あり
95	寛政4年子正月	用水路御普請出来形帳(橋場川中ノ揚堰 下ノ揚口 東川揚口) 石積延長43間	白鳥村名主治右衛門◎ 組頭三右衛門◎ 百姓代勘兵衛◎→三河口太忠 中之条御役所	縦帳	人足合わせて1007人
96	嘉永3年戌	御仕置五人組帳	白鳥村村役人→御代官高木清左衛門 中野御役所	縦帳	半藤金蔵用之 佐藤徳十郎書 55丁
97	近世 年不詳	覚(手習い本)	持主 白鳥村半藤増五良	縦帳	今川了俊の名前あり
98	寛文10年庚戌9月	水内郡白鳥村新開検地帳 元禄8年と明和3年の新田検地帳もあり	検地役人野田徳左衛門ほか	縦帳	3冊合冊
99	明治24年9月	書簡(秋祭りの日時知らせ、帰村誘い)	松野山村橋詰干場口→羽倉富沢政吉方村山作次郎	封書	99から136迄は小さな行李の中にあつた文書
100	明治13年7月	御租税之通	半藤甚兵衛 豊栄村戸長役場◎	横半帳	
101	明治 年不詳	記(馬伏せ場 二か所 往来よりの距離 千曲川までの距離)		横帳	
102	明治 年不詳	夜番人名簿		横半帳	
103	明治39年1月	借地証書(原野)	水内村半藤新十郎→半藤 信	状	
104	明治5年申2月	差出申一札之事(博奕一件)	平滝村名主利右衛門◎ほか→当区 内五か村御名主衆中	状	
105	年不詳	断簡下書き 乍恐書付ヲ御届ケ申上候(神社の件)	平滝村	状	
106	明治22年10月	金円借用書 金2円	水内村月岡惣吉→半藤計十郎	状	
107	明治22年4月	借用金證書 金5円也	水内村の内白鳥月岡よね→半藤新十郎	状	
108	明治20年11月	借用書 金2円	月岡小太良◎	状	
109	明治23年4月	借用証券 金一円四十銭	半藤利作◎→半藤信十郎	罫紙	
110	明治17年9月	旅行証(伊勢神宮その他)	戸長小林三郎兵衛◎→各地戸長役場御中	罫紙綴り	包紙あり
111	明治29年7月	年賦金借用證書 金46円余	半藤甚兵衛◎→小林作之進	罫紙綴り	括当地あり

2 半藤源太郎家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
112	明治9年10月	(高久山神社除地)	用掛小林三郎兵衛→長野権令榑崎寛直 副戸長月岡又右衛門 榑原鎮雄	罫紙	
113	明治23年6月	書簡(半藤はた白鳥学校欠席に付、出席督促状)	下水内郡水内村役場④→半藤甚兵衛	状	封書
114	明治 年不詳	(白鳥村百姓新十郎、農間出稼ぎ罷出相違なし)	副戸長→月岡又右衛門④→熊谷縣管下正副戸長御中	状	封書
115	明治13年11月	書簡(白鳥村百姓新十郎、農間出稼ぎ罷出相違なし)	照里村石田新助→半藤乙吉	切紙	封書
116	明治 年不詳3月	書簡(至急算盤大形口式つ生徒へお買ひくれ下され候様奉願上候也)	豊栄村・北信村戸長役場→半藤甚兵衛	切紙	封書
117	明治21年1月	半藤新十郎廃嫡据置願	半藤甚兵衛④ほか4人連④→長野縣知事 木梨精一郎	罫紙綴り	
118	明治31年	地目変換届(字樋尻 畑、野取図相添え)	地主半藤甚兵衛	罫紙	野取図はなし
119	明治33年3月	地所売渡証書(字樋尻 田五畝)	地所売渡人半藤治右衛門④→半藤甚兵衛	状	売渡代金50円
120	明治20年3月	願書(甚兵衛二女八夕、子守として就学免除願)	半藤甚兵衛	状	
121	明治34年2月	親族会決議書(半藤与左衛門の件)	半藤音吉 半藤新十郎ほか	状	
122	明治35年5月	印鑑証明願 印鑑 半藤与左衛門	水内村半藤与左衛門→水内村長油科仙蔵	罫紙	証明 助役半藤誠治
123	明治 年不詳	借入金証書(金五円 字清水田五畝余)	記入なし	罫紙	返金明治22年11月限り
124	明治34年2月	親族会員選定(後見人、監督人選定の決め)	飯山区裁判所④→半藤与左衛門 平民農月岡三左衛門ほか→飯山区裁判所判事井口速水 裁判所書記丸山象治郎④	罫紙綴り	
125	明治21年12月	就学届(豊栄村半藤甚兵衛長男 半藤与左衛門 簡易白鳥学校)	半藤甚兵衛→豊栄村北信村戸長飯島貴	罫紙	与左衛門明治16年11月生まれ 5年6か月
126	明治39年5月	地所売渡証書(字樋尻 原野四畝 代金拾円)	地所売渡人堺村島田元吉④→水内村半藤与左衛門	罫紙	
127	明治28年2月	証(金円相渡し可申)	水内村月岡儀口④→半藤新十郎	罫紙	
128	明治31年9月	地目変換届(字樋尻 畑、野取図相添え)	地主半藤甚兵衛→松本税務管理局長司税官菊池良	罫紙	118番の文書参照
129	明治17年申3月	(提灯奉納 蒲原郡加治庄菅谷寺本尊不動明王)	白鳥村半藤信重郎	罫紙	11円余
130	明治4年末8月	荒所并起返田畑年季書上扣	白鳥村名主三郎兵衛 組頭又右衛門 百姓代彦左衛門→長野縣御役所	罫紙	荒所反別1町5反余
131	明治10年4月	白鳥村高久山神社高内除地(畑反別3反3畝余)	旧神官小林作馬 用掛小林三郎兵衛 副戸長月岡又右衛門→長野縣権令榑崎寛直	罫紙	
132	明治4年末3月	高久山神社境内坪数(1116坪)	小林出羽→中野縣御役所	罫紙	
133	明治 年不詳	高久山神社領除地(畑反別5反9畝余 高2石)	記載なし	罫紙	地券に付改め出し
134	明治9年9月	高久山神社境内除地収納米(8斗2升2合) 祭日御届(新暦9月11日)	用掛小林三郎兵衛④ 副戸長月岡又右衛門④ほか→長野縣権令榑崎寛直	罫紙綴り	4斗1升1合神官へ配当米
135	明治9年6月	高久山神社祭神(白鳥大明神 諏訪大明神ほか)	小林三郎兵衛ほか→長野縣権令榑崎寛直	罫紙	
136	明治8年2月	村高の内除地(高久山神社領高2石)	村用掛小林三郎兵衛→戸長広瀬鉄三	罫紙	

3 小林弘毅家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
1		小林家系図		巻紙	23×206cm
2		小林家系図		卷子	19.3×420cm

4 油科福夫家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
1	安永7年3月	平瀧村安永新田検地絵図		舗	130×220cm

5 山岸克己家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
1	天保2年7月	納経帳	青倉邑 (島田) 要右衛門	竖帳	

6 島田亨（とおる）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 1	年不詳	連歌状	高尾→島田大君	卷子	蒔絵箱入り「北岡 芳泉洞産製」
A 2	慶長14年酉10月	高橋新三書状（越国より駄賃罷り通り候ハゞ何時なりとも青倉にて相継申すべく候…）	高橋新三（花押）→青倉の次郎右衛門	折紙	漆塗箱入り 高橋新三は飯山の町庄屋高橋新兵衛のことカ
A 3	慶長元年不詳8月	堀丹後守直寄書状（その村にて一番さげのうぼ、何とぞ馳走候て給はるべく候）	丹後守（花押）→大くら村きもいり	折紙	堀直寄の飯山在城は慶長15年から元和2年まで
A 4	昭和22年3月	書状解説文（平泉澄によるA2とA3の解説）	前東京帝国大学文学部国史学科教授平泉澄→所蔵者島田亨	縦紙	2通
A 5	平成元年7月	原稿（当家伝存古文書式通について）	島田亨	原稿用紙	
B ① 1 1	近世年不詳未12月	覚（正酒、並酒一合値段）	醸造仲間→年行司㊟	縦紙	高井水内酒造仲間㊟
B ① 1 2	近世年不詳未10月	覚（正酒、並酒一合値段）	醸造人仲→年行司㊟	縦紙	同上
B ① 1 3	近世年不詳未12月	覚（正酒、並酒一合値段）	醸造仲間→年行司㊟	縦紙	同上 端裏書あり
B ① 1 4	文久3年亥8月	乍恐書付ヲ以奉願上候（相手森村との山論、中尾山並びに日陰平の儀はもともと当村ばかりの持山）	青倉村名主庄左衛門ほか村役人ら㊟→三宅監作中野御役所	縦紙	
B ① 1 5	文久3年亥8月	覚口上（相手森村との山論、同上）	青倉村名主庄左衛門ほか村役人ら㊟→三宅監作中野御役所	縦帳	
B ① 1 6	近世年不詳（文久カ）	乍恐書付を以奉申上候（森村より当村へ相掛り山論、扱人前坂村宗右衛門・柏尾村長八郎ら）	記載なし	綴じ帳	写し 7枚綴り
B ① 1 7	文久3年亥8月	寛政四年子正月、用水御普請出来形帳（字青倉沢川下大堰、用水高83石余、掘割長さ94間、人足988人、その他…右の通り御座候）	青倉村名主庄左衛門ほか村役人ら㊟→中野御役所	縦帳	寛政4年の出来形帳（青倉村名主庄右衛門ら村役人→三河口大忠中之条御役所）写し
B ① 1 8	文久3年7月～元治元年	諸状綴り（森村との山論書付、日記）	記載なし（青倉村庄右衛門の書付カ）	綴じ帳	子年5月、代官小川達太郎様に引き替り
B ① 1 9	元治元年子4月	森村御林伐木一件二付日記帳	青倉村組頭庄右衛門	綴じ帳	扣え
B ① 1 10	近世年不詳（文久、元治カ）	森村・青倉村山論之一件（私儀、粗々見聞之次第、御内々申し上げ候）	青倉村庄右衛門	3枚綴り	扣え（御元締大塚康作様江戸お詰め付、江戸役所へ罷り出お願い）
B ① 1 11	慶応元年丑11月	文政年中山手米一件之日記書（森村より当村へ相掛り山論、森村より山手米願い上げ候一件）	青倉村庄右衛門	綴じ帳	乍恐書付を以奉申上候（青倉村名主半兵衛ほか村役人ら㊟→松本直一郎様中野御役所）
B ① 1 12	文久3年亥3月	山論二付中野出勤入用小夫覚帳	青倉村庄右衛門	横半帳	挟み込んだ切紙あり
B ① 1 13	文久3年亥3月	森村一件二付諸入用日記	青倉村庄右衛門	横半帳	
B ① 1 14	文久3年6月～慶応元年12月	山論一件二付御見分組合名主方泊り雑用覚帳	宿庄右衛門	横帳	途中に「江戸御役人御泊り入用」の記載あり【慶応元年、森村から青倉村に50両を支払い、永代借り山にすることで一連の山論は決着を見た（栄村史水内編108頁）】
B ① 1 15	文久4子年	〈山論一件〉日記泊手間帳（亥年中野出勤9月14日迄㊟43人、10月㊟19人、11、12月㊟25人、㊟87人。子年、丑年中野出勤を含め惣㊟335人半）	庄右衛門	横半帳	扣え 個人別中野出勤日数記載あり
B ① 1 16	元治2年丑3月	森村青倉村山論二付御高調方参り候始末留（扱人前坂村宗右衛門・柏尾村長八郎両人にて罷り越し候始末）	柏尾村長八郎	横帳	庄右衛門持ち 宗右衛門と長八郎は組合取締役
B ① 1 17	文久4子年3月	御林1件二付諸入用日記（小以㊟金11両3分余）	組頭庄右衛門	横半帳	扣え
B ① 1 18	慶応元年11月	当丑郡中割并二村々人足割宿方助人足割書控	記載なし	横帳	高木様・綿貴様先触れ
B ① 1 19	近世年不詳	（村人個人別本数書上げ）	記載なし	横帳	半本から4本（品不明）
B ① 1 20	天保9年戌3月	覚（酒造書上扣 酒造人庄右衛門 酒造米高50石 近年違作に付、3分の2減米、3分の1造米）	名主庄右衛門、与頭勘右衛門、百姓代長八→平岡文次郎 御手代村田道四郎	2枚綴り	
B ① 1 21	近世年不詳（文久、元治カ）	乍恐書付を以奉申上候（森村より当村へ相掛り山論一件、嚴重御吟味奉願上候）	記載なし	4枚綴り	下書き

6 島田亨（とおる）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
B ① 1 22	天保8年酉10月	差上申一札之事（酒造人庄右衛門 酒造米高50石 近年違作に付、3分の2減米、3分の1造米 承知請け書）	青倉村名主庄右衛門、与頭勘右衛門、百姓代八郎右衛門→脇野町御役所	縦紙	下書き
B ① 1 23	近世年不詳	（青倉村内御林一カ所内の木数書上げぶな 目通り別本数）	記載なし	縦紙	
B ① 1 24	天保9年戌2月	（此度 酒造御改御虚越しなられ候に付）	記載なし	縦紙	下書き
B ① 1 25	宝暦7年丑2月	覚（切開田畑反別18町余）	青倉村村役人→天野助治郎 御役所	縦紙	下書き
B ① 1 26	文久3年亥8月	御水帳通書印（明和3年今井平三郎様御検地 安永8年万年一重郎様御検地）	青倉村名主庄左衛門ほか①→中野御役所	縦紙	※この年、名主は庄左衛門で組頭は庄右衛門であることに留意。
B ① 1 27	文久3年亥8月	覚（明和3年新田検地帳写 安永8年同前写 寛政2年刳出土橋御普請目論見帳写 寛政4年用水普請出来形帳写 安永7年田畑地引絵図 文久2年山論日延為取替書）	青倉村名主庄左衛門①組頭庄右衛門①百姓代長八①→三宅監作中野御役所	縦紙	
B ① 1 28	文久3年亥8月	一札（青倉村と森村境目儀、中尾山の儀）	青倉村名主庄左衛門①ほか①→中野御役所	縦紙	享保16年8月文書（森村名主新左衛門ほか→青倉村名主佐五兵衛殿）の写しを添付
B ① 1 29	宝暦6年子3月	差上申一札之事（当村切り開き地の儀）	名主庄之丞①組頭五右衛門①百姓代勘兵衛①→平岡文次郎 御役所	縦紙	
B ① 1 30	明和5年子8月	和談證文之事（高取混乱仕り、村両組引き別り出入りに及び申し候 名主、組頭の儀は仲組・北組一年番にあい定め）	名主藤左衛門①ほか組頭、百姓代①→御役所	縦紙	村方出入り 惣百姓91人（うち今家8人横倉22人）の署名押印あり
B ① 1 31	享保16年8月	一札（青倉村と森村境目儀）	森村名主新左衛門ほか→青倉村名主佐五兵衛	縦紙	写し 28番の文書と関連
B ① 1 32	万延元年申10月	奉差上御請證文之事（関東筋出水等に米価値上がり酒造制限）	青倉村酒造人庄右衛門、名主庄左衛門→木村薫平 中野御役所	縦紙	
B ① 1 33	宝暦7年丑2月	覚（切開田畑反別18町余）	青倉村名主庄之丞ほか村役人①→天野助治郎 御役所	縦紙	下書き 田4反畑18町
B ① 1 34	近世年不詳（弘化4年カ）	乍恐以書付奉願上候（当末3月24日、森村の義、大地震にて用水路大破に及び田方植え付け出来かね候、御公儀様御入用を以て御普請願ひ奉り候）	記載なし	縦紙	下書き 善光寺地震 端裏書「弘化四年六月、中之条川上金吾助様御役所」
B ① 1 35	宝暦4年戌10月	乍恐以書付奉願上候（此度、見取田畑御高入れ改めに付、高入れ無きように願ひ上げ候）	森村名主与右衛門ほか村役人→中野御役所	縦紙	端裏書「見取御改書上扣へ」
B ① 1 36	弘化4年末5月	乍恐以書付奉申上候（森村の義、大地震にて用水路大破に及び、用水路仮普請と唱え新堰ひき、古堰御普請願ひ上げ候事は、青倉村田方植え付け出来かね候）	青倉村名主勘右衛門ほか村役人→中之条御役所	縦紙	御普請御役人佐藤藤次郎様
B ① 1 37	明和2年酉2月	御届付奉申上候（御林反別 木数 目通りほか）	青倉村村役人→今井平三郎 御役所	縦紙	端一部破損
B ① 1 38	宝暦13年末10月	（鮭川）譲り渡申證文之事（鮭御運上場 名所前川）	森村川譲り渡主長右衛門①名主、組頭①→青倉村庄之丞	縦紙	宝暦7年の質地証文もあり、包紙に「森村より千吉方へ譲り証文 大切の品」とあり
B ① 1 39	近世年不詳（元禄16年カ）	森村訴状之返答 乍恐以書付申上候（青倉村土地堂明山、中尾山の義、古来より青倉山に紛れ御座なく候）	記載なし（青倉村で作成飯山藩へ差し出したものカ）	縦紙	一部破損
B ① 1 40	元禄16年末4月	[]以上書返[]（堂明、中尾の義、古来より青倉山に紛れ御座なく候 去年7月堂明・中尾切畑致し、薪などまで切置き…森村庄屋方へ断り申し候所に我儘なること申しちらし）	記載なし（青倉村で作成飯山藩へ差し出したものカ）	縦紙	破損あり 39番の文書と一連 「新にうに火をかけ 強勢なる働き」「外谷久兵衛・川合喜平次代官の名前あり」
B ① 1 41	近世年不詳	山の測量絵図		切紙	粗略図4枚
B ① 1 42	近世年不詳丑12月	差し紙（新規山手米之儀二付、書類持参で中之条役所へ出頭）	太原四郎右衛門中之条御役所	折紙	
B ① 1 43	近世年不詳	包紙（山論の節、継印森村より受取候一札無御座故…）			包紙のみ
B ① 2	明治14年～26年	借用金証書	借主→貸主青倉村嶋田丑三郎	縦紙	包み紙に「取り消し証文にて不用ノ分ナリ」と記載あり」20通

6 島田亨（とおる）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
B ① 3	天保3年～文政13年	庄右衛門発起宿頼母子証文	借主→貸主青倉村嶋庄右衛門	縦紙	包み紙に「庄右衛門発起宿頼母子ノ証文」と記載あり」24通
B ① 4	明治12年～31年	借用金証書	借主→貸主青倉村嶋田丑三郎	縦紙	束 34通
B ① 5	明治27年～大正2年	借用金証書（居村）	借主→貸主青倉村嶋田丑三郎	縦紙	袋入り
B ① 6 1	文政8年～明治16年	金子借用証文	借主→貸主青倉村嶋庄右衛門ほか	縦紙	袋に「請け返しノ分二而不用之分」と記載あり
B ① 6 2	明治18年	箕作村常慶院江寄附地ノ書類（永代院号免口）	滝沢雲秀◎→島田丑三郎◎	縦紙	仏供料として、先祖累代回向料として金40円寄付
B ① 7	明治34年～40年	証書分	島田丑三郎→足立市左衛門	縦紙	
B ① 8	明治29年	地所売渡証 建物売渡証	島田茂→島田丑三郎	縦紙	
B ① 9	明治41年	酒造税領収証 諸色領収証	島田丑三郎宛	郵便封筒	
B ① 10	明治22年	借用証書 志久見分 塩尻文	島田丑三郎宛	縦紙	5通
B ① 11 1	近代年不詳	不用証文 手紙 領収証		縦紙	
B ① 11 2	明治44年5月	委任状（貸金請求訴訟事件）	水内郡岡山村小田切宇一郎◎→島田みね	縦紙	2通
B ① 11 3	明治41年6月	米預り証書（玄米50俵）	水内村廣瀬常蔵◎→島田丑三郎	縦紙	1俵4斗2升入り
B ① 11 4	明治33年3月	契約証書（山林買受）	青倉島田菊太郎ほか16人連◎	2枚綴り	
B ① 11 5	明治29年4月	借用金証文（博愛講ほか）	中魚沼郡赤崎村保坂信雅◎→水内村島田丑三郎	綴り	5通
B ① 11 6	明治32年	証明書（宅地契約 木造木羽葺き二階家）	宮ノ原村湯屋営業吉楽政五郎	綴り	
B ① 11 7	明治2年巳11月	乍恐以書付内済御聞濟奉願上（越後信濃両国境標木御取建之義二付 野々海は西大滝村の用水源、大切の水の尾、峠道は菅蒲村と白鳥村への往来道）	西大滝村名主三郎右衛門、白鳥村名主新八ほか→中野御役所	縦紙2枚綴り	
B ① 11 8	明治30年12月	建家売渡証	売渡人島田丑三郎◎	綴り	
B ① 11 9	明治41年8月	互換証書	藤村吉楽政一◎島田丑三郎	綴り	
B ① 12	明治29年2月	森廣瀬信へ貸金訴訟事件ノ書類	島田丑三郎	束	
B ① 13	明治28年	廿八年度分売渡証 質地証	島田善助◎ ほか9人→島田丑三郎	束	12通
B ① 14	年不詳	（フシ紙の束）		束	
B ① 15	明治24年	杉ノ木槻ノ木大石買受書証入（大石は広瀬喜三郎家から買取）	水内村字北信桜沢又左衛門◎ほか4人→島田丑三郎	束	包み紙に「杉ノ木槻ノ木大石」と記載あり
B ① 16	明治43年	青倉島田彦太郎へ貸金証文抹消書類	島田丑三郎◎→堺村島田喜太郎	封書	封の中に5通
B ① 17	近代年不詳	（空封筒「記念切手」）		郵便封筒	中身なし
B ① 18 1	明治36年8月	預り証（麻生田神社書類）	青倉島田丑三郎◎→太田村麻生田足立市左衛門	郵便封筒	中野税務署の封の中に2通
B ① 18 2	明治44年9月	死亡埋葬認許証（死亡者島田莊右衛門）	東京市浅草区長新居友三郎◎→島田庄左衛門	縦紙	
B ① 19	明治41年7月	国有林払下出願書類（売払願書取下願・契約書・不用存置国有林売払願ほか）	水内村島田丑三郎◎→長野大林区所長事務官戸澤重見	縦紙	10通一括袋入り
B ① 20	天保2年～明治5年	流地田畑質地証文（本村/今泉/横倉分）	各人→村庄右衛門	縦紙	32通一括袋入り
B ① 21 1	天明期ほか	古証文不用之分（屋敷質入・畑質入・質売田地・年賦金借用ほか）	各人→村庄右衛門	縦紙	41通一括袋入り
B ① 21 2	安永8年亥6月	預り申祠堂金支（金9両、毎年1両2分返済）	青倉村かり主弥兵衛◎→稻荷山元亨	縦紙	
B ① 21 3	慶応元年丑閏5月	乍恐以書付奉願上候（近年御公儀様莫大の御用途筋）	桑名川村 青倉村名主→御代官小川達太郎 御役所	縦紙	
B ① 21 4	文政13年寅6月	借用申金子之事（金50両）	箕作村借主三左衛門◎→越後国上野村津右衛門	縦紙	字小箕作稲田400束刈り
B ① 21 5	慶応4年辰6月	差入申一札之事（心得違ひにて染木綿、めんば隠し置き候処）	青倉村福松◎→庄右衛門	縦紙	2通あり 年号はママ 福松爪印
B ① 21 6	近世年不詳	差入申書付之事（平滝村吉五郎弟半右衛門義、身持ち不埒にて度々欠落ち致し）	平滝村吉五郎◎→青倉村おりや	縦紙	「りや」は半右衛門の女房
B ① 21 7	文久2年戌4月	差出し申一札之事（拙者新田致したく候得共、かけ水不足に付）	青倉村庄左衛門◎→庄右衛門 越後上野村津右衛門	縦紙	
B ① 21 8	文政12年丑4月	書附一札之事（貴殿へ対し段々心得違ひ仕り申し訳なく）	横倉長蔵◎親類連◎→庄右衛門	縦紙	心得違ひの内容は不明

6 島田亨（とおる）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
B ① 21 9	文政10年亥9月	差出申一札之事（私儀、西大滝村太左衛門殿より先年借錢これ有り候処、長々打ち捨て）	横倉近右衛門⑨親類連⑨	縦紙	宛人なし
B ① 21 10	明治3年午8月	乍恐以書付奉申上候（青倉村庄右衛門、小前難渋の者へ助施米1俵）	森村名主鉄蔵⑨→伊那縣中野御役所	縦紙	森村継立会所の印使用
B ① 21 11	享和3年亥5月	一札之事（惣右衛門、出生等知れざる者を留め置き不届きに付、侘び状）	青倉村惣右衛門⑨ほか→村役人中	縦紙	
B ① 21 12	安永4年末11月	田畑預り證文之事（1石8斗余）	青倉村藤八→同村珉良坊	縦紙	
B ① 21 13	近世年不詳寅6月	をぼえ（売渡し品物代金）	弥兵衛⑨→藤八	切紙	
B ① 21 14	明和4年亥10月	乍恐以書付御願申上候（名主替え御願申し上げ…当御年貢金私方へ納め難き旨申す者、庄之丞・市右衛門ら頭取ほか百姓40人程、御年貢相滞り候二付、是非なく残り百姓方にて委細取り立て…私儀名主役相勤め兼ねは甚だ難儀至極）	願人名主藤左衛門ほか村役人→嶋隼人 西条御役所	縦紙	西条役所（長野市） 支配下時代 桑名川村名主伝助登 場
B ① 21 15	明和6年丑8月	田畑相改申候二付一札之事（当村小七・新右衛門より庄之丞相手取り出入り、中野郷宿衆3人の取り扱いにて和談内済）	青倉村92人連印→名主藤左衛門ほか、横倉・今泉長百姓	縦紙	下書き
B ① 21 16	寛政2年戌7月	乍恐書付を以奉申上候（山川崩れにて荒地籠り成り、中之条御役所へ御訴え申し出御聞き済み下され…往来牛馬通路相成り申さず候）	青倉村名主藤八→92人連印	縦紙	
B ① 22	明治13年10月	旧白鳥村信十郎事件書（質地取戻し訴訟関係）	北信村島田丑三郎⑨	縦紙等	関係書類一括袋入り一部写し
B ① 23 1	明治32年5月	無記名軍人公債証明書ほか		綴り	関係書類一括袋入り一部写し
B ① 23 2	明治年不詳4月	手紙（別紙の金20円入用相成り困り入り御貸し下された度）	島田三左衛門→島田口介 富吉	切紙	
B ① 23 3	近代年不詳	手紙（金銭借用依頼ほか）	各人→嶋田丑三郎宛	切紙	8通一括
B ① 24	明治30年代	借用證文ほか	嶋田丑三郎→各人宛	縦紙	受取30通 頼母子講3通 一括束
B ① 25 1	安政5年正月	年賦金證文之事（ほかに明治期借用證文）	借用人割野新田政右衛門⑨→青倉村庄右衛門	縦紙	11通一括袋入り
B ① 25 2	明治初期	借用申金子之事等	柏尾村阿藤長八郎⑨→青倉村嶋田庄右衛門	縦紙	5通
B ① 25 3	明治年不詳6月	手紙（借用金の件）	嶋田東治郎→嶋田丑三郎 島田庄右衛門	切紙	
B ① 26	幕末～明治	田畑質地證文平滝分	各人→庄右衛門宛ほか	縦紙	2包都合45通
B ① 27 1	明治31年～同40年	（明治期借用証文類）	各人→嶋田丑三郎宛	縦紙	38通 島田菊太郎宛の封筒1通
B ① 27 2	明治42年1月	地所売渡證書（畑2円50銭）	中魚沼郡上郷村大字宮野原半戸馬蔵⑨→水内村廣瀬信	縦紙	下書き
B ① 27 3	明治37年2月	小羽板預り証書（玄米一俵借り、抵当大極上小羽板6駄）	水内村横倉小口寅吉⑨→島田丑三郎	罫紙	
B ① 27 4	明治42年1月	念書（宮野原半戸馬蔵より廣瀬信への土地売渡に関する）	預り人廣瀬藤三郎⑨→廣瀬善左衛門	縦紙	No.27の2文書と関連
B ① 28	元治元年子11月	借用証書	月岡村金子借用人文左衛門⑨→青倉村庄右衛門	縦紙	慶応2年の借用証書と島田三左衛門から丑三郎宛の手紙もあり
B ① 29	明治30年代	念書 詫書（宮野原半戸馬蔵より廣瀬信への土地売渡に関する）	横倉渡辺万吉⑨→島田丑三郎	縦紙	念書6通 詫書1通 包み束
B ① 30	明治22年5月	耕地小作証文 塩尻村分	堺村塩尻 鈴木与彦右衛門⑨→島田丑三郎代理島田富吉	罫紙	4通
B ① 31	明治17年6月	堺村算作組口口繁右衛門事件書類	原告島田菊太郎	罫紙	関係書類一括袋入り
B ① 32	明治35年12月	太田村足立氏酒造関係書類	島田丑三郎→太田村足立市左衛門	縦紙	関係書類8通一括袋入り
B ① 33	年不詳	（和紙）		縦紙	1枚
B ① 34 1	明治14年～23年	酒造御鑑札（島田家の酒造免許税金30円領収書ほか） 種御鑑札	下水内郡長丸山英一郎代理⑨→島田丑三郎	罫紙	明治19年の水車鑑札（郡役所の押焼印）もあり
B ① 34 2	明治19年10月	学校費納入書（金7円96銭余）	豊栄村 北信村戸長役場⑨→惣代島田丑三郎	罫紙	
B ① 35	明治年不詳	（替地書類等）		切紙	4通
B ① 36	明治26年5月	公債証書借用証（350円 抵当田畑反別二町歩余 返済期限27年4月）	借用人嶋田丑三郎⑨→平野村山田庄左衛門	縦帳	飯山区裁判所生虫出張所の押印あり

6 島田亨（とおる）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
B ① 37	明治21年11月	酒貸金借用証入袋	中魚沼郡芦ヶ崎村金子借用人小嶋又八 [㊟] →嶋田丑三郎不在代理 富士	竪紙	袋入り2通（1通は長瀬の齊藤彦右衛門分）
B ① 38	明治26年	嶋田三左衛門と地所売買証文	嶋田丑三郎	竪紙	扣・写し束
B ① 39	明治7年12月	大区会所へ貸金願出候時の済口証文（北原組・平滝組分）	原告人嶋田勇作・廣瀬鉄三ら→御会所	竪紙	封筒入り6通
B ① 40	年不詳幕末期	当時不用分古水入証書（請作・小作証文） 文久元年田地請作水入証文事 平滝村小作人作之丞 [㊟] →青倉村庄右衛門殿 田地粗数4俵半取 此小作米1俵	平滝村・北原村百姓各人→青倉村庄右衛門	竪紙	封筒入り2口合せて17通
B ① 41 1	明治31年	土地売渡証文	嶋田丑三郎	竪紙	5通
B ① 41 2	明治31年	旧県道敷不用土地払下願書類	嶋田丑三郎→長野県知事権藤貴	竪紙	1束
B ① 42	明治23年～34年	借用証券（借入金延期証書 小作水入証書）白鳥分	嶋田丑三郎	竪紙	1束14通
B ① 43 1	天保4年巳12月	乍恐書付を以奉願上候（酒造入用之書付）	白鳥村ほか→脇野町御役所	竪紙	包み紙あり
B ① 43 2	近世年不詳	乍恐書付以奉願上候（越後国境とりわけ深雪の場所、米穀融通一切これなく、天明2年同様大勢の百姓路頭に迷い）	白鳥村ほか→脇野町御役所	竪紙	下書き
B ① 43 3	文化11年戌5月	乍恐書付ヲ以御届ヶ奉申上候（早稲、中稲、晩稲の植付け完了届）	青倉村名主利左衛門ほか村役人→中野御役所	竪紙	
B ① 43 4	天保5年丑正月	差上申一札之事（違作に付上納難儀）	高い郡23ヶ村名主惣代和栗村長助、水内郡5ヶ村名主惣代西大滝村三郎右衛門→脇野町御代	竪紙	
B ① 43 5	近世年不詳	巳御年貢皆済目録	青倉村	竪紙	後部欠損
B ① 43 6	近世年不詳（天保期カ）	乍恐以書付奉願上候（支配役所迄道のり遠路、御用向きは惣代の者一判にて御済まし下さるよう）	青倉村など水内郡5ヶ村→脇野町御役所	竪紙	下書き
B ① 43 7	天保6年末2月	誤一札申上候（伝馬御普請用水に差し障り、村役人御吟味仰せ付けられ）	青倉村あやまり人吉郎右衛門 [㊟] 親類7人 [㊟] →五人組衆中、村役人	竪紙	
B ① 43 8	天保5年午4月	乍恐以書付奉願上候（質屋稼ぎ仕り度願い上げ）	桑名川村稼人伴介ほか→脇野町御役所	竪紙	下書き
B ① 43 9	（天保5年）午5月	覚（郡中割金領収書）	脇野町会所 [㊟] →水内郡惣代衆中	竪紙	2通
B ① 44	文政7年～明治14年	頼母子金・小作証文等	嶋田丑三郎宛	竪紙	9通
B ① 45	明治31年7月	大井平村保坂寅松氏借財改革帳諸事記写		横半帳	
B ① 46	明治カ	記月給（金口円）		横半帳	
B ① 47	明治12年卯8月	伊勢参宮二付泊り雑用記帳（8月30日出立 上境村茶屋 飯山町 田上 観世音 松代町泊り 長久保村泊り 和田峠茶屋 春宮秋宮 下諏訪泊り 洗馬町茶屋 敷原泊り 寝覚橋場茶屋 …以下つづく）	嶋田方作 江口又三 広瀬五郎 左衛門 渡辺孫二右衛門 ㊟4人	横半帳	伊勢では松井左太夫と糺すべし
B ① 48	大正4年、同7年	庄一郎誕生祝儀帳 嶋田伸六香典帳		横帳	2冊
B ① 49	明治年不詳	（耕地別地価・地租金額書上帳）		横帳	
B ① 50	明治29年6月	（保坂氏宛貸金書類）	大井平保坂氏→嶋田丑三郎	竪紙	1束
B ② 1	明治8年 明治18年	抱持反別地価帳（平滝村所持地名寄ほか）	嶋田丑三郎 嶋田勇作	横半帳	厚紙箱入り3冊
B ② 2	明治24年1月	通信省郵便貯金通帳（水内銀行戸狩支店）	嶋田ヤス	竪半帳	当座預金通帳2冊
B ③ 1	安政5年ほか	勘定目録（酒造米代金取替ほか）	大井平村綿屋又兵衛 [㊟] →庄右衛門	横半帳	9冊
B ③ 2	弘化3年ほか	覚（金銭 米糶貸借関係）	箕作村三左衛門 [㊟] →青倉村伊右衛門	切紙	37通
B ③ 3	幕末年不詳	覚（酒造貸株冥加永上納受取）	増田安兵衛役所→青倉村稼人庄右衛門	切紙	14通
B ③ 4	幕末年不詳	手紙（借方の利息勘定）	北原村庄右衛門→青倉村嶋田庄右衛門	切紙	1束15通 大井平村保坂又兵衛の名前あり
B ③ 5	明治14年12月	自飲醸造御届（濁酒1石）	北信村嶋田丑三郎 [㊟] 戸長代理江口又蔵 [㊟] →下水内郡長生玄誠	竪紙	「酒造営業人ではない者に限り許可するため、書類は返却する」との朱書きあり
C ① 1	明治35年5月	長女多子婚姻祝儀受納帳 婿入祝儀来客献立諸事扣		横半帳	2冊綴り

6 島田亨（とおる）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C ① 2	明治34年9月	長子た子結納受納諸事覚帳	島田丑三郎	横半帳	
C ① 3	明治18年3月	明治8年改正地券證扣（旧白鳥組抱持地）	島田勇作	縦帳	
C ① 4	明治13年5月	新開田地間数調帳（今泉 小牧 姥久保 北山田）	嶋田丑三郎	縦帳	2冊
C ① 5	明治18年10月	地目変換取調絵図扣（丈量誤謬 脱落地ほか）	嶋田丑三郎	縦帳	
C ① 6	明治21年3月	開墾田価調帳	島田重兵衛→長野県知事木梨精一郎	罫紙	2枚綴じ
C ① 7	明治30年度より	金銭貸付業及び課税標準届書扣（酒造場地所建物図面）	島田丑三郎→松本税務管理局长磯貝信行	罫紙	紙袋入り
C ① 8	明治10年代	地所元地主江壳渡証之扣帳	嶋田	縦帳	
C ① 9	明治19年6月	塩尻組田畑丈量取帳	北信村島田丑三郎	縦帳	
C ① 10	明治13年3月	明治8年改正反別地価帳扣（旧平滝組分）	嶋田勇作	縦帳	
C ① 11	明治13年3月	明治8年改正反別地価帳扣（旧森組分）	嶋田勇作	縦帳	
C ① 12	明治不詳	記（林畑、田の一覧）	島田勇作	縦紙綴	
C ① 13	明治不詳	（旧塩尻組字切図）	島田丑三郎㊟	縦紙綴	
C ① 14	明治29年3月	地目変換届（字滝下）	島田丑三郎㊟→長野県知事高崎親章	縦紙綴	
C ① 15	明治年不詳亥年2月	（地券證渡し証文）	平滝村油品庄左衛門→青倉村嶋田勇作	罫紙	
C ① 16	明治13年11月	地所売買二付地券書換願	壳渡人上倉茂右衛門、買受人島田丑三郎→下水内郡長足立誠	縦紙	3通
C ① 17	明治10年12月	家督相続二付地券書換願	島田勇作亡き跡相続人島田丑三郎→下高井郡長松尾重美	縦紙綴	
C ① 18	明治29年3月	地目変換届（字滝下）	八等地主島田丑三郎→長野県知事高梨親章	罫紙	2枚綴 下水内郡長廣瀬善左衛門
C ① 19	明治8年4月	（地券預り状）	平滝村用掛桜沢藤之助㊟→青倉村嶋田勇作	縦紙	
C ① 20	明治年不詳	変換図控（持主各人）		縦帳	
C ① 21	明治19年3月	下高井郡役所へ堺村質地届扣 堺戸長役場へ畦畔記入願書扣その他		罫紙縦帳	挟み込みの壳渡證書あり
C ① 22	明治29年2月	土地分筆届	地主島田丑三郎→長野県知事高梨親章	罫紙縦帳	
C ① 23	明治年不詳	田畑字別反別		縦紙	2枚
C ① 24	明治6年7月	地券取調小前書上帳之下	平滝抱持嶋田勇作	縦帳	挟み込みの諸帳面あり
C ① 25	明治24年5月	分筆反別地価更生願	地主島田丑三郎→長野県知事浅田徳則	罫紙綴	
C ② 1	近世年不詳酉11月	覚（夫銭 名主給判代 初納金ほか）	白鳥村名主三郎兵衛㊟→青倉村庄右衛門	切紙	
C ② 2	近世年不詳酉3月	覚（金子受取）	青倉村庄右衛門→平滝村大和正	切紙	
C ② 3	元治元年12月	覚（金子受取）	桑名川伊右衛門代→青倉村庄右衛門	切紙	
C ② 4	近世年不詳亥10月	覚（金子受取）	大井平村彦右衛門㊟→青倉酒屋	切紙	
C ② 5	近世ヵ年不詳酉4月	覚（金子受取）	十日町鍛冶屋金右衛門→青倉嶋田庄右衛門	切紙	
C ② 6	近世ヵ年不詳	引き札（萬金物卸所）	高田鍋屋町御鑄物師山岸九郎三郎店	切紙	
C ② 7	安政6年末10月	金子預り申證文之事（金15両）	青倉村■〈破れ〉→重左衛門	縦紙	
C ② 8	弘化2年	さけ川（まい川 のけま 横倉 北原）		横帳	
C ② 9	明治10年1月	記（小作金5円余勘定）	青倉村勇作㊟→箕作村三右衛門	切紙	
C ② 10	万延元年申4月	覚（金利米證文之事）		切紙	
C ② 11	近世年不詳亥11月	覚（金27両3分来年まで貸し）	森与右衛門㊟→青倉庄左衛門	切紙	
C ② 12	近世年不詳申11月	覚（年貢二納金子払い）	大井平村又兵衛㊟→青倉村名主庄左衛門	切紙	
C ② 13	万延2年酉2月	目録（御年貢小役金皆済 初納 二納 三納）	名主庄左衛門㊟→銀右衛門	切紙	
C ② 14	近世年不詳	覚（金子書上）		切紙	
C ② 15	近世年不詳申5月	（頼母子興行仕り候間）	宮野原村宿六郎左衛門	切紙	
C ② 16	近世幕末年不詳申5月	覚（小作金皆済目録）	青倉村庄右衛門㊟→白鳥村源之助	切紙	嘉永4年、安政4年分
C ② 17	文政13年寅2月	御関所通行手形（和田主馬支配所信濃国水内郡青倉村庄庄右衛門儀、此度右在所江籠り帰り…）	和田主馬手附奥野官次㊟→碓氷御関所御当番中	切紙	包紙あり

6 島田亨(とおる)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C ② 18	近世年不詳申10月	覚(代金39両余書上)	大井平村保坂→青倉庄右衛門	切紙	
C ② 19	嘉永6年6月	覚(家造り金受取書)	箕作村亀七→青倉村庄右衛門	切紙	
C ② 20	近世年不詳亥10月	覚(代金50両余書上)	大井平村保坂→青酒蔵	切紙	
C ② 21	近世年不詳酉6月	覚(代金10両受取証)	大井平村保坂→青倉嶋田	切紙	3通
C ② 22	近世年不詳亥4月	覚(代金30両受取証)	大井平村綿屋吉右衛門→青倉村庄右衛門	切紙	
C ② 23	文久元年酉5月	覚(1両1分受取)	青倉村庄右衛門→白鳥村源之助	切紙	
C ② 24	近世年不詳子4月	覚(代金7両余受取)	箕作村三左衛門→青倉村庄右衛門	切紙	
C ② 25	近世年不詳辰12月	目録(御年貢小役金皆済三納皆済)	初納 二納 名主又蔵→庄右衛門	切紙	庄右衛門高22石8斗余
C ② 26	明治年不詳4月	記(25日分薬調合代金阿蘭陀花粉)	天 廣沢邑正作→北口村嶋田	切紙	
C ② 27	近世年不詳子6月	記(元利金9両3分余)	森村松之助	切紙	
C ② 28	近世年不詳酉4月	覚(代金10両受取)	大井平村綿屋又兵衛→青倉村巳龍屋庄右衛門	切紙	大井平村綿屋保坂又兵衛(又平)
C ② 29	明治12年6月	記(金1円受取)	保坂又平→嶋田勇作	切紙	
C ② 30	近世年不詳申6月	覚(献金5両受取)	西大瀧村三郎右衛門→青倉村庄右衛門	切紙	
C ② 31	文久2年戌4月	覚(代金10両受取)	大井平村又兵衛→青倉村庄右衛門	切紙	宿頼母子
C ② 32	明治年不詳6月	記(金30円受取)	大井平村保坂→青倉村嶋田	切紙	
C ② 33	近世年不詳	手紙(此度御年貢金過急皆済に相成り、金子差支え当惑仕り候、何卒25両借用仕りたく)	大井平村保坂吉蔵→青倉村嶋田庄右衛門	切紙	
C ② 34	明治年不詳6月	手紙(借用金願い…米100俵買付け、内金20円相渡し、100円この者椎谷馬市に入用)	白鳥月岡又右衛門→青倉嶋田勇作	切紙	この者は浦田村佐藤源八なる者
C ② 35	明治8年6月	記(西冬米5俵の金銭ほか×18円余)	大井平村保坂吉蔵→青倉村嶋田勇作	切紙	
C ② 36	明治11年6月	餅米買仕切(餅米売極証)	越後国菖蒲村・仁上村・浦田村の各人→月岡又右衛門	縦紙	包紙あり3通
C ② 37	明治年不詳4月	手紙(商用二付80円是非今日中に入用、借用仕り度)	月岡又右衛門→北信村嶋田勇作	切紙	
C ② 38	安政4年巳12月	覚(御貸株酒造冥加永請取手形)	金1分 今川要作手付服部泰作→稼人庄右衛門	切紙	酒造関係
C ② 39	近世年不詳	覚(諸経費)	渋湯丸や万作→庄右衛門	切紙	
C ② 40	近世年不詳	覚(米182俵代金50両)	大井平村保坂又兵衛・吉右衛門→青倉庄右衛門	切紙	
C ② 41	明治年不詳	手紙(商用二付60円此者に拝借仕り度)	月岡又右衛門→青倉村嶋田勇作	切紙	
C ② 42	近世カ年不詳申2月	覚(小作米代金15両余)	青倉村勇作→中子村卯右衛門	切紙	
C ② 43	明治12年卯2月	記(米代金)	天水嶋村高橋三吉→嶋田勇作	切紙	
C ② 44	明治8年6月	記(代金受取)	大井平村保坂又平→青倉村嶋田勇作	切紙	
C ② 45	近世年不詳4月	覚(金66両ほか)	大井平村吉右衛門→庄右衛門	切紙	
C ② 46	近世年不詳亥10月	覚(米40俵代金20両余受取)	大井平村綿屋又兵衛→巳瀧屋庄右衛門	切紙	
C ② 47	明治12年6月	手紙(駄賃値上げ改正)	はりま屋藤蔵→嶋田庄右衛門	切紙	
C ② 48	近世年不詳子11月	覚(金5両貸し)	森村口右衛門→青倉庄右衛門	切紙	
C ② 49	近世年不詳戌10月	覚(米142俵余代金55両)	大井平村甚右衛門・吉右衛門→青倉村庄右衛門	切紙	酒造関係
C ② 50	近世年不詳酉4月	覚(代金5両渡し)	宿三郎右衛門→新左衛門	切紙	
C ② 51	近世年不詳申4月	覚(代金受取)	謙輔→島田	切紙	
C ② 52	近世近代年不詳	断簡		切紙	10通一括包み紙入り
C ③ 1	明治42年10月	婚礼諸事控		横帳	
C ③ 2	大正8年4月	婚礼諸事雑記帳		横帳	
C ③ 3	文久元年酉7月 明治2年巳2月	香資帳(庄右衛門母76歳) 法事見舞入用覚帳	嶋田庄右衛門	横帳	
C ③ 4	明治22年1月	借用證文写帳 居村分	嶋田丑三郎	横帳	
C ③ 5	明治22年2月	借用證文写帳 外村分	嶋田丑三郎	横帳	
C ③ 6	嘉永4年亥正月	質地利米證文扣帳		横帳	
C ③ 7	明治22年丑1月	質地證文写帳	嶋田丑三郎	横帳	

6 島田亨（とおる）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C ③ 8	明治22年丑1月	利米證文写帳	嶋田丑三郎	横帳	
C ③ 9	明治14年～38年	酒造諸入用記帳	嶋田丑三郎	横帳	
C ③ 10	明治32年8月	五拾回忌香資並諸事扣帳		横帳	田隆院玉室紅顔大姉
C ③ 11	明治20年5月	島田庄右衛門回国百番供養塔建立 当家中興島洲院莊田義諦居士	嶋田丑三郎	横帳	惣×21円
C ③ 12	明治26年	仏事献立諸事扣（手伝い人足）	嶋田丑三郎	横半帳	×180人
C ③ 13	明治14年4月	仏事香資並諸入用帳	嶋田丑三郎	横帳	32年忌 33年忌 一周忌
C ③ 14	明治15年4月	3年忌香資受納帳	嶋田丑三郎	横帳	
C ③ 15	文政2年～文久2年	上野村津端津右衛門より買受田畑古證 文写帳	島田庄右衛門	横帳	
C ③ 16	大正8年4月	婚礼祝儀物覚帳 献立		横帳	3冊綴り
C ③ 17	大正12年	土地贈与証書	嶋田丑三郎	縦紙	袋入り
C ③ 18	明治27年12月	年賦金借用金証書	負債主島田庄左衛門◎→同村江 口作蔵	縦紙	綴り封筒（夜具福講 證書入袋）入り
C ③ 19	近代年不詳9月	記（大工作料金銭書上）		横半帳	
C ③ 20	明治11年7月	物置普請二付人足縄手間記帳	島田勇作	横帳	
C ③ 21	文久元年7月	母たご病気見舞（ようかん そばり んご 大かつぶし 菓子箱 粟あめ 麦粉 そうめん 砂糖 うどん ほ か）		横帳	
C ③ 22	近世年不詳	覚（仏事諸経費帳 常慶院お布施）		横帳	
C ③ 23	明治5年6月	平滝村田畑質地利米證文扣帳	島田勇作	横帳	
C ③ 24	嘉永元年申正月～明 治35年度	歳々金銀差引棚卸帳	青倉村島田庄右衛門	横帳	
C ③ 25	明治10年4月	仏事諸経費帳（25年忌 17年忌）	島田勇作	横帳	勇作（明治13年6月 没）
C ③ 26	明治27年4月	法会香資野菜帳（3年忌 17年忌 7年忌） 青菜 干瓢 牛蒡 馬鈴薯 蕎麦粉 姫ぐるみ 蓮根 キノコ 人蔘 小豆 菜 さつまいも ゼンマイ らくだい も 畑いも ユリ やしがしらいも 大根 つぶ蕎麦 もち米		横帳	
C ③ 27	明治25年5月	島田庄右衛門死亡御齊来客人名（35 9名） 覚（応接係3人 帳付係1人 茶番係1 人 料理係6人 給使係8人 引物係4 人 前腕係16人 土蔵番1人 土蔵出 し入れ4人 酒番1人 客使3人 餅番 1人 蕎麦番1人 飯係5人 汁係2人 風呂番1人 下足番1人 夜番1人 な ます係3人 その他諸係人足 献立料 理品目書上）	島田丑三郎	横帳	
C ③ 28	明治23年7月	香資帳（俗名島田太右衛門）		横帳	
C ③ 29	明治43年12月	火災見舞記帳（納屋失火）	島田丑三郎	横帳	
C ③ 30	明治8年7月	婚礼祝儀物覚帳 献立		横帳	
C ③ 31	明治15年3月	祝儀受納帳（誕生おとら7日祝儀）	島田丑三郎	横帳	
C ③ 32	明治13年6月	香資帳（俗名島田勇作行年46歳）		横帳	
C ③ 33	明治31年5月	島洲院七年回仏事諸上記	島田丑三郎	横帳	島洲院は庄右衛門 （明治25年5月没）
C ③ 34	明治26年5月	島洲院一周忌香資料野菜帳		横帳	
C 4 1	江戸末期～明治初期	質地証文 金子借用証文 小作証文 常慶院借用証文 養子約定 実子誕生 の際の親類一同取極		縦紙	63通 包紙あり 紙袋入り
C 4 2	文化9年申5月	慶安五年御検地本田田方畑方銘々名寄 帳 本郷 横倉分（汚れ・虫食い・切 札出来候而、甚紛らわしく相成り村方 一同差支え候二付、新規名寄帳仕立て 直し）	青倉村名主藤右衛門◎組頭利左 衛門◎百姓代勘右衛門◎ほか百 姓連◎	横帳	
C 4 3	大正4年9月	靈照院老週忌香典受納簿		横帳	
C 4 4	大正7年4月	賢照院徳翁雄道居士 三回忌	執事 島田正英	横帳	
C 4 5	大正6年5月	賢照院慈峯院年回法会諸事覚帳		横帳	
C 4 6	大正6年5月	賢照院並二慈峯院御斎諸事記		横帳	
C 4 7	大正8年4月	婚礼祝賀式諸費覚（魚類 旅費 茶 化粧品 菓子 紙類 運賃 水引 雑 米 酒）		横帳	
C 4 8	文久4年子2月	祝儀諸品見舞覚帳（女子おたね）	島田庄右衛門	横帳	

6 島田亨（とおる）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C 4 9	明治37年4月	仏事香資諸費帳	島田丑三郎	横帳	
C 4 10	嘉永6年丑2月	祝儀見舞萬覚帳	島田庄右衛門	横帳	
C 4 11	明治18年5月	先祖五百年回ほか野菜物記		横帳	
C 4 12	嘉永6年丑12月	居士香資帳（要左衛門67才）		横帳	
C 4 13	文政3年～天保8年	香典覚帳ほか	島田庄右衛門	横帳	4冊合冊綴り
C 4 14	安政3年辰正月	年々神々花見舞覚帳（寺石村芝居稽古見舞い 上野芝居若衆見舞い 羽倉芝居稽古見舞い 芦ヶ崎芝居花 藤沢角力花）	島田庄右衛門	横帳	
C 4 15	昭和19年8月	禅定門香典帳（島田寛行年15才）		横帳	
C 4 16	安政2年卯8月	孫子出生見舞祝儀覚帳（米 粉 頭巾 頭巾切 にしん あめ）	島田庄右衛門	横帳	
C 4 17	明治5年申6月	月岡組田畑質地利米證文扣帳	島田勇作	横帳	
C 4 18	嘉永4年亥正月	年々小作水入證文扣帳	青倉村庄右衛門	横帳	
C 4 19	安政6年未正月	譲買請年季明質地證文写帳	島田庄右衛門	横帳	
C 4 20	嘉永4年亥正月	年々小作利米證文名前覚帳	島田庄右衛門	横帳	
C 4 21	明治16年1月	抱持譲買請、年季明質地證書写帳	島田丑三郎	横帳	
C 5 1	大正元年9月	靈香院三回忌、慈峯院一周年法会香代帳		横帳	2冊合冊
C 5 2	明治21年5月	判取帳	島田丑三郎	横半帳	
C 5 3	明治27年4月	法会来客人数		横半帳	
C 5 4	明治20年5月	塩尻組所有地畔渡野取絵図面（個別略絵図）		横半帳	
C 5 5	明治18年1月	豊栄村 堺村持地反別地価帳	島田丑三郎	横半帳	
C 5 6	明治23年2月	参宮雑用帳（桑名川弁当代 浅野弁当代 善光寺あま酒代 あんま代 はりまや政吉泊り わらし代 長野より上田まで汽車代 和田茶屋 諏訪 平出…法隆寺 春日社 大仏殿見物 伊勢松坂大和屋泊り…東海道島田泊り 鎌倉弁当 横浜より新橋まで汽車代 新橋より馬喰町まで馬車代 上野より高崎まで汽車代…）		横半帳	
C 5 7	大正5年12月	当座帳	青倉島田	横半帳	
C 5 8	明治25年6月	志久見組字内池 石沢喜作小作大量野帳	島田丑三郎	横半帳	
C 5 9	明治19年	塩尻・志久見所有地反別帳	島田	横半帳	
C 5 10	明治2年7月	病氣見舞帳（玉子 そつめん えわな 麦粉 うどん ようかん 菓子 さとう なし 粟飴 ぶどう 白竹きのこ なし やまめ かたくり まいたけ）	島田庄右衛門	横帳	
C 5 11	明治29年	水害地反別調帳（暮坪 塩尻 志久見 平滝 白鳥）		横半帳	
C 5 12	明治23年2月	参宮雑用帳 小遣帳番号 参宮雑用小夫（使）帳第3号	油科菊太郎	横半帳	1冊はC5の6と同じ3冊綴じ
C 5 13	明治年不詳	村広瀬長左衛門所有地買受畔渡り調帳		横半帳	
C 5 14	明治年不詳	小作地田畑反別書上		横半帳	
C 5 15	明治23年3月	参宮雑用帳第三号		横半帳	C5の12と関連
C 5 16	明治19年9月	平滝村所有地・地目変換・大量誤謬取調記	島田丑三郎	横半帳	
C 5 17	明治30年5月	塩尻・志久見洪水にて田地砂入及び破損修繕堀工手間帳		横半帳	
C 5 18	明治24年3月	土蔵建築手間賃受取帳	請負人宮川仲吉→島田丑三郎	横半帳	
C 5 19	明治15年8月	盆礼歳暮實記（草履 塵紙）		横半帳	
C 5 20	近代年不詳4月	仏事夫食米記帳	上倉栄松扣	横半帳	
C 5 21	明治27年4月	来客配置覚給仕用（寺院ほか）		横半帳	
D 1 1	嘉永2年	普請人足見舞萬覚帳（穴掘り 壁塗り）	島田庄右衛門	横帳	
D 1 2	明治12年10月	伊勢参宮之時餞別土産記 参宮下向餞別土産物記	島田勇作	横帳	
D 1 3	天保14年	青倉村高反別小前帳扣（慶安 寛文 元禄 安永 天明）		横帳	
D 1 4	文久3年	山論一件二付諸入用取替分	庄右衛門扣	横半帳	
D 1 5	近世年不詳3月	手紙（新規山手米）	白鳥村名主又右衛門→青倉村名主庄右衛門	切紙	

6 島田亨（とおる）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D 1 6	近代年不詳	断簡（地券関係）	嶋田勇作→平滝村油科与右衛門	切紙	
D 1 7	近世年不詳丑12月	御差紙写	太原四郎右衛門 中之条役所	切紙	4通
D 1 8	明治33年12月	土地売渡証書（畑）	嶋田丑三郎@→月岡太蔵	豎紙	
D 1 9	明治23年12月	土地売渡証書（田 宅地 字加治屋敷）	嶋田丑三郎→月岡亀吉	豎紙	
D 1 10	明治43年5月	土地登記名義人表示改登記申請書	上倉三左衛門→飯山区裁判所	罫紙	
D 1 11	明治43年5月	土地分筆二付登記申請	上倉三左衛門→飯山区裁判所	罫紙	
D 1 12	明治41年4月	契約証書（田）	嶋田丑三郎→月岡亀三郎	罫紙	
D 1 13	明治23年7月	頼母子講金借用証（金20円）	廣瀬信@→青倉学校頼母子世話人嶋田庄左衛門	罫紙	
D 1 14	明治23年7月	頼母子講金借用証（金40円）	嶋田伝七@→村学校頼母子世話人嶋田庄左衛門	豎紙	
D 1 15	明治41年4月	承諾書（抵当権設定解除）	水内村月岡亀吉@	罫紙	
D 1 16	明治31年11月	念書（受取証紛失二付）	水内村小林康三@→嶋田丑三郎	切紙	
D 1 17	不詳	証書類包紙		切紙ほか	2通
D 1 18	明治14年4月	耕地小作証書（字古屋敷）	小作人桜澤繁吉@→嶋田丑三郎 戸長小林三郎兵衛奥@	豎紙	
D 1 19	延宝2年8月	森羽倉出入之品入用（信越国境論争裁許状写し）		豎継紙	
D 1 20	弘化2年10月	五年季質売田地証文之事（田高7石9斗5合 1470束刈り 土地代金100両）	青倉村庄右衛門→上野村津右衛門	豎継紙	
D 1 21	文久3年8月	乍恐以始末書奉申上候（中尾山論写し）	青倉村庄左衛門ほか→三宅鑿作中野御役所	豎帳	読み下し文あり（D2-10）
D 1 22	（嘉永年間カ）	乍恐以書付奉願上候（大地震にて山法山崩れ、田畑用水路損地に付、普請代金75両永年賦）	記載なし	豎継紙	
D 1 23	元治元年	乍恐以書付奉願上候（名主老年に付、忤名主見習い願ひ）	柏尾村名主定右衛門・青倉村庄左衛門→小川達太郎 中野御役所	綴り	
D 1 24	（文久年間カ）	乍恐以心意書奉申上候（青倉と森の山論目安一件 下書き）	記載なし	綴り	21番文書と関連
D 1 25	文政12年12月	乍恐書付を以奉願上候（青倉と森の山論、山手米の件）	青倉村名主庄右衛門ほか→太原四郎右衛門 中野御役所	豎継紙	
D 1 26	弘化4年4月	内済熟談証文之事（森村吉右衛門、名主与右衛門へ質入れの件）	森村吉郎右衛門@ほか立入人上野新田村組合取締役名主彦右衛門@ほか	豎継紙	田200刈り代金17両
D 1 27	宝暦5年10月	乍恐以書付奉願上候御事（用水の義、溜池用水路共自普請仕り、200年御下御免）	青倉村名主庄之丞ほか村役人、長百姓→天野助治郎 中野御役所	豎継紙	
D 1 28	明治3年10月	差出申一札之事（正保度森村へり絵図秘蔵の品故、大切に仕り）	小境村元造@→青倉村庄右衛門	豎紙	
D 1 29	宝暦5年6月	一札之事（切開き地に付御検地仰せ付けられ驚き入り）	長百姓角右衛門@ほか90人連@→庄之丞	豎継紙	
D 1 30	天明2年7月	乍恐書付ヲ以御届ヶ奉申上候（青倉村源助、宿預け仰せ付けられ行方知れず）	中野村郷孫源助ほか→原田清右衛門 中野御役所	豎継紙	
D 1 31	寛政2年11月	和談内済証文之事（青倉村と森村・白鳥村ほかの鮭猟場をめぐる争論 滝川・四つ曲・いかり・前川）	青倉村忠右衛門@ほか→森村与右衛門ほか	豎継紙	読み下し文あり（D2-10）
D 1 32	文政7年10月	借用証文之事	頸城郡宝野村庄蔵@→青倉村庄右衛門	豎紙	質地証文など合せて10通
D 1 33	明治14年5月	平滝村白鳥村耕地小作証書	豊栄村小作人小林茂左衛門@→北信村嶋田丑三郎	豎紙	合せて35通
D 2 1	明治13年4月	地誌編輯（下水内郡北信村）	寿村地誌調人平井庄左衛門@ほか→長野県令檜崎寛直	豎帳	長者屋敷 関跡 花立山
D 2 2	不詳	島田家の家屋配置図		切紙	自家 車屋 納屋 土蔵 酒造蔵（麹室） 嶋田亨氏の翻刻文あり
D 2 3	天保3年4月	三年季質売田地証文之事（写し文書）	青倉村嘉助→越後上野村津右衛門 名主庄右衛門奥印	横帳	
D 2 4	年不詳（慶応カ）	乍恐以書付奉願上候（青倉村から平滝村への貸金返済差し縫れ）	記載なし	豎帳	読み下し文あり（D2-10）
D 2 5	不詳（昭和）	嶋田亨氏の歴史原稿（慶応2年～同4年）		用紙	
D 2 6	昭和55年	上郷村長涌井国正の雪崩遭難の記憶（日露戦争への応召）	四男涌井一雄の手記	原稿用紙	大倉断崖の雪崩
D 2 7	平成カ	青倉村の呼称と島田姓の出自	嶋田亨の手記	用紙	29枚
D 2 8	平成3年7月	兵庫県青倉山・青倉神社探訪記	嶋田亨の手記	用紙	8枚

6 島田亨（とおる）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D 2 9	不詳（昭和）	小説（無題）		原稿用紙	24枚
D 2 10	不詳（平成）	翻刻読み下し文（借用申證文之事 山論願書始末書扣 和談内済證文之事〈鮭猟場〉）ほか		用紙	読み下し文のみ
D 3 1	明治10年5月	諸帳簿入袋	嶋田丑三郎	袋	袋のみ
D 3 2	明治29年3月	地目変換届（字滝下）	嶋田丑三郎→長野県知事高寿親章	罫紙	
D 3 3	安政6年2月	法事入用覚帳（まいたけ なし 牛蒡 こんぶ 焼きふ れんこん せりう ど かんひう わさび 人參 百合 長いも あをな わらび 竹の子 菊 菜）	嶋田庄右衛門	横帳	
D 3 4	大正12年2月	倉庫・納屋の届け出書類	水内村役場→嶋田英之	罫紙	封筒入り
D 3 5	年不詳	香典帳カ（蠟燭 線香）		横帳	
D 3 6	慶応元年	熨斗袋（実名 花押の例）	僧都養浩然→嶋田丑三郎		
D 3 7	明治16年8月	湯殿山参詣諸費帳（8月20日十日町 小千谷 長岡 新潟 新発田 中条町 村上町 湯田川 金峰山 湯殿山 月山 羽黒山 鶴岡町 帰路は往路の逆 9月5日到着 17日間）	嶋田丑三郎	横半帳	塩尻の喜左衛門と2人 総計36円20銭
D 3 8	年不詳 近代	父の三年忌 出席者名カ	寺名あり（賢照院 吉祥寺 林 秀庵 善福寺 光厳寺）	横帳	
D 3 9	年不詳 近代	地価、地租寄せ八反三畝余（白鳥 平滝 青倉）	嶋田丑三郎	罫紙	
D 3 10	年不詳 近代	東京雑用帳（馬喰町にて牛肉代 上野より高崎まで汽車代 高崎泊り 長野より飯山まで船賃）		横半帳	費用2人分
D 3 11	年不詳 近代	小作水入証文之事 稲110束苅	平滝村水入人三郎右衛門→青倉 村庄右衛門	横半帳	
D 3 12	明治28年10月	地目変換届	嶋田丑三郎→長野県知事浅田徳則	罫紙	
D 3 13	年不詳 近代	分筆反別地価更生願（雛形）		罫紙	
D 3 14	大正5年7月	弔詞（故人 嶋田丑三郎）	日本赤十字社子爵 花房義質	切紙	包紙あり
D 3 15	年不詳 近代	香花料（50銭）	下水内郡委員部	熨斗	
D 3 16	明治30年1月	金銭貸付業及び課税標準届書扣（酒造 場地所建物図面）付明細書	嶋田丑三郎→松本税務管理局 長	罫紙	
D 3 17	文久4年3月	善右衛門入置申書付之事（森村御林の木一本伐取りの件 私覚え御座なく候）	青倉村善右衛門→名主庄左衛門 門 組頭庄右衛門 百姓代長八 候）	罫紙	包紙あり
D 3 18	明治36年2月	感謝状（野沢尋常小学校建築費金拾円の寄付）	長野県知事関清英→嶋田丑三郎	罫紙	
D 3 19	明治33年8月	感謝状（日本赤十字社へ金壹円の寄付）	赤十字社総裁彰仁親王→嶋田 丑三郎	罫紙	
D 3 20	文政10年10月	年賦金借用証文之事（金111両）	白鳥村名主又右衛門→青倉村 頼母子宿庄右衛門 箕作村三左 衛門ほか	罫紙	文政3年に開始した 又右衛門堤の建設と 関係あり
D 3 21	年不詳 現代	当家伝来文書（堀丹後守直寄書状）の 複写	嶋田 亨	複写	
D 3 22	年不詳 現代	（昭和20年7月戦死した嶋田家長兄 庄一郎の頌徳を書いた原稿）		大紙	
D 3 23	明治18年1月	券状の預り状	与右衛門→旧青倉村嶋田丑三郎	罫紙	
D 3 24	年不詳 近代	地価、地租寄せ七町四反余（青倉分）		切紙	3枚
D 3 25	年不詳 近代	地価、地租メモ断簡		切紙	6枚
E 1	年不詳 近世	村中規定連印之事 下書き	水内郡青倉村惣小前 村役人一	罫紙	包紙あり
E 2	天保10年3月	村方取究メ規定書之事（質地年季明 け）	青倉村庄左衛門→白鳥村又右 衛門→ほか→当村名主庄右衛門	罫紙	
E 3	天保10年3月	相渡申一札之事（名主役退役の件）	青倉村五人組頭17人連→名 主庄右衛門	罫紙	
E 4	慶応4年8月	差入申書付之事（文久銭通用に関する 件）	青倉村市之丞→ほか80人→三 役人中	罫紙	
E 5	安政7年3月	名主役取極一札之事（8人にて1年 番）	水内郡森村小前幸七→ほか46 人連	罫紙	
E 6	明治3年5月	質地証文二付村御役人様方御立合御願 申一札之事	質地証文取扱人長左衛門→名 主藤左衛門	罫紙	
E 7	文政10年3月	乍恐以書付奉願上候（頸城郡浦田村の 百姓共、青倉村持山伐り荒し、搦めと り吟味）	源九郎 仁兵衛 半七→青倉村 役人	罫紙	

6 島田亨（とおる）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
E 8	文政12年4月	取扱内済証文書（横倉組の長蔵、婿養子関右衛門と近来何と無く間柄不和。関右衛門、中野役所へ出訴に及び）	横倉組長蔵①赤十字社関右衛門① ①本家①親類① 東大滝村名主奥之丞奥①	縦紙	
E 9	慶応4年3月	乍恐以書付奉願上候（青倉村名主・組頭・百姓交替、一年番）	青倉村小前92人連① 重立4人連①→名主庄右衛門ほか	縦紙	
E 10	文久元年9月	侘言一札之事（横倉の若者、提灯に「村」の文字を使用、不調法にて侘び）	若者惣代品右衛門ほか 立会人①→本村御役人中	縦紙	
E 11	文久元年12月	差入申取極一札之事（枝横倉の本村への古来からの労働奉仕等について）	枝横倉小前与八①ほか18人連①→青倉本村三役人中	縦紙	
E 12	天保10年2月	取究一札之事（庄左衛門の売り置き候田地に関する件）	青倉村百姓連①→内容庄主庄右衛門	縦紙	関連の文書（天保9年2月）一通あり 長瀬長明寺
E 13	年不詳 近世	惣連印書付之事（文化9年の旱魃以後、水不足に付深山菅やちより堰堀割り水引きの件、今泉とも立会相談）	名主藤右衛門①ほか65人連①	縦紙	別に明治10年の離縁に関する「詫書」の包紙あり
E 14	宝暦6年5月	差出し申得心済口一札之事（質金をめぐる藤左衛門と覚右衛門の纏れ、中野町郷宿立入）	訴訟人覚右衛門 相手藤左衛門→中野町郷宿意見人文左衛門ほか	縦紙	意見人伊野右衛門・善右衛門
E 15	明治7年5月	詫書一札之事（横倉組九右衛門、娘とめ方へ婿入りを取り決めながら心得違い）	詫人小口藤五郎ほか→嶋田勇作	縦紙	別に一通あり
E 16	嘉永3年8月	今般当村惣百姓名寄帳仕立直し願出候趣左之通り（年久しく相用い紙古び塵垢などこれ有り、書面甚だ不分明に相成り）	友左衛門①ほか92人連①→名主庄左衛門ほか	縦紙	
E 17	天保2年8月	取究申書付之事（粟田口青蓮院宮様拝借金利息の件）	白鳥村又右衛門・平滝村留五郎・青倉村庄右衛門ほか→白鳥・平滝・青倉の御役人衆中	縦紙	
E 18	文政10年3月	乍恐以書付奉願上候（頸城郡浦田村の惣百姓共、青倉村持山へ大勢入り込み薪盗み取り、近年ことのほか大勢入り込み盗賊仕り、搦め捕り御吟味）	浦田村たれ→青倉村三役人衆中	縦紙	下書き
E 19	慶応3年正月	覚（過料銭受取り 小助10貫文ほか4人5貫文）		縦紙	若者たちの過料銭切紙1枚あり
E 20	近世年不詳 正月	新年挨拶状（御祝い大麻進上、御初穂金百疋）	伊勢御師松井左太夫花押→嶋田庄右衛門	折紙	「御祝い札副える」
E 21	慶応3年3月	乍恐書付ヲ以奉願上候（組頭役庄右衛門、近年病身に付、忤勇左衛門組頭役見習い）	見習役勇左衛門 名主又蔵ほか→川浦御役所	縦紙	
E 22	安政5年2月	差出申詫書一札之事（八郎右衛門、心得違いで印形変更。常慶院・正福寺立入詫び）	五人組頭善右衛門ほか→村役人衆中	縦紙	
E 23 1	安政5年2月	差出申詫書（村役義不心得につき詫び）	青倉村詫人八郎右衛門→両村五人組頭衆中	縦紙	
E 23 2	安政4年3月	御詫申一札之事（村役交替のもつれ）	青倉村八郎右衛門→村御役人	縦紙	
E 23 3	年不詳2月	書状（三役交替願い）	不詳→高橋長八 宿八郎右衛門	切紙	
E 24	嘉永6年8月	乍恐以書付御訴訟奉申上候（名主 勘右衛門への貸金返済につき）	当御支配所水内郡青倉村百姓代訴訟人庄右衛門→中野御役所	縦継紙	
E 25	近世年不詳	乍恐以書付御歎願奉申上候（惣右衛門家作を藤次郎へ申し付けたい）	森村百姓忠之助、同練左衛門→川浦御役所	縦継紙	
E 26	慶応3年2月	差出申一札之事（博奕、賭勝負を慎む）	助左衛門①、親類立会人半兵衛①以下6名連印→村御役人衆中	縦継紙	付箋あり
E 27	天保7年10月	相渡申一札之事（博奕一件）	青倉村農人友左衛門①、親類増左衛門①以下3名連印→当村役人衆中	縦紙	
E 28	安政3年8月	規定一札之事（高狂ひに付訂正）	水内郡青倉村名主庄左衛門①、組頭長八①、百姓代 三郎右衛門①・庄右衛門①以下94名連印	縦継紙	
E 29	近世年不詳9月	人相書（平八店の夫婦を殺した罪人）	中野御役所→郡中村々	縦継紙	
E 30 1	慶応4年9月	差出申一札之事（両替安値の件）	青倉村差出人八郎右衛門①、本家伊右衛門①→名主庄右衛門、外重立衆中	縦継紙	
E 30 2	慶応4年2月	執談書之事（内容不明）	青倉村八郎右衛門①、右村重立惣代源右衛門①、箕作村儀左衛門、横倉姿次郎	縦紙	

6 島田亨（とおる）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
E 31	文久3年3月	差出申一札之事（召出され人の御吟味）	水内郡青倉村右差人助右衛門①、同人親類常右衛門①、差人文次郎①、同人親類丹右衛門①、差人庄次郎①、同人親類佐二右衛門①→村役人衆中	縦継紙	
E 32	明治3年8月	差出申一札之事（喜右衛門の引水で堰水不足）	水内郡青倉村枝横倉分託人喜右衛門①、親類孫左衛門①以下3名連印略→御村役人衆中	縦継紙	
E 33	明治6年3月	詫書一札之事（桐下駄職人を留置き細工はじめ仕り）	水内郡青倉村詫び人嘉右衛門①、親類助右衛門①以下6名連印、五人組立入仁右衛門①、以下9名連印略→当村重立中	縦継紙	
E 34	明治10年10月	詫書一札（貴殿の子分でありながら不埒）	北第二十八大区五十小区北信村之内青倉詫入人小口藤五郎①、同断小口九右衛門以下12名連名略→同村嶋田勇作	罫紙	附箋1枚あり
E 35	明治5年8月	差出申詫書一札之事（金子、粃等貸付返還請求するが証拠の証文無之）	青倉村詫人友右工門①他親類7名①、五人組立入仁右衛門①他9名→本村役人衆中	縦継紙	
E 36	宝暦8年4月	一札之事（名主の跡役について）	青倉村百姓代仲右衛門①他76名①→名主庄之丞	縦継紙	
E 37	慶応3年11月	差出申詫書一札之事（盗人、盗品を返品して欠落ち）	青倉村詫人助右衛門①他親類7名①、立会人横倉要次郎→同村名主又蔵、組頭庄右衛門、惣村	縦継紙	
E 38	明治39年4月	水内村大字北信地図青倉組四冊、堺村之内塩尻組地図一冊	島田丑三郎	鋪	
E 39	明治31年2月	貸金訴訟書類（島田八郎右衛門関係）	島田丑三郎→島田八郎右衛門	罫紙	紙袋入り
E 40	昭和36年10月	小作人の小作地返還承諾書（念書）	栄村北信島田宗太郎①他数名①→栄村北信島田亨	罫紙	紙袋入り一括
E 41	文久元年正月	諸用留（酒造関係）	青倉村庄右衛門	横半帳	
E 42	昭和63年5月	当家什器類台帳	青倉村島田亨	横帳	
E 43	明治43年12月	耕地整理土地台帳	島田丑三郎		
E 44	不詳	下水内郡水内村大字北信森部落関係地図の一部	不詳	綴り	
E 45	不詳	関係地図輯覧（字塩尻、字谷千本坂、字大八峯その他）	島田英之	綴り	
E 46	明治41年3月	耕地整理換地説明書、同増歩地処分案	島田丑三郎	縦帳	
E 47	大正14年7月	領収書（葬儀買物等）	飯山北町樋口辰蔵他数名→水内村嶋田鍋蔵	切紙ほか	
E 48	明治40年4月	土地売渡證書	水内村大字北信島田重兵衛①→同村島田丑三郎	罫紙	
E 49	不詳	断筒（土地登記簿の一部か耕地図の一部）		罫紙ほか	
E 50	昭和6年12月	足瀧田地売却書類並島田慶治郎関係	青倉村 島田英之		一括袋入り
E 51	大正11年3月	各種金額支払受領証（消防組経費）	北信消防組	綴り	
E 52	明治35年	緊要録集（婚姻届、養子縁組届、戸籍抄本、家督相続届、印鑑証明願、廃業届、その他）	島田丑三郎	綴り	
E 53	明治30年～大正元年	土地売渡証書類	水内村青倉 島田丑三郎		
E 54	不詳	断筒（内裏御系図、御帝図等書写）	不詳	模造紙	
E 55	平成元年7月	当家伝存古文書貳通について（東京帝国大学文学博士平泉澄先生の解説文）	島田亨	原稿用紙	
E 56	不詳	断筒（執事差免書状御下ヶに相成私持参仕候、慥に御請取可被下候）	江口又三→島田丑三郎	縦紙	
E 57	明治12年8月	旅行証（文政9年5月15日生 下水内郡北信村 江口又蔵）	北信村戸長 廣瀬兵吉①	罫紙	
E 58	明治12年9月	添書（讃岐国一ノ宮、伊勢神宮 島田勇作、江口又蔵、渡辺孫次右衛門、山岸五郎左衛門 右四名参詣二付）	北信村戸長 廣瀬兵吉①→追分驛出張警察官御中	罫紙	
E 59	明治10年4月	依頼書（協会世話掛）	曹洞宗講長少講義 鶴澤口鏡①→島田勇作	切紙	
E 60	明治11年9月	領収書（太々神楽料 貳拾五銭二枚、貳拾円一枚）	伊勢本宮、豊受宮→不詳	切紙	
E 61	明治14年3月	当選証書（村会議員）	戸長役場→嶋田丑三郎	切紙	

6 島田亨（とおる）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
E 62	寛政6年3月	助成金預り證文之事（一金拾兩也 是八非常助成金として庄右衛門より差出金也）	退役 三郎右衛門④、同断百姓代 重左衛門④→当役名主 庄右衛門、組頭 庄左衛門、百姓代 作左衛門	豎紙状	
E 63	明治22年7月	詫書一札之事（雑木伐倒して貴殿方山林杉五六本折り且、枝等取払わず置候申訳無之候）	北信青倉組 島田与三左衛門④、島田佐左衛門④→島田丑三郎代理 島田富吉	豎折紙綴り	
E 64	万延元年4月	覚（助成金拾三兩三分ト銭廿七文請取申候）	庄左衛門④→当村 庄右衛門	切紙	
E 65	慶応3年	養子證文之事（持参金 三兩貳朱）	青倉村養父 角之助、本家 せん、世話人 長八、親類組頭奥 印兼 庄右衛門→勘三郎	豎紙状	
E 66	明治19年11月	思文證（借入金を大幅に減額して貰ったお礼）	豊栄村 上倉留吉④、親類 上倉美敬④→北信村 嶋田丑三郎	罫紙	
E 67	明治20年9月	差入申一札之事（山林境界の間違いを認め以後心得違いをしない旨の申入れ）	下高井郡堺村 関谷文左衛門④、立会人 関谷丈七④、同関谷与右衛門④→下水内郡北信村 島田丑三郎	豎紙状	
E 68	明治20年9月	詫書（鑑札がないのに酒の仲買、小売等をしたことの詫入れ）	北信村 島田善助④、島田忠吉④、親類 島田伝七、嶋田助三郎→同村 島田丑三郎	豎紙状	
E 69	明治20年2月	念書（預り金証書紛失の念書）	下水内郡北信村 島田長助④→島田丑三郎	豎紙状	
E 70	明治10年2月	辞令書（学校執事に申付候）	長野縣④→島田丑三郎	切紙	
E 71	近代不詳	記（一金78円を書面通り預かり持参する書面）	森村 廣瀬鉄三代 廣瀬吾郎→青倉村戸長 嶋田勇作	切紙	
E 72	明治12年8月	旅行證（北信村 天保6年12月26日生 島田勇作）	右村戸長 廣瀬兵吉④→北信村 島田勇作	切紙 罫紙	
E 73	明治20年5月	記（貸付金延滞届書）	堀内九兵衛④、□□暢五郎④→島田丑三郎代理 島田菊三郎	豎紙 罫紙	
E 74	明治19年10月	思文書一札之事（多分借財相嵩 改革法術二因り貴殿へ願入候処最早御救助二相成難有仕合ノ事奉存候）	下水内郡北信村 江口又三④、親類 江口伝兵衛④外三名④→同郡同村 島田丑三郎	豎紙、罫紙、綴	
E 75	明治22年6月	不詳（島田与三右衛門 拙者所有地へ雑木三本伐木致其の枝等其低二致候）	島田富吉→青倉組総代 島田口吉	豎紙 罫紙	与
E 76	明治22年6月	御届書（月岡原の貴方の所有する山林を野火の不始末により残らず焼き捨てたので届出る）	堺村月岡組 関谷丈左衛門④→水内村大字北信 島田丑三郎代理 島田富吉	豎紙、罫紙、状	
E 77	明治12年5月	御賞（道路修繕費金10円36銭を差出、木盃を賜った）	長野縣④→下水内郡北信村平民 嶋田勇作	半切紙 賞状	
E 78	天保4年4月	取究申規定證文之事（争論を無くすために畑田成普請等の各種規定を取り決めた）	水内郡青倉村枝横倉組 由右衛門他23名④→同村名主 庄右衛門	豎紙、継紙、状	相渡申一札之事1、差出申一札之事1、図面6、覚（堰入用割6）
E 79	明治11年7月	学校執事差免	長野縣④→島田丑三郎	切紙	
E 80	明治31年4月	貸金催促事件（訴訟に関する書類）	島田丑三郎→島田八郎右衛門		紙袋入り
E 81	明治20年3月	借入金之証（金130円也）	北信村借主 島田丑三郎④→同村 廣瀬鉄三	罫紙	
E 82	昭和62年元旦	年賀状	埼玉県草加市 桜沢工芸社→栄村青倉 島田亨	葉書	
E 83	近世年不詳	記（質地証文5通受取証）	西大瀧村 善八④→宛名不詳	切紙	
E 84	近代年不詳	当撰状の包紙	地主 島田丑三郎	豎紙	
E 85	近代年不詳	包紙（御祝儀、樞要ノ書類）		豎紙	2枚あり
E 86	平成8年12月	感謝状（貝立山麓整備事業スキー場建設の関係地主）	栄村長 高橋彦吉→島田亨		

7 桑原亮(まこと)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
1	慶安5年辰3月	信濃国信州水内郡森村検地帳	持主小林吉兵衛	豎帳	写し
2	安永7年戌11月	五年季質物相渡し申田地証文之事	質入人弥次右衛門⑨→当村三郎右衛門	状	名所とうどめき 1 両 25束刈
3	天明2年寅10月	借用申金子之事	森村借用人三郎右衛門⑨→飯山伊勢町喜右衛門	状	名所あみだ浦 金7 両 180束刈
4	天明5年巳10月	借用申金子之事	森村借用人三郎右衛門⑨→飯山伊勢町磯五郎	状	名所川道 金6両 130束刈
5	寛政8年辰11月	書入証文之事	森村借主長左衛門⑨→当村三郎右衛門	状	名所下り 代金2分 10束刈
6	寛政10年午12月	七年季二質売畑証文之事	畑質売主寺石村七兵衛⑨→同村庄吉	状	大根原 畑1枚 1 分銭500文
7	享和元年酉10月	借用申金子之事	金子借用人清左衛門⑨→当村忠左衛門	状	金2分
8	享和元年酉	借用申金子之事	借用人伊右衛門⑨→村三郎右衛門	状	名所牛押し 金2分
9	享和2年	借用申金子之事	借用人彦右衛門→村三郎右衛門	状	名所おぢやくぼ 下 道 金2束
10	文化2年丑10月	借用申金子之事	田地人仁右衛門⑨→当村忠左衛門	状	金1分
11	文化2年丑10月	借用申金子之事	金子借用人清左衛門⑨→当村忠左衛門	状	みねの下 金1分 10束
12	文化7年巳	質入申畑証文之事	質入人吉右衛門⑨→村忠左衛門	状	名所中条 白山前 代金2分
13	文化10年酉10月	借用申金子之事	借用人庄三郎⑨→当村忠左衛門	状	名所だいはうの前 金3分 15束刈
14	文化10年酉12月	借用申畑証文之事	記載なし	状	名所境 畑1枚 籾 巻
15	文化13年子10月	借用申金子証文之事	借用人伊之右衛門⑨→村忠左衛門	状	名所黒石 金1分 10束刈
16	文政5年午12月	借用金書入証文之事	当村佐左衛門⑨→村惣右衛門	状	名所家の山畑 金1 分
17	文政8年酉12月	五年季二相定×申質売田地証文之事	質売主三右衛門⑨→同村惣右衛門	状	名所清田沢ほか 金 1分2束
18	文政10年亥12月	三年季二相定×申質売田地証文之事	質売主三右衛門⑨→当村治兵衛	状	名所赤田下沢 金1 両3分
19	文政11年子11月	預り申証文之事	預り主飯山木綿屋治兵衛⑨→森村三郎右衛門	状	頼母子 金15両3 分
20	天保3年辰11月	有合質売二相渡申田地証文之事	地主三郎右衛門⑨→当村新右衛門	状	宇いり 金3両 稲 40束刈
21	天保4年巳4月	有合質売相渡申田地証文之事	田地質入人作左衛門⑨→当村三郎右衛門	状	名所越の前 4両 55束刈
22	天保4年巳12月	杉之木書入証文之事	書入人佐左衛門⑨→貸主治兵衛	状	名所家浦 10本 4両
23	天保5年午12月	借用金書入証文之事	書入主当村忠左衛門⑨→当村治兵衛	状	名所城平南俣 2両 2分
24	天保7年申6月	差出申一札之事(近年違作続きの上、猶又去未凶作にて小前一統困窮仕詰り、当月凌方これ無き躰に付、名主与右衛門儀は世間地値段よりは米一俵に付、およそ金一朱程も下値に当村方へは売り出され、一同悦び忝く存じ入り候処、)	森村小前惣代長百姓幸七・作十郎・吉兵衛・久四郎・藤右衛門→村役人衆中 奥書 青倉村立入人名主勲右衛門 寺石村立入人庄屋重兵衛 子種新田右断断庄屋佐兵衛 大井平村右断断庄屋又兵衛	状	石代値段に付、鎮守社地等へ寄合相談、心得違ひ 奥書印あり ひかえ
25	天保7年申10月	質入田地証文之事	森村質入人常右衛門→名主与右衛門	状	ひかえ 越の前 5 両2束
26	天保7年申12月	有合二相定申質入田地証文之事	森村田地質入人常右衛門⑨→又左衛門	状	稲100束刈 名所 越の前 8両3分1束
27	天保8年酉3月	金子借用証文之事	金子借用人中条の富之助⑨→森村三郎右衛門	状	林2か所 1分2束
28	天保15年辰12月	借用申年賦証文之事	深山坂借主与三右衛門⑨→清田山村(現十日町市中里)七左衛門	状	木こうぞ残らず 金 子2両1分2束
29	天保14年卯	田畑高覧帳	慶安5年 元禄8年 元文5年 安永8年	横帳	名主所
30	弘化2年巳5月	金子借用証文之事	森村借用人常右衛門⑨→組頭又左衛門	状	金20両 稲250 刈

7 桑原亮(まこと)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
31	嘉永元年申7月	乍恐以書付奉申上候(大地震之節荒地引高)	森村重郎右衛門・作重郎→高木清左衛門	状	
32	嘉永元年申9月	為取替和談書之事(当村方、去る未、大地震の節土砂押し出田畑用水路共大破、土中に埋まり当惑仕候に付、御役所へ歎願奉り候処、格別の御慈悲を以て損地引き高用水路普請御手当拝借など多分仰せつかり冥加至極)…村役人論方不行き届き故、今般差もつれの儀こり有り候に付、御役所小前の者共御召し出し、巨細御糺し成し下され)	森村百姓55人⑨ 百姓代作十郎⑨ 組頭又左衛門⑨ 名主与右衛門⑨ 名主取締役山岸村小右衛門⑨ 上野新田村同彦右衛門⑨ 金井村同嘉左衛門⑨ 柏原村同徳左衛門⑨	状	荷物継立運送駄賃渡し方など非分の儀これなきよう心掛け、正路潔白、その時々貴銭相渡し、雪中割増賃銭、一統相談取極め、荷主より非分の請け取り方不致、相当の貴銭請け取り、具分運送致し候者へ不正なく相渡し申すべく事
33	嘉永元年申9月	名主元諸帳面請取覚(水帳・割付皆済目録・御年貢取立帳・夫銭内割帳・夫銭書上帳・御林書上帳ほか)	当名主又左衛門⑨	状	
34	嘉永元年申9月	乍恐以書付奉歎願候(大地震之節山崩土砂押出…取り敢えず小前帳差上げ奉り、役人調べ方不行き届き)	森村重立百姓常右衛門 同治左衛門 小前惣代忠之助 同升太郎 百姓代作十郎 組頭又左衛門 名主与右衛門 取締役4人→高木清左衛門中野御役所	状	
35	嘉永元年申9月	乍恐以書付奉願上候(名主役退役)	森頭惣連→高木清左衛門	状	
36	嘉永元年申9月	村方一同申為替一札之事(当国大地震にて三宝山崩れ出し田畑多分荒地に相成り候処、名主与右衛門一己の計らいを以て猶通分の荒地書上げ仕り候に付、御役所已に村方一同御咎めを蒙るべく、御取締役彦右衛門殿、小右衛門殿相頼み、御詫び願ひ上げ候処、御勘弁御聞き済みに相成り、有り難く存じ居り候処、全く与右衛門一人の計らいをもって、小前へも申し訳もこれ無く、右様の儀仕出し置きながら、自分の悪しき義はこれ無く、余人の仕方悪しきなどと我意のみを申す趣、御上様御聴きに達せられ、小前の心底如何と一人別に御糺しに付、何にても是まで巨細存せず趣、御請書差上げ候に付、名主退役仰せ付けられ候儀、)	森村中連判	状	田畑荒地 57人連印
37	嘉永元年申10月	年賦金借用証文之事	借用人久右衛門⑨→村常右衛門	状	金5両
38	年不詳(嘉永力)	乍恐以書付奉申上候(大地震に付、荒地引き)	差出・受取り不明	状	下書き
39	年不詳(嘉永力)	乍恐以書付奉申上候(大地震に付、山抜け)	森村善右衛門	状	
40	嘉永2年酉正月	書付之事(勢州ご神木杉)	伊勢御師松井代官中野与平→森村御巨家中	状	
41	嘉永4年亥正月	一札之事(当村さと逐電の一件)	森村常右衛門ほか→西大滝取締役三郎右衛門	状	弥三左衛門(爪印)
42	嘉永4年亥12月	有合二相定質売田地証文之事	質売人常右衛門⑨→大井平村又兵衛	状	金5両 名主重郎右衛門の奥書印あり
43	嘉永4年亥12月	有合二相定質売田地証文之事	質売人常右衛門→又兵衛	状	金5両 ひかえ
44	嘉永4年亥12月	有合二相定質売田地証文之事	質売人常右衛門⑨→魚沼郡大井平村又兵衛	状	森村名主重郎右衛門の奥書印あり
45	嘉永6年丑10月	乍恐以書付奉願上候(久右衛門倅・林蔵身持ち不埒に付、勘当帳外願出)	森村林蔵母代兼、本家常右衛門→高木清左衛門	状	ひかえ 包紙あり 名主重郎右衛門の奥書あり
46	嘉永6年丑10月	乍恐以書付奉願上候(森村林蔵、農業不精に致し困窮、勘当帳外願出)	森村林蔵母代兼、本家常右衛門→高木清左衛門	状	
47	嘉永7年寅10月	年賦金借用申証文之事	借用人作之助⑨→当村宿三郎右衛門	状	金10両、畑3枚 居屋敷 岩下 道原
48	安政4年巳3月	御用留(急廻文)	森村名主常右衛門	状	飯島様、石質様ご出役廻村

7 桑原亮(まこと)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
49	安政4年巳4月	金子借用年賦証文之事	借用人 村三郎右衛門→宿菊之助	状	金3両 田地稲30束刈 中条
50	安政4年巳6月	乍恐以書付を奉願上候(海岸御備筋大筒、上納金)	森村名主常右衛門ほか11人→今川要作	状	合金3両2分
51	安政4年巳10月	年賦金借用申証文之事	志久見村新兵衛 [㊟] →森村三郎右衛門	状	金5両 田地50束刈 外池屋敷
52	安政4年巳10月	森村巳御年貢可納割附之事	今川要作→森村名主・組頭、惣百姓	状	高1356782合
53	安政4年巳12月	森村巳御年貢皆済目録	今川要作→森村名主・組頭・百姓代	状	納合永53貫287文7歩外
54	安政5年巳10月	森村午御年貢可納割附之事	柴田善一郎→森村名主・組頭、惣百姓	状	高1356782合
55	安政5	御用留(千曲川筋通船路見分御用ほか)	森村名主常右衛門	横帳	御普請役廻村
56	安政6末年正月	御用留(御尋ね者人相書きほか)	森村名主常右衛門	横帳	
57	安政7申年3月	献金小前書上帳(御本丸御普請の献金)	信濃国水内郡森村→柴田善一郎中野役所	縦帳	小以金7両 袋入り
58	安政7申年3月	当村名主役取極一札之事(今般、隣村青倉村役人庄右衛門殿出入り、村中一同相談の上、取極めいたし候、是より名主役の義、三役人并その時々触頭五人の者、都合八人にて一ヶ年宛格番に相勤め申すべく候、これに依り御上様御用向きは勿論、其の外村用諸事、何事によらず右八人の仲間立合い、睦まじく相互に助け合い相勤め申すべく候、)	森村小前幸七ほか48人連 [㊟] 村触頭 重郎右衛門 [㊟] 長次郎 [㊟] 作左衛門 [㊟] 又左衛門 [㊟] 清助 [㊟] 百姓代吉兵衛 [㊟] 組頭与右衛門 [㊟] 名主常右衛門 [㊟] 青倉村役立入人庄右衛門 [㊟]	状	名主役年番当申吉兵衛 [㊟] 来西長次郎 [㊟] 来々成作左衛門 [㊟] 来々々玄清助 [㊟] 夫より右取極人足与右衛門 [㊟] 又左衛門 [㊟] 重郎右衛門 [㊟] 常右衛門 [㊟] 吉か年づつ相勤め申すべく候 庄右衛門 [㊟]
59	安政7申年3月	乍恐書付を以奉願上候(百姓代吉兵衛退役、跡役又左衛門)	森村吉兵衛 [㊟] ・又左衛門 [㊟] →柴田善一郎 中野御役所	状	組頭与右衛門 [㊟] 先役名主常右衛門 [㊟] 村触頭作左衛門 右同断重郎左衛門 [㊟] 右同断長治郎 [㊟] 右同断清助 [㊟]
60	万延元年申10月	年賦金借用申証文之事	志久見村雪坪多兵衛 [㊟] →森村頼母子宿常右衛門	状	金5両 田地稲50束刈 田ひちの坂
61	明治2年巳3月	借用申金子之事	赤岩借主清六→森村おふぎ	状	金5両
62	明治3年午閏10月	吉ヶ年季質売田地証文之事	魚沼郡大井平村又兵衛 [㊟] →森村三郎右衛門	状	金9両2分2朱 田地稲78束刈
63	明治18年酉8月	太鼓請合証文	太鼓張人志久見村浦沢平蔵 [㊟] →森村御連中	状	2尺4寸の太鼓 代金5円50銭
64	明治22年2月	土地台帳(字別反別、所有者)	桑原雅次	縦帳	
65	明治24年11月	三ヶ年質入証	当村広瀬こま [㊟] →森村広瀬康長	状	40銭
66	明治8年	森・羽倉組双方立合の上実測したる図面		図	中山峯 此の写しは当区に有り
67	明治	森組明治8年調製字図	桑原雅次	図	切図綴り 袋有り
68	年不詳(近世)	中野役所廻状綴	桑原常右衛門	横帳	桑名川村→森村までの廻状
69	年不詳卯3月	差上申一札之事(此者3人越後国十日町迄参り候者)	八丁堀北紺屋丁家主吉右衛門居佐七 [㊟] →猿ヶ境御關所御役人衆中	状	道中手形
70	年不詳(嘉永~安政頃)	おほへ(郷宿、陣屋役人らへの心附けか)		状	穀や・富田や・菊や・伊賀や
71	年不詳(近世)	借用申金子之事	借主仁右衛門 [㊟] →村三郎右衛門	状	金1両 畑1枚
72	年不詳亥5月(近世)	覚(土蔵一つほか)	清田山次兵衛 [㊟] →森村三郎右衛門	状	
73	年不詳亥4月(近世)	質地証文之事	森村三郎右衛門→桑名川仙之助	状	文書雛形

8 広瀬昇家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
1	安政2年7月	相撲免許	本朝相撲司御行司 吉田豊後守追 風他2名→森村 越ノ藤重次郎	縦紙	
2	明治4年11月	相撲世話人免許	本朝角力司御行事 吉田豊後守追 風他2名→森村 越ノ藤重次郎	縦紙	

9 保坂憲一家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A a		筆筒・引出 1層目：男性用及び女性用どてら他、2層目：夏物女性用スーツ他、3層目：モーニングとセットのベスト他			幅81.7×奥行44.5×高さ25.6桐及び杉材
A b		筆筒・引き出し（上段の下） 上面：木箱・掛軸 下面：袴・麻の襦袢他			幅81.7×奥行44.5×高さ25.7桐及び杉材
A c 1 1	大正10～15年	計算帳（貸付金明細帳）		横帳	保坂家作成
A c 1 2	明治40～大正10年	訴訟関係書類（山林境界）		綴じ帳	
A c 1 3	大正9年	雑件綴（土地更正及び鑑定）		仮綴	
A c 2 1	大正3～10	毎日記 家計簿記載		横半帳	6点
A c 2 2	明治9年5月4日	婚礼祝儀受納帳		横帳	保坂与左衛門作成
A c 2 3	明治8年亥3月7日	旧高貢米仕出帳		横帳	泉平組代議員作成
A c 2 4	大正9年	貸附日記帳（元利金記載）		横帳	保坂勇太郎作成
A c 2 5	明治・大正・昭和	委嘱状、感謝状、卒業証書 その他	→保坂忠美、保坂勇太郎		
A c 2 6	大正9年12月25日	借入金証書 土地売渡証書		仮綴	3点
A c 2 7	明治41年11月5日	図面（堺村字天引甲第31番）			
A c 2 8	明治23年10月30日	教育手帳		洋装本	堺尋常小学校生徒保坂忠美
A c 3 1	明治41～大正9年	明治45年度貸付金調達帳（貸付金明細明治41年～大正9年度まで3冊）		横帳	
A c 4 1	明治41年5月12日	森林窃盗事件関係		縦帳	刑事記録1冊 告訴状1冊 開訴文1冊
A c 4 2	昭和2年12月	昭和2年度計算帳（貸付金明細）		横帳	
A c 4 3	大正5年3月	財産目録		綴帳	
A c 4 4	大正11年12月	大正11年度日記		横半帳	家計簿、その他記載
A c 4 5	天保4年11月26日	萬覚帳		横半帳	桶の寸法その他記載あり
A c 4 6	大正2年9月	記念證	常慶28世瀧澤雲秀→保坂勇太郎	その他	杉苗1千本3か年下刈共此代金拾円也
A c 4 7	明治	履歴書			作成上倉淳一
A c 4 8	昭和26年7月21日	土地売渡証書	極野村竹内長兵衛@→泉平保坂忠美		山林原野 代金4万5千円也
A c 4 9	昭和9年2月1日	土地表示更正登記申請（2通）			作成保坂忠美
A c 4 10	昭和9年3月19日	土地所有権移転登記申請（3通）		仮綴	作成保坂忠美
A c 4 11	大正14年8月28日	借用証書	箕作上倉八太郎→泉平保坂忠美	その他	一金150円也
A c 4 12	昭和14年2月6日	皆勤證・賞状・その他	下高井農林学校→保坂義次	その他	
A c 5 1	明治44～大正13年	卒業證書・賞状・その他	保坂忠美・保坂義治・保坂きよ・保坂勇太郎		一括扱い
A c 5 2	大正9～昭和3年	借入金証書			破損 虫損大
A c 5 3	大正5年4月	立会契約証書（原野土地の境界確認）1通 土地丈量誤り訂正測量図1通		仮綴	
A c 6	昭和15年4月29日	勲章授賞状（勲八等白色桐葉章） 従軍記章之證	→保坂義治		
A c 7	昭和5～23年	感謝状・賞状・推薦状	→保坂忠美、保坂勇太郎		一括扱い9点
A c 8	明治44～大正3年	版画（東京名所、絵 商品広告、絵）			破損あり
A c 9		和紙（内山紙）			
A c 10		内山紙（節紙・厚紙・油紙）			1束
A c 11 1		掛軸 画（日の出に松と鶴）			紙本
A c 11 2		画（日の出に鶴亀）			紙本
A c 11 3		掛軸（昇竜）	陽石		紙本 画
A c 11 4		掛軸 画（蓮の花に鷗）			紙本
A c 11 5		掛軸（銭船水上浮）			紙本
A c 11 6		掛軸（牡丹に鶯）			紙本

9 保坂憲一家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A c 11 7		掛軸（江城寒角動沙洲夕鳥口獨在高帝上西南望遠山）	閑雲道人		紙本 書
A c 11 8		掛軸（山水に亀）			紙本 画
A c 11 9		掛軸（双鳥水浴）	小白山人		紙本
A c 11 10		掛軸（仏画 釈迦像）			紙本
A c 11 11		掛軸（宣戦大詔）			紙本
A c 11 12		掛軸（天照大神 八幡武太神 春日大明神 住吉大明神 玉津島明神 五神を詠んだ歌）			紙本
A c 11 13		掛軸（天照大神）	熾仁親王		紙本 書
A c 11 14		掛軸（天照皇大神 豊受大神）			紙本 画
A c 11 15		掛軸（口口能あらぬもの遊恵夕間能おほ津かなき盤水鶏也介里）			
A c 11 16		掛軸（朝日に鶴）			紙本 画
A c 11 17		掛軸（人物画）	半山口子		紙本
A c 11 18		掛軸包装紙			紙本 書（短歌）
A c 12		用途不明（木細棒・金具）			
A d 1	明治10～33年	金銭貸方利息調帳		横帳	作成保坂與左衛門
A d 2	明治2年2月	小使賞帳		横帳	
A d 3	明治14己年1月	穀売貸控帳（明治9年丙子穀売貸出入控帳）		横帳	一部虫食い染みあり
A d 4	明治2年庚馬ママ正月	金銭出入帳	保坂口口衛門	横帳	穀類貸付、金銭貸付等記載あり
A d 5	慶応元寅年9月	稻刈数記帳		横帳	辰1年糯稲数百かりうる稲縷々八百拾三束四把 明治41年まで記載あり
A d 6	不詳	大福口帳	保坂与左衛門	横帳	金銭貸付、受取、明細記載
A d 7 1	不詳	大本山再建本堂屋根替寄附等設帳	常慶院⑩→勤募委員補保坂与左衛門	横帳	四等～八等 四等金五両 八等金六円
A d 7 2	明治41年月	職人日雇人足日記帳	堺村参番地保坂勇太郎	横半帳	
A d 7 3	昭和2年3月	卒業證書（保坂義治氏昭和2～9年まで 堺村尋常高等小学校）	保坂与左衛門	横帳	1束
A d 7 4	大正11年3月	地理重（ママ）ナル産物		横半帳	各地方の主なる産物名記載
A d 7 5	明治40年11月23日	東京四日廻獨案内	保坂勇太郎	横半帳	写
A d 7 6	明治33年	大本山再建費寄附記		折紙	常慶院屋根修理領収証2枚
A d 7 7	明治23年4月	懐中説諭日記	堺村保坂勇太郎	横半帳	
A d 7 8	不詳	見世農波羅津々美		横半帳	御代の腹、御高札大略記載あり
A d 7 9	大正9年10月	當用案内	保坂勇太郎	ノート	民法に関する諸事記載あり
A d 7 10	大正15年	教育手帳	堺尋常高等小学校	洋装本	
A d 7 11	明治36年6月27日	三味線口述秘伝	十日町澤村美代志作成	横半帳	
A d 7 12	不詳	神等大祓祝詞	堺村保坂勇太郎作成	縦帳	
A d 7 13	明治37年9月5日	日露戦闘実戦日記		横半帳	
A d 7 14	明治30年9月	苗木代出諸入覚帳 苗木仕入記載帳 杉苗木代出諸入費帳	堺村二十七番地保坂勇太郎	横帳	一括綴
A d 7 15	明治34年丑5月	懐中説諭日記（漢字辞典写）	保坂勇太郎	横半帳	
A d 7 16	明治40～大正10年	小手帳	保坂勇太郎	ノート	金銭貸付等記載有り
A d 8		絵画（芝居舞台装置用 から獅子と牡丹の花）			楽屋と舞台のしきりに下げた垂れ幕カ
A d 9 1	昭和13年	新聞切抜		新聞	太平洋戦争関係
A d 9 2	昭和13年	支那事变写真帖	読売新聞社	写真	
A d 9 3	昭和13年10月	満州支那全土明細地図	読売新聞社	その他	世界大勢要図も含む
A d 9 4	不詳	パンフレット（鶴岡八幡宮記略）		パンフ	他2通
A d 10	不詳	襖紙（20枚色彩和紙4枚）		その他	
A d 11	不詳	御下賜繻帯（桐箱入り）		その他	
A d 12	不詳	印（無鬻之佳品 信陽之名産）		その他	木製
A d 13	不詳	彫物（竹に山水画の掘り）		その他	
A d 14	不詳	撥		その他	木製 琵琶用の撥カ

9 保坂憲一家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
B		掛軸入れ			木製 長89.3×幅9.5×高7.5cm
C ① 1	不詳	保坂忠美（陸軍歩兵上等兵）写真 東京赤坂一ツ木町 近衛歩兵連隊			未使用ラベル2種 写真4枚
C ① 2	不詳	写真			着物姿の高齡女性
C ① 3	明治31年9月16日	写真			付箋あり（哲学教道信士）
C ① 4	不詳	写真①亡父保坂勇太郎（大正拾壹年叁月九日死亡）（法名大仙勇道居士）京橋区新富町森山 ②氏名不詳 ③氏名不詳		写真	
C ① 5	不詳	写真（女性 法名華顏妙香法尼）		写真	長野公園丁根川謹写
C ① 6	大正7年旧8月29日	①御見舞物記載帳 保坂與左衛門（行年78才）保安禅光居士位 ②香典記載帳 ③諸々混立(ママ)客人御使帳（家主） ④空華顏妙香法尼位（行年21才）死亡香典帳		横帳	
C ① 7	平成5年10月2日	御会葬者芳名帳（與樹院忠翁広徳居士）俗名保坂忠美（85才）		横帳	
C ① 8	昭和10年1月2日	御客帳（御時客62人、他人方20人、全部82人）		横帳	
C ① 9	昭和4年5月30日	①昭和四年五月卅日出発六月一日入営餞別祝儀物記載帳 東京赤坂区一ツ木町近衛歩兵第三連隊 ②昭和五年拾貳月貳日帰郷郷兵士祝儀物記載帳近衛歩兵第參連隊保坂忠美 ③八嘗祝宴御帳近衛歩兵連隊保坂忠美			
C ① 10	平成5年10月2日	御香典帳（一周忌）與樹院忠翁広徳居士			
C ① 11	平成6年10月2日	御香典帳 俗名保坂忠美享年86才與樹院忠翁広徳居士			
C ② 1	昭和12年9月4日	出征餞別控保坂忠美		横帳	
C ② 2	昭和13年1月13日	祝凱旋祝儀記 保坂忠美		横帳	
C ② 3	昭和22年10月6日	婚禮祝儀物記載帖	保坂家作成	横帳	保坂義治婚禮帖
C ② 4	昭和初年頃	各種領収書及び納品書60点ほど			
C ② 5	大正3年～大正12年	当座日記（記帳正確）	保坂家作成	横半帳	
C ② 6	昭和11年4月20日	保山慈光大姉耆回忌法要供物控帳	保坂家作成	横帳	
C ② 7	不詳	保山慈光大姉（保坂わく）行年88才		横帳	
C ② 8	大正13年	亡祖父七年忌亡父三年忌香典記載帳	保坂家作成		
C ② 9	大正11年12月21日	香典記載帳（大仙勇道居士・保坂勇太郎行年48才）		横帳	
C ② 10	大正11年1月	病氣見舞受領日記		横帳	
C ② 11	昭和8年5月12日	婚禮祝儀物記載帳（保坂忠美） 婚禮御客帳	保坂家作成	横帳	
C ② 12	昭和10年4月2日	婚禮祝儀物記載帳 御客帳	保坂家作成	横帳	
C ② 13	大正9年1月21日	穴野田坪切小作米取立帳		横帳	
C ③ 1	昭和14年1月28日	入営兵士祝物記載帳（山砲兵保坂義治）		横帳	
C ③ 2	昭和18年10月3日	帰還兵士祝儀物記載帳（兵士保坂義治） 臨時招集壯行餞別控（昭和19年3月22日入隊）		横帳	
C ③ 3	昭和28年9月5日	香典記載帳（亡母保坂きく77才）		横帳	
C ③ 4	昭和12年4月29日	孫祝祝儀物記載帳（孫保坂美枝子）	保坂きく作成	横帳	
C ③ 5	昭和24年1月15日	御法事香典記載帳		横帳	

9 保坂憲一家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C ③ 6	昭和29年9月16日	亡父勇太郎三十三回忌亡母きく一年忌亡姉きよ三十三回忌御供物控	保坂忠美作成	横帳	
C ③ 7	昭和32年11月22日	御婚儀祝儀物記載帳 久保田敏男美枝子		横帳	
C ③ 8	昭和11年5月5日	御婚禮祝儀物控帳 御客帳	保坂忠美作成	横帳	
C ③ 9	昭和45年5月17日	御客帳 法要供物控帳		横帳	
C ③ 10	昭和54年8月30日	御婚儀祝物受納帳(保坂憲一・かよ子) 御婚儀御客帳		横帳	
C ③ 11	平成元年10月21日	婚禮祝儀控帳(保坂礼子)		横帳	
C ③ 12	昭和61年4月26日	三十三回忌供物帳(寿光院貞庵静節大姉) 同上御客様帳		横帳	
C ③ 13		断簡五枚		横帳大	
D ① 1	不詳	萬貫古状揃		縦帳	
D ① 2	不詳	商賈往来		縦帳	持主保坂與太郎 明治15年12月購う
D ① 3	天保10年巳亥孟夏	東方朔秘傳置文	明治16年癸未4月保坂與太郎行年43才	縦帳	
D ① 4		菅原傳授手習鑑四段目ノ切寺子屋能段		縦帳	市川村明石上倉口吉用
D ① 5	文化13年3月	庭訓往来萬歳藏(完)		縦帳	栄松齋書
D ① 6	文政12年	寶曆大雑書万万戴		縦帳	
D ① 7	不詳	消息往来		縦帳	つる形紙あり
D ① 8		開明消息往来(完)		縦帳	
D ① 9		書牘書 卷ノ二	堺村泉平保坂勇太郎	縦帳	内田嘉一書 明治11年出版
D ① 10		小学修身書十二編		縦半帳	明治14年6月22日版權免許
D ① 11		訂正小学筆算書	堺村泉平保坂勇太郎	縦帳	明治19年6月26日版權免許
D ② 1		紹成講義 論語部第老集		縦帳	明治19年4月7日版權免許 上倉印あり
D ② 2		小学修身書六、七、九、十 四冊	北原崑助	縦半帳	明治16年6月22日版權免許
D ② 3	明治20年4月27日	新撰理科書 六冊	編者理学士東京府士族高島勝次郎		版權免許
D ② 4	明治7年	書牘 三・四 二冊	長野県平民西沢喜太郎		明治11年出版
D ② 5	寛政元年巳酉2月	今年新版日本地名便覧	京都須原屋平左衛門ほか四名		
D ② 6	明治13年2月	信濃国地誌畧上・下巻	持主保坂勇太郎		
D ② 7	不詳	小学教授書(単語の部)	持主保坂勇太郎		東京府
D ② 8	明治36年3月	教育勅語書談	持主保坂勇太郎		編者大橋又四郎定価14銭
D ② 9	明治21年3月	尋常小学温習読本上下二冊	持主保坂勇太郎		著者植村善作定価各18銭
D ② 10	明治43年2月18日	近古史談前編後編2冊	持主保坂忠美		原著者大槻磐濠
D ③ 1	明治15年9月20日	数学三千題上	持主保坂姓		著者愛知県士族尾関正求
D ③ 2	明治11年5月	袖珍正字玉編	持主保坂勇太郎		新潟県平民眞嶋誠
D ③ 3	明治14年3月	文法明解文章規範字類大全三・四			広島県平民森川次郎
D ③ 4	明治28年8月25日	独習捷徑尺八師範(全)	持主保坂勇太郎		山本有所
D ③ 5	明治11年3月20日	珍袖小学読本字引			西野古海
D ③ 6	明治39年8月5日	新撰活版普通いろは辞典(全)	持主保坂勇太郎		著者後藤常太郎
D ③ 7	明治28年6月15日	明治文選帝國新玉編	持主保坂勇太郎		中川清輔
D ③ 8	大正11年2月20日	新譚近古史談			編者角田東涯
D ③ 9	明治15年6月16日	修刪近古史談注釈	信州下高井郡堺村保坂勇太郎		編集兼出版人東京府平民大槻清二
D ③ 10	明治39年6月15日	大祓祝詞	信州下高井郡堺村保坂勇太郎		印刷兼発行者柳田金蔵

9 保坂憲一家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D ③ 11	明治20年2月3日	明治改正東京全図			編集兼出版人嵯峨野彦太郎
D ③ 12	明治12年11月	標註四書譚語(全)	堺村泉平保坂勇太郎		編集人東京府士族美濃部繁栄
D ③ 13	大正2年9月28日	秘奥柔術教授書柔術終業秘伝	保坂勇太郎→保坂忠美		
E		木箱			幅22.6×奥行18.1×高8.4cm

10 島田汎家文書分類表

大項目	中項目
A 支配	1 領主
	2 領知
	3 家士
	4 俸祿
	5 給与
	6 職制
	7 役所
	8 役人
	9 法規
	10 施政
	11 財政
	12 軍事
B 土地	1 検地帳
	2 郷村高帳
	3 高反別帳
	4 名寄帳
	5 新田
	6 屋敷
	7 除地
	8 引地・引高
	9 林野
	10 河海
	11 池沼
	12 官民有区分
	13 地券
	14 土地台帳
	15 土地売買
C 租税	1 定租
	2 毛取
	3 口米
	4 小物成
	5 割付・免状
	6 取立
	7 上納
	8 皆済状
	9 勘定帳
	10 代納年貢
	11 願書
	12 蔵米
	13 廻米
	14 地租改正
	15 国役
	16 夫役
D 村(町)	1 村況
	2 町並
	3 村規約
	4 村役人
	5 村政
	6 村入用
	7 郷・貸借
	8 村組合(連合)
E 戸口・身分	1 宗門人別改帳
	2 家人馬数書上
	3 村除
	4 戸籍
	5 郷土
	6 浪人
	7 格式
	8 無宿
	9 浮浪者
	10 穢多・非人
F 治安	1 取締
	2 騷擾
	3 一揆
	4 犯罪
	5 村預
	6 喧嘩
	7 博奕
	8 離散

大項目	中項目
F 治安	9 病死入
	10 変死
	11 一般訴訟
	12 和解・詫状
	13 鉄砲改
	14 自警
G 凶荒・救恤	15 消防
	1 凶作
	2 災害
	3 飢饉
	4 飢民
	5 救米・金
	6 夫食・種籾貸
	7 助成
	8 拝借米・金
	9 備荒貯蓄(困米)
10 救済願書	
H 土木・建築	1 川普請
	2 護岸工事
	3 治水一般
	4 用悪水路普請
	5 上・下水
	6 道路
	7 橋梁
	8 土木一般
	9 城郭
	10 政庁
	11 邸宅
	12 寺社
	13 家屋
	14 建築一般
I 産業	1 産業一般
	2 殖産奨励
	3 藩営事業
	4 土族授産
	5 産物書上
	6 職人
	7 農間渡世
	8 奉公人
	9 出稼
J 農林業	1 農政
	2 耕作
	3 出入作
	4 農業団体
	5 割替(地割)
	6 用・悪水利用
	7 肥料
	8 飼料
	9 米・麦
	10 農産物
	11 養蚕
	12 畜産
	13 農業一般
	14 狩猟
	15 林制
	16 役人
	17 樹種
	18 材種
	19 伐木・運材
	20 稼業
	21 林産物
	22 林野入会
K 水産業	1 漁業
	2 漁船・漁具
	3 経営
	4 出稼・開運
	5 貢租賦役
	6 災害救恤
	7 海防

大項目	中項目
L 工鉱業	1 製糸
	2 機織
	3 染色
	4 醸造業
	5 漆器
	6 木材加工
	7 製紙
	8 製油
	9 製茶
	10 製糖
	11 製材
	12 鍛冶
	13 窯業
	14 家中工業
	15 組合・仲間
	16 工場工業
	17 鉱山経営
	18 鉱山労働
	19 鉱産物
	20 その他
M 金融・貸借	1 通貨
	2 紙幣
	3 両替
	4 御用金
	5 調達金
	6 蔵元(掛屋)
	7 札差
	8 名目金
	9 米・金貸借
	10 質屋
	11 質地
	12 家賃
	13 質物・書入
	14 借地・借家
	15 質物奉公人
	16 無尽講
	17 銀行
N 商業売買	1 市場
	2 問屋
	3 仲買
	4 小売
	5 行商
	6 一般商人
	7 仲間・組合
	8 商品
	9 貿易
	10 抜荷
	11 諸相場
O 経営	1 地主
	2 農林業
	3 水産業
	4 工鉱業
	5 金融・貸借
	6 商業・売買
	7 家計
P 交通運輸	1 制規
	2 街道
	3 宿駅
	4 宿役人
	5 定人馬
	6 宿役
	7 通行
	8 荷物
	9 宿救済
	10 宿入用
	11 助郷
	12 道中日記
	13 陸運
	14 海運
	15 水運
	16 運賃
	17 通信

大項目	中項目
Q 家	1 系譜
	2 由緒
	3 私日記
	4 相統
	5 縁組
	6 家具
	7 家産
	8 音信
	9 交際
	10 衣食住
	11 料理
	12 献立
	13 寺社
R 宗教	1 社殿堂塔
	2 教派
	3 布教者
	4 御師・山伏
	5 講社
	6 宗門改
	7 年中行事
S 習俗・行楽	1 冠婚葬祭
	2 儀礼
	3 風俗
	4 方言
	5 口碑伝説
	6 参詣
	7 参拝
	8 湯治
	9 遊山
	10 遊行
	11 旅費
	12 旅行記
	13 遊興
	14 儒学
T 学芸・医療	1 国学
	2 洋学
	3 和算
	4 学校
	5 学制
	6 教育
	7 教科書
	8 文芸
	9 伝説
	10 遊芸
	11 病氣
	12 治療
	13 医薬
	14 医師
	15 医書
	16 藩史
U 地誌	1 府県郡市町村誌
	2 名勝旧蹟志
	3 道中案内
	4 紀行
	5 国絵図
V 絵図	1 城絵図
	2 町絵図
	3 村絵図
	4 耕地図
	5 入会絵図
	6 災害絵図
	7 川
	8 普請絵図

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 1 1		飯山御城立初時代書付		横半	天正5年から記載
A 2 2	元禄13年12月	差上申口上書之事(信州・上野国 国境 箕作村、志久見村村三役→御役人のこと)		状	
A 2 3		松平遠江守様御所替之節 糺三俵寄附 箕作村 三左衛門		状	
A 2 4	享保2年	青山大膳亮様宮津へ所替 御家中飯山御立之次第		状	
A 2 5		御国替御大名		状	
A 2 6	文久元年4月	会津御預所之内より御本領渡村名帳	保坂	横帳	
A 7 7	享保5年8月	乍恐以上書奉願候御事(小見村に仮役所設置願)	高井郡村々	状	
A 9 8	万治元年12月	覚(凶作につき酒造り禁止その他)	市村次郎左衛門	状	
A 9 9	元禄12年正月	覚(仰付書の請書)	箕作村五人組→庄屋嶋田三左衛門	状	
A 9 10	宝永7年4月	豊照院様御代武家諸法度	俊海	状	
A 9 11	寛延4年4月	此度申渡候三ヶ条御書付写(1.御高札のこと。2.寺社修葺のこと。3.大庄屋停止のこと)	箕作村総連印	状	
A 9 12	4月	廻状(蠟実、漆運上請負について)	中野御役所→犬飼村外	状	
A 9 13	8月	御用書物廻状	中野御役所	状	
A 9 14	11月	回状(酒造改博奕取締りのこと)	脇野町御役所→高井郡箕作村始各村々	状	
A 9 15	6月	信州中野附村々江申渡連判状	松平九郎左衛門	状	
A 9 16	12月	盗賊人牢鑑条々		状	
A 9 17	享保17年6月	在々御普請定法書付御触書㊟		縦帳	
A 9 18	天保14年5月	嚴重御触書写(ぜいたくせざることをか)	太左衛門 扣	縦帳	
A 9 19	8月	衣服之制度御変革仰出		横帳	
A 9 20		五人組御仕置帳		縦帳	
A 10 21	慶長13年4月	覚(飯山領、他領の者秋山にて木伐間敷のこと)	小倉兵部右衛門→秋山ノ次左衛門	状	
A 10 22	元和8年8月	口上(かなな役について)	半田佐右衛門→平左衛門	状	2点
A 10 23	元和9年12月	(代官黒印状)	青木勘次	状	2点
A 10 24	元禄12年2月	覚(御国絵図之義に付新田高書)	箕作村庄屋三左衛門→中川理兵衛	状	
A 10 25	宝永6年5月	差上申口上書之事(秋山村の事情訴え書)下書	庄屋三左衛門他秋山村一同→御役所	状	
A 10 26	享保12年4月	覚(仰せ付けの御證木はないが絵図のような木がある由申出絵図添付共)	箕作村名主三左衛門外→中野御役所	状	3点
A 10 27	4月	差上申證文之事(證之木について享保12年か)	箕作村名主三左衛門外→松平九郎左衛門手代高橋和助	状	
A 10 28	延享2年6月	指上申口上書之事(日本記録の類有無のお尋ね)	箕作村名主五右衛門→中野御役所	状	
A 10 29	寛延元年8月	乍恐以書付御注進申上候(御林を刈野畑に伐開いていること注進)	箕作村名主五右衛門外	状	
A 10 30	宝暦6年5月	差上申一札之事(郷藏敷引高のこと)	箕作村名主茂右衛門→天野助次郎 中野御役所	状	
A 10 31	文政6年10月	乍恐差上申一札之事(長命寺の願事間届)	名主三左衛門→中野御役所矢嶋藤藏	状	
A 10 32	天保8年5月	御書付(秋山手当金利銀返済のこと)	矢島藤藏→箕作名主三左衛門	状	
A 10 33	天保14年9月	卯年返取下場調べ	川浦御役所→犬飼村外	状	
A 10 34	弘化3年8月	起請文前書(火の用心等について)	安岡定四郎→阿部伊勢守・稲生出羽守	状	
A 10 35	安政6年12月	(日米和親条約批准交換使節団名簿表並に拝領物調べ14人。出航翌年正月)		横帳	
A 10 36	慶応4年2月	写濟御所置言上之事(毛利大膳親子のこと。2月2日)		状	
A 10 37	明治元年12月	高令者御賑恤布告	伊那県	状	
A 10 38	11月	(夫喰代金種麦代金拝借金受取に来るよう通知)	中野御役所→上条村始各村々	状	
A 10 39	12月	御用(村々川欠永荒地所吟味について紙包み)	中野御役所→三左衛門	状	
A 10 40		書状(菰包、洪布包、書状村継にて遣わすこと)	佐藤権左衛門→飯山町外各村々庄屋	状	一括2点
A 10 41	6月	郷中庄屋組頭江為申聞覚(取極条項)	安藤惣太郎	状	
A 10 42	9月	乍恐以書付御注進申上候(御林近所まで焼野畑にせしこと)	箕作村名主三左衛門→中野御役所	状	
A 10 43	3月	差上申一札之事(箕作村、志久見村絵図面差上げのこと)		状	
A 10 44	嘉永5年10月	合衆国伯理聖天徳書簡和解		縦帳	
A 10 45	文久元年11月	和宮様御触当人足	下高井郡村々	横帳	
A 10 46	文久元年11月	和宮様関東御入興御用掛書記㊟	三左衛門	縦帳	
A 10 47	慶応2年4月	慶応二年御勘定様新開場御見分留扣		縦帳	
A 10 48		亜墨利加入より献上物外		横帳	
A 11 49	2月	正月廿一日御触(小判査定判歩増仰出について)	町年寄役所	状	
A 11 50	天保10年5月	西御丸御焼失に付村々上金控(信州高井・水内両郡28ヶ村)		横帳	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 12 51	安政4年6月	乍恐以書付奉願上候(海岸警備大筒備付寄附書上のごと)	藤吉外7人⑩→中野御役所今川要作	状	
A 12 52	慶応2年8月	覚(道造人足割当について)	中野役所→柏尾外五ヶ村名主	状	
A 12 53	慶応4年正月	(伏見戦いに付京都其外書付及御触れ書留書)		状	2点
A 12 54	慶応4年4月	書簡五点		状	5点
A 12 55	慶応4年4月	乍恐口上書を以奉申上候(三国峠、十日町、千住等状況)	箕作村名主三左衛門→野沢村御出張近藤	状	
A 12 56	4月	廻文(兵賦一条について)	箕作村三左衛門→東大滝外名主	状	
A 12 57		覚(勤役配置の事)		卷子	
A 12 58	慶応4年6月	表題なし(集義隊宿駅先触覚)		状	
A 12 59	慶応4年8月	乍恐書付を以奉願上候(控)(官軍御用割木入用のこと)	箕作名主三左衛門外最寄三名主→御料尾州御取締中野御役所	豎帳	
A 12 60		(上帳扣)御尋に付乍恐書付を以奉申上候(秋山からの草津道について)	名主三左衛門→中野御役所	豎帳	
A 12 61		(草津、箕作間の道路について)		状	
B 1 62	慶安5年3月	表題なし(箕作村田方検地水帳)		豎帳	
B 1 63	寛文10年10月	箕作村立新畑方検地帳		豎帳	
B 1 64	元禄8年5月	信州高井郡箕作村立新田検地帳		豎帳	
B 1 65	元文5年8月	信濃国高井郡箕作村検地帳		豎帳	
B 1 66	明和5年10月	信濃国高井郡箕作村本郷新田検地帳		豎帳	
B 1 67	明和5年10月	箕作村本郷・月岡新田検地帳寄	御代官 大野佐左衛門	豎帳	
B 1 68	明和9年10月	箕作村新田検地帳	御代官 臼井吉之丞	豎帳	
B 1 69	安永8年12月	信濃国高井郡箕作村新田検地帳		豎帳	
B 1 70	慶安5年3月	信州高井郡箕作村田方検地帳⑤		豎帳	
B 1 71	慶安5年3月	信州高井郡箕作村畑方検地帳⑤		豎帳	3点
B 1 72	寛文10年	新畑田成検地帳書出元禄八亥改田成		豎帳	
B 1 73	元禄8年5月	信州高井郡箕作村立新田検地帳⑤		横帳	3点
B 1 74	元禄8年5月	見取新田御水帳(元禄、宝永、享保外)	箕作村	豎帳	
B 1 75	元文5年8月	信濃国高井郡箕作村検地帳⑤	御代官 野呂猪右衛門	豎帳	2点
B 1 76	元文5年、明和6年	新田検地並書上帳(下帳)箕作村		横帳	
B 1 77	明和5年10月	箕作村本郷新田検地帳⑤	御代官 大野佐左衛門	豎帳	
B 1 78	明和5年10月	箕作村月岡新田検地帳⑤	名主 三左衛門扣	豎帳	
B 1 79	明和5年10月	箕作村本郷月岡新田検地帳寄	御代官 大野佐左衛門	豎帳	
B 1 80	明和9年10月	信濃国高井郡箕作村新田検地帳⑤	御代官 臼井吉之丞	豎帳	
B 1 81	安永8年12月	信濃国高井郡箕作村新田検地帳⑤		横帳	
B 1 82	安永8年12月	表題なし(信濃国高井郡箕作村新田検地帳)⑤	安藤弾正少弼、松本伊豆守	豎帳	
B 1 83	宝永3年9月	信州高井郡箕作村田方見取場改帳		豎帳	
B 1 84	享保元年12月	信州高井郡箕作村見取場改帳		豎帳	
B 1 85	明和8年4月	乍恐以書付奉申上候(見取場御高入御吟味の事)	箕作村名主茂右衛門→臼井吉之丞中野御役所	状	
B 1 86	5月	表題なし(魚沼郡大赤沢村迄検地の通知飯山御領矢ひつ村小赤沢村境杭のため)	堀田新介、成沢久兵衛→みつくり村三左衛門	状	
B 2 87	明治3年	略高帳		横帳	
B 2 88		箕作村枝郷限御水帳寄高帳寄引合帳		豎帳	
B 3 89	享保2年8月	高井郡箕作村高反別差出覚(高反別書改差出分)	箕作村名主三左衛門	状	
B 3 90	享保2年10月	差出申一札之事(見取場開作について)	長瀬組頭 善四郎外→嶋田三左衛門	状	
B 3 91		小野三太夫百姓高改め顛末書留状(末尾なし、元文3年以後か)		状	
B 3 92		村内高帳調べに付一同申合せの事		状	
B 3 93	安永3年10月	高覚帳	三左衛門	横帳	
B 3 94	安永7年12月	箕作村見取場小前反別改帳	御勘定 万年一重郎⑩、高橋小兵衛⑩、小嶋保八⑩	横帳	
B 3 95	文政4年5月	田畑林名所寸間改帳 小瀧分	→嶋田三左衛門	横半	
B 3 96	天保11年11月	本畑田成・子新田・丑高 右取調 三左衛門分		横半	
B 3 97		中野田高反別惣計帳		横帳	
B 3 98		北野戌申丑亥子高判別足引帳		横帳	
B 3 99		北野本検・田・畑地引高畝分附		横帳	
B 3 100	元禄8年5月	信州高井郡箕作村見取帳扣		豎帳	
B 3 101	享和元年9月	惣高銘々仕訳帳	箕作村	豎帳	
B 3 102	文化3年7月	高反別改書上帳	箕作村	豎帳	
B 3 103	明治4年2月	高反別廉限り書上帳	箕作村名主文六外村役人→中野御役所	豎帳	
B 3 104	明治4年2月	高反別廉限り書上帳	三左衛門	豎帳	
B 3 105		表題なし(高反別帳)		豎帳	
B 4 106	慶安5年	田方名寄帳(林慶分)		横帳	
B 4 107	享保17年	田畑目録五枚綴巻		横帳	
B 4 108	安永9年9月	北野新田検地畑小前帳(欠損あり)		横帳	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
B 4 109	安永9年9月	北野田高小前帳(欠損部多し)		横帳	
B 4 110	天明元年8月	(巻人別高付渡しのこと)	名主 長右衛門外村役	横帳	
B 4 111	天明4年2月	箕作村越石田畑名寄帳	東大滝村扣	横帳	
B 4 112	寛政4年8月	本田高名寄帳㊟(三左衛門所持分)		横帳	
B 4 113	寛政7年10月	本田本畑新田畑名寄帳三左衛門江入分限		横帳	
B 4 114		名寄帳		横帳	
B 4 115	享和元年11月	北野荒地引高小前本郷名寄銅尻並取付寄 揃突合帳未此通也泉平分 同断	名主 三左衛門扣	縦帳	
B 5 116	元禄9年8月	乍恐口上書之御事(焼野畑について願)	桑名川外十ヶ村庄屋→川合喜平次	状	
B 5 117	元禄9年8月	差上申一札之事(焼野畑、かつてにやい たことについてあやまり證)	西大滝村庄屋外→郡御役人	状	
B 5 118	正徳2年4月	差上申願書之事(開作願い)	箕作村五人組総連印→名主 三左衛門	状	
B 5 119	正徳2年7月	差上申一札之事(御法度の焼畑したこ と、誤状)	焼畑主 吉右衛門外→名主 三左衛門	状	
B 5 120	享保10年4月	一札之事(高倉山北東焼畑開作に付申入 の事)	志久見村名主 清右衛門→名主 三左 衛門	状	
B 5 121	享保10年4月	願書之事(川端通り見取り場開作願いの こと)	長瀬、北野百姓五十八人㊟→名主 三 左衛門	状	
B 5 122	延享2年8月	證文之事(仙道御林付近にて切替開畑に つき願)	村中惣連判→名主 五右衛門	状	
B 5 123	明和5年4月	差出申一札之事(寺堰端にて開田一件)	当村 作右衛門・三左衛門	状	
B 5 124	文化5年4月	乍恐以書付奉願上候(字穴野湧水あるに 付開田願いのこと)	願人 三左衛門→古橋隼人御役所	状	2点
B 5 125	文政元年12月	為取替規定證文之事(新開場について)	平滝、青倉名主外→箕作村外三ヶ村名 主	状	
B 5 126	10月	乍恐以訴状申上候御事(新田検地山畑十 二沢を願うこと)附絵図	箕作村庄屋五右衛門外惣百姓→棚橋善 兵衛	状	2点
B 5 127		乍恐以書付奉願上候(新田開発に対する 書式)	松平求馬 御役所	状	
B 5 128	文政5年6月	畑田成反別小前書上帳	箕作村枝長瀬	横帳	3点
B 7 129	正徳元年6月	覚(箕作村内各神社社地石高調)	箕作村神主志摩守、山城守	状	
B 7 130	明治4年3月	箕作村社寺除地郷村高取調帳(六ヶ年 平均御物成其外)	村役人	縦帳	
B 8 131	明治3年9月	荒地起返り免上小前書上帳 扣へ	高井郡箕作村	横帳	
B 9 132	宝永3年7月	差上申一札之事(御林大切にすること)	箕作村本組頭 与四右衛門外	状	後部欠
B 9 133	享保7年8月	箕作村の内大倉嶽御見通ノ節諸色書上帳 (江戸役人7月21日より8月7日迄道橋 小屋持運人足調)	箕作村、志久見村	横帳	
B 9 134	文化14年6月	山内見手帳(雑魚川奥山見分)	箕作村	横半	
B 9 135	嘉永5年3月	山方見分扣(坪野奥山、巣場山、仁手野 入)	嶋田三左衛門	横半	
B 9 136	文政4年	御林木数寸間目通書上帳	高井郡箕作村	縦帳	
B 9 137		表題なし(御林木数寸間目通書上帳)		縦帳	
B 9 138		御林改書上帳書式		縦帳	
B 14 139	文政4年4月	田地林名所寸間帳(本郷、野田沢、大久 保改)		横半	
B 15 140	宝暦4年4月	差出申證文之事(質流田地及び家敷ゆず りのこと)	野田沢定右衛門外→本郷五右衛門	状	
B 15 141	文化12年4月	和談内済為取替一札(質地に付故障あり 双方替地のこと)	虫生村常右衛門、金左衛門→箕作村名 主 三左衛門	状	
B 15 142	元文元年~6年	土地売買證文		状	15点
B 15 143	寛保元年	土地売買證文		状	3点
B 15 144	宝暦4年3月	譲渡田畑證文之事		状	
B 15 145	安永4年~9年	土地売買證文		状	6点
B 15 146	天明3年~8年	土地売買證文		状	11点
B 15 147	寛政元年~12年	土地売買證文		状	8点
B 15 148	享和元年~4年	土地売買證文		状	8点
B 15 149	文化元年~12年	土地売買證文		状	10点
B 15 150	文政8年~11年	土地売買證文		状	6点
B 15 151	天保2年~15年	土地売買證文		状	12点
B 15 152	弘化3年~4年	土地売買證文		状	3点
B 15 153	嘉永2年~7年	土地売買證文		状	19点
B 15 154	安政元年~6年	土地売買證文		状	23点
B 15 155	元治元年11月	売渡申杉林證文之事		状	
B 15 156	文久元年	土地売買證文		状	2点
B 15 157	慶応3年~4年	土地売買證文		状	4点
B 15 158	明治2年~3年	土地売買證文		状	4点
B 15 159		覚(土地売買證文)		状	
B 15 160	安永以降	田畑山林買入覚		横半	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C 1 161		(覚定免切替覚)	箕作村	状	
C 1 162	安政3年	辰定免下組帳	箕作村	縦帳	
C 1 163	明治3年9月	取下場免増書上帳	高井郡箕作村	横帳	
C 1 164	明治3年9月	取下場免増小前書上帳	高井郡箕作村	横帳	
C 4 165	元禄16年6月	差上申口上書之事(清沢之畑にて蠨損のこと)	泉平 作衛門外→本村組頭	状	
C 4 166	元禄7年8月	口上書之事(山蠨盗取のこと)	大久保村 佐左衛門→庄屋 三左衛門	状	
C 4 167	宝永3年6月	乍恐書付ヲ以奉願候御事(山里蠨実漆木運上のこと)下書		状	
C 4 168	宝永3年7月	差上申一札之事(山蠨之実について)	組頭連印→嶋田三左衛門	状	
C 4 169	宝永4年8月	一札之事(山蠨取のこと)	箕作村外連印→庄屋 三左衛門	状	
C 4 170	宝永5年4月	乍恐書付以奉願候(山里蠨実御運上について)	箕作村 三左衛門→小沢太治右衛門	状	
C 4 171	宝永5年4月	證文之事(山里蠨実並漆運上のこと)	箕作村 三左衛門外	状	
C 4 172	宝永5年7月	差上申一札之事(山蠨之実取りについて)	箕作村組頭連印→庄屋 三左衛門	状	
C 4 173	宝永6年7月	差上申一札之事(山蠨御吟味について)	箕作村庄屋外→高山九郎右衛門	状	
C 4 174	宝永6年7月	差上申一札之事(山蠨実について)	箕作村組頭連印→庄屋 三左衛門	状	
C 4 175	宝永6年7月	差上申山蠨預り證文之事	箕作村庄屋 三左衛門→中村御役所	状	2点
C 4 176	宝永6年9月	差上申一札之事(山里蠨実漆入札について)	箕作村落札主 三郎兵衛→中村御役所	状	
C 4 177	宝永7年7月	差上申一札之事(山蠨実とりについて)	箕作村組頭連印→庄屋 三左衛門	状	
C 4 178	正徳元年7月	差上申一札之事(山蠨実取について)	箕作村組頭連印→庄屋 三左衛門	状	
C 4 179	享保2年7月	覚(里漆之木について)	箕作村庄屋 三左衛門→新野御役所	状	
C 4 180	享保4年6月	一札之事(山蠨実取のこと)	箕作村	状	
C 4 181	享保6年3月	信州高井郡山里蠨実御運上願書(雛形)	何村名主一外→中野御役所	状	
C 4 182	享保6年4月	指上申一札之事(山里蠨漆改について)	箕作村庄屋 三左衛門→中村御役所	状	
C 4 183	6月	差上申證文之事(山里蠨実とりのこと、書式)		状	2点
C 4 184	6月	差上申證文之事(山里蠨実取について)	箕作村庄屋 三左衛門→中村御役所	状	
C 4 185	6月	覚(山里蠨実について下書)		状	
C 4 186	正徳4年11月	秋山運上帳	箕作村 嶋田三左衛門	横半	
C 4 187	享保6年3月	箕作村山里蠨木改帳(山里蠨里蠨の調書上)	箕作村名主 三左衛門→中野御役所	状	2点
C 5 188	元和9年11月	箕作村亥御年貢割付之事	青木勘次→肝煎百姓中	状	
C 5 189	寛永元年10月	箕作村子之御年貢割付之事	泉野長左衛門→肝煎百姓中	状	
C 5 190	寛永2年10月	信州高井郡箕作村丑ノ御成ヶ割付之事	青木勘次→庄屋、百姓中	状	
C 5 191	寛永3年10月	箕作村寅御年貢割付之事	天羽七右衛門→名主、百姓中	状	
C 5 192	寛永4年11月	箕作村卯御年貢割付之事	青木勘次→名主、百姓中	状	
C 5 193	寛永5年辰月	箕作村辰之御年貢割付之事	天羽七右衛門→名主、百姓中	状	
C 5 194	寛永6年8月	箕作村寅御年貢割付之事	曾我佐五右衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 195	寛永6年10月	箕作村巳ノ御年貢割付之事	天羽七右衛門→名主、百姓中	状	
C 5 196	寛永7年11月	箕作村午御年貢割付之事	青木勘次外→名主、百姓中	状	
C 5 197	寛永8年11月	箕作村未御年貢割付之事	青木勘次外→名主、百姓中	状	
C 5 198	寛永9年11月	箕作村申御年貢割付之事	青木弥三左衛門外→名主、百姓中	状	
C 5 199	寛永10年10月	箕作村酉之御年貢割付之事	青木弥惣左衛門外→名主、百姓中	状	
C 5 200	寛永11年11月	戌之年箕作村御年貢割付之事	青木勘次代→名主、百姓中	状	
C 5 201	寛永12年10月	〇〇〇〇御年貢割付之事	青木勘次→名主、百姓中	状	
C 5 202	寛永13年10月	子之年箕作村御年貢割付之事	青木勘次外→名主、百姓中	状	
C 5 203	寛永14年正月	箕作村戌之御年貢割付之事	曾我佐五右衛門→名主、百姓中	状	
C 5 204	寛永14年10月	丑之年箕作村御年貢割付之事	青木勘次→名主、百姓中	状	
C 5 205	寛永15年10月	箕作村寅ノ御年貢割付之事	青木勘次→名主、百姓中	状	
C 5 206	寛永16年11月	卯年定免状之事 箕作村	杉太郎左外→庄屋、百姓中	状	
C 5 207	寛永17年11月	辰年定免状之事 箕作村	杉太郎左→庄屋、百姓中	状	
C 5 208	寛永18年11月	巳年定免相之事	杉太郎左→庄屋、百姓中	状	
C 5 209	寛永19年12月	卯年定免状之事 箕作村	杉太郎左→庄屋、百姓中	状	
C 5 210	寛永20年6月	午年定免相之事 箕作村	杉太郎左外→庄屋、百姓中	状	
C 5 211	寛永21年申月	申年定免相之事 箕作村	杉太郎左→庄屋、百姓中	状	
C 5 212	正保2年12月	酉年定免相之事 箕作村	杉太郎左、丹忠平→庄屋、百姓中	状	
C 5 213	正保3年11月	戌年定免之事 箕作村	杉太郎左、丹忠平→庄屋、百姓中	状	
C 5 214	正保4年11月	亥年定免相之事 箕作村	杉太郎左、深九兵衛→庄屋、百姓中	状	
C 5 215	慶安2年	丑年定〇〇〇(割付) 箕作村	杉太郎左、深九兵衛→庄屋、百姓中	状	
C 5 216	慶安4年12月	卯年定免相之事 箕作村	杉太郎左、深九兵衛→庄屋、百姓中	状	
C 5 217	承応元年極月	(欠損) 箕作村	杉太郎左、深九兵衛→庄屋、百姓	状	
C 5 218	承応3年11月	午年定免相之事 箕作村	杉太郎左→庄屋、百姓中	状	
C 5 219	明暦元年11月	未年定免相之事 箕作村	杉太郎左外→庄屋、百姓中	状	
C 5 220	明暦2年11月	申年定免相之事 箕作村	深九兵衛→庄屋、百姓中	状	
C 5 221	明暦3年11月	酉年定免相之事 箕作村	杉平兵衛、深九兵衛→庄屋、百姓中	状	
C 5 222	万治元年10月	戌年定免相之事(欠損多し) 箕作村	深九兵衛→庄屋、百姓中	状	
C 5 223	万治2年11月	亥年定免相之事 箕作村	杉平兵衛→庄屋、百姓中	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C 5 224	万治3年11月	子年定免相之事 箕作村	杉平兵衛→庄屋、百姓中	状	
C 5 225	天和元年11月	酉年相定免付之事 箕作村	安藤次郎左衛門・望月与惣左衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 226	天和2年11月	戌年相定免付之事 箕作村	安藤治郎左衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 227	天和3年霜月	亥年相定免付之事 箕作村	安藤治郎左衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 228	元禄元年11月	辰年相定免付之事 箕作村	猪瀬七郎左衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 229	元禄2年11月	巳年相定免付之事 箕作村	中川番右衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 230	元禄3年11月	午年相定免付之事 箕作村	中川番右衛門・猪瀬七郎左衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 231	元禄4年11月	未年相定免付之事 箕作村	中川番右衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 232	元禄5年11月	申歳相定免付之事 箕作村	中川番右衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 233	元禄6年11月	酉年相定免付之事 箕作村	川口源五右衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 234	元禄7年11月	戌年相定免付之事 箕作村	川口源五右衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 235	元禄8年霜月	亥歳相定免付之事 箕作村	川口源五右衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 236	元禄9年11月	子年相定免付之事 箕作村	川口源五右衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 237	元禄10年11月	丑年相定免付之事 箕作村	井出五左衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 238	元禄11年11月	寅年相定免付之事 箕作村	井出五左衛門外→庄屋、百姓中	状	
C 5 239	元禄12年11月	卯年相定免付之事 箕作村	庄田弥右衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 240	元禄13年	辰年相定免付之事 箕作村	庄田弥右衛門外→庄屋、百姓中	状	
C 5 241	元禄14年霜月	巳年相定免付事 箕作村	八木雲平、広田弥右衛門、川口源五右衛門→庄屋、百姓中	状	
C 5 242	元禄15年11月	午年相定免付之事 箕作村	八木雲平外→庄屋、百姓中	状	
C 5 243	元禄16年11月	未年相定免付之事 箕作村	八木庄兵衛→庄屋、百姓中	状	
C 5 244	宝永元年11月	申歳相定免付之事 箕作村	八木庄兵衛外→庄屋、百姓中	状	
C 5 245	宝永2年11月	酉年相定免付之事 箕作村	八木庄兵衛外→庄屋、百姓中	状	
C 5 246	正徳元年11月	飯山領卯年免定 箕作村	賀藤左五右衛門外→庄屋、小百姓	状	
C 5 247	正徳2年11月	飯山領辰年免定 箕作村	賀藤左五右衛門外→庄屋、小百姓	状	
C 5 248	正徳3年11月	飯山領巳年免定 箕作村	八田孫兵衛外→庄屋、小百姓	状	
C 5 249	正徳4年11月	飯山領午年免定 箕作村	八田孫兵衛外→庄屋、小百姓	状	
C 5 250	正徳5年11月	飯山領未年免定 箕作村	関口佐左衛門外→庄屋、小百姓	状	
C 5 251	享保元年11月	飯山領申年免定 箕作村	関口佐左衛門外→庄屋、小百姓	状	
C 5 252	享保2年11月	信州高井郡箕作村西御成箇割付之事	増太兵衛、鈴小右衛門→名主、百姓	状	
C 5 253	享保3年10月	信州高井郡箕作村戌御成箇割付之事	柴田金右衛門、八木源太左衛門→庄屋、組頭、惣百姓	状	
C 5 254	享保4年10月	箕作村亥御成箇割付之事 箕作村	志藤四郎、伊喜右衛門→庄屋、組頭、惣百姓	状	
C 5 255	享保5年11月	子御年貢割付之事 箕作村	美濃部勘右衛門→名主、惣百姓	状	
C 5 256	享保6年11月	丑御年貢割付之事 箕作村	美濃部勘右衛門→名主、惣百姓中	状	
C 5 257	享保7年10月	寅御年貢割付之事 箕作村	美濃部勘右衛門→名主、与頭、惣百姓	状	
C 5 258	享保8年10月	卯御成箇割付之事 箕作村	美濃部勘右衛門→名主、与頭、百姓	状	
C 5 259	享保9年11月	辰御年貢可納割付之事 箕作村	松平九郎左衛門→名主、惣百姓	状	
C 5 260	享保10年11月	巳御年貢可納割付之事 箕作村	松平九郎左衛門→名主、惣百姓	状	
C 5 261	享保11年10月	午御年貢可納割付之事 箕作村	松平九郎左衛門→名主、惣百姓	状	
C 5 262	享保12年11月	未御年貢可納割付之事 箕作村	松平九郎左衛門→名主、惣百姓	状	
C 5 263	享保13年11月	申御年貢可納割付之事 箕作村	松平九郎左衛門→名主、惣百姓	状	
C 5 264	享保14年11月	酉御年貢可納割付之事 箕作村	松平九郎左衛門→名主、惣百姓	状	
C 5 265	享保15年11月	戌御年貢可納割付之事 箕作村	松平九郎左衛門→名主、惣百姓	状	
C 5 266	享保16年11月	亥御年貢可納割付之事 箕作村	松平九郎左衛門→名主、惣百姓	状	
C 5 267	享保17年11月	子御年貢可納割付之事 箕作村	松平九郎左衛門→名主、惣百姓	状	
C 5 268	享保18年10月	丑御年貢可納割付之事 箕作村	松平九郎左衛門→名主、惣百姓	状	
C 5 269	享保19年10月	寅御年貢可納割付之事 箕作村	松平九郎左衛門→名主、惣百姓	状	
C 5 270	享保20年10月	卯御年貢可納割付之事 箕作村	大太郎左衛門、宝七郎左衛門→名主、惣百姓	状	
C 5 271	寛保元年10月	酉御年貢可納割付之事 箕作村	野呂猪右衛門→名主、百姓	状	
C 5 272	寛保2年10月	戌御年貢可納割付之事 箕作村	野呂猪右衛門→名主、百姓	状	
C 5 273	寛保3年10月	亥御年貢可納割付之事 箕作村	野呂猪右衛門→名主、百姓	状	
C 5 274	延享元年10月	子御年貢可納割付之事 箕作村	内十右衛門→本村名主、惣百姓	状	
C 5 275	延享2年10月	丑御年貢可納割付之事 箕作村	内藤十右衛門→名主、百姓	状	
C 5 276	延享3年10月	寅御年貢可納割付之事 箕作村	小三太夫→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 277	延享4年10月	卯御年貢可納割付之事 箕作村	小三太夫→名主、組頭、惣百姓	状	欠損多し
C 5 278	寛延4年10月	未御成箇可納割付之事 箕作村	会伊右衛門→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 279	宝曆4年10月	戌御年貢可納割付之事 箕作村	天野助次郎→名主、惣百姓	状	
C 5 280	宝曆6年10月	子御年貢可納割付之事 箕作村	天野助次郎	状	欠損多し
C 5 281	宝曆8年11月	寅御年貢可納割付之事 箕作村	志村多宮→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 282	宝曆10年10月	辰御年貢可納割付之事 箕作村	志村新左衛門→名主、与頭、惣百姓	状	
C 5 283	宝曆12年10月	午御年貢可納割付之事 箕作村	大野佐左衛門→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 284	明和9年10月	辰御年貢可納割付之事 箕作村	臼井吉之丞→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 285	安永3年10月	午御年貢可納割付之事 箕作村	臼井吉之丞→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 286	安永5年10月	申御年貢可納割付之事 箕作村	臼井吉之丞→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 287	安永7年11月	戌御年貢可納割付之事 箕作村	岩出伊右衛門→名主、与頭、惣百姓	状	
C 5 288	安永9年12月	子御年貢可納割付之事 箕作村	原田清右衛門→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 289	天明2年10月	寅御年貢可納割付之事 箕作村	原田清右衛門→名主、組頭、惣百姓	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C 5 290	天明3年10月	卯御年貢可納割附之事 箕作村	原田清右衛門→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 291	天明4年11月	辰御年貢可納割附之事 箕作村	久保平三郎→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 292	天明6年11月	寅御年貢可納割附之事 箕作村	久保平三郎→名主、与頭、惣百姓	状	
C 5 293	天明8年10月	申御年貢可納割附之事 箕作村	風祭求馬→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 294	寛政2年10月	戌御年貢可納割附之事 箕作村	風祭求馬→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 295	寛政4年10月	子御年貢可納割附之事 箕作村	川尻甚五郎→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 296	寛政6年10月	寅御年貢可納割付之事 箕作村	川尻甚五郎→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 297	寛政8年10月	辰御年貢可納割附之事 箕作村	竹内平右衛門→名主、組頭	状	
C 5 298	寛政10年10月	午御年貢可納割附之事 箕作村	竹内平右衛門→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 299	享和2年10月	戌御年貢可納割附之事 箕作村	上野四郎三郎→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 300	文化元年10月	子御年貢可納割附之事 箕作村	上野四郎三郎→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 301	文化3年10月	寅御年貢可納割付之事 箕作村	古橋隼人→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 302	文化5年10月	辰御年貢可納割付之事 箕作村	古橋隼人→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 303	文化7年10月	午御年貢可納割附 箕作村	杉庄兵衛→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 304	文化13年10月	子御年貢可納割附之事 箕作村	大草太郎右馬→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 305	文政元年10月	寅御年貢可納割附之事 箕作村	古山善吉→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 306	文政3年10月	辰御年貢可納割附之事 箕作村	古山善吉→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 307	文政5年10月	午御年貢可納割附之事 箕作村	矢島藤藏→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 308	文政7年10月	申御年貢可納割附之事 箕作村	矢島藤藏→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 309	嘉永元年10月	申御年貢可納割附之事 箕作村	川上金五助→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 310	嘉永3年10月	戌御年貢可納割附之事 箕作村	高木清左衛門→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 311	嘉永4年10月	亥御年貢可納割附之事 箕作村	高木清左衛門→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 312	嘉永6年10月	丑御年貢可納割附之事 箕作村	高木清左衛門→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 313	嘉永7年10月	寅御年貢可納割附之事 箕作村	高木清左衛門→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 314	安政2年10月	卯御年貢可納割附之事 箕作村	今川要作→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 315	安政3年10月	辰御年貢可納割付之事 箕作村	今川要作→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 316	安政4年10月	巳御年貢可納割附之事 箕作村	今川要作→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 317	安政5年10月	午御年貢可納割付之事 箕作村	柴田善一郎→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 318	安政6年10月	未御年貢可納割付之事 箕作村	柴田善一郎→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 319	万延元年10月	申御年貢可納割附之事 箕作村	木村薫平→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 320	文久元年10月	酉御年貢可納割付之事 箕作村	鈴木源内→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 321	文久2年10月	戌御年貢可納割附之事 箕作村	増田安兵衛→右村名主、惣百姓	状	
C 5 322	慶応元年10月	丑御年貢可納割附之事 箕作村	松本直一郎→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 323	慶応2年10月	寅御年貢可納割付之事 箕作村	大草太郎左衛門→庄屋、組頭、惣百姓	状	
C 5 324	明治2年10月	巳御年貢可納割附之事 箕作村	中野局→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 325	明治3年10月	午租税可納割当之事 箕作村	中野県庁→名主、組頭、惣百姓	状	
C 5 326	明治4年10月	未貢税割付之事 箕作村	長野県庁→名主、組頭、惣百姓	縦帳	
C 5 327	承応元年～宝永7年	寺番 承応元辰年ヨリ宝永七寅年迄五拾九箇年御割附 箕作村		縦帳	
C 5 328	正徳元年～寛延3年	式番 正徳元卯年ヨリ寛延三年迄四拾箇年御割付 箕作村		縦帳	
C 5 329	宝暦元年～安永9年	三番 宝暦元未年ヨリ安永九子年迄三拾箇年御割附 箕作村		縦帳	
C 5 330	天明元年～寛政12年	四番 天明元丑年ヨリ寛政十二申年迄三拾箇年御割附 箕作村		縦帳	
C 5 331	享和元年～文化9年	五番 享和元酉年ヨリ文化九申年迄三拾箇年御割附 箕作村		縦帳	
C 5 332	文化10年～文政8年	六番 文化十酉年ヨリ文政八酉年迄三拾箇年御割附 箕作村		縦帳	
C 5 333	弘化3年～文久3年	九番 弘化三年ヨリ文久三亥年迄八箇年御割附 箕作村		縦帳	
C 5 334	安永2年	巳御年貢割附写並御目録 信州高井郡箕作村		縦帳	
C 5 335	文政13年正月	文化六巳年ヨリ文政十一子年迄三拾ヶ年御割付㊟ 箕作村		縦帳	
C 5 336	嘉永3年10月	戌御年貢可納割附之事 ㊟ 箕作村	高木清左衛門	縦帳	
C 5 337	嘉永4年10月	亥御年貢可納割附ノ事 ㊟ 箕作村	高木清左衛門	縦帳	
C 5 338	安政2年10月	寅御年貢可納割付之事 ㊟	今川要作	縦帳	
C 5 339	元治元年10月	割付 ㊟		縦帳	
C 5 340	安政2年10月	信濃国高井郡箕作村高取米割附帳	名主 三左衛門	横帳	
C 5 341	安政5年10月	信濃国高井郡箕作村高取米割附帳	名主 三左衛門	横帳	
C 5 342	文久2年10月	信濃国高井郡箕作村高取米割附帳	名主 三左衛門	横帳	
C 6 343	10月	覚(御蔵屋敷作付の御年貢について)	箕作村名主 五右衛門→小野三太夫御役所	状	
C 6 344	明治3年11月	当午御年貢二納並夫銭取立帳	高井郡箕作村名主 儀三衛門	横帳	
C 7 345	寛文10年10月	上納(控)		横帳	
C 7 346		年々増米関係覚		状	一括6点
C 7 347	11月	乍恐以書付御注進申上候御事(文書下部欠損、十一月、二納御年貢、納候者名前書上げ)		状	
C 7 348		上納請取		状	一括

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C 8 349	慶安元年4月	酉年御物成算作村算用之事	桜木長右衛門・市村彦左衛門→箕作村五右衛門	状	
C 8 350	慶安2年4月	戌年御物成算作村算用之事	桜木長右衛門→箕作村 五右衛門	状	
C 8 351	享保3年8月	信州高井郡箕作村酉御物成御勘定目録	増田太兵衛手代野沢直右衛門、鈴木小左衛門手代佐東藤藏→箕作村名主、組頭	状	2点
C 8 352	享保4年5月	信州高井郡箕作村戌御物成御勘定目録	柴田金右衛門・八源太左衛門→箕作村名主、組頭、惣百姓	状	
C 8 353	享保5年5月	信州高井郡箕作村亥御物成御勘定目録	伊藤喜右衛門・志賀藤四郎手代野沢直右衛門→箕作村名主、組頭、惣百姓	状	
C 8 354	享保6年7月	子御年貢並小物成皆済目録	美濃郡勘右衛門→箕作村名主、組頭、百姓	状	
C 8 355	享保7年7月	丑御年貢並小物成皆済目録	美濃郡勘右衛門→箕作村名主、組頭、百姓	状	
C 8 356	享保8年7月	高井郡箕作村寅御年貢皆済目録	中野役所 山田半蔵→箕作村名主、組頭、百姓	状	
C 8 357	享保8年10月	寅御年貢並小物目録(皆済のこと)	広瀬七右衛門→箕作村長瀬	状	
C 8 358	享保9年5月	覚(卯年皆済目録) 箕作村	美濃郡勘右衛門手代山田半蔵一名主、組頭、百姓代	状	
C 8 359	享保10年8月	覚(去辰御年貢皆済目録) 箕作村	松平九郎左衛門→名主、惣百姓	状	
C 8 360	享保11年6月	覚(巳年皆済目録) 箕作村	松平九郎左衛門手代茂木新八外一名主、組頭、百姓代	状	
C 8 361	享保12年6月	覚(午年皆済目録) 箕作村	松平九郎左衛門手代茂木新八外一名主、組頭、百姓代	状	
C 8 362	享保13年5月	覚(未年皆済目録) 箕作村	松平九郎左衛門手代河合十蔵→名主、組頭、百姓代	状	
C 8 363	享保14年6月	覚(申年皆済目録) 箕作村	松平九郎左衛門手代茂木新八一名主、与頭、百姓代	状	
C 8 364	享保15年5月	覚(酉年皆済目録) 箕作村	松平九郎左衛門手代河合十蔵一名主、組頭、百姓代	状	
C 8 365	享保16年6月	覚(戌年皆済目録) 箕作村	松平九郎左衛門手代茂木新八一名主、与頭、百姓代	状	
C 8 366	享保17年5月	覚(亥年皆済目録) 箕作村	松平九郎左衛門手代河合十蔵一名主、組頭、百姓代	状	
C 8 367	享保18年6月	覚(子年皆済目録) 箕作村	松平九郎左衛門手代茂木新八一名主、与頭、百姓代	状	
C 8 368	享保19年6月	覚(丑年皆済目録) 箕作村	松平九郎左衛門手代茂木新八一名主、与頭、百姓代	状	
C 8 369	享保20年6月	覚(寅年皆済目録) 箕作村	茂木新八外一名主、与頭、百姓代	状	
C 8 370	元文元年6月	覚(卯年皆済目録) 箕作村	茂木新八一名主、与頭、百姓代	状	
C 8 371	明和3年3月	酉御年貢皆済目録 箕作村	大野佐左衛門→名主、組頭、百姓中	状	
C 8 372	嘉永2年2月	申御年貢皆済目録 箕作村	川金吾助一名主、組頭、百姓代	状	
C 8 373	嘉永3年2月	酉御年貢皆済目録 箕作村	高濑左衛門→右村名主、組頭、百姓代	状	
C 8 374	嘉永4年2月	戌御年貢皆済目録 箕作村	高濑左衛門→名主、組頭、百姓代	状	
C 8 375	嘉永5年2月	亥御年貢皆済目録 箕作村	高濑左衛門→右名主、組頭、百姓代	状	
C 8 376	嘉永6年2月	子御年貢皆済目録 箕作村	高濑左衛門→右村名主、組頭、百姓代	状	
C 8 377	嘉永7年2月	丑御年貢皆済目録 箕作村	高濑左衛門→名主、組頭、百姓代	状	
C 8 378	安政元年2月	丑御年貢皆済目録 箕作村	高濑左衛門→名主、組頭、百姓代	状	
C 8 379	安政2年2月	寅御年貢皆済目録 箕作村	高濑左衛門→名主、組頭、百姓代	状	
C 8 380	安政2年12月	卯御年貢皆済目録 箕作村	今要作→名主、組頭、百姓代	状	
C 8 381	安政3年12月	辰御年貢皆済目録 箕作村	今要作→名主、組頭、百姓代	状	
C 8 382	安政4年2月	辰御年貢皆済目録 箕作村	今要作→右村名主、組頭、百姓代	状	
C 8 383	安政4年12月	巳御年貢皆済目録 箕作村	今要作→右村名主、組頭、百姓代	状	
C 8 384	安政6年3月	午御年貢皆済目録 箕作村	柴善一郎→右村名主、組頭、百姓代	状	
C 8 385	安政7年2月	未御年貢皆済目録 箕作村	柴善一郎→名主、組頭、百姓代	状	
C 8 386	万延2年2月	申御年貢皆済目録 箕作村	鈴源内→右村名主、組頭、百姓代	状	
C 8 387	文久2年2月	酉御年貢皆済目録 箕作村	鈴源内→右村名主、組頭、百姓代	状	
C 8 388	文久3年2月	戌御年貢皆済目録 箕作村	増安兵衛→右村名主、組頭、百姓代	状	
C 8 389	元治元年3月	亥御年貢皆済目録 箕作村	三鑿作→右村名主、組頭、百姓代	状	
C 8 390	元治3年2月	子御年貢皆済目録 箕作村	小達太郎→名主、組頭、惣百姓	状	
C 8 391	慶応2年2月	丑御年貢皆済目録 箕作村	松直一郎→名主、組頭、百姓代	状	
C 8 392	明治元年12月	卯御年貢皆済目録 箕作村	中野御役所→名主、組頭、百姓代	状	
C 8 393	明治元年12月	辰御年貢皆済目録 箕作村	中野御役所→名主、組頭、百姓代	状	
C 8 394	明治3年3月	巳御年貢皆済目録 箕作村	中野局→右村名主、組頭、百姓代	状	
C 8 395	明治4年7月	午租税皆済目録 箕作村	長野県庁→右村名主、組頭、百姓代	状	
C 8 396	天保7年~弘化2年	天保七申年ヨリ弘化二巳年迄拾ヶ年皆済目録 箕作村		豎帳	
C 8 397	弘化4年3月	天保七申年ヨリ弘化二巳年迄拾ヶ年皆済目録 ⑤ 箕作村		豎帳	
C 8 398	明和9年	卯御年貢金皆済目録 ⑤ 箕作村	臼吉之丞→名主、組頭、惣百姓	豎帳	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C 11 399	正徳5年7月	差上申一札之事(田畑明細書出は秋中に再度明細差出申こと)	百姓連印→庄屋 三左衛門	状	
C 11 400	延享3年5月	定免切替之事	箕作村 五右衛門→中野御役所	状	
C 11 401	明和2年2月	乍恐以書付奉願上候(定免の事)	名主 茂右衛門外	状	
C 11 402	明和8年7月	乍恐以書付奉申上候 扣(御林下草御運上無之訳申立)	箕作、月岡両村名主外→臼井吉之丞御役所	状	
C 11 403	安永7年10月	乍恐以書付奉申上候(下草永を納めない訳申立)	箕作、月岡両村名主外→臼井吉之丞御役所	状	
C 11 404	文政3年4月	乍恐以書付奉願上候(増米について)	箕作村名主 三左衛門→古山善吉	状	
C 11 405	弘化3年2月	乍恐以書付奉願上候(箕作村本新田定免のこと)	名主 三左衛門→石原清左衛門川浦御役所	状	
C 11 406	嘉永4年2月	表題なし(拾ヶ年定免願い)下書	箕作村名主 三左衛門外→中野御役所	状	
C 11 407	安政3年2月	乍恐以書付奉願上候(定免切替時の増米について)	庄屋 嶋田三左衛門	状	
C 11 408	万延2年正月	乍恐以書付奉願上候(定免切替につき先前の通り十ヶ年季にするよう願出)	名主 三左衛門外村役→鈴木源内 御役所	状	
C 11 409	慶応2年正月	乍恐以書付奉願上候(定免のこと)	名主 三左衛門外→松本直一郎中野御役所	状	
C 11 410	慶応2年5月	乍恐以書付奉願上候(見取畑御改についての願い)	箕作村名主 三左衛門外村三役→中野御役所	状	
C 11 411		乍恐以書附奉願上候(当亥ヨリ申迄拾ヶ年定免願、末尾欠)		状	
C 11 412		乍恐以書付奉願上候(定免のこと)		状	
C 11 413	9月	覚(山里蟬漆について)	箕作村名主 団蔵→中野御役所	状	
C 11 414		以書付申上候御事(百姓直納願のこと)	箕作村 五右衛門→中野御役所	状	
C 11 415		乍恐以書付奉願上候(秋山地方の御年貢減免について下書)		状	
C 15 416	元文5月12月	証文之事(御国役小物成高懸勘定違のこと)	箕作村 庄之丞→名主 五右衛門	状	
C 15 417	11月	日光御法会国役金請取	狩野次兵衛→箕作村	状	
C 15 418	明治3年10月	去巳御国役割賦帳	箕作村名主 儀左衛門	横帳	
D 1 419	元禄12年2月	差上申一札之事(国境正保二年以来変わりのないこと)	村三役→郡御役人	状	
D 1 420	元禄13年6月	差上申口上書之事 扣(北野村と舞子村、大赤沢村と小赤沢信越境界口上書のこと)	箕作村庄屋 三左衛門→川口源五右衛門	状	
D 1 421	元禄13年7月	覚(国境山々続きのこと)	箕作村庄屋 三左衛門外→川合喜平次	状	
D 1 422	元禄13年9月	差上申一札之事(越後大赤沢、信濃小赤沢境界川を境とすること)	箕作村、志久見村庄屋外村役→御役人	状	
D 1 423	元禄13年9月	指上申一札之事(上州・信州国境のこと)	箕作村、志久見村村三役	状	
D 1 424	元禄13年9月	差上申口上書之事(上・信州国境のこと)	箕作村、志久見村庄屋、組頭→御役人	状	
D 1 425	元禄13年9月	差上申證文之事(上州・信州国境のこと)	箕作村、志久見村村役	状	
D 1 426	元禄13年12月	指上申口上書之事(上・信州国境申し上げ)	箕作村、志久見村庄屋、組頭→御役人	状	
D 1 427	元禄13年12月	差上申證文之事(越後・信州山国境のこと)	箕作村庄屋 三左衛門外、志久見村庄屋 長右衛門外→御役人	状	9点
D 1 428	元禄13年12月	口上書以申上候御事(宮之原村・志久見村国境のこと)		状	
D 1 429	元禄13年12月	差上申證文之事(上・信州国境のこと)		状	
D 1 430	元禄14年正月	差上申口上書之事(志久見村・宮野原村国境のこと)	志久見村	状	
D 1 431	元禄14年3月	(水内郡富倉村・越後長沢村国境相證文のこと)	富倉村庄屋 甚五右衛門	状	
D 1 432	元禄14年4月	信濃・越後国境之義申上(案文)(志久見村・宮野原村国境のこと)	志久見村・宮野原村三役→馬場新右衛門、松原次右衛門	状	
D 1 433	元禄14年6月	差上申證文之事(箕作村・志久見村と越後山境のこと)	箕作村 三左衛門外、志久見村 長右衛門外→御役人	状	
D 1 434	元禄14年7月	口上覚(信・越国境山々のこと)	箕作村庄屋三左衛門、志久見村庄屋 長右衛門外→御役人	状	
D 1 435		差上申證文之事(舞子・北野の道路を国境とすること)	舞子村・北野村庄屋たれ一→松平遠江守御内川口源五右衛門	状	
D 1 436		差上申證文之事(案文)(宮野原村・志久見村志久見川東を国境とすること)	宮野原村、志久見村	状	
D 1 437		指上申口上書之事(案文)(志久見村・宮野原村国境決定しないこと)	志久見村・箕作村庄屋外	状	
D 1 438		差上申證文之事(宮野原村・志久見村国境申上案文)	志久見村庄屋 誰外、箕作村庄屋 誰外→松平遠江守御内川口源五右衛門	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D 1 439		乍恐以書付御訴訟申上候御事(志久見村・宮野原村国境志久見川東岸とする願)	→御奉行	状	
D 1 440		信・越山境のこと 案文	何村	状	
D 1 441		大滝村境通覚		状	
D 1 442	丑7月	覚(御尋により村明細書上)	箕作村名主 三左衛門→中野御役所	状	
D 1 443	元文4年10月	信州高井郡箕作村差出帳(村明細書上書)	名主 五右衛門、外村役 三名→中野御役所	豎帳	
D 1 444	安永7年5月	信州高井郡箕作村差出帳		豎帳	
D 1 445	寛政5年6月	表題なし(村明細)	名主 三左衛門外五人→中野御役所	豎帳	2点
D 1 446	弘化4年3月	明細差出書上帳	箕作村	豎帳	
D 1 447	慶応4年3月	奉差上御受書之事(下書)(村明細のこと)	→中野御陣屋	豎帳	
D 1 448	明治4年3月	表題なし(寺、戸数、人口、馬書上)	箕作村 庄屋 文六外村役人	豎帳	
D 1 449		表題なし(村方様子書上)		豎帳	
D 3 450	享保15年2月	一札之事(越後との争論場に入らないことと申合)	箕作村北野百姓連印→名主 三左衛門	状	
D 3 451	元文5年3月	村定法極證文之事(豆腐、酒造禁止、その他の取極め)	百姓総連印→名主 五右衛門	状	
D 3 452	元文5年3月	持林相立候に付極證文之事(勝手に林立てざること)	百姓総連印→名主 五右衛門	状	
D 3 453	元文5年3月	一札之事(鎌留の用水堰端刈取らざること、村極)	本村百姓連印→名主 五右衛門	状	
D 3 454	寛保元年11月	一札之事(上納割方に付名主方へ證文のこと)	五左衛門外百十四人	状	
D 3 455	明和9年2月	村定め證文のこと(法度守るべきこと外日常生活万事)	箕作村総連印→御庄屋 茂左衛門	状	
D 3 456	万延2年正月	相申渡一札之事(村持之分に桧植付差支えないこと外)	箕作村百姓連印→名主 三左衛門	状	
D 3 457		手段書 下書(諸掛り割方並村御用扱方取極めのこと)		状	
D 3 458	天保5年3月	差出申小前取極帳(凶作時に付盗取の者追放のこと)	百姓連名→名主 三左衛門外	豎帳	
D 4 459	元文5年2月	誤證文事(村中へ相談無与頭役の義名主へ夫立のこと)	孫四郎→名主 五右衛門	状	
D 4 460	享保2年7月	覚(庄屋給について)	箕作村庄屋 三左衛門→新野御役所	状	
D 4 461	文政5年6月	乍恐以書付奉願上候(名主三左衛門病氣に付伴仙治郎代役願いのこと)	箕作村名主 三左衛門→中野御役所	状	
D 4 462	文政9年11月	為取替申一札之事(取締役役向規定書のこと)	水内郡・高井郡村々連印	状	
D 4 463	文政10年4月	乍恐以書付奉願上候(名主三左衛門悪政に付訴のこと)	訴訟方 長瀬長命寺北天、相手方 名主 三左衛門、百姓三人→中野御役所	状	2点
D 4 464	天保14年6月	乍恐以書付奉願上候(元名主三左衛門病死に付伴三左衛門跡名主役仰付願のこと)	名主 三左衛門外、百九拾四人連名→川浦御役所	状	
D 4 465	嘉永2年4月	乍恐以書付奉願上候(庄屋役悲分につき取放願い)	箕作村 願人 百姓 源之助→中野御役所	状	
D 4 466	明治2年9月	乍恐以書付奉願上候 下書(名主島田三左衛門死亡により伴東次郎を名主役に仰付願いたい)	小前一同連書→中野御役所	状	
D 4 467	明治2年9月	名主役年番取極規定之言 下書(名主三左衛門死亡により伴東次郎が若年の為輪番名主の取極)	→中野御役所	状	
D 4 468	明治4年正月	規定取極一札之事(名主役者ヶ年づつ輪番のこと)	箕作村 重立連印	状	
D 4 469		取極め一札之事(名主役年番交替取極めのこと、この年まで前日より未まで十四年間年番)	村役二十六人連名	状	
D 4 470		乍恐以書付奉願上候 書式(名主、組頭交替願書のこと)	→中野御役所	状	
D 4 471	寛保3年3月	乍恐以口上書申上候御事(百姓方とのことでした難渋出入)	箕作村名主 五右衛門→野呂猪右衛門御役所	状	
D 4 472		乍恐以返答書申上候 下書(名主五右衛門と大小百姓にて、御年貢割付についての出入)		状	2点
D 5 473	宝永3年11月	覚(年貢仰渡し請書)	箕作村総連印→名主 三左衛門	状	
D 5 474	宝永7年10月	乍恐以書付御訴訟申上候 写(足滝村にて道路普請願)	寺石村・足滝村五郎右衛門外→御代官	状	
D 5 475	宝永8年3月	差上申一札之事(御林並里漆大切にすること)	箕作村庄屋 三左衛門	状	
D 5 476	正徳元年8月	口上書之覚(秋山村の現状調査)	箕作村庄屋 三左衛門→今中庄兵衛	状	
D 5 477	正徳3年11月	以口上書願申候事(当所持高平均に割付願いたいこと)	長瀬組頭 六之丞外→嶋田三左衛門	状	
D 5 478	正徳6年5月	差上申一札之事(御用木大切にすること)	箕作村五人組総連名→庄屋 嶋田三左衛門	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D 5 479	享保3年10月	一札之事(年貢、諸掛りを志久見村へ払うこと)	長瀬 善四郎外部落一同連名→名主 三左衛門	状	
D 5 480	享保3年10月	覚(年貢納入のこと)	箕作村総連印→庄屋 嶋田三左衛門	状	
D 5 481	享保3年10月	差上申一札之事(秋山組成年御条目欠損部分多し)	箕作村之内秋山源兵衛→嶋田三左衛門	状	
D 5 482	享保5年正月	差上申一札之事(事)(秋山組子年御条目欠損部分多し)	五人組、孫右衛門外→庄屋 嶋田三左衛門	状	
D 5 483	享保5年8月	乍恐以書付奉願上候事(柏尾村へ御役所仰付られたし案)		状	
D 5 484	享保6年7月	覚(小滝新田にて死馬処置の証文)	坪山村 太郎兵衛→中野御役所	状	
D 5 485	享保15年2月	乍恐以書付申上候御事(夜間瀬村外徒党を組み立木伐採のこと申上)	箕作村名主 三左衛門外村役→中野御役所	状	
D 5 486	元文2年9月	東部なし(御法度法守ることの請書)	野田沢外各村連印	状	
D 5 487	元文2年10月	指上申證文之事(江戸冬に出嫁に付念書の事)	野田沢七人、月岡二人、小滝二人、泉平八人、各@→組頭	状	
D 5 488	元文3年11月	御割付拜見一札之事(割付、皆済拜見したこと)	惣百姓連名→名主 団蔵	状	
D 5 489	寛保2年2月	(江戸冬奉公人帰国に付宿手形送付のこと)	江戸南伝馬町二 宿長兵衛@→名主、組頭衆中	状	
D 5 490	寛保2年10月	乍恐以書付奉願上候御事(御年貢上納について)	箕作村名主 五右衛門→中野御役所	状	
D 5 491	延享3年正月	乍恐以書付奉願上候(北野村外村定不履行について)	箕作村名主 五右衛門→中野御役所	状	
D 5 492	延享3年正月	乍恐以書付願上候御事(長瀬、北野村定不履行について)	箕作村 五右衛門→中野御役所	状	
D 5 493	寛延4年2月	差出申證文之事(江戸御用の折寺石重兵衛より金を借りたこと)	みつくり村久兵衛→仙助外	状	
D 5 494	寛政2年9月	差出申一札之事(御代官御検見通行先触粗略に付詫状)	長瀬・北野組頭、長百姓四名@→名主 三左衛門	状	
D 5 495	寛政12年10月	以書付申上候(五人組届出)	五人組頭 左兵衛外→本郷名主 三左衛門	状	
D 5 496	文政5年9月	乍恐以書附を奉願上候(書附裏打についての申立願)	長瀬崇守惣代甚右衛門→矢嶋藤蔵御役所	状	
D 5 497	天保3年6月	(内済取替證文に調印方のこと)	名主 善八→名主 三左衛門	状	
D 5 498	天保6年7月	乍恐以書付奉願上候(出府中の処帰村につき御添翰等下渡しのこと)	三左衛門→鈴木半十郎江戸御役所	状	
D 5 499	天保12年7月	(普請に係る證拠書類取調のこと)書式		状	
D 5 500	弘化3年11月	差出申一札之事(御上納金日延のこと)	笹原五左衛門外→名主 三左衛門	状	
D 5 501	嘉永2年4月	差出申一札之事(泉平で不心得者が新田開発切添いたした事で詫文の一札)	泉平村 触頭 武助外村中→本郷 三左衛門	状	
D 5 502	慶応3年正月	乍恐以書付奉願上候(笹原五左衛門濁酒隠造売買のこと)	箕作村名主三左衛門外→大草太郎左衛門御手附	状	
D 5 503	慶応4年6月	引継目録	月岡組名主 銀右衛門→本郷名主 三左衛門	状	頭欠損
D 5 504	明治2年10月	乍恐書付を以奉願上候(御廻状継村変更について)	箕作村名主三左衛門、月岡組名主 長右衛門→中野御役所	状	
D 5 505	明治2年11月	差出申一札之事(廻状継立について)	月岡組百姓代 文六→本村役人衆	状	
D 5 506	明治2年11月	差出一札之事(本村に談合しないで御廻状など出したのは申し訳ない)	月岡名主 長右衛門→本村御役人衆中	状	
D 5 507		差出申規定之事 下書(仮印一件喫願書差上等については本村に相談のこと)		状	2点
D 5 508	明治3年2月	差出申詫書之事(名寄取調について心得違いのあったこと)	箕作村詫人 源左衛門→役人衆中、小前中	状	
D 5 509	明治3年3月	差出申一札之事(北野、中野、天代組高反別引訳方並荒地免除について心得違いのこと、附書簡)	北野 銀右衛門外→組頭 東次郎	状	2点
D 5 510	明治3年6月	差出申一札之事(検地帳本紙拾冊外預け証文)	箕作村百姓代 名右衛門外→組頭 東次郎	状	
D 5 511	亥4月	差上申書付之事(千曲川通御普請に伴う御林に係る申立)	箕作村名主代 仙八→中野御役所	状	
D 5 512	戌9月	乍恐書付を以申上候御事(本榎御用に付申立)	箕作村名主 又右衛門→中野御役所	状	
D 5 513	10月	書状(渋紙包継立を以て届けること)	今中庄兵衛、玉井権左衛門→飯山町外各村庄屋	状	
D 5 514	丑12月	書簡(御用状)	谷御殿御役所→箕作村名主 嶋田三左衛門	状	
D 5 515		覚(人別届について廻文)	本郷 三左衛門→北野組外	状	
D 5 516		獅子踊取調内報	山岸村 小右衛門、柏尾村 伊兵衛→箕作村名主 三左衛門	状	
D 5 517		乍恐以書付御訴訟申上候事 下書(慶安検地不明分のため地詰仕度こと)		状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D 5 518		為取替一札之事(余荷精算のこと 写)	高井・水内両郡組合→同連印	状	
D 5 519		乍恐以上書願上候御事(御年貢上納について、後半欠損)		状	
D 5 520		覚(免定数のこと)		状	2点
D 5 521		乍恐書付を以奉申上候(山稼道堀切致したきこと)		状	
D 5 522	戊12月	以上書申上候御事(出頭しないことに ついて)	箕作村 五右衛門→御役所	状	
D 5 523		手段書(夫銭割外割方について)		状	
D 5 524		村政書簡類		状	一括31点
D 5 525	正徳～安政	御用留(仰渡書外)		豎帳	
D 5 526	安政～文久	御用留(取締請書外)		豎帳	
D 5 527	明和～天保	御用留(願書外)		豎帳	
D 5 528	安政13年～慶応2年	御用留		豎帳	
D 5 529	慶応2年	御用留(公議御用秋山村木出のこと御須鷹守のこと)	名主 三左衛門	豎帳	
D 5 530	文政8年～天保4年	秋山御年貢勘定覚(御年貢勘定目録差上のこと)	箕作村名主 三左衛門外→脇野町御役所	状	
D 5 531	子3月	書簡(柝の木岡三右衛門伐取りしこと)	長瀬 甚右衛門→名主 三左衛門	状	
D 5 532	明治2年2月	乍恐以書付御届奉申上候(高令扶持者死亡届)	箕作村名主 三左衛門	横帳	
D 5 533		定免、訴、屈等の書式書付の雛方		豎帳	
D 5 534		他見無用之書(五ヶ条目の内勘定方出入の訳外)		豎帳	
D 6 535	享保3年11月	差上申願書之事(秋山手間役願書)	箕作村之秋山孫左衛門外→庄屋 嶋田三左衛門	状	
D 6 536	明治2年3月	覚(夫銭増違分受取)	月岡 口六外→名主 三左衛門	状	
D 6 537	享保14年正月	村入用夫銭帳(記入法ひな形)		横帳	
D 6 538	享保21年正月	卯正月より同十二月村入用夫銭帳	箕作村	横帳	
D 6 539	寛保元年3月	申正月より同十二月村入用夫銭帳	箕作村	横帳	
D 6 540	安永5年3月	未正月より同十二月迄村入用夫銭帳	箕作村	横帳	
D 6 541	安永8年3月	去戌正月より同十二月迄村入用夫銭帳	箕作村	横帳	
D 6 542	天明5年3月	去辰正月より同十二月迄村入用夫銭帳	箕作村	横帳	
D 6 543	天明6年3月	去巳正月より同十二月迄村入用夫銭帳	箕作村	横帳	
D 6 544	天明7年3月	去午正月より同十二月迄村入用夫銭帳	箕作村	横帳	
D 6 545	天明8年3月	去未正月より同十二月迄村入用夫銭帳	箕作村	横帳	
D 6 546	寛政9年3月	去辰村入用夫銭書上帳	箕作村	横帳	
D 6 547	元治2年3月	去子村小入用諸夫銭改書上帳	箕作村	横帳	
D 6 548	慶応4年2月	卯村小入用諸夫銭割賦帳	箕作村	横帳	
D 6 549	寛政6年10月	寅年繳数通位附帳(箕作郷中繳割)	箕作名主 三左衛門	横帳	
D 6 550	天保7年9月	夫銭取調帳	名主 三左衛門	横半	
D 6 551	弘化2年3月	当村松之助へ取替金取調帳払へ	箕作村名主 三左衛門	横帳	
D 6 552	慶応2年8月	亥丑御年貢皆済請払・寅兵賦割同夫銭飯割 差引取立帳	箕作村名主 三左衛門	横帳	
D 6 553	明治3年10月	午中使給小前帳	箕作村名主 儀左衛門	横帳	
D 6 554	明治4年5月	水内除(マ)荷賃銭割渡帳		横帳	
D 6 555		覚(村入用控)		横帳	
D 6 556		覚(×金永百九貫四拾文出入)		横帳	
D 7 557	未聞6月	覚(金貳拾貳兩請取について)	中野名主 宗左衛門→五右衛門	状	
D 7 558	明治2年3月	差入申證書(月岡組への出金三左衛門立替払に付小前一同念書のこと)	本郷組百七十六名@→三左衛門	豎帳	
D 8 559	文政13年正月	組合惣代規定為取替一札之事(代官所脇野町へ変更につ惣代制取極のこと)	柏尾村北組	状	
D 8 560	明治4年2月	組合規定一札之事(惣代長五郎太原次退役に付いて)	高井水内両郡組合	状	
E 1 561	寛政4年3月	信濃国高井郡箕作村浄土真宗 当子宗門人別書上帳		横帳	
E 2 562	1 享保21年3月	口上(大久保村七左衛門娘つじの吟味筋一件)	七ヶ巻村作右衛門他2名→箕作村名主 三左衛門	豎紙	以下、人別送状272点
E 2 562	2 享保21年5月	覚(七左衛門娘たゑ25才の人別送状)	東大滝村 清右衛門@→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562	3 弘化4年4月	切証文之事(東大滝村作五郎縁付改寺の人別送状)	長沼 西蔵寺@→箕作村 常慶院	豎紙	
E 2 562	4 弘化5年2月	村送一札之事(明石村伝左衛門妹の人別送状)	東大滝村名主 奥之丞@→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562	5 弘化4年2月	送り一札之事(平滝村増右衛門娘ちの21才の人別送状)	平滝村 五右衛門→箕作村名主	切紙	
E 2 562	6 弘化5年2月	村送り一札之事(西大滝村善次郎娘つた22才の一件)	西大滝村名主 太左衛門@→箕作村名主 三左衛門	豎紙	
E 2 562	7 万延2年正月	人別送り一札(道明町村助左衛門弟才吉の一件)	越後高田在道明町村庄屋 水谷与左衛門@→箕作村名主 三左衛門	豎紙	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
E 2 562 8	万延2年2月	人別送り一札之事(政七妹とみ24才)	越後赤沢村庄屋 嘉右衛門@→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 9	万延2年2月	人別送り一札之事(市左衛門婿つま25才の一件)	平滝村名主 三左衛門@→長瀬村役人中	切紙	
E 2 562 10	万延2年正月	覚(志久見村伴左衛門娘と年28才の人別帳組入れ一件)	志久見村名主 重左衛門@→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 11	万延2年2月	人別切送一札之事(越後国秋成村川原利左衛門娘まさ31才とまさの娘さく11才の人別送りの一件)	越後国秋成村庄屋 城之助@仕切判→箕作村名主 三左衛門	切紙	付箋あり
E 2 562 12	嘉永2年2月	人別送り一札之事(東大滝村半七次男末光31才の一件)	東大滝村名主 小右衛門@→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 13	嘉永3年2月	覚(弥三郎娘さきの27才の人別送りの一件)	志久見村名主 善右衛門@→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 14	嘉永2年1月	一札之事(宮野原村枝村加用仁右衛門娘そ免23才の人別送一件)	宮野原村庄屋 式三郎@代印→箕作村名主 三左衛門	切紙	付箋あり
E 2 562 15	嘉永2年3月	送り一札之事(石倉村長右衛門娘つや20才の人別送りの一件)	石倉村名主 庄右衛門@→志久見村名主 善右衛門	切紙	
E 2 562 16	嘉永3年1月27日	一札之事(宮野原村枝小池三右衛門用嘉左衛門の人別送り)	越後国宮野原村庄屋 式三郎@代印→箕作村名主 三左衛門	切紙	付箋あり
E 2 562 17	嘉永3年1月22日	人別送り一札之事(宮野原村作右衛門娘登よ21才の一件)	宮野原村庄屋 式三郎@代印→箕作村名主 三左衛門	切紙	包紙あり
E 2 562 18	嘉永3年2月	覚(堀切膳右衛門娘ふじ27才の人別送り一件)	志久見村名主 善右衛門@→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 19	嘉永2年1月	一札之事(越後国宮野原村枝百木乙八養子つや41才人別送り一件)	宮野原村庄屋 式三郎@代印→箕作村名主 三左衛門	切紙	付箋あり
E 2 562 20	嘉永2年2月	人別送り一札之事(大久保村義助妹楚の23才の一件)	月岡 千多郎@→名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 21	嘉永2年1月	一札之事(越後国宮野原村枝新田政蔵娘いつ25才の人別送り一件)	宮野原村庄屋 式三郎@代印→箕作村名主 三左衛門	切紙	付箋あり
E 2 562 22	近世	覚(天九ぼ村嘉助娘の人別送りの一件)	下穴藤村 作右衛門@外2名@→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 23	近世寅	人別送り一札之事(志久見村枝塩尻の市左衛門弟与吉26才の一件)	志久見村名主 桑原重左衛門@→箕作村名主 三左衛門	切紙	包紙あり
E 2 562 24	近世	村送一札之事(東大滝村丑松娘志満24才の一件)	東大滝村名主 浅右衛門@→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 25	近世	送り一札之事(志久見村源蔵方の養子不縁に係る一件)	志久見村名主 十(重)右衛門@→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 26	近世2月	送り一札之事(青倉村枝横倉与八弟嘉蔵縁付に関する一件)	青倉村名主 庄左衛門→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 27	近世戊正月27日	人別送り一札之事(宮野原村枝百木彦次郎孫よ美9才養女の一件)	宮野原村庄屋 式三郎@代印→箕作村名主 三左衛門	切紙	付箋あり
E 2 562 28	近世戊1月	一札之妻(越後国外丸村枝田中庄太郎二男恂之助28才贅縁付の一件)	外丸村庄屋 新左衛門@→志久見村庄屋	切紙	
E 2 562 29	天保15年3月	送状之事(宮野原村枝出浦のみの縁付の一件)	越後國中深見村庄屋 久四郎@→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	虫損、掛紙のフケでかなりもろくなっている
E 2 562 30	文久2年3月	村送一札之事(越後国頸城郡切越村甚右衛門娘なよ39才縁付の一件)	越後国頸城郡切越村 甚右衛門、庄屋 市兵衛→箕作村庄屋 嶋田三左衛門	縦紙	こよりあり
E 2 562 31	文久2年2月	送り状之事(西大滝村元太郎娘勢系年23才の一件)	西大滝村組頭 太左衛門@→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 32	文久3年3月	覚(結束村枝前倉五郎七娘奈可年20才の人別送り一件)	結束村庄屋 万次郎@→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 33	文久2年2月	村送一札の事(東大滝村直蔵娘つる年24才の一件)	東大滝村名主 奥之丞@→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 34	文久3年2月	送り一札之事(東大滝村口左衛門娘あみ23才の一件)	東大滝村庄屋 浅右衛門@	切紙	
E 2 562 35	享保20年2月14日	覚(箕作村与左衛門娘はる年30才の人別帳の一件)	桑名川村名主 伝助@→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 36	享保20年2月13日	覚(志久見村平右衛門娘加口年22才の宗門帳書入れの一件)	志久見村名主 長右衛門→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 37	享保20年2月14日	覚(大井平村清右衛門孫まん年24才の人別送り一件)	越後国大井平村庄屋 嘉右衛門@→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 38	享保19年2月14日	覚(箕作村六之丞娘口か年15才の人別送り一件)	志久見村 長右衛門@→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 39	享保19年2月14日	覚(箕作村巳吉妹はる年16才の人別送り一件)	志久見村 長右衛門@→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 40	享保19年2月13日	覚(志久見村小右衛門子十右衛門年29才の人別送り一件)	志久見村 長右衛門@→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 41	弘化4年2月	覚(坪野村長五郎三男彦吉年17才婿入に伴う人別送り一件)	志久見村 善右衛門@→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 42	享保20年2月12日	覚(箕作村長三郎きよ年25才縁付に伴う人別送り一件)	青倉村名主 佐五兵衛@→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 43	慶応3年2月	送り一札之妻(坪野百姓重左衛門二男浅吉16才縁付に伴う人別送り)	坪野名主 善八@→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 44	享保20年2月13日	覚(七巻村長七郎娘おくめ年16才縁付に伴う人別送り一件)	七ヶ巻村名主 佐兵衛→箕作村 三左衛門	切紙	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
E 2 562 45	元治元年	人別送一札之事(平滝村幸次郎娘おと年27才縁付に伴う人別送り一件)	平滝村名主 郡五郎◎→箕作村名主 三左衛門	豎紙	
E 2 562 46	享保19年1月28日	一札之事(越後横根村茂右衛門娘ふぢ年22才縁付に伴う人別送り)	越後横根村組頭 吉兵衛◎→箕作村庄屋 三左衛門	豎紙	
E 2 562 47	天保15年3月	人別送一札之事(仁手の(極野)吉兵衛養子もよの人別送り一件)	志久見村名主 善八◎→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 48	近世巳2月1日	覚(加用村甚左衛門弟嘉左衛門年31才の縁付に伴う人別送り一件)	越後宮野原村庄屋 六郎左衛門→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 49	近世	村送一札之事(東大滝村清右衛門弟作五郎40才の養子縁付の人別送り一件)	東大滝村名主 浅右衛門◎→箕作村名主 三左衛門	豎紙	
E 2 562 50	弘化4年1月	人別送一札之束(越後大井平村菊右衛門者(は)る年22才縁付に伴う人別送り)	越後大井平村庄屋 吉右衛門◎→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 51	嘉永6年2月	覚(志久見村勝右衛門二男亀吉年18才贅縁付に伴う人別送り一件)	志久見村名主 善右衛門◎→箕作村名主 三左衛門	切紙	包紙あり
E 2 562 52	享保19年2月	覚(箕作村平助娘せき年15才の養子の人別送り一件)	秋成村庄屋 藤吉◎→箕作村 三左衛門	豎紙	
E 2 562 53	安政2年2月	人別送一札之事(志久見村枝雪坪勝五郎年23才の嫁縁付に関する人別送り一件)	志久見村名主 善右衛門◎→箕作村名主 三左衛門	切紙	包紙あり
E 2 562 54	弘化5年2月	村送一札之事(明石村甚右衛門娘かん年30才・・・)	東大滝村名主 奥之丞◎→箕作村名主 三左衛門	切紙	包紙あり
E 2 562 55	弘化5年12月	人別送一札之事(大井平村半右衛門娘つる年38才縁付の一件)	大井平村 村役人(人名なし)◎→箕作村 三左衛門	切紙	包紙あり、虫食いあり
E 2 562 56	元治元年7月	送一札之事(越後国真萩平村勝五郎妹つね年26才箕作村へ縁付に伴う人別送り一件)	越後国真萩平村 勝五郎外4名◎→箕作村 御役人御衆中	豎紙	
E 2 562 57	近世酉	酉年人別指引算(箕作村)		豎紙	
E 2 562 58	文久4年2月	村送一札之事(水沢村嘉宗治伴年12才養子縁付に伴う人別送り)	水沢村下組名主 清左衛門◎→箕作村名主 三左衛門	豎紙	
E 2 562 59	近世2月26日	口上(時候挨拶に伴い雪坪村への養子に懸る人別送状の願い文)	→雪坪村	切紙	
E 2 562 60	慶応4年3月	人別送一札之事(越後宮野原村枝加用彦四郎妹婦ゆ年26才人別送り)	宮野原村庄屋 六郎左衛門→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 61	慶応4年1月	人別送一札之事(越後大井平村安右衛門娘ろく年19才縁付人別送り一件)	越後国大井平村庄屋 保坂又兵衛→箕作村名主 三左衛門	切紙	付箋あり
E 2 562 62		送り一札之事(平滝村繁吉弟和助年26才跡式に伴う人別送り一件)	平滝村名主 幸四郎◎→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 63	嘉永6年2月	覚(志久見村源蔵娘たよ年40才縁付人別送り一件)	志久見村名主 善右衛門◎→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 64	慶応4年1月	送一札之事(越後国中深見村大赤沢村助之十娘春つ(すが)年20才小赤沢村縁付人別送りの一件)	越後国中深見村庄屋 久四郎◎→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	包紙あり
E 2 562 65	嘉永5年8月	送り一札之事(岡村源治右衛門娘志よの箕作村へ縁付人別送りの一件)	越後国頸城郡岡村庄屋 治右衛門◎→箕作村 役人中	豎紙	包紙あり
E 2 562 66	享保20年2月	人別手形入(包紙)		切紙	虫損、水損で紙がかなり弱くなっている
E 2 562 67	享保20年2月12日	覚(平滝村源助娘左重年15才縁付人別送り一件)	平滝村名主 重右衛門◎→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 68	享保20年2月14日	覚(箕作村長三郎娘さき年16才白鳥村へ縁付人別送り一件)	白鳥村名主 又右衛門◎→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 69	享保20年2月13日	覚(青倉村与右衛門孫娘者る年19才箕作村へ縁付の人別送り一件)	青倉村名主 佐五兵衛◎→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 70	慶応3年2月	人別村送り一札之事(東大滝村吉蔵妹きん年28才箕作村へ縁付人別送り一件)	東大滝村名主 奥之丞◎→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 71	嘉永7年2月	覚(結東村枝前倉嘉左衛門弟孫左衛門年52才縁付人別送り一件)	結東村庄屋 太郎左衛門◎→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	包紙あり、虫損のため断裂しかかっている
E 2 562 72	安政2年2月	送状一札之事(結東村助左衛門弟弥三右衛門年32才人別送り一件)	結東村庄屋 〇◎→中深見村庄屋 久四郎	豎紙	
E 2 562 73		人別送状願(人別送り状の表紙)	長瀬 甚右衛門→箕作村名主 三左衛門	豎紙	
E 2 562 74	安政3年2月	送り一札之事(越後国須川村惣吉妹もと水内郡北原村へ縁付人別送り一件)	越後国頸城郡須川村庄屋 勤十郎◎→信州水内郡(ママ)箕作村庄屋 三左衛門	豎紙	包紙あり、須川村は現安塚町
E 2 562 75	慶応4年2月	御送り一札之事(東大滝村太右衛門娘きん箕作村へ縁付の人別送り一件)	長沼 西蔵寺→箕作村 常慶院	豎紙	包紙あり
E 2 562 76	慶応4年2月	送一札之事(平滝村長右衛門娘りや年23才箕作村へ縁付の人別送り一件)	平滝村名主 利右衛門◎、長右衛門外1名→箕作村名主 三左衛門	切紙	包紙あり
E 2 562 77	近世2月11日	人別送り(大久保村嘉左衛門の子、笹原村五左衛門方へ養子に参りの人別送り一件)		切紙	76の包紙に包まれていた、箕作村内の人別送り
E 2 562 78	弘化3年2月	人別送り状之事(芦ヶ崎村枝城原新田文左衛門第五作年40才、中野村へ縁付人別送り一件)	芦ヶ崎村庄屋 太郎右衛門◎→箕作村 三左衛門	切紙	包紙あり

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
E 2 562 79	慶応4年2月	人別送一札之事(森村の佐吉42才妻とら40才が乙松13才を養子とし箕作村奥之重家を相続の人別送り一件)	森村名主 清助◎→箕作村名主	切紙	
E 2 562 80	近世	送り状の包紙		切紙	
E 2 562 81	嘉永7年2月	一札之事(宮野原村弥左衛門姉さんと年29才長瀬村へ縁付の人別送り状)	宮野原村庄屋 式三郎◎→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 82	嘉永7年2月	送り一札之事(月岡組文之丞娘たみ年27才、長瀬村へ縁付の人別送り状)	月岡組名主 与右衛門◎→本郷名主 三左衛門	紙	
E 2 562 83	嘉永7年	送り一札(送り状包紙)		紙	
E 2 562 84	近世	人別送り状之事(結東村前倉猪右衛門妹者登(もと)年28才、箕作村笹原へ縁付の人別送り状)	結東村庄屋 太郎左衛門◎→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 85	近世	送り一札之事(平瀧村清左衛門弟富蔵年25才、箕作村へ縁付の人別送り)	平瀧村名主 幸四郎◎→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 86	嘉永7年2月	送り一札之事(平瀧村太左衛門二男仁右衛門年28才、箕作村へ縁付の人別送り状)	平瀧村名主 幸次郎◎→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 87	嘉永6年2月	人別送り一札(志久見村切欠伝右衛門二男庄松年27才、泉平村へ縁付人別送り)	志久見村名主 善右衛門◎→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 88	嘉永6年6月3日	覚(結東村直右衛門娘みよ年26才秋山村湯本へ縁付の人別送り状)	結東村庄屋 太郎左衛門◎→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 89	慶応元年11月	人別送り一札之事(田沢村東組今右衛門娘免ん年31才神蔵村へ嫁に縁付の人別送り)	越後魚沼郡田沢村東組庄屋 恒之進◎→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 90	近世2月	覚(志久見村三左衛門伴と蔵年16才、箕作村庄次郎方へ養子に参る人別送りの一件)	志久見村 長右衛門◎→箕作村 三左衛門	切紙	90~100はこよりで一括
E 2 562 91	正徳2年2月	覚(寺石村組足瀧村又左衛門娘たま23才人別送り状)	越後魚沼郡足瀧村庄屋 又右衛門◎外3名◎→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 92	正徳2年2月19日	覚(百木平村長右衛門姪たつ年17才、長瀬村へ縁付の人別送り状)	百木平村 長右衛門◎外2名◎→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 93	近世	覚(越後寺石村枝羽倉村佐平治娘徒多(つた)年26才、箕作村へ縁付の人別送り状)	寺石村枝羽倉村 佐平治◎他1名◎→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 94	近世2月25日	覚(志久見村傳助娘志も年16才、箕作村へ縁付の人別送り状)	志久見村名主 長右衛門◎→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 95	近世2月24日	覚(志久見村甚右衛門娘たけ年16才、箕作村へ縁付の人別送り)	志久見村 長右衛門◎→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 96	近世辰3月19日	覚(惣兵衛妹けさ22才三郎妻人別送り状)	箕作村 三左衛門◎→志久見村 長右衛門	切紙	
E 2 562 97	近世辰2月23日	覚(平瀧村孫七郎娘よし24才又兵衛妻・久右衛門娘はな30才喜平次妻人別送り状)	平瀧村名主 三右衛門◎外2名◎→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 98	近世辰2月24日	覚(五右衛門娘にか、長瀬三九郎妻に人別送り状)	志久見村 長右衛門◎→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 99	近世辰2月28日	覚(惣兵衛妹けさ22才人別送り状)	志久見村 長右衛門◎→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 100	近世辰2月19日	覚(加用村権七娘くに21才人別送り状)	宮野原村 吉兵衛◎→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 101	正徳5年2月8日	覚(北原新田村藤四郎38才理右衛門警人別送り状)	北原新田村庄屋 源兵衛◎外1名◎→箕作村 三左衛門	切紙	101~120はこよりで一括
E 2 562 102	正徳5年2月7日	覚(庄右衛門娘てこ人別送り状)	平瀧村庄屋 惣左衛門◎→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 103	寛延3年2月	覚(草次郎娘ひめ16才人別送り状)	平瀧村名主 たれ→箕作村 五右衛門	切紙	
E 2 562 104	寛延3年2月	覚(箕作村甚六妹24才人別送り状)	水内郡桑名川村名主 三右衛門◎→箕作村名主 五右衛門	切紙	
E 2 562 105	寛延3年2月	覚(重左衛門妹しも13才人別送り状)	平瀧村名主 惣左衛門◎→箕作村名主 五右衛門	切紙	
E 2 562 106	寛延3年2月	覚(太治兵衛妹はつ27才人別送り状)	越後寺石村庄屋 口右衛門◎→箕作村庄屋 五右衛門	切紙	
E 2 562 107	寛延3年2月	覚(吉兵衛娘くめ12才人別送り状)	水内郡青倉村名主 角右衛門◎→高井郡箕作村名主 五右衛門	切紙	
E 2 562 108	寛延3年2月	覚(平二郎娘ひめ16才人別送り状)	平瀧村名主 惣左衛門◎→箕作村 五右衛門	切紙	
E 2 562 109	寛延3年2月	覚(市左衛門娘まん21才人別送り状)	庄屋 与左衛門◎→箕作村庄屋 五右衛門	切紙	
E 2 562 110	寛延3年2月	覚(重左衛門娘しも13才人別送り状)	平瀧村名主 たれ→箕作村名主 五右衛門	切紙	
E 2 562 111	正徳5年2月2日	覚(当部村傳九郎娘口口人別送り状)	越後魚沼郡大井平村庄屋 長兵衛◎外1名◎→信州箕作村庄屋 三左衛門	切紙	虫損がひどくほとんど断裂しかかっている
E 2 562 112	正徳5年2月2日	覚(志久見村長助娘たつ20才人別送り状)	志久見村庄屋 長右衛門◎→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 113	正徳5年2月19日	覚(半兵衛娘けさ19才人別送り状)	志久見村 長右衛門◎→箕作村 三左衛門	切紙	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
E 2 562 114	正徳5年2月3日	覚(平瀧村津右衛門妹たま人別送り状)	平瀧村庄屋 惣左衛門@→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 115	正徳5年2月3日	覚(志久見村平助妹人別送り状)	志久見村 長右衛門@→箕作村 三左 衛門	切紙	
E 2 562 116	正徳5年2月2日	覚(志久見村加兵衛娘はな24才人別送 り状)	志久見村庄屋 長右衛門@→箕作村庄 屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 117	近世正月29日	覚(西大瀧村 吉右衛門娘たけ17才人 別送り状)	西大瀧村庄屋 善右衛門@娘主吉右衛 門@→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 118	正徳5年2月2日	覚(作右衛門娘去午十月縁村人別送り 状)	白鳥村庄屋 理右衛門@→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 119	正徳5年2月5日	覚(庄右衛門娘去午八月御返し人別送り 状)	白鳥村庄屋 理右衛門@→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 120	正徳3年8月5日	覚(天(甘)酒村長左衛門娘25才の人 別送り状)	越後魚沼郡中深見村組 大赤沢村願人 藤左衛門@本村庄屋 八郎右衛門@組 頭七右衛門@→信州箕作村庄屋 三左 衛門	豎紙	
E 2 562 121	近世閏2月8日	覚(喜三郎娘孫七姫に人別送り状)	青倉村庄屋 助右衛門@→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	121~140はこよ りて一括
E 2 562 122	享保20年2月16日	覚(里兵衛妹くめ25才にんべつ送り 状)	宮野原村庄屋 六郎左衛門@→箕作村 庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 123	享保19年2月12日	覚(平助妹さま24才人別送り状)	水内郡青倉村 左五兵衛@→高井郡箕 作村 団蔵	切紙	
E 2 562 124	享保19年2月14日	覚(甚右衛門娘ねご27才人別送り状)	志久見村 長右衛門@→箕作村 三左 衛門	切紙	
E 2 562 125	享保19年2月12日	覚(重右衛門娘ろく35才人別送り状)	西大瀧村名主 善八@→箕作村名主	切紙	
E 2 562 126	享保19年2月13日	覚(作十郎娘不縁人別送り状)	志久見村名主 長右衛門@→箕作村名 主 三左衛門	切紙	
E 2 562 127	享保19年2月1日	覚(喜兵次娘すて22才人別送り状)	東大瀧村名主 清右衛門@→箕作村名 主 三左衛門	切紙	
E 2 562 128	享保19年3月	送證文之事(針田村久左衛門妹かめ17 才人別送り状)	針田村人主 久左衛門@名主 清左衛 門@→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 129	弘化4年2月	覚(野口常光院娘あき離別人別送り状)	志久見村名主 善右衛門@→箕作村名 主 三左衛門	切紙	
E 2 562 130	享保19年2月15日	送證文之事(針田村久左衛門妹かめ17 才人別送り状)藤右衛門娘ふち22才人 別送り状)	越後横根組頭 吉兵衛@同名主 藤右 衛門@→信州箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 131	享保19年2月	覚(傳左衛門姉離別人別送り状)	平瀧村名主 重右衛門@→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 132	弘化4年2月	覚(源治右衛門姉登よ44才、いそ15才 和山村へ人別送り状)	越後国魚沼郡結束村庄屋 太郎左衛門 @→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 133	近世不詳	人別送り一札之事(月岡組 長左衛門 娘登も26才)	月岡組名主 与右衛門@→本村 御名 主	切紙	
E 2 562 134	文政2年1月	送一札事(外丸村枝郷小池吉右衛門娘か ん18才人別送り状)	越後国魚沼郡外丸村庄屋 新左衛門@ →信濃国箕作村名主 三左衛門	継紙	
E 2 562 135	近世不詳	長瀬組 人別口口人		継紙	
E 2 562 136	近世午2月16日	覚(喜兵衛男子助右衛門25才吉郎衛門 へ人別送り状)	月岡組名主→御名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 137	弘化5年2月	人別送り(六右衛門妹さが24才人別送 り状)	月岡組名主 長右衛門@→本郷 三左 衛門	切紙	
E 2 562 138	弘化2年10月	覚(大赤澤百姓 元右衛門娘こめ25才 人別送り状)	中深見村庄屋 久四郎@→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 139	安政4年2月	村送り一札(東大瀧村長右衛門弟29才 人別送り状)	東大瀧村名主 奥之丞@→箕作村御名 主 三左衛門	切紙	
E 2 562 140	文久4年1月	人別送證文之事(七兵衛養子彦作22才 人別送り状)	越後国魚沼郡宮野原村庄屋 六郎左衛 門@→信濃国高井郡箕作村庄屋 三左 衛門	切紙	
E 2 562 141	安政6年2月	村送り一札之事(作右衛門弟久米治郎 25才人別送り状)	東大瀧村名主 浅右衛門@→箕作村名 主 三左衛門	切紙	141~149はこよ りて一括
E 2 562 142	安政5年2月	寺送一札(東大瀧村作右衛門弟久米二郎 人別送り状)	戸河里 真宗寺@→箕作村 常慶院	切紙	
E 2 562 143	安政6年2月	差出申一札之事(越後国魚沼郡浦村傳七 二男養子人別送り状)	箕作村枝泉平 今右衛門引受人@吉郎 右衛門@惣治郎@→本村名主 三左衛 門	切紙	
E 2 562 144	安政7年1月	送り一札之事(外丸村枝田中百姓利右衛 門男子利左衛門34才人別送り状)	越後国魚沼郡外丸村庄屋 忠四郎@→ 信州高井郡長瀬村 村役人衆中	切紙	
E 2 562 145	安政7年	送り一札之事(志久見村枝切欠組甚左衛 門娘くり26才人別送り状)	志久見村名主 重左衛門@→箕作村御 名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 146	安政7年2月	村送り一札之事(三之丞娘登ゆ27才人 別送り状)	白鳥村名主 又右衛門@→箕作村御名 主 三左衛門	切紙	
E 2 562 147	安政6年2月	村送り一札之事(弥惣八女子りと24才 人別送り状)	東大瀧村名主 浅右衛門@→箕作村名 主 三左衛門	切紙	
E 2 562 148	安政7年	送り一札之事(志久見村安蔵妹い登38 才人別送り状)	志久見村名主 重左衛門@→箕作村名 主 三左衛門	切紙	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
E 2 562 149	安政7年2月	覚(元右衛門姉しけ34才の人別送り状)	越後国魚沼郡中深見村庄屋 与次右衛門④→信濃国高井郡箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 150	正徳2年3月22日	一札之事(奈良沢村佐五右衛門娘口ん11才人別送り状)	箕作村願人 清五郎④五人組頭 源右衛門④外3名④→庄屋 三左衛門	豎紙	150~159はこよりで一括
E 2 562 151	正徳2年3月18日	差上申一札之事(志久見村久右衛門娘さい21才人別送り状1件)	箕作村 庄五郎④五人組頭 久右衛門④外4名④→庄屋 三左衛門	豎紙	
E 2 562 152	正徳2年2月20日	一札之事(大井平前沢村娘おこ屋27才人別送り状)	越後国魚沼郡妻有前沢村平右衛門④同村庄屋 兵左衛門④→信州高井郡箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 153	正徳5年2月4日	覚(庄五郎娘くに31才人別送り状)	平林村願人 庄五郎④同村庄屋 七郎衛門名④→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	2片に断裂
E 2 562 154	正徳2年2月20日	覚(庄三妹とめ34才人別送り状)	越後魚沼郡大割野新田 庄三④庄屋 六兵衛④組頭 利右衛門④→信州高井郡箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 155	正徳2年3月19日	一札之妻(治郎右衛門55才俣山右衛門27才人別送り状)	越後寺石村大家 幸右衛門④組頭 賀兵衛④庄屋 又右衛門④→箕作村庄屋 三左衛門	豎紙	
E 2 562 156	元禄6年3月朔	口上書之覚(秋山孫左衛門人別送り状)	舟山村 龍源寺④→常慶院	切紙	
E 2 562 157	元禄6年3月朔	口上書之覚(秋山徳十郎人別送り状)	芦ヶ崎村 弦昌寺④→常慶院	切紙	
E 2 562 158	貞享4年10月21日	宗旨手形之事(作右衛門人別送り状)	越後妻有高嶋村 長楽寺口口④→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 159	貞享4年8月2日	(惣右衛門人別送り状)	舟山村 禅宗龍源寺④→嶋田三左衛門	切紙	
E 2 562 160	元文2年2月	覚(重三郎妹けさ30才人別送り状)	越後出浦村組頭 七之丞④→箕作村 三左衛門	切紙	160~195はこよりで一括
E 2 562 161	元文4年2月	覚(茂右衛門子茂兵衛24才人別送り状)	越後宮ノ原庄屋 六郎右衛門④→箕作村庄屋 団蔵	切紙	
E 2 562 162	元文4年2月	覚(孫八妹さね29才人別送り状)	虫生村名主 又右衛門④→箕作村 団蔵	切紙	
E 2 562 163	元文4年2月	覚(半右衛門娘そめ20才人別送り状)	宮野原村名主 六郎右衛門④→箕作村名主 団蔵	切紙	
E 2 562 164	元文4年2月	覚(善太郎娘とら25才人別送り状)	青倉村名主 伊左衛門④→箕作村名主 団蔵	切紙	
E 2 562 165	元文4年2月	覚(久兵衛娘きた18才人別送り状)	白鳥村名主 又兵衛④→箕作村名主 団蔵	切紙	
E 2 562 166	元文4年2月	覚(久兵衛娘きた18才人別送り状)	白鳥村名主 又兵衛→箕作村名主 団蔵	切紙	
E 2 562 167	元文4年2月	覚(七郎右衛門娘離別人別送り状)	柏尾村名主 仙右衛門④→箕作村名主 団蔵	切紙	
E 2 562 168	元文4年2月	覚(三郎左衛門娘たつ19才人別送り状)	白鳥村 又兵衛④→箕作村名主 団蔵	切紙	
E 2 562 169	元文4年2月	覚(与左衛門娘ち与22才人別送り状)	平滝村名主 幸郎右衛門④→箕作村名主 団蔵	切紙	
E 2 562 170	元文4年2月	覚(庄右衛門娘そめ21才人別送り状)	青倉村名主 伊左衛門④→箕作村名主 団蔵	切紙	
E 2 562 171	元文2年2月	覚(万太妹まつ20才人別送り状)	越後前子村組頭人主 次郎右衛門④請人 武兵衛④→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 172	元文2年2月	覚(傳助方半助37才人別送り状)	志久見郷名主 七郎衛門④→箕作郷 三左衛門	切紙	
E 2 562 173	元文2年2月	覚(源左郎娘はる人別送り状)	越後大谷内村組頭 平左郎④同所源左郎④→信州箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 174	元文2年2月	覚(平左衛門娘たま14才人別送り状)	越後大奈沢村 六之丞、与次右衛門④→信州箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 175	元文2年2月	覚(八郎兵衛妹なつ26才人別送り状)	森村 新左衛門④→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 176	元文2年2月	覚(権兵衛妹さい26才人別送り状)	越後前子村名主 権兵衛④組頭 次郎右衛門④→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 177	元文4年2月	覚(尚之丞娘とわ30才人別送り状)	白鳥村名主 又兵衛④→箕作村名主 団蔵	切紙	
E 2 562 178	元文4年2月	覚(弥五右衛門娘くめ15才人別送り状)	青倉村名主 伊左衛門④→箕作村名主 団蔵	切紙	
E 2 562 179	元文4年2月	覚(太兵衛妹あか16才人別送り状)	森村名主 新左衛門④→箕作村名主 団蔵	切紙	
E 2 562 180	元文4年2月	覚(三郎兵衛娘志も12才人別送り状)	白鳥村 又兵衛④→箕作村 団蔵	切紙	
E 2 562 181	元文4年2月	覚(宮野原村惣吉娘くま34才人別送り状)	越後宮野原村庄屋 六郎左衛門④→箕作村庄屋 団蔵	切紙	
E 2 562 182	元文4年2月4日	覚(森村権兵衛妹こま24才人別送り状)	森村庄屋 新右衛門④→箕作村庄屋 団蔵	切紙	
E 2 562 183	元文4年2月	覚(青倉村前左衛門姉まん20才人別送り状)	青倉村名主 伊左衛門④→箕作村名主 団蔵	切紙	
E 2 562 184	元文4年2月	覚(箕作村利左衛門娘21才人別送り状)	青倉村 伊左衛門④→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 185	元文4年2月	覚(箕作村長右衛門養子勘太22才人別送り状)	青倉村名主 伊左衛門④→箕作村名主 団蔵	切紙	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
E 2 562 186	元文4年2月	覚(越後烏帽子(惠本し)村清助・せち21才人別送り状)	人主 清助、組頭 次右衛門⑨→箕作村名主 団蔵	切紙	
E 2 562 187	元文2年2月21日	覚(志久見村傳助弟半助37才人別送り状)	志久見村 林秀庵⑨→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 188	元文2年2月	覚(越後谷内村と左衛門娘柔羅43才人別送り状)	越後谷内村庄屋 弥平次⑨→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 189	元文2年2月21日	覚(志久見村傳介弟弥兵衛人別送り状)	志久見村 林秀庵⑨→箕作村名主 団蔵	切紙	
E 2 562 190	元文2年2月	覚(越後国前子村権兵衛妹つる(徒累)26才人別送り状)	越後前子村人主 権兵衛、組頭 次郎 左衛門→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 191	元文2年2月	覚(七ヶ巻村彦市妹つね(徒年)人別送り状)	七ヶ巻村 佐兵衛⑨→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 192	元文2年2月	覚(白鳥村市之丞娘とい33才人別送り状)	白鳥村名主 又兵衛⑨→箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 193	元文2年2月	覚(越後国大井平村弥兵衛弟五兵衛42才人別送り状)	越後大井平村庄屋 喜右衛門⑨→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 194	近世2月	切手形之事(野口村大宝寺娘く(具)め人別送り状)	志久見村 林秀庵⑨→箕作村 常慶院	切紙	
E 2 562 195	元文2年2月	覚(越後国米原村惣右衛門孫志の22才人別送り状)	越後米原村庄屋 六郎左衛門⑨→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 196	慶応4年2月	人別送り一札之事(芦ヶ崎村枝小下り文吉兵衛三男仲蔵24才)	越後国芦ヶ崎村庄屋代組頭 与市⑨→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	196~217はこよりで一括
E 2 562 197	安政4年2月	人別送り一札之事(越後国魚沼郡子種新田枝中子新田百姓と三次娘さが23才)	右村庄屋 名左衛門⑨→信州高井郡箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 198	文政4年2月	送り申切手之事(平瀧村要助妹その25才人別送り状)	平瀧村名主 桜井富右衛門⑨→箕作村御名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 199	近世酉2月12日	送り状(大久保文左衛門弟甚兵衛29才人別送り状)	月岡名主 文六→本郷御名主	切紙	
E 2 562 200	元治元年2月	寺送一札之事(戸狩水澤村喜惣治子要作人別送り状)	水内郡戸狩村 光明寺⑨→高井郡箕作村 常慶院	切紙	
E 2 562 201	嘉永8年(安政2年)正月	覚(出浦百姓安五郎弟吉兵衛29才人別送り状)	請本村庄屋 太郎左衛門⑨→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 202	近世卯2月	覚(白鳥七郎右衛門娘とわ24才人別送り状)	白鳥村名主→本郷 御名主	切紙	
E 2 562 203	享保19年2月14日	覚(志久見村長助娘けさ22才人別送り状)	志久見村 長右衛門⑨→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 204	近世申2月10日	覚(箕作村次右衛門娘あき21才人別送り状)	志久見村庄屋 長右衛門⑨→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 205	近世申2月10日	覚(箕作村枝泉平七郎右衛門娘19才人別送り状)	東大瀧村庄屋 清右衛門⑨→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 206	享保19年2月	覚(箕作村元右衛門妹里寿(りす)20才人別送り状)	越後宮野原村庄屋 六郎左衛門→信州箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 207	慶応4年3月	人別送一札之事(宮野原村枝加用彦四郎弟留五郎20才)	宮野原村庄屋 六郎左衛門⑨→信濃国高井郡箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 208	近世申丙2月8日	覚(泉平小左衛門娘てご20才人別送り状)	平瀧村庄屋 惣右衛門⑨→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 209	近世申2月15日	覚(箕作村藤九郎娘11才人別送り状)	志久見村庄屋 長右衛門⑨→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 210	近世申2月13日	覚(箕作村市左衛門養女子12才あき人別送り状)	平瀧村庄屋 惣右衛門⑨→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 211	近世申2月11日	覚(森村忠兵衛姉せわ36才人別送り状)	森村庄屋 与右衛門⑨→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 212	享保19年3月14日	覚(箕作村元右衛門妹わに20才人別送り状)	越後宮野原村庄屋 六郎左衛門⑨→信州箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 213	慶応3年2月	送り一札之妻(仁手野吉左衛門二男政吉年9才の北野平左衛門方へ縁付の一件)	志久見村 善八→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 214	享保19年2月	覚(平瀧村伝左衛門姉が箕作村市郎左衛門方と離縁に係る人別送りの一件)	平瀧村 重右衛門	切紙	
E 2 562 215	近世	送り証文之妻(何村茂左衛門娘ふじ年22才其村長右衛門方へ縁付の人別送り一件、下書カ)		切紙	
E 2 562 216	嘉永2年2月	村送一札之事(西大瀧村半左衛門娘まん年24才が箕作村茂右衛門方へ縁付に係る人別送り一件)	西大瀧村 太郎左衛門⑨→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 217	近世卯1月28日	覚(月岡組大巻の伝右衛門娘けさ年24才が同組大五郎方へ嫁縁付の人別送一一件)	月岡組 与右衛門→本郷名主	切紙	
E 2 562 218	近世	覚(村入用金の子細書き)		切紙	218~236はこよりで一括
E 2 562 219	弘化4年2月	人別送一札之事(魚沼郡谷内村枝今新田甚之助妹なみ年31才の長瀬村久助方へ縁付に係る人別送り一件)	越後国谷内村 三右衛門→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 220	享保19年1月	村入用金メモ		切紙	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
E 2 562 221	近世申2月9日	覚(箕作村伝七娘けさ年20才が志久見村権四郎方へ縁付に係る人別送り一件)	志久見村 長右衛門→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 222	元治2年2月	寺送り一札之事(西大瀧村忠之助妹やす)	戸狩村 光明寺→箕作村 常慶院	豎紙	
E 2 562 223	近世巳2月	覚(宮野原枝新田次郎右衛門弟茂左衛門37才、茂左衛門女房かの29才人別送り状)	越後国宮野原村庄屋 六郎左衛門→信州国箕作村名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 224	近世	覚(宮野原枝新田茂左衛門倅年4才長瀬村万吉宅へ跡敷へ参る人別一件)	魚沼郡宮野原村 六郎左衛門→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 225	慶応3年1月7日	送り状(越後国前子村与左衛門倅乙蔵年15才が長瀬村三郎衛門方へ養子に入る人別一件)	越後国結束村 市次郎→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 226	慶応3年1月7日	送り状(結束村枝横根茂右衛門倅五郎年8才北野村市郎右衛門宅へ養子に係る人別送り一件)	越後国結束村 市次郎→北野村 役人中	切紙	
E 2 562 227	弘化5年2月	人別送り之事(大久保の新左衛門子けさ年18才世原村五左衛門方へ縁付の人別送り一件)	月岡村 長右衛門→本郷 三左衛門	切紙	
E 2 562 228	弘化4年2月6日	人別送願之事(長瀬勝左衛門妹ふみ年31才、大巻の伝右衛門宅へ縁付に係る人別送り一件)	長瀬 伊八→本郷 三左衛門	切紙	
E 2 562 229	弘化2年2月	人別送一札之事(越後国大井平村口娘むら年24才長瀬村清蔵宅へ縁付に係る人別送り一件)	大井平村 甚右衛門→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 230	近世卯2月	送一札之事(平滝村奥之丞妹あき年19才泉平村卯左衛門家へ縁付に係る人別送り一件)	平滝村 五右衛門→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 231	享保4年2月	覚(志久見村枝堀切久左衛門弟久助年34才が長瀬村と兎方へ縁付に係る人別送り一件)	志久見村 十左衛門→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 232	近世	覚(御用に伴う入用金の内訳メモ、「過料、牢番給」の分言あり)		切紙	
E 2 562 233	嘉永6年2月	送一札之事(月岡組茂左衛門娘げん年26才天代武左衛門方へ縁付の人別送り一件)	月岡 文之丞→本郷 三左衛門	切紙	
E 2 562 234	安政2年1月	一札之事(越後国宮野原村枝百木太右衛門弟弥左衛門年31才長瀬村六之丞方へ簪に縁付に係る人別送り一件)	越後国宮野原村 式三郎→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 235	弘化2年2月	覚(志久見村半右衛門女房まつ年49才の離別に伴う人別送り状)	志久見村 善右衛門→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 236	嘉永5年9月	寺送り一札之妻(越後国頸城郡岡村源左衛門娘志よ年33才が箕作村藤次郎方へ縁付に伴う寺送り人別一件)	越後国頸城郡岡村 観音寺→水内郡戸狩村 真宗寺	豎紙	
E 2 562 237	享保19年12月	覚(箕作村権助娘たみ年21才越後国日出山村彦右衛門方へ縁付に伴う人別送り状)	越後国日出山村 組頭 たれ(下書カ)、彦右衛門→信州箕作村 三左衛門	切紙	237~247はこよりで一括
E 2 562 238	享保19年2月15日	覚(箕作村権助娘たみ年21才越後国日出山村彦右衛門方へ縁付に伴う人別送り一件)	越後国日出山村 孫右衛門、彦右衛門→箕作村 三左衛門	豎紙	
E 2 562 239	弘化5年2月	おほ以(越後国結束村枝横根徳右衛門弟甚右衛門年26才箕作村枝雨白(天代)喜平次方へ縁付の人別送り一件)	魚沼郡結束村 太郎左衛門→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 240	元文2年2月	覚(宮野原村枝加用村平右衛門娘かや年21才箕作村徳兵衛方へ縁付の人別送り一件)	越後国宮野原村 六郎左衛門→箕作村 三左衛門	豎紙	
E 2 562 241	元治2年1月25日	村送り一札之事(東大滝村熊蔵妹巳さ年19才箕作村市左衛門方へ縁付人別送り一件)	東大滝村 奥之丞→箕作村 三左衛門	豎紙	
E 2 562 242	元治2年2月	村送り一札(西大滝村忠助妹や春23才泉平組宇右衛門方へ縁付に伴う人別送りの一件)	西大滝村 太左衛門→箕作村 三左衛門	豎紙	
E 2 562 243	近世	村送り一札之事(東大滝村浅右衛門娘加せ年17才長瀬村甚右衛門方へ縁付に伴う人別送りの一件)	東大滝村 奥之丞→箕作村 三左衛門	豎紙	
E 2 562 244	近世	一札之事(三左衛門家千代太郎の後妻越後戸野村市村還右衛門娘おあみを迎えるにあつたての訳あり婚の一件の下書カ)	三左衛門→越後戸野村 善教寺	豎紙	
E 2 562 245	元治2年1月	人別送り証文之事(越後国魚沼郡中子新田伊左衛門三男文蔵年六才箕作村枝天代新七方へ養子に縁付の一件)	越後国魚沼郡子種新田 佐兵衛→箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 246	近世2月	人別送り一札之事(越後国秋成村枝見倉右衛門娘可ね年36才とその娘いそ14才の2人屋敷佐右衛門方へ縁付の一件)	越後国秋成村 城之助→箕作村 三左衛門	切紙	川浦支配所時代(天保14年~弘化3年代)

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
E 2 562 247	安政2年3月	送り一札之事(越後国頸城郡樽田村庄助娘つふ年22才長瀬村長命寺に縁付人別送り一件)	越後国樽田村 忠右衛門他2名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
E 2 562 248	慶応元年3月	村送り一札之事(柏尾村伝蔵女子よつ5才算作村善右衛門方へ養子の一件)	柏尾村 定右衛門→箕作村 三左衛門	豎紙	248~254はこよりで一括
E 2 562 249	慶応2年2月	送り一札之事(越後国頸城郡樽田村佐次郎娘とみ年23才長瀬村重兵衛方へ縁付の人別送り一件)	越後国樽田村 平助他2名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
E 2 562 250	慶応2年2月	送り一札之事(越後国頸城郡樽田村庄助娘せつ年26才長瀬村喜三郎方へ縁付の人別送りの一件)	越後国頸城郡樽田村庄屋 沖右衛門他2名→長瀬村庄屋 甚右衛門	豎紙	
E 2 562 251	慶応2年2月	村送一札之事(白鳥村太郎右衛門妹見せ年36才算作村只七方へ縁付に係る人別送り一件)	白鳥村 又右衛門→箕作村 三左衛門	豎紙	
E 2 562 252	慶応2年2月	送り一札之事(越後国頸城郡樽田村久右衛門娘ふし年19才長瀬村甚右衛門方へ養女に縁付に係る人別送り一件)	越後国頸城郡樽田村庄屋 沖右衛門他2名→長瀬村庄屋 甚右衛門	豎紙	
E 2 562 253	慶応2年1月21日	人別送り一札之事(魚沼郡芦ヶ崎村石坂の吉之丞娘たか年18才泉平の倉左衛門方へ縁付に係る人別送り一件)	芦ヶ崎村 与市→箕作村 三左衛門	豎紙	
E 2 562 254	慶応2年2月	村送一札之事(白鳥村太郎右衛門娘きよ年9才算作村只七方へ養子に縁付の人別送り一件)	白鳥村 又右衛門→箕作村 三左衛門	豎紙	
E 2 562 255	享保9年3月29日	旦那切手形之妻(宮野原村長作妹てこが箕作村作左衛門方へ縁付に係る人別送り一件)	林秀庵→箕作村 三左衛門	豎紙	255~272はこよりで一括
E 2 562 256	享保9年4月	覚(箕作村嘉兵衛娘てこ年21才が宮野原村五兵衛方へ嫁に縁付きの人別送り一件)	宮野原村 吉兵衛→箕作村 三左衛門	豎紙	
E 2 562 257	寛政11年2月	送り証文之事(白鳥村とめ娘せん年5才が泉平次郎左衛門方へ参る人別送り一件)	白鳥村 三右衛門→箕作村 三左衛門	豎紙	
E 2 562 258	寛政11年2月	差出證文之事(常慶院旦那白鳥村のとめ34才が泉平村次左衛門方へ縁付)	水内郡白鳥村名主 三右衛門→高井郡箕作村御名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 259	享和3年	切證文之事(当村(白鳥村)米七弟金兵衛三十八才箕作村友八方への養子の一件)	水内郡白鳥村名主 三右衛門→高井郡箕作村御名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 260	文政4年2月	送り申切手之事(平滝村奥右衛門娘たつ十三才箕作村清左衛門方へ養子一件)	平滝村名主 湧井富右衛門→箕作村御名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 261	近世2月25日	覚(白鳥村三郎右衛門娘たこ三拾二歳箕作村三郎右衛門妻に)	白鳥村 三郎右衛門他1名→箕作村庄屋 三左衛門	切紙	
E 2 562 262	文政4年2月	送り申切手之事(当村(平滝村)要之助弟惣兵衛武拾才箕作村庄左衛門方へ名跡に入る一件)	平滝村名主 湧井富右衛門→箕作村御名主 三左衛門	切紙	
E 2 562 263	近世2月20日	覚(越後今井村利兵衛娘寿口武拾八才箕作村組下長三郎の妻となる一件)	越後今井村 利兵衛他1名→信州箕作村 三左衛門	切紙	
E 2 562 264	近世2月22日	覚(当村(日出山村)源右衛門娘とめ年武拾参箕作村組下左兵衛方へ妻になる一件)	魚沼郡日出山村 源右衛門他1名→箕作村庄屋 三左衛門	豎紙	
E 2 562 265	近世辰2月21日	覚(当村大赤沢村甚口娘ひめ武拾八才箕作村組下重左衛門方へ嫁の一件)	魚沼郡大赤沢村 甚ノ丞他1名→信州箕作村 三左衛門	切紙	天の方は大きな虫損がある
E 2 562 266	近世2月21日	覚(赤沢村の藤左衛門娘つま年武拾五才の箕作村宗門帳へ書入れ願ひ)	赤沢村 藤左衛門他2名→信州箕作村庄屋 三左衛門	豎紙	
E 2 562 267	近世2月20日	覚(寺石村三郎右衛門婿介(ケ)さ四十四歳箕作村組下法右衛門の妻になる人別送り)	越後寺石村 三郎右衛門他1名→信州箕作村庄屋 三左衛門	豎紙	
E 2 562 268	近世8月3日	顔十郎親子四人者浄土真宗に而拙僧旦那に相違なく	戸狩 真宗寺→ミツクリ 三左衛門	豎紙	
E 2 562 269	嘉永2年2月	送り一札之事(甚右衛門叔母系(患)く武拾七才箕作村名主三左衛門妻に縁付の一件)	越後国大井平村庄屋 吉右衛門→信州箕作村 村役人衆中	切紙	包紙あり
E 2 562 270	嘉永2年2月	送り一札之妻(長瀬市市右衛門伴佐兵衛四十五才泉平組権次郎方相続人の一件)	伊那郡飯田名主 重兵衛→高井郡箕作村 御役中衆中	豎紙	包紙あり
E 2 562 271	寛政4年7月	一札(拙寺妹小もん箕作村三左衛門後妻に)	越後国戸野村 善教寺→信州箕作村 常慶院	豎紙	
E 2 562 272	天明6年3月	一札(去夏拙寺娘三左衛門後妻に差越候宗旨之儀に付貴寺旦那に相違無之・・・)	越後戸野村 善教寺→常慶院	豎紙	
E 2 563	正徳5年5月	覚(檀徒年間死者書出)	庄屋 三左衛門→戸川貞太夫	状	
E 2 564		表題なし(常慶院年内死者書出)	箕作村	状	
E 2 565	辰7月	表題なし(常慶院檀徒年内死者書出)	庄屋 三左衛門	状	
E 2 566	宝暦13年2月	差出申一札之事(帰国宗門帳に復籍のこと)	甚之丞→名主 茂右衛門	状	
E 2 567	文化4年10月	差出申一札之事(和助入村許可願)	北野組五人組作之丞外→村役人衆	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
E 2 568	文久2年7月	戌八拾才以上書上帳 高井郡箕作村	名主 三左衛門→増田安兵衛中野御役所	横帳	
E 3 569	慶応2年3月	家数人別増減改書上帳	箕作村	竖帳	
E 3 570	宝暦6年4月	覚(五郎兵衛人別帳外しのこと)㊦	小沼村庄屋 六右衛門→飯山御会所	状	
E 3 571	宝暦6年4月	覚(五郎兵衛五人組帳外しに関する一件)	佐五右衛門→飯山御会所	状	
E 3 572	宝暦6年4月	茶売五郎兵衛捨置候雑物改覚(本人帳外しに伴う一件)	庄屋 三左衛門→堀江林右衛門	状	
E 3 573	宝暦6年4月	口上書之覚(五郎兵衛娘行方について)㊦	善光寺札売→箕作村 三左衛門	状	
E 3 574	宝暦6年4月	口上書之覚(五郎兵衛帳外しに伴う一件)	横手村 義右衛門→箕作村 三左衛門	状	
E 3 575	宝暦6年4月	口上書之覚(五郎兵衛帳外し的一件)	小沼村庄屋 六右衛門→箕作村 三左衛門	状	
E 3 576	宝暦6年4月	箕作村清五郎口書(五郎兵衛帳外しに伴う娘の奉公について)	箕作村 清五郎→堀江林右衛門・中村半助	状	2点
E 3 577	宝暦6年4月	箕作村久兵衛口書 扣(五郎兵衛五人組帳外しについて娘きん奉公のこと)	箕作村 久兵衛→庄屋 三左衛門	状	2点
E 3 578	宝暦6年5月	一札之事(五郎兵衛帳外しに伴う娘のことについて)	佐治兵衛→庄屋 三左衛門	状	
E 3 579	宝暦6年5月	一札之事(五郎兵衛帳外しに伴う娘さんのことについて)	女子伯父佐五右衛門→庄屋 三左衛門	状	
E 3 580	宝暦6年5月	差上申一札之事(茶売五郎兵衛娘きんを預かること)㊦	箕作村 治右衛門→御役所	状	
E 3 581	宝暦6年10月	与右衛門伴善兵衛口書 扣(五郎兵衛五人組帳外し一件)		状	
E 3 582	宝暦6年	長兵衛、長三郎口書 扣(五郎兵衛五人組帳外し一件)		状	
E 4 583	宝暦2年2月	差出申一札之事(行方不明の治兵衛伴加法帰国につき人別帳書入願)	泉平願人 武右衛門→名主 五右衛門	状	
E 4 584	戌4月	出生記(一月~三月男三人、女三人、死亡人御座候)	長瀬組 甚右衛門→御役人	状	
E 10 585	享保12年8月	一札之事(穢多が村へ入ると悪事するので見かけた村から追出す、取極め)	箕作村 五人組頭他 村中	状	
E 11 586	宝暦5年正月	一札之事(久右衛門娘おが行方不明のこと)	柏尾村久右衛門 妻→組頭 市左衛門外	状	
E 11 587	宝暦5年正月	差上申口上書之事(久右衛門娘おが行方不明のこと)	箕作村庄屋 三左衛門→堀江林右衛門	状	
E 11 588	嘉永4年2月	乍恐以書付を御届申上候(野田沢百姓清右衛門行方不明のこと)	清右衛門 親類 六之丞 外→中野御役所	状	
E 12 589	延享2年6月	御判形 相定	安家従事 松田鞆(マ) 眞→嶋田五右衛門	状	
E 12 590	弘化元年3月	印鑑帳(印鑑帳、質地證文外写)	箕作村名主 三左衛門	横帳	
E 12 591		表題なし(村内の名前と各人の印鑑を押したもの)		横帳	
F 1 592	享保4年8月	差出申一札之事(諸事御法度その他について請書)	箕作村組頭、連印→庄屋 嶋田三左衛門	状	
F 1 593	享保7年6月	差出申一札之事(長瀬村善四郎不埒の者ども抱置くこと)	箕作村五人組頭外	状	
F 1 594	天明7年12月	差出申一札之事(差引出入に対し押催促、悪口など取締りのこと)	当人新人ほか㊦→名主 三左衛門	状	
F 1 595	天明8年3月	村方江差出申一札之事(博奕外諸賭事の取締りについて)	七右衛門並五人組仲間→名主 三左衛門	状	
F 2 596	安永6年正月	御褒美村方請書(正月十二日徒党訴え付加に付)㊦	→箕作村 三左衛門	竖帳	
F 2 597	明治3年12月	議定之事	柏尾村名主 長八郎外	状	
F 4 598	延宝4年6月	表題なし(盗人と盗品を渡すこと)	足(ママ)ヶ崎村 甚三郎→箕作村庄屋 三左衛門	状	
F 4 599	宝永6年5月	差上申願書之事(長三郎 手錠御免願)㊦		状	
F 4 600	元文5年2月	口書一札之事(弟殺しの兄を出家させること)	一家権右衛門外→名主 五右衛門	状	
F 4 601	天明7年正月	村方江差出し一札之事(盗人嘉四郎立退させること)	当人嘉四郎外→村三役 惣百姓	状	
F 4 602	寛政元年7月	差出申一札之事(善蔵不身持行方しれずのこと)	親類 源右衛門外→三役人衆中	状	
F 4 603	寛政元年7月	差出申書付之事(善蔵御触違背一件)	五人組頭 金左衛門外→村三役人衆	状	
F 4 604	寛政元年9月	一札之事(善蔵宿人かくし置一件)	宿人 太郎吉→村役人	状	
F 4 605	寛政元年9月	一札之事(善蔵無宿盗賊かくし置一件)	善蔵→村役人衆	状	
F 4 606	寛政元年9月	旅者願一札之事(善蔵宿人かくし置一件)	→村役人衆	状	
F 4 607	寛政元年9月	旅者留め置候に付一札之事	善蔵→村役人	状	
F 4 608	寛政2年5月	御附紙(善蔵、太郎吉行方しれずのこと下書)		状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
F 4 609		乍恐以書付御届奉申上候(善蔵、太郎吉欠落行方しれずのこと 下書)		状	
F 4 610	寛政5年4月	乍恐以書付御願上候 下書(善蔵、太郎吉 欠落、五人組帳に書落しのこと 下書)		状	
F 4 611	天保15年10月	乍恐以書付御届奉申上候(盗賊盗品被害者返戻に付)	長瀬 善右衛門・箕作村名主 三左衛門◎→川浦御役所	状	
F 4 612	嘉永6年6月	差出申口上書之事(放火願末口上書のこと)	亡重右衛門跡式志め◎・本家 親類十人◎→村役中	状	2点
F 4 613	文久3年3月	惣右衛門申口書(山小屋にて諸道具盗取ること)	泉平 惣右衛門→本郷名主 三左衛門	状	
F 4 614	慶応2年正月	乍恐以書附御届ヶ奉申上候(見付町和平その他秋山の木材買いに訪ねたこと申上)	箕作村名主 三左衛門外→松本直一郎 中野御役所	状	2点
F 4 615	慶応2年4月	相渡申一札之事(秋山木材伐出について約束もなく、谷御殿のこと知らないこと)	鏡坂村一礼人 茂兵衛→箕作村 三左衛門	状	
F 4 616	慶応2年6月	一札之事(見付伝六方へ御用状預け置きしことの詫状)	箕作村見付行使 藤吉→村役人中	状	
F 4 617	慶応2年6月	乍恐以書付奉申上候(秋山立木購入申上の和平のことについて不調法と申上げ)	名主 三左衛門外村役→松本直一郎 中野御役所	状	3点
F 4 618	4月	書付(取調のため出頭通知、野田村権左衛門外)	高木清左衛門手代奥野林介→役人	状	
F 4 619		箕作村長兵衛口書(茶売りに仲長三郎女房つれ出されたこと)		状	
F 4 620	子4月	新畑御改之刻志久見村に而かくし置申候畑之事	箕作村惣百姓→浦野七郎左衛門	状	
F 4 621	弘化4年6月	勝治郎一件御下知済之写		縦帳	
F 4 622	嘉永6年6月	差上申一札之事(志め急病にて死亡のこと)	志め本家 新七外→村役人中	状	
F 4 623	嘉永6年6月	箕作村志免乱心火付一条 扣	名主 三左衛門	縦帳	
F 5 624	正徳3年2月	信州松城類族本人刷屋才三郎被遊御預り候に付差上申一札之事(僧源信預りのこと)	箕作村惣百姓・源左衛門→北村弾右衛門外	状	
F 5 625	寛政6年9月	差出申一札之事(与市与八村預け願い)	長瀬組五人組頭 辰右衛門外→本郷名主 三左衛門	状	
F 5 626	寛政6年11月	相頼申御訴訟書付之事(欠落の与市一件のこと)	手鎖人 与右衛門外→名主 三左衛門	状	
F 5 627	寛政6年8月	乍恐以書付奉願上候(長瀬与右衛門、月岡九右衛門 手鎖吟味のもの村預り願)	箕作村名主 三左衛門外村役人→川尻 甚五郎 中野御役所	状	
F 5 628	寛政6年11月	乍恐以書付奉願上候(宿預吟味中の与太郎九右衛門 村預願い)	→川尻甚五郎 中野御役所	状	
F 6 629	天明6年7月	御取扱一札之事(酒酔喧嘩口論の取扱のこと)	当人 善蔵・権右衛門→山城・伊勢	状	
F 6 630		文間(内容喧嘩のこと)		縦帳	
F 7 631	安政6年2月	差入申御詫一札之事(博奕場所、提供お詫び)	嘉市→三左衛門	状	
F 7 632	延享2年8月	一札之事(寺石村庄古との賭奕一件)	月岡 重左衛門→名主 五右衛門外	状	
F 7 633	寛政6年8月	差出申一札之事(御法度の博奕したこと)	長瀬組頭 辰右衛門外→名主 三左衛門	状	
F 7 634	寛政6年8月	差出申一札之事(御法度の博奕につき詫状)	中野 五左衛門・北野 作之丞→名主 三左衛門	状	
F 7 635	寛政11年7月	差出申書付之事(賭奕 取締について)	五人組頭 辰右衛門外→村役人中	状	
F 7 636	嘉永4年2月	差出申一札之事(金の押領、博奕等の悪事は一切やらないことの一札)	詫人 繁右衛門→名主 三左衛門	状	
F 11 637	元禄13年3月	進上申和談証文之事(金子貸借論争一件)	白鳥村 作兵衛→七ヶ巻 庄左衛門外	状	
F 11 638	正徳元年9月	乍恐以口上書返答仕御事(親は兄弟であるが土地争いで出入りの件)	相手 三郎兵衛→返答 新右衛門	状	
F 11 639	正徳4年3月	差上申口上書(七ヶ巻村三郎兵衛と新右衛門とで質地証文の争い)	七ヶ巻村庄屋 吉兵衛門	状	
F 11 640	正徳4年3月	差上申口上書(七ヶ巻村の三郎兵衛と新右衛門との質地証文の出入り)	箕作村 三左衛門	状	
F 11 641	享保2年9月	乍恐以書付御訴訟申上候(田畑の出入り訴訟)	訴訟人 三郎兵衛・相手 新右衛門→御奉行所	状	
F 11 642	享保2年10月	乍恐以返答書申上候(田畑出入り三郎兵衛と新右衛門の争い)	返答人 新右衛門→御奉行所	状	
F 11 643	享保2年10月	乍恐以返答書申上候(田畑出入り三郎兵衛)下書	相手 返答人 七ヶ巻村 新右衛門→御奉行所	状	
F 11 644	享保4年2月	和談証文之事(金子貸借一件)	森村 与右衛門→森村 次郎兵衛	状	
F 11 645	元文3年	乍恐書付を以欠込御訴訟申上候(名主五右衛門と惣百姓と出入)後半なし		状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
F 11 646	寛保4年	乍恐以書付奉願上候御事(年貢金取替金返済のこと)	箕作村 五右衛門→中野御役所	状	
F 11 647	延享3年3月	乍恐以返答書申上候(名主不正と訴出に ついての返答書)	箕作村 五右衛門→御役所	状	
F 11 648	寛延3年3月	乍恐以書付奉願上候(村内家屋敷 田地 紛擾の件について)	願人名主 五右衛門→会田伊右衛門役所	状	
F 11 649	宝暦12年10月	乍恐書付を以奉願上候(枝郷大久保惣百 姓本郷組下へ變更願上げのこと)	大久保百姓四十人④→大野佐左衛門御役所	状	
F 11 650	宝暦13年8月	乍恐以書付奉申上候(信越酒出入 信州 酒当郡中に入れてもさしつかえなきこ と)	越後魚沼郡岩沢村酒屋 清六外→御奉行所	状	
F 11 651	宝暦13年8月	一札之事(信越酒出入)	越後魚沼郡宮野原村庄屋 新左衛門→清右衛門外	状	
F 11 652	宝暦13年12月	差上申一札之事(越後分へ酒売訴訟一 件、御請證文)	訴訟人信州酒造人 五名→御奉行所	状	
F 11 653		書簡(信越酒出入、宝暦十三年か)		状	
F 11 654	文政9年4月	(姉小もん家内不和にて里帰り実家善敬 寺より申立てのこと)	戸野村 善敬寺→三左衛門	状	
F 11 655	文政10年12月	差出申一札之事(身持不埒のこと 詫 状)	箕作村 松之助外三人→名主 三左衛門	状	
F 11 656	天保9年12月	一札之事(米代出入御尊頂戴惣見に付 書式)	何村 村役人一同→源之丞代源五郎	状	
F 11 657	天保10年5月	乍恐以書付奉願上候 下書(米代精算に ついて)	箕作村名主 三左衛門代第 為之助→御奉行所	状	
F 11 658	天保10年2月	乍恐書付御届申上候(新町村源之丞よ りの米代に係る訴訟一件)	桑名川村名主 幸次郎外→脇野町御役所	状	
F 11 659	嘉永2年9月	乍恐以書付奉願上候(屋敷境押込まれた のとの訴)	訴人 百姓重右衛門・相手 松之介→高木清左衛門 中野御役所	状	
F 11 660	嘉永2年9月	奉差上内済証文之事(屋敷境押しのこと 内済絵図とも二件)	願人 志免・相手 松之助→高木清左衛門 中野御役所	状	2点
F 11 661	文久2年5月	泉平利右衛門不法駈込訴訟の事		状	4点
F 11 662	天保13年12月	差出申一札之事(出入[内容不詳]につ いて)	訴訟方 長瀬甚右衛門・相手方 重右衛門→箕作村名主 三左衛門	状	
F 11 663	嘉永2年9月	差出申一札之事(立入費用弁償のこと)	訴訟方 重右衛門娘しめ④・相手方 松之助→名主 三左衛門	状	
F 11 664	弘化4年2月	差出申一札之事(双方出入御立入諸掛り について)	訴訟方 甚右衛門・相手方 徳蔵→名主 三左衛門	状	
F 11 665	明治4年正月	差出申一札之事(罪人病気に付預り証文 のこと)	小赤沢 惣左衛門④・親類 作之丞④→本村村役人中	状	
F 11 666	亥9月	乍恐以書付奉願上候御事(月岡銀右衛門 勝手に観音堂の木を伐りしこと)	箕作村名主 五右衛門→中野御役所	状	
F 11 667	亥9月	乍恐以書付奉願上候(平吉自分持田地に 家作吟味願い)	箕作村名主 五右衛門→中野御役所	状	
F 11 668	亥9月	乍恐以書付奉願上候(上田口家作のこと 吟味願い)	箕作村名主 五右衛門→中野御役所	状	
F 11 669	未6月	乍恐以書付奉願上候(名主五右衛門と百 姓高狂い出入)	願人組頭 五左衛門→会田伊右衛門御役所	状	
F 11 670	戌3月	乍恐訴状を以申上候御事(材木伐取り苅 野畑前夕通り願いたいこと)	箕作村 五右衛門外→境野彦左衛門	状	
F 11 671		口上書以申上候事(志久見村の者境を超 し山嶺等とりしこと)	箕作村庄屋 三左衛門外	状	
F 11 672		表題なし(寛保二年以来箕作村惣百姓と 名主五右衛門出入についての返答書)	箕作村百姓 久兵衛	状	
F 11 673		乍恐以書付御訴訟申上候御事 下書(金 子貸借 一件)		状	
F 11 674		乍恐以書付奉願上候(小作糶滞分につ いて)案文		状	
F 11 675		乍恐以返答書始末奉申上候(徳蔵長瀬甚 右衛門に係る田地小作米滞出入の顛末)	箕作村百姓 徳蔵→川上金吾助中之条御役所	状	
F 11 676	天保10年正月	川田一件諸入用記	三左衛門	横帳	
F 11 677	天保10年正月	新町村一件(与露津大宝恵〔よろずおぼ え〕控)	桑名川村 安五郎	横半	
F 11 678	天保10年2月	日記控(赤掛勘定訴訟の為上京頼末 二 月十三日出発五月十二日迄 八十五日 在京日誌)島為	箕作村 庄屋三左衛門代勘五郎	縦帳	
F 11 679	天保10年	日記簿(四月十日~五月八日に勘定訴訟 の為の在京日誌)島為	三左衛門頼に付代(島田為之助)	縦帳	
F 11 680	弘化2年3月	松之助不法働始末荒増書上 扣へ	名主 三左衛門→上	縦帳	
F 11 681	弘化2年3月	乍恐以書付奉願上候(松之助言動不法に 付取締り方願上のこと)	箕作村役人→川浦代官所	縦帳	
F 11 682	天保10年2月	源之丞米代金請求一件(箕作村三左衛門 に対し越後よりの購入米代金請求につき 申上書、返答書)		縦帳	一括5点

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
F 11 683	明治初年	御尋に付始末以書付奉申上候(北野組反別帳不符合及神職一件について)下書	北野組五人連 印	状	
F 12 684	寛文12年4月	進上申手形之事(志久見村、箕作村 出入先年通りとすること)	出 志久見村庄屋 新兵衛外→箕作村 左衛門外	五 状	
F 12 685	天和3年6月	口上之覚(虫生村庄屋吉兵衛籠舎につき御赦免願)	野沢村庄屋外→宮崎勘右衛門外	状	
F 12 686	元禄6年3月	口上書(断無く盗伐のこと)	桑名川村 太兵衛→箕作村 三左衛門	状	
F 12 687	元禄13年3月	進上申和談証文之事(金銭貸借一件)	西大滝村 善右衛門外 三名→白鳥村 作兵衛	状	
F 12 688	宝永7年8月	差出申一札之事(野火で北野分地東天地類焼のこと)	北野五人組惣連印→庄屋 三左衛門	状	
F 12 689	宝永8年4月	差出申一札之事(無断で刈野畑を致した詫状)	泉平新田 五人組頭→庄屋 嶋田三左衛門	状	
F 12 690	正徳5年3月	一札之事(盗伐の詫状)	西大滝村 七兵衛→泉平新田 善右衛門	状	
F 12 691	享保2年5月	相証文之事(庄屋半兵衛と百姓五十三人との出入一件和解のこと)		状	
F 12 692	享保4年2月	和談証文之事(享保三年春勘定出入一件)	森村組頭 治郎兵衛外→森村 与右衛門	状	
F 12 693	享保4年4月	扱証文之事(社地境内内和事和談のこと)		状	
F 12 694	享保9年6月	差出申一札之事(口上相違のこと申上げ)	崇守 長助→名主 三左衛門	状	
F 12 695	享保14年9月	差出申一札之事(他村へ心を通高倉山北越にて刈野畑を起した詫状)	泉平組頭 三九郎→名主 三左衛門	状	
F 12 696	享保14年11月	指上申一札之事(笹草売買について)	野田沢 甚兵衛外→名主 三左衛門	状	
F 12 697	享保16年11月	誤証文之事(伝馬違背のこと)	箕作村誤人 六右衛門外→名主 三左衛門	状	
F 12 698	享保18年11月	差出申一札之事(過言ほか誤り)	箕作村月岡 権右衛門外二名→嶋田三左衛門	状	
F 12 699	享保20年12月	趣請文之事(御意見の趣堅く守ること)	伴助→団蔵	状	
F 12 700	享保20年12月	一札之事(聲伴助と和合せしむること)	請合 重右衛門外→嶋田団蔵	状	
F 12 701	元文2年4月	誤り証文之事(箕作の村大沢にて盗木に付謝りのこと)	七ヶ巻村 平助◎・百姓代組頭◎→三左衛門	状	
F 12 702	元文4年2月	誤証文之事(法外の口上違につき)	北野権助→団蔵	状	
F 12 703	元文4年3月	一札之事(遺児介抱誤り証文)	北野村 喜平次外→箕作村 団蔵	状	
F 12 704	元文4年10月	一札之事(兼鷹所へ焼畑作りしことの詫び)	北野誤人 庄之助外→名主 団蔵	状	
F 12 705	元文4年11月	一札之事(仰付の条々に背いたことの詫)	由右衛門→団蔵	状	
F 12 706	元文5年12月	取扱証文之事(押無心の紐子之俵取立て返済のこと)	五人組頭 喜三郎外→名主 五左衛門	状	
F 12 707	元文5年12月	誤証文之事(庄屋下へ押無心申入れたことの誤書)	善太郎外 二名→五右衛門外村役	状	
F 12 708	延享元年11月	指出申得心済口証文之事(名主五右衛門と枝村ハヶ村勘定出入済口のこと)	百姓惣代二十一名◎→扱人中野町四人	状	
F 12 709	寛延4年正月	差出申証文之事(泉平太左衛門絶家跡地について)	太左衛門別家 関右衛門外二人◎→名主 五右衛門	状	
F 12 710	宝暦5年6月	差上申内済証文之事(源助土地についての出入)	訴訟方 五右衛門・相手 源助外→御役所	状	
F 12 711	宝暦7年5月	差出申一札之事(水尾林留山で畑開いたことの詫び)	北野之内中野百姓連印→本郷名主 茂右衛門	状	
F 12 712	明和2年5月	誤証文之事(小滝用水本田懸り堰水取扱心得違いに迷惑をかけたこと)	大久保誤人 重左衛門外→小滝与頭 太左衛門	状	2点
F 12 713	安永7年7月	和談内済一札之事(地境一件箕作村、月岡組、志久見村名主外)		状	
F 12 714	安永9年8月	差出和談内済証文之事(秋山百姓八軒と矢櫃三軒の間で焼畑一件の内済証文)	秋山願人 甚右衛門他七人→本郷名主 茂右衛門	状	
F 12 715	天明6年6月	一札之事(田地用水自分勝手にしたこと詫び)	五人組頭 六左衛門外→名主 三左衛門外 村役人	状	
F 12 716	天明6年10月	指出申一札之事(心得違いで旅者隠おいたこと)	七右衛門→村方御三役衆	状	
F 12 717	天明6年10月	差出申一札之事(御法度の旅者宿のこと)	阿き外→村方 三役	状	
F 12 718	天明6年11月	差出申一札之事(差入出入について)	善蔵→村役人	状	
F 12 719	天明7年3月	一札之事(畑わきの杉の枝無断におろしたことの御詫び)	助五郎→三左衛門	状	
F 12 720	天明7年12月	差上申内済証文之事(平滝村の九右衛門と箕作村善蔵、新八等の借金の争いの内済 取極め)	箕作 三左衛門→中野御役所 久保平三郎	状	
F 12 721	天明8年2月	差出申一札之事(御法度の旅人隠置しことの御詫び)	七兵衛→名主 三左衛門外・村役人	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
F 12 722	寛政2年6月	一札證文之事(水尾にて苅野したことの お詫び)	誤人 清五郎外→村三役人衆	状	
F 12 723	寛政2年7月	一札之事(苅取禁止の場所で苅取したこ と)	七郎左衛門→村三役	状	
F 12 724	寛政4年8月	差出申一札之事(留山にて薪切り取りの こと詫状)	当人 金左衛門→当村名主 三左衛門	状	
F 12 725	寛政10年3月	内済證文之事(養母隠居分取極めについ て)	西大滝村 安左衛門・親類 養母七人 連名→光明寺、三左衛門	状	
F 12 726	寛政10年5月	謝り申一札之事(小滝堰敷端開田などし ないことほか)	大久保 喜六→月岡組名主 長右衛門 外	状	
F 12 727	寛政10年8月	一札證文之事(出浦日出山にて高倉山裾 にて秣刈取出入詫状)	宮野原村庄屋 六郎左衛門外→箕作村 名主 三左衛門外	状	
F 12 728	寛政11年7月	一札書付之事(御法度の旅人宿したこと の詫状)	与四郎外→村役人衆	状	
F 12 729	寛政12年5月	差出申一札之事(長右衛門との利害内済 のこと)	北野百姓連印→本郷 三左衛門	状	
F 12 730	享和元年4月	為念書付之事(今後何事も相談するこ と)	常慶院→当村 三左衛門	状	
F 12 731	文化6年8月	為取替申熟談證文之事(宮野原村志久見 川取水に付熟談取極のこと)	箕作村、志久見村、宮野原村 村役一 同①→取扱人 大井平庄屋	状	
F 12 732	文化11年5月	差出申一札之事(善右衛門死去後親類の ものが財産隠したとの風聞について)	長瀬組 六左衛門外→本郷 役人中	状	
F 12 733	文化11年5月	差出申一札之事(本家善右衛門死去後身 内の者悪い風聞が立ちしこと)	仁左衛門外→村役人中	状	
F 12 734	文化12年3月	差出申一札之事(貴殿持林にて薪伐りし こと詫)	箕作村 清左衛門→三左衛門	状	
F 12 735	文化12年4月	差出申一札之事(水ノ尾留山に薪伐り詫 の事)	庄蔵→村三役人衆中	状	
F 12 736	文化13年11月	差出申一札之事(売薬人の宿せしこと詫 状)	宿訴訟人 七郎兵衛→名主 三左衛門	状	
F 12 737	文化14年4月	熟談為取替証文之事(湯小屋の場所沓野 村間につき話合により従前どおり)	沓野村名主 惣三郎外→箕作村名主 三左衛門外	状	
F 12 738	文化14年8月	誤申一札之事(山之口に他村分にて葛葉 とりしこと)	吉右衛門外→名主 三左衛門	状	
F 12 739	文政3年6月	為取替内済證文之事(森村百姓彦右衛 門、西大滝西組若者に打擲されし一 内済のこと)	森村西大滝西組関係者十八人②	状	
F 12 740	天保2年8月	乍恐以書付願上候(常八、庄之丞身持不 埒のこと誤證文)	箕作村 常八、庄之丞→和田主馬 御 手附脇谷茂左衛門外	状	
F 12 741	天保3年6月	差出申書付之事(口論の上耳に庇つけた ことの謝り)	笹葉村 太右衛門→本郷名主 三左衛 門外村役	状	
F 12 742	天保6年5月	差出申熟談證文之事(利米証文等書入場 入組のこと)	笹原 弥左右衛門・長瀬 仁右衛門→ 三左衛門外	状	
F 12 743	天保8年6月	御詫申一札之事(父の葬を無縁の寺に頼 んだことの詫)	詫人箕作村船人 五作	状	
F 12 744	天保10年12月	差出申一札之事(農業の傍古着商経営を 計画したが、法度につき貨物等を取止め ること)	長瀬 善右衛門→本村 役人	状	
F 12 745	天保13年正月	差出申一札之事(質地出入の立人のこ と)	東大滝村 奥右衛門本家 磯五郎、浅 右衛門→箕作村名主 三左衛門	状	
F 12 746	天保13年正月	取扱内済一札之事(東大滝村百姓 奥右 衛門死後の財産処理)	東大滝村関係者連印	状	
F 12 747	天保13年7月	差出申一札之事(御楽鷹山にて木の皮を むき枯置いたことの詫書)	秋山小赤沢 六之丞外→巢守衆中	状	
F 12 748	天保13年10月	乍恐以書付御願奉申上候(稲作刈取故障 出入)	長瀬 甚右衛門→番町御役所 平岡熊 太郎	状	
F 12 749	弘化4年7月	差上申済口證文之事(田地小作米滞の 件)	箕作村百姓 甚右衛門外三名→川上金 吾助 中之条御役所	状	
F 12 750	嘉永2年10月	為取替内済一札之事(市兵衛八五左衛 門、八拾五坪返すこと)	市兵衛・五左衛門	状	
F 12 751	嘉永3年6月	田地差戻方的一件(市兵衛と五左衛門と の田地出入一件)	笹原組 五左衛門→箕作村 三左衛門	状	
F 12 752	嘉永5年9月	差出申一札之事(間違って杉杏本を伐つ た詫び状)	野田沢村 与八→箕作村 三左衛門	状	
F 12 753	安政6年4月	差出申詫書一札之事(杉木盗伐のこと)	泉平小前代詫人 半左衛門外→本郷 村役人中	状	
F 12 754	安政6年5月	和塾為取替一札之事(平滝郡柳兵衛、箕 作村義左衛門睦合のこと)	平滝村 柳兵衛外	状	
F 12 755	安政6年5月	和塾為取替一札之事(箕作村茂左衛門と 平滝村柳兵衛女房の不義一件)	柳兵衛・茂左衛門 外	状	
F 12 756	明治2年11月	差出申一札之事(名主 東次郎役印を無 断使用御詫入のこと)	月岡組名主 長右衛門→本郷御役人衆 中	状	
F 12 757	万延元年9月	差出申詫書之事(留守中不埒のことお詫 び)	詫人 弥左衛門→名主 三左衛門	状	
F 12 758	万延元年11月	差出申詫書一札之事(盗木のこと)	箕作村詫人 半助→村役人重立衆	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
F 12 759	文久元年7月	差出申詫書一札之事(酒狂いにて不行届のことの詫)	箕作村詫人 重立名左衛門外一名主 三左衛門外	状	
F 12 760	文久2年	差出申一札之事(御楽鷹山で雑木伐取った詫状)	日出山村 清左衛門→長瀬村 御楽守 中	状	
F 12 761	文久3年2月	差出申詫書一札之事(惣右衛門心得違について)	泉平 惣右衛門→本郷名主 三左衛門 外	状	
F 12 762	文久3年4月	御詫申一札之事(頼母子講頼入れにつき心得違詫書)	泉平組宿本人 丹三郎→本郷名主 三左衛門外	状	
F 12 763	慶応3年	御詫申一札之事(只七用木伐出しについて詫証文)	只七→両組 御役人衆	状	
F 12 764	慶応4年閏4月	差出申詫書之事(木品盗取の詫状)	百姓 惣右衛門→本郷御役人	状	
F 12 765	明治3年6月	為取替申一札之事(取持高間違のこと)	箕作村 儀左衛門・本家 東次郎	状	
F 12 766	明治3年11月	差出申詫書之事(譲渡した林内で杉木伐木のこと)	泉平 伊右衛門→本郷 三左衛門	状	
F 12 767	明治4年8月	差出申詫書一札之事(無断にて伐木のこと)	泉平 栄右衛門→本村 三左衛門	状	
F 12 768		取極中和談書之事(早抜につき野田沢、小瀧両村について 下書)		状	
F 12 769		再為取替規定写之事(湯小屋御役永についで)	箕作村→沓野村	状	
F 12 770		一札之事(月岡組 長右衛門詫書について)	月岡 文六→本村役人	状	
F 12 771		差出申一札之事(月岡組名主御年貢上納について心得違詫状 下書)		状	
F 12 772		和談内済規定書之事(三左衛門より源之丞に支払うべき米代金の取極め規定 内済)	新町村 源之丞→箕作村 三左衛門	状	
F 13 773	元禄3年2月	差出申一札之事(鉄砲御改について)	志久見村庄屋 長兵衛→中村六郎右衛門・佐野九右衛門	状	
F 13 774	元禄10年12月	口上書(伝右衛門死亡に付所持の鉄砲俵に御預願いたし)	伊兵衛→郡御役人	状	
F 13 775	宝永3年6月	差出申証文之事(鉄砲書上 下書)	箕作村持主 三左衛門→御代官	状	
F 13 776	宝永3年6月	以上書奉願候御事(鉄砲書上 下書)	箕作村庄屋 三左衛門	状	
F 13 777	宝永3年6月	差出申証文之事(鉄砲書上のごと 下書)	箕作村持主 彦右衛門 外	状	
F 13 778	宝永8年3月	差上申一札之事(鉄砲御改願 下書)		状	
F 13 779	享保2年9月	指上申一札之事(狛師筒所持書上 下書)		状	
F 13 780	享保6年4月	差上申一札之事(鉄砲所持書上)㊦	箕作村 三左衛門	状	
F 13 781	享保6年4月	差上申一札之事(鉄砲所持書上のごと)	箕作村名主 三左衛門→中野御役所	状	
F 13 782	享保6年4月	指上申一札之事(鉄砲書上のごと)	箕作村名主 三左衛門→中野御役所	状	
F 13 783	享保6年7月	差出申鉄砲御預証文之事 下書	箕作村名主 三左衛門→美濃部勘右衛門 御役所	状	
F 13 784	享保6年7月	差出申鉄砲御預証文之事(書式)		状	
F 13 785	享保9年	差出申鉄砲御預証文之事(下書)	箕作村 三左衛門	状	
F 13 786	享保9年4月	差出申鉄砲御預証文之事(下書)		状	
F 13 787	享保12年10月	覚(威鉄砲願 下書)		状	
F 13 788	宝暦11年3月	差出申鉄砲証文之事	箕作村持主 三左衛門→志村新左衛門 御役所	状	
F 13 789	寛政5年4月	乍恐以書付奉申上候(鉄砲所持書上 扣)	箕作村名主 三左衛門・月岡村名主 長右衛門→川尻甚五郎 中野御役所	状	
F 13 790	寛政5年4月	差上申鉄砲預り証文之事(鉄砲五挺預りのこと)	箕作村 平右衛門外→川尻甚五郎 中野御役所	状	
F 13 791	寛政5年	差上申鉄砲預り証文之事㊦	箕作村 平右衛門外	状	
F 13 792		覚(鉄砲所持について)㊦	大久保大隅守外 二名	状	
F 13 793	明治2年5月	威鉄砲鑑札(銅製角板 二枚)	中野御役所及び尾州御取締所 印付→箕作村 彦左衛門	一括2点	
F 13 794	寛政5年11月	差上申威鉄砲証文之事	箕作村持主 彦左衛門外→川尻甚五郎 中野御役所	縦帳	
F 13 795	寛政12年3月	威鉄砲拝借証文(差上申一札之事)	箕作村持主 彦左衛門外→竹内平右衛門 中野御役所	縦帳	
F 13 796	寛政12年3月	狛師鉄砲拝借証文(鉄砲五挺々々の定納で借用)	預り人名主 五右衛門→中野御役所 竹内平右衛門	縦帳	
F 13 797	享和4年正月	狛師鉄砲拝借証文(差上申一札之事)	箕作村名主 三左衛門→上野四郎三郎 中野御役所	縦帳	
F 13 798	享和4年正月	威鉄砲拝借証(差上申一札之事)	箕作村預人 彦左衛門外→上野四郎三郎 中野御役所	縦帳	
F 13 799	文化10年正月	威鉄砲拝借証文(差上申一札之事)	箕作村 彦左衛門外→杉庄兵衛 中野御役所	縦帳	
F 13 800	文化10年正月	狛師鉄砲拝借証文(差上申一札之事)	預り人 名主 三左衛門→杉庄兵衛 中野御役所	縦帳	
F 13 801	天保13年8月	狛師鉄砲拝借証文(奉差上鉄砲証文のごと 下書)	→岡岡熊太郎 脇野町御役所	縦帳	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
F 13 802	天保13年8月	威鉄砲拝借証文(奉差上鉄砲証文之事)	箕作村 彦左衛門外→平岡熊太郎 脇野町御役所	縦帳	
F 13 803	文久3年4月	威鉄砲拝借証文・獵師鉄砲拝借証文	扣 箕作村	縦帳	
F 13 804	元治元年3月	威鉄砲拝借証文・獵師鉄砲拝借証文	扣	縦帳	
F 16 805	寛文12年4月	進上申手形之事(志久見、箕作両村 出入在来通りとすること)	出 箕作村庄屋 五右衛門外→志久見村庄屋 長兵衛外	状	
F 16 806	元禄4年3月	差上申一札之事(信越国境志久見村宮野原 御裁許願について)㊦	志久見村庄屋組頭→御役人	状	
F 16 807	亥11月	扱証文之事(越後信濃境目について)		状	
F 16 808		覚書(信越国境に付宮野原、志久見の合証文について 案文)		状	
F 16 809	享保14年	願書之事(東大滝の百姓高倉山麓苅野畑に付差留願いのこと)	泉平外箕作村・各村組頭二十三名㊦→三左衛門	状	
F 16 810	享保15年12月	預申金子之事(越後村方と山論に付江戸訴訟諸入用金のこと)	野田沢組頭 市右衛門㊦→名主 三左衛門	状	
F 16 811	享保16年9月	差上申口上書之事(志久見、箕作両境界出入)	箕作村名主 三左衛門外→太田浦右衛門	状	
F 16 812	宝暦3年6月	乍恐以書付御注進申上候御事(東大滝村、箕作村 村境争い)	箕作村名主 新七外→御役所	状	
F 16 813	安永7年7月	為取替申証文之事(御林西ノ腰通りと切開地との境について)	月岡組名主 久四郎外	状	
F 16 814	寛政10年	(信州分〔中沢〕である事)		状	
F 16 815	文化14年4月	熟談為取替証文之事(雑魚川、魚野川落合附境界論)	中野御支配箕作村名主 三左衛門外→松代御領分畚野村名主 惣三郎	状	
F 16 816	天保12年12月	和談内済為取替一札(売買土地の面積についての争い)	頼人 重右衛門・相手 善右衛門→本郷名主 三左衛門	状	
F 16 817	天保15年12月	差上申一札之事(山論一地域のこと)	泉平 武右衛門、仙右衛門→本郷村役人	状	
F 16 818	天保15年12月	村方一札之事(字うしろ山焼畑の境争いの件)	泉平 武右衛門、仙右衛門→本郷村役人	状	
F 16 819		村中連判極証文(五ヶ村山論出入に付村極め連判証文のこと)下書		状	
F 16 820		書簡(観音様下堰掘割代替地催促のこと)	故惣右衛門代人→三左衛門	状	
F 16 821		乍恐以書付奉願候(箕作村山境出入のこと)下書		状	
F 16 822		乍恐以書付奉願上候(野沢平村外四ヶ村山の境界争い)		状	
F 16 823		連判証文之事(野沢外四ヶ村山境出入一件)下書		状	
F 16 824	元禄11年正月	御国絵図覚帳(信越国境のこと書留)	島田三左衛門	縦帳	
F 16 825	寛文12年8月	越後国羽倉村境論願書返答書㊦		縦帳	
F 16 826	文化6年7月	越後より出入取替せ証文諸書物(越後信州国境論、巢鷹守一件)㊦	三左衛門	縦帳	
G 1 827	寛政6年12月	(凶年出穀寄特褒美のこと)	川尻甚五郎→箕作村	状	
G 1 828		(卯年凶作に米金其の他差出すようと出羽守殿褒賞書付、天保4年か)	出羽守→箕作村 三左衛門	状	
G 1 829	天保8年7月	申渡(申年の凶作に施したことの褒美金二百疋のこと)	勘定奉行 矢部駿河守→箕作村庄屋 三左衛門	状	
G 1 830	天保9年2月	申渡(酉年凶作備蓄糶五拾石のこと褒賞のこと)	村垣淡路守外	状	
G 2 831	元文2年11月	乍恐以書御注進申上候之事(大地震にて普請書石積居家等の被害)	箕作村名主 団蔵→中野御役所	状	
G 2 832	慶応2年8月	乍恐以書付御届奉申上候(北信村々暴風雨の為災害に付御届のこと)	柏尾村名主見習 長八郎・西大滝村組頭 三郎右衛門→川浦御役所	状	
G 2 833	文化8年2月	乍恐以書付御届奉申上候(大雪に付御勘定奉行山抜け遠見願いのこと)		状	
G 2 834	弘化4年3月	信州六郡大地震略実記(善光寺地震記)		横半	
G 2 835	嘉永7年11月	東海道筋並京大阪地震書上㊦		横帳	
G 2 836	安政2年10月	江戸大地震並出火細鑑 奉平堂拜(木番刷)		横帳	2点
G 5 837	卯正月	(申年貯夫食のこと)		状	
G 5 838	天保8年5月	御届書上帳(箕作村、本枝郷へ、白米、玄米等施し軒数 書上)	箕作村	縦帳	
G 5 839	天保8年8月	夫食代被仰付候に付申上候書付(夫食代下知済のとおり配分のこと)	水内郡高井郡村々 三役連印→平岡文治郎 脇野町御役所	縦帳	
G 6 840	天明4年3月	村中借用申証文之事(耕作仕付夫食代借用のこと)	白鳥村、平滝村、青倉村、森村各村役人連名㊦→三左衛門	状	
G 6 841		表題なし(夫食割渡し)	中野御役所	状	
G 7 842	文化4年2月	覚(田穀並出金之事)	出金名主 三左衛門→古橋隼人 御役所	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
G 7 843	天保8年5月	御届書上帳(安石代御下知について)	水内郡青倉村→平岡文次郎 脇野町御役所	縦帳	
G 8 844	享保元年8月	覚(拝借米請取)	中沢与兵衛外→嶋田三左衛門	状	
G 8 845	享保2年10月	請取申米之事(拝借米の請証文)	黒川源右衛門→箕作村 島田三左衛門	状	
G 8 846	享保2年5月	請取申米之事(拝借米百参拾壹俵)	京都 奈里清兵衛代田中九右衛門→島田三左衛門	状	
G 8 847	享保元年12月	請取申米之事(拝借米五百俵の内)	京都 奈里清兵衛代→島田三左衛門	状	
G 8 848	寛保2年8月	(洪水水損に付飢夫食拝借願いのこと下書)	箕作村 拝借人→野呂猪右衛門 御役所	状	
G 8 849	文政8年4月	(箕作村枝秋山困窮に付金貸のこと)	矢嶋藤蔵→箕作村名主 三左衛門	状	
G 8 850	文政8年4月	差上申御請書之事(案文)	秋山の内屋敷総代誰外→矢嶋藤蔵 中野御役所	中 状	
G 8 851	文政8年4月	差上申御請書之事(秋山郷救金のこと)	箕作村名主 三左衛門外村役→矢嶋藤蔵 中野御役所	状	
G 8 852	文政8年4月	乍恐以書付奉願上候(御救金貸付並返済のこと)	箕作村名主 三左衛門→矢嶋藤蔵 中野御役所	中 状	
G 8 853	文政8年4月	差出申書付之事(御救金貸付並返済のこと)		状	
G 8 854	天保8年2月	乍恐以書付奉願上候(魚沼高島村出米につき添書願い)	箕作村庄屋 三左衛門外→脇野町御役所	状	
G 8 855	享保17年8月	拝借御扶持割渡帳		横帳	
G 8 856	天保8年2月	去申年違作に付夫食拝借証文⑤	箕作村	縦帳	
G 8 857	明治3年4月	御拝借金割渡し帳	箕作村名主所	横帳	
G 9 858	享保17年8月	覚(困窮)	河合十蔵→水内郡森村名主中	状	
G 9 859	酉戌亥	貯穀御改書附参通	箕作村	状	3点
G 9 860	文化2年6月	貯穀組々より差出俵数石数附箕作村本郷分	名主 三左衛門	横帳	
G 9 861	文政6年7月	御下ケ穀並百姓出穀小前帳改	箕作村名主 三左衛門外村役→矢嶋藤蔵 中野御役所	横帳	
G 9 862	文政7年8月	古稗貯穀割賦割返し帳	泉平	横帳	
G 9 863	嘉永7年3月	異国船渡来に付非常備出穀手冊小前帳	高井郡箕作村	横帳	
G 10 864	享保8年12月	乍恐以書付奉願上候御事(秋山飢人扶持について)	箕作村名主 三左衛門→中野御役所	状	
G 10 865	宝暦6年2月	乍恐以書付奉願上候(凶作に付夫喰拝借願)	箕作村本郷名主 茂右衛門→天野助次郎 中野御役所	状	
H 1 866	元文4年12月	御普請御入用扶持米工料(ママ)人足勘定割付帳	箕作村名主本(ママ)	横帳	
H 1 867	寛保3年6月	請取申金子之事(千曲川通船川除普請代請取)	箕作村名主千八外→野呂猪右衛門・浅岡彦四郎	状	
H 1 868	(元文3年)午9月	覚(千曲川普請願のこと)	箕作村名主 団蔵→中野御役所	状	
H 1 869	寛保3年8月	来子春御普請願ヶ所附帳(書式)		縦帳	
H 1 870	天保12年7月	御普請所御請証文 箕作村	箕作村名主 三左衛門外→御普請御掛御役人中	縦帳	
H 2 871	宝永7年9月	乍恐以書付奉願上候御事(筑摩川川除普請のこと)	箕作村庄屋 三左衛門→中野御役所	状	
H 2 872	享保6年1月	乍恐以書付奉願上候御事(千曲川々除普請のこと)	名主 三左衛門→御役所	状	
H 2 873	享保17年6月	乍恐以書付奉願上候御事(御普請差延のこと)	箕作村名主 三左衛門→御普請奉行	状	
H 2 874	享保17年6月	乍恐以書付奉願上候御事(川除普請悪作のため人足無再見分のこと)	箕作村名主 三左衛門→御普請御奉行	状	
H 2 875	享保17年8月	請取証文之事(普請人足諸懸りのこと)	各村五人組頭→名主 三左衛門	状	
H 2 876	元文4年	差上申一札之事(川除普請用材木のこと)	箕作村名主 団蔵	状	
H 2 877	寛保3年6月	請取申金子之事(千曲川通船川除普請之事)⑤	箕作村名主 千八外→野呂猪右衛門外	状	
H 2 878	元文4年7月	請取申米金之事(川除普請入用米金のこと)	箕作村名主 団蔵→大草太郎左衛門御役所	状	3点
H 2 879	明治2年2月	乍恐以書付奉願上候(千曲川岸宮浦より浦通迄の普請について)	箕作村名主 三左衛門→中野御役所	状	
H 2 880	子10月	一札之事(普請入用金請取)	組頭 五左衛門→名主 五右衛門	状	
H 2 881		差上申証文之事(川除普請再目論見のこと下書)		状	
H 2 882		乍恐以書付奉願上候御事(普請請負人に渡されたい)		状	
H 2 883		(普請関係覚)		状	
H 2 884		乍恐以書付奉願上候御事(普請用杵木について下書)		状	
H 2 885	元文4年5月	御普請御用人足覚	高井郡箕作村	横帳	
H 2 886	元禄元年~享保13年	御普請目論見帳		縦帳	
H 2 887	享保6年8月	信濃国高井郡箕作村川除御普請奉願上仕様帳		縦帳	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
H 2 888	享保6年8月	信濃国高井郡箕作村川除御普請奉願仕様帳	箕作村名主 三左衛門外村役人→中野御役所	縦帳	
H 2 889	享保7年7月	御普請所目論見帳		縦帳	
H 2 890	享保16年5月	箕作村川除御普請所書上帳	箕作村 三左衛門外村役人→中野御役所	縦帳	
H 2 891	享保17年4月	高井郡箕作村川除御普請仕用御帳面㊦	名主 外→御普請御奉行所	縦帳	
H 2 892	享保17年4月	御普請村請證文之事(千曲川通普請のこと)	名主 外→御普請御奉行	縦帳	
H 2 893	享保17年	表題なし(千曲川通宮裏堤防修理)		縦帳	
H 2 894	元文3年2月	御普請明細帳 扣成 箕作村	箕作村名主 団蔵外村役人→中野御役所	縦帳	
H 2 895		川除御普請古来より被仰付分(元文3年か)	箕作村名主 団蔵外村役人→中野御役所	縦帳	
H 2 896	元文4年3月	川除御普請所古来仕来	名主 団蔵→中野御役所	縦帳	
H 2 897	元文4年5月	末年御普請仕様帳(千曲川通石積八拾八間)		縦帳	
H 2 898	寛保2年8月	御普請所前々仕来寛帳(千曲川岸宮浦より浦通迄)	箕作村	縦帳	
H 2 899	寛保3年4月	表題なし(堤防工事)㊦	箕作村	縦帳	
H 2 900		寛(千曲川岸道路欠所修復普請のこと)		縦帳	
H 2 901	子3月	御普請所之儀に付御書付被仰渡候趣御請書	村々㊦→野呂猪右衛門 御役所	縦帳	
H 3 902	明和元年8月	差出申一札之事(用水堰御田地迄伐畑致間敷こと)	野田沢 藤左衛門外→三左衛門	状	
H 3 903	慶応2年4月	差入申一札之事(月岡組より冬分呑水普請のこと)	程久保 藤吉→本郷 三左衛門	状	
H 3 904	天保12年正月	箕作村地御(自)普請所仕事書上帳	箕作村名主所→脇野町御役所	縦帳	
H 3 905	天保12年閏正	信濃国高井郡箕作村地内御普請所・自普請所仕来書上帳 箕作村	箕作村庄屋三左衛門外→平岡熊太郎 脇野町御役所	縦帳	
H 3 906	天保12年7月	自普請所書上帳(せぎ上、橋渡船等)箕作村	名主 三左衛門外	縦帳	
H 3 907	天保12年7月	自普請所書上(用水、往還道渡船外)箕作村	箕作村名主 三左衛門外	縦帳	
H 4 908	延宝8年4月	乍恐申上度候御事(野口堰普請について)	志久見村、箕作村 庄屋、組頭、惣百姓→番屋 八右衛門	状	
H 4 909	延宝8年4月	乍恐御訴訟申上度候御事(野口堰について)	志久見村新田甚左衛門、箕作村新田七兵衛 →番屋 八右衛門	状	
H 6 910	享保16年6月	乍恐以書付奉願候御事(道路普請願)	東大滝村名主 清右衛門→松平九郎左衛門 御役所	状	
H 6 911	弘化3年6月	為取替申議証書之事(上信越道破損普請切係申合せのこと)㊦	入山和光原四人㊦→根広、長平、小倉各一人㊦	状	
H 8 912	享保16年6月	寛(木留場設置願)	箕作村 三左衛門→松平九郎左衛門 御役所	状	
H 13 913	安永7年10月	屋根普請入用帳(予定本屋百六十八坪、酒蔵五間×十式間=九十坪力ヤ五万㍻)	箕作村 嶋田三左衛門	横帳	
I 8 914	正徳2年3月	寛(太平次、市平、奉公とりやめ願)	箕作村庄屋 三左衛門外→今中庄兵衛・戸井権七郎	状	
I 8 915	正徳2年3月	寛(理左衛門、庄吉、奉公とりやめ願)	箕作村庄屋 三左衛門外→今中庄兵衛・戸井権七郎	状	
I 8 916	元文3年2月	御請状之事(奉公人請状)		状	
I 8 917	寛保2年11月	一札之事(奉公人三人の身元引請書)	長瀬 宇右衛門→箕作村 五右衛門	状	
I 8 918	寛保2年11月	差上申済口証文之事(身代金の滞りが解決した一札)	願人 五右衛門→中野御役所	状	
I 8 919	宝暦6年2月	奉公人請状之事(野田沢清吉奉公について)	清吉→箕作村 五右衛門	状	
I 8 920	安永9年	奉公人請状之事(倅久助奉公のこと)	平滝九介→三左衛門	状	
I 8 921	文化5年2月	奉公人請状之事	村市太郎外→村三左衛門	状	
J 6 922	元禄8年10月	一札之事(小滝村新田開発による用水問題)	箕作村之内組頭、小滝長七外→月岡組 治左衛門外	状	
J 6 923	元禄8年3月	指上申一札之事(大久保堰成就に付開田取極書)	小滝村与九郎外五人㊦→嶋田三左衛門	状	
J 6 924	元禄8年10月	一札之事(小滝用水堰取極書(控))	小滝・月岡組頭、長百姓一同→証人 庄屋、村役人	状	
J 6 925	元禄8年10月	指上申口上書之事(開発用水堰について)	庄屋 三左衛門㊦→川合喜平治	状	2点
J 6 926	元禄8年10月	一札之事(用水堰開発に付念書のこと)	小滝村代表四人㊦、証人 庄屋外村役人四名㊦→月岡村組頭外	状	
J 6 927		指上申口上書之事 下書(小滝用水堰のこと、元禄八年カ)	小滝村	状	
J 6 928		指上申口上書之事 下書(小滝用水堰のこと、元禄八年カ)		状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
J 6 929		口上書之事 下書(用水堰途中を他村の者が使うと困ること、元禄八年のものか)		状	
J 6 930	明和2年5月	差出申し一札之事(小滝用水につき大久保村中の誓約書)	名主 文八→三左衛門	状	
J 6 931	明和7年8月	村中極證文之事(小滝用水について野田沢・大久保を訴出のこと)	百姓連名→当村組頭 長左衛門・本村三左衛門	状	
J 6 932	明和7年9月	乍恐以書付奉願上候(小滝堰差障りにつき訴訟)	小滝百姓惣代 願人 太左衛門外→臼井吉之丞 中野御役所	状	
J 6 933	明和7年9月	乍恐以書付奉願上候(小滝堰に差障りの訴訟)	小滝百姓連印→臼井吉之丞 中野御役所	状	
J 6 934	明和7年10月	差上申内済證文之事(小滝用水、堤築立、新開田など)	小滝外百姓連印→臼井吉之丞 中野御役所	状	
J 6 935	明和7年何月	差上申内済證文之事(案文)(小滝用水、大久保、野田沢用水のこと取極)	願人 小滝百姓たれ外、相手 大久保・野田沢百姓たれ外→臼井吉之丞 中野御役所	状	
J 6 936	明和8年3月	差出申證文之事(小滝用水の足水として大免沢に新堰掘りのこと)	小滝百姓連名→本村 三左衛門	状	
J 6 937	明和8年7月	村中極證文之事(小滝用水につき野田沢訴出のこと)	小滝百姓連名→本郷 三左衛門	状	
J 6 938	明和8年7月	一札書付之事(大免沢堰新堀のこと)	小滝組頭 長左衛門外→権之丞外	状	
J 6 939	明和9年4月	和談得心内済一札之事(野田沢呑水、小滝用水のこと)	野田沢百姓惣代 与八外、小滝百姓惣代 長左衛門、本郷 三左衛門	状	
J 6 940	寛政7年4月	一札之事(田地差障り誤り状)	程窪 六右衛門外→本郷 三左衛門	状	
J 6 941	寛政9年6月	差出申一札之事(小滝用水、新開田出入)	野田沢組頭 太右衛門→本郷 三左衛門	状	
J 6 942	寛政12年4月	差出申一札之事(小滝用水を用いる新開田は取止のこと)	大久保百姓 磯右衛門外→名主 与右衛門	状	
J 6 943	享保3年	差出申證文之事(九所ノ宮附溜池堤築立協力のこと)	泉平 磯右衛門外総連印→本郷名主 三左衛門	状	
J 6 944	享保3年8月	一札之事(九所宮附溜池堤のこと)	名主 三左衛門外→組頭 五右衛門惣村中	状	
J 6 945	文化6年8月	為取替申熟談證文之事(越後宮野原用水掘割について内済證文)	宮野原村庄屋 六郎左衛門外→箕作村名主 三左衛門外	状	
J 6 946	文化9年9月	差上申一札之事(寺堰用水について泉平詫證文)	泉平 武左衛門外四名→三左衛門外組頭百姓代	状	
J 6 947	天保8年4月	内済和熟為取替證文之事(長瀬組用水工事につき笹原五左衛門との出入)	長瀬組三十八人総代 甚右衛門、同組 笹原惣代 五左衛門→本郷名主 三左衛門	状	
J 6 948	嘉永3年4月	差出申一札之事(大久保内新開田、水元出来るまで延期のこと)	大久保 喜左衛門→月岡名主 与右衛門	状	
J 6 949	嘉永7年8月	納得規定證文之事(呑水、田地用水について)	大久保、野田沢、小滝、月岡各組総代	状	
J 6 950		和談規定證文之事(堰掘割 下書)		状	
J 6 951		乍恐以返答書奉申上候(野田沢、新規掘割について)		状	
J 6 952		(堤土手敷図及工費見積り一件)		状	
J 6 953	明和8年10月	小滝用水懸りに付(新堰論所出入日記)		豎帳	
J 12 954	享保13年12月	預り申馬之事	水内郡青倉村 助右衛門→箕作村 三左衛門	状	
J 14 955	2月	表題なし(禁制一鷹樂場山へ一切入込まざること 慶長十二年カ)	奉行	状	
J 14 956	慶長18年2月	口上(崇守拾人高百五拾石之免許状)㊦	裏書 松平大隅守→長瀬村 甚右衛門外	状	一括3点
J 14 957	貞享元年5月	指上一札之事(御鷹樂違いのこと)	市川谷樂見 長瀬村 吉右衛門→志久見村	状	
J 14 958	元禄12年5月	差上申口上書之事(崇鷹山御札立場所のこと)	箕作村、志久見村、崇守→郡御役人	状	
J 14 959	元禄12年5月	差上申口上書之事(崇鷹守の区域について)	箕作、志久見両村崇守→郡御役人	状	
J 14 960	元禄12年5月	差上申口上書之事(越後田代、清田山、市ノ越、当間村の山御鷹樂の札てたこと)	箕作村・志久見村 崇守→郡御役人	状	
J 14 961	元禄12年5月	以口上書申上候之事(崇鷹札立の場所届出 様式)		状	
J 14 962	元禄12年5月	指上申口上書之事(崇鷹に関する御札懸のこと)	箕作村、崇守 六兵衛外→御役人	状	
J 14 963	享保4年12月	乍恐以書付奉願上候事(崇守持高在来通りの願い出)	→御役所	状	
J 14 964	享保5年12月	覚(崇鷹樂おろしの時期について)	箕作崇守外→中野御役所	状	
J 14 965	享保5年4月	注進書之事(鷹の樂二ヶ所発見之事)	崇守 九左衛門外→箕作村庄屋 三左衛門	状	
J 14 966	子5月(享保5年)	御鷹樂御注進書(樂おろしのこと申上げ享保5年カ)	箕作村・志久見村 崇守連名→赤塩御役所	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
J 14 967	子5月	注進書(御樂鷹注進書 下書 享保5年カ)	箕作村樂守たれ・村役たれ→赤塩御役所	状	
J 14 968	子5月	御注進書(樂落二十二日に予定のこと)	箕作村庄屋 三左衛門・志久見村庄屋 長右衛門→赤塩御役所	状	
J 14 969	子5月	御注進書	箕作村・志久見村 樂守 庄屋→赤塩御役所	状	
J 14 970	子5月	御注進書(樂おとし二十三日予定のこと)	箕作村・志久見村 樂守連 印→赤塩御役所	状	
J 14 971	5月	御注進書(樂おとしのこと)	箕作村・志久見村 樂守外村役人→赤塩御役所	状	
J 14 972	子5月	御注進書(御樂鷹樂おろしのこと)	箕作村・志久見村 樂守其外→赤塩御役所	状	
J 14 973	子5月	御注進書(樂落し日延のこと)	箕作村庄屋 三左衛門・志久見村庄屋 長右衛門→赤塩御役所	状	
J 14 974	子5月	覚(御樂鷹おろし注進書案文)	何村樂守たれ→赤塩御役所	状	
J 14 975	享保6年4月	指上申一札之事(御樂鷹の仰出請書)	→中野御役所	状	
J 14 976	享保6年3月	差上申口上書之事(樂守持高在来どおりの顔)	箕作村志久見 樂守→中野御役所	状	
J 14 977	享保6年3月	(樂鷹山樂守りのこと申上げ)	箕作村・志久見村 樂守外→中野御役所	状	
J 14 978		御吟味に付申上候覚(樂鷹山反別木数寸間計り難いこと)	箕作村名主 茂右衛門外→天野助次郎御役所	状	
J 14 979	享保6年4月	差上申一札之事(江戸表よりの下知 請書)	箕作村志久見村 樂守不残→美濃郡勘右衛門 中野御役所	状	
J 14 980	享保5年2月	覚(御樂鷹山五ヶ所守ること樂守 口上書)	樂守 箕作村・志久見村→下今井御役所	状	
J 14 981	享保5年4月	一札之事(鷹の樂ニヶ所見立、委細申上)	長瀬樂守 吉右衛門外→庄屋 三左衛門	状	
J 14 982	享保5年3月	覚(御樂鷹発見届)	箕作村・志久見村 樂守外→赤塩御役所	状	
J 14 983	享保5年5月	差上申一札之事(鷹樂見立注進)	庄屋外→赤塩御役所	状	
J 14 984	享保5年12月	覚(樂鷹山五ヶ所のこと)	箕作村・志久見村 樂守	状	
J 14 985	享保6年3月	差上申口上書之事(樂守御免許高御改に付口上書下部欠損)	箕作村樂守 吉右衛門→中野御役所	状	
J 14 986	享保7年1月	覚(御鷹樂守御免許高のこと)	箕作村・志久見村 樂守→中野御役所	状	
J 14 987	享保7年12月	覚(御鷹樂守御免許高のこと)	箕作村・志久見村 樂守外→中野御役所	状	
J 14 988	享保7年11月	覚(御鷹樂守御免許高のこと)	箕作村樂守 吉右衛門外→中野御役所	状	
J 14 989	享保9年5月	口上書之事(樂守のこと)	長瀬・北野 樂守連 印→庄屋 島田三左衛門	状	
J 14 990	享保9年6月	差上申一札之事(樂落し無断で実施したこと)	長瀬樂守 吉右衛門外→名主 三左衛門	状	
J 14 991	享保9年6月	差上申一札之事(樂守軽々しき事の詫ひ)	樂守總連印→庄屋 三左衛門	状	
J 14 992	享保10年3月	差上申一札之事(樂守過言・注意疎略のことの詫ひ)	長瀬 助左衛門→名主 三左衛門	状	
J 14 993	享保10年6月	一札之事(鷹の樂落後志久見村迄持廻り諸人に見せない様今後注意することの一札)	長瀬樂守 吉右衛門→名主 三左衛門	状	
J 14 994	享保10年8月	乍恐以書付奉願上候御事(志久見村樂守御樂鷹理不尽に志久見村へ持返りに付訴状)下書	長瀬樂守 吉右衛門外→中野御役所	状	
J 14 995	享保11年5月	済口證文之事(樂鷹取扱い双方納得のこと)	箕作村、志久見村	状	
J 14 996	享保11年6月	差上申一札之事(樂守精勤の口上書)	長瀬樂守 吉右衛門外→名主 三左衛門	状	
J 14 997	享保12年6月	差上申一札之事(樂鷹なくなりいこと)	箕作村樂守連名→名主 三左衛門	状	
J 14 998	享保12年6月	一札之事(樂守証文)	箕作村樂守連名→名主 三左衛門	状	
J 14 999	享保12年6月	覚(御樂鷹一居差上のこと)	箕作村樂守外→御鷹御役所外	状	3点
J 14 1000	享保12年12月	一札之事(かつてに樂落しせしこと詫書)	長瀬樂守 吉右衛門→名主 三左衛門	状	
J 14 1001	享保13年8月	御運上山に願人御座候御事(樂鷹山について)		状	
J 14 1002	享保15年6月	乍恐以書付奉願上候(御樂鷹指上文書雛形)	箕作村 御鷹樂守→御鷹奉行	状	
J 14 1003	享保18年正月	差上申一札之事(樂守証文)	長瀬・北野 樂守連印→嶋田三左衛門	状	
J 14 1004	宝曆7年4月	御尋に付申上候覚(御樂鷹差上げ実績)	箕作・志久見両村名主→天野助次郎御役所	状	
J 14 1005	宝曆7年4月	御尋に付申上候覚(樂守屋敷御除高について)	箕作・志久見両村名主→天野助次郎御役所	状	
J 14 1006	宝曆7年4月	御尋に付申上候覚(樂守屋敷高御蔵前免除について)	箕作村名主 茂右衛門→天野助次郎御役所	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
J 14 1007	宝暦7年7月	乍恐書付を以奉申上候(崇鷹山五ヶ所間数・反別・木数、木種書上)	箕作村 茂右衛門→天野助次郎 御役所	状	
J 14 1008	享和3年3月	以書付御届け申上候(鷹巢見届)	崇守 甚右衛門外→箕作村名主 三左衛門・志久見村名主 重左衛門	状	
J 14 1009	文政5年8月	乍恐以書付奉申上候(崇鷹山崇守のこと)	箕作村庄屋外→矢嶋藤藏 中野御役所	状	
J 14 1010	嘉永2年4月	乍恐以書付奉願上候(崇守の待遇について)	箕作・志久見 崇守惣代→高木清左衛門 中野御役所	状	
J 14 1011		御崇鷹入候籠寸法		状	
J 14 1012	子5月	御崇鷹之義に付申渡覚	野沢六右衛門→御役所	状	
J 14 1013		五月廿二日夜注進書(崇落し遅れることについて)	箕作村・志久見村崇守	状	
J 14 1014	4月	表題なし(書信崇鷹山板橋一件について)	甚右衛門→御名主	状	
J 14 1015	6月	表題なし(崇鷹見立、時節後の為用に立たない旨通知)	中野御役所→箕作村名主、与頭、崇守	状	
J 14 1016		越後境御鷹山札場の覚		状	
J 14 1017	1 6月	書簡(御崇鷹之儀、玉子むき不申候)	野沢直右衛門→箕作村・志久見村名主中	状	1017-1~8はこよりで一括
J 14 1017	2 5月	書簡(貴殿親子之内にて吾人差添給候様)	野沢直右衛門→箕作村 三左衛門	状	
J 14 1017	3	口上(願書皆々様相談之上あしき所は抜き御加筆被下度奉希上候)	越後殿家来 香気助之丞→松平遠江守 青山大膳亮	状	
J 14 1017	4	書簡(崇下げ日限いまだ難定候由)	野沢直右衛門→箕作村 三左衛門	状	
J 14 1017	5 貞享5年	覚(崇鷹江戸行日程)		状	
J 14 1017	6 5月	書簡(御崇鷹之儀 親鳥の羽色、書付印形、鷹巢下ろし、江戸道中送り等の件)	野沢直右衛門→箕作村・志久見村名主・崇守中	状	
J 14 1017	7 5月	書簡(御崇鷹之儀 崇下ろし二十一、二日迄之内に致度旨)	赤塩役所 野沢直右衛門→箕作村・志久見村名主中	状	
J 14 1017	8 5月	書簡(御崇鷹下ろし日限之儀)	赤塩役所 野沢直右衛門→箕作村名主・崇守中	状	
J 14 1018		崇守高弘		横帳	
J 14 1019	享保14年12月	御鷹方御扶持方・水夫人足・伝馬之義に付御書付⑤		縦帳	
J 14 1020	弘化3年	乍恐以書付奉願上候(崇守役について永久に続かせていただきたいこと)	長瀬崇守惣代 甚右衛門外→石原清左衛門 川浦御役所	縦帳	
J 15 1021	享保6年6月	覚(割山林について願)	箕作村名主 三左衛門→中野御役所	状	
J 15 1022	享保16年7月	乍恐以書付奉願上候御事(割山と御林に關すること 下書)		状	
J 15 1023	宝暦2年7月	(御林に係る状況書上)		状	
J 15 1024	明和6年7月	乍恐以書付奉申上候御事(宮地植付状況について)	箕作村本郷名主 茂右衛門→大野佐左衛門 中野御役所	状	
J 15 1025	明和8年5月	乍恐以書付を奉申上候(御林山手米について書上)	箕作村名主 茂右衛門→臼井吉之丞 中野御役所	状	
J 15 1026	安永2年2月	乍恐以書付奉申上候扣(御林状況書上)	箕作村名主→臼井吉之丞 御役所	状	
J 15 1027	安永2年3月	乍恐以書付を奉申上候(仙道御林状況書上)	箕作村名主 茂右衛門→臼井吉之丞 中野御役所	状	
J 15 1028	文化2年9月	覚(仙道御林御改めこと)	箕作・月岡両村名主→古橋隼人手代	状	
J 15 1029	文政4年	御林御改に付書上のこと	箕作・月岡組名主→左山善 中野御役所	状	
J 15 1030	文久3年4月	乍恐以書付奉願上候(御林下調にて減木の理由申立)	箕作村名主 三左衛門外→増田安兵衛 中野御役所	状	
J 15 1031	亥9月	御林書上 下書	箕作村名主 三左衛門	状	
J 15 1032	午10月	高井郡箕作村之内秋山之山内諸木大積り覚	箕作村名主 三左衛門→中野御役所	状	
J 15 1033	亥10月	申渡し覚(御林管理について)	野猪右衛門→箕作村名主	状	
J 15 1034	寅3月	乍恐以書付奉申上候御事(割山拾三ヶ所の山手米について)	箕作村名主 三左衛門→中野御役所	状	
J 15 1035		(割山についての覚)		状	
J 15 1036	延享元年4月	御林木数改帳	箕作村名主 五右衛門→中野御役所	縦帳	
J 15 1037	明和2年2月	御林木数寸間書上帳	箕作村本郷、月岡組名主→大野佐左衛門 中野御役所	縦帳	
J 15 1038	明和2年2月	御林木数反別寸間書上帳	箕作村本郷、月岡組名主→大野佐左衛門 中野御役所	縦帳	
J 15 1039	寛政7年3月	御林改書上帳 扣	箕作村名主 三左衛門→川尻甚五郎御支配改役	縦帳	
J 15 1040	文化元年	御林改書上帳 扣	箕作村、月岡組名主→上野四郎三郎御支配	縦帳	
J 15 1041	文化13年8月	御林御改書上 扣帳	箕作村、月岡組名主	縦帳	
J 15 1042	文政4年3月	差上申一札之事 扣(御林御見分に付申渡す心得のこと)		縦帳	
J 15 1043	文政4年	文政四年巳年御林御改に付書上帳	箕作村、月岡組名主→古山善吉 中野御役所	縦帳	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
J 15 1044	天保8年7月	御林反別木数相改書上帳	箕作村、月岡組名主→平岡文治郎 脇野町御役所	脇 縦帳	
J 15 1045	天保13年5月	御林御改に付書上 扣	三役→平岡熊太郎 脇野町御役所	縦帳	
J 15 1046	嘉永4年8月	秋山杉林立会取調帳(寛三葉共)	島田三左衛門	横半	一括
J 19 1047	宝永6年7月	相定申證文之事(秋山材木杣取についての取極)	江戸本所松坂町貳町目 大阪屋 高見 嘉右衛門→箕作村名主 三左衛門	状	
J 19 1048	享保元年9月	一札之事(越後衆の伐置いた材木について)	中沢与兵衛外→箕作村 島田三左衛門	状	
J 19 1049		書簡(榎播木御用に立てしこと外)	塩田三左衛門外→箕作村庄屋 参阿衛門・秋山 田中九左衛門	状	
J 19 1050	嘉永3年11月	差出申一札之事(高値材木値下げのこと)	箕作村庄屋 亀七外→名主 三左衛門・御役人	状	
J 19 1051	享保3年5月	伐木三角筏組改日記	山本孫兵衛・田中九左衛門	横帳	
J 21 1052	宝永6年8月	預り申里蠟実之事(里蠟実四〇百目 預りおくこと)	箕作村庄屋 三左衛門→中村御役所	状	
J 21 1053	寛政元年~6年	杉木売渡證文		状	2点
J 21 1054	文政10年10月	一札之事(杉木代金日延願い)	戸狩村 源十郎→箕作村 嶋田三左衛門	状	
J 21 1055	天保9年12月	売渡申一札之事(杉七本、一丈三尺廻り以下 金七拾両也)	売主 常慶院→三左衛門	状	
J 21 1056	安政2年4月	売渡申請文之事(檜吉本 胴廻り壹丈二尺 代貳両貳分)	売主 白鳥 丹波→三左衛門	状	
J 21 1057	文久2年12月	売渡申漆木之事	泉平 勤治郎→組頭 由右衛門	状	
J 22 1058	延宝7年3月	差上申一札之事⑨(大道山にて家作の木もらうこと)	朴木沢村 喜平次外→長瀬村 崇守	状	2点
J 22 1059	延宝7年3月	指上申一札之事(朴木沢村喜平次大動山にて家作の木を伐ること)	朴木沢村 嶋田喜平次→長瀬村 惣右衛門内権七外	状	
J 22 1060	天和4年2月	覚(家道具代取り通知)	芦ヶ崎庄屋 弥左衛門→御奉行衆・崇守衆	状	
J 22 1061	貞享2年2月	覚(鷹巣山大道口より家作道具切出し願)	赤沢村庄屋 伝兵衛・家作木もらい人 五右衛門→御奉行衆・崇守捨人	状	
J 22 1062	元禄7年6月	乍恐口上書を以申上(東大滝村との論所につき焼畑願い)		状	
J 22 1063	元禄8年6月	指上申一札之事(東大滝村この論所、扱人の案どおり決着)	箕作村庄屋 三左衛門外→内山万兵衛	状	
J 22 1064	元禄8年6月	差上申一札之事(箕作村と論所 扱人の案どおり決着)	東大滝村庄屋 又兵衛外→箕作村 三左衛門	状	
J 22 1065	元禄13年2月	差上申一札之事(御樂鷹場札を高倉山、大道山、小松原へ立てること)	箕作村庄屋 三左衛門外→郡御奉行	状	
J 22 1066	宝永6年正月	願事之事(秋山御用木伐出御免願いのこと)	箕作村組頭八人⑩→庄屋 三左衛門	状	
J 22 1067	享保6年6月	覚(割山林拾ヶ所のこと)	箕作村庄屋 三左衛門外→中野御役所	状	
J 22 1068	享保15年7月	乍恐以書付御願申上候御事(越後三拾四ヶ村との樂鷹山出入一件)	箕作村庄屋 三左衛門外→御奉行所	状	
J 22 1069	享保10年3月	差上申一札之事(越後者入込みを知らず申出なかったこと外)	秋山 連印→嶋田三左衛門	状	
J 22 1070	享保11年2月	乍恐以書付御注進申上候	箕作村名主 団蔵→中野御役所	状	
J 22 1071	享保11年5月	指上申済口証文之事(樂鷹山々論 長瀬、箕作和談之事 扣)	志久見、箕作名主外→中野御役所	状	
J 22 1072	享保12年正月	差上申一札之事(樂鷹山々論一件)	崇守 吉右衛門外→名主 三左衛門	状	
J 22 1073	享保12年2月	乍恐以口上書申上候御事(北腰山、大道山に越後村々徒党のこと)	箕作村崇守 吉右衛門外→中野御役所	状	
J 22 1074	享保12年2月	乍恐以書付御訴申上候御事(越後六ヶ村との樂鷹山出入一件)	箕作村崇守 吉右衛門外→中野御役所	状	
J 22 1075	享保12年2月	覚(越後の者共強勢に入込みしこと外)		状	
J 22 1076	享保12年6月	差上申一札之事(樂鷹二居無届落とすこと)	長瀬崇守 吉右衛門外→名主 三左衛門	状	
J 22 1077	享保12年9月	乍恐以書付御訴申上候御事(樂鷹山山論一件訴状)	箕作村崇守 吉右衛門外四名・名主 三左衛門→中野御役所	状	
J 22 1078	享保12年9月	乍恐以書付御訴申上候御事(崇守注進書)	箕作村 たれ→御役所	状	
J 22 1079	享保3年3月	乍恐以書付奉願候御事(樂鷹出入一件)	箕作村崇守 吉右衛門外→中野御役所	状	
J 22 1080	享保13年3月	乍恐以書付申上候御事(樂鷹山々論一件)	箕作村御鷹崇守 吉右衛門外→松平九郎左衛門 御役所	状	
J 22 1081	享保13年3月	乍恐以書付奉願候御事(越後魚沼郡六ヶ村並枝郷百姓との樂鷹山山論一件)	箕作村御鷹崇守 吉右衛門外→中野御役所	状	
J 22 1082	享保13年4月	乍恐以書付申上候御事(御樂鷹山国境争いに付訴出)	箕作村崇守 吉右衛門外村役連名	状	
J 22 1083	享保13年4月	乍恐以書付申上候御事(御樂鷹山山論訴状)	箕作村崇守 吉右衛門外四名・名主 三左衛門→松平九郎左衛門 中野御役所	状	
J 22 1084	享保13年7月	乍恐以書付御訴申上候御事	箕作村名主 三左衛門外村役人崇守	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
J 22 1085	享保13年7月	乍恐以書付奉願候御事(崇鷹山、国境争いにつき願出)	注進人 箕作村 三左衛門外・相手 赤沢村外五ヶ村	状	
J 22 1086	享保13年7月	(文書前文欠損崇鷹山々論一件)	箕作村 三左衛門外	状	
J 22 1087	享保13年7月	乍恐以書付御訴訟申上候御事(越後赤沢村外に対する崇鷹山一件訴状)	訴訟人 箕作村名主 三左衛門外	状	
J 22 1088	享保13年8月	(崇鷹山入会争論の下書)		状	
J 22 1089	享保13年8月	乍恐以書付御訴訟申上候御事(崇鷹山国絵図により国境決め願ひ)	箕作村名主 三左衛門外村役 崇守連印 →御奉行	状	
J 22 1090	享保13年8月	乍恐以書付御訴訟申上候之事	箕作村名主 三左衛門	状	
J 22 1091	享保13年11月	差上申一札之事(訴訟費用に関して崇守御取放のこと)	北野訴訟人 長四郎外→名主 三左衛門	状	
J 22 1092	享保14年12月	相定申請書之事(崇鷹山論所 諸費についで)	箕作村総百姓連印→名主 三左衛門	状	
J 22 1093	享保15年1月	一札之事(崇守崇鷹山防ぎ油断に付一札)	箕作村之内北野 崇守連印→名主 三左衛門	状	
J 22 1094	享保15年2月	覚(留山に入山ないこと)	左五兵衛外連印	状	
J 22 1095	享保15年2月	覚(十二、十三日崇鷹山に越後勢入らないこと)	伝七外	状	
J 22 1096	享保15年2月	以書付御注進申上候事(中沢にて越後宮ノ原村の者共、立木伐出しのこと)	箕作村崇守 六之丞外→名主 三左衛門	状	
J 22 1097	享保15年2月	覚(越後加用、前子の者留山の木伐出しに来たりしこと)	長四郎外連印	状	
J 22 1098	享保15年2月	以書付御注進申上候事(前子村の者ども黒沢にて伐木のこと)	箕作村之内崇守 六之丞外連印→名主 三左衛門	状	
J 22 1099	享保15年2月	覚(留山北こしに入山者のないこと)	長八外連印	状	
J 22 1100	享保15年2月	注進書之事(越後の者其木材強勢引出しのこと)	箕作村崇守連印→名主 三左衛門	状	
J 22 1101	享保15年2月	覚(北腰中沢山入山者のないこと)	箕作村之内北の崇守組 長四郎外→名主 三左衛門	状	
J 22 1102	享保15年2月	御注進申上候御事(他村のもの大勢入込みしこと)	秋山 孫左衛門外総連印→名主 三左衛門	状	
J 22 1103	享保15年2月	覚(留山北こし、中沢入山者のないこと)	左五兵衛外連印	状	
J 22 1104	享保15年3月	覚(留山、大道山、北腰、中沢辺入山なきこと)	箕作村北ノ崇守組 長四郎外連印→名主 三左衛門	状	
J 22 1105	享保15年3月	覚(留山、大道山、北こし、中沢辺入山者のないこと)	北野崇守組 七兵衛外連印→名主 三左衛門	状	
J 22 1106	享保15年3月	覚(大道、北こし、中沢辺入山禁止のこと)	北野崇守組連印→名主 三左衛門	状	
J 22 1107	享保15年3月	覚(十七、十八大道、北こし、中沢 他所へ入らざること)	北野崇守一同→名主 三左衛門	状	
J 22 1108	享保15年3月	覚(大道、北こし、中沢辺入山禁止のこと)	箕作村北野崇守組→名主 三左衛門	状	
J 22 1109	享保15年4月	乍恐以書付奉願上候(大道山、北越山へ在来り入会願ひ)	芦ヶ崎村重郎右衛門外→御奉行所 裏書番磨外	状	
J 22 1110	享保15年4月	乍恐以書付奉願上候(大道山、北越山入山禁止解除の願出)	芦ヶ崎村重郎右衛門外→御奉行所	状	
J 22 1111	享保15年4月	乍恐以書付奉願上候(御崇鷹山入会されたい訴状)	芦ヶ崎、谷内、赤沢、小下り各村代→御奉行所	状	
J 22 1112	享保15年5月	乍恐以書付奉願上候御事(崇鷹山論所立会絵図御免願ひ)	箕作村名主 三左衛門	状	
J 22 1113	享保15年5月	乍恐以書付奉願上候御事(国境争い御国絵図のとおり願ひたいこと)	箕作村名主 三左衛門外	状	
J 22 1114	享保15年5月	乍恐以書付奉願上候御事(崇鷹山論所絵図御国絵図で願ひたいこと)	箕作村名主 三左衛門外村役人、崇守 →御代官	状	
J 22 1115	享保15年5月	乍恐以書付奉願上候御事(越後国三十四ヶ村大道山、北越山に入り込みのこと)	箕作村名主 三左衛門外村役人、崇守	状	
J 22 1116	享保15年6月	乍恐書付を以御訴訟申上候(御崇鷹山入会論争訴状 下書)	大井平、子種新田、小下り村代→御奉行所	状	
J 22 1117	享保15年6月	乍恐返答書申上候御事(論所崇鷹についての願ひ)	箕作村名主 三左衛門外村役人、崇守 →松平九郎左衛門 御役所	状	
J 22 1118	享保15年6月	乍恐以書付奉願上候御事(崇鷹山論所絵図不当のこと)	→御奉行	状	
J 22 1119	享保15年7月	乍恐以書付注進申上候御事(立会絵図につき申上)	三左衛門外→中野御役所	状	
J 22 1120	享保15年7月	乍恐以書付奉願上候御事(崇鷹山争論御国絵図による願出)	箕作村 三左衛門外、村役人、崇守 →御奉行	状	
J 22 1121	享保15年7月	乍恐以書付注進申上候御事(論所絵図についての注進)	箕作村 三左衛門外、村役人、崇守	状	
J 22 1122	享保15年8月	乍恐以返答書申上候御事(論所絵図についての注進)	箕作村 三左衛門外・崇守 善三郎外 →御奉行	状	
J 22 1123	享保15年8月	(表題部分欠損) 御崇鷹山論争訴状	箕作村 三左衛門外・箕作村崇守 善三郎外→御奉行	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
J 22 1124	享保15年8月	乍恐以書付御願申上候事(立会絵図に大道山、高倉山、北越は志久見村山内と付札あるもこの三ヶ所は箕作村山内であること訴え)	箕作村百姓 庄右衛門外→御奉行所	状	
J 22 1125	享保15年9月	乍恐以書付奉願上候 扣(越後魚沼郡三十四ヶ村崇鷹山々論一件)	箕作村名主 三左衛門	状	
J 22 1126	享保15年10月	乍恐以書付奉願上候(越後の村の雇人のこと)	箕作村名主 三左衛門→御奉行所	状	
J 22 1127	享保15年10月	差上申一札之事 訴訟方 芦ヶ崎村庄屋 十郎右衛門外・相手 箕作村庄屋 三左衛門外	→御奉行所	状	
J 22 1128	享保15年	乍恐以書付奉返答仕候(崇鷹山出入 国絵図により決定するよう返答)	箕作村 三左衛門外、村役・兼守→御奉行所	状	
J 22 1129	享保15年	乍恐返答書を以申上候御事(崇鷹山越後の国の村々の訴について返答)		状	
J 22 1130		乍恐書付を以御注進申上候御事(越後勢多数押込み)		状	
J 22 1131	享保15年	崇鷹山争論一件起請文前書 武通		状	2点
J 22 1132	享保15年	乍恐以書付奉返答仕候、松平九郎左衛門御代官所 返答人 名主 三左衛門・相手 名主子種名左衛門 外五人	箕作 三左衛門→御奉行	状	
J 22 1133	享保15年	(崇鷹山に越後三十四ヶ村のもの入込み伐木のこと 下書)		状	2点
J 22 1134	享保15年極月	預り申金子之事(越後との山論費用借用のこと)	預り主 太兵衛外→名主 三左衛門	状	
J 22 1135	享保16年1月	差上申一札之事(崇鷹山番人つけおくこと)	長瀬兼守 連印→嶋田三左衛門	状	
J 22 1136	享保17年2月	乍恐以書付御訴訟申上候(高倉、北越、大道山入山禁止解除願)	子種新田 名左衛門外→御奉行	状	
J 22 1137	享保17年3月	乍恐以書付申上候(崇鷹山、国境の確定願い)	箕作村名主 三左衛門→松平九郎左衛門 御役所	状	
J 22 1138	享保17年3月	願書之事 扣(崇鷹関係の山箕作村に決定 三拾四ヶ村山手金を差上げることにより入山を認められたい)	三拾四ヶ村銘々→箕作村名主 三左衛門	状	
J 22 1139	享保17年3月	乍恐以書付申上候御事(崇鷹山の内 帳帳間数を限り入山とする願い)	箕作村名主 三左衛門→松平九郎左衛門 御役所	状	
J 22 1140	享保17年3月	乍恐以書付申上候(論所越後の訴えに対する反論)	箕作村名主 三左衛門→松平九郎左衛門	状	
J 22 1141	享保17年3月	乍恐以書付申上候(崇鷹山、国境確定願い)	箕作村名主 三左衛門→松平九郎左衛門 御役所	状	
J 22 1142	享保20年4月	證文之事(崇鷹山に刈野畑切り開する詫び)	箕作村名主 三左衛門→松平九郎左衛門 御役所	状	
J 22 1143	元文3年2月	一札之事(留山より柴伐りしこと誤り證文)	越後国魚沼郡宮野原村 喜左衛門外→箕作村 団蔵 兼守中	状	
J 22 1144	元文5年3月	證文之事(留山、崇鷹山にて薪拾いしこと)	上日出山村 久左衛門外→箕作村名主 五右衛門外	状	
J 22 1145	宝暦5年8月	乍恐以書付奉申上候(崇鷹山々論 一件)	箕作村名主 茂右衛門外→御検地御奉行	状	
J 22 1146	文化4年4月	乍恐以書附奉願上候(泉平、穴野開田見取請願いのこと)	願人 三左衛門→中野御役所	状	4点
J 22 1147	文化9年5月	(杉庄兵衛中野御役所の御崇鷹山に係る御高札下渡しについて)	長瀬組組頭 茂右衛門外→本郷名主 三左衛門	状	
J 22 1148	天保11年6月	差上申一札之事(崇鷹山御裁許状に係る添書)	志久見、箕作両村庄屋→平岡熊太郎 川浦御役所	状	
J 22 1149	嘉永6年6月	一札之事(日出山者共高倉山北越にて枯朽の柄を伐取ること)	大井平村庄屋 吉右衛門→長瀬村役人	状	
J 22 1150 1	3月	書簡(安次郎様御在所不相知)	甚右衛門→大井平村庄屋 吉右衛門	状	
J 22 1150 2	3月	書簡(崇鷹山一件に付色々と御厄介を奉懸御氣之毒に奉存候)	長瀬 甚右衛門→御名主 三左衛門	状	
J 22 1150 3	7月	書簡(秋山道普請出来に付、御見分相願度)	宮野原村 式三郎→箕作村 島田三左衛門	状	
J 22 1150 4	4月	書簡(御崇鷹山伐木一件)	大井平村 吉右衛門→名主 三左衛門	状	
J 22 1150 5	3月	書簡(御崇鷹山伐木一件)	吉右衛門→三左衛門	状	
J 22 1150 6	7月	書簡(兼守一件 笠打懸り長瀬甚右衛門へ遣し書状)	三左衛門→甚右衛門	状	
J 22 1150 7		覚(崇鷹差越之儀被仰出候)		状	
J 22 1150 8		書簡(焼野畑之儀御差留被下度候)	中澤与治右衛門→島田三左衛門	状	
J 22 1150 9		書簡(崇鷹山内笠打焼畑の儀)		状	
J 22 1150 10		書簡(御崇鷹山一条に付柄之木板数多伐出候)		状	
J 22 1150 11	3月	書簡(御崇鷹山一件之儀)	保坂→嶋田	状	
J 22 1150 12	3月	書簡(御崇鷹山柄之木板数多日之出へ引出候一件)	箕作村名主 三左衛門→大井平村庄屋 吉右衛門・深見村庄屋 要次郎	状	
J 22 1150 13	3月	書簡(書状急用向、飛脚を以伝候)	大井平村 保坂吉右衛門→箕作村 島田儀左衛門・久蔵	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
J 22 1150 14 A		書簡(日出山伐木一件 能々御考之上返答被成下度候)	長瀬 甚右衛門→本郷御名主 三左衛門	状	14Aと14Bは同じ封筒内
J 22 1150 14 B		書簡(日出山栃木板一件)	三左衛門→大井平村、子種村、宮ノ原村庄屋衆中	状	
J 22 1150 15 4月		書簡(栃板之儀日出山人足を以持運候様)	名主 島田三左衛門→深見村庄屋 要次郎・大井平村庄屋 吉右衛門	状	
J 22 1150 16 4月		書簡(丹右衛門願被罷成諸事御勘弁被下置候)	中沢久四郎→箕作村 嶋田三左衛門	状	
J 22 1150 17 4月		書簡(尊禅師様の御妙計を以って開作為致候様奉願上候)	深見村 中澤久四郎→常慶院 大方丈	状	
J 22 1150 18 8月		書簡(治左衛門焼野畑道下切開一件)	深見村 中澤久四郎→島田三左衛門	状	
J 22 1150 19 2月		書簡(一統悉々く承服いたし和熟之儀)	赤沢村より中澤要治郎→箕作村 三左衛門	状	
J 22 1150 20 3月		書簡(貴家様迄参上致し委細御話に付夫々申上度候)	大井平村より保坂吉右衛門・中沢要治郎→箕作村 三左衛門	状	
J 22 1150 21 3月		書簡(明26日青倉酒屋迄御出張可被下候)	赤沢村より保坂吉右衛門・中沢要治郎→箕作村 三左衛門	状	
J 22 1150 22 4月		書簡(栃板御渡方之儀)	大井平村より庄屋吉右衛門・同要治郎→箕作村名主 三左衛門	状	22A~Cは同じ封筒内
J 22 1150 22 4月		口上(中沢書状御内覧後直様御返可被下候)	保坂→島田	状	
J 22 1150 22 4月		書簡(十日町根津氏取替金貳朱四百七文送り被下度)	大井平村より幸四郎→箕作村 島田	状	
J 22 1150 23 7月		書簡(秋山道普請之儀)	秋成村 桑原源四郎→箕作村 島田三左衛門	状	
J 22 1150 24 3月		書簡(御崇鷹場一件)	大井平村 保坂吉右衛門→箕作村 島田三左衛門	状	
J 22 1150 25 3月		書簡(御崇鷹山立木切荒之儀)	中深見庄屋 要治郎・大井平村同 吉右衛門→箕作村名主 三左衛門	状	
J 22 1151 戌3月		覚(大道、北ごし、中沢辺ともに一円入不申候)	北野 市之丞→名主 三左衛門	状	
J 22 1152 戌2月		覚(中沢山におけるきりかぶ数報告)	長四郎 伝七	状	
J 22 1153		表題なし(絵図の附丸崇鷹山一件)		状	
J 22 1154		覚(越後六ヶ村と崇鷹山出入一件)		状	
J 22 1155		乍恐以書付奉願上候(越後三拾四ヶ村と箕作村との山論)		状	
J 22 1156		乍恐以書付奉願上候(大道山外四ヶ所の御崇鷹山は箕作村地内に紛れなきこと欠損あり)下書		状	
J 22 1157		起請文前書(崇鷹山論所絵図のこと)		状	
J 22 1158 戌4月		口上(三またの者強勢にて伐木、迷惑のこと)	箕作村名主 三左衛門→中野御役所	状	
J 22 1159 寅5月		口上書之覚 扣(大倉獄見分のこと)		状	
J 22 1160		乍恐以書付奉願上候(魚沼郡三拾ヶ村と崇鷹山山論一件下書)		状	
J 22 1161		乍恐以書付奉願上候(立会絵図延引について願出 下書)		状	
J 22 1162		乍恐以書付奉願上候(崇鷹山山論一件文書の半ば以下欠損)		状	
J 22 1163		乍恐返答書以付申上候(虫喰いのため内容不明)		状	
J 22 1164		乍恐以書付奉願上候(崇鷹山山論一件下書)		状	
J 22 1165		乍恐以書付御願申上候御事(崇鷹山論争絵図引合により入会地でないこと明白下書)		状	
J 22 1166		(崇鷹山、高倉山、北腰、大道山の出入関係に関する訴状原案)		状	
J 22 1167		乍恐以書付申上候御事(崇鷹山出入 後半欠損)		状	
J 22 1168 戌2月		覚(北腰山、中沢山入込について)	平之丞 外	状	
J 22 1169		乍恐以訴状申上候御事(従前通り志久見村へ山手を出し薪刈野畑伐作りたきこと)		状	
J 22 1170		内済和塾為取替證文之事(中野組、北の組と志久見村仁手野入会地出入)		状	
J 22 1171		表題なし(入会伐木二十ヶ年差延について)		状	
J 22 1172		乍恐以書付奉願上候(御崇鷹山論争絵図に鳥甲山あたび山を入れて貰いたくない)		状	2点
J 22 1173 戌2月		覚(留山に入込者なきこと)		状	
J 22 1174 戌3月		注進書之事(崇鷹山に越後より入込、立木伐取りの頭取を注進)	箕作村之内北野 六之丞 外→名主 三左衛門	状	
J 22 1175		起請文前書(論所絵図の絵師、神文前書き)		状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
J 22 1176		前部欠損(崇鷹山出入)下書		状	
J 22 1177		口上之覚(風聞書)		状	
J 22 1178		乍恐以返答書申上候御事(御崇鷹山にて越後三拾四ヶ村入込む山論出入 下書)		状	
J 22 1179		乍恐〇〇〇〇(虫喰いにて判読不能)		状	
J 22 1180	享保5年3月	御崇鷹山御用並論山覚帳	箕作村 嶋田三左衛門	横帳	
J 22 1181	享保7年7月	大倉獄御見通之節外村弁人足被仰付覚帳	箕作村	横帳	
J 22 1182	享保15年	信越境筋御崇鷹山出入之事		縦帳	
J 22 1183	宝暦7年7月	乍恐以書付奉申上候(崇鷹山木立状況書上 ㊟)	箕作、志久見村名主外→天野助次郎御役所	縦帳	
J 22 1184	弘化3年	乍恐以書付奉願上候 ㊟(崇鷹山崇守のこと)	長瀬、志久見村、崇守惣代→石原清左衛門 御役所	縦帳	
L 2 1185	元文2年9月	證文之事(縮 百四反出荷取極書)	請人 箕作村六人㊟・組頭五左衛門㊟→嶋田団蔵	状	
L 4 1186	元禄15年7月	覚(酒米不足に付高値取締御請のこと)	村役人、惣百姓→郡御役人	状	
L 4 1187	宝永元年10月	乍恐以書付奉願上候(長右衛門所有酒株酒道具譲渡願)	箕作村 五右衛門→中野御役所	状	
L 4 1188	宝永6年	乍恐以書付奉申上候(御尋ねに付造酒のこと)下書		状	
L 4 1189	宝永5年8月	乍恐以書付奉願上候御事(酒造中野村より箕作村移替えについて)	中野村 長左衛門→御代官	状	
L 4 1190	宝永5年9月	差上申證文之事(酒造場箕作村へ引越し願)	中野村 長左衛門→窪島市郎兵衛	状	
L 4 1191	宝永5年10月	覚(中野村長左衛門造酒箕作へ移転に付御下知のこと)	御役所→三左衛門	状	
L 4 1192	宝永5年10月	一札之事(酒株譲渡しについて)	譲主 長左衛門→三左衛門	状	
L 4 1193	正徳5年11月	覚(御尋に付元禄十年御改以前酒造高届)	三左衛門→北村弾右衛門外二人	状	
L 4 1194	正徳5年12月	覚(元禄十年御改め高米式石五斗 中野村長右衛門から譲請のこと)	箕作村 村役人三名㊟→北村弾右衛門外二名	状	
L 4 1195	享保7年9月	乍恐以書付奉願上候御事(野沢村市左衛門酒株譲請願い)	三左衛門→中野御役所	状	
L 4 1196	享保7年12月	酒株譲渡申一札之事(酒株並酒道具譲渡について)	野沢村 三右衛門→三左衛門	状	
L 4 1197	元文元年6月	中野長左衛門よりゆづり請候證文(元禄十年以前酒造株六十石)	箕作村 三左衛門→中野御役所	状	
L 4 1198	寛保2年9月	乍恐以書付奉願上候御事(大洪水のため酒造停止に付増石願いのこと)	五右衛門→野口猪右衛門 中野御役所	状	
L 4 1199	宝暦5年12月	差出申一札之事(譲請酒株御役永について)	酒造屋 五右衛門→天野助次郎 役所	状	
L 4 1200	享保6年11月	酒道具覚(来春御役所改め済次第相渡申可く候)	野沢村 三右衛門→三左衛門	状	
L 4 1201	明和9年3月	乍恐以書付奉願上候(酒造御役永御吟味日延願いのこと)	三左衛門	状	
L 4 1202	明和3年3月	乍恐以書付奉申上候(酒造、酢、醤油、油紋り、水車、御役永御吟味御請のこと)	村役人→中野御役人	状	
L 4 1203	明和9年5月	乍恐以書付奉申上候(元禄十五年御改造高式石五斗)	酒造屋 三左衛門→臼井吉之丞 役所	状	
L 4 1204	明和9年5月	乍恐書付を以奉願候(酒造冥加永御免願い ㊟)		状	
L 4 1205	安永2年10月	酒株譲請仲間證文之事(高拾石酒株五人持譲請に付仲間取極證文)	三郎右衛門→三左衛門	状	
L 4 1206	安永7年9月	乍恐以書付奉申上候(三左衛門酒株高並冥加永について)	箕作村村役人→中野御役人	状	
L 4 1207	天明5年10月	覚(冥加金及酒造道具)	三左衛門	状	
L 4 1208	元明6年12月	一札之事(株高無しで酒造の風聞のこと)	西大滝村酒造屋 太左衛門外→中野村彦兵衛	状	
L 4 1209	元明8年	酒関係書簡		横帳	一括3点
L 4 1210	天明8年4月	覚(酒造道具届)	三左衛門→久保平三郎手代	状	
L 4 1211	天明8年9月	覚(御取調のため酒造り道具一覧)	三左衛門→守屋弥惣右衛門 役所	状	
L 4 1212	天明9年正月	差上申御請書之事(酒造株売買借取締りのこと)	酒造人→村役人	状	
L 4 1213	寛政2年8月	差上申御請證文之事(酒造三分巻造りについて)	三左衛門→風祭求馬 御役所	状	
L 4 1214	寛政7年4月	酒造り取締りに付御法御請證文 下書		状	
L 4 1215	享和2年10月	差上申一札之事(造酒半高造り仰出に付請書)		状	
L 4 1216	文化元年3月	乍恐以書付奉願上候(酒造漬米御改めに付)	→上野四郎三郎	状	
L 4 1217	天保2年正月	(酒造不用道具取締りに付)	酒造人 三左衛門→和田主馬	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
L 4 1218	慶応3年2月	覚(濁酒造道具封印のこと)	長瀬組触頭 六左衛門→本郷名主 三左衛門	状	
L 4 1219	未12月	覚(酒造について)	吉右衛門→箕作 島田三左衛門	状	
L 4 1220	申12月	酒造米高百五拾九石(此酒造道具)	三左衛門	状	
L 4 1221	戌10月	覚(酒造米高並此造道具)扣	村役人㊦	状	
L 4 1222		(酒醤油製造人世話役給料相談書 下書)		状	
L 4 1223		酒関係書簡		状	一括3点
L 4 1224	明治4年	酒造売上税請取			一括22点
L 4 1225	宝永6年7月	箕作村西問屋長左衛門酒造具改帳		横帳	
L 4 1226	寛延4年11月	酒造諸道具覚帳		横帳	
L 4 1227	安政6月11日	酒蔵普請諸入用日記帳	大和屋三左衛門	横帳	
L 4 1228	万延元年12月	酒蔵普請下調帳	大和屋	横半	
L 4 1229	天明7年7月	酒造三分壺造被仰渡之趣(酒造株高六拾石。酒造高六拾石)		竖帳	
L 4 1230	天明7年12月	酒造稼之義に付再度仰渡請書(久保平三郎様代官所之節 ㊦)	三左衛門	竖帳	
L 4 1231	寛政元年2月	中野御支配酒造屋共株高書上 ㊦		竖帳	
L 4 1232	寛政元年2月	風祭求馬様御支配之節(酒造所吟味書上書)㊦		竖帳	
L 4 1233	寛政元年4月	酒造御改桶数其外諸事書上帳 扣	三左衛門	竖帳	
L 4 1234	寛政4年10月	酒造御改請書帳	酒造屋 三左衛門→御手代 村上平兵衛	竖帳	
L 4 1235	寛政7年4月	酒造御改請書帳	三左衛門→中野御役所	竖帳	
L 4 1236	寛政8年4月	差上申一札之事(酒造御改請書)	酒造人 三左衛門・村役人三名→改中野三左衛門	竖帳	
L 4 1237	文政9年10月	酒造株質売證文之事 下書	酒造株質売人 誰→三左衛門	竖帳	
L 4 1238	元治2年2月	差上申御請證文之事(造込高及請道具)	稼人 三左衛門・村役三名→中野御役所	竖帳	
L 4 1239	慶応2年3月	酒造御改御請證文	三左衛門→中野御役所	竖帳	
L 4 1240	慶応3年正月	酒造御改書上帳	三左衛門→小林喜太郎	竖帳	
L 4 1241	慶応4年正月	酒造高其外書上帳	三左衛門→小川繁次郎	竖帳	
L 4 1242	明治4年9月	乍恐以書付奉願上候(酒造米石数免許願書)	稼人 島田東治郎→長野県御役所	竖帳	
L 17 1243	正徳5年2月	差上申一札之事(秋山銅山人足並に越後衆伐り置いた材木の取扱について)	秋山 彦介 外→島田三左衛門	状	
L 17 1244	享保3年10月	一札之事(雑用勘定のこと)	京都奈里清兵衛代 田中久右衛門→嶋田三左衛門	状	
L 17 1245	享保7年8月	秋山之内大倉嶽御見通之節人足覚	箕作村名主 三左衛門外→中野御役所	状	
L 17 1246	寅8月	御注進書(大倉嶽御見分のこと)	箕作村名主 三左衛門→中野御役所	状	
L 17 1247	享保7年8月	秋山之内大倉嶽御見通之節人足覚	箕作村名主 三左衛門→中野御役所	状	
L 17 1248	8月	乍恐口上書を以奉願候事(大倉嶽御見分に伴う人足願)	箕作村名主 三左衛門→中野御役所	状	
L 17 1249	享保7年8月	秋山御見通之節人之足覚	箕作村名主 三左衛門	状	
L 17 1250	8月	乍恐奉願御事(秋山普請について人足願)	箕作村名主 三左衛門→中野御役所	状	
L 17 1251	正徳3年9月	請取申扶持方米之事(秋山銅掘所 掘子扶持方)	春原与太夫・佐藤徳左衛門→箕作村三左衛門	状	
L 17 1252	正徳4年6月	覚(秋山銅山高五百俵之内米五拾俵預書)	原田太右衛門外三→奈里清兵衛	状	
L 17 1253	正徳5年11月	覚(秋山銅山拝借米五百俵請取)	菊地一郎右衛門→嶋田三左衛門	状	
L 17 1254	享保2年8月	請取申米之事(拝借米のこと)	京都奈里清兵衛手代	状	
L 17 1255		請取申金子之事(銅山御用米)	中村甚太夫→今中庄兵衛	状	
L 17 1256	未4月	覚(銅山関係拝借米請取)	菊地市郎右衛門→嶋田三左衛門	状	
L 17 1257	万延元年6月	差出申念書之事(礦気試しのこと)	田沢村 清七→箕作村名主 三左衛門	状	
L 17 1258		(飯山御役人秋山入のこと)		状	
L 17 1259 1		箕作村名主 三左衛門扣(包み紙の一部)		状	
L 17 1259 2		銅山御用人足高、銅山御見分被仰付候節より人足		状	
L 17 1259 3		覚(賄拾貳人銅山為御用罷越候節)	村上清右衛門組 白沢佐左衛門㊦・錦新左衛門組 三井平七㊦→今中庄兵衛・戸井助太夫	状	
L 17 1259 4		覚(杭折敷一人分薄縁一枚筵五枚)	塩田金平次→箕作村 三左衛門	状	
L 17 1259 5		書簡(人足の小屋掛、発掘作業状況、材料縄不足等)	塩田金平次→箕作村庄屋 三左衛門	状	
L 17 1259 6		(酒着代金)		状	
L 17 1259 7		書簡(人足賃銭の事)	塩田金平次→箕作村 三左衛門	状	
L 17 1259 8		書簡(鉄物出来申に付其元迄遣し銅山へお届可被下候)	中村甚太夫→箕作村 三左衛門	状	
L 17 1259 9		書簡(茶、たばこ、くり綿慥かに受取申候)	高橋半右衛門・三井只右衛門→箕作村庄や 三左衛門	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
L 17 1259 10		書簡(先日申遣わし候品々御書付之通り受取申候)	塩田金平次→箕作村 三左衛門	状	
L 17 1259 11		書簡(道具之儀其元迄遣申候)	中村甚太夫→箕作村 三左衛門	状	
L 17 1259 12		書簡(人足ども了簡違哉不慮の物到来仕)	中河福右衛門→箕作村庄や 三左衛門	状	
L 17 1259 13		請取申米之事	竹田久左衛門◎・今井仁太夫◎→箕作村庄や 三左衛門	状	
L 17 1259 14		書簡(先日申談候人足割之儀)	高橋半右衛門・三井只右衛門→箕作村庄や 三左衛門	状	
L 17 1259 15		書簡(炭之儀当山にて焼せ申御用に達存候)	田中平介→島田三左衛門	状	
L 17 1259 16		書簡(飯山より銭、味噌請取に遣申候)	高橋半右衛門・三井只右衛門→箕作村庄や 三左衛門	状	
L 17 1259 17	正徳3年7月	請取申縄之儀(荒縄式束)	竹井又左衛門(印判持参不致)・岩下佐七◎→箕作村庄や 三左衛門	状	
L 17 1259 18		書簡(人足六人請取申候)	白鳥村→嶋田三左衛門	状	
L 17 1259 19		覚(炭式表受取申候)	山方御用 竹田久左衛門◎・今井仁太夫→箕作村 三左衛門	状	
L 17 1259 20		覚(縄巻束わら巻束銅山為御用請取申候)	村上清右衛門組 白澤佐左衛門◎・錦新左衛門組 三井平七◎→箕作村庄屋 三左衛門	状	
L 17 1259 21	正徳3年6月	請取申米之事(米四表)	竹井又左衛門・岩下佐七◎→箕作村庄屋 三左衛門	状	
L 17 1259 22	正徳3年5月	請取申米之事(米吉石四斗)	田中平助◎・岡村八太夫◎→箕作村 三左衛門	状	
L 17 1259 23		覚(縄五拾七抱請取申候)	岡村八太夫◎・田中平介◎→箕作村 三左衛門	状	
L 17 1259 24		覚(縄三拾貳抱請取申候)	田中平介◎・岡村八太夫◎→志久見長右衛門	状	
L 17 1259 25	閏5月	書簡(銅山山方の米、炭の依頼)		状	五片に断裂
L 17 1259 26	8月	請取申扶持方米之事	春原与太夫◎・佐藤徳左衛門◎→箕作村庄屋 三左衛門	状	
L 17 1259 27	5月	書簡(銅山人足割、米等の儀)	高橋半右衛門・三井只右衛門→箕作村庄屋 三左衛門	状	
L 17 1259 28	閏5月	書簡(人足の事秋山の者先遣候様)	塩田金平次→箕作村 三左衛門	状	
L 17 1259 29	5月	書簡(当廿三日迄に酒一升御無心頼み入申候)	宿吉左衛門→箕作村 三左衛門	状	
L 17 1259 30	5月	覚(預ヶ置候諸道具不残請取申候)	田中平介◎・岡村八太夫→箕作村組頭 重右衛門	状	
L 17 1259 31	6月	書簡(横根村迄軽尻馬一疋差出置可給候)	塩田金平次→志久見村・箕作村庄屋・組頭中	状	
L 17 1259 32	5月	書簡(銅石拾貫匁式かますにして遣候)	塩田金平次→箕作村 三左衛門	状	
L 17 1259 33	5月	書簡(酒一升、大豆一升御納可被下候)	大阪吉左衛門 秋山→嶋田三左衛門	状	
L 17 1259 34	5月	書簡(御用之儀に付内談可致義有之候)	塩田金平次、田中平介、岡村八太夫→箕作村 三左衛門	状	
L 17 1259 35	5月	覚(二〇〇百四十式文)	飯山上町 太郎右衛門◎→箕作村 三左衛門	状	
L 17 1259 36	5月	覚(百拾文棧請取申候)	肴町 弥兵衛→上町桶屋 太郎右衛門	状	
L 17 1259 37	5月	書簡(御用之書状、函面其元村直に飯山ハ差越可申候)	田中平介、岡村八太夫→箕作村 三左衛門	状	
L 17 1260	正徳4年9月	銅山一卷萬覚帳(預り手形六百六拾八両、味噌六十六メ、米三十俵)	三左衛門	横帳	
L 20 1261		諸流火術秘伝書(煙火作り方)	箕作村 嶋田姓	横半	
L 21 1262	寛政3年11月	差上申御請證文之事(温泉冥加永について)	五右衛門外→竹内平左衛門 御役所	状	
L 21 1263	寛政9年	乍恐以書付奉申上候(温泉見取永を冥加永に変えていただきたきこと)	箕作村名主 五右衛門→中野御役所	状	
L 21 1264	文化13年7月	乍恐以書付奉願上候(温泉役永年季増永ないうよう)	箕作村名主 三左衛門→大草太良右馬中野御役所	状	
L 21 1265	文化13年7月	乍恐以書付奉願上候(温泉御増永御捨免について)	箕作村名主 三左衛門→大草太良右馬	状	
L 21 1266	文化14年4月	再為取替規定書之事(湯小屋御役永について)	沓野村名主 惣三郎・田中村名主 彦右衛門→箕作村名主 三左衛門	状	
L 21 1267	文化14年4月	再為取替規定書之事(湯小屋御役永について)	箕作村名主 三左衛門→沓野村、田中村名主	状	
L 21 1268	文化14年4月	熟談為取替證文之事(雑魚川、魚野川落合温泉のこと)	箕作村名主 三左衛門・松之島村 茂右衛門→沓野村名主 惣三郎	状	
L 21 1269	天保8年正月	乍恐以書付奉願上候(温泉冥加永について)	右稼人庄屋 三左衛門→脇野町御役所	状	
L 21 1270	弘化4年4月	秋山山崩水堪絵図	箕作村名主 三左衛門→中之条御役所	状	
L 21 1271	嘉永元年3月	対談為取替規定書之事(雑魚川、魚野川落合地点温泉のこと)	箕作村名主、月岡組名主、沓野村名主、湯田中村名主	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
L 21 1272	嘉永5年3月	対談為取替規定之事(雑魚川、魚野川 落合温泉のこと)	箕作村名主 三左衛門・沓野村名主 米八	状	
L 21 1273	安政2年9月	差入申念書一札之事(助太郎湯守勤めた きこと)	願人 助太郎→本郷名主 三左衛門	状	
L 21 1274	慶応3年2月	乍恐以書付奉願上候(温泉冥加永につい て)	稼人名主 三左衛門→川浦御役所	状	
L 21 1275		表題なし(秋山温泉の由来)		状	
L 21 1276		(寛政年間 秋山温泉開湯のこと)		状	
L 21 1277		熟談為取替證文之事 ㊦(温泉のこと)		豎帳	
L 21 1278	寛政5年5月	秋山温泉入用帳(開さく、建築詰掛り人 足四百拾七人)	目論見 三左衛門	横帳	
L 21 1279	寛政5年5月	秋山温泉開弁普請帳	三左衛門	横帳	
L 21 1280	寛政6年正月	温泉一件帳(人足二、三六〇人、金百三 十兩寛政七年記事を含む)	嶋田三左衛門	横帳	
M 9 1281	元禄14年5月	以口上書奉願候御事(金子貸借につい て)	箕作村 久右衛門→中川理兵衛	状	
M 9 1282	正徳6年4月	請取証文之事	黒川源右衛門・田中九右衛門→嶋田三 左衛門	状	
M 9 1283	享保3年3月	一札之事(借借金の返済について)	中立売 奈里清兵衛→嶋田三左衛門	状	
M 9 1284	享保5年12月	預り申米之事(入上米について)	北野 六之丞→嶋田三左衛門	状	
M 9 1285	享保6年11月	預り申米之事(伝左衛門不始末にて改め て勘之丞にて預ること)	長瀬村 勘之丞→嶋田三左衛門	状	
M 9 1286	享保11年11月	差上申一札之事(借借金の返済につい て)	泉平 源左衛門→名主 三左衛門	状	
M 9 1287	享保13年11月	願書之事(入上米について)	長瀬 権右衛門→箕作村 三左衛門	状	
M 9 1288	享保13年11月	預書之事(入上米について)	長瀬 九右衛門→箕作村 三左衛門	状	
M 9 1289	享保13年11月	願書之事(入上米預りのこと)	長瀬 喜左衛門→箕作村 三左衛門	状	
M 9 1290	享保13年11月	願書之事(入上米預りについて)	長瀬 吉右衛門→箕作村 三左衛門	状	
M 9 1291	享保13年11月	願書之事(入上米預りについて)	長瀬 太兵衛→箕作村 三左衛門	状	
M 9 1292	享保17年12月	差上申願書之事(上納金調兼御取替につ いて)	長瀬 善太郎外五名→名主 三左衛門	状	
M 9 1293	享保18年12月	差上申一札之事(御取替金滞り居屋敷 明ヶ渡しのこと)	訴訟人 泉平 三九郎→名主 三左衛 門	状	
M 9 1294	宝暦4年3月	書入證文之事(不納の年貢を年賦にて返 すこと)	長瀬 左兵衛外→本郷 五右衛門	状	
M 9 1295	文化8年10月	一札之事(金子用立の代償に具足を預る こと)	箕作村 三左衛門→滝沢喜太夫	状	2点
M 9 1296	文政2年5月	相渡申一札之事(金子の請取)	牧村 惣右衛門→箕作村 三左衛門	状	
M 9 1297	弘化2年3月	乍恐以書付奉願上候(松之助用立てたき んず返済について)	箕作村名主 三左衛門→川浦御役所	状	
M 9 1298	嘉永元年12月	預金濟方和塾取極之事(善八より銀右衛 門への預金について)	預り人 善八・預り人 銀右衛門→箕 作村 常慶院	状	
M 9 1299	嘉永3年9月	間勘定皆済目録	白鳥 又右衛門→箕作 三左衛門	状	
M 9 1300	文久2年5月	差出申一札之事(勤手間精算のこと)	泉平組 利右衛門→箕作村本郷 三左 衛門	状	
M 9 1301	卯2月	覚(金子貸借のこと)	安井九郎右衛門→島田三左衛門	状	
M 9 1302		覚(用立金利分請取)	島田三左衛門→三橋新五右衛門	状	
M 9 1303	正月	口上之覚(恩借について願)	中野甚左衛門→嶋田団蔵	状	
M 9 1304	元禄10年~15年	米金借用證文		状	6点
M 9 1305	宝永2年~6年	米金借用證文		状	3点
M 9 1306	正徳元年~3年	米金借用證文		状	2点
M 9 1307	享保元年~21年	米金借用證文		状	103点
M 9 1308	元文元年~5年	米金借用證文		状	71点
M 9 1309	寛保2年~4年	米金借用證文		状	3点
M 9 1310	延享元年3月	預り申入上證文之事		状	
M 9 1311	寛延元年~4年	米金借用證文		状	4点
M 9 1312	宝暦2年~10年	米金借用證文		状	17点
M 9 1313	明和2年~8年	米金借用證文		状	3点
M 9 1314	安永4年~10年	米金借用證文		状	44点
M 9 1315	天明元年~8年	米金借用證文		状	32点
M 9 1316	寛政5年~12年	米金借用證文		状	19点
M 9 1317	享和元年~3年	米金借用證文		状	8点
M 9 1318	文化元年~14年	米金借用證文		状	28点
M 9 1319	文政元年~13年	米金借用證文		状	28点
M 9 1320	天保2年~15年	米金借用證文		状	29点
M 9 1321	弘化3年~4年	米金借用證文		状	2点
M 9 1322	嘉永元年~7年	米金借用證文		状	13点
M 9 1323	安政2年~6年	米金借用證文		状	17点
M 9 1324	万延元年12月	引当金子借用證文之事		状	
M 9 1325	文久元年~3年	米金借用證文		状	3点
M 9 1326	元治元年12月	年賦金借用證文之事		状	
M 9 1327	慶応2年~4年	米金借用證文		状	8点
M 9 1328	明治元年~4年	米金借用證文		状	7点

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
M 9 1329		米金借用證文		状	12点
M 9 1330		借用中金子證文之事(案文)		状	
M 9 1331	寛政11年	(金銭貸借及小作書留簿、安永より享和まで)		横半	
M 9 1332	天保10年12月	目録(貸金勘定)	岡三右衛門→箕作村 三左衛門	横半	
M 9 1333		金子貸借覚帳		横半	
M 10 1334	安永3年9月	御吟味に付申上候書付⑨(質札上納金取極書付)	質札所持人 六拾六人→臼井吉之丞役所	豎帳	
M 10 1335	天明8年3月	乍恐以書付奉願上候(質札下付願上のこと)	箕作村 三左衛門→中野御役所 久保平三郎	状	
M 10 1336	天明8年3月	覚(質札老杖下付御請印形のこと)	三左衛門→中野御役所	状	
M 10 1337	天明8年3月	差出申一札之事(質札御免許請書のこと)	三左衛門→中野御役所	状	
M 10 1338	文政元年6月	乍恐以書付奉願上候(質札札御鑑札再下附願上のこと)	願人 銀右衛門・三左衛門・甚右衛門→中野御役所	状	2点
M 11 1339	正徳2年4月	一札之事(田地質入について)		状	
M 11 1340	元文5年	詫文之事(質入田地高入違いについて)		状	2点
M 11 1341	宝暦4年4月	一札之事(質売證文につめ印押捺のこと)	青倉 質売主 母→箕作村 五右衛門	状	
M 11 1342	天保2年12月	林流地證文之事	林売人 屋敷 平助→相吉村 勝右衛門	状	
M 11 1343	天保2年12月	林流地證文之事	林売人 屋敷 徳三郎→相吉村 勝右衛門	状	
M 11 1344	天保2年12月	林流地證文之事	林売人 屋敷 伝左衛門→相吉村 勝右衛門	状	
M 11 1345	嘉永3年5月	表題なし(質入田地について)	重右衛門外→長命寺御隠居	状	
M 11 1346	嘉永3年5月	御詫申一札之事(質地御改めのこと)	当部 重右衛門、徳蔵→長瀬 長命寺隠居	状	
M 11 1347	嘉永4年4月	差上申一札之事(字こしわ下田の質地について)	箕作村 源之助→西大滝村名主 三郎 右衛門外	状	
M 11 1348	嘉永5年6月	差出申一札之事(質地弁済のこと)	箕作村 源之助→三左衛門	状	2点
M 11 1349		乍恐以書付奉願上候御事(田地、居屋敷質入について)		状	
M 11 1350	元禄3年~16年	質地證文		状	13点
M 11 1351	正徳2年~4年	質地證文		状	2点
M 11 1352	享保4年~21年	質地證文		状	162点
M 11 1353	元文元年~5年	質地證文		状	42点
M 11 1354	寛保2年~3年	質地證文		状	2点
M 11 1355	宝暦3年~10年	質地證文		状	14点
M 11 1356	明和6年10月	質地證文之事		状	
M 11 1357	安永4年~8年	質地證文		状	9点
M 11 1358	天明元年~8年	質地證文		状	51点
M 11 1359	寛政元年~12年	質地證文		状	30点
M 11 1360	享和2年3月	質地證文		状	2点
M 11 1361	文化2年~14年	質地證文		状	23点
M 11 1362	文政2年~13年	質地證文		状	21点
M 11 1363	天保4年~13年	質地證文		状	31点
M 11 1364	弘化2年~5年	質地證文		状	9点
M 11 1365	嘉永元年~7年	質地證文		状	71点
M 11 1366	安政2年~6年	質地證文		状	28点
M 11 1367	万延元年~2年	質地證文		状	6点
M 11 1368	文久元年~2年	質地證文		状	7点
M 11 1369	元治元年~2年	質地證文		状	5点
M 11 1370	慶応元年~4年	質地證文		状	19点
M 11 1371	明治2年~4年	質地證文		状	7点
M 11 1372		質地證文 下書		状	
M 11 1373	文政4年5月	質書物覚帳	箕作村 嶋田三左衛門	横半	
M 13 1374	寛政8年11月	借用申金子之事(寺御給伝質物の事)	善敬寺→三左衛門	状	
M 14 1375	享保13年2月	覚(蔵屋敷の一部借地念書)	伝右衛門→三左衛門	状	
M 14 1376	享保16年4月	乍恐奉願居借證文	平林村 茂左衛門→箕作村 団蔵	状	
M 14 1377	寛政10年3月	山畑借用證文之事		状	
M 14 1378	享和元年3月	借用申屋敷證文之事	借主 友八→常慶院	状	
M 14 1379	嘉永7年12月	畑借用證文之事		状	
M 15 1380	文久2年5月	差上申済口証文之事(名主三左衛門方へ質地で奉公したが途中で止めた為の済口証文)	泉平 利右衛門他連印→中野御役所 鈴木源内	状	
M 16 1381	天保11年11月	相渡申一札之事(頼母子講老人前譲渡のこと)		状	
M 16 1382	慶応3年10月	念書一札之事(頼母子)		状	
M 16 1383	宝暦2年~5年	頼母子證文		状	9点
M 16 1384	天保2年11月	頼母子證文		状	
M 16 1385		頼母子金借用證文		状	
M 16 1386	文化13年	頼母子講書留帳(文政7年まで)		豎帳	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
M 16 1387	天保5年5月	前々より取替金指引目録帳	菑浦村 飯田庄左衛門→箕作村 三左衛門	横帳	
M 16 1388	天保5年8月	頼母子掛返金取調帳	箕作村 嶋田三左衛門	横帳	
M 16 1389	天保15年5月	質入田地證文控帳	箕作村 三左衛門	横帳	
M 16 1390	嘉永3年11月	頼母子発起金取集帳	箕作村発起人 三左衛門	横帳	
M 16 1391	文久3年11月	頼母志廿七番会割賦帳	宿 三左衛門	横帳	
M 16 1392		覚(頼母子関係)		横帳	
M 16 1393	天保2年2月	頼母志発起願帳(宿 金八百四拾両)	発起宿 三左衛門	縦帳	
M 16 1394	天保2年2月	頼母舗(ママ)横帳	発起人 島田三左衛門	縦帳	
N 4 1395	寛政9年7月	乍懼口上書を以御願申上候(商売難渋に付願)		状	
N 8 1396	宝永5年12月	袖取證文之事	紀伊国屋 善八→箕作村 三左衛門	状	
N 8 1397	正徳6年7月	御売目録(酒)	海松屋 五郎左衛門→嶋田三左衛門	状	
N 8 1398	元文4年7月	売目録(酒)	野本甚左衛門→嶋田	状	
N 8 1399	辰7月	(書簡酒売問敷こと)	宮野原 新左衛門→箕作村 三左衛門	状	
N 8 1400		表題なし 商品券カ(「酒代上端銭貳拾四文」とあり3.5cm×6cmのカード320枚)	みつくり大和屋		一括
N 8 1401	享保7年10月	仕切目録(紬九拾四疋)	丹後屋 三郎兵衛→島田又兵衛	状	
N 8 1402	享保7年10月	仕切目録(紬貳拾疋)	綿屋 太郎兵衛→嶋田三左衛門・保坂又兵衛	状	
N 8 1403	享保9年10月	仕切目録(紬三拾疋)	日野屋 長左衛門→嶋田又兵衛	状	
N 8 1404	享保9年10月	仕切(紬三疋)	きふや 茂兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1405	享保9年10月	仕切(紬)	喜右衛門→嶋田三左衛門	状	
N 8 1406	享保9年10月	紬仕切	きふや 茂兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1407	享保14年9月	仕切目録(紬七拾三疋)	一文字屋 庄左衛門→駒屋 吉九郎	状	
N 8 1408	享保14年	仕切目録(紬四拾疋)	美濃屋 伝左衛門→叶屋 六兵衛	状	
N 8 1409	享保15年10月	仕切目録(信州紬五拾疋)	きふや 茂兵衛→嶋田三左衛門、又兵衛	状	
N 8 1410	享保15年10月	仕切目録(紬四拾疋)	丹後屋 三郎兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1411	享保15年10月	仕切(紬拾疋)	綿屋 太郎兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1412	享保15年10月	仕切(紬貳拾疋)	越後屋 喜右衛門→嶋田三左衛門	状	
N 8 1413	享保15年10月	仕切(紬拾六疋)	叶屋 六兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1414	享保15年10月	仕切(紬五拾疋)	日野屋 治兵衛→嶋田三左衛門・叶屋 六兵衛	状	
N 8 1415	元文3年6月	仕切(紬百四拾反)	越後屋 喜右衛門→嶋田団蔵	状	
N 8 1416	卯2月	覚(信州紬廿疋)	叶屋 六兵衛→三左衛門	状	
N 8 1417	享保9年10月	仕切(糸)	越後屋 喜右衛門→嶋田三左衛門	状	
N 8 1418	辰7月	○売目録(絹、紬)欠損多し	栃尾町 無藤金兵衛	状	
N 8 1419	享保9年9月	仕切小判六拾匁割(越後蠟)	小島屋 八良兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1420	享保14年10月	仕切(山蠟、里蠟)欠損部分多し		状	
N 8 1421	享保15年10月	仕切小判六拾匁割(越後山蠟)	小島屋 八良兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1422	元文3年6月	売仕切(越後油入蠟)		状	
N 8 1423	酉8月	仕切小判六拾匁割(蠟)	伊勢屋 作兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1424	酉10月	覚(越後蠟外)	越前屋 長右衛門→丸駒屋 半次郎	状	
N 8 1425	享保9年5月	仕切(縮)	→嶋田三左衛門	状	
N 8 1426	享保9年5月	仕切(縮貳百三拾四反)	きふや 茂兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1427	享保9年5月	仕切目録(越後縮九拾五反)	丹後屋 三郎兵衛→嶋田又兵衛	状	
N 8 1428	享保9年10月	覚(栃尾縮仕切)	きふや 茂兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1429	享保14年4月	仕切(縮百四拾九反)	きふや 茂兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1430	享保15年4月	仕切(縮九拾反)	越後屋 喜右衛門→嶋田三左衛門	状	
N 8 1431	享保15年4月	仕切(縮百四拾九反)	日野屋 治兵衛→三(ママ)嶋三左衛門	状	
N 8 1432	享保16年5月	縮仕切	伊勢屋 作兵衛→嶋田三左衛門外	状	
N 8 1433	元文2年4月	仕切(縮)	越後屋 喜右衛門→嶋田三左衛門	状	
N 8 1434	元文3年3月	仕切(縮貳百拾壹反)	越後屋 喜右衛門→嶋田団蔵	状	
N 8 1435	元文3年5月	仕切(縮)	越後屋 喜右衛門→嶋田団蔵	状	
N 8 1436	元文5年4月	仕切(縮百四反)	佐渡屋 喜右衛門→嶋田団蔵	状	
N 8 1437	元文5年4月	仕切(縮八拾反)	越後屋 喜右衛門→嶋田団蔵	状	
N 8 1438	元文5年4月	仕切(縮八拾七反)	わたや 吉郎右衛門→嶋田又四郎	状	
N 8 1439	戌6月	仕切(縮三百九拾貳反)	伊勢屋 作兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1440	戌6月	新縮仕切(百九拾反)	伊勢屋 作兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1441	11月	覚(縮仕切書)	叶や 六兵衛→縮や 吉九郎	状	
N 8 1442	戌4月	売仕切(越後縮九拾反)	名古屋 掘田孫兵衛→駒屋半治郎	状	
N 8 1443		来午四月可指出連判證文之事(壱番縮貳番縮指出しについて)	箕作村預り主 市右衛門外→嶋田団蔵	状	
N 8 1444	享保10年	仕切(河中綿拾×四百匁)	きふや 茂兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1445	享保14年3月	仕切(綿仕入)	越前屋 安右衛門→駒屋 半次郎	状	
N 8 1446	享保15年6月	仕切(黄綿五貫匁)	きふや 茂兵衛→保坂又兵衛	状	
N 8 1447	享保15年10月	繰綿之仕切	久宝寺屋 吉助→駒屋吉九郎、半次郎	状	
N 8 1448	享保15年	仕切(生子綿)	きふや 茂兵衛→嶋田三左衛門	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
N 8 1449	享保16年8月	御買目録(真綿)欠損多し		状	
N 8 1450	戌11月	真綿之仕切(欠損あり)		状	
N 8 1451	酉10月	真綿之仕切	富山九右衛門→寺嶋宇平治	状	
N 8 1452	酉7月	目録之覚(真綿)		状	
N 8 1453	戌7月	真綿之仕切	富山九右衛門→嶋田三左衛門	状	
N 8 1454	享保11年11月	売目録(荏草)		状	
N 8 1455	享保13年12月	売目録(荏草)	野本甚左衛門→嶋田三左衛門	状	
N 8 1456	元文元年9月	売目録(荏草式拾俵)	野本甚左衛門→島田三左衛門・同儀兵衛	状	
N 8 1457	元文4年11月	売目録(荏草)	野本甚左衛門	状	
N 8 1458	元文5年11月	売目録(荏草拾五俵壹斗参升代金九両百拾式文)	売人 野本甚左衛門→嶋田五右衛門	状	
N 8 1459	戌8月	覚(荏草)		状	
N 8 1460	享保15年9月	売目録(水油)	野本甚左衛門→嶋田三左衛門	状	
N 8 1461	寛政10年8月	御買目録外(塩売買目録)	当銀屋 善平→大井平村 甚右衛門・箕作村 三左衛門	状	一括3点
N 8 1462		(欠番)			
N 8 1463	享保14年7月	仕切(文書のやぶれて内容不詳)	伊勢屋 作兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1464	元文元年5月	覚(丁銭百六拾五メ式百文代金三拾五両の請取)	十日町 西方与一→嶋田団蔵、同伴助	状	
N 8 1465	元文5年4月	差引目録	越後屋 喜右衛門→嶋田又四郎外	状	
N 8 1466	酉5月	指引之目録	伊勢屋 作兵衛→嶋田三左衛門・保坂又兵衛	状	
N 8 1467	亥5月	目録覚(仕切書)	伊勢屋 作兵衛→嶋田三左衛門	状	
N 8 1468		具足一領売買之證	中野手代 萩野広介→嶋田三左衛門	状	
N 11 1469	文政3年6月	差上申一札之事(米値段下値につき諸色値下げのこと)	箕作村 彦左衛門→古山善吉 中野御役所	状	
O 1 1470	延享2年12月	預り申羽子之事(小作入上糶預りおくこと)	七巻村小作人 文右衛門→箕作村 五右衛門	状	
O 1 1471	宝暦2年10月	乍恐以書付奉願上候(長瀬小作人吉右衛門外七名 小作料滞りについて)	箕作村 五右衛門→中野御役所	状	
O 1 1472	宝暦2年10月	乍恐以書付奉願上候(小作料滞りについて)	箕作村 五右衛門→中野御役所	状	
O 1 1473	宝暦3年12月	證文之事(小作料滞りに付詫書)	箕作村小作人 助右衛門→当村 五右衛門	状	
O 1 1474	宝暦7年12月	小作料滞り證文之事		状	
O 1 1475	天保13年12月	覚(長瀬百姓甚右衛門と当部百姓重右衛門の小作争いは御役所で願いたい)	箕作村名主 三左衛門	状	
O 1 1476		覚(小作料のこと)		状	
O 1 1477		乍恐以書付奉願上候(長瀬 吉右衛門外七名小作地出入のこと 状途中以下欠落)		状	
O 1 1478	未9月	乍恐以書付奉願上候(小作料滞りに付願状途中一部欠落)	箕作村 五右衛門→会田伊右衛門 御役所	状	
O 1 1479		乍恐以書付奉願上候(小作料滞りについて)		状	
O 1 1480	享保21年2月	小作證文之事	作兵衛→三左衛門	状	
O 1 1481	延享元年	田畑小作證文之事		状	2点
O 1 1482	寛延2年4月	田畑小作證文之事		状	
O 1 1483	宝暦3年~6年	小作證文		状	15点
O 1 1484	明和2年~7年	小作證文		状	5点
O 1 1485	安永6年2月	小作證文之事		状	
O 1 1486	天明4年~6年	小作證文		状	2点
O 1 1487	文化2年~12年	小作證文		状	5点
O 1 1488	天保15年2月	田地小作證文之事		状	
O 1 1489	弘化4年~5年	小作證文		状	3点
O 1 1490	嘉永2年~7年	小作證文		状	5点
O 1 1491	安政2年~3年	小作證文		状	2点
O 1 1492	慶応3年~4年	小作證文		状	2点
O 1 1493	明治元年~4年	小作證文		状	3点
O 1 1494	享保19年12月	「平滝村出作年々上納控」外平滝村上納覚	箕作村 三左衛門	横帳	一括6点
O 1 1495	寛政9年10月	泉平小作人田畑入上糶覚帳	大和屋本店	横帳	
O 1 1496	文化8年	月岡高辻之内三左衛門持地小前書抜帳		横帳	
O 1 1497		三左衛門へ入高名寄帳也		横帳	
O 1 1498		(稲の高 覚)		横帳	
O 1 1499		三左衛門所持之田畑改入用之書		横帳	
O 1 1500	享保元年3月	泉平小作證文書		豎帳	
O 5 1501	嘉永元年11月	差出申一札之事(貸借皆済に付御恩分として年五人手間提供のこと)	借主 三右衛門→三左衛門	状	
O 5 1502	嘉永3年1月	一札之事(借財を御勘弁頂き厚意ある措置を一札書入れ)	箕作村 松之助・女房 じげ→三左衛門	状	
O 5 1503	宝永2年12月	預り金覚帳	嶋田三左衛門	横半帳	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
O 5 1504	元治元年	大井平恵田屋目録(甲~亥 冬米勘定)		横半帳	
O 5 1505		覚(借入金、質入田地證文、買入田地等)		横半帳	
O 6 1506	享保13年2月	屋敷売券状之事	売主 上町 七郎兵衛→箕作村 三左衛門	状	
O 6 1507	元文3年8月	売渡申屋敷之事		状	3点
O 6 1508	天保8年3月	売渡申古家之事		状	
O 6 1509	辰9月	覚(諸勘定の覚)	三朝村 源十郎→箕作村 大和屋旦那	状	
O 6 1510		勘定帳		横帳	
O 6 1511	元文2年正月	買置帳(年々商売 扣)	箕作村 嶋田団蔵	横半帳	
O 6 1512	明治4年正月	酒代勘定帳	大和屋	横帳	
O 6 1513	元文6年2月	質田畑買手形留書帳		縦帳	
O 7 1514	元文2年正月	大福帳(文政6年の記事もあり)		横半帳	
O 7 1515	天保7年	覚(脇野町関係)		横半帳	一括6点
O 7 1516	天保10年2月	日賀恵	箕作村 大和屋安五郎	横半帳	
O 7 1517	天保10年4月	子入用扣帳(4月17日江戸着)	斉藤	横半帳	
O 7 1518	天保10年6月	道中諸日記(金銭出納のみ6月27日江戸出立)	松野、斉藤、嶋田	横半帳	2点
O 7 1519	天保10年6月	諸入用覚帳(6月8日より)	斉・島	横半帳	
O 7 1520	天保10年	世財出入録(小もの出入)	嶋田氏	横半帳	
O 7 1521	天保10年	出金おぼえ手帳	斉藤氏、島田氏	横半帳	
O 7 1522		目録(金銭出納関係)		横半帳	
O 7 1523		記(買物通)	大和屋本店	横半帳	
O 7 1524		覚(交際上の出し入れ覚)		横帳	
P 7 1525	享保14年6月	覚(関所通手形入手世話依頼のこと)	三左衛門→越後宮野原村 小重郎	状	
P 7 1526	天明7年8月	往来手形之事	奥州松島 陽徳院→御関所御役人中	状	
P 7 1527	寛政8年正月	往来手形之事(五右衛門 千代松)	常慶院→国々関所役人	状	
P 11 1528	(文久元年カ)	旗(布製)・文字「岩村田、小田井宿附新助郷、高井郡箕作村」		布	120×76mm
P 15 1529	元禄10年8月	覚(渡船場触れ出し御請證文)	箕作村渡守忠右衛門→飯野左兵衛	状	
P 15 1530	宝永4年7月	差上申一札之事(藤沢下り舟破船に付積荷詮議について)	箕作村役人→小沢太治右衛門	状	
P 15 1531	正徳元年8月	覚(渡船二舟〔大小〕先規のこと)	庄屋 三左衛門→天野宮門左衛門	状	
P 15 1532	正徳2年2月	以書付奉願候御事(渡舟はぎ立願い)	庄屋 三左衛門→今中庄兵衛	状	
P 15 1533	享保4年8月	渡舟式船削立諸入用廻状		状	一括4点
P 15 1534	享保5年11月	乍恐書付を以申上候御事(飯山御領大倉崎渡舟割合不服訴訟のこと 下書)	箕作村平林村→中野御役所	状	2点
P 15 1535	享保6年4月	口上書を以申上候御事(飯山上渡船修覆費用割合について)	高井水内両郡村々 庄屋	状	
P 15 1536	享保6年5月	乍恐以書付申上候(飯山上渡舟破損修覆について野沢より志久見まで印形仕り候)		状	
P 15 1537	享保7年9月	覚(飯山上渡り舟式船修覆代銀請取)	飯山作事役人 黒崎兵内→三左衛門	状	
P 15 1538	享保11年3月	乍恐口上書之事(渡舟二船損傷修覆に付いて)	箕作村名主所→口口御役所	状	
P 15 1539	享保11年6月	以書付を申上候御事(飯山上舟場渡船割合に付いて)		状	
P 15 1540	天明6年7月	一札之事(舟渡 滞りのないように勤むること)	舟守 利左衛門外→三左衛門外	状	
P 15 1541		回状(千曲川筋見分のこと 天保12年カ)	脇野町詰惣代 庄屋 要次郎→魚沼郡村々・水内郡村々・高井郡村々	状	
P 15 1542	慶応2年8月	差出申一札之事(渡船私用にて難船に付詫状のこと)	渡守 政蔵@・親類@→村役人	状	
P 15 1543	亥4月	乍恐以書付申上候御事(渡舟はき立に付入用金取立について)	小左衛門→中野御役所	状	
P 15 1544	正徳5年7月	川運上札(木板鑑札)(箕作村の長瀬川より小野川迄)	北村弾右衛門・村上清右衛門・佐藤権左衛門→箕作村漁師 彦右衛門		
P 15 1545	享保11年6月	箕作村渡舟二艘諸入用帳 扣		横帳	
P 15 1546	享保18年8月	渡舟諸入用割帳	名主 三左衛門	横帳	
P 15 1547	寛保3年7月	箕作村渡船割合帳	五左衛門→与右衛門	横帳	
P 15 1548	寛延3年10月	渡船破損口掛物割帳	箕作村名主 五右衛門	横帳	「口」は「繕」カ
P 15 1549	文久2年10月	渡船打替諸入用割賦帳	箕作村	横帳	
Q 2 1550		島田家記録(寛文~文政 三左衛門先祖。北野天神建立。茂右衛門火事 家建)		縦帳	
Q 3 1551	寛保4年正月	舊日記(延享二年 年中行事。日記合)	嶋田五右衛門	縦帳	
Q 3 1552	弘化4年6月	日記(六月十日~七月十三日)		縦帳	
Q 3 1553		覚(江戸雑用相方調立合勘定)	嶋田代 安五郎	縦帳	
Q 4 1554	享保20年	證文之事(名跡相続持参金に付取極めのこと)	箕作村 三名@→嶋田団蔵	状	
Q 4 1555	元文4年3月	口上書(泉平 長次郎 男子養育のこと)	一家半三郎、三助→名主 団蔵外村役人	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
Q 4 1556	寛政元年10月	一札差出證文之事(徳兵衛欠落に付所有地始末について)	長瀬組六左衛門・当部地頭徳右衛門・北野組頭左兵衛→名主 三左衛門	状	
Q 4 1557	寛政9年正月	遺言書(紙包入)	親 三左衛門→小もん 千代太郎	状	3点
Q 4 1558	寛政12年4月	差出置申一札之事(又右衛門死亡につき老母養、財産相続取極)	大家 茂左衛門・親類 矢五之介→名主 三左衛門外	状	
Q 4 1559	享和元年4月	相定置申一札之事(自分死後継母こもんの扱いについて)	父 三左衛門→證人親類三人	状	
Q 4 1560	享和2年8月	一札之事(絶家跡金兵衛相続に付身元請員のこと)	白鳥村 兄末七→立合 丹後守→三左衛門	状	
Q 4 1560	1 文化元年7月	申置書付之事(長男千代太郎死去孫幼年に付跡目申置のこと)	親 三左衛門→倅竹治郎、孫繁蔵	状	
Q 4 1561	文化10年9月	相定申一札之事(三左衛門継母こもん不縁に付中野役所呼出請書のこと)	三左衛門分家親類十一人連名	状	
Q 4 1562	文政9年4月	御隠居免取極書付之事	名主 三左衛門→父 五右衛門	状	
Q 4 1563	嘉永5年10月	和談取極一札之事(平林村善左衛門の後相続のこと)	名主 三左衛門外	状	
Q 4 1564	文久3年8月	相渡申一札之事(母老年諸事不自由に付別住居のこと)	葛蒲村 念宗寺→箕作村 三左衛門	状	
Q 4 1565	明治2年3月	差上申一札之事(本家重右衛門の相続のこと)	元本家 由右衛門→三左衛門	状	
Q 4 1566	丑8月	口上覚(相続について)	藤井団蔵→嶋田三左衛門	状	
Q 4 1567		差出申一札之事(奥右衛門退転後式定の願書)		状	
Q 4 1568		乍恐以書付奉願上候(西大滝安左衛門母志め婿養子相続について 不完)		状	
Q 5 1569	享保5年12月	差上申願書之事(泉平失火に付娘勘当願いのこと)	願い人 親権四郎→親類九人→庄屋所	状	
Q 5 1570	天明5年6月	差出申一札之事(三左衛門後妻に善敬寺娘小牧を貰い受けの一件)	高田戸野村 善敬寺 代・関田村 名主→常慶院	状	
Q 5 1571	文化2年8月	相渡申持参金請取證文之事(三左衛門孫娘と婚縁に付持参金)	葛蒲村 念宗寺→箕作村 三左衛門	状	
Q 5 1572	文化4年~8年	越後戸野村善敬寺との縁組一件書類		状	
Q 5 1573	文化12年9月	相渡申一札之事(小雪不縁に付切手形のこと)	善敬寺→三左衛門	状	
Q 5 1574	万延2年2月	飯山善覚寺娘三左衛門養子縁組送り状関係		状	一括7点
Q 6 1575	天和3年12月	覚(家道具買受のこと)	赤沢村庄屋 伝兵衛→捨人す森(ママ)衆口	状	
Q 6 1576	天保8年3月	吉左衛門家作引受に付取極之事	家主 吉左衛門→箕作村 由右衛門	状	
Q 6 1577	未2月	柱願口上書(柱にするために焼畑内の栗木伐木願い)	佐次兵衛	状	
Q 6 1578	嘉永3年8月	家相十分之一図	嶋田氏		
Q 7 1579	享保11年10月	津ば釜代金請取證文	飯山町 七左衛門→三左衛門	縦帳	
Q 7 1580	戌9月	諸道具改覚(小赤沢平右衛門預り置く品)	小赤沢平右衛門外→嶋田三左衛門	横帳	
Q 8 1581	天保5年8月	借才取調覚帳		横帳	
Q 8 1582	天保11年6月	諸道具覚書	島田	横帳	
Q 8 1583	天保11年	借金配分御詫身上方立合取調帳		横帳	
Q 8 1584	天保14年正月	備金配分御詫身證(ママ)方立合取調帳	箕作村 三左衛門・桑名川村 安五郎・世話人 白鳥村 又右衛門	横帳	
Q 8 1585	天保14年3月	家財取調帳(膳碗、掛図、叶器類、評価)	嶋田	横帳	
Q 8 1586		代金取立帳(財産整理売立 天保十四年カ)		横帳	
Q 8 1587	天保15年5月	身上向省略田地入上鞆並諸色凡積留	箕作村 嶋田三左衛門	横帳	
Q 8 1588	文久2年8月	藤治郎借財取調		横帳	
Q 9 1589		書簡		状	一括427点
Q 11 1590	嘉永2年4月	伊達宮沢伊兵衛年中暮方積帳 三左衛門扣		横帳	
Q 14 1591		覚(受領證類)		状	一括264点
R 1 1592		差出(寺領に付差出 正徳2年カ)		状	
R 1 1593	享保11年11月	覚(寺社領について)	箕作村名主 三左衛門外→中野役所	状	
R 1 1594	天明7年3月	差出申一札之事(平林村旦のこと)	箕作村 常慶院→野坂田村 林昌寺	状	
R 1 1595	寛政9年10月	為念相渡書付(大井平善福寺頼母子金について)	三左衛門→ご主人との	状	
R 1 1596	寛政9年	(常慶院草創よりの院曆)		状	
R 1 1597	慶応3年10月	(本末の儀式は近末にて行なうべき旨の元禄年中の免状再交付願い)	瑞竜院→常慶院	状	
R 1 1598	文政8年	長命寺荒地開発出入一件(願上書、口上書下書、顛末書)		横帳	一括3点
R 1 1599	安政4年6月	山門造作再奉加割附帳 金華山		横帳	
R 1 1600	文政8年初春	諸国御朱印寺社大概 箕作村島田氏		縦帳	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
R 1 1601	天保4年3月	松代長国寺より水内、高井両郡寺院へ御触(諸国高改について)扣	箕作庄屋 三左衛門	縦帳	
R 1 1602	申4月	長命寺元屋敷新開に付浅草唯念寺使日記	唯念寺使 荒井俊蔵	縦帳	
R 2 1603	享和元年11月	口達(修復用木のこと)	本願寺御門跡御内 岩崎官左衛門→箕作 嶋田三左衛門	状	
R 2 1604	享和元年11月	覚(御用木代五拾両の受取書)	箕作村 三左衛門→御使僧	状	
R 2 1605	享和元年11月	口達(修復用御用木承知のこと)	箕作村 三左衛門→本願寺御門主・御内御役人	状	
R 2 1606	享和3年6月	覚(材木入用金請取)	願寿寺附 仗岩崎官左衛門→三作村 嶋田三左衛門	状	
R 2 1607	享和3年4月	書簡(本願寺修復延期のこと)	願寿寺 巖乘→箕作 嶋田三左衛門	状	
R 2 1608	10月	(御絵堂修復につき寄進依頼状)	本願寺御門主御使僧→嶋田三左衛門	状	
R 2 1609	享和3年6月	一札(享和元西年の御請書返済のこと)	越後姉崎 浄善寺 順誓◎→三作村 嶋田三左衛門	状	
R 2 1610	卯9月	覚(金吉両善光寺屋根板料寄進の受領書)	大勸進役僧 放光院→嶋田葵翠	状	
R 2 1611	子6月	書簡(御普請再見分に付願書目論見帳持参出頭のこと)	天神当村 山崎伴右衛門→箕作村庄屋 中	状	
R 2 1612		善光寺寄進(請取書金三步式朱 錢四百七拾式文)	善光寺別当所知事→三左衛門	状	
R 2 1613	10月	書簡(善光寺屋根修理のための木材寄進依頼のこと)	善光寺 久保田将監→島田三左衛門	状	
R 2 1614		(御殿向御再建に付伐木のこと)	谷御殿御内江戸御役所 水越須磨丸→島田三左衛門	状	
R 2 1615	享保4年正月	釣鐘鑄立候定書之事	箕作村 嶋田三左衛門→越後太窪村鑄物師 八郎兵衛外一名	状	
R 2 1616	寛政6年11月	杉林寄附證文之事	箕作村寄附人 嶋田三左衛門→常慶院	状	
R 2 1617		(白鳥村庵室普請は常慶院へ届け指示を受くべきこと)		状	
R 2 1618	文政元年6月	覚(永代読経料寄附のこと)	高田瑞泉寺役僧→島田三左衛門御母儀	状	
R 2 1619	文化12年5月	差出申一札(釣鐘再建願い)	長命寺 北天→名主 三左衛門外村役	状	
R 2 1620	天保11年11月	覚(穀代寄附頼みのこと)	慈上寺→箕作村役人中	状	
R 2 1621	天保11年11月	覚(穀代受領書)	慈上寺→箕作村役人中	状	
R 2 1622	天保11年	普化宗門取締證文(虚無僧法外の厄介掛け申さざること)	高崎 慈上寺役僧→箕作村役人中	状	
R 3 1623	天明7年5月	差上申内済証文之事(平林村旦中との出入一件)	平林村旦中並常慶院関係寺院→久保平三郎 中野御役所	状	
R 3 1624	天保12年9月	為取替規定一札之事(神職と寺院葬祭執行出入)	野沢村建命寺外二寺・中村神主外神主三名→平岡熊太郎 脇野御役所	状	
R 3 1625	安政6年4月	禅宗僧洞派金花山常慶院の調	常慶院	状	
R 4 1626	延享2年2月	願書之事(還俗願)	新法→権右衛門	状	
R 4 1627	寛政2年3月	(常慶院の実態についての懇願書)	常慶院衆寮活庵→嶋田三左衛門・市川 銀右衛門	状	
R 4 1628	寛政8年正月	差出申一札之事(長命寺の御坊が乱心して不事を働いたが御役所へ訴えず内済に願いたい)	長命寺 母→村役人 三左衛門外	状	
R 4 1629	文政11年9月	眞請證文之事(西大滝、森村神主御社中と不和に付八ヶ村村役人立入眞請のこと)	水内、高井郡村名主八名◎→御社中当年行司	状	
R 4 1630	天保2年5月	虚無僧三ヶ年留場関係書	高崎 慈上寺役僧→箕作村役人中	状	3点
R 4 1631	文化15年2月	大本願上人大坂和光寺迄宿々駄賃帳	島田千治郎	横帳	
R 6 1632	寛政13年3月	伊勢御師 松井佐太夫より信越旦中へ請取置候證書 扣	箕作村 三左衛門	横帳	
R 6 1633	弘化3年6月	社号願入用並に割賦(神社の社号披露式費用)扣	願人 三左衛門	横帳	
R 7 1634	元禄6年3月	口上書之覚(秋山の旦那寺は従前通りに願いたい)	善福寺住職→常慶院	状	
R 7 1635	正徳5年正月	信州松城軼切支丹本人砌屋六三郎類族被遊御預け候に付差上申一札	箕作村村役人四名→北村弾右衛門外四名	状	
R 7 1636	正徳6年2月	軼切支丹類族被遊御預け候に付一札(類族源信行状申上げのこと)	箕作村村役人四名→北村弾右衛門外四名	状	
R 7 1637	正徳6年2月	宗旨請負證文(類族源信宗旨身元保証のこと)	常慶院住職 雲真→北村弾右衛門外四名	状	
R 7 1638	享保2年7月	信州松城軼切支丹本人砌屋六三郎類族被遊御預け候に付差上申一札(六三郎子龜松=源信 疑がわしきことのないこと)	箕作村庄屋 三左衛門外→御役所	状	
R 7 1639	享保5年9月	軼切支丹類族被遊御預け候に付一札(類族源信平林村清道寺住職に転住のこと)	箕作村役人→中野御役所	状	
R 7 1640	天明7年5月	差出申一札之事(平林村の者共宗門離れのこと)	箕作村 常慶院外→野坂田村 林昌寺	状	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
S 2 1641	明治2年7月	照徳院病氣中より死去迄諸入用 扣		横帳	
S 2 1642	8月	(結婚関係記録)	飯田源左衛門→島田三左衛門	横帳	
S 3 1643		覚(親類中へ祝儀目録)	藤井平五郎	状	
S 3 1644		覚(祝儀目録)	嶋田三左衛門	状	
S 3 1645	嘉永7年3月	瘡病見舞 扣		横半帳	
S 7 1646	享保19年8月	立願状(大峰御宝前代参のこと)	嶋田団蔵→御神前	状	
S 11 1647	享保12年7月	見聞録(日光御社参宮のこと)		竖帳	
S 14 1648	嘉永4年8月	奉獻證状之事(鎮守豊高嶋神社祭礼相撲興行)	日本相撲行司 十二代 木村庄之助→箕作村 若衆中	状	2点
S 14 1649	嘉永4年8月	免許(相撲)	木村庄之助→大和川事 木村源之助	状	
T 4 1650	慶応3年11月	草紙(和等法 魚沼郡中子村麻績方で作る)	島田東次郎	横半帳	
T 7 1651	安政5年7月	差出申一札之事(若者組 取極)	箕作村若者善内外→当村御役人	状	
T 8 1652	享保7年4月	正真流太刀目録	森理兵衛尉平正真居士→藤井団蔵	状	
T 8 1653	享保7年4月	正真流印状	森理兵衛尉平正真居士→藤井団蔵	状	
T 8 1654	享保20年5月	花伝書	宮沢平右衛門治正→嶋田弾蔵	状	
T 8 1655	慶応4年6月	土用虫干萬取調(書籍、書画)		竖帳	
T 9 1656		安政新撰今時在世南画集覽			
T 9 1657		浮世辛苦		状	
T 9 1658	延宝6年正月	禁裏御会之御歌並仙洞霧姫様御縁組之記		竖帳	
T 10 1659	嘉永7年3月	教化書(神仏教伝説)		竖帳	
T 11 1660	文政3年10月	遠州流口伝(遠州流 挿花伝授)	東都 荒木一英→箕作村 嶋田葵翠	状	
T 14 1661	8月	瘡毒治法	越中富山 高瀬宗庵伝→箕作村 貞吉	状	
T 19 1662	天保10年~弘化5年	伊勢曆 十二葉(天保8・10・11・12・13・14・15・16 弘化3・4・5年)		状	12点
T 19 1663		武道偉人名鑑(二九六名 全紙 吉枚)	高崎藩指南役 関根栄三郎		
V 1 1664	寛治6年	(三島郡藤原方面の絵図寛治六年寺泊下角田浜大波に砂山打崩れる)			380×800mm
V 1 1665	元禄11年	第七号 御国絵図 越信州縁絵図			610×1755
V 1 1666	元禄11年	第八号 御国絵図 上州絵図面			525×1900
V 1 1667	元禄13年	三國峠、越後、上州国境の図面			1250×1480
V 1 1668	元禄	第五号 三國々境図面(上信越関係)			1820×1530
V 1 1669	近世	志久見川より三國峠方面の国境図			380×1715
V 1 1670	近世	佐渡一國全図			530×940
V 1 1671	近世	国絵図(駿河~上越)			302×420
V 1 1672	元治	元治改正安政便覧(山口県方面の印刷図)			410×585
V 2 1673	慶応2年6月	絵図面と陣出面の写(慶応二年六月の変事における殿様の配置図)			655×540
V 2 1674	明治元年5月	戊辰戦争図(長岡城が焼け落ち)			275×760
V 2 1675	近世	山陰地方の武将城跡図			395×555
V 3 1676	安政3年7月	永代御江戸絵図			700×965
V 4 1677	安永2年4月	箕作村絵図(全村)	箕作村月岡組 名主 茂右衛門他5名		565×780
V 4 1678	寛政4年正月	箕作村絵図			550×765
V 4 1679	寛政6年8月	地引図(箕作村)	三左衛門		545×780
V 4 1680	文政7年6月	村絵図(箕作村)			390×550
V 4 1681	文政9年5月	村絵図			390×1305
V 4 1682	明治3年8月	信州高井郡箕作村絵図	名主 儀左衛門外五名→伊那県中野御役所		385×545
V 4 1683		箕作村絵図			390×550
V 4 1684		箕作村絵図			572×810
V 4 1685		箕作村絵図			383×550
V 4 1686		村絵図(箕作其の他全村)			545×770
V 4 1687		村絵図(箕作其の他全村)			395×540
V 4 1688		村絵図(信越国境附近)			650×765
V 4 1689		村絵図(箕作其の他全村)			476×970
V 4 1690		箕作村絵図			560×370
V 4 1691		箕作村絵図	高井郡箕作村・月岡組名主 三左衛門外五名		400×570
V 4 1692		村絵図(箕作村周辺)			775×1100
V 4 1693		箕作村絵図			1045×1330
V 4 1694		村絵図(箕作、月岡、泉平等)			1660×1920
V 4 1695	(元禄)	第六號三國々境圖面(上信越)			2370×1950
V 4 1696		北野天神位置図	高井郡箕作村・月岡組名主 三左衛門外五名		388×555
V 4 1697		箕作村絵図(神社等の所在位置図)			525×820
V 4 1698		村絵図(小赤沢、大赤沢)			280×390
V 4 1699		秋山附近絵図			390×540

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
V 4 1700		秋山地方廉絵図		277×390	
V 4 1701	近世	岩菅山、鳥甲山等近辺絵図、大道、鍋倉山等		410×580	
V 4 1702	近世	箕作村(志久見村)村絵図(常慶院前の家並)		330×475	
V 4 1703	近世	村絵図(志久見村～秋山辺)		615×545	
V 4 1704	近世	三国峠付近の山絵図		550×790	
V 4 1705	近世	越後絵図(芦ヶ崎、中深見、秋成、結束村)		1668に貼纏	
V 4 1706	1 近世	小滝川用水図		550×390	
V 4 1706	2 近世	小滝川用水図		280×395	
V 4 1707	近世	御林絵図		540×395	
V 4 1708	近世	境山の資源と管轄領主絵図		1400×1120	
V 5 1709	寛延4年5月	新開見取絵図	会津御預り所大井平村 甚右衛門他2名	560×790	
V 5 1710	文政5年6月	畑田成絵図(長瀬)	長瀬百姓惣代 甚右衛門→矢嶋藤藏 中野御役所	380×820	
V 5 1711	文政8年11月	耕地絵図(箕作村地内惣名中尾)	長瀬百姓惣代 甚右衛門→大原四郎右衛門 中野御役所	770×845	
V 5 1712	弘化2年8月	耕地見取絵図(箕作村全般)	三左衛門外→川浦御役所	520×530	
V 5 1713	文久2年8月	信濃国高井郡箕作村耕地絵図	箕作村百姓代 銀右衛門→増田安兵衛 中野御役所	790×475	
V 5 1714	文久2年8月	箕作村耕地図	箕作村名主 三左衛門外村役人→増田安兵衛 中野御役所	780×470	
V 5 1715	文久2年	雛形作成絵図 耕地関係		390×540	
V 5 1716	天保14年9月	箕作村耕地図	名主 三左衛門→石原清左衛門 川浦御役所	660×655	
V 5 1717	慶応2年6月	村見取場絵図	名主 三左衛門→御検地御役人中	555×640	
V 5 1718		箕作村耕地図		380×270	
V 5 1719		箕作村耕地図		435×620	
V 5 1720		箕作村山地耕地図		820×380	
V 5 1721	天保期	耕地図(月岡新開地)	箕作村役人→石原清左衛門 川浦御役所	280×400	
V 5 1722	1 近世	耕地図		545×655	
V 5 1722	2 近世	耕地図		530×1120	
V 5 1723	近世	箕作村耕地図の下書		555×985	
V 5 1724	近世	箕作村全村耕地図(常慶院前町地字百合居外)		650×480	
V 5 1725	近世	耕地図 箕作村全地区の耕地図		1155×1470	
V 5 1726	延宝2年8月	信州森村・越後羽倉村御裁許絵図面 ㊟		1560×1920	
V 6 1727	延宝7年12月	沓野、田中上条 夜間瀬三方山論御裁許の山絵図		1710×2430	
V 6 1728	享保12年12月	第一号 御巢鷹山全図		1110×1570	
V 6 1729	文政4年6月	巢鷹山絵図(御普請役外廻村の折の絵図)	箕作村名主 三左衛門外・志久見村名主 浅次郎外	810×885	
V 6 1730		箕作村全図 第四号の御巢鷹山		800×1140	
V 6 1731		第五号 御巢鷹山絵図(大道・北越・板木)		575×940	
V 6 1732		第六号 巢鷹山全図(小松原、大道、板木)		595×950	
V 6 1733		御巢鷹山全図(小松・大道・板木)		550×1145	
V 6 1734		巢鷹山地図(湯元・秋山絵図)		1440×1220	
V 6 1735		第一〇号 御巢鷹山図(入会地で争論絵図)	堺村箕作 島田三左衛門	1520×1520	
V 6 1736	宝暦6年8月	村境見極文書並絵図(箕作村と東大瀧村の境界見極絵図)	高井郡箕作村名主 茂右衛門外8名)	580×770	
V 6 1737		入会絵図(山絵図)		1840×1680	
V 6 1738	文政8年10月	中尾原絵図(入会地の出入)	信濃国高井郡箕作村枝長瀬百姓惣代 甚右衛門外4名→大原四郎右衛門外4名	810×910	
V 6 1739	文政9年5月	論所絵図 長瀬長命寺 御門跡御掛所図面	専修寺の跡御掛所長命寺代訴訟人 北天外7名→大原四郎右衛門外2名	770×1100	
V 6 1740	文政9年5月	論所立会絵図		1110×740	
V 6 1741	文政9年5月	論所絵図(長命寺との出入一件)	訴訟人 長命寺北天・相手 甚右衛門外5名→大原四郎右衛門御手代 稲岡茂作、御手附 百瀬進八	388×750	
V 6 1742		入会山絵図(苗波山、高倉山等)		410×730	
V 7 1743	天保12年7月	箕作村御普請所絵図	箕作村名主 三左衛門外→平岡熊太郎 御代官	425×617	
V 7 1744		善光寺地震による犀川押し止絵図		270×380	
V 7 1745	天明5年6月	災害絵図	箕作村名主外2名→久保平三郎 御役所	390×675	
V 7 1746		肥前嶋原焼山大変図 雲泉山焼(噴火)			

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
V 10 1747		世界地図			
A 9 1748		朝旨三条		状	
A 9 1749	明治5年	御布告留(欠損あり)第五拾二区箕作村 村役(欠落)		縦帳	
A 9 1750	明治6年	御布告	戸長所	縦帳	
A 9 1751	明治6年	御布達書留	箕作村 嶋田孫太郎	縦帳	
B 3 1752	明治5年6月	社寺領上知書上帳(上知高田畑反別書上 帳)	箕作村	縦帳	
B 3 1753	明治5年7月	上知田畑高反別書上帳 箕作村	村役6名連名→県庁御役所	縦帳	
B 3 1754	明治8年11月	東大滝越石実取調帳	箕作村	横半帳	
B 3 1755		表題なし(高反別帳)第廿七大区六小区 高井郡箕作村	用掛り 倉科健逸外→六小区戸長副	縦帳	
B 3 1756	明治4年9月	上(社寺現在地境書上)	箕作村 村役6名⑩→県御役所	縦帳	
B 4 1757		本郷名寄帳五冊之内		縦帳	
B 4 1758		三番 本村名寄帳 五冊之内		縦帳	
B 4 1759		表紙なし(土地名寄帳)		縦帳	
B 4 1760		地価名寄(台帳照合済)	嶋田義策	縦帳	
B 12 1761	明治5年7月	乍恐以書付奉願上候(官林払下げに際し 水之尾林は箕作村・志久見村に居置願 いたいこと)	箕作村百姓代 市川長左衛門	状	
B 12 1762	明治5年7月	乍恐以書付奉願上候(官山の払下願)	名主 島田儀左衛門→長野県御役所	縦帳	
B 12 1763	明治5年8月	乍恐書付を以奉願上候(官山払下願出の 件)	名主 島田儀左衛門→長野県御役所	縦帳	
B 12 1764	明治6年12月	御官林書上帳 第五拾貳区 高井郡箕作 村		縦帳	
B 12 1765	明治19年7月	御訊伺に付上申(字仙当にある官林境に ついて)	地租改正用掛 嶋田孫太郎外4名→農 商務省木曾山林事務所派出所	縦帳	
B 12 1766		官有地借用願 下書		横半帳	
B 13 1767	明治7年11月	為取替一札之事(地券改正について越石 場等の取極)	第二十一大区六小区・志久見村村用掛 外・箕作村村用掛外	状	
B 13 1768	明治8年	地券受取証(箕作村土地所有者全員)	用掛り 嶋田儀左衛門	縦帳	
B 13 1769	明治17年	地所売買に付地券書換願(大道山塚村共 有地を芦ヶ崎村他系六ヶ村で買受による 地券交換)		縦帳	
B 13 1770	明治	地券證			一括424点
B 14 1771		田畑見出帳	→島田三左衛門	横半帳	
B 14 1772	明治17年3月	新配分離不能据置御願(新配分離はしな いで据置願いたい)	堺村戸長 嶋田東次郎→長野県令 大 野誠	縦帳	
B 15 1773	明治5年~	土地売買證文類 一括		状	一括
C 6 1774	明治8年3月	去戌御租税金三納取立帳	用掛り 嶋田儀左衛門	横帳	
C 6 1775	明治8年4月	戌御租税金四納取立帳	箕作村 嶋田儀左衛門	横帳	
C 6 1776	明治8年12月	去戌御租税金三納取立帳	用掛り 嶋田	横帳	
C 7 1777	明治12年7月	御租税金之通	豊栄村戸長役場	横半帳	
C 14 1778	明治8年9月	田畑宅地惣計帳	地券所	横帳	
C 14 1779	明治8年10月	地租改正下調野帳	第二拾七大区六小区七番組	横帳	
C 14 1780	明治8年11月	田畑等級附分帳	第二十一大区六小区一番組	横帳	
C 14 1781	明治9年3月	管外田畑老筆限書抜寄附控簿	箕作村改正堺村用掛 倉科健逸	横帳	
C 14 1782	明治11年3月	地租民費請取帳	用係り所	横半帳	
C 14 1783		表題なし(反別・地価・地租書上)		横帳	
D 3 1784	明治28年8月	平和条約書 水内村内の村規約(村会議 員の選挙区は分けること、ほか)		縦帳	
D 4 1785	明治10年9月	依願免戸長	長野県→嶋田東治郎	状	
D 4 1786	明治10年9月	戸長免役御辞令(辞令書通請取書)	嶋田東治郎→長野県令 樽崎寛直	縦帳	
D 5 1787	明治5年6月	乍恐以書付御届ヶ奉申上候(博覧会に出 品される宝物は当方には無い旨の届)	名主 島田儀左衛門→長野県御役所	縦帳	
D 5 1788	明治6年8月	表題なし(保坂彦作四十一歳になった 届、他年齢届書)	箕作村 保坂五助	状	
D 5 1789	明治6年5月	記(十六歳になったことの届)	阿部文左衛門外十一人→戸副長	縦帳	
D 5 1790	明治6年6月	以書付御届奉申上候(箕作・志久見等道 法調届書)	戸長 嶋田儀左衛門→長野県令 立木 兼吾	縦帳	
D 5 1791	明治10年3月	公用届(上部汚損失)	六小区 吉〇〇	縦帳	
D 5 1792	昭和	陳情書(交通機関の完備について部落と して)		縦帳	
D 5 1793	大正4年~5年	公有財産整理関係(墓地、山林ほか一括 一袋)	堺村ほか各村	縦帳	一括
D 6 1794	明治7年4月	本郷御用出勤村費附込帳	高井郡箕作村	横帳	
D 6 1795	明治7年8月	両組夫銭並地券入費取替附込帳		横帳	
D 6 1796		夫銭摺違元利調		横半帳	
D 6 1797	明治21年4月	地図調整費補助簿		縦帳	
D 9 1798	大正3年3月	堺村会々議規則	堺村	状	
D 10 1799	明治31年4月	撰拳小遣帳	嶋田	横半帳	
D 10 1800	大正5年1月	村会二級補欠議員当選告知	堺村長→嶋田義策	縦帳	
D 12 1801	大正7年	堺村歳入出算書		縦帳	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
E 1 1802	明治6年、7年	送籍證		状・豎帳	3点
E 4 1803	明治6年12月	年齢計算取調帳(戸籍簿)	第五拾二区 箕作村	豎帳	
E 4 1804	明治7年12月	戸籍計算帳	第廿壹大区六小区 箕作邑	豎帳	
E 4 1805	明治43年	身元保証書(太田亮)	久保田保→樋口淳治	豎帳	
E 4 1806	大正7年	島田新五郎戸籍謄本		豎帳	
E 4 1807	大正9年	鈴木嘉七戸籍謄本	横浜市長	豎帳	
E 4 1808	大正10年	島田義策戸籍謄本		豎帳	
E 4 1809	8月	当申出生死去人取調書上 箕作村	名主 儀左衛門→戸長 川久保伊兵衛	豎帳	
E 4 1810		表題なし(人別帳)		豎帳	
F 11 1811	明治12年5月	堺村保坂唯七事件済口書類			一括
F 11 1812	明治17年	貸金取立訴訟一件		豎帳	一括
F 11 1813	大正2年	信濃川水力電気KK訴訟(立替金請求事件の訴状)		豎帳	
F 11 1814	大正5年	小滝訴訟書類			一括
F 11 1815	大正7年	坪野民事訴訟			一括
F 11 1816	大正8年	民事訴訟用書類	島田義策		一括
F 11 1817	大正10年3月	島田君訴訟費用補助有志		豎帳	
F 11 1818	大正12年9月	期日呼出及訴状送達(所有権移転登記請求)	飯山区裁判所→島田龍雄	豎帳	
F 12 1819	明治6年7月	差入申一札之事(草津秋山道通行について)	小赤沢、屋敷、上ノ原、和山惣連中→桑原源次郎	状	
F 12 1820	明治7年4月	差出申証書之事(村持木材伐木について)	詫人 保坂数右衛門・詫人 南雲佐治 右衛門→村役人中	状	3点
F 12 1821	明治11年9月	差出申証書之事(心得違にて杉一本伐木のこと)	屋敷 山田貞之助→島田義策外一名	状	
F 12 1822	明治12年12月	相渡し申一札之事(売渡済杉林で伐木詫証文)		状	
F 12 1823	明治13年12月	詫入證券(道路通行妨害について)	→嶋田東治郎	豎帳	
F 12 1824	明治25年11月	書入申証証(雑木四本伐木した詫証)	詫書書入人 保坂福蔵→島田三左衛門	状	
F 12 1825	明治37年6月	詫証(杉木伐採詫証文)	保坂嘉太郎→島田義策	状	
F 13 1826	明治6年4月	乍恐以書付御返上奉申上候(狛師鉄炮吉挺、威鉄砲老挺、鑑札返上書)	島田儀左衛門→長野県権参事 榎崎寛道	豎帳	
F 15 1827	明治17年4月	野火防禦方御認可願(野火防禦法の規定を設ける為許可を得たい)	堺村人民惣代 嶋田源治郎他→飯山警察所長 熊倉三太	豎帳	
F 16 1828		屋敷、和山確認訴訟調査書類		豎帳	一括2点
F 16 1829	明治6年6月	信越境界標木願(境界標示は制札であるが標木に代えて欲しい願書)	副区長 島田東治郎→長野県権参事 榎崎寛道	豎帳	
F 16 1830	明治9年5月	為取替証書之事(小赤沢、大赤沢国境一件)	両村百姓惣代外	豎帳	
F 16 1831	明治17年9月	上申書(大道山売渡について信越国境地であるため県へ上申)	堺村案内人 島田信太郎他→長野県知事 木梨精一郎	豎帳	
F 16 1832	明治17年9月	御伺(堺村ノ内箕作)(信越国境入会地新潟県側へ売渡したいので県の指示願)	堺村戸長 川久保角治→長野県令 大野誠	豎帳	
F 16 1833	明治17年9月	為取換証書(大道国境界線は従来のまま据置に信州側と越後側で了解)	赤沢村戸長 滝沢謙三他・屋敷 山田幸吉他	豎帳	
G 2 1834	明治44年	水防報告書 堺村箕作消防組		豎帳	
G 7 1835	明治29年7月	赤十字社再加入の件	赤十字社長長野支部→島田三左衛門	豎帳	
H 6 1836	明治20年以降	線路測量願書(長野県内の県道路線促進について「草稿か」)		状	
H 6 1837	明治40年8月	郡道改修工事設計	堺村役場→下高井郡役所	豎帳	
H 7 1838	昭和13年9月	百合居橋会計報告	会計主任 関谷恵吉	豎帳	
H 7 1839		百合居橋セメント数量表		豎帳	
H 8 1840	明治5年6月	自普請所取調可届書(板橋、溜池等普請ヶ所の書上)	名主 島田儀左衛門→長野県御役所	豎帳	
H 13 1841	明治35年6月	取極証書(屋根換について)		状	
I 8 1842	明治16年3月	雇入受状之事		状	
J 6 1843	明治19年	小滝、大久保、野田沢用水訴訟一件		豎帳	
J 6 1844	明治26年8月	差出申証書(水車建築による用水利用の念書)		状	
J 9 1845		収権取得表外添付 箕作村一円		豎帳	
J 21 1846	明治6年11月	梨子木売渡証書(一、梨子木壱本目通五尺廻り代金四円也)	豊栄村 田中兵五郎→三左衛門	状	
J 21 1847	明治14年10月	杉木買極め證		状	
J 21 1848	明治33年3月	杉木売買契約書		状	
J 21 1849	明治35年6月	杉売渡証書		状	
J 22 1850	明治7年2月	野沢邑、柏尾邑、重地原邑、北原新田邑四箇(ママ)村入会山書上控		豎帳	
J 22 1851	明治17年9月	信越国境界線取極絵図面(高倉山の信越境界、両者立会決定図)	堺村関係者十名 調印→上郷、芦ヶ崎、秋成関係者九名 調印	豎帳	
L 3 1852	明治30年3月	御染物之通	宮沢茂吉→島田丹那	横半帳	
L 4 1853	明治5年3月	酒造書上帳	島田東治郎→長野県役所	豎帳	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
L 4 1854	明治5年7月	酒造鑑札願	島田東次郎	縦帳	
L 4 1855	明治5年8月	酒造込高願書並末造高売上納差出書	島田東次郎→長野県役所	縦帳	
L 4 1856	明治5年8月	高井郡税金納入調(生酒呑石に付五両永百弍拾文三分)		縦帳	
L 4 1857	明治6年12月	規定一札之事(酒造仲間取極)	桑名川村 小田切助次郎外	状	
L 4 1858	明治6年12月	清酒其外平均相場期日(醸造税上納に付いて)	大蔵郷 大隅金信	縦帳	
L 4 1859	明治7年3月	記(酒造関係検査官出張御触)	長野県庁	縦帳	
L 4 1860	明治7年3月	酒造御改に付造込高絞揚生酒取調書	島田東次郎→本多勝柄	縦帳	
L 4 1861	明治7年3月	酒造込高及絞揚生酒書上書	島田東次郎→本多勝柄	縦帳	
L 4 1862	明治9年3月	記(清酒絞揚書上書)	島田東次郎→長野県役所	縦帳	
L 4 1863	明治9年	製酒絞揚取調帳	島田東次郎→本多勝柄	縦帳	
L 4 1864	明治10年4月	製酒絞揚帳 扣(御検査御出張について)	島田東次郎→長野県出役	縦帳	
L 4 1865	明治10年10月	醸造石高願上書(清酒四拾石)	島田義策→長野県権令	縦帳	
L 4 1866	明治11年5月	記(醸造酒検査について)	島田義策→御出役	縦帳	
L 4 1867	明治11年5月	糶鑑札料領収之證外	長野県→島田義策	状	一括2点
L 4 1868	明治11年	清酒絞上帳	島田義策	横帳	
L 4 1869	明治43年	酒造依託に関する契約公正證書	島田	縦帳	一括3点
L 4 1870	大正11年10月	酒造場譲渡契約書	売人 島田義策⑩・買人 島田国一郎⑩	縦帳	
L 7 1871	明治27年7月	紙製器拝借文書	堺村役場→島田三左衛門	縦帳	
L 8 1872	明治7年3月	絞油届(油三斗、絞油報告)	絞油稼人 関沢源左衛門→長野県参事 樽崎寛直	縦帳	
L 21 1873	明治10年6月	萬買物受取帳	秋山奥の湯 島田	横半帳	
L 21 1874	明治13年2月	ふしんちやう	湯本 嘉右衛門	横半帳	
L 21 1875	明治14年	入湯来人泊賃記	切明 嘉右衛門	横半帳	
L 21 1876	明治14年	家作掛り寢覚	切明 島田嘉右衛門	横半帳	
L 21 1877	明治15年6月	御泊帳(付諸覚え)	島田君松	横半帳	
L 21 1878	明治15年	御客貨物帳	奥ノ湯 嶋田氏	横帳	
L 21 1879	明治12年	切明・和山・屋敷温泉関係書類(諸願及手続書)		状	一括13点
L 22 1880	明治41年5月	創業費出資簿(信濃川水力電気株式会社設立について)	箕作支部分	縦帳	
L 22 1881	明治43年	信濃川水力発電関係書類起業計画説明書外		縦帳	
M 4 1882	大正11年	公債引替證券	日本興業公債KK→島田義策	状	一括4点
M 9 1883	明治7年~大正11年	米金借用證文		縦帳・状	157点
M 9 1884	明治6年7月	判取帳	島田儀左衛門	横半帳	
M 9 1885	明治8年1月	差入申分書之事(借入金返済用捨について)		状	
M 9 1886	明治9年8月	差入申分書之事(借入金勘弁のこと)		状	
M 9 1887	明治16年1月	古證書増金證券	流質売渡人 保坂善右衛門→嶋田東次郎	状	
M 9 1888	明治26年	公債証書借用證		縦帳	
M 9 1889	明治30年12月	公債証書借用証(額面壹千壹百円也 借用)		縦帳	
M 9 1890	明治32年3月	返済証書	中魚沼郡赤崎村 滝沢謙三→島田三左衛門	縦帳	
M 11 1891	明治6年~24年	質地證文		状	12点
M 11 1892	明治19年12月	質地御届	質取主 島田三左衛門→下高井郡長	縦帳	
M 14 1893	大正15年	互間契約書 草稿(土地借用について)	島田竜雄	縦帳	
M 16 1894	明治11年、17年	頼母子證文		状・縦帳	2点
M 16 1895	明治38年	清雅会取立帳	発起人 小林友作	横帳	
M 16 1896	明治39年	頼母子式番会取立帳	取入人 島田義策	横帳	
M 16 1897	明治44年10月	夜具頼母子第九番会取立帳	取入人 島田義策	横帳	
M 17 1898	明治37年	当座預金貸越通帳	水内銀行戸狩支店→島田義策	縦帳	
N 4 1899	大正12年	信越商業株式会社趣意書(目論見書、定款外)			一括
N 6 1900	大正11年12月	株式会社水曲ホテル関係書類			一括
N 8 1901	1 明治7年3月	杉ノ木売渡し證文之事	泉平木売渡人 南雲佐右衛門→箕作村 買主 保坂繁右衛門	状	
O 1 1901	明治7年~35年	小作證文		状・縦帳	25点
O 1 1902	明治8年11月	新古田畑山林帳(小作等証文調らべ)	嶋田東次良	横半帳	
O 1 1903	明治11年~13年	田畑小作・利子米請取帳	箕作 嶋田氏	横帳	
O 1 1904	大正13年	契約書(畑地約一畝歩)	保坂正栄→島田竜雄	縦帳	
O 2 1905	大正8年	預り證(信越木材株式会社株四千株)	竹中登→島田義策	縦帳	
O 4 1906	明治34年2月	相渡申證書(堰水使用料請取證文)	箕作人民総代 久保田→島田三左衛門	状	
O 6 1907	明治6年1月	日嘉惠(差引勘定控)		縦帳	

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
O 6 1907	1 明治16年9月	明治十六末年・十七申年・十八酉年金銭 出納帳見出帳		横半帳	
O 6 1908	明治17年9月	諸取替え帳	中林久一郎→島田東治郎	横半帳	
O 6 1909	大正12年~昭和5年	判取帳	大割野曲水館	横半帳	
O 6 1910	明治17年1月	酒売貸方帳		横帳	
O 7 1911	明治16年8月	金銭取替帳		横半帳	
O 7 1912	明治24年	御酒通		横半帳	
O 7 1913	明治30年	年中人足頼人調		横半帳	
O 7 1914	明治34年8月	仮留帳	島田酒店	横半帳	
O 7 1915	明治38年	米之通	酒屋→搦屋助右衛門	横半帳	
O 7 1916	明治13年1月	貨弊出納帳	嶋田東次郎	横帳	
P 15 1917	明治40年8月	渡船場新設願(平瀧、箕作間)		縦帳	
Q 3 1918		雑記帳(役場関係もあり 大正初年より)		縦帳	2点
Q 4 1919	明治9年10月	取極申確書之事(家相続取極メのこと)	島田東次郎→親類八人	状	
Q 4 1920	明治13年11月	証(当家家督相続取極のこと)	菖蒲村 飯田茂三郎→親類四人	状	
Q 4 1921	明治35年10月	三左衛門隠居契約書		状	
Q 4 1922	明治35年11月	隠居許可の申請	申請人 島田三左衛門・代理人 嶋田孫太郎	縦帳	
Q 4 1923	明治35年11月	表題なし(隠居により家督相続の届)	島田義策→栄村戸籍吏 斉藤広吉	縦帳	
Q 4 1924	大正4年6月	改名願(島田義策→島田三左衛門)		縦帳	
Q 4 1925	大正5年11月	青倉親子相続財産契約書	島田正英・母 島田やす・証人 島田義策	縦帳	
Q 4 1926		家督相続に関する契約書	島田功平→島田房子	縦帳	
Q 5 1927	明治36年10月	隠居 養子縁組届	島田義策→堺村戸籍吏 斉藤廣吉	状	一括2点
Q 5 1928	明治43年2月	養子縁組届	島田三左衛門→堺村戸籍吏 関口善吉	縦帳	
Q 6 1929		家屋間取図		縦帳	
Q 8 1930	明治24年~38年	建物売渡證書(明治二十四、二十七、三十三、三十八年)		縦帳	一括5点
Q 8 1931		家産の覚		縦帳	
Q 9 1932		書簡		状	一括17点
Q 14 1933		覚(受領書類)		状	一括
R 1 1934	明治5年7月	社寺上知取調(社寺上知込組届)	名主 儀左衛門→長野県御役所	縦帳	
R 1 1935	明治5年7月	社寺領書上帳 高井郡	第五拾三区 箕作村	縦帳	
R 2 1936	明治11年2月	以書付願上候(諏訪社社殿建替に付願)	副戸長 市川銀右衛門→県庁 武内豊見	縦帳	
R 2 1937	明治28年11月	表題なし(東北院の修繕費寄捨願いたいこと)	東北院執事→箕作有志・惣代 上倉甚兵衛	縦帳	
R 2 1938	大正2年9月	日韓併合記念並永代祠堂ノ為土地と杉苗四千本寄進ノ証	常慶廿八世 滝沢雲秀→島田義策	縦帳	
R 2 1939	明治5年4月	以書付を御届け奉申上候(中楠社御造営について)	名主 儀左衛門→戸長 川久保伊兵衛	縦帳	
R 2 1940	明治17年	梵鐘撤去之誌	常慶院→島田竜雄	縦帳	
R 3 1941	明治6年1月	換檀為取替證券之事(常慶院・真宗寺旦那換證文)	戸狩村 真宗真宗寺→箕作村 常慶院 禅宗常慶院	状	
R 3 1942	明治21年	常慶院予約会規則並決議	常慶院	縦帳	
R 4 1943	明治5年6月	送籍状之事(観音寺住職明庵が箕作の常慶院に転住職になったので送籍)	観音寺村戸長 福原平吉→柏崎県御役所	縦帳	
R 4 1944	明治5年8月	常慶院住職願書(住職死亡により後住明庵願いたいこと)	箕作村名主 嶋田儀左衛門外	縦帳	
R 4 1945		表題なし(常慶院住職について 前部欠損、奥書のみ)	水内郡上松村昌禅寺	縦帳	
S 2 1946		祝儀客来覚(百八十三人 明治年間カ)		横帳	一括2点
S 2 1947	1月	目録(結納目録)	水嶋巖→嶋田東治郎	状	
S 2 1948		結納目録	関谷源十郎→嶋田義策	状	
S 14 1949	明治11年8月	芝居興業御願(芝居興業の許可願)	堺村副戸長 市川銀右衛門→長野県令 樫崎寛直	縦帳	
S 14 1950	明治5年5月	蒙御免(熨斗太刀光改鳴門真沙爾)	→大日本相撲協会	縦帳	
T 7 1951		寸志(奉加帳) 青年有志		縦帳	
T 9 1952	大正10年9月	海外御巡遊ノ皇太子殿下御逸話集	軍艦 香取	縦帳	
T 17 1953	明治43年	互換契約書(看護婦会並に産婆開業について 草稿)	竹中キク工、久保田保	縦帳	
V 4 1954	明治8年	第十三号 箕作村々之図	箕作組 島田東治郎		
V 4 1955		村絵図 前倉山村附近の山			
V 4 1956		村里程絵図 下書			
V 5 1957	明治10年	明治初年、検地当時の地検図(和山外) 下図			一括
V 5 1958		箕作村地引図			
V 5 1959		切明、和山、屋敷、地引図			
V 5 1960		耕地絵図			2点
V 5 1961		耕地図			

10 島田汎(ひろし)家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
V 6 1962	明治7年2月	絵図面に添書(地券発行による入会関係 図四ヶ町村関係)			
V 7 1963		千曲川洪水 明治二年洪水流失、明治二 十年より欠壊地見取図			
V 10 1964	明治39年	二十万分一地図(宇都宮)	陸地測量部		
V 10 1965	明治41年9月	陸地測量部御出版地図一覧表			
V 10 1966	大正2年1月	長野県全図(四十五万分一)	博愛館		
V 10 1967	大正4年11月	京都観光地図(二万三千分一)	田坂平策製図		
V 10 1968	大正5年3月	(表)公認汽車・汽船案内図、(裏)欧 亜鉄道連絡図、東亜鉄道連絡図			
V 10 1969		五万分一地図(東京、猪苗代、飯山外)			一括11点
V 10 1970		世界地図			
1971	安永3~4年	銅山願書類	柏尾村 惣次郎→中野代官 丞	臼井吉之 縦帳	追加(新発見)
1972 1	寅正月	制札(秋山之内への入込、猟業禁止)	脇野町御役所	板木	追加(新規)、裏に 「今」の焼印
1972 2	卯十月	制札(秋山之内への入込、猟業禁止)	中野御役所	板木	追加(新規)、裏に 「今」の焼印
1972 3	巳五月	制札(秋山之内への入込、猟業禁止)	中野御役所	板木	追加(新規)、裏に 「中野局」の焼印
1972 4	巳五月	制札(秋山之内への入込、猟業禁止)	中野御役所	板木	追加(新規)、裏に 「中野局」の焼印
1972 5	巳五月	制札(秋山之内への入込、猟業禁止)	中野御役所	板木	追加(新規)、裏に 「中野局」の焼印
1972 6	申十一月	制札(秋山之内への入込、猟業禁止)	中野御役所	板木	追加(新発見)、裏に 「木」の焼印
1972 7	巳五月	制札(秋山之内への入込、猟業禁止)	中野御役所	板木	追加(新規)、裏に 「中野局」の焼印

11 関谷昇一家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
1	天保8年8月	永代売渡し證文の事	地主 七郎左衛門→月岡村 重蔵	状	
2	天保8年12月	質入畑證文の事	売主町 与惣右衛門→重蔵	状	
3	嘉永5年4月	切畑證文の事	箕作枝泉平 磯右衛門→白鳥組 重蔵	状	
4	安政2年3月	永代質売證文の事	村質売人 三郎右衛門→村 重蔵	状	
5	安政5年12月	永流質売證文の事	村質売人 直右衛門→村 重蔵	状	
6	文久2年12月	永代売渡田地證文の事	高井郡月岡組売主 仁左衛門→村 清蔵	状	
7	慶応2年12月	改永代売三拾五ヶ年季證文の事	村借用人 太左衛門→関谷喜助	状	
8	明治2年12月	八ヶ年借用證文の事	借用人 金之丞④→村 喜助	状	
9	明治3年10月	質文申田地證文の事	質入金子借用人月岡村 与右衛門→村 喜助	状	
10	明治3年10月	永代売渡し申證文の事	売主 久之助④→喜助	状	
11	明治4年11月	永代売渡し山畑證文の事	村売主 清之助→村 喜助	状	
12	明治10年1月	秣野永代売渡し證文の事	村秣野売渡人 関谷宇左衛門→関谷喜助	状	
13	明治11年1月	土蔵売渡証書	堺村五拾九番地 上倉乙治郎④→同村 関谷大太郎	状	
14	明治11年3月	畑流地証書の事	村畑草野売渡し人 関谷歌吉④→村 関谷喜助	状	
15	明治12年7月	地券38枚	長野県→栄村持主 関谷喜助	厚紙印刷	
16	明治12年7月	地券2枚	長野県→栄村持主 関谷重左衛門	厚紙印刷	封筒有り
17	明治13年8月	原野永代売渡し証	同村原野売渡し人 市川長右衛門④→当村 関谷喜助	状	
18	明治18年1月	土地売渡しの證券	堺村月岡組売渡人 嶋田庄左工門④→同村 関谷大太郎	状	筆生 倉科健造 奥書
19	明治18年12月	土地売渡しの證券	堺村の内月岡組売渡人 市川長右衛門④→同村 関谷大太郎	状	筆生 南雲健吉 奥書
20	明治20年1月	原野売渡し証書	堺村月岡組売渡人 関谷福松④→同村 関谷大太郎	状	
21	明治22年3月	地所売渡証書	堺村売渡人 南雲半左衛門④→関谷大太郎	縦帳	
22	明治22年3月	地所売渡証書	堺村売渡人 保坂七兵衛④→同村 関谷大太郎	状	罫紙
23	明治25年5月	地所売渡証書	堺村売渡人 関谷仙太郎④→同村 関谷大太郎	状	
24	明治25年9月	原野譲渡し書	堺村の内月岡組売渡し人 市川長右衛門④→村 関谷大太郎	状	
25	明治28年5月	地所売渡証書	堺村売渡人 島田弥五右衛門④→同村 関谷大太郎	状	
26	明治28年正月	貸付金の一覧	一九円也 島田庄右衛門、八円也 島田喜右衛門	状	
27	明治29年6月	断簡（字名と地価金）	関谷大太郎	状	
28	明治28年9月30日	地所売渡証	堺村 島田喜右衛門→関谷大太郎	状	
29	明治28年11月7日	為取替約定証（原野境界）	関谷大太郎④、保坂長五郎④	綴り	
30	明治29年	断簡（土地台帳（写）、倉の普請他）	関谷大太郎	綴り	
31	明治30年1月15日	土地売渡証書	関谷麟作④→関谷大太郎	状	
32	明治30年1月15日	土地売渡証書	島田喜右衛門④→関谷大太郎	状	
33	明治30年6月	長野県褒詞（金銭献納）	長野県知事 権藤貴一④→関谷大太郎	状	
34	明治31年3月9日	地所売渡証	市川重蔵④→関谷大太郎	状	
35	明治31年3月9日	地所売渡証書	保坂久蔵④→関谷大太郎	状	
36	明治31年5月5日	地所売渡証書	関谷倉之助④→関谷大太郎	状	
37	明治32年1月11日	地所売渡証書	市川重蔵④→関谷大太郎	状	
38	明治32年3月	地所売渡證券	保坂嘉七④→関谷大太郎	状	

11 関谷昇一家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
39	明治36年4月16日	土地売渡證書	保坂長五郎㊟→関谷大太郎	状	
40	明治38年5月20日	土地売渡證書	関谷宇吉㊟→関谷大太郎	状	
41	明治41年10月	売渡證	南雲安藏㊟→関谷大太郎	状	
42	明治42年7月	土地売渡証	市川銀右衛門㊟→関谷大太郎		
43	明治42年8月20日	土地所有権保存登記申請書	関谷大太郎代人 野崎忠作㊟→飯山区裁判所虫生出張所	綴り	
44	明治42年12月15日	土地売渡証	市川辰藏㊟→関谷大太郎	綴り	
45	大正2年11月	田地売渡仮証書	島田義栄㊟→関谷大太郎	罫紙	
46	大正2年12月	証(一金六拾円也)	島田義栄㊟→関谷大太郎	罫紙	
47	大正2年12月	土地取得一覽	大太郎㊟	状	
48	大正5年	土地売渡証書	地所売渡人 関谷政吉㊟→全村 関谷大太郎	縦帳	質入延期証、質入に付約定証 添付
49	大正5年2月	開墾の件聞届く	長野県知事 赤星典太㊟→堺村 関谷大太郎	罫紙	
50	大正5年3月	借入金証	堺村借用人 島田義栄㊟→全村 関谷大太郎	縦帳	土地売渡証、小作米領収証、広瀬与八郎→関谷大太郎
51	明治5年7月	印鑑証明願	関谷大太郎→堺村長 齊藤琢郎㊟	縦帳	①土地売渡証、②堺消防組消防手を命ず、③自今、子を負いて登校の儀不相成
52	大正5年7月	土地売渡証書	堺村島田房子右未成年に付親権者 島田トモ㊟→関谷大太郎	縦帳	
53	大正5年12月	通知書(所有権の移転)	裁判所書記 深井金作㊟→堺村 関谷大太郎	縦帳	土地台帳謄本、委任状 添付
54	大正6年4月	土地所有権保存登記申請 7件 通知書 (株)長野農工銀行 1件 土地反別変更登記申請 8件	堺村 関谷大太郎→長野裁判所虫生出張所	縦帳	
55	大正6年8月	地所売渡証	堺村売渡人 市川辰藏→堺村 谷永吉	状	
56	大正10年6月	所有権保存登記申請	堺村申請人 関谷久平代理人 江口十作㊟→飯山区裁判所岡山出張所	縦帳	土地台帳謄本、副本、委任状
57	大正12年10月	森田解決の覚書	島田哉雄、関谷元治口、関谷大太郎、市川鉄五郎	縦帳	
58	大正12年10月	土地売渡証書	堺村 島田房子㊟→堺村 関谷永吉、堺村 保坂嘉文㊟→堺村 関谷永吉	縦帳	
59	大正13年7月	土地売渡証	堺村 市川靖㊟→堺村 関谷永吉	状	
60	大正14年8月	土地売渡証	堺村 市川靖㊟→堺村 関谷永吉	状	
61	大正14年11月	土地売渡証	下高井郡中野町 川口勝治→堺村 関谷永吉	罫紙	
62	大正15年2月	土地表示変更登記申請	申請人堺村 関谷大太郎、代人 吉越賢三→飯山区裁判所岡山出張所	罫紙	
63	大正15年 月	大太郎・永吉所有土地価金 二口×253円		罫紙	水内村分155円73銭、永吉長女 関谷つや子大正15.5.5生
64	大正15年2月	土地所有権保存登記申請	申請人堺村 関谷大太郎代人 吉越賢三→飯山区裁判所岡山出張所	罫紙	
65	昭和2年3月	土地表示更生登記申請	関谷大太郎 代人 吉越為五郎㊟→飯山区裁判所岡山出張所	縦帳	
66	昭和4年4月	土地売渡証書	保坂忠美㊟→関谷永吉	罫紙	
67	昭和7年5月	地租名寄帳	関谷永吉	帳	金銭貸借校正證書綴りを含む
68	昭和13年12月6日	売渡証書	市川興一朗㊟→関谷永吉		
69	昭和13年10月	想出 軍隊生活	関谷大平	冊ノ一	
70	昭和15年4月	行賞 賞賜関係書類(支那事変)	賞勲局 下條康磨㊟→関谷大平		紙袋入り
71	昭和20年12月	土地台帳謄本	長野県知事㊟→関谷永吉		
72	昭和26年3月	自作農創設特別措置法に関する書類	長野県知事 林虎雄㊟→関谷大太郎		

11 関谷昇一家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
73	昭和26年11月 27日	開拓に関する書類	長野県知事 林虎雄印→関谷大兵		
74	昭和29年12月 25日	恩給に関する書類	関谷大平→総理府恩給局		紙袋入り
75	昭和30年4月	所有地一覧	関谷大太郎	縦帳	
76	昭和31年3月	通知書（人口植栽地）	長野県知事 林虎雄印→関谷大兵		
77	昭和34年3月	登記申請書（不動産表示更生）	関谷大平印		
78	昭和34年4月	請求書	司法書士 野崎忠雄→関谷豊栄		
79	昭和41年3月1 8日	証書 小中学校卒業 硬筆書写技 能検定	関谷きく子		
80	昭和44年	流れ 飯山南高等学校歴史班研究 発表誌	飯山南高等学校歴史班	冊	
81	明治29年5月	木箱蓋表書 明治28年伊勢まい り・・・			空箱
82	不詳	断簡（土地異動届書他2枚）			茶卦筒入り
83	不詳	図面（字東越輪、西越輪）			
84	不詳	断簡（土地一覧）			
85	不詳	絵図（字清沢、二ノ入、雨引、山 林）			

12 保坂良徳家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
1	大正15年3月～ 昭和4年4月の間	祝詞(村社月岡神社普請時)		豎紙	樋口徳治村長時のもの、包紙あり
2	昭和37年5月10日	式辞(林業機械入魂式)	栄村森村住会長 保坂益男	豎紙	
3	昭和37年5月10日	式辞(栄村森林組合アースプラントチップターの入魂式)	長野県林務部長 中田幸吉	豎紙	包紙あり
4	不詳	破壊(一)第壹章 藤村	下水内教育会	舗	原稿の写真を拡大したもの、封筒あり
5	不詳	恵端禅師之墓 赤彦	下水内教育会	舗	封筒あり
6	大正15年11月1日	引札(酒造創業満五拾周年清酒ひん水塊優等賞祝売)	信州飯山町 店主 田中養助敬伯 田中屋酒造本店	舗	酒・醤油・味噌・薪炭・白米の価格
7	明治14年正月	算法相伝記	月岡村 保坂甚左衛門	横半帳	
8	昭和24年11月	陳情書(堺村仙当地区の開墾入植の反対)	下高井郡堺村月岡部落一同(村長以下74名)	豎帳	
9	明治19年	脱漏願帳(30丁)	下高井郡堺村月岡組	豎帳	
10	大正5年3月	消防手人名簿(表組のみ、4丁)	堺消防組 月岡部	折紙、 罫紙	封筒入り
11	明治9年12月	拝典掛り割不足取立帳、氏神拝典建立諸入費割賦帳(堺村ノ内月岡組)、氏神拝殿建立諸入費帳(箕作村月岡組)、職人人足附込日記帳(箕作村月岡組)		横帳、 綴り	
12	昭和3年4月	長野県下高井郡堺村一覽			
13	昭和6年4月	長野県下高井郡堺村勢一覽			
14		下高井郡堺村月岡 耕地整理組合 確定図(字雨引)			封筒入り
15	昭和6年12月18日	評議員四拾五票(樋口今蔵以下七名記載)		罫紙	付箋あり
16	昭和6年12月18日	議案第四号 報酬及旅費支給規定ノ件	申請者 保坂継蔵 [㊟] 他1名	罫紙	3枚
17	昭和6年12月18日	右議事録謄本は原本に相違なきことを証明候也	月岡耕地整理組組合長 保坂継蔵 [㊟]	罫紙	付箋あり
18	昭和7年2月10日	長野県指令(耕地整理組合設立の認可、組長・副組長選任の認可)	長野県知事 石垣倉治 [㊟]	罫紙	3枚
19	昭和8年2月9日	耕地整理事業報告書	堺村月岡耕地整理組組合長 保坂継蔵 [㊟] →長野県知事 石垣倉治	豎帳	
20	昭和10年2月12日	月岡耕地整理組合収支決算書(昭和7年12月～9年8月)	堺村月岡耕地整理組合 保坂継蔵	豎帳	
21	昭和11年4月29日	長野県耕地協会 第8回総会附議事項	小県郡塩田村 組長 金沢連三郎、他2名	豎帳	
22	大正4年7月20日	年賦金借用証書(一金五拾四円三拾七銭五厘)	堺村 年賦借用人 保坂嘉七 [㊟] 他1名→堺村 市川晴	豎紙	
23	大正15年8月22日	書状(甲良代金 二拾三円送金します)	飯山町 山崎廣志 [㊟] →堺村 保坂嘉七	豎紙	
24	大正4年11月20日	預り金証書(一金貳百七円五拾銭也)	堺村 保坂継蔵 [㊟] →全村 市川寅三	罫紙	
25	大正12年頃	時間確守に関する件(注意すべき事項多数)		豎帳	
26	不詳(近代)	神宮式年遷宮奉賛会会員名簿第374号	奉賛会長長野県本部	豎帳	未整理のまま
27	寛政元年11月	日本角力之始	吉だ善右衛門	継紙	
28	安政2年7月	免許	五条殿家日本角力行司目附 木村庄之助 [㊟] 正輝(花押)→月岡村住 月之森甚右衛門	豎紙	
29	(年不詳)4月17日	勸進角力(於小山村招魂場)	年寄 加希ヶ崎嵩右衛門、外1名	継紙	
30	明治14年12月	不詳	56名連名爪印→頭取人并に村中	継紙	
31	明治15年1月	差出し申證文券	堺村枝野田沢分 阿部森右衛門、他8名→小滝組中 嶋田東治郎	継紙	
32	天保7年12月	有合に相定申質入田地證文之事(此代金三両也)	箕作村之内月岡組 田地質入人 善八、他2名→森村 与右衛門	豎紙	名主 銀右衛門奥書あり
33	明治15年1月	差出し申證文之事	右野田沢 阿部森右衛門、他8名→小滝組中 嶋田東治郎	継紙	2枚

12 保坂良徳家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
34	不詳	冬水用堰五ヶ年切替御定書之事	不詳	継紙	
35	不詳(近代)	字土分(つちわりカ)より用堰路 大久保野田沢願に付連判(51名)	不詳	豎紙	
36	明治22年9月24日	借入金証書(一金 六拾円也)	堺村112番地 借主 保坂甚左衛門@他1名→水内村北信 島田富吉	豎帳	奥書あり
37	不詳	御札(献立、出席者81人子供16人)	宮川権左衛門	豎紙	
38	明治22年9月24日	借入金証書(一金 百拾円也)	堺村百十二番地 借用人 保坂甚左衛門@他2名→水内村北信 島田富吉	罫紙	
39	明治36年4月1日	年賦金受取証書(一金 五拾五円)	堺村384番地 中村銀左衛門→保坂甚左衛門死亡後相続人 保坂嘉七	豎紙	
40	大正10年5月10日	土地売渡に付為取替契約書	南雲武雄 代人 南雲新作@他6名→保坂継蔵	罫紙	
41	大正10年5月10日	土地売渡証書(此売渡代金 貳百円也)	堺村3326番地 土地売渡人 南雲武雄@→保坂継蔵	罫紙	
42	明治31年5月5日	郷藏粉貸附記(郷藏粉現在数 一粉35俵と7合)	総代 南雲健吉→不詳	折紙	裏面付箋
43	明治32年1月13日	借入金証書(一金 貳拾円也)	堺村 借用人 保坂嘉七@他1名→同村 市川銀右衛門	豎紙	
44	天保7年10月	金子借用証文之事(一金 三両也)	箕作村枝月岡 金子借用人 善八@他2名→森村 与右衛門	豎紙	
45	文化元年3月	差上申一札之事	七兵衛→善太良	切紙	
46	安政6年6月	売渡し証文之事	売主 月岡 庄右衛門→甚左衛門	切紙	
47	天保9年	借用申畑之事	大巻 忠右衛門→善八	豎紙	
48	元治元年4月	覚(一金 拾七両壹分三朱)	森村 与右衛門@継立会所@→月岡組 甚左衛門	豎紙	
49	明治9年8月	質入田地証文之事(此質代金 八円也)	箕作村ノ内月岡組 田地質入人 保坂甚左衛門@他1名→水内郡青倉村 嶋田勇作	豎紙	副戸長の奥書あり
50	明治14年10月	頼母子書入借用証文之事(一金 拾七円也)	堺村之内月岡 借用人 関谷惣右衛門@他1名→当村 保坂甚左衛門	豎紙	
51	明治20年1月15日	借入金証書(一金 壹円六拾五銭)	月岡組 借用人 保坂甚左衛門@他1名→下水内郡北信村 広瀬鉄三	豎紙	裏書あり
52	大正14年12月10日	借入金証書(一金 三円五拾銭)	同村字大久保 借用人 阿部万治郎@→月岡村 保坂継蔵	豎紙	
53	明治9年8月	質入田地証文之事	箕作村ノ内月岡組 質入人 保坂甚左衛門@他1名→水内郡青倉村 嶋田勇作	豎紙	副戸長の奥書あり
54	明治27年6月11日	契約書(平野村山田荘左衛門方へ抵当に入解除した)	堺村 島田三左衛門@他1名→全村 保坂嘉七	罫紙	
55	明治17年8月27日	記(一金 拾八円と八拾八銭四厘)	大巻 嶋田茂左衛門@→月岡 保坂甚左衛門	豎紙	
56	明治33年5月8日	金子借用証書(一金 参円也)	堺村94番地 借人 南雲勇吉@他1名→同村 保坂嘉七	豎紙	
57	明治34年12月10日	年賦金借用証書(一金 拾円也)	堺村志久見組 借用人 広瀬馬蔵@他1名→全村 保坂嘉七	豎紙	
58	明治32年1月13日	借用証書(一金 貳拾円也)	堺村 保坂嘉七@他1名→全村 市川銀右衛門	豎紙	×印あり
59	明治32年7月21日	借用証書(一金 拾円也)	堺村 保坂嘉七@→全村 南雲勇吉	豎紙	×印あり
60	文化3年6月5日	差上申一札事(一 粉貳斗)	長左衛門→善太良	切紙	
61	明治14年12月7日	年賦金借用証書(一金 百円也)	堺村 年賦借用人 保坂甚左衛門@他1名→同村之内長瀬 堰頼母子 世話人衆中 御連中衆中	罫紙	市川銀右衛門の奥書あり、裏書あり
62	不詳(近代)	家訓(人の一生は働く外に味方なし・・・)	史石書	豎紙	書直しあり、裏に落書あり
63	不詳(近代)	誠実(よのかなかにうそほどこはいものはなし・・・)	尊徳	豎紙	

12 保坂良徳家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
64		心訓（一世の中で一番楽しく立派な事は・・・）	福沢諭吉	豎紙	
65	明治12年5月10日	地券（保坂甚左衛門21枚、市川銀右衛門1枚）		地券	
66	大正3年2月23日	修了證書（造林法）	長野県⑨講師長野県技手 平出省三→長野県平民 保坂継蔵	豎紙	
67	大正9年7月20日	国勢調査員を命ず	内閣→保坂継蔵	豎紙	
68	大正11年	表彰状	長野県神社協会下高井支会長 正七位 阿蘇温蔵⑨→堺村村社 氏子惣代 保坂継蔵	賞状	
69	昭和8年7月1日	入選證（第2回長野県堆肥改良増産競進会）	長野県堆肥改良増産競進会会長 從五位下 小早川貞登⑨→長野県 保坂継蔵	賞状	
70	昭和5年3月13日	賞状（尋常科6年間精勤に付・・・）	堺尋常高等小学校→尋常科6学年 保坂友信	賞状	
71	昭和8年11月12日	賞状（第三回農産物品評会（扇薯）三等賞）	下高井郡農会長 小林万次郎⑨→堺村 保坂益男	賞状	
72	大正13年1月26日	表彰状	長野県神社協会総理 正五位勲四等 本間利雄⑨→堺村村社月岡神社 氏子惣代 保坂継蔵	賞状	
73	昭和8年11月19日	賞状（第一回農産物品評会（靱関取）一等賞）	下高井郡堺實業補修学校長 高森元廣⑨→堺村 保坂益男	賞状	
74	昭和6年3月23日	修業證書（尋常小学校6ヶ年）	下高井郡堺尋常小学校→保坂みさお	賞状	他10枚
75	昭和10年3月23日	卒業證書（高等小学校修業年限2ヶ年の教科）	下高井郡堺尋常高等小学校長從七位 高森元廣⑨→保坂サダ	賞状	
76	昭和10年3月23日	卒業證書（後期の教科、修業年限2ヶ年）	下高井郡堺實業補修学校長從七位 高森元廣⑨→保坂友信	賞状	
77	大正15年3月29日	修了證書（農村婦女子講習会）	長野縣農会長從四位勲三等 梅谷光貞⑨→保坂ひく	賞状	
78	大正15年3月29日	修了證書（農村婦女子講習会）	長野縣農会長從四位勲三等 梅谷光貞⑨→保坂りき	賞状	
79	大正9年3月26日	卒業證書（小学校修業年限6ヶ年）	下高井郡村立堺尋常高等小学校長 池田良治→保坂シゲ	賞状	
80	昭和5年3月23日	卒業證書（小学校修業年限6ヶ年）	下高井郡堺尋常高等小学校長 三ツ井壽市→保坂友信	賞状	
81	大正5年3月23日	卒業證書（小学校修業年限6ヶ年）	下高井郡村立堺尋常小学校長 神田直治→保坂益男	賞状	他1枚
82	大正13年3月24日	卒業證書（小学校修業年限6ヶ年）	下高井郡村立堺尋常高等小学校長 池田良治→保坂波江	賞状	他7枚
83	昭和9年6月18日	請入札規定	組合長 江村熊吉	豎紙	
84	昭和9年6月11日	籾貯蔵庫建設入札の件	上郷村信用購買組合長 江村熊吉→保坂継蔵	切紙	
85	不詳（近代）	上郷村信用購買組合籾貯蔵倉庫新築設計書（写）		綴	
86	不詳（近代）	封筒	新潟縣中魚沼郡上郷村 上郷村信用購買組合→堺村大巻 保坂継蔵	封筒	
87	不詳（近世）	封筒（小包用）	長野市上千歳町 池田又二郎→堺村役場 村長 樋口徳治郎	封筒	
88	昭和8年2月4日	松立木売渡証書（赤松貳拾本）	堺村 島田龍雄⑨→月岡 保坂継蔵	豎紙	
89	不詳	下高井郡堺村立尋常高等小学校校舎増築工事設計書		綴	
90	不詳	渡廊下新築工事設計書		綴	
91	不詳	栄村小学校建築工事設計図		舗	8枚
92	不詳	岡山尋常高等小学校校舎増築工事設計書（第壹号）		綴	
93	不詳	第壹号設計書中正誤		綴	
94	不詳	岡山尋常高等小学校廁及廊下移轉模様替工事設計書（第貳号）		綴	
95	不詳	岡山尋常高等小学校校舎修繕工事設計書（第参号）		綴	
96	不詳	雑書、計算数字、その他		切紙	

12 保坂良徳家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
97	昭和7年12月24	松立木売渡証（赤松貳拾本）	青倉 島田英之④→島田龍雄	便箋	

13 阿部晴夫家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
1	(年不詳) 5月 10、11日	三つ杓梅昇一座歌舞伎公演のポスター		舗	

14 上倉健一郎家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
1	天保8酉年	写書(天保の飢饉 当年違作、江戸市中難儀の様子)		横帳	虫損多し
2	寛政7年以後年不詳	信州高井郡志久見村口(諸事心覚記帳 松平記 慶安・寛文・元禄検地 武将並当村御支配記 当村諏訪神代記 巢鷹山名所 野沢巢鷹守之事 庄屋記<慶安~寛政> 林秀庵寺領記 御巢鷹之事 寛政5丑年郡中割覚 越後支配覚 天明3年卯年凶年事 新堰普請入用 大成秘録<毒消し・血止め伝ほか>)	上倉四郎左衛門	横半帳	表紙傷みあり 寛政7年以後の記載もあり
3	慶応3年卯7月	覚(旅行記 江戸 伊香保 草津 善光寺)	水戸屋久兵衛	横帳	藤蔵 新太郎 梅吉 同道
4	天保7申年4月	堰堀人足覚(本村人足 奉行善右衛門様 四郎左衛門 人足名前書上)	世話人四郎左衛門	横半帳	
5	安政3年辰6月	七ヶ年季質売申田地證文之事	雪坪四郎左衛門@ほか→本村林秀庵 名主善右衛門@	豎紙	田4斗30束刈 代金5両 虫損あり
6	明治元年辰11月	七ヶ年季質売申田地證文之事	雪坪田地質売人四郎左衛門@ほか→本村林秀庵 名主善右衛門@	豎紙	田2斗5升30束刈 代金7両 虫損あり
7	慶応3年卯4月	預り申金子手形之事	雪坪金子借用人四郎左衛門@ほか→本村半右衛門	豎紙	金1両 内池立の田地 虫損あり
8	天保9戌年	(高井郡志久見村)村差出明細帳 高432石3斗9合 家数199軒 人数831人(僧3人・山伏4人・道心1人) 馬20疋 氏神4社 諏訪明神 四社明神 熊野権現 八幡宮 堰2か所(坪野堰 延宝5年掘る、樽坪堰延宝6年掘る 水源毛無山) 町並54軒 枝郷柳在家29軒 切欠19軒 雪坪16軒 塩尻10軒 樽坪6軒 堀切3軒 野口4軒 仁手野32軒 坪野27軒 村数10ヶ所	名主善右衛門 組頭庄七 百姓代四郎左衛門→平岡文次郎 中野御役所	豎帳	
9	寛文12年 延宝2年	信州森村、越後羽倉村山論願書返答書写	森村名主与右衛門ほか→御奉行所、持主雪坪四郎左衛門	豎帳	虫損多し
10	文政11年子11月	越後大ちしん書付(大ちしん大へんのしさい 十二日卯の中刻頃より忽ち大地震となり、北越長岡御領をはじめ所々御代官地大地震大變の次第 長岡領潰れ家2009軒、怪我人300人…潰れたる家々より火燃え出し大火と成り、大地は割れて山崩れ、木倒れ)		豎帳	虫損あり
11	元禄14年巳から 享保15年戌まで	信越境御巢鷹出入一件書物写	志久見村源次良	豎帳	虫損多し
12	文化6年3月	雪坪山割崩覚(3月18日山崩れいたし田畑家居とも地面抜け下り大變に相成り候間、御支配様へ御注進申し上げ奉り候所、御役人様度御見分の上、小前御手当金29両雪坪16軒へ下し置かれ有り難く頂戴奉り候…)	上倉四郎左衛門	豎帳	屋敷替え彦右衛門 儀左衛門 友吉 三之助 四郎右衛門 与五右衛門 半兵衛 無難地へ引越し建て替え
13	天保8年5月	時疫流行候節此薬を用て其の煩をのがるべし	平岡文次郎 脇野町代官所御元締め秋葉篤太夫ほか	豎帳	享保18年の薬用を天保期に触れた
14	寛延4年末2月	田畑川林諸證文之写	雪坪村四郎左衛門	豎帳	虫損甚だしく取扱い注意
15	寛政元年酉4月	信州高井郡十四ヶ村、水内郡六ヶ村御料御願見指上候願書(市川谷村々高辻之義)	惣代柏尾村庄屋仙右衛門 小菅村百姓忠左衛門ほか→風祭求馬 御代官所	豎帳	虫損多し 御願見様御勘定中山 貞五郎様 御用人清水 茂兵衛様 御證文御徒目付 中尾左伝 治様ほか 宿 白井彦兵衛殿 池田市右衛門殿 米屋林右衛門殿
16	天保7申年	五人組帳全	山本大膳蔵版	豎帳	刷り本四十八丁
17	文政11年子5月	当村村方五人組帳写	志久見杖雪坪上倉源治郎	豎帳	虫損あり
18	近世年不詳	五人組帳写		豎帳	
19	文化6年巳正月	信州高井郡志久見村御仕置五人組帳	上倉源治郎写之	豎帳	持主上倉仙治良

14 上倉健一郎家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
20	元治元年子2月	御触書之写(申渡 非常合い函之儀は…)		豎帳	
21	享和元年酉12月	村々被仰渡書附写(陣屋に差し置き候手代共、御用向き計らいの義に付、非道の儀これ有るか又は在出の先等にて非分の儀これ有らば申し聞くべく候…)		豎帳	虫損あり取扱い注意

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
1	慶安4年12月	卯年定免相之事 志久見村	杉太郎左衛門 深津九兵衛→庄屋・百姓中	状	高256石1斗9升8合、御蔵屋敷庄屋給 諏訪領 林昌庵領
2	慶安5年3月	信濃国高井郡志久見村田方検地帳	堀壺左衛門 棚橋文左衛門 武藤小左衛門	豎帳	135石2斗3升 持主仙右衛門
3	慶安5年3月	信濃国高井郡志久見村田方検地帳	堀壺左衛門ほか2人	豎帳	村方控え 明治5年書 桑原重左衛門
4	慶安5年	松平遠江守様御検地田畑名前寄帳	高井郡志久見村	豎帳	惣田畑高269石8斗9升
5	承応元年12月	辰年定免相之事 志久見村	杉太郎左衛門 深九兵衛→庄屋・百姓中	状	高269石8斗9升
6	明暦元年11月	未年定免相之事 志久見村	杉太郎左衛門 杉平兵衛 深九兵衛→庄屋・百姓中	状	高256石1斗9升8合
7	万治2年11月	亥年定免相之事 志久見村	杉平兵衛 深九兵衛→庄屋・百姓中	状	高256石1斗9升8合
8	寛文元年11月	亥年定免相之事 志久見村	杉平兵衛 杉太郎左衛門→庄屋・百姓中	状	高256石1斗9升8合
9	寛文2年11月	寅年定免相之事 志久見村	杉平兵衛→庄屋・百姓中	状	高256石1斗9升8合
10	寛文4年11月	亥年定免相之事 志久見村	深津九兵衛 杉山平兵衛→庄屋・百姓中	状	高256石1斗9升8合
11	寛文5年11月	巳年定免相之事 志久見村	深津九兵衛 杉山平兵衛→庄屋・百姓中	状	高256石1斗9升8合 役人なし
12	寛文6年11月	午年定免相之事 志久見村	杉太郎左衛門 深九兵衛 杉平兵衛→庄屋・百姓中	状	高256石1斗9升8合
13	寛文7年11月	未年定免相之事 志久見村	杉太郎左衛門 深九兵衛→庄屋・百姓中	状	高256石1斗9升8合
14	寛文10年9月	信濃国高井郡志久見村新畑方検地帳	中嶋市右衛門 小山弥右衛門	豎帳	分米合51石6斗6合
15	寛文10年11月	戌年相定免付之事 志久見村	岩木六郎右衛門 望月与惣左衛門→庄屋・百姓中	状	高274石7斗9升4合
16	寛文11年11月	亥年相定免付之事 志久見村	岩木六郎右衛門 望月与惣左衛門→庄屋・百姓中	状	高274石7斗9升4合
17	寛文12年11月	子年相定免付之事 志久見村	岩木六郎右衛門 望月与三左衛門→庄屋・百姓中	状	高263石5斗6升4合 寛文12年分割付包紙同封
18	延宝元年11月	丑年相定免付之事 志久見村	岩木六郎右衛門 望月与三左衛門→庄屋・百姓中	状	高263石5斗6升4合
19	延宝3年11月	卯年相定免付之事 志久見村	岩木六郎右衛門 望月与惣左衛門→庄屋・百姓中	状	高263石5斗6升4合
20	延宝4年11月	辰年相定免付之事 志久見村	岩木六郎右衛門 望月与惣左衛門→庄屋・百姓中	状	高263石5斗6升4合
21	延宝5年11月	巳年相定免付之事 志久見村	岩木六郎右衛門 望月与三左衛門→庄屋・百姓中	状	高263石5斗6升4合
22	延宝6年年11月	午年相定免付之事 志久見村	安藤次郎左衛門 望月与惣左衛門→庄屋・百姓中	状	高262石7斗6升4合
23	延宝7年11月	未年相定免付事 志久見村	安藤次郎左衛門 望月与惣左衛門→庄屋・百姓中	状	高262石7斗6升4合
24	天和元年11月	酉年相定免付事 志久見村	安藤次郎左衛門 望月与惣左衛門→庄屋・百姓中	状	高262石7斗6升4合
25	天和3年11月	酉年相定免付之事 志久見村	安藤治郎左衛門→庄屋百姓中	状	高256石1斗9升8合
26	貞享元年11月	子年相定免付之事 志久見村	猪瀬七郎左衛門 安藤治郎左衛門→庄屋・百姓中	状	高256石1斗9升8合
27	貞享元年11月	寅年相定免付事 志久見村	猪瀬七郎左衛門 安藤治郎左衛門→庄屋・百姓中	状	高256石1斗9升8合
28	貞享4年11月	卯歳相定免付事 志久見村	猪瀬七郎左衛門 安藤治郎左衛門→庄屋・百姓中	状	高256石1斗9升8合
29	元禄4年	新畑之内見取返反別帳	記載なし	豎帳	庚戌年高講場所 村中持ち
30	元禄8年5月	信州高井郡志久見村新田方検地帳	浅井清太夫 河内喜平治 大野兵右衛門ほか	豎帳	寛保2年写し 高9石9斗8升5合
31	元禄8年5月	信州高井郡志久見村之内野口新田方検地帳	浅井清太夫ほか3人	豎帳	野口 堀切 どうどつめき共ニ

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
32	元禄8年5月	信州高井郡志久見村新田方検地帳	浅井清太夫ほか3人	竖帳	どうどうめき 堀切野口 坪野 仁手野 暮坪 本村
33	元禄8年5月	信濃国高井郡志久見村新田方検地帳	記載なし（堀切 野口 どうめき新田）	竖帳	明治5年 名主桑原重左衛門 村控え
34	宝永510月	子御年貢可納割付之事 志久見村	窪嶋作右衛門 窪嶋市郎兵衛→庄屋 組頭 惣百姓	状	高274石7斗9升4合
35	宝永7年10月	子御年貢可納割付之事 志久見村	窪嶋作右衛門④ 窪嶋市郎兵衛④→庄屋 組頭 惣百姓	状	高274石7斗9升4合
36	正徳年5月	信州高井郡志久見村指出帳	庄屋長右衛門 組頭佐五左衛門 重右衛門→北村弾右衛門 伊藤宇右衛門 縣新左衛門	竖帳	家数85軒 人数670人 馬59匹
37	正徳元年11月	飯山領卯年免定 志久見村	加藤左五右衛門④ 越石孫右衛門④ 松並文左衛門④ 梅垣治右衛門④ 田中三之助④ 川口半左衛門④ 平松忠右衛門④ 佐藤権左衛門④ 縣新左衛門④ 伊藤宇右衛門④ 北村弾右衛門④→庄屋小百姓	状	高349石5斗9升5合
38	正徳4年11月	飯山領卯年免定 志久見村	八田孫兵衛（在江戸） 加藤左五右衛門④ 梅垣治右衛門④ 田中三之助④ ほか7名→庄屋小百姓	状	高349石5斗9升5合
39	正徳5年11月	飯山領卯年免定 志久見村	関口佐左衛門④ 八田孫兵衛④ 加藤左五右衛門④ 在江戸田中瀬太夫④ほか6名→庄屋小百姓	状	高349石5斗9升5合
40	享保3年初夏	増註唐詩五言律句 三体家宝巻之下	洛陽書肆含英堂 明誠堂新刊	冊	刷り本
41	享保8年5月	荒地改書上ヶ下書帳	高井郡志久見村	竖帳	
42	享保14年7月	連判二而願申金子之事	志久見村権右衛門④ほか16人→志久見村休祐	状	
43	享保15年9月	坂東、秩父札所巡拝帳	志園坊 志園法師	竖帳	
44	享保15年12月	壳渡し質地手形之事	志久見村壳主与左衛門④→同村茂右衛門		新畑5合 銭400文 むじなくほ
45	享保17年3月	乍恐以書付ヲ奉願上候御事（小沼村傳右衛門家族、越後国頸城郡樽本村新田へ相越す）	小沼村名主清左衛門④ 組頭・百姓代④→松平九郎左衛門御役所	状	小沼村浄土真宗明徳寺旦那
46	享保19年8月	乍恐以書付御訴訟申上候御事（名主長右衛門、大小百姓を掠め取り、何事に依り我任仕り）	志久見村願主惣百姓114人連④→中野御役所宛	状	
47	享保19年10月	寅御年貢可納割付之事 志久見村	松平九郎左衛門④→名主・惣百姓	状	高274石7斗9升4合
48	享保19年12月	乍恐以書付奉願上候御事（名主長右衛門、数代御役相勤め、大小百姓を申し掠め）	志久見村百姓代善右衛門④ほか123人連④→中野御役所	状	寅12月25日に中野御役所へ差上げ候下書き
49	享保19年極月	当村伊兵衛分勘定帳（田畑持高）、慶安年中より享保19年迄伊兵衛母分	志久見村伊兵衛名代津右衛門	横帳	
50	享保19年12月	乍恐以書付御注進仕候（名主と百姓との勘定をめぐる対立）	志久見村名主長右衛門④→中野御役所	状	去去年、去年年貢勘定未だ相済まず
51	享保20年3月	覚（金7両 当3月納め候分 去寅御年貢金請け取り申し候）	志久見村名主長右衛門④→組頭茂右衛門・善右衛門・伴右衛門・惣百姓中	状	
52	享保20年5月	廻状（名主長左衛門訴え候に付）	御役所④→志久見村百姓110人	状	印形差支え候百姓は御役所へ召し寄せ
53	享保20年6月	去寅年御年貢皆済目録 志久見村	志久見村名主 長右衛門 組頭茂左衛門 同茂右衛門 百姓代善右衛門→松平九郎左衛門御役所 太田浦右衛門 茂木新八	状	百姓及び役人無印 納合米7石 永52貫979文7分ほか
54	享保20年10月	覚（金8両1分 当卯御年貢初納、請け取り実正に御座候）	志久見村名主長右衛門④→伴右衛門・善右衛門・組頭茂左衛門	状	10月18日
55	享保20年10月	覚（金4匁 当卯御年貢初納之内、請け取り実正に御座候）	志久見村名主長右衛門④→組頭茂左衛門 百姓伴右衛門・善右衛門	状	10月20日 一部虫損あり

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
56	享保20年10月	売渡申證文之事	志久見次郎左衛門◎ほか→重左衛門	状	見付畑代金1分余
57	享保20年11月	乍恐以書付追御願申上候御事（追分宿御廻村御先迄罷り出、目安差上げ）	志久見村惣百姓代伴右衛門、同断善右衛門ほか→室七郎左衛門、大草太郎左衛門	状	正月18日双方罷り出候様に被仰せ付け
58	享保21年3月	覚（去卯御年貢金の内請け取り）	志久見村名主長右衛門◎→茂左衛門 善右衛門	状	金5両2分
59	元文元年6月	覚（皆済目録）志久見村	室七郎左衛門 大草太郎左衛門 中野御役所 手代茂木新八 大田浦右衛門	状	納合永56貫205文7分
60	元文2年閏11月	乍恐以書付奉願候御事（長右衛門、名主役御取上げ被遊被下置候様に願上げ）	志久見村組頭茂左衛門◎ほか118人連◎→鈴木平重郎御役所	状	
61	元文4年3月	信濃国高井郡志久見村五人組御改帳	組頭茂左衛門◎ほか→中野御役所	豎帳	条々 志久見村百姓連◎
62	元文4年10月	未御年貢可納割付之事 志久見村	野呂猪右衛門→名主・百姓	状	高274石7斗9升4合 穀留番所跡地見取畑24歩 此取米3合
63	元文5年8月	信濃国高井郡志久見村検地帳	御代官野呂猪右衛門◎ 手代吉岡勘助◎ほか	豎帳	見取場検地 高合5斗3升7合
64	元文5年8月	信濃国高井郡志久見村検地帳	御代官野呂猪右衛門 手代吉岡勘助 土肥六右衛門 菱川嘉七	豎帳	見取場検地 案内茂左衛門 茂右衛門 長右衛門 伴右衛門
65	元文5年8月	信濃国高井郡志久見村検地帳	御代官野呂猪右衛門 手代吉岡甚助 同断土肥六右衛門 同断菱川嘉七	豎帳	はつか石林之上 番所跡地 案内 茂右衛門ほか3人
66	元文5年10月	差上ヶ申一札之事（当村百姓割山12か所、此度御吟味）	志久見村組頭茂左衛門ほか組頭茂右衛門、百姓代善右衛門→中野御役所	状	ひかへ
67	寛保元年7月	請取申右預ヶ金之事	平林村神主大和(花押)→志久見村重左衛門		一古金1両
68	寛保元年10月	乍恐以口上奉書願候御事（名主役二付、百姓方被召出、御吟味願）	志久見村願人長右衛門◎→中野御役所	状	付、出頭命令差紙
69	寛保元年11月	差上申一札之事（元文3年5月の長右衛門訴訟文書及びその後の経過報告）	訴訟方・与頭茂左衛門、相手長右衛門、立合・組頭茂右衛門→野呂猪右衛門	状	双方奥書印形あり
70	寛保元年11月	差上申一札之事（元文3年5月の長右衛門訴訟文書及び寛保元年の済口証文）	訴訟方・与頭茂左衛門、相手長右衛門、立合・組頭茂右衛門→鈴木平十郎	状	鈴木平十郎様御吟味の上、御裁許
71	寛保2年3月	酉御物成皆済目録 志久見村	志久見村百姓代善右衛門 長右衛門 組頭茂左衛門◎→野呂猪右衛門 御役所手代齊藤元右衛門 土肥六右衛門◎ 山岡孫平次◎ 渡辺幸三郎◎ 吉岡勘助◎	状	納合永72貫93文9分
72	延享元年4月	信濃国高井郡志久見村御林書上帳	名主善八ほか6人→中野御役所	豎帳	差上候下書扣 名所落合 反別2町歩 木数ふる木150本程
73	延享元年7月	信濃国高井郡志久見村田畑反別帳	名主善八 仲右衛門ほか→中野御役所	豎帳	ひかへ
74	延享元年8月	亥御物成皆済目録 志久見村	志久見村名主善八◎ 与頭茂左衛門◎ 百姓代清右衛門◎ 名主仲右衛門◎ 与頭彦三郎◎ 百姓代兵右衛門◎→野呂猪右衛門 御役所手代土肥六右衛門◎ 渡辺幸三郎◎ 山岡孫平次◎	状	納合永71貫17文1分
75	延享3年5月	覚(志久見村拾ヶ年季御定免に御請可申候)	志久見村名主茂左衛門◎ 同仲右衛門 組頭義右衛門◎ 同彦三郎 百姓代庄左衛門◎ 同兵右衛門→中野御役所	状	下書き
76	延享3年5月	覚（十ヶ年季に御定免被仰付、右石数にて御定免を御請申度、三分以上之損毛御座候ハ、検見）	志久見村名主茂左衛門◎ 同仲右衛門 組頭義右衛門◎ 同彦三郎 百姓代庄左衛門◎ 同兵右衛門→中野御役所	状	齊藤元右衛門江戸出府に付無印
77	延享4年正月	指上ヶ申證文之事（御上納金相滞り候に付、貴殿方にて御役所へ御願い）	志久見村訴訟人次郎兵衛◎ほか→名主重左衛門 志久見村組頭儀左衛門◎ 百姓代庄左衛門◎	状	金1両1分銭887文

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
78	延享4年正月	指上申證文之事（御上納金相滞り候に付、貴殿方にて御役所へ御願ひ）	志久見村訴訟人孫市◎ほか→名主重左衛門 志久見村組頭儀右衛門◎ 百姓代庄左衛門◎	状	金3分銭130文 五年より五年までの御上納分
79	延享5年2月	売渡シ分田地證文之事	志久見村次郎兵衛◎→同村重左衛門	状	新田高8升5合 代金1両 名所たきや
80	寛延2年5月	一札之事（村境論争 先規の境目は板木山の西峯より銭守つるね・尻なしつるね往来境迄）	志久見内長左衛門◎ほか33名連◎→本村名主茂左衛門 与頭義右衛門ほか	状	くれ坪 ほり切 の口 とふへ 坪野仁ての
81	寛延3年12月	相談之上差出申證文之事(享保19年より名主出入り)	治郎右衛門◎ほか147人→伴右衛門 善右衛門 善八 茂左衛門	状	大宝寺 天龍寺
82	寛延4年3月	売渡し質地手形之事	志久見村売主善次郎◎ほか→同村重左衛門	状	
83	宝暦2年3月	指出申得心済口証文之事（貸金之分、此度御取扱いを以て得心）	箕作村名主五右衛門ほか百姓9人連名→志久見村茂左衛門・西大滝村三郎右衛門・桑名川村友右衛門	状	奥書あり
84	宝暦2年3月	差出申得心済口証文之事（箕作村惣百姓と名主五右衛門出入り）	箕作村名主五右衛門、百姓9人連名→志久見村茂左衛門・西大滝村三郎右衛門・桑名川村友右衛門	状	
85	宝暦2年3月	差出申得心済口証文之事（7項目、名主方、百姓方和談仕り候）	箕作村百姓方組頭勅兵衛◎、百姓216人連◎→志久見村茂左衛門・西大滝村三郎右衛門・桑名川村友右衛門	状	百姓出入りの儀、数年の事にて又また此度江戸表へ罷り出候処
86	宝暦2年12月	差出申済口之事(渡舟取立申し候て右入用割合)	箕作村願人五右衛門 志久見村相手茂左衛門 中野町扱人宗九郎 桑名川村扱人傳助→会田伊右衛門御役所	状	
87	宝暦4年2月	相渡申畑之事	志久見村金右衛門◎→同村重左衛門	状	代金3分
88	宝暦4年5月	一札之事（御林ヶヶ所、深山続にて反別不知）	清右衛門ほか4人 宛所なし	状	
89	宝暦4年5月	百姓割山書上帳	志久見村	豎帳	百姓割山12か所
90	宝暦4年6月～12月	信濃国高井郡志久見村村勘定帳	名主清右衛門◎ほか組頭・百姓連◎→天野助治郎御役所	豎帳	割付 皆済 村入用
91	宝暦4年12月	売渡申畑之事	志久見村売主長右衛門◎ほか→同村重左衛門	状	名所町中 代金2両3分
92	宝暦5年3月	表題なし（御林 山持主書上げ）	志久見村名主清右衛門◎ほか→中野御役所	状	御林一か所 名所板木山落合
93	宝暦5年3月	売渡申畑証文之事	志久見村売主長右衛門◎ほか→同村重左衛門	状	代金2両3分 名所町中
94	宝暦5年4月	村勘定帳扣 志久見村	名主清右衛門◎ 与頭彦兵衛◎ 百姓代儀右衛門◎	豎帳	宝暦4年6月より12月迄
95	宝暦5年12月	売渡し申田地證文之事	志久見村売主善八◎→同村茂左衛門	状	2通分あり 名所沖ノ原 廿石
96	宝暦6年5月	差出申一札之事（22年以前享保19年秋、名主長百姓と惣百姓出入り）	桐（切）欠組新兵衛◎ほか29人連◎→本郷名主清右衛門ほか老衆中、惣百姓中	状	
97	宝暦6年8月	為取替申證文之事（村々切り開き地御改めとして天野助次郎様御手代中御出遊ばされ、箕作村月岡組と志久見村の境、両村役人立合い委細相糺し）	箕作村月岡組名主文六◎ほか 志久見村名主清右衛門◎ほか	状	御林西ノ腰通り
98	宝暦7年2月	新田見取米書上帳	志久見村名主清右衛門◎ 彦兵衛◎ 儀右衛門◎→天野助次郎御役所	豎帳	
99	宝暦7年7月	乍恐以書付奉申上候（御巢鷹山立木改め）	箕作村名主茂右衛門 志久見村名主清右衛門 巢守頭五右衛門ほか→宛所なし	状	字北越山 大道山 小松原 樽山 ぶな・栃木立
100	宝暦8年11月	書入二而預り申金子之事	志久見村預り主口右衛門◎→塩尻村半六	状	新田名所なめ沢田50刈 2両3分

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
101	宝暦9年8月	割山木数書上帳	志久見村名主清右衛門 [㊟] 与頭彦兵衛 [㊟] 百姓代儀右衛門 [㊟] →志村多宮手代 若林久米八 吉田勝七 太田音右衛門 岡村忠助	豎帳	
102	宝暦10年2月	大小百姓極証文願之事（志久見村名主役8人にて1年番に御廻し）	志久見村五人組頭伊左衛門ほか27人連 [㊟] →同村善右衛門、辰次郎	状	長百姓8人（善右衛門・善八・重左衛門・伴右衛門・加右衛門・庄左衛門・清右衛門・三郎右衛門）
103	宝暦10年	寄付金証文之事（金子2両・饒子一箇受納）	林秀庵九代（花押）→当村重左衛門	状	
104	宝暦11年12月	売渡し申田地証文之事	志久見村助三郎 [㊟] →同村六兵衛	状	代金3両1分 名所沖之島
105	宝暦12年3月	差出シ申誤証文之事（御神木を新に伐り申候、村方え赦免願ひ）	長瀬長命寺 [㊟] →志久見村名主善八 組頭重左衛門 百姓代彦四郎 惣百姓中	状	
106	宝暦12年9月	田畑高入引覚帳	志久見村名主重左衛門	横帳	
107	宝暦13年12月	差上申一札之事（東大滝村清右衛門ら4人酒造渡世いたし、越後国村々へ酒荷物差送り商い致し、運上・立札…困惑致し）	大野佐左衛門御代官所東大滝村・箕作村、今井平三郎御代官所西大滝村・桑名川村名主→御奉行所	状	相手方 十日町組 寺石村・空野原村・馬場村・伊達村、十日町百姓、惣代 舟坂村、十日町庄屋
108	宝暦13年12月	差上申一札之事（東大滝村清右衛門ら4人酒造渡世いたし、越後村々商売人と）	東大滝村・箕作村・西大滝村・桑名川村名主→今井平三郎御代官所	状	相手方 十日町組
109	明和2年正月	差上申一札之事（見取場之儀、見取上納に仰付下し置かれたく）	志久見村名主重左衛門 組頭善八 百姓代彦四郎→大野佐左衛門中野御役所	状	
110	明和2年9月	乍恐以書付奉願上候（切替畑見取場、外之所切替作付仕候）	志久見村名主重左衛門ほか→大野佐左衛門御役所	状	
111	明和4年12月	借用金子之事	志久見村借主重左衛門	状	2両2分元金也
112	明和4年12月	売渡し申新田証文之事	志久見村枝山口沢右衛門 [㊟] →十左衛門	状	新田高4合 名所滝や 田1枚
113	明和5年4月	借用申金子之事	中野町借用人平兵衛（花押）→志久見村善右衛門	状	印形を忘れたので署名
114	明和5年10月	信濃国高井郡志久見村新田検地帳	御代官大野佐左衛門 [㊟] 手代玉木嘉内 [㊟] 同服部栄蔵 [㊟] 伊藤吉右衛門 [㊟]	豎帳	案内 十左衛門 [㊟] 善八 [㊟] 彦四郎 [㊟] 高合2石5斗1升4合 反別4反1畝27步
115	明和5年10月	信濃国高井郡志久見村検地帳 子高入帳	御代官大野佐左衛門 手代玉木嘉内 同服部栄蔵 伊藤吉右衛門 何郡→中野御役所	豎帳	案内 十左衛門 善八 彦四郎
116	明和6年7月	乍恐以書付奉申上候（杉50本、雑木95本 志久見村）	志久見村名主十左衛門ほか→御役所	状	下書き 空地、往還道筋苗木植え付けの儀 下書き
117	明和7年3月	乍恐書付を以奉願上候（津右衛門、年貢皆済并子年年貢不足）	飯山嶋田屋借用主十兵衛 [㊟] →志久見村善八	状	20両縮仕入金
118	明和7年5月	借り申金子之事	志久見村預主十左衛門 [㊟] ほか→大井平村源助、小池村喜助	状	里漆銀代金
119	明和7年6月	借り申金子之事	飯山嶋田屋借用主十兵衛 [㊟] →志久見村善右衛門	状	蠟につき30両元金
120	明和7年8月	書付之写（小滝用水堰）	小滝村百姓惣代願人太左衛門、本郷三左衛門→臼井吉之丞中野御役所	状	付、元禄8年、明和2年の書付
121	明和7年10月	差上申和談内済証文之事（小滝用水路、野田沢の者共新堰を掘り）	箕作村枝郷小滝百姓願人卯右衛門 [㊟] ほか8人、惣代願人太左衛門 [㊟] →清助、重左衛門	状	相手、大久保・野田沢 取扱い、七ヶ巻村・志久見村名主
122	明和7年11月	預り申金子之事	金預主志久見村十左衛門 [㊟] →江部村市左衛門	状	金5両
123	明和8年3月	百姓寄合相談之上相願申証文之事（当村名主役之義、相勤め申す者御座無く）	志久見村百姓善八 [㊟] ほか167名連 [㊟] →名主重左衛門	状	重左衛門、名主役休みたく跡役相談
124	明和8年5月	乍恐以書付奉願上候（奥山迄厳しく御吟味、空地一切無御座候）	志久見村名主十左衛門、組頭善八、百姓代新助→臼井吉之丞中野御役所	状	

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
126	明和8年9月	乍恐書付ヲ以奉申上候（熊の皮御用に付、返答書）	桑名川・西大滝・平滝・青倉・森・志久見、各村村役人連①→臼井吉之丞御役所	状	
127	明和8年11月	乍恐以書付を奉申上候（貸付金借請候類有之八百姓小前相糺）	志久見村名主重左衛門①、組頭善八①、百姓代新助①→臼井吉之丞御役所	状	
128	明和9年正月	乍恐書付ヲ以御訴訟奉申上候（御年貢之義、御廻米可任旨）	高井水内郡惣代村々名主①→臼井吉之丞御役所	状	文書ひな型カ
129	明和9年正月	一札之事（御年貢御廻米御吟味）	何郡何村	状	文書ひな型
130	明和9年正月	表題欠く（御廻米に付、皆金納願い）一札之事（廻米、馬足通路御座無く）	志久見村名主十左衛門①ほか152名連①→臼井吉之丞御役所	状	文書の前段欠く
131	明和9年3月	乍恐以書付を奉申上候（酒造・醤油・酢造・油絞等の冥加金）	志久見村名主十左衛門ほか→臼井吉之丞御役所	状	稼ぎ候者御座なく候
132	明和9年4月	差上申和談内済証文之事（38年の内、御年貢滞り年貢勘定出入り、和談内済仕り候）	志久見村願人津右衛門①、相手同村名主重左衛門ほか①→臼井吉之丞中野御役所、扱人七ヶ巻村名主・野沢村名主ほか奥書	状	和談内済
133	明和9年4月	乍恐以書付奉願上候（志久見村津右衛門、同村五兵衛を訴える）	訴人津右衛門、返答人五兵衛→臼井吉之丞御役所	状	中野町名主善右衛門・中野町郷宿昌見
134	明和9年5月	借用金子之事	飯山借主十兵衛①→志久見村善右衛門	状	30両 商売仕入金として
135	明和9年5月	借用金子之事	飯山借主十兵衛①→志久見村善右衛門	状	20両 商売仕入金として
136	安永2年7月	預り申金子之事	志久見村預り主十左衛門①→善右衛門	状	飯山嶋田屋端仕入金90両
137	安永2年8月	乍恐以書付御届奉申上候（御廻米御吟味、郡中惣代江戸表へ）	柏尾村名主仙右衛門、桑名川名主伝助ほか	状	
138	安永2年8月	乍恐以書付奉申上候（御廻米御吟味、22か村惣代として柏尾村名主・桑名川村名主江戸表へ出立）	柏尾村名主仙右衛門、桑名川名主伝助ほか→臼井吉之丞御役所	状	
139	安永2年	乍恐以書付奉申上候（志久見村栗実生120本、一向根付無御座候）	志久見村名主、組頭、百姓代→臼井吉之丞御役所	状	下書き
140	安永3年2月	借用申金子之事	飯山上町嶋田屋十兵衛①→志久見村善右衛門	状	30両 商売仕入金として
141	安永3年3月	借用申金子之事	飯山上町嶋田屋十兵衛①→志久見村善右衛門	状	71両 商売仕入金として
142	安永3年4月	借用申金子事	嶋田屋十兵衛①ほか→志久見村善八	状	25両
143	安永3年5月	（見取畑之義八御高入御免被下）	志久見村名主十左衛門ほか→臼井吉之丞中野御役所	状	
144	安永4年10月	乍恐以書付ヲ御願奉申上候御事（御年貢金滞納出入り）	志久見村願人名主重左衛門→臼井吉之丞	状	銭5貫374文
145	安永5年2月	乍恐以書付を奉願上候（当村名主役之義、年番二相勤申）	次郎右衛門ほか197人連①→臼井吉之丞中野御役所	状	3人①なし
146	安永5年2月	乍恐以書付を奉願上候（当村名主役之義、年番二相勤申答に究申し候、当申年は善右衛門相当り）	記載なし	状	
147	安永5年2月	扱済口證文之事（数十年以前糺一俵借し置く一件）	志久見村願人十左衛門① 同村相手徳三郎①→中野御名主善右衛門	状	
148	安永5年4月	乍恐以書付御日延奉願上候（名主役善右衛門不得心に付）	志久見村名主十左衛門ほか6人→臼井吉之丞中野御役所	状	
149	安永5年5月	乍恐以書付奉申上候（当村村役人之儀、当村に一切御座無く候）	記載なし	状	
150	安永6年正月	乍恐以書付奉願上候（正月十五日御上納金、百姓共騒立、御日延奉願上候）	高井郡志久見村	状	
151	安永6年3月	無表題 騒動利害趣意書写請証文（一人も騒立に罷り出申さず候）	志久見村百姓惣代ら6人→村役人中	状	十左衛門老年に付、名主は碎丑之助26歳に
152	安永6年3月	乍恐以書付奉願上候（御懸ヶ札、書替え被下候わば）	志久見村名主十左衛門ほか→臼井吉之丞中野御役所	状	
153	安永6年3月	乍恐以書付奉願上候（切支丹御制札、御見分の上、御墨入れ）	志久見村名主十左衛門ほか	状	

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
154	安永6年3月	(志久見村松平遠江守様以後の領主、窪嶋代官～臼井代官まで)	名主十左衛門、組頭善八、百姓代新助	状	
155	安永6年	御褒美村方請書写(外題) 御仕置過料錢請書写 沙汰二不及村々請書写	安永6年酉年正月12日徒党強訴二付、志久見村名主桑原丑之助	豎帳	定名主十左衛門老病二付、倅丑之助
156	安永7年5月	乍恐以書付申上候(御料所より売出し候商物、私領へ持参売捌き候節、口錢等取り候場所も有之候哉)	志久見村丑之助・善八・新助→臼井吉之丞御役所	状	
157	安永7年5月	熟談之上相究証文之事(御料所、不残地改被仰付)	名主牛之助ほか 次郎右衛門◎ほか小百姓連◎	状	
158	安永7年5月	一札之事(御料所之内、不残地改被仰付)	桑原牛之助ほか 次郎右衛門ほか小百姓連印	状	
159	安永7年6月	村相談証文之事(外池と申す古池を畑に起し、橋掛けの助けに)	作成者及び宛名記載なし	状	下書き
160	安永7年7月	和談内済一札之事(万年一重郎様新田検地、古田畑・切添え切開等に関わり箕作村と志久見村の地境論争 引出・橋場・十二沢より天地つるね両村境にあい極まる)	箕作村月岡組名主久四郎◎ほか 組頭・百姓代 小滝・大久保・野田沢重百姓◎ 箕作村名主茂右衛門◎ほか組頭・百姓代・重百姓◎ 志久見村名主牛之助◎ 組頭・百姓代・重百姓・雪坪・柳在家・切懸重百姓◎ 取扱人七ヶ巻村名主清助◎・東大滝村名主浅右衛門◎・平滝村名主富右衛門◎	状	大明神の沢 三つ目の小沢 十二沢 橋場 天地つるね 大久保用水 尻なしつるね 大久保浦のつるね 六つ目の小沢 吹き通し 西平 東平 後年の野紙包紙あり「表書き 安永度同国箕作境目争論熟談書」
161	安永7年7月	和談内済一札之事(古田畑・切添え切開等に関わり箕作村と志久見村の地境論争)	箕作村月岡組名主久四郎ほか	状	下書き ◎なし 厚手和紙の包み紙あり「箕作村境目書付」
162	安永7年閏7月	乍恐以書付奉願上候(見取場御吟味之上、小前帳仕立て差上げ候)	志久見村名主桑原牛之助ほか	状	
163	安永7年閏7月	乍恐以書付奉願上候(万年一重郎様見取場御吟味之上、小前帳仕立て)	箕作村名主茂右衛門 与三右衛門ほか 志久見村名主牛之助→宛所なし	状	下書き
164	安永7年閏7月	乍恐以書付奉願上候(万年一重郎様見取場御吟味之上、小前帳仕立て)	箕作村名主茂右衛門◎ほか 月岡組名主与三右衛門◎ほか 志久見村名主牛之助◎ほか→臼井吉之丞 御役所	状	
165	安永7年8月	乍恐以書付奉願上候(志久見村古見取、新見取畑の件)	志久見村名主桑原牛之助◎、組頭善八ほか3人 宛所記載なし	状	
166	安永7年9月	乍恐以書付奉願上候(切添え、切開に付、一同奉願上候)	記載なし	状	ひな型文書
167	安永7年9月	乍恐以書付奉願上候(切添え切開御検地に付、高橋小兵衛様御普請役様御廻村之上、田畑巨細御改め)	志久見村名主桑原丑之助◎組頭善八◎百姓代新助◎ 箕作村ほか9か村三役人連◎→臼井吉之丞	状	
168	安永7年12月	信州高井郡志久見村見取場小前反別改帳	御勘定万年一重郎◎ 同高橋小兵衛◎ 同小嶋保八◎	豎帳	下書控え 反別合3反2畝21歩
169	安永8年12月	信濃国高井郡志久見村見取場小前反別改帳	万年一重郎◎ 高橋小兵衛◎ 小嶋保八◎	豎帳	反別合3反2畝21歩
170	安永8年12月	信濃国高井郡志久見村新田検地帳	御勘定万年一重郎◎ 高橋小兵衛◎ 小嶋保八◎ 下役山口鉄五郎◎ほか8人 帳付西村専助◎ほか3人 安藤弾正少弼◎ 松本伊豆守◎	豎帳	案内 桑原牛之助◎ほか4人
171	安永8年12月	売渡申田畑証文之事	志久見村田地売主金作◎→志久見村名主牛之助	状	1両
172	安永8年7月	往来手形証文之事(源右衛門・与五右衛門、伊勢参宮、西国巡礼仕候心掛け)	志久見村名主丑之助◎→諸々御役人中	状	
173	安永9年3月	組頭年番証文之事(善八・仙右衛門・清右衛門、3人にて順番に御勤被下度)	五人組頭次郎右衛門ほか28人連◎→善八・清右衛門・善右衛門	状	
174	安永9年12月	売渡申田地証文之事	志久見村売主十兵衛◎→同牛之助	状	名所川原田 1斗余代金3両
175	安永9年	差し上申御割付皆済目録拜見証文之事(大小百姓入作のもの迄残らず寄合拜見奉り)	志久見村名主牛之助 組頭善八百姓代四郎左衛門ほか190人連印→岩出伊右衛門中野御役所	状	破れあり

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
176	天明元年閏5月	御頼母子金借用申證文之事	志久見村儀助⑩→同村丑之助	状	金3兩2分2朱
177	天明2年10月	借用金子之事	志久見村金子預主善八⑩→越後宮之原内小池の七郎兵衛	状	金20兩
178	天明3年9月	乍恐以書付奉願上候御事（浅間山大変に付、灰砂降り田畑不作）	庄屋・組頭・百姓代	状	下書き
179	天明3年9月	乍恐以書付奉願上候御事（私共村々土用中、浅間山砂灰砂降り田畑不作、御検見御廻村幾重にも願ひ上げ）	志久見村名主桑原丑之助⑩組頭仙右衛門⑩百姓代四郎左衛門⑩→原田清右衛門中野御役所	状	
180	天明3年10月	乍恐以書付奉願上候（当御支配所村々、田畑とも6月中浅間山より灰砂降り、9月上旬破免願ひ候処）	差出人名なし→原田清右衛門中野御役所	状	下書き 9月土用入り候ても田方青立巻立多く
181	天明3年10月	乍恐以書付奉願上候御事（関沢村より奥詰り11ヶ村組合不作、志久見村枝郷など冬にも餓死 不熟米値段安に仰せ付けられたく）	志久見村名主桑原丑之助ほか10ヶ村→原田清右衛門中野御役所	状	小菅 針田 笹沢 柏尾 北原新田 重地原 坪山 虫生 七ヶ巻 東大滝 志久見
182	天明3年11月	（困窮に付、飢夫喰御貸御助被	志久見村	状	
183	天明3年12月	乍恐書付を以奉願上候（私共村々田畑とも土用中浅間山より灰砂降り、冷気去らず生立例年ほどに相見えず）	志久見村	状	下書き
184	天明3年12月	書入二而金子借用證文之事	志久見村枝郷切七郎兵衛⑩→同村丑之助	状	金2分
185	天明4年12月	売渡申畑證文之事（名所外池）	志久見売主只右衛門⑩→牛之助	状	
186	天明4年12月	売渡申畑證文之事（名所外池）	志久見売主重兵衛⑩→牛之助	状	名所小坂2兩900
187	天明7年11月	覚(頼母子寄金 29兩也)	頼母子宿 志久見村林秀庵→同村十左衛門	状	
188	天明8年3月	未御年貢皆済目録 志久見村	久保平三郎⑩→名主 組頭 惣百姓	状	納合永106貫840文
189	天明9年正月	申御年貢皆済目録 志久見村	風祭求馬⑩→名主 組頭 惣百姓	状	納合永104貫711文7分2厘
190	寛政元年正月	自遣用文集「陽春之慶賀」	志久見村桑原氏	豎帳	
191	寛政3年2月	去戌御年貢皆済目録 志久見村	風祭求馬⑩→名主 組頭 惣百姓	状	納合永69貫199文6分4厘2毛
192	寛政7年3月	乍恐以書付奉願上候（名主役年番、去る寅年まで2か年仙右衛門相勤め申候、当年仙右衛門退役、重左衛門の番に相当り）	志久見村名主引請人重左衛門名主退役人仙右衛門 組頭 長百姓 惣百姓連印	状	下書き
193	寛政7年4月	乍恐以書付奉申上候（前々荒地之内、当卯起返御吟味御座候所）	志久見村名主十左衛門ほか→河尻甚五郎中野御役所	状	
194	寛政8年10月	被仰渡之趣請印帳 申渡（親孝行 追放所払い 盜賊 博奕 村役人 權威 神事祭礼ほか）	志久見村名主十左衛門⑩ほか、168名連印→竹内平右衛門中野御役所	豎帳	
195	寛政9年8月	畑替地證文之事	志久見村仙右衛門⑩ほか4人連印→同村十左衛門	状	
196	寛政10年11月	借用申金子之事	志久見村借用主仙右衛門⑩ほか→中野の元右衛門	状	金10兩
197	寛政11年12月	質地田地證文之事	志久見村売主仙右衛門⑩ほか→同村十左衛門	状	金10兩3分
198	寛政12年5月	借用申年賦金證文之事	東大滝村借用主源次郎⑩→宿十左衛門御連中	状	金63兩
199	享和2年2月	乍恐書付を以奉申上候（荒地起返り場所、本免に相直り候場所有之ば）	志久見村名主仙右衛門⑩ 組頭仙左衛門⑩ 百姓代勘四郎⑩→上野四郎三郎中野御役所	状	
200	享和3年3月	覚(護摩堂一字建立仕度、御志之奉加願上候 御家内御繁昌之御祈祷相勤可申候)	常光院	状	
201	享和3年11月	質売申田地證文之事	志久見村質地売主清四郎⑩→同村重左衛門 奥書名主善八	状	新田高8升8合 代金4兩4分 名所内池たて20刈 向新田
202	文化元年6月	預り申宿頼母子親懸ヶ證文之事	志久見村金子預主 会定宿茂左衛門ほか→三役人御連中 奥書大井平村甚右衛門	状	干支が寅となっているので子に訂正 金30兩 下書き

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
203	文化元年8月	請書一札之事(私儀、数度欠落などいたし不埒の至り、申し訳御座無く)	朴ノ木沢願人与兵衛→実父市右衛門	状	惣領実子の身分として
204	文化元年11月	村差出明細帳(越後境目古来より志久見川橋1か所御座候、長さ16間ほど御座候、但し丸太橋。飯山御城下まで9里、越後高田御城下まで12里、魚沼郡十日町まで7里ほど)	志久見村名主善八 組頭善右衛門 百姓代勘四郎	竖帳	中身は安永2年4月の明細帳
205	文化元年12月	古新證文質地田畑写置帳	志久見村桑原氏	竖帳	延享へただし文化元年以降の証文もあり
206	文化4年9月	御上納金借用証文之事	借用人志久見村茂左衛門⑩ 引請人秋成村次郎右衛門⑩ほか→秋成村源治郎	状	奥印名主善八
207	文化4年12月	質売申田地証文之事	田地主茂左衛門⑩→弥三右衛門	状	代金4兩 奥印名主善八
208	文化5年12月	質売申田地証文之事	地質売人善右衛門⑩→同村茂左衛門	状	地代金3兩
209	文化6年5月	御触(近年牢人体の者、村々百姓家に参り合力を乞い悪口を申し候)	杉庄兵衛中野御役所	状	
210	文化6年6月	乍恐以書付奉願上候(田方植え付けの御糺御座候処)	志久見村名主茂左衛門ほか→杉庄兵衛中野御役所	状	枝郷雪坪
211	文化7年12月	取極申一札請書(差出申一札之事博奕)	五人組連印→村役人衆中	竖帳	
212	文化7年10月	年賦金預証文之事	年賦金預り主 宮野原村六郎左衛門ほか3人→宿十左衛門	状	金30兩 400束刈
213	文化8年12月	拾ヶ年季二質売申田地証文之事	田地質売人茂左衛門⑩ 請人与左衛門⑩ 同断与右衛門⑩ほか→越後国魚沼郡大井平村甚右衛門	状	
214	文化11年12月	田地水入証文之事	志久見村水入人 茂左衛門ほか→魚沼郡大井平村甚右衛門	状	此石3石2斗2升5合 代金40兩也
215	文化11年	断簡(田地質売主茂左衛門)		状	奥書名主卯左衛門
216	文化年間(文化6年以降)	乍恐以書付御届ヶ奉申上候(御勘定様、越後魚沼郡へ御用筋にて御通行、御道順に付、志久見村山抜け場所御見分)	箕作村名主三左衛門 志久見村名主茂左衛門ほか両村組頭・百姓代→杉庄兵衛中野御役所	状	
217	文政元年8月	乍恐以書付御返答奉申上候(仙之助妹うた、新次郎に嫁いたが、先妻との離別もなく、妹うた難儀、ついには客の相手をさせられ)	吉川町清八返答人仙之助⑩→御奉行	状	仙之助妹うた取戻し出入り
218	文政元年9月	乍恐以書付御返答奉申上候(新吉原伝蔵店遊女屋平左衛門頼いに付…、遊女屋奉公人とよ身分の義に付御訴訟申し上げ奉り)	浅草田町吉兵衛店返答人平吉⑩→御奉行所	状	良助女房妹とよ5か年2か月、身代金30兩
219	文政元年10月	金子年賦返済証文之事	記載なし	状	ひな型文書
220	文政4年正月	大福萬覚帳	高井郡志久見村	横帳	
221	文政6年2月	奉納経帳(西国三十三番札所巡り)	記載なし	竖帳	持主は桑原茂左衛門か
222	文政7年正月	大福帳	志久見村桑原茂左衛門	横帳	利徳万々歳
223	文政7年6月	志久見村高反別取下場起返り小前書上帳	名主茂左衛門⑩ほか→矢嶋藤蔵中野御役所	竖帳	
224	天保2年5月	御手本	持主志久見村桑原卯之松	竖帳	この本借りたら早速お返し下さるべく候写本控え
225	天保7年5月	貯穀詰戻小前書上帳	貯穀預り人名主善八ほか組頭・百姓代→平岡文次郎脇野町御役所	横帳	
226	天保8年12月	質売申畑証文之事	畑質売人忠三郎⑩→本家茂左衛門	状	代金2分
227	天保9年3月	持地高田畑名所数取附帳	志久見村桑原茂左衛門	横帳	
228	天保9年12月	質売申田地証文之事	志久見村茂左衛門 受人喜三左衛門→魚沼郡外丸村枝上の浅右衛門	状	名所内池 稲60束刈 代金6兩
229	天保9年12月	拾ヶ年季質売申杉林くろ通り証文之事	杉林質売人村平左衛門⑩→当村吉右衛門 奥書名主善八	状	名所寺の上 代金3兩

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
230	天保12年12月	差上申居屋敷并二畑證文之事(居屋敷1か所)	嘉吉親類永作 [㊟] →林秀庵 奥書 名主善八 [㊟] 相役善右衛門 [㊟]	状	嘉吉不埒、江戸から 柳村せす甚だ迷惑仕 り、手入れ仕り候て も家宅荒れ果て
231	天保15年12月	御手本	志久見村桑原亀吉	豎帳	
232	弘化2年	拾ヶ年皆済目録写	中之条御役所 [㊟] →志久見村名主 善右衛門 [㊟] ほか	豎帳	御年貢皆済目録本紙 焼失に付
233	嘉永3年10月	頼母子六番等取立帳	志久見村 宿重左衛門	横帳	惣人数26人半
234	嘉永4年2月	戌御年貢皆済目録 志久見村	高木清左衛門 [㊟] →名主 組頭 百姓代	状	納合永130貫22 文2分
235	嘉永5年2月	亥御年貢皆済目録 志久見村	高木清左衛門 [㊟] →名主 組頭 百姓代	状	納合永119貫88 1文4分
236	嘉永6年2月	子御年貢皆済目録 志久見村	高木清左衛門 [㊟] →名主 組頭 百姓代	状	納合永132貫52 9文9分
237	嘉永72月	丑御年貢皆済目録 志久見村	高木清左衛門 [㊟] →名主 組頭 百姓代	状	納合永112貫656 文7分 酒造莫加永 150文
238	安政2年2月	寅御年貢皆済目録 志久見村	高木清左衛門 [㊟] →名主 組頭 百姓代	状	納合永121貫70 8文
239	安政2年10月	信濃国高井郡志久見村式拾ヶ年御 割付写	名主善右衛門 [㊟] ほか→中野御役所	豎帳	村控え 天保6年～ 嘉永7年迄
240	安政2年12月	卯御年貢皆済目録 志久見村	今川要作 [㊟] →名主 組頭 百姓 代	状	納合永98貫311 文2分
241	安政4年6月	乍恐以書付奉願上候(今般海岸御 備え筋、大筒御鑄造等之儀 合金 8両)	名主善右衛門 [㊟] ほか→今川要作 中野御役所	状	御教諭書仰せ渡され
242	安政3年12月	辰御年貢皆済目録 志久見村	今川要作 [㊟] →名主 組頭 百姓 代	状	納合永84貫665 文4分 水車連上永 36文 酒造莫加永 150文
243	安政4年10月	年賦金借用證文之事	越後朴木沢太右衛門 受人平五 郎→宿重左衛門 御連中	状	金20両 65束刈 名所朴木沢
244	安政4年12月	巳御年貢皆済目録 志久見村	今川要作 [㊟] →名主 組頭 百姓 代	状	納合永110貫26 3文2分 鮭連上免 除
245	安政5年	相談之上にて用水引誤取究之事 (志久見枝郷切欠組の義は用水不 足にて)	志久見村小前惣代政治郎ほか1 4人	状	三つ割にて二つ本 村、一つ切欠
246	安政7年	夫銭村入用帳	志久見村名主重左衛門	横帳	表紙と裏表紙のみ中 身なし
247	文久元年10月	今般御下向二付諸書付請印帳(和 宮様御下向之節、当分助郷)	高井郡柏尾村名主ほか	豎帳	志久見村控え
248	文久元年10月	酉御年貢可納割附之事 志久見村	鈴木源内 [㊟] →名主 組頭 惣百 姓	状	高432石3斗9合 酒造莫加永150文 百姓割山持12か所 鮭連上 巳より酉迄 5か年免除
249	文久2年正月	分銀高割村入用夫銭取立帳 志久 見村	名主桑原重左衛門	状	上家35軒 中家67 軒 下家39軒 下々 家49軒 計190軒 御高鷹巣守給百姓5 人除之
250	文久2年6月	癸基頼母子取立帳	志久見村癸記人重左衛門	横帳	寄金×金46両3分 ほか10両
251	文久2年7月	差上申一札之事(御手当として銭 3貫文下され)	当分御預所七ヶ巻村、別廉当分 預所平滝村・箕作村・志久見村	状	
252	文久2年10月	戌御年貢可納割附之事 志久見村	増田安兵衛 [㊟] →名主 組頭 惣 百姓	状	高432石3斗9合 水車連上永37文
253	文久2年10月	年賦金借用證文之事	魚沼郡外丸村枝郷上野 金子借 用人甚之丞 [㊟] ほか→信州志久見 村重左衛門ほか	状	金20両 65束刈 名所朴木沢
254	文久3年2月	戌御年貢皆済目録 志久見村	増田安兵衛 [㊟] →名主 組頭 百 姓代	状	納合永153貫80 7文
255	万延元年10月	申御年貢可納割附之事 志久見村	木村薰平 [㊟] →名主 組頭 惣百 姓	状	高432石3斗9合
256	万延元年12月	居屋敷書入證文之事	書入人当村太助 [㊟] 引受人巳之助 [㊟] →同村重左衛門 組頭庄左衛 門 [㊟] 奥書	状	元金2分2朱 明治4年の書き足し あり
257	万延元年	質地証文利米借用諸証留帳	志久見村名主十左衛門	豎帳	安政5年～万延元年 迄
258	元治元年12月	利米金借用證文之事	借用人志久見村莊五郎 [㊟] 受人 2人→村重左衛門	状	金8両 名所峯の下 奥書組頭庄左衛門 [㊟]

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
259	元治元年12月	七ヶ年季質売申田地證文之事	田地質売人元右衛門@ほか→当村平左衛門	状	稲百束刈
260	元治元年12月	七ヶ年季質売申田地證文之事	田地質売人雪坪三之助@ほか→当村重左衛門	状	田地百束刈 名所下内池 丑心ち 代金15両
261	慶応元年8月	差出申詫書一札之事(私心得違いでお宮の杉の木伐り申し候)	志久見村詫人太作@親類3人@→名主重左衛門ほか4人	状	
262	慶応元年10月	丑御年貢可納割附之事 志久見村	松本直一郎@→名主 組頭 惣百姓	状	高432石3斗9合
263	慶応3年6月	宿頼母子拾壹等取立覚帳	宿重左衛門	横帳	
264	年不詳辰4月(明和9年カ)	乍恐以書付奉願上候(津右衛門と五兵衛の争い、津右衛門病氣に付御吟味御日延べ)	志久見村伴(津)右衛門→臼井吉之丞御役所	状	奥書名主重左衛門
265	年不詳(近世)子12月	預り申金子之事	中野郷宿文左衛門@→志久見村名主重左衛門	状	
266	年不詳(明和、安永)	御廻米触れ(奥信濃と申し山高く谷合の村方)		状	奥信濃と申し候て山高く谷合の村々
267	年不詳(安永5年カ)	乍恐以書付を奉願上候(当村名主役之儀、年番に相勤申答、重左衛門退役、善右衛門当番)	記載無し	状	
268	年不詳(安永5年カ)	差出申一札之事(当村名主役之義、重左衛門殿数年来勤め、老衰にて退役仕り、以後当年は善右衛門殿、来酉年より善八殿、清右衛門殿にて年番に御勤め)		状	
269	年不詳(安永カ)	乍恐以書付奉願上候(万年一重郎様見取場御吟味)	差出人記載なし	状	下書き
270	年不詳(安永)	安永中野騒動廻状(相談之事申度御座候間、来十四日、木島平江御出可被成候、村々ら急二御廻シ被成候)	寄平合→村々惣百姓(この文書は志久見村の名主宅に届けられたものカ)	状	「来る14日」とは2月14日だと考えられる。廻状は七ヶ巻村の金右衛門が東大滝村の名主宅に届け、東大滝村では三次郎が箕作村の名主宅へ届けた(飯山市誌歴史編上P566,567)事実があるので、それがこの廻状である。
271	年不詳(安永カ)	御掛札之写(強訴、徒党、逃散御法度、飛驒の国の者共)	記載なし	状	幕法
272	年不詳閏4月(天明)	村々仰せ渡し請書(博奕・三笠附などいたし其身不相応衣服)	記載なし	状	ひかへ大野佐左衛門
273	年不詳(慶応カ)	歩人足之義二付、取極之事(兵賦人足)		状	村々16か村、1組に1人割当、都合5人
274	年不詳午3月(近世)	手紙(乍恐奉願上候 明後日より枝葉の始末)	のほり小山善八→上中町桑原御大人	状	私冬場の分いまだ用意仕らず
275	年不詳卯11月(近世)	御触書之写及び請書	志久見村惣百姓連@→村役人中	状	本郷は夜分家別見回り
276	年不詳午3月(近世)	差上申一札之事(御楽鷹場所御尋二付書面之通)	志久見村楽鷹守加右衛門、三左衛門→中野御役所	竖帳	秋山、前山にて九か所
277	年不詳卯11月(近世)			状	現物の所在不明
278	年不詳丑11月(近世)	断簡(米穀値段)	町重左衛門	状	
279	年不詳巳3月(安永2年カ)	請書ひな型(奥州羽州之義、土地広の場所)	名主、組頭、百姓代	状	
280	年不詳辰12月(近世)	覚(勘定書き)	菊右衛門→村中町	状	縮きれ代金 染め代金
281	年不詳巳4月(近世)	覚(勘定書き)	伴右衛門→志久見村重左衛門	状	
282	年不詳12月(近世)	御上納金借用申證文之事	金子借用主当村菊右衛門@→御役元	状	金1分400文
283	年不詳(近世)	吉郎右衛門家作跡相続地所定之事	記入なし	状	下書き
284	年不詳(近世)	辰御年貢可納割附之事	記入なし	状	写し断簡 志久見村高351石1斗3升2合
285	年不詳(近世)	熟談申一札之事(当村口論相募り村柄二つ相分り候)	当所九左衛門@ほか4人 小前惣代弥三八@ほか一人→本郷名主桑原十左衛門、役人衆中	丞	

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
286	年不詳10月(近世)	手紙(柿少々無心、桶一つ拝借)	津端甚之丞→志久見村桑原重左衛門	状	
287	年不詳10月(近世)	手紙(文七頼母子お出でも無之)	津端伴右衛門→志久見村桑原重左衛門	状	
288	年不詳戊7月(近世)	御検地年号書上帳	志久見村桑原牛之助→御検地御奉行	豎帳	控え 家数182 人数983人
289	年不詳(幕末～明治初)	懐中録	桑原重左衛門	横半帳	小山善八切腹 善八 碎寅之助自書
290	年不詳(近世)	御手本(用文集 御請状之事)	不明	折本	柏尾村伴右衛門碎熊 治郎口へ奉公二罷出
291	年不詳(近世)	商売往来	志久見村石澤太郎左衛門	折本	傷み汚れあり
292	年不詳(近世)	手習本端切れ(借用申金子之事)	春日井庄太夫	状	
293	年不詳(近世)	御手本(用文集)	持主 志久見村桑原慶之助	豎帳	
294	年不詳(近世)	信濃国御料所御検地、村境確定	志久見村	状	
295	年不詳(近世)	乍恐以書付願上候(見取地所御高入に相成)	作成者未記入	状	下書き
296	年不詳丑9月(近世)	廻状(御代官様御病氣 平岡彦兵衛様へ代検見)	郡中代会所⑩→上新田ほか25か村名主中	状	
297	年不詳(近世)	往来物(任幸便一筆致啓上候)		状	田畑売買 縮面糸織 博奕喧嘩など
298	年不詳(近世)	文書包紙	飯山嶋田屋七兵衛云々	状	
299	年不詳(近世)	年貢勘定帳断簡	源兵衛⑩	折紙	1枚のみ
300	年不詳(近世)6月	年貢勘定帳断簡	記入なし	横帳	2枚のみ こより補 綴
301	年不詳(近世)巳10月	覚(一金四両三分取金)頼母子	柳在家宿嘉右衛門→町茂左衛門	状	
302	年不詳(近世)	頼母子預り申證文之事	雪坪儀右衛門⑩→本村茂左衛門	状	金子9両 100刈 名所池田5枚
303	年不詳(近世)	高倉山信州志久見地内		鋪	166cm×160cm
304	年不詳(近世)	信濃国絵図		鋪	150cm×80cm
305	年不詳(近世)	巡禮乃段 傾城阿波の鳴門ハツ目	博喰町二丁目 森屋治郎兵衛板	豎帳	娘おつる おゆみ
306	年不詳(近世)	(田畑反別名寄帳)	栄吉 又市の名前あり	横帳	表紙欠く
307	年不詳(近世)カ)	才ノ神 三味場 十王堂 寺浦共 間数帳		横半帳	
308	年不詳(近世)9月	覚(金沓分受取り申候)	中野宿孫助⑩→志久見村重左衛門	切紙	
309	明治元年10月	辰御年貢可納割附之事 志久見村	中野御役所→名主 組頭 惣百姓	状	高432石3斗9合
310	明治元年12月	卯御年貢可納割附之事 志久見村	中野御役所→名主 組頭 惣百姓	状	米 大豆 永
311	明治2年4月	差出申一札之事(悪念再発任候ハ 八如何様之御咎めにも被仰付)	道差出人徳三郎(爪印) 同人口父 松之助⑩→善八 重左衛門	状	
312	明治2年6月	宿頼母子十四等取立帳		横帳	惣人数28人
313	明治2年7月	高井郡志久見村定免願書	百姓代勝五郎⑩ 組頭庄左衛門 ⑩ 名主善右衛門⑩→中野御役所	豎帳	
314	明治2年10月	巳御年貢可納割附之事 志久見村	中野局→名主 組頭 惣百姓	状	高432石3斗9合 右は当巳破免取御 書面の通り
315	明治4年1月	賃売申田地證文之事	田地質入人仁手野組久右衛門⑩ →重左衛門	状	字はで野下 代金2 両1分余
316	明治4年3月	上(志久見村林秀庵領)	志久見村名主善右衛門⑩ 組頭 庄左衛門⑩ 百姓代勝五郎⑩→ 中野縣御役所	豎帳	志久見村扣ひ 高4 石4斗8升1合 境 内1765坪 建坪 155坪
317	明治4年6月	出国人取調書上帳	志久見村名主善右衛門⑩ 組頭 庄左衛門⑩ 百姓代勝五郎⑩→ 中野御縣御役所 住職折口参⑩	豎帳	柳在家百姓文蔵東京 へ冬稼ぎ 今もって 帰国せず ほかに定 吉 富五郎 嘉兵衛 梅吉 清助 女屠し げ 弟乙吉 久左衛 門 常左衛門 勝右 衛門伴文右衛門(4 6歳) 徒刑場より出 走、行方不明
318	明治4年6月	出国取調書上帳 志久見村	志久見村名主善右衛門⑩ 組頭 庄左衛門⑩ 百姓代勝五郎⑩→ 中野御縣御役所	豎帳	同上

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
319	明治4年7月	午租税皆済目録 志久見村	長野縣廳朱印→名主 組頭 百姓代	状	納合永753貫94 1文3分 水車運上 永40文
320	明治4年8月	寺領高戸数人別書上帳（志久見村 林秀庵）	志久見村名主重左衛門 組頭庄 左衛門・善右衛門 百姓代勝五 郎→長野縣御役所	豎帳	志久見村ひかえ 1 4世哲參67才 弟 子3名 高4石4斗 8升1合 減罪檀家 200軒
321	明治4年11月	金子借用證文之事	金子借用主村庄之丞印ほか→御 名主重左衛門	状	金2両2朱余
322	明治4年12月	金子借用證文之事	金子借用人福松印→本村重左衛 門	状	金1両2朱余
323	明治5年4月	当末租税諸勘定諸拂帳（末御年貢 可納割紙之事）	名主重右衛門	横帳	個人別年貢上納金
324	明治5年7月	末租税皆済目録 志久見村	長野縣廳朱印→名主 組頭 惣 百姓	状	納合永413貫12 5文3分
325	明治5年9月	高井郡志久見村堰橋書上帳	名主桑原幸左衛門、組頭、百姓 代→長野縣御役所	豎帳	用水堰2筋 坪野 堰さへ 橋1 越 後境 木材11本
326	明治5年10月	当壬申租税上納割賦帳 志久見村	長野縣權令立木兼善（四角朱 印）→戸長 副戸長 総百姓	豎帳	高432石3斗9合 3か年定免 長野縣の割朱印あり
327	明治5年11月	表題なし（御布告写し）	触元戸長→長野縣權令立木兼善	豎帳	今般地券御発行に 付、耕地者筆限り無 税地等に至るまで漏 れなく豎横正間出生 米等取り調べ
328	明治6年3月	明治五年壬申租税皆済帳	長野縣權令立木兼善（四角朱 印）→志久見村	豎帳	
329	明治6年4月	地検再調銘細帳	雪坪組	横帳	
330	明治6年7月	田畑反別惣計合帳		横帳	
331	明治6年7月	地券二付善光寺出張諸入用扣帳ほ か6帳面綴り	戸長桑原重左衛門	横帳	
332	明治6年9月	乍恐以書付奉願上候（酒造20石倉 俣熊治郎）	志久見村戸長桑原重左衛門→長 野縣參事榎崎寛直	状	
333	明治6年9月	惣反別寄帳	第52区志久見村	状	
334	明治6年10月	田畑出生米地代金積取調帳（高井 郡志久見村）	第51区副長川久保伊兵衛印同 片桐久右衛門印	豎帳	
335	明治6年10月	田畑出生米地代金積取調帳（第五 十二区志久見村）		豎帳	
336	明治6年12月	岩組反別取調書上帳 志久見村	戸長桑原重左衛門印 副戸長石 沢長左衛門印 百姓代上倉新助 印→長野縣參事榎崎寛直	豎帳	○反別1町8反5畝 余 字塩尻 峠の下 峠の外 けんざき 原 坪野
337	明治7年7月	儲穀改帳（粃俵数41俵）	高井郡志久見村	横帳	
338	明治7年10月	（通牒 犯罪者記録ほか）二分冊	司法卿大木喬任	豎帳	
339	明治8年2月	地順収穫總計調帳控第二冊之内	長野縣官下第二拾一大区六小区 高井郡志久見村改正堺村	横帳	
340	明治8年1月	懷中録（地券証御下願ほか）	長野縣第廿一大区六小区 志久 見村桑原姓	横半帳	
341	明治8年10月	地券一円巡量野帳 字柳在家		横帳	
342	明治8年10月	地券再巡量野帳 雪坪組分		横帳	
343	明治8年10月	地券再巡量野帳 雪坪 川原田		横帳	
344	明治8年10月	取究規定書（箕作村長瀬組との争論 御縣廳へ罷り出願立て仕り候）	志久見104 塩尻10 柳在家 29 切欠19 極手野63人連印	豎帳	一部欠損
345	明治8年11月	地順再調地順帳 字中内池		横帳	
346	明治8年11月	知順収穫再取調野帳 字前平 読 み合わせ済み		横帳	
347	明治8年	地順再取調 [] 字尻田山よ り耳石迄		横帳	表紙下半分破損
348	明治9年2月	地順反別小以寄帳 志久見村		横帳	
349	明治9年2月	長瀬組越石證文扣帳		横半帳	
350	明治9年3月	大福帳	志久見村桑原重左衛門	横帳	苗字索引あり
351	明治10年3月	当所社寺上知取調二付諸入費取調 簿	地券改正掛小山小右衛門 桑原 重左衛門	横帳	亥年はママ
352	明治10年4月	耕地地總計帳	高井郡志久見村	豎帳	田畑等級 反別 収 穫米大豆 地価金 地租金 ほか宅地

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
353	明治10年3月	年賦金借用申證文之事	雪坪森川惣松◎→志久見村桑原重右衛門	状	その他借用金證文一括
354	明治10年5月	無税地書上控帳	第52区志久見村21区6小区志久見	縦帳	墓地 三味場 諏訪社
355	明治10年5月	田畑収穫地価地租一円帳	堺村之内志久見組	横帳	
356	明治10年12月	箕作組志久見組両村總計帳	第二十一大区六小区用掛小山友三郎	縦帳	堺村 總計反別22万336町6反9畝24歩(田154町2反、畑352町5反、宅地16町8反) 林 山林 株野 山柴山 官林 三味場池 庚中塚 温泉場 ほかの反別
357	明治11年1月	金銀出入帳	志久見村桑原重左衛門	横帳	
358	明治11年4月	内済熟談一札之事(上倉四郎左衛門田地、森村広瀬与四郎に質地)	争論人 石沢半右衛門◎、上倉四郎左衛門◎ 立合人4人◎	罫紙	
359	明治12年2月	枝折邑名盡(志久見村案内)	志久見村桑原龜吉持	横半帳	
360	明治12年8月	売渡申山林證文之事	堀切組藤木勝右衛門◎→志久見村桑原重左衛門	罫紙	ほか地所売渡証書1通
361	明治12年	地券	持主桑原重左衛門ほか	状	67枚
362	明治12年	地券	持主倉俣熊治郎ほか	状	
363	明治12年	地券	持主齊藤彦右衛門ほか	状	
364	明治13年1月	萬附込控帳	志久見桑原重右衛門	横帳	
365	明治13年1月	宅地反別地価書抜帳	筆生桑原重左衛門	横帳	
366	明治13年3月	市川村平林 豊郷村野沢 両組より奥山新堰開闢二付対談書	平林組関口銀右衛門◎ 豊郷組久保田伝右衛門◎ 堺村桑原重左衛門◎ほか13名連◎	罫紙	封筒あり、前文に続き6条よりなる合意書、3戸長の奥書き◎あり
367	明治13年6月	当村倉俣熊治郎方へ貸金一件取調帳	堺村ノ内桑原重左衛門	横帳	この(ぬ)か代、水車かり代 の(ぬ)か一袋
368	明治15年9月	宿頼母子廿四番等取立帳	宿桑原重左衛門	横帳	
369	明治16年2月	三ヶ年季質売物証文之事	野口齊藤彦右衛門◎→桑原重左衛門	状	
370	明治17年3月	御願(分離御法則之旨 堺村戸数、人口)	志久見村惣代桑原重右衛門◎ほか→長野縣令大野誠	綴	附「堺村地形図 彩色」
371	明治18年1月	田畑宅地々価帳	筆生小山友三郎	横帳	
372	明治18年	脱漏地取調帳	堺村志久見 願人石沢定吉◎ほか	縦帳	字切図面あり
373	明治19年1月	宿頼母子貳拾八番等取立帳 志久見	宿桑原重左衛門	横帳	
374	明治19年1月	宿頼母子貳拾八番等取立帳 志久見	宿桑原重左衛門	横帳	文久2年6月発起頼母子
375	明治19年3月	定約書証	田地水入人齊藤安右衛門ほか3人、願人齊藤壹右衛門◎ 親類齊藤久右衛門◎ほか連◎→桑原重左衛門	状	田反別4反3畝余 金91円余
376	明治19年10月	金子借用證	借用人石沢孫兵衛◎倉俣熊治郎→桑原重左衛門	状	金11円
377	明治20年1月	日記帳	志久見倉俣氏	横半帳	
378	明治20年4月	内済和談書(長岡士族山口鑑三と石沢三治郎・広瀬安左衛門の事件)	堺村志久見 石沢三治郎◎ 広瀬安左衛門◎ 寄留海津禎悦◎ 御仲裁人桑原重左衛門◎ 小山友三郎◎	状	
379	明治20年8月	謝証状	堺村塩尻組鈴木喜左衛門◎親類6人◎→塩尻組石澤勘左衛門	罫紙	奥書あり
380	明治20年12月	年賦金借用証書	借用人桑原重左衛門◎→魚沼郡芦ヶ崎村大倉熊治	罫紙	
381	明治21年6月	志久見学校新築寄附金取立帳 九月学校新築費取立帳 志久見学校費取立帳	堺村戸長役場 新築委員桑原重左衛門 小山友三郎	横帳	金184円20銭余 関連帳面3冊一括
382	明治21年6月	学校親(ママ) 築人足帳	堺村世話人桑原重左衛門 小山友三郎	横半帳	窓×金54縁余 杉木15本
383	明治22年12月	記(金銭貸付明細覚え)	桑原重左衛門→越後田中魚沼郡上田町津端順造	横帳	

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
384	明治22年2月	地所売渡証書ほか	桑原重左衛門宛て	縦帳	
385	明治25年4月	日本赤十字社々則		縦帳	
386	明治26年3月	用水破損人足扣帳	惣代桑原氏	横帳	
387	明治28年	地理科(指導書)	桑原重一	縦帳	於穂高高等分教場
388	明治29年	生理学物理学(指導書)	桑原姓	書籍	於下高井高等小学校
389	明治30年5月	土地台帳謄本下附申請	桑原富蔵	縦帳	
390	明治30年8月	倫理教科論語抄上巻・下巻	編集者山本信孝	縦帳	二冊
391	明治30年12月	頼母子拾二番等取直帳	弁記石沢定吉 当宿桑原氏	横帳	石澤三治郎殿とある
392	明治31年1月	国文学(国語学)	桑原 生	書籍	
393	明治32年1月	金銭出納帳	堺村桑原重左衛門	横帳	
394	明治33年5月	地(事)業地并抵当地扣帳	桑原要太郎	横半帳	
395	明治33年7月	承諾書	堺村桑原要太郎→株式会社長野農工銀行	縦帳綴	開田反別4町3反余金3150円
396	明治33年12月	農工銀行二還納金其他手数料取立帳	桑原要太郎	横帳	
397	明治34年1月	当組内限り諸上納念納者書抜帳	志久見惣代桑原要太郎	横帳	
398	明治34年3月	御山新堰事件二付、平林野沢掛合帳	境村(ママ)志久見 桑原重左衛門	横半帳	酒一升 豆腐二箱
399	明治34年5月	明治三十四年度村県税前半期取立帳ほか5冊	志久見組惣代	横帳	
400	明治34年5月	明治三十四年度村税第一期取立帳	志久見組惣代桑原要太郎	横帳	
401	明治34年5月	昨明治三十三年度租税地租第六期分徴収簿	総代人桑原	横帳	
402	明治34年6月	飲食物二関スル明細帳		横半帳	醤油 白米 かつ魚節 するめ 油あげ 茶 干瓢 馬鈴薯
403	明治34年6月より	金銭出入明細帳		横半帳	飯山宿泊料 煙草 筆 茶代 わらし 目薬 靴下 缶詰ほか
404	明治34年12月	明治三十四年度村税賦課第四期徴収帳	志久見組桑原要太郎	横帳	
405	明治37年6月	茶買入覚帳	桑原用	横半帳	反古紙再利用
406	明治37年9月	諸税納領収帳	桑原要太郎	横半帳	
407	明治38年8月	葬式香資帳(桑友院悟庵貞心大姉)	桑原要太郎	横帳	俗名おとも80年亡
408	明治39年10月	念書(桑原助三郎 動産不動産家財等)	立会人桑原重左衛門@ほか5人	状	
409	明治40年度	田畑小作及び利米取立帳	当局者桑原要太郎	横帳	
410	明治41年度	金銭出入明細簿		横半帳	俸給1か年分 宿直料1か年分ほか
411	明治42年5月	延期証書	雪坪齊藤浅吉@→志久見桑原要太郎	状	金11円
412	明治42年度	桑葉買入覚		横半帳	夏蚕桑葉買入記
413	明治43年12月	完納証	鈴木文吉@→桑原要太郎		
414	明治44年3月	桑原重左衛門病氣二付見舞帳		折紙	善光寺桃買入 岩魚のりかんづめ 越雪菓子 わかいきのこ たけのこ やまめ なし たまご 鯛味噌漬 鱈
415	明治45年10月	さいぼーしるし(襦袢の裁方ほか)	桑原富と口	横半帳	
416	大正元年8月	養蚕日誌(8月9日~蚕室消毒ほか)	志久見秋蚕共同飼育組合	縦帳	主任桑原ふさ 1日40銭
417	大正4年3月	煙草小売人指定申請書	桑原要太郎@→専売局長官浜口幸雄	縦帳	桑原要太郎(嘉永5年12月生まれ)最近小売人戸数131戸
418	大正元年10月	馬売渡約定書(黒馬1疋55円)	鈴木竹蔵@→桑原要太郎	状	

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
419	大正4年8月ほか	伊勢参宮銭別記入帳(大正4年8月) 桑原重一安産祝儀諸事覚帳(明治13年12月)、芳子出産祝儀品覚帳(明治41年10月)、功出産祝儀帳(昭和12年1月)、融出産諸事記入(昭和6年8月)、父重左衛門病氣見舞受帳(明治44年11月)、二女出産祝儀受領帳(大正4年3月)、釜入覚帳(明治38年8月)、健出産祝儀品覚(昭和4年4月) 重左衛門葬式香資帳(明治45年1月) 重左衛門葬式飯米覚	桑原重左衛門 桑原重一 桑原家 桑原要太郎	横帳	桐箱入り
420	大正4年12月	製糸高及工賃支払簿	志久見桑原ひさほか9人	竖帳	ほか2冊
421	大正5年1月	堺村聯合衛生組合副長認可状	下高井郡長→石澤豊太郎	状	近代種々文書一括19点
422	大正8年1月	修訂實業修身訓巻二	麻布獣医二年 小林詮季	竖帳	
423	大正11年4月	日誌帳(金銭帳)	桑原要太郎	横半帳	
424	大正12年5月	堺村郡道北野・志久見線中未成道路開鑿工事設計書		竖帳	11月末日竣工予定
425	大正12年	堺村郡道雪坪線工事計画説明書		竖帳	関連文書6点添付
426	昭和3年11月	共栄講頼母子第弐番会取立帳	取入人関澤慶造	横帳	断簡一枚のみ
427	昭和4年2月	香資葬式帳(要徳院積善自慶居士)	桑原重一	横帳	俗名要太郎行年78歳
428	昭和4年版	尋常小学理科学習帳第五学年	信濃教育会編 小林春吉用	竖帳	
429	昭和5年	長野県第1区蹄鉄工組合規約		竖帳	
430	昭和6年5月	借用證書(失業救済農山漁村臨時対策資金)	堺村農会長桑原重一→堺村長桑原重一	竖帳	金300円 郵紙
431	昭和6年10月	農事収益記入帳	桑原家	横帳	
432	昭和7年1月	養鶏飼料購入配給帳	志久見支部	横半帳	包米拾袋 高粱武袋 魚粉米珍袋 米糠拾袋 貝殻五俵
433	昭和17年8月	馬事振興補助規定(馬の改良増殖育成利用)	長野県知事永安モ百治	竖帳	桑原印
434	昭和17年12月	国民学校職業指導教科書 高等科第1学年用	桑原詮季	本	文部省検定済み
435	昭和18年5月	堺村青少年団員名簿	青年団員 女子青年団員 分団	竖帳	団則配布のメモあり
436	昭和19年6月	郵便貯金通帳	桑原健	紙	
437	昭和25年	北川冬彦著 詩の話		書籍	
438	昭和29年	水上瀧太郎著 大阪		文庫本	
439	昭和29年	島崎藤村著 破戒		文庫本	
440	昭和29年	暉峻康隆譯註 好色五人女		文庫本	
441	昭和38年	昭和38年度栄村一般会計歳入歳出決算書	栄村長石沢清一→議長中村健策	簿冊	
442	昭和39年	昭和39年度栄村一般会計歳入歳出予算書		簿冊	他10件
443	年不詳(明治大正)	金銭(質売)證文	重左衛門宛て	状	15通
444	年不詳(明治大正)	借用書ほか		状	20通
445	年不詳(明治大正)	約定証券ほか		状	15通
446	年不詳(明治)	高反別書上名寄帳		竖帳	
447	年不詳(明治)	地券再調地順帳 字塩尻居村		横帳	
448	年不詳(明治) 11月	宿頼母子拾番等取立帳	宿桑原重左衛門	横帳	
449	年不詳(明治)	越石分収穫地価寄付帳		横帳	
450	年不詳(明治)	田畑出生米地代金積取調帳	第52区高井郡志久見村	竖帳	
451	年不詳(明治)	日本歴史講義		書籍	包新聞紙明治34年11月
452	年不詳(明治)	地理学講義	講師野口保興述	書籍	
453	年不詳8月(明治)	地検御貸付畑田成可願分		横帳	
454	年不詳(明治カ)	軒別小以×柳在家之控(田畑反別ほか) 塩尻分入ル		横半帳	
455	年不詳(明治カ)	日本略史	記念として桑原君に呈す	和綴本	木版刷り

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
456	年不詳	小学校教員検定受験用講義 教育学之部		縦帳	
457	年不詳	下高井郡堺村村道雪坪線工事計画説明書（志久見川沿岸）		罫紙	
458	年不詳	下高井郡堺村村道雪坪線工事計画説明書（志久見川沿岸）		罫紙	
459	年不詳子10月	記（租税二納金納受取申し候）	志久見組桑原重左衛門⑥→6小区副戸長市川銀右衛門	罫紙	その他45枚一括
460	年不詳	損害評価野帳（農業関係被害申告票）	志久見桑原健	個票封書入	
461	年不詳(明治)	地順収穫調帳（戸別地主反別書上）	第廿吉大区六小区 志久見村改正堺村	縦帳	27冊の内第18号（朱書）、持主名前反別 収穫米 地価金 田畑 山林 秣野 柴山 草野ほか
462	年不詳(明治8年カ)	地順再調野帳（字次通より狐之峯迄）	記入なし	横帳	持主名前 等級 反別 総計反別19町9反余
463	年不詳(明治)	田方地代価地生米代価積付帳	記入なし	縦帳	
464	年不詳	教場筆記(学習帳)	桑原重市	縦帳	
465	年不詳	震洪鑑完（弘化4年善光寺地震 川中島合戦）	著者不明	縦帳	和装本 33丁
466	年不詳	林秀庵所有土地一覧	記入なし	縦帳	堺村役場罫紙使用
467	年不詳	平用水普通水利組合規約（第1条から第39条）	記入なし	縦帳	常盤村役場罫紙使用
468	年不詳	決議書（志久見分教場市川女教員は職務怠慢の故を以て退職勧告実現せざれば同盟休校の措置も）	55名連名	縦帳	
469	年不詳(明治)	表題なし（反別 地価金）	柏尾村 北原新田村 野沢村 重地原村	罫紙	
470	年不詳	記（使い金銭帳 朝鮮へ電報料 森医師へ支払う 蝋燭二箱ほか）		横帳	
471	年不詳(明治11年カ)	覚（宿頼母子関係）		横帳	
472	年不詳(明治)	柳在家 関沢与衛門 金69銭ほか		横帳	帳面の断簡
473	年不詳	国語教授法（小学校教員講本）	桑原氏	縦帳	
474	年不詳	学習資料		綴紙	5枚
475	年不詳	Diary手帳（昭和41年曆つき）		縦帳	子どもの落書きあり
476	年不詳(明治)	借用書(土地名義変更ほか)		状	10通
477	年不詳(明治)	借用書その他		状	18通
478	近現代郵便(以下同じ)	堺村長宛て封書郵便		葉	1通
479	近現代	志久見連絡員宛て封書郵便		葉	1通
480	近現代	齊藤琢郎宛て封書郵便		葉	2通
481	近現代	小野沢素二郎宛て封書郵便		葉	1通
482	近現代	齊藤万蔵宛て封書郵便		葉	1通
483	近現代	石澤太郎宛て封書郵便		葉	1通
484	近現代	桑原技手宛て封書郵便		葉	2通
485	近現代	桑原要太郎宛て封書郵便		葉	1通
486	近現代	桑原重一宛て封書郵便		葉	56通
487	近現代	桑原融宛て封書郵便		葉	1通
488	近現代	志久見尋常小学校宛て封書郵便		葉	1通
489	近現代	阿部武太郎宛て封書郵便		葉	1通
490	近現代	桑原芳子宛て封書郵便		葉	4通
491	近現代	桑原健宛て封書郵便		葉	7通
492	近現代	桑原芳子宛て葉書		葉	3通
493	近現代	桑原健宛て葉書		葉	12通
494	近現代	桑原健宛て葉書	選挙専用	葉	9通
495	近現代	桑原重左衛門宛て葉書		葉	4通
496	近現代	桑原重一宛て葉書		葉	20通
497	近現代	桑原要太郎宛て葉書		葉	5通
498	近現代	関沢菊太郎宛て葉書		葉	1通
499	近現代	依田直一郎宛て葉書		葉	1通

15 桑原章（あきら）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
500	近現代	上田信夫宛て葉書		葉	1通
501	近現代	宛先不詳葉書		葉	1通

令和元年5月30日作

16 桑原れい子家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
1	明治24年3月	大佛殿 景清捕物の場（三枚組）	香朝楼 筆	木版	出版者 小伝馬町三丁目十七番地長谷川国吉
2	明治29年3月20日	標題不詳（三枚組）	周延 筆	木版	東京日本橋区浅草橋隙口町老番地 発行人古橋新之助 彫工銀治郎
3	明治年不詳2月	東京浅草観世音並二公園地煉瓦屋新築繁盛新地遠景之図（三枚組）	栄斉重兵衛 筆 彫工 岡	木版	浅草並木町老番地 画工兼出版人 三浦武明
4	明治29年4月20日	金亀山浅草寺真景（三枚組）	延保 画	木版	東京市浅草区北元町二番地百花堂今井敬太郎
5	明治年不詳3月15日	上野公園地清水堂兩陛下巡遊之図（三枚組）	廣重 画 画工 南紺町二七番地安藤徳兵衛	木版	出版人 南伝馬町二丁目二番地 氏名 欠 価七銭
6	年不詳	蠣壳町（蠣殻町） 水天宮	一景 筆	木版	
7	明治11年5月27日	徳川家康公 本田平八郎	画工 京橋弓町十八番地安藤徳兵衛	木版	出版人 浅草並木町老番地上村清左衛門
8	明治34年1月	東京十二月之内一月 宮城之春	國一 筆	木版	発行者 大阪市西区新町通四丁目七番地清水常蔵
9	明治34年1月	東京十二月之内二月 亀井戸天神 亀井戸梅天	國一 筆	木版	発行者 大阪市西区新町通四丁目七番地清水常蔵
10	明治34年1月	東京十二月之内四月 品川沖之景	國一 筆	木版	発行者 大阪市西区新町通四丁目七番地清水常蔵
11	明治34年1月	東京十二月之内五月 堀切菖蒲之景（二枚）	國一 筆	木版	発行者 大阪市西区新町通四丁目七番地清水常蔵
12	明治34年1月	東京十二月之内七月 両国橋之納涼（二枚）	國一 筆	木版	発行者 大阪市西区新町通四丁目七番地清水常蔵
13	明治34年1月	東京十二月之内八月 新吉原（二枚）	國一 筆	木版	発行者 大阪市西区新町通四丁目七番地清水常蔵
14	明治34年1月	東京十二月之内九月 浅草観音	國一 筆	木版	発行者 大阪市西区新町通四丁目七番地清水常蔵
15	明治34年1月	東京十二月之内十一月 新橋銀座通之景	國一 筆	木版	発行者 なし
16	明治34年1月	東京十二月之内十二月 上野公園雪之景（二枚）	⑨のみ	木版	発行者 なし
17	年不詳	国立公園写真（11枚）	報知新聞社発行	写真	霧島、阿蘇、雲仙、瀬戸内海、大山、吉野熊野、富士、中部山嶽、日光、十和田、阿寒
18	昭和8年1月1日	講談倶楽部新年号付録（絵画）		印刷物	大観ほか4点
19	明治39年3月26日	卒業證書 桑原とり（明治29年3月20日生）	長野県下高井郡村立塚村尋常小学校校長高橋米作⑨→桑原とり	証書	第265号
20	明治45年3月吉日	人夫帳		横半帳	桑原與太郎
21	年不詳	表題不詳		横半帳	釜入 買物
22	年不詳	表題不詳		断簡	
23	年不詳	表題不詳 千字本	持主 長野県下高井郡塚村志久 見桑原氏	折本	法帖間屋 東京大伝馬町二丁目四番地輪香堂杉本 定価三拾銭（一部破損）
24	昭和16年7月	回顧絵葉書及び写真帳 葬儀写真1枚有り 絵葉書帖は国民の熱誠を籠めた恤兵寄付金を以て調製したものである。		帖	昭和16年7月支那事変第四周年記念 陸軍恤兵部（49頁）
25	年不詳	三宝荒神		卷子	
26	明治39年10月	東京凱旋軍歓迎会	歓迎会理事総代 理事 尾崎行雄 同男爵 渋沢栄一 同男爵 千家尊福	横半帳	日露戦没に際し偉勳を奏せられ候事は中すまでもなく無事御凱旋については深く慶賀に堪えざる次第に御座候、本会は特に紀念として銀製「メダル」を贈呈し微意を表し…
27	明治44年9月14日	汁十三人 吉人四十銭アテ 代金五円二十銭、一金九拾弍銭 但明治四拾四年染代 右正に領収申候や	越后国東頸城郡浦田村田麦立本山丑松→下高井郡塚村ノ内志久 見桑原與太郎	封書	志久見絆や一志久見桑原与太郎殿
28	年不詳2月29日	軍事郵便	高品生→満州口口口第362部隊 桑原永寿	葉書	

16 桑原れい子家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
29	明治39年4月1日	日本帝国明治三十七・八年従軍記章之證	賞勲局總裁從二位勲一等子爵大給恒→陸軍輜重輸卒桑原與太郎	賞状	明治三十七八年従軍記章條例により陸軍大臣の奏請を経て明治三十九年三月三十日勅定の従軍記章を授与す
30	明治39年5月16日	感謝状	長野縣凱旋軍人歡迎会乃主長野県知事從四位勲四等大山綱昌®→陸軍輜重輸卒桑原與太郎	状	
31	明治39年4月1日	叙勲	賞勲局總裁從二位勲一等子爵大給恒®→陸軍輜重輸卒桑原與太郎	状	明治三十七八年戦役の功により勲八等白色桐葉章及び金二百円を授け賜ふ
32	明治39年8月23日	訓示 陸軍大臣寺内正毅 戦功賜金の保存利殖方について 明治三十七八年従軍記章を受けたるもの届け出心得 賞勲局 勲章佩用心得 附叙勲者履歴届け出心得 賞勲局 明治二十一年十一月十六日内閣總理大臣伯爵黒田清隆		紙冊状	4部
33	昭和17年・18年	故郷の便里	家人・友人・村の便り・慰問の手紙→満州桑原永寿	手紙綴	
34	年不詳	満州第362部隊衛兵服務計画	司令陸軍兵長桑原永寿®	縦紙	週番下士官服務ケイカク儀陸軍伍長桑原永寿® 11枚
35	年不詳	標題不詳	内容不詳	写真	昭和天皇（若い頃）何かの碑建立か
36	明治12年5月10日	地券 明治八年改正地券	長野縣®→桑原忠左衛門	縦紙	信濃国高井郡堺村五千九百八十八番字味ノ下同国同郡堺村持主桑原忠左衛門以下29枚一耕地壹畝二十五歩地価金五十三銭右検査の上授與之

17 石澤三郎家旧蔵文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
えアA 1	昭和20年~40	県史原稿筆耕翻訳 古文書目録		鋪	
えアA 2	明治6年	新量互蘭表		鋪	
えアA 3	年不詳	(無題)	享保15年 安永2年	横帳	
えアA 4	年不詳	飯山小学校所蔵松平時代飯山城下町図(抄)		鋪	
えアA 5	大正14年	志久見川発電水利に関する件		縦帳	
えアA 6	現代	県史原稿筆耕翻訳 古文書目録		ノート	
えアA 7	近代	志久見神社認可許可等 本殿新築杉材木等			
えアA 8	近世、近代	粟頼母子取立帳 餓死の為の薪割当覚ほか古文書		古文書	封書 書状等36点
えアA 9	近世、近代	古文書一括		古文書	30点
えアA 10	近世、近代	天明三年豊凶歳代記ほか古文書		古文書	36点
えアA 11	明治32年	請取記及び目録綴り2冊		縦帳	
えアA 12	年不詳	調査紀行 野帳3冊		手帳	5点
えアA 13	平成5年		信濃史学会での報告関連資料 市川家系図その他	手書き	18点
えアA 14	年不詳	志久見山越 馬曲峠関係記入図	五万分の一地形図	地図	
えアA 15 1	昭和53年	関沢文書入手経過	津南町赤沢→石澤宛	葉書	
えアA 15 2	弘化3年6月	去巳年貢内金子手形	善右衛門→源右衛門	古文書	
えアA 15 3	明治、大正	柳在家関沢家文書1	炭山人夫運賃覚帳ほか	古文書	5点
えアA 15 4	明治~昭和	柳在家関沢家文書2	万覚帳ほか	古文書	47点
えアA 15 5	明治~昭和	柳在家関沢家文書3	参宮銭別覚帳ほか	古文書	29点
えアA 16	明治2年	乍恐以書付内済御聞濟奉願上候(西大滝村と白鳥村との境論争 野々海水源 越後国菅蒲村より白鳥村への往還道)	立入人平滝村名主ほか→中野御役所		複写
えアA 17	明治22年	無尽「融通講」規約			
えアB 1 1	昭和62年	角川日本地名辞典月報ほか	歴史地名通信		複写
えアB 1 2	現代	栄村公図	925藩地島田家		複写
えアB 1 3	元龜3年	武田信玄朱印状釈文	市川宮内助奉之→神宮寺内井坊		複写
えアB 1 4	現代	福島県昭和村青芋の生産			複写
えアB 1 5	嘉曆4年	尼せんこう讓状	市河文書筆耕翻訳		複写
えアB 1 6	平成5年	元かじや 北とのやしき とのやしき	石澤敏孟撮影		写真 注釈
えアB 1 7	平成5年	慶覚寺 立道 八幡 たて	石澤敏孟撮影		
えアB 1 8	昭和11年	内池館址図	石澤三郎測図		
えアB 1 9	現代	雪坪 大宮 賀志加沢村	石澤三郎写図		
えアB 1 10	現代	志久見25000分の1地形図			
えアB 1 11	文永11年	藤原(中野)仲能訴状関連地図			複写
えアB 1 12	延慶2年	湯山庄(志久見郷)領地変遷表			
えアB 1 13	昭和9年	たて たてじり 池跡 八幡宮跡	注釈 石澤三郎		
えアB 1 14	寿永3年	藤原助広志久見山地頭職下文			複写
えアB 1 15	年不詳	志久見の景観図ほか綴り			複写
えアB 1 16	明治23年	無尽「融通講」規約			
えアB 2	昭和48年	出雲崎ほか五万分の1地形図	柏崎 長岡 柿崎ほか	地図	
えアB 3	年不詳	妙法牧場から栄村の山々を望む	写真パネル		
えアB 4	年不詳	無題	封筒のみ		
えアB 5	年不詳	無題	封筒のみ		
えアB 6	昭和14年	須坂五万分の1地形図		地図	
えアB 7	昭和62年	松之山町地字図		地図	
えアB 8	昭和56年	県別道路地図新潟		地図	
えアB 9	年不詳	無題	封筒のみ		
えアB 10	昭和40年代	戸隠 中野 五万分の一地形図		地図	
えアB 11	昭和6年	戸隠 中野 五万分の一地形図		地図	4枚
えアB 12	昭和28年	秋田県本荘周辺五万分の1地形図	亀田藩領内関係図		7枚
えアB 13	昭和50年	長野県史近世史料編第八巻(一)(二) 標題案草案			2冊
えアB 14	年不詳	四方(三國峠)			中身欠く
えアB 15	昭和47年	柏崎五万分の1地形図	柏崎街道	地図	
えアB 16	年不詳	岩菅山 四方の地形図			中身欠く
えアB 17	昭和52年	信濃国府について	上田坂城2万5000分の1	地図	
えアB 18	昭和14年	長野市全図		地図	
えアB 19	昭和28年	『長野県の地名』調査野帳図		地図	

17 石澤三郎家旧蔵文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
えアB20	昭和47年	新潟県文化財分布地図	新潟県教育委員会	地図	
えアB21	昭和52年	現地調査図	飯山中野の地形図	地図	
えアB22	年不詳	長野県地図	北信地域のみ	地図	
えアB23	年不詳		封筒のみ		
えアB24	昭和6年	市河氏侵入図	苗場山の地形図	地図	
えアB25	年不詳	軽井沢 御代田地形図		地図	
えアB26	昭和12年	長野の地形図		地図	
えアB27	年不詳	岩菅山 四方の地形図		地図	
えアB28	昭和6年	越後湯沢の地形図		地図	
えアB29	昭和6年	越後湯沢の地形図		地図	
えアB30	年不詳	馬曲 志久見 山越え地図	封筒のみ	封	
えアB31	年不詳	拓本其二	桑名川 白山社 西光寺その他	拓本	16点
えアB32	年不詳	拓本其一	林秀庵 福生院(元善町)	拓本	29点
えアB33	年不詳	山浦政先生研究	大法寺三重塔 安楽寺三重塔		3点
えアB34	年不詳	拓本其三	封筒のみ	封	
えアB35	年不詳	越後信濃古代交通図	鹿渡中心		手書き複写
えアB36	昭和6年	小千谷地形図		地図	
えアB37	昭和12年	上田地形図		地図	
えアB38	大正11年	高田東部地形図		地図	
えアB39	年不詳	下高井教育会高水地図	地質図附録		
えアB40	元弘3年	市河文書写真	市河左衛門六郎代甥三郎助恭着到	写真状	
えアB41	元弘3年	市河文書写真	市河左衛門六郎代甥三郎助恭着到	写真状	
えアB42	文永2年	市河文書写真	将軍家政所下文		
えアB43	元弘3年	市河文書写真	市河左衛門六郎代甥三郎助恭着到	写真状	
えアB44	元弘3年	市河文書写真	市河左衛門六郎代甥三郎助恭着到	写真状	
えアB45	(戦国)	市河文書写真	竹俣三河守宛市川新六郎・大熊新 左衛門尉連署	写真	
えアB46	建長4年	市河文書写真	将軍家政所下文	写真	
えアB47	元享元年	市河文書写真	盛房讓状	写真	
えアB48	建長4年	市河文書写真	将軍家政所下文	写真	
えアB49	近世	天保凶作 片貝村佐藤家救米道中 添状	箕作村三左衛門文書	古文書	
えアB50	年不詳	市河文書	活字史料の複写	複写	
えアB51	年不詳	元禄国絵図版本	信濃国北半分	絵図	
えアB52	昭和40年代	長野古代中世研究会日程通知			
えアB53	昭和51年	新潟県地図		地図	
えアB54	年不詳	戸隠 長野 中野 須坂		地図	
えアB55	年不詳		封筒のみ	封	
えアB56	昭和49年	信濃森地形図		地図	
えアB57	年不詳	下水内郡地名地図 附郷村表		地図	
えアB58	年不詳		封筒のみ	封	
えアB59	近代	上下高井 下水内複写地図	封筒あり	地図	
えアB60	近代	飯山市街図 地形図	昭文社	地図	
えアB61	昭和4年	小諸地域地形図		地図	
えアB62	明治44年	飯山地域地形図		地図	
えアB63	昭和12年	草津地域地形図		地図	
えアB64	明治44年	長岡地域地形図		地図	
えアB65	明治44年	高田西部地形図		地図	
えアB66	昭和4年	小諸地形図		地図	
えアB67	昭和12年	上田地形図		地図	
えアB68	昭和27年	日光地形図		地図	
えアB69	近代	山口八幡(慶覚寺古材とされる)		拓本	
えアB70	昭和55年	高崎市地形図	昭文社	地図	
えアB71	昭和7年	四萬地形図		地図	
えアB72	昭和53年	群馬地形図	昭文社	地図	
えアB73			封筒のみ	封	
えアB74	平成6,7年	図説奥信濃の歴史頭書稿	石澤氏宛て書簡あり		
えアB75	明治20年	地理案 アジア・アメリカ・ヨー ロッパ	倉科歌吉	縦半紙	
えアB76	昭和14年	秋津村字図		地図	

17 石澤三郎家旧蔵文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
えアB77	昭和38年	高水地方図		地図	
えアB78		大勲進所蔵「元禄宝永回国勲化記全」回国道順図	志久見通過あり 石澤氏のメモ書きあり	地図	
えアB79	近代	藤原姓市川氏系図		写	
えアB80	昭和51年	長野県大地図		地図	
えアB81			封筒のみ	封	
えアB82	昭和46年	野沢 喜多方 只見 若松 須原 八海山ほか5万分の1地形図		地図	
えアB83	昭和40年代	信濃森 赤沢 松之山 大割野 苗場山ほか地形図		地図	
えアB84	近代	中魚沼郡川西町内 梵字碑拓本		拓本	
えアB85	昭和60年	飯山市文化財地図Ⅱ	訂正表添付	地図	
えアB86	昭和40年代	松之山 苗場山5万分の1地字図	風間(旧姓小田切) 信一君より貰う	地図	
えアB87	昭和20~40年	現地調査 妙高山 戸隠山の地形図	信教	地図	
えアB88	昭和58年	高水地方図		地図	
えアB89	昭和30年代	飯山局 平滝局 里程図	郵政省認可	地図	
えアB90	昭和27年	中野 岩菅山 須坂 草津の地形図	4枚つなぎ	地図	
えアB91	昭和52年	十日町 小千谷 越後湯沢の地形図	3枚つなぎ	地図	
えアB92	戦国	竹俣三河守ほか宛て市川新六郎・大熊新左衛門尉書状写真		写真	
えアB93	戦国	竹俣三河守ほか宛て市川新六郎・大熊新左衛門尉書状写真		写真	
えアB94	戦国	竹俣三河守ほか宛て市川新六郎・大熊新左衛門尉書状写真		写真	
えアB95	戦国	竹俣三河守ほか宛て市川新六郎・大熊新左衛門尉書状写真		写真	
えアB96		令義解の複写		複写	
えアB97	近世 近代	古文書史料写真(覚書 秋山様子書上帳 雪坪山崩れ)	寛永皆済 榮鷹 元和割付 寺社由緒書上 通船 名子證文 人別送状	写真	点数105点
おイ1		国境編並中世文書		綴	
おイ2	昭和57年	原稿作成要項近代	県史刊行会常任参与	綴	
おイ3	明治6年	地券原図	石澤三郎写	綴	国境立合い
おイ4		郷村表 長野市 水内郡 更級郡ほか		綴	
おイ5	昭和54年	文化財保護協会会員名簿	評議員一覧表	冊	
おイ6	昭和58年	中世城郭遺跡総合調査	長野県教育委員会	綴	
おイ7	1年不詳	石澤三郎原稿(本悦和尚 常慶院 鱈口と宮殿 北野神社)		綴	
おイ7	1年不詳	北野神社原稿		手書き	17枚
おイ7	1	北野神社棟札	明治41年下高井郡役所へ上申文書による		
おイ7	1	北野神社棟札	明治41年下高井郡役所へ上申文書による		
おイ7	1	北野神社棟札	明治41年下高井郡役所へ上申文書による		
おイ8	昭和58年	『長野県の中世城館跡』(分布調査報告書)		書籍	別置 図書の部へ
おイ9		史料写真	文書写真148点 非文書写真24点ほか	写真	別置 アルバムへ
き1	近代	屋根葺き手間書上げ		切紙	
き2		屋根葺き手間書上げ		切紙	
き3	明治末~大正初期	むねあげ見舞ほか		折紙	
き4	明治32年	香代帳(藤右衛門77才)		横帳	
き5	弘化2年	普請入用扣	志久見村北野組桑原作左衛門	横帳	
き6	昭和23年	香奠賞受賞帳面(熊蔵77才)		横帳	
き7	明治45年	永楽頼母子第拾六番会取立帳	藤木嘉太郎@	横帳	宿桑原浅吉
き8	文久元年	蛙の歌きき(短歌集)		横半帳	紀州高野山光明院
き9	嘉永4年	実語教 童子教余師		縦帳	東都書肆
き10	明治22年	日記帳		縦半帳	
き11	嘉永5年	奉納 納経帳 西国札所	箕作村枝北野 作右衛門	縦帳	

17 石澤三郎家旧蔵文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
き 12	大正5年	屋根葺き手間書上げ		切紙	断簡
き 13	嘉永3年	家相図(古暦流家相)	稲荷山町 滝沢出雲盛茂花押		
き 14	文化3年	吉凶 日のよし悪し	暦の知識	縦帳	東都書林
D 1		信濃史料正誤表		複写	
D 2	戦国 5月7日	上杉景勝書状写真	栗林肥前守	写真	木島平村長坂家文書
D 3	明治20年代調	社寺書上(下水内郡)	黒坂周平→石澤三郎	複写	
D 4	建武2年	東頸城津南参考史料		原稿用紙	手書き
D 5	昭和60年	上野国府中窪寺	石澤三郎宛て書簡	書簡	
D 6		和鏡二面	津南町加用 大割野七社宮出土	複写	村山一荘氏蔵
D 7	昭和54年	栄村中世城館跡図(19枚)		原図	石澤作成
D 8	昭和31年	堺村と水内村を廃し栄村を設置することについての申請書	堺村長石澤清一①→長野県知事林虎雄		町村合併申請書
D 9	平成8年	神社統合の県知事訓令		原稿用紙	
D 10	不詳	平林文書 志久見神社(史料)		罫紙 墨書	
D 11	昭和61年	栄村公図 字名表		複写	
D 12	昭和51年	城跡調査	石澤三郎調査		
D 13	昭和62年	市川信房書状(昭和61年に発見された文書)	上越市中沢肇→石澤宛書簡 山ノ内町金井喜久一郎→石澤宛書簡	写真 書簡	柿崎町米山寺 佐藤準一氏蔵
D 14	不詳	下水内郡町村別史料見出 信濃史料 長野県史			
D 15	昭和33年~昭和47年	民俗関係参考資料	中野市民間信仰絵像解説 会津郡 桧枝岐村耕古録 豊中市民俗 日 本民家集落博物館民俗	冊子	
D 16	昭和10年頃	市川文書(中野市高錦堂印刷)中野氏・市河氏系図 館跡 地名		冊子 プリント資料	
D 17	不詳	秋山地区民俗(参考書)		封筒	中身なし
D 18	昭和56年	津ま里No.25 No.26	羽倉の銭瓶 年代記目録の覚 妻 有組村名書上	妻	妻有の文化遺産を守る会 季刊誌
D 19	昭和17年	唐木善武著述 埴科金石古銘			埴科教育会
D 20	明治元年	諸藩様御継立人馬書上帳ほか5件	寺石村村役人→小千谷民政局 津南町上郷中沢家文書		原稿用紙手書き
D 21	明治42年	高梨家古文書小集	編輯者仙台市安部定橘	冊子	
D 22	不詳	古文書解説の手引		ノート	
D 23	昭和54年	公民館総会資料		綴	
D 24	昭和10年~昭和62年	堺村人口動態調	各部落別現住人口表	綴	
D 25	不詳	中魚沼郡城館一覧表 附関連氏族系図		綴	妻有城の所在
D 26	昭和58年	津南町史通史編執筆要領		綴	
D 27	天保7年~弘化2年	拾ヶ年御割付	中之条御役所→箕作村名主三左衛門ほか5人	縦帳	善光寺町止宿の折、大地震に被災して本書焼失。再発行
D 28	平成7年	図説奥信濃の歴史執筆要項	郷土出版社→石澤宛	綴	
E 1 1		志久見村史料巻一	志久見村検地帳翻刻	簿冊	手書き
E 1 2		志久見村史料巻二	柳在家関沢源家文書翻刻	簿冊	手書き
E 1 3		志久見村史料巻三	志久見村全地名集 市河文書人名一覧表ほか	簿冊	手書き
E 2 1		地方史資料巻一	志久見村全地名集 羽倉の古銭発掘調査表 昭和10年信濃講座関係資料 市川文書補遺参考 温井長者屋敷の研究ほか	簿冊	手書き
E 2 2		地方史資料巻二	昭和7年栗岩英治先生郷土実地踏査記稿 志久見神社草稿 福原家文書翻刻 秋山研究資料 大井田氏の本拠地その他について 栗岩先生郷土史講演ほか	簿冊	手書き
E 2 3		地方史資料巻三	伊佐早本文祿定納員数目録 善光寺史研究目録ほか	簿冊	手書き

17 石澤三郎家旧蔵文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
E 2 4		地方史資料巻四	市河氏と志久見郷草稿 市川良一氏の葉書と名刺 明治初年志久見名主事件史料 文政8年秋山様子書上帳翻刻 新田郡長楽寺文書翻刻	簿冊	手書き
E 2 5		地方史資料巻五	鷹狩 講演速記—志茂樹「信濃と越後の古道について」ほか	簿冊	手書き
E 2 6		地方史資料巻六	飯山浪士事件 富倉の油田 志久見郷歴史の概観 昭和51年文化財調査並意見書ほか	簿冊	手書き
E 2 7		地方史資料巻七	青倉一里塚調査記録 岩城氏関係資料 森地区の積雪状態グラフほか	簿冊	手書き
E 3		下水内郡史料写真帳	昭和15年中部組合職員会 土器 古文書 城跡 仏像ほか	冊子	手書き
E 4		北信濃史料写真集一	考古遺物 美術品 地図	古文書	アルバム
E 5		北信濃史料写真集二	考古遺物 美術品 地図 小菅関係史料	古文書	アルバム
E 6		市河文書（写真集）	本間美術館収蔵品		アルバム

18 関澤友子家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 1	近世年不詳(幕末)	諸覚帳(信州飯山立始り 幕府歴代代官支配 志久見村名主記 林秀庵記 当社神代記 鮭役御運上 当村御検地帳之覚 御伝馬宿入用 林秀庵大地蔵之始り 鮭川役林役 信州中野町焼失酒株高50石 宮野原村用水不足 雪坪大久保割れ口2丈抜け下り 善光寺如来様勸化通行 天保7年大違作 川尻甚五郎代官通船御目見 若者共祭礼芝居太平記 酒株諸道具 金納石代値段 御鷹場書上 奥信濃困窮事情 上州倉賀野迄陸路四十九里 百姓秣山天明灰砂多く降り当村にても傷寒はやり 天保4年凶作覚 田畑仕付田播き田植え 御樂鷹山名所 信越境之事 御樂鷹山論之事 雪坪観世首屋敷替え 江戸町数家数人別覚 中野御支配高 組合割懸け 金銀之始り 越後御支配替り覚 坪野上堰普請覚 菓種々 芭蕉弟子十哲)		横半帳	A6と関連
A 2		登記済証		状	14通白紙3枚
A 3 1	明治38年11月	借入金證書	関沢幸太郎@	状	
A 3 2	明治36年10月	借入金證書	関沢幸太郎@	状	
A 3 3	明治31年10月	土地売渡証	関沢作左衛門@	状	
A 3 4	明治45年5月	証(貸付金証書)	斉藤琢郎@	状	
A 3 5	明治40年3月	土地売渡証	関沢菊右衛門@	状	
A 3 6	明治13年6月	年賦證書	関沢甚三郎@ほか2人	状	一部分破損箇所有り
A 3 7	明治40年12月	土地売渡証書	関沢菊右衛門@	切紙	
A 3 8	明治30年9月	領収証書	斉藤琢郎@	切紙	2枚
A 3 9	明治31年10月	金子借用證	関沢作左衛門@	状	
A 3 10	明治27年3月	金子借用證	斉藤仁吉@	状	
A 3 11	明治13年6月	差出申一札之事(拙家永続のため證文返却願)	関沢甚三郎@ほか親類→寺石村石沢又一郎	豎帳	
A 4 1	享保元年申極月	売渡申よする売之事(名所中内池)	志久見村よする主新兵衛@ほか2人→同村佐五左衛門	状	
A 4 2	正徳4年午12月	売渡し申しちはた之事(明所うるいしま)	志久見村売主半兵衛@ほか2人→佐五左衛門	状	
A 4 3	享保18年丑極月	売渡し申田畑手形之事(名所柳在家さいの神内坂之上)	志久見村売主又右衛門@ほか3人→同村津右衛門	状	
A 4 4	明治29年9月	金子借用証券(抵当地 薬師堂田七畝余)	関沢甚三郎@→雪坪森川助左衛門	状	
A 4 5	天保7年申極月	売渡田地證文之事(名所 沢田せぎの下田1枚 代金2朱余)	柳在家市左衛門@→同村源右衛門	状	
A 4 6	元文元年辰極月	書入證文之事(名所なめ沢 金一分)	志久見村次郎兵衛@→同村津右衛門	状	
A 4 7	宝暦7年丑極月	売渡し申本畑證文之事(名所つかのうらほか 代金2両1分)	雪坪村善四郎@→志久見村津右衛門	状	
A 4 8	享保18年丑極月	預り申金子之事(金子3両1分余)	志久見村佐次兵衛@→同村津右衛門	状	
A 4 9	寛保2年戌極月	預り申米之事(酒造米164俵 冬酒造仕入米不足仕り借用)	志久見村津右衛門@→越後寺石村又右衛門 奥印名主善八@	状	
A 5	明治4年5月	契約証(博奕禁止)	関沢慶造@ほか6人@	綴じ	
A 6	近世年不詳(幕末)	諸覚帳(信州飯山立始り 幕府歴代代官支配 志久見村名主記 林秀庵記 当社神代記 鮭役御運上 当村御検地帳之覚 御伝馬宿入用 林秀庵大地蔵ほうきょうとつ之始り 鮭川役林役 坪靱見る事 定免切替願書 信州中野町400軒焼失 志久見村の板橋始まり覚 宮野原村用水不足 雪坪高まち下大久保割高 雪坪池の始まり 諏訪大明神当社神代記 御廻状坪改め 御鷹場 御鷹場建札 当村御支配之事(永正7年~) 天保7年大違作 川尻甚五郎代官通船御目見 享和元年若者共祭礼芝居太平記五段目 寛保2年酒株諸道具 寛政10年金納石代値段 寛政3年酒株高50石譲渡し 奥信濃困窮事情 明治14年新堰堀り事)		横帳	A1と関連
A 7 1	昭和51年10月	委嘱書(栄村部落解放審議会委員)	村長市川和雄@→関沢源	状	

18 関澤友子家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 7 2	昭和54年5月	御礼ご挨拶状(人権擁護委員)	長野県人権擁護委員連合会帳丸 山衛ほか→関沢源	状	
A 7 3	昭和49年8月	委嘱書(栄村部落解放審議会委員)	村長市川和雄④→関沢源	状	
A 7 4	昭和49年8月	栄村部落解放審議会条例		印刷紙	
A 8	明治31年1月	十二社勅(勅の貸付約定法記載)	村十七名 堺村字柳在家世話人	横半帳	
A 9 1	元文5年申12月	譲渡し申酒株之事(酒株高10石 古 来より造高)	高井郡寒沢村譲渡主善左衛門 名主三郎右衛門→志久見村津右 衛門	状	下書き 酒造関係
A 9 2	元文5年申12月	譲渡申酒株之事(酒株高拾石 元禄1 0年造高5石 古来より造高)	高井郡寒沢村譲渡主善左衛門④ 名主三郎右衛門④ほか→志久見 村津右衛門	状	酒造関係
A 9 3	元文5年申12月	譲渡申酒株之事(酒株高拾石 元禄1 0年造高5石 古来より造高)	高井郡寒沢村譲渡主善左衛門④ 名主三郎右衛門④ほか→志久見 村津右衛門	状	酒造関係
A 9 4	元文5年申9月	売渡し申酒造道具之事(酒桶並び諸道 具 32品代金17両)	売主高井郡寒沢村九郎兵衛④ほ か→志久見村津右衛門	状	酒造関係
A 10 1	文政7年申2月	未御年貢皆済目録	名主茂左衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 2	文政7年申2月	未御年貢皆済勘定之目録	名主茂左衛門④→七右衛門	切紙	小手形
A 10 3	文政8年酉2月	申御年貢皆済目録	名主茂左衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 4	文政9年戌2月	酉御年貢皆済目録之事	名主茂左衛門④→要四郎	切紙	小手形
A 10 5	文政9年戌2月	酉御年貢皆済目録之事	名主茂左衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 6	文政11年子極月	子御年貢皆済目録之事	名主善右衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 7	天保5年午2月	去巳御年貢皆済目録	名主善右衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 8	天保6年未2月	午御年貢皆済目録	名主善右衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 9	天保9年戌8月	酉御年貢皆済目録	名主善八④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 10	天保10年亥2月	戌御年貢皆済目録	名主善右衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 11	弘化4年未正月	去御年貢皆済目録	名主善右衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 12	嘉永元年申6月	去未御年貢皆済目録	名主善右衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 13	嘉永4年亥2月	去戌御年貢皆済目録	名主善右衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 14	嘉永5年子2月	去亥御年貢皆済目録	名主善右衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 15	嘉永6年丑2月	去子御年貢皆済目録	名主善右衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 16	安政6年未	当未御年貢皆済目録	名主重左衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 17	文久2年戌2月	去酉御年貢皆済目録	名主重左衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 18	文久3年亥2月	去戌御年貢皆済目録	名主重左衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 19	文久4年子2月	亥御年貢皆済目録	名主桑原重左衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 20	明治2年巳3月	去卯御年貢皆済目録	名主善右衛門④→嘉右衛門	切紙	小手形
A 10 21	明治2年巳2月	辰御年貢皆済目録	名主善八④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 22	明治3年午5月	巳御年貢皆済目録	名主善右衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 10 23	明治5年申4月	去未御年貢皆済目録	名主重左衛門④→源右衛門	切紙	小手形
A 11					契約に関する私的資 料のため自宅保管
A 12	明治14年	新堰普請人足帳	世話人関口文六ほか9人	横帳	堰普請
A 13	昭和6年1月	納税帳	関澤	横半帳	
A 14	昭和53年12月	公共事業用資産買取に関する証明書	飯山建設事務所長高倉正雄④→ 関沢源	封書	
A 15 1	元禄15年8月	屋敷借り證文并一札之事(拙者儀越後 魚沼郡割野村出生にて御座候処、近村 の村内十二木村作右衛門二男小重郎女 房と心安く致し、目懸け女房に仕り候 に付、右小重郎を切り殺し申し候に 付、村内は申すに及ばず段々御詮儀に 罷り成り、越後国御構に罷り成り候に 付、是非なく欠落ち仕り、信州志久見 村へ落着き、庄屋・組頭・長百姓衆へ 相頼み当所に罷り在り候…)	志久見村屋敷借主五郎右衛門④ 請人9人連④→佐五左衛門	状	名子証文 元服、烏 帽子子 文書に血痕? あり
A 15 2	延宝4年巳10月	借用申敷地證文之事(名所柳在家2筆 右は拙者義越後国割野新田出生に御座 候所に、貴殿お世話に成られ下され当 村へ落着罷り有候所忝く存じ候<中略 >)名子に少しも相違御座無く候 名 子役として貴殿入用次第に作方は手伝 いに罷り出申すべく候	志久見村家敷借主五郎右衛門④ 請人3人連④→佐五左衛門	状	田高1斗7合 外よ り来る者にて頭字も らい 名子証文
A 15 3	元禄15年8月	借用申屋舗證文之事(近年作方手伝い も仕らず、貴殿御高の内に我侘に堀立 て蔵作り申し候所、殊の外御立腹成ら れ…)	志久見村借り主五郎右衛門 請 人8人→志久見村佐五左衛門		下書き 奥書 中野 御役所宛

18 関澤友子家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 15 4	延宝4年巳10月	借用申敷地證文之事(名所柳在家2筆右は拙者義越後国割野新田出生に御座候所に、貴殿お世話に成られ下され当村へ落着罷り有候所忝く存じ候<中略>)名子に少しも相違御座無候 名子役として貴殿入用次第に作方は手伝いに罷り出申すべく候	志久見村屋敷借主五郎右衛門 請人3人→同村佐五左衛門	状	下書き 名子証文
A 15 5	元禄15年8月	借用申屋敷證文之事(拙者親、元来越後国割野新田村出生にて御座候所に、<中略>近年作方手伝いも仕らず、貴殿御高の内に我仮に堀立て蔵作り申し候所、殊の外御立腹成られ…堀立て蔵敷地此度明け渡し申し候)	志久見村屋敷借主五郎左衛門 請人9人連→同村佐五左衛門	状	田高1斗7合 名所柳在家2筆 15の1,15の3文書と 関澤 名子証文
A 16	大正9年	大正九年稲刈記(岩沢東33束2把 わせ田42束1把ほか)		横半帳	
A 17	昭和13年9月	貨物受取証(引越し荷物5個)	新竹駅前日通新支店→関澤源	切紙	
A 18 1	文政7年申極月	売渡申畑證文之事(名所うるし平畑1枚 代金1両2分)	畑売主柳在家源右衛門 請人2人→志久見村善右衛門	状	7年季
A 18 2	近世年不詳	断簡	志久見村津右衛門→中野御役所	切紙	
A 18 3	寛保2年戌極月	預り申金子之事(金子15両2分余 当冬酒造仕入金並に最上芋代金)	志久見村預り主伴右衛門 ほか2人→越後寺石村又右衛門	状	破損あり 酒造関係 カラムシ代金
A 18 4	享保9年辰12月	預申金子之事(金1両 江戸新金にて)	志久見村の内塩尻預り主市兵衛 請人→志久見村伴右衛門	状	
A 18 5	明治29年5月	土地売渡證券(名所 宇鉢ノ木 山林 反別4畝 代金5円)	売渡人関澤作左衛門 保証人2人→関澤幸太郎	状	證券印紙添付
A 18 6	明治28年7月	金子借用証券(金15円)	関澤喜作 保証人→金子真作	状	郵便
A 18 7	正徳3年巳2月	質置申田地之事(貴様家裏田30刈代金1両1分の質)	志久見村五郎兵衛 請人→佐五左衛門	状	
A 18 8	明治41年3月	土地所有権保存登記申請書(字切欠)	堺村関沢菊右衛門、代人→飯山区裁判所虫生出張所	郵便綴り	
A 18 9	明治4末年極月	有合二相定質売田地證文之事(名所薬師堂下 金4両2分)	質売主源右衛門 請人→重左衛門	状	
A 18 10	天保10年亥5月	頼母子金預り證文之事(金9両3分)	預り人庄左衛門、請人菊右衛門 ほか→頼母子宿柳在家源右衛門	状	
A 18 11	享保18年丑極月	預り申金子之事(金1両2分余)	志久見村市右衛門 ほか→同村津右衛門	状	「御公儀様御上納金にはつみ貴殿へ御無心申し」とある。撫を「はつみ」と読むことが判明。
A 18 12	元禄11年寅3月	質地證文(本田高5斗余 1両 10年季)	庄屋長右衛門 売主兵右衛門 ほか→佐五左衛門	状	前欠
A 18 13	明治31年12月	年賦金借用証(金50円余 発起頼母子)	発起取入人柳在家関沢養作 ほか→関沢甚三郎	状	
A 18 14	享保18年丑12月	預り申金子之事(金1分 御上納金に撫申候に付御無心申上)	志久見村六之丞 ほか→同村津右衛門	状	
A 18 15	嘉永3年戌12月	質地田地證文之事(質代金5両 名所ませ口 稲50束刈)	質売主源右衛門 請人→重左衛門 奥書名主善右衛門	状	
A 18 16	天明3年卯極月	売渡申田地證文之事(代金5両 早稲田3枚 名所柿木ノ境)	志久見村枝郷柳在家 売主庄兵衛 ほか→津右衛門	状	
A 18 17	明治33年12月	記(領収書 金15円)	鈴木竹蔵→関澤甚三郎	状	
A 18 18	享保4年亥12月	預り申金子之事(金1両余 御上納金撫、慥に預り申所)	預り主切懸村半之助 請人ほか連→同村丹右衛門	状	
A 18 19	享保18年丑極月	売渡 [] 田畑手形之事(代金1両 名所坂口かわらほか 5年季)	志久見村売主七郎兵衛 請人→同村津右衛門	状	
A 18 20	享保18年丑極月	預り申金子之事(金1分又右衛門 金1分七郎兵衛 御上納金に撫、只今慥に預申所)	志久見村売主預主又右衛門 七郎兵衛 請人→同村津右衛門	状	
A 19 1	元文3年午極月	売渡申田地手形之事(代金2分余 名所山口之うら 3年季)	売主志久見村次郎兵衛 ほか→同村津右衛門	状	
A 19 2	寛政2年戌12月	売渡申田地證文之事(代金1両2朱田2枚 名所切欠廣み源左衛門蔵之前)	志久見村枝郷柳在家田地売主卯之助 請人→柳在家文六	状	
A 19 3	近世年不詳	売渡畑證文之事(代金1両2分 名所うるし平 畑1枚 7年季)		状	ひかい後欠

18 関澤友子家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 19 4	近世年不詳戊閏4月	覚(年賦金返済)	長瀬甚右衛門→柳在家源右衛門	切紙	
A 19 5	文政9年戊6月	覚(金5両 返済金カ)	長瀬宿清太夫→柳在家源右衛門	状	
A 19 6	近世年不詳	(質売り高等書上)		状	
A 19 7	寛保2年戊4月	売渡申田地證文之事(代金2両3分余 名所口また)	売主志久見村長右衛門@ほか→切懸仲右衛門	状	
A 19 8	享保10年巳極月	売渡シ申質地手形之事(代金2両1分余 名所やくしたう 御公儀様御上納金に撫申に付 4年季)	志久見村売主権兵衛@ほか請人@→佐五左衛門	状	
A 19 9	文化9年申極月	売渡申畑證文之事(名所宮地地下 8年季 代金1分余 御公儀様御上納金に相撫ミ申に付)	柳在家嘉右衛門@請人@→切欠 惣八	状	
A 19 10	享保8年卯3月	売渡シ申質地手形之事(代金1両2分余 名所才のかみ 御公儀様御上納金に撫申に付 5年季)	志久見村売主与左衛門@ほか請人@→佐五左衛門	状	
A 19 11	寛保2年戊4月	売渡し申田地證文之事(代金2両2分 字水桐 7年季)	柳在家嘉右衛門@請人@→箕作村枝長瀬甚右衛門	状	天保4年の売渡證文が添付されている
A 19 12	正徳3年巳11月	売渡申有合田地之事(新田高2斗2筆 名所中内池 代金4両)	売主志久見村治郎左衛門@組頭重左衛門@ほか同村佐五左衛門	状	
A 19 13	享保11年午12月	売渡質地畑之事(代金1両1分 山畑2枚 名所うるい嶋 城ノ平)	志久見村之内切懸売主半之助@請人連@→同村佐五左衛門	状	
A 19 14	宝永2年酉12月	売渡し申田地手形之事(代金1両4枚 名所中内池新田たかす 8年季)	志久見村之内山口売主次右衛門@組頭弥左衛門@ほか請人@→同村佐五左衛門	状	
A 19 15	正徳3年巳12月	質売畑手形之事(代金1分 年季不定 名所うるし平 御公儀様御上納金にはつミ申に付)	志久見村売主兵右衛門@請人連@→同村佐五左衛門	状	
A 19 16	享保18年丑12月	売渡シ申田地證文之事(代金2分余 名所ふすへ 3年季 田地売渡候得共、拙者手作仕候)	志久見村枝切懸売主彦三郎@請人連@→同村津右衛門	状	
A 19 17	享保5年子12月	売渡申質地手形之事(代金2両2分余 本田方3斗7升余 御公儀様御上納金に撫申に付 3年季)	志久見村売主彦三郎@請人連@→同村佐左衛門	状	
A 19 18	宝暦2年申2月	売渡申質地手形之事(代金2両2分余 名所中内池道下 新田高1斗8升余 御公儀様御上納金に撫申に付 3年季)	志久見村売主七右衛門@請人@→同村伴右衛門	状	端裏書「子五月改名主清右衛門@」
A 20	享保4年亥12月	売渡シ申質地手形之事(代金3両1分余 名所やくしたう 御公儀様御上納金に撫 10年季)	志久見村売主権四郎@請人@→佐五左衛門	状	
A 21	寛保2年戊11月	乍恐以書付奉願上候御事(当村長右衛門酒造屋之儀、去酉ノ極月、相対を以拙者借申し候善二相定申し候…)	志久見村名主津右衛門@→中野御役所	状	酒造関係
A 22 1	延享3年寅12月	預り申金子之事(冬酒造仕入金不足 73両只今借用)	志久見村預り主伴右衛門@ほか2人@→越後寺石村又右衛門	状	18の3関連文書 酒造関係
A 22 2	寛保元年酉極月	売渡し申田地手形之事(代金1両 新田2枚 名所とうげの下 御公儀様御上納金に撫申に付 5年季)	志久見村売主市右衛門@請人@→同村津右衛門	状	
A 22 3	文化3年寅7月	田地書入仕り借用證文之事(金5両 名所内池中新田 稲60束かり)	金借主柳在家嘉右衛門@請人連@→同村太右衛門	状	
A 22 4	寛保3年亥8月	質物二相渡田地之事(名所塩尻 質金2両1分 1年季)	志久見村置主次兵衛@請人連@→津右衛門	状	
A 22 5	享保3年戊4月	取合證文之事(熊野権現社田地の儀)	本人新助@同断四郎右衛門@→庄屋長右衛門殿 組頭左五左衛門殿 重左衛門	状	
A 22 6	寛保元年酉11月	売渡し申田地手形之事(代金1分 新田2枚 名所うるし平 ませくち 当酉ノ御上納分撫申 3年季)	志久見村売主多左衛門@請人切かけ村彦三郎@→同村伴右衛門	状	
A 22 7	享保16年	預り申金子之事(金1両1分 御上納金にはつみ申に付)	志久見村預り主市右衛門@ 次郎右衛門@ 長三郎@→伴右衛門	状	破損あり 月記入漏れ
A 22 8	享保15年戊極月	預り申金子之事(金1両2分)	志久見村預り主孫市@ 次郎左衛門@ 七右衛門@→伴右衛門	状	
A 22 9	文政7年申極月	借用申金子證文之事(字薬師堂ほか 180刈 金17両3分余)	志久見村枝柳在家金子借用主源右衛門@ほか→箕作村枝長瀬甚右衛門 名主茂左衛門奥書@	状	

18 関澤友子家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 22 10	享保19年寅4月	預り申金子之事(金2両余 御上納金にはつみ御無心申上ケ 内池新田稲草65束刈)	志久見村預り主吉右衛門◎ほか→伴右衛門	状	
A 22 11	享保13年申12月	売渡シ申地手形之事(代金4両3分 本田高2斗7升余 名所やくしたう9年季)	志久見村売主権四郎◎請人等◎→佐五左衛門	状	
A 23 1	慶応3年卯12月	有郷二相定金子借用證文之事(金2両 名所平口 稲20束刈 御上納金に相撫み)	借用人源右衛門→重左衛門	状	
A 23 2	延享4年卯4月	売渡申畑證文之事(1両3分 名所ひる沢内池坂下 4年季 御上納金に撫み)	売主七右衛門◎ほか請人◎→同村彦兵衛	状	
A 23 3	近世年不詳午正月	覚(寺社 勘定 町の三奉行ほか人名録)		状	
A 23 4	明治22年1月	金子借用利米證(金11円)	柳在家関沢甚三郎◎→金子雄治	罫紙	
A 23 5	明治26年1月	金員借用證(金10円)	柳在家関沢甚三郎◎保証人◎→中魚沼郡谷内村金子雄治	罫紙	
A 23 6	明治42年4月	金子日延証(今以て返金も致さず詫び)	堺村借用人関沢真作◎引受人◎→芦ヶ崎村内字谷内金子政治	罫紙	
A 23 7	明治39年9月	契約證(拙者当分仲間はすし 後年に到り関沢組仲間入り致し度節は)	願人関沢権蔵ほか→関澤組16名	状	
A 23 8	明治33年11月	金子借用証書覚(金15円)	柳在家借用人関沢幸太郎◎保証人◎→志久見村鈴木竹造	状	
A 23 9	明治39年9月	借用書証(金5円 利息1月に1割2分5厘)	借用人関沢寅松◎ほか→関澤幸太郎	状	
A 23 10	明治41年5月	借金証書(金30円 抵当地柳在家田4畝余ほか)	堺村借主柳在家関沢真作◎保障人◎→柳在家関澤幸太郎	状	
A 23 11	明治13年辰6月	差出申一札之事(米金銭借用 預主津右衛門)	借用勘弁願人だれ親類だれ立合人大田安五郎 →寺石村石澤又一郎	罫紙	写し ひな型
A 24 1	享保4年亥12月	預り申金子之事(金2両2分 名所やくしたう 御上納金に撫樋二預り申所)	志久見村預り主伝右衛門◎ほか請人◎→佐五右衛門	状	破損あり
A 24 2	天保3年辰11月	年賦金借用證文之事(金13両 名所下河原河端 十王堂の下)	魚沼郡宮野原村枝小池借用人長兵衛◎ほか請人3人◎→金主志久見村善八ほか3人 庄屋喜三郎奥書◎	状	
A 24 3	安政2年3月	質渡申證文之事(代金1分 名所薬師堂ほか)	金子借主町善八◎請人◎→嘉右衛門	状	
A 24 4	文政6年末極月	有合二相定質売申田地證之事(田畑名所堂の上 堀切口 金8両2分余)	柳在家質売人慶四郎◎請人◎→魚沼郡岡三右衛門 志久見村名主茂左衛門奥書◎	状	
A 24 5	文政3年辰極月	売渡申田地證文之事(代金3分2朱 名所屋敷内 3年季)	田地売主村音右衛門◎請人◎→同村彦左衛門	状	
A 24 6	文化9年申極月	売渡申畑證文之事(代金1分 くぼ巻沢ほか 御公儀様御上納金に相撫申二付)	借主柳在家嘉右衛門◎請人◎→切欠惣助	状	
A 24 7	近世年不詳	質売田地證文之事		状	雛形 破損有り
A 24 8	元文5年申12月	預り申金子之事(金2両 米30俵 御上納金に撫貴殿へ御無心)	志久見村預り主津右衛門◎ほか請人◎→越後寺石村又右衛門	状	破損あり
A 24 9	享保5年子12月	売渡申質地手形之事(代金3両1分 高2斗6升余 御公儀様御上納金に相撫申二付 10年季)	志久見村売主伝右衛門◎ほか請人◎→同村佐五左衛門	状	
A 24 10	寛保2年戌11月	借用申金子之事(金20両 酒造仕入金不足仕酒株諸道具)	志久見村預り主津右衛門◎ほか請人◎→越後寺石村又右衛門	状	酒造関係
A 24 11	享保15年戌極月	米利足二而預り申金子之事(金子1分)	志久見村預り主市右衛門◎ほか請人◎→津右衛門	状	破損あり
A 24 12	享保18年丑極月	売渡シ申田地手形之事(代金2両3分余 本田高1斗8升 名所柳在家内十二年季8年)	志久見村売主七郎兵衛◎請人◎→同村津右衛門	状	
A 24 13	享保3年戌12月	預り申金子之事(金子2分 御年貢金に差詰御無心)	志久見村預り主彦三郎◎ほか請人◎→同村佐五左衛門	状	
A 24 14	享保10年巳12月	売渡シ申質地手形之事(代金1両1分 田高2斗6升余 御公儀様御上納金に相撫申二付 6年季)	志久見村売主勘兵衛 五人組頭ほか◎→同村太右衛門	状	関係者無印

18 関澤友子家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 25 1	文政7年申極月	表題欠(畑売渡し)	柳在家畑売主源右衛門ほか→志久見村善右衛門	状	前欠 関係者無印
A 25 2	天保10年亥5月	頼母子金預り証文之事(金2両2分 違作続き頼母子一同惣休み)	志久見村枝柳在家金子預り人三郎右衛門@ほか請人@→惣代志久見村善八ほか	状	破損あり
A 25 3	宝暦14年申4月	預り申金子之事(金4両余 縮仕入金 燧二預り)	志久見村預り主津右衛門@ほか 請人@→越後寺石村重兵衛	状	縮史料
A 25 4	天保4年巳6月	年賦金借用証文之事(金6両1分 年貢金引負)	柳在家金子借用人庄左衛門@ほか 請人@→金主惣代善八ほか	状	
A 25 5	文化10年酉12月	質売申証文之事(名所中内池 田12枚 金5両)	柳在家売主嘉右衛門@ほか請人@→同村弥右衛門	状	
A 25 6	享保8年卯12月	売渡質地手形之事(代金2両1分余 田畑 上納金二撫 年季6年)	志久見村売主勘兵衛 五人組頭 ほか@→同村佐五左衛門	状	破損有り
A 25 7	明治28年9月	地所書入金子借用証(金20円 抵当地あり)	金子借用人関澤甚三郎@請人@→堺村森川助左衛門	状	
A 25 8	正徳2年辰4月	売渡申質地手形之事(代金1両 高4升4合 但し廿日石新田 御公儀様御上納金二撫 10年季)	志久見村売主五郎右衛門@ほか 請人@→同村佐五左衛門	状	
A 25 9	元文5年申11月	借用申米金之事(金10両 米100俵 但し4斗2升入り 拙者儀酒造取立申すに付書面の米金貴殿へ御無心)	志久見村借人津右衛門@ほか請人 3人庄屋茂左衛門@→越後寺石村又右衛門	状	酒造関係
A 25 10	延享2年丑11月	売渡シ申田地証文之事(代金3分 田高3斗5升 御上納二はつみ申付 3年季)	志久見村売主又四郎@ほか3人 @→同村津右衛門	状	
A 25 11 1	宝永3年戌11月	売渡シ申田地手形之事(代金5両2分 新田高2斗1升余 名所下内池 御上納金拵身くはずみ)10年季)	志久見村売主伝右衛門@ほか4人 @→同村佐五左衛門	状	
A 25 11 2	享保7年寅12月	売渡申質田地手形之事(代金2両2分 名所葦の下 本田高3斗 御公儀様御上納金二撫 5年季)	志久見村売主三九郎@ほか3人 @→同村佐五左衛門	状	
A 25 12	天明5年巳12月	売渡申畑証文之事(代金4両2分 名所切欠ほか 新畑高3升 年々御上納金二撫 7年季)	志久見村枝切欠売主太助@請人 @→柳在家津右衛門	状	
A 25 13	文化5年辰11月	利米等借用申金子之事(金子1両2朱 名所上新田 田地30刈 御公儀様御上納金二撫ミ)	金取主柳在家嘉右衛門@請人@→箕作村枝中野甚右衛門	状	
A 25 14	享保16年亥11月	売渡シ申田畑質入手形之事(代金8両 田高1石2升余 畑高2升 名所柳在家切懸 御公儀様御上納金二撫 9年季)	志久見村売主与兵衛@ほか3人 @→同村佐五左衛門	状	
A 25 15	享保4年亥12月	預り申金子之事(金2両3分 御公儀様御上納金二はずみ 利米として年に米5斗2升ずつ差上)	志久見村預り主市兵衛@ほか2人 @→同村津右衛門	状	虫損あり
A 25 16	享保15年戌極月	預り申金子之事(金3口口 御公儀様御上納金二撫 利米として年に米3斗6升ずつ差上)	志久見村枝塩尻預り主次助@請人 @→同村津右衛門	状	虫損あり
A 26 1	享保18年丑極月	預り申納米(納米2石9升 名所十二神・切欠 御公儀様御上納金具外作心 ち二撫 3年季)	志久見村枝柿在家預り主七郎兵衛@請人@→同村津右衛門	状	
A 26 2	享保19年寅4月	預り申金子之事(金2分余 御公儀様御上納金二撫)	志久見村預り主与左衛門@請人 @→同村津右衛門	状	
A 26 3	天保8年酉12月	田地書入金子借用申証文之事(金7両3分 名所薬師堂 70束刈 4斗2升入り 俵半ずつ毎年上納)	金子借用人柳在家源右衛門@請人 @→長せ甚右衛門	状	
A 26 4	天明4年辰8月	濟口一札之事(寛保3年借用の古証文一件)	柳在家卯之助@長瀬甚右衛門@→浅之丞ほか3人	状	
A 26 5	宝暦8年寅4月	借用申金子之事(金1分余 名所うし久保山畑1枚 御公儀様御上納金二撫 毎年粟3斗稗3斗ずつ上納)	切懸村預り主半次郎@請人@→志久見村津右衛門	状	
A 26 6	享保4年亥11月	預り申金子之事(金2両1分余 名所小坂新田25束刈 御公儀様御上納金二撫)	志久見村預り主半四郎@請人@→志久見村佐五左衛門	状	
A 26 7	延享元年子6月	預り申金子之事(金4両 御公儀様御上納金二撫申二付)	志久見村預り主惣右衛門@請人 @→同村津右衛門	状	
A 26 8	享保13年申12月	預り申金子之事(金5両3分 御公儀様御上納金不足仕り)	柳在家村預り主津右衛門@請人 @→越後寺石村又右衛門	状	

18 関澤友子家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 26 9	享保4年亥11月	預り申金子之事(金1両1分余 名所仲ノ平10束刈 御公儀様御上納金二撫)	志久見村預り主与左衛門@請人 @→志久見村佐五左衛門	状	
A 26 10	享保16年丑12月	預り申金子之事(金1両1分余 名所中内池新田高2斗3升余 御公儀様御上納金二撫ミ)	志久見村預り主与右衛門・請人 →志久見村津右衛門 名主長右衛門奥書@	状	名主以外は無印
A 26 11	享保17年子12月	預り申金子之事(金2分 名所まえ田せぎ下 本田高1斗7升 御公儀様御上納金二撫)	志久見村柳在家七郎兵衛@請人 @→同村長右衛門 津右衛門親事	状	
A 26 12	享保19年寅4月	預り申金子之事(金1両2分 子供大勢にて渡世送るべく様もこれ無く 御公儀様御上納金二撫 居屋敷畔まで残らず)	志久見村預り主七左衛門@請人 ほか@→同村津右衛門	状	
A 26 13	宝暦10年辰4月	預り申金子之事(金10両 名所坂口・中新田 拙者縮仕入金不足に付)	志久見村預り主津右衛門@請人 @→越後寺石村重兵衛	状	縮史料
A 26 14	享保19年寅6月	預り申金子之事(金1両3分余 御公儀様御上納金二はつみ 作夫食に指し詰り)	志久見村預り主与五左衛門@請人 ほか@→同村津右衛門	状	
A 26 15	享保6年丑12月	預り申金子之事(金1両3分余 兵四郎屋敷はた1枚 御公儀様御上納金二撫)	とどめき村預り主長兵衛@請人 @→志久見村佐五左衛門	状	
A 27 1	近世年不詳	川林売渡申證文之事(代金1両 堀切外沢)		状	下書き
A 27 2	文化6年巳2月	差出申一札之事(拙者娘幼少より眼病、盲に罷成、何卒神子仕度、貧乏のため村人の奉加錢を頼りに)	志久見村枝柳在家頼人彦左衛門 @親類@→本家嘉右衛門 親類・長百姓	状	娘盲目
A 27 3	明治16年6月	(林割賦通知)	惣代鈴木庄右衛門→柳在家組惣代関沢甚三郎	状	
A 27 4	近世年不詳	(松平遠江守様御検地帳当時相用申候並同人御領分其後代官)		状	原田清右衛門代官まで
A 27 5	延享4年卯12月	請証文之事(法輪寺宛請証文)	奉公人関沢主計 津軽出羽守内証人中村茂兵衛→法林寺 御役人中	状	下書き
A 27 6	天保8年酉3月	差出申一札之事(越後魚沼騒動に加わらない旨の一札(この度騒動あい起こり大井平村まであい詰め候処、隣村宮野原より度々あい知らせ候えども、私共さようなる儀あい加わり申さず候間…))	組子金左衛門@ほか組子4人連 @→五人組頭源右衛門	状	越後騒動
A 27 7	寛保2年戌8月	覚(水帳2冊受取)	志久見村名主津右衛門→同村組頭又四郎	状	
A 27 8	寛保2年戌8月	志久見村石盛書上(上田15盛 中田13盛 下田11盛ほか)	志久見村名主津右衛門@→中野御役所	状	
A 28 1	近世年不詳辛卯12月	覚(金銭貸分預かり分記載)		切紙	
A 28 2	近世年不詳	葬儀供物(米 蕎麦粉 線香 角茶 浅草のり わら 百文 米 わりはし ぜんまへ 蓮根)	雪坪彦四郎 庄七 村文蔵 直右衛門	折紙	
A 28 3	近世年不詳	記(板数 寸法記載)	柳在家 関沢甚三郎	切紙	
A 28 4	近世年不詳	覚(金銭貸分預かり分記載)	長瀬甚右衛門@→柳在家源右衛門	切紙	
A 28 5	近世年不詳辰12月	覚(縮・かや・牛蒡代金書上げ)	町の菊衛門→上村の源右衛門	切紙	
A 28 6	近世年不詳丑9月	覚(金銭記載)	口口→柳在家源右衛門	切紙	
A 28 7	近世年不詳	覚(金銭記載)	記載なし	切紙	末尾損傷
A 28 8	年不詳	(覚 枚数 寸法記載)	記載なし	切紙	
A 28 9	明治11年10月	記 茅領収書	桑原金右衛門@→関沢源右衛門	切紙	
A 28 10	明治年不詳7月	記 地券関係	用懸り小山友三郎@→関沢源右衛門	切紙	
A 28 11	明治年不詳丑12月	記 金銭受取	油屋庄右衛門→関澤源右衛門	切紙	
A 28 12	年不詳	記 代金書上	(嘉根山)→柳在毛(ママ)源右衛門	切紙	
A 29 1	近世年不詳	證 米代金	飯山あたご町大坂や庄八→柳在家源右衛門	切紙	

18 関澤友子家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 29 2	近世年不詳	記 代金書上 (こんぶ・やきふ・色紙・蠟燭・釘・さとう・上茶・のり)	宮ノ原キ→柳在家村源右衛門	切紙	
A 29 3	慶応4年辰3月	村中取究メ之事 (紛失物諸々有之、村中相談)	源右衛門⑩重左衛門⑩ほか3人連⑩	切紙	
A 29 4	年不詳	覚 (いねの刈り 家の周り やくし堂ほか)	わせ田 記載なし	折紙	
A 29 5	近世年不詳酉7月	覚 (金吉朱 源右衛門ほか16人代金村控)	記載なし	切紙	
A 29 6	近世年不詳	口上 (白紙一束下されたく 朱)	金2分2 三九郎→柳在家源右衛門	切紙	
A 29 7	明治33年5月	受取書 (金40円)	金子政治⑩→関沢甚三郎	切紙	
A 29 8	近世年不詳	覚 (代金書上 金子貸付)	記載なし	折紙	切欠3人の名前あり
A 29 9	宝暦2年申	未御年貢並小物成目録 (高12石7斗4升8合)	名主茂左衛門⑩→佐五左衛門	折紙	佐五左衛門家持ち高 (田8石2斗余 畑2石4斗余 ほか新田分)
A 29 10	近世年不詳	覚 (代金書上 もめん あさ)	小池重右衛門→柳在家源右衛門	切紙	もめん1反で2朱 麻35め150文
A 29 11	近世年不詳酉12月	覚 (代金書上 小作米 御上納並楮仕入れ代金 芋代金ほか)	長瀬甚右衛門⑩→柳在家源右衛門	切紙	
A 29 12	近世年不詳亥10月	覚 (代金)	(嘉根山) →柳在家源右衛門	切紙	
A 30 1	近世年不詳	箸入袋		紙袋	
A 30 2	年不詳	粗品	切欠斎藤若松	状	包み紙
A 30 3	年不詳	和紙		状	文字なし
A 30 4	年不詳	和紙		状	文字なし
A 30 5	年不詳	渋紙		状	文字なし
A 31 1	近世年不詳亥10月	覚 (代金書上 かさ ふさ)	井口→柳在家源右衛門	折紙	
A 31 2	近世年不詳乙未	覚 (代金書上 米 金 楮 小作米)	長瀬甚右衛門⑩→柳在家源右衛門	切紙	(天保6年カ)
A 31 3	近世年不詳未7月	覚 (代金受取書)	善光寺大門町増屋太七⑩→志久見村久七	切紙	
A 31 4	近世年不詳未9月	覚 (代金受取書)	井口→柳在家源右衛門	切紙	
A 31 5	近世年不詳寅12月	覚 (代金書上)	長瀬甚右衛門⑩→柳在家源右衛門	切紙	
A 31 6	近世年不詳未9月	覚 (代金受取書)	井口→柳在家源右衛門	切紙	
A 31 7	近世年不詳戌2月	覚 (代金受取書上)	長瀬甚右衛門→柳在家源右衛門	切紙	
A 31 8	近世年不詳5月	覚 (物品受取書上)	七ヶ巻村丹右衛門→柳在家佐五左衛門 甚三郎	切紙	
A 31 9	嘉永4年亥11月	覚 (貸付金書上 金2両3分)	長瀬甚右衛門⑩→柳在家源右衛門	切紙	
A 31 10	近世年不詳子12月	覚 (米代金ほか貸付書上)	長瀬甚右衛門→柳在家源右衛門	切紙	米2俵丸やへ出す
A 31 11	近世年不詳寅12月	覚 (小作米代金ほか貸付書上)	長瀬甚右衛門→柳在家源右衛門	切紙	
A 31 12	近世年不詳子11月	覚 (代金書上)	田中屋松兵衛→柳在家源右衛門	切紙	
A 31 13	明治年不詳12月	記 代金書上 (田税ほか金1円2銭)	用懸り小山友三郎⑩→関沢源右衛門	切紙	
A 31 14	近世年不詳寅8月	覚 (物品受取書上)	小千谷新八→柳在家源右衛門	切紙	
A 31 15	近世年不詳亥6月	覚 (代金書上)	(嘉根山) →柳在家源右衛門	切紙	
A 31 16	近世年不詳子11月	覚 (代金書上)	井口→柳在家源右衛門	切紙	
A 32 1	近世年不詳	記 (白紙 一束半)	口口→柳在家関沢源右衛門	切紙	断簡 破損あり
A 32 2	近世年不詳卯10月	覚 (代金書上)	田中→柳在家源右衛門	切紙	
A 32 3	近世年不詳	(9月は5日と半日、10月は7日と半日)	記載なし	切紙	
A 32 4	明治年不詳	記 (1円70銭)	村用掛桑原重左衛門⑩→関沢源右衛門	切紙	
A 32 5	近世年不詳亥4月	覚 (借入金額記載)	長瀬甚右衛門→柳在家源右衛門	切紙	
A 32 6	近世年不詳子5月	覚 (借入金額記載)	(嘉根山) →柳在家源右衛門	切紙	
A 32 7	近世年不詳戌4月	覚 (貸付金明細書上)	長瀬甚右衛門→柳在家源右衛門	切紙	
A 32 8	近世年不詳	記 (田税領収書)	用懸所⑩→関沢源右衛門	折紙	

18 関澤友子家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 32 9	近世年不詳	覚（年貢皆済納金）	名主→源右衛門	切紙	
A 32 10	天保15年辰	覚（貸付金明細書上）	長瀬甚右衛門①→柳在家源右衛門	切紙	
A 32 11	近世年不詳未9月	覚（代金明細書上）	い口や→源右衛門	切紙	
A 32 12	近世年不詳	（手紙）	松井左太夫→柳在家組関沢源右衛門	封書	中身なし
A 32 13	近世年不詳戌12月	覚（代金明細書上 成る丈おまけ申し上げ候 当年は肴類高値にてこまり申し候）	記載なし	切紙	
A 32 14	近世年不詳申10月	断簡（当10月御上納並無尽懸金芋かし等有之）	長瀬甚右衛門①→柳在家源右衛門	切紙	
A 33	昭和12年1月	隆信出発貨物覚帳（銭 旗 酒 手拭 毛布 末広）		横帳	（軍事関係 この年から日中戦争）
A 34	明治37年10月	借入金証書（金10円）	芦ヶ崎村谷内関沢幸太郎①→芦ヶ崎村谷内内山虎太郎	状	
A 35	大正14年6月	借入金証書（金257円余）	堺村債務者関沢幸太郎①→堺村宮川権左衛門	状	
A 36	明治42年7月	借入金証書（金30円）	柳在家関澤幸太郎→芦ヶ崎村金子政治	状	
A 37	明治8年5月	賦課令状（明治28年度村税賦課）	堺村長南雲健吉①→関沢幸太郎	状	（地価割 戸別割 建坪割 営業割）
A 38	大正10年9月	借入金証書（金500円）	堺村債務者関沢幸太郎①→堺村宮川権左衛門	状	抵当物件山林
A 39	明治44年12月	通知書（借入金許可 金200円）	株式会社長野農工銀行→堺村関沢幸太郎	状	水内銀行
A 40	大正7年4月	製糸伝習工女契約証（附 就業規則）	下船渡村清水源治郎①→諏訪郡川岸村宮沢今朝信	状	工女清水マツノ
A 41	昭和13年6月	手紙（台湾より戦況報告 突然敵の飛行機が八機襲来、約四十発の爆弾を落ととして…）	台湾日本鉱業竹東油業所関沢源→柳在家関澤幸太郎父上	封書	（軍事関係）
A 42	平成19年11月	手紙（古文書調査のお礼）	白水智→関沢一之進	封書	
A 43	昭和53年4月	納税通知書	栄村長広瀬勝豊→柳在家関澤源	切紙	令書2枚
A 44	昭和54年4月	納税通知書	栄村長広瀬勝豊→柳在家関澤源	切紙	令書2枚
A 45	昭和27年4月	村民税徴税令書 44人分	栄村長斉藤信義→関沢喜三郎殿ほか	切紙	収入役領収印あり
A 46	昭和54年5月	被相続財産管理人認定通知	長野家庭裁判所飯山支部→関沢源	封書	封書のみ中身なし

19 齋藤哲（さとし）家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
1	昭和7年	消耗品請求簿	堺小学校長瀨分教場		
2	昭和12年	朝鮮人に接する心得・卑近なる事項、耐寒訓練実施に於ける衛生上の注意、騎兵中（小）隊命令の一例、小隊の徒歩攻撃計画	尾高師團長ほか	更紙	チョンガーと呼ぶは最も彼等の嫌う所
3	昭和13年4月10日	昭和14年略暦	高島派易書出版	縦帳	裏面傷み多い
4	昭和13年	村税特別戸数割追加賦課額表	堺村	縦帳	ガリ版刷り
5	昭和14年	参考書類綴全、堺村事務報告書（村政概要）、ほか	齋藤書記	縦帳	
6	昭和14年	射撃大会開催通知、帝国在郷軍人会堺分会役員名簿	堺村	更紙	
7	昭和14年	青年学校教練指導員授講計画、帝国在郷軍人会堺村分会決算書	堺村	更紙	
8	昭和14年	召集解除者帰還ノ件通知、勤労奉仕出仕役調査依頼、貴骨奉迎に関する細部の指示（森宮野原駅前）、日の丸行進細部に関する計画（堺学校）、忠魂祭及講演会に関する件	堺村	更紙	志久見～北野間、日の丸行進を行う、長瀬音楽隊
9	昭和14年	昭和拾五年度長野県下高井郡堺村歳入出豫算書、帝国在郷軍人会堺村分会昭和拾五年度歳入出豫算書、昭和十四年度第三次東部防空訓練実施計画書、堺村防空業務書		簿冊	
10	昭和14年	男子青年学校出席成績表、小赤沢分教場出張指導教練予定表、1、2年教練予定表、青年学校体操科教授及訓練要日	堺村	罫紙、更紙	
11	昭和15年	昭和14年度収支決算書、昭和15年度収支決算書	帝国在郷軍人会堺村分会		
12	大正8年2月22日	ツルゲエネフ作 煙	新潮社	書籍	
13	大正14年1月28日	馬事提要	武揚社書店	書籍	
14	昭和4年10月30日	ルソオ 懺悔録	新潮社	書籍	
15	昭和6年12月	縮刷 教練読本	日本国防協会出版部	書籍	
16	昭和7年1月10日	馬事提要	兵用図書株式会社	書籍	
17	昭和8年10月30日	消防関係法令	長野県庁保安課	書籍	
18	昭和9年11月18日	騎兵八書	東京武陽堂書店	書籍	持主：齋藤芳久
19	昭和10年10月1日	青年学校教練科指導書（職員用）	陸軍省徴募課編纂	書籍	
20	昭和11年9月1日	軍隊内務全書	兵用図書株式会社	書籍	持主：齋藤伍長、写真あり
21	昭和12年2月5日	改訂増補 在郷軍人須知	武揚社出版部	書籍	
22	昭和12年7月25日	消防組操典	大日本消防協会発行	書籍	
23	昭和13年1月10日	歩哨斥候教育	琢磨社	書籍	
24	昭和13年1月10日	衛兵勤務必携（北満における衛兵）	川流堂小林又七	書籍	持主：騎兵伍長 齋藤芳久
25	昭和13年2月1日	内務の躰（在郷軍人会に関する事項）	山崎慶一郎著、琢磨社	書籍	
26	昭和13年10月	防空手簿	西部防衛司令部編纂	書籍	
27	昭和14年8月2日	帝国在郷軍人会業務指針全（堺村分会用）	財団法人軍人会館出版部	書籍	
28	昭和15年1月1日	一問一答 新語新問題早わかり キング新年号附録	講談社	書籍	定価80銭
29	年不詳	縮刷 思出の記	徳富徳次郎著	書籍（単行本）	
30	昭和年不詳	文芸春秋オール讀物（袋のみ）		封筒	
31		慰問おもしろ帖 キング新年号附録		書籍	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 1 4	天保3年	板尺坪覚帳、萱請取おほへ、芦刈数代銭附、萱請		横半帳	
A 1 6	文化9年	御親父より讓請候帳田畑實地山林覚帳		横帳	嘉永6年11月まで
A 1 7	天保6年	天保6末年高訳下た調帳	高井郡算作村枝長瀬触役 助右衛門	横帳	
A 1 8 1	文政10年2月	長瀬田畑小前高附帳	高井郡算作村枝長瀬組頭 吉兵衛	横帳	(A-1-8)のこより在中
A 1 8 2	寛政12年	田畑小前高附帳	信州高井郡長瀬組	横帳	
A 1 8 3	寛保2年12月	長瀬田畑小前高附帳	信州高井郡長瀬村組頭 助左衛門	横帳	
A 1 8 4	弘化2年5月	長瀬田畑小前高附帳	高井郡算作村枝長瀬組頭 平三郎	横帳	
A 1 8 5	天保14年9月	長瀬組田畑小前帳写		横帳	
A 1 8 6	安永5年10月	田畑小前高附帳	信州高井郡長瀬組	横帳	
A 1 8 7	安永7年10月	田畑高合覚帳	組頭 多助	横帳	
A 1 8 8	宝暦4年11月	田畑小前高附帳	信州高井郡内長瀬村 吉右衛門	横帳	裏側に「戌の年御年貢取立帳の綴」あり
A 1 8 9	宝暦7年12月	田畑小前高附帳	長瀬村組頭	横帳	
A 1 8 10	天明7年10月	田畑小前高附帳	信州高井郡長瀬組	横帳	
A 1 8 11	安永5年10月2日	田畑小前高附帳	長瀬村組頭	横帳	
A 1 9 1	不詳(近世)	(雑假帳及脱落)		横帳	
A 1 9 2	不詳(近世)年4月	酒おほえ	甚右衛門さま		
A 1 9 3	不詳(近世)	年貢金書き上げ	長瀬組	横帳	
A 1 10	明治5年	信濃国高井郡算作村田方検地帳	算作村の内長瀬持主 甚右衛門	横帳	
A 1 11	明治5年	信濃国高井郡算作村検地帳	算作村内長瀬組	縦帳	
A 1 12	慶安5年3月	信濃国高井郡算作村枝長瀬田方検地帳		縦帳	
A 1 13	慶安5年3月	信濃国高井郡算作村枝長瀬畑方検地帳		縦帳	
A 1 14	天保4年8月	高反別位訳帳	信濃国高井郡算作村名主 三左衛門、他5名→鈴木半十郎、脇野町御役所	縦帳	
A 1 15 1	安永7年3月	信州高井郡長瀬新畑検地足引帳		横帳	(A-1-15-1~5)のこより及び添付メモ在中
A 1 15 2	安永9年9月	長瀬田畑高小前覚帳		横帳	
A 1 15 3	安永7年3月	信州高井郡長瀬新田検地足引覚帳		横帳	
A 1 15 4	安永7年3月	信州高井郡長瀬田方検地足引覚帳		横帳	
A 1 15 5	安永7年3月	信州高井郡長瀬畑方検地足引覚帳		横帳	
A 1 16	明治15年4月7日	当家新築50年に当り繁栄の普物等誌 建屋50年祝献立帳 家作50年祝に付御客 齋藤氏	齋藤甚右衛門代	横帳 横半帳	表題3件ひと綴にまともてあり
A 1 17	嘉永6年正月	北野抱持高取調	長瀬組 甚右衛門分	横半帳	
A 1 18	文政力	田畑別名寄帳		横帳	表題なし
A 1 19	安永9年11月	草高覚帳	長瀬村組頭中	横帳	
A 1 20	文政8年	当新田畑杉林改帳		横帳	
A 1 21	不詳(近世)	十干十二支と病時の食物効用覚		横半帳	
A 1 22 1	寛政12年	鎌通覚帳	長瀬組頭 辰右衛門	横帳	
A 1 22 2	天明4年正月	通り金覚帳(五人組名前書上げ)	長瀬村組頭 市兵衛	横帳	
A 1 23	文政9年	本郷諸勘定向帳写(村入用夫銭)		横帳	三左衛門の所持高、48石6斗9升9合
A 1 24	文政4~5年	中尾一件覚(中尾原の新田堰に関する出入り)		横半帳	
A 1 25 1	文政元年6月	頼母子證文帳		横帳	
A 1 25 2	文政6年5月28日	未春小池仁右衛門殿 宿無尽懸金取立	長瀬組頭 六左衛門	横帳	
A 1 26	安永7年	長瀬村見取書上帳		横帳	
A 1 27	寛保元年	反別改高合之覚	長瀬村 仁右衛門	横帳	
A 1 28	享和3年9月	家普請覚帳	長瀬 甚右衛門	横半帳	
A 1 29	文久4年2月26日	祭礼に付花頭載帳		横帳	
A 1 30 1	近世	初学天元術和解(和算)	長瀬村 齋藤大輔	横帳	
A 1 30 2	文化11年	暦見稿草(和算)	長瀬村 齋藤大輔	横帳	
A 1 31 1	天保11年2月	御年貢三納皆済取立帳	長瀬組頭 兵三郎	横帳	(A-1-31)の東ヒモ在中
A 1 31 2	宝暦4年	田畑高取付帳	長瀬村	横帳	
A 1 31 3	文政8年	文政八酉年より戌亥迄公事に付入用(帳)		横帳	
A 1 31 4	文政8年5月22日	酉春廿七番等取立覚帳	長瀬村宿 金三郎	横帳	借用人の名前あり、無人関係か
A 1 31 5	寛政9年12月	草高取立覚帳	長瀬組頭 甚右衛門	横帳	
A 1 31 6	寛政12年2月	草高取立覚帳	長瀬組頭 辰右衛門	横帳	
A 1 31 7	天保9年2月	酉御年貢三納取立帳	長瀬組頭 甚右衛門	横帳	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 1 31 8	天保10年11月11日	亥御年貢弍納取立帳	長瀬組頭 兵三郎	横帳	
A 1 31 9	天保12年11月2日	丑御年貢弍納取立帳	組頭 久之助	横帳	
A 1 31 10	弘化3年2月9日	己御年貢三納取立帳	長瀬組頭 兵三郎	横帳	
A 1 31 11	安永10年正月	田畑高取付覚帳	長瀬村 齊藤甚右衛門	横帳	
A 1 31 12	安永10年正月	高合米合覚帳	長瀬村 齊藤甚右衛門	横帳	
A 1 31 13	文政9年正月	米高取付覚帳		横帳	
A 1 31 14	寛延2年10月吉日	取付帳之覚(田畑名寄)	長瀬村中	横帳	表紙「宝延」とあるが「寛延」の誤り
B 1	近世	捲り物書画5点		新聞、まくり紙	「御書画」のメモ書き在中
B 7 1	不詳(近世)	秋山絵図		鋪	
B 7 2	不詳(近世)	信越境界絵図		鋪	
B 7 3	不詳(近世)	信越境界絵図		鋪	(B-7-2)の絵図と同様のもの
B 7 4	明治9年5月11~19日	秋山絵図		鋪	裏面に「明治9年5月11より19日迄認め控へ秋山絵図在中」の文言ある
B 7 5	不詳(近世)	絵図面		鋪	山川集落等の記載なし、添付用紙在中「明治9年」は(B-7-4)の関連
B 7 6	安政2年2月	北中(北野・中野)仁手野三組山論一件留書		横半帳	
B 7 7	(嘉永2年)閏4月2日	廻文(高札板)	郡中代会所出掛惣代 → 柏尾村	縦紙	
B 7 8 1	不詳(近世)	御巢鷹山絵図	長瀬村 甚右衛門	鋪	(B-7-8-1)から(B-7-8-4)の御巢鷹山絵図面4枚の入る紙袋同
B 7 8 2	不詳(近世)	御巢鷹山絵図	長瀬村 甚右衛門	鋪	
B 7 8 3	不詳(近世)	御巢鷹山絵図	長瀬村 甚右衛門	鋪	
B 7 8 4	不詳(近世)	御巢鷹山絵図	長瀬村 甚右衛門	鋪	
B 7 9	明治25年1月	家内出入諸事覚書		横半帳	
B 8 1	明治9年2月	田畑山林等売渡し証の事	志久見村常光寺→齊藤甚右衛門	継紙	(B-8)の綴りも在中
B 8 2	天保7年11月	乍恐以書付を御訴訟申上候(前借金返済)	信濃国水内郡内森村訴訟人・名主与右衛門→大原左近 中野御役所	継紙	
B 8 3 1	明治4年3月	和合取極め一書の事(不作にとまなう誓書)		継紙	(B-8-3)の綴りも「証文」×メモ用紙同封
B 8 3 2	慶応4年2月13日	金子拝借証文の事	高井郡箕作村枝分長瀬組触頭→名主 三左衛門	継紙	
B 8 3 3	文化3年5月	年賦金借用申証文の事	不詳→不詳	継紙	
B 8 4 1	天保7年	乍恐返答書奉申上候(前借金返済訴えに対する返答書)	森村百姓 太郎右衛門→大原何(左近) 中野御役所	継紙	(B-8-2関連)「個人、雑、三通」のメモ書き用紙綴りも在
B 8 4 2	天保11年10月26日	和談内済証文の事(馬の盗人事件)	箕作村枝郷大久保村 辰蔵、他3名、越村 角兵衛、嘉兵衛、野沢村 大吉	継紙	
B 8 4 3	寛政12年	家徳(誓)相続並不法取払い出入	信州高井郡箕作村枝郷長瀬組百姓願人 庄七→竹内平右衛門、中野御役所	継紙	
B 9	嘉永3年正月	制書の事(寺子屋)	熊吉、峯太郎、勘ヶ由、柳吉、金作→御預り主 御師匠		
B 10	近代	断簡	不詳→不詳	切紙	不明な綴りも在中(2本)
B 11	近世	皿付き竿秤		その他	甚右衛門主の記名あり
C a 1 1	明治31年6月14日	中央新聞		新聞	志久見越石係争書類(メモ書)
C a 1 2	明治33年1月吉日	大福帳	下高井郡堺村 齋藤幸右衛門 長瀬組	横帳	
C a 1 3	嘉永5年正月	頼母子掛金覚書		横帳	
C a 1 4 1	明治28年3月吉日	屋根普請見舞人足帳	下高井郡堺村長瀬 齋藤幸右衛門	横帳	こよりあり
C a 1 4 2	明治22年8月	長瀬越石総計仕譯(訳)帳	下高井郡堺村志久見組総代 石澤三治郎	横帳	
C a 1 4 3	明治17年8月	本帳より書抜帳 長瀬旦中林秀庵本堂再建入費帳		横帳	
C a 1 4 4	明治14年11月	十王堂建立寄進記	発願人 齊藤甚右衛門→長瀬 中村庄右衛門	横帳	十王堂再建奉加金
C a 1 4 5	明治18年12月17日	不幸献立帳		横帳	
C a 1 4 6	大正9年11月1日	御見舞到来帳	齊藤つる	横帳	
C a 1 4 7	慶応4年5月9日	観室浄光大姉香奠扣簿	齊藤甚右衛門	横帳	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C a 1 4	8 明治16年1月吉日	諸職人并(並)日雇足帳 定例商人衆泊り記		横半帳	
C a 1 4	9 明治21年11月27日	自家用科濁酒源品買入帳	齋藤幸右衛門	横帳	
C a 1 4	10 明治21年12月1日	自家用科濁酒製造仕込帳	齋藤幸右衛門	横半帳	
C a 1 4	11 明治20年10月	学校取替扣		横半帳	
C a 2 1	1 明治29年	熨斗袋(時貸し証書入)	齋藤甚右衛門→白鳥村 小林右膳、齋藤幸右衛門	封筒	熨斗袋の中に8通文書あり
C a 2 1	2 不詳(近代4月11日)	手紙(東京より帰村)	齋藤甚右衛門→小林右膳、齋藤幸右衛門	切紙、封筒、手紙	
C a 2 1	3 不詳(近代)	金銭支払い覚(合計金54円4銭)		切紙	
C a 2 1	4 明治31年12月17日	契約証書(家事勉強ほか)	右契約人 齋藤真三㊟、立会人 南雲謙成㊟、中島喜作㊟→御父兄	縦紙	包紙あり
C a 2 1	5 不詳(近代)	商社事建取立金上納(5,165両)		折紙	
C a 2 1	6 明治17年12月30日	記(海津薬局薬代金請求書)	海津薬局→齋藤幸右衛門	切紙	
C a 2 1	7 不詳(近代)1月2日	手紙(新年のあいさつ)	箕作 嶋田東治郎→齋藤甚右衛門	切紙、封筒	
C a 2 1	8 不詳(近代)12月26日	記(食品書上請求書面)	信州水内郡飯山町 村田屋→齋藤	切紙	
C a 2 1	9 不詳(近代)12月12日	記(食品書上請求書面)	山長→上	切紙	
C a 2 1	10 不詳(近代)	商売往来一通		縦紙	断筒
C a 3 1	明治21年4月3日	米俵取入袋		封筒	封筒の中に13通の書面入(こよりあり)
C a 3 1	1 不詳(近代)	金貳拾円 米臺駄 代金2行	森村 嶋田祐右衛門→長瀬村 甚右衛門	切紙	
C a 3 1	2 不詳(近代)5月24日	記 薬代請求書(受取㊟)	桑原惣吉㊟→齋藤幸右衛門	切紙	
C a 3 1	3 明治23年12月7日	記 宿泊請求書(受取㊟)	宿切欠 齋藤源之丞㊟→齋藤幸右衛門、齋藤六左衛門	切紙	切紙2通
C a 3 1	4 不詳(近代)4月20日	證(金五円受取書㊟)	石塚便来 代印幸雲㊟→齋藤幸右衛門	切紙	
C a 3 1	5 不詳(近代)6月16日	記(金三拾銭他2件請求書、受取㊟)	協和同㊟→齋藤幸右衛門	切紙	
C a 3 1	6 明治21年2月20日	記(請求書、領収)	石澤善作也→齋藤幸右衛門	切紙	
C a 3 1	7 不詳(近代)6月16日	記(請求書㊟)	吉田屋 善右衛門㊟→齋藤幸右衛門	切紙	
C a 3 1	8 明治21年10月27日	記(染代請取書)	志久見 喜作→長瀬 齋藤	折紙	
C a 3 1	9 (明治)7月22日	記(請取書)	長岡 坂井屋平吉→長瀬 齋藤	切紙	
C a 3 1	10 (明治)9月21日	記(請取書)	中条 山口屋磯吉→齋藤	切紙	
C a 3 1	11 (明治)7月27日	記(勘定済書)	齋藤関寿→齋藤幸右衛門	切紙	
C a 3 1	12 (明治)6月20日	記(請取書)	吉田屋 善右衛門㊟→齋藤幸右衛門	切紙	
C a 3 1	13 (明治)7月21日	記(請取書)	山磯屋㊟→長瀬 齋藤幸右衛門	切紙	
C a 4 1	明治19年	明治10年より同20年迄役場より受取り書入	下高井郡堺村戸長役場→齋藤幸右衛門	切紙、封筒	明治19年分36枚、明治20年分32枚、年号記載なし6枚 計74枚、こより3本
C a 5 1	1 嘉永6年9月	当部・笹原より賃入田畑分書上帳	長瀬 甚右衛門	横半帳	紅白こより1本
C a 5 1	2 明治15年1月	中尾新堰扣帳	齋藤氏	横半帳	
C a 5 1	3 明治24年3月	供進講掛金通帳	発起人 小林作之進→齋藤甚右衛門	横半帳	
C a 5 1	4 明治12年5月16日	学校取替帳	齋藤氏	横半帳	
C a 5 1	5 2896	太田安五郎発起頼母子講式拾貳番等取立帳	取人 嶋田傳五郎、島田小十郎	横帳	
C a 6 1	1 明治13年	御煎茶袋		封筒	封書3通、書簡6通、お札1枚他1枚、請取・地券類126枚、こより8本(中味は別封筒で整理)
C a 6 1	2 明治13年	請取並地券類	齋藤甚右衛門	切紙	請取・地券類126枚(こより8本)
C a 6 1	3 明治11年4月15日 ~明治21年4月3日	書簡	市川銀右衛門、宮川権左衛門、宮川幸左衛門→齋藤甚右衛門、齋藤幸右衛門	切紙、便箋	書簡6通

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C a 6 1	4 明治13年4月25日	学校費請取、伊勢朝熊岳お札	青倉村 嶋田庄左衛門→長瀬村 齊藤甚右衛門	切紙、封筒	請取・お札・書筒合計7枚
C a 6 1	5 (明治) 9月9日	借入金お礼文	市川村 小出茂三郎→長瀬組 齊藤幸右衛門	切紙、封筒	
C a 6 1	6 明治19年2月12日	手紙(新年の挨拶と平林村 小出茂三郎借用金返済延ばし願い)	平林村 岸勝次郎→長瀬 鈴木(斎藤) 幸右衛門	封筒	
C a 7 1	1 明治13年	袋(伊勢参宮帳記類入)	齊藤甚右衛門	封筒	横帳2、横半帳2在中
C a 7 1	2 明治13年4月21日	伊勢参宮銭別頂戴帳並に留主見舞頂戴記	齊藤甚右衛門	横帳	
C a 7 1	3 明治13年2月吉日	参宮旅中記	齊藤甚右衛門	横半帳	旅中日記1冊別にある
C a 7 1	4 明治13年2月14日	道中旅泊日記(伊勢、京都、奈良)	齊藤甚右衛門	横半帳	6人の旅
C a 7 1	5 明治13年4月21日	伊勢参宮土産物扣牒	齊藤甚右衛門	横帳	齊藤甚右衛門 辰53歳
C a 8 1	1 (明治)	和紙(末廣 齊藤琢郎)	齊藤琢郎	和紙	合計77資料、こより3本在中
C a 8 1	2 (明治)	白隠禪師著 教訓雀囀説	発行所 貝葉書院	書籍	
C a 8 1	3 明治33年1月	御通	齊藤周壽→齊藤幸右衛門	横半帳	
C a 8 1	4 明治37年3月2日	テシキ水請負契約書、地所賣渡書、地価一覽		切紙	3通
C a 8 1	5 明治34年5月3日	督促状、荒地免租通知書	堺村役場→齊藤琢郎		5通
C a 8 1	6 (明治)	齊藤琢郎宛手紙	中島喜作ほか→齊藤琢郎	封筒	15通
C a 8 1	7 (明治)	齊藤真三宛手紙	堺村 齊藤琢郎ほか→下水内郡飯山機械工業養成所内 齊藤真三	封筒	4通
C a 8 1	8 (明治)	保坂泰次郎宛手紙	→大井平 保坂泰次郎	封筒	他1通計2通
C a 8 1	9 (明治) 3月3日	齊藤琢郎宛葉書	信濃國下水内郡飯山町 金鷲堂→齊藤琢郎	葉書	2通
C a 8 1	10 (明治)	齊藤家宛書簡ほか	→齊藤	切紙	9通
C a 8 1	11 明治33年3月28日	請取、領収書、借用書類	→齊藤琢郎	切紙	36枚
C a 9 1	1 明治年不詳	包紙		包紙	
C a 9 1	2 明治28年1月3日	越石書類		切紙、封筒	2通
C a 9 1	3 安永7年7月	和談内済の事(村堺争論の和談)	高井郡箕作村内月岡組名主 久四郎ほか10名印、志久見村名主 平助、他8名印→東大滝村名主 浅右衛門、他2名	継紙	明治9年の裏書あり
C a 9 1	4	反別の取れ高(字十二沢他10地籍)		折紙	こより綴3枚
C a 9 1	5 明治10年7月7日	越石地の一件	第21大区会處→六小区堺村内長瀬 村吏中	封筒	
C a 9 1	6 明治16年8月	越石ヶ所取調為取替証	志久見村→長瀬村	綴	25枚綴(図面1枚含む)
C a 9 1	7 明治7年11月	為取替申一札之事(越石等4項目)	志久見村8名、箕作村5名、扱人4名書名連印(黒印)、嶋田戸長 奥印(朱印)	継紙	同図一通、字境・川印・道印圖書1通
C a 9 1	8 明治7年10月	反別地代価(志久見村)		綴	4枚(こより綴)
C a 9 1	9 (明治)	御願(踏荒し場所を地券通りにするよう御願)	第21大区6小区 高井郡箕作村の内 長瀬組・北野組→戸長 嶋田東治郎、市川銀右衛門	綴	2枚(こより綴)
C a 9 1	10 明治8年8月25日	借地儀定違約之訴 山論裁判記録	箕作村、志久見村	綴	2冊(各3枚綴、こより綴)
C a 9 1	11 明治7年11月	為取替申一札之事(越石一件)		縦帳	3枚綴、絵図一通添付
C a 9 1	12 明治8年1月	田畑出生米地代金積取調帳	長瀬組	綴	10枚綴(こより2本)
C a 9 1	13 (明治)	地番大絵図(一万分の一)	願人惣代 齊藤琢郎	継紙	
C a 9 1	14 (明治)	絵図(3通)	第21大区六小区 高井郡堺村の内志久見	鋪	論争地表記1通あり
C a 9 1	15 明治7年5月30日	為取替絵図面添書之事(志久見村箕作村界取り交ぜ図)	志久見村戸長 桑原重右衛門他17面連印、箕作村戸長 嶋田儀右衛門、外26名連印、立会人 東大滝村 鈴木浅右衛門、外3名連印	鋪	
C b 1	明治20~33年	領収證、県税、地租、所得税	下高井郡長・堺村長、収入役・その他→齊藤幸右衛門・齊藤琢郎・長瀬組	切紙	合計117枚(詳細別紙)
C b 2	明治	記・覚・受取証(米代金・酒代金・他諸代金等)	齊藤幸右衛門	折紙、切紙、便箋	20枚
C b 3	明治41年1月26日	相續人取定契約	高井郡堺村志久見 養父 廣瀬馬蔵・親戚 廣瀬馬蔵、親戚 鈴木卯之松・廣瀬龜蔵→親分 齊藤幸右衛門	切紙	
C b 4	明治	戸隠神社御籤文			

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C b 5	明治22年1月12日	齋藤幸右衛門宛地方税領収証(4枚)、頼母子講他受(請)取記(10枚)	堺村役場→中村傳三郎	封筒	こより1本
C b 6	明治	近海漁船賃金・直江津漁車時間		葉書	
C b 7	明治22年8月	有限責任 下高井産牛馬会社広告	平穩村 下高井産牛馬会社創立事務所	切紙	
C b 8	明治	所得税調査委員及補闕員選挙投票用紙		切紙	
C b 9	明治35年8月	長野縣衆議院議員選挙の結果		切紙	4枚
C b 10	明治10年	明治10年丑11年寅両年村用掛り亀太郎に限り受取書在中(越石関係他受取記)	齋藤龜太郎・外→齋藤幸右衛門	切紙、封筒	封筒1、切紙26枚、こより1本
C b 11	明治21年9月27日	頼母子講取入袋・宿受請記等・御詫書・金子借用書	頼母子講宿・堺村人→齋藤幸右衛門・琢郎	切紙、封筒	封筒1、切紙37枚、こより3本
C b 12	明治21年5月26日	飯山町 小野沢有通より請取・同町道具屋より請取・同町 義大郎より書類20・堺村費領収書	飯山町 小野沢有通・道具屋・堺村長 小山友三郎→齋藤幸右衛門	切紙、繼紙、封筒	封筒1、切紙・繼紙10枚、こより15本
C b 13	明治	書簡(東大滝村鈴木清右衛門ほか14通)、断簡(2枚)		切紙、繼紙	
C b 14 1	大正6年4月	衆議院議員選挙立候補関連文書(6枚)	上高井郡須坂町 小田切磐太郎→堺村 齋藤幸右衛門	折紙、封筒	
C b 14 2	大正6年4月	衆議院議員選挙立候補関連文書(2枚)	立憲政友會北信支部 筑水政友俱樂部→堺村 齋藤幸右衛門	折紙、封筒	
C b 14 3	明治27年3月18日	衆議院議員選挙立候補関連文書(4枚)	東京市 丸山名政、外1名→下高井郡堺村 齋藤幸右衛門	折紙、封筒	
C b 14 4	明治 年1月31日	年賀の挨拶状、他(4通)	桑原惣吉→長瀬 齋藤幸右衛門	切紙	こより1本
C b 14 5	明治22年6月10日	封筒(2枚)、書簡(2通)、記(7枚)	飯山町 小野澤有通→齋藤幸右衛門		
C b 14 6	明治24年1月24日	時候挨拶状等(4通)	大井平 保坂吉蔵、外3名→堺村 齋藤幸右衛門	折紙、封筒	
C b 14 7	明治	戸隠神社御籤文	高山多膳→齋藤幸右衛門	切紙、封筒	
C b 15	明治	御依頼書(原籍簿送付願、1通)・覚・他(2枚)	東京府 小出茂三郎(平林村)→小出作五左衛門、他4名(平林村)	豎紙、切紙	
C c 1	不詳	目録(出産祝)	倉俣善右衛門	豎紙	
C c 2	明治12年	御租税並に地方税学校費扣	下高井郡堺村之内長瀬 齋藤氏	横帳	
C c 3	弘化4年	乍恐以書付奉願上候(田畑小作米滞出入)	算作村枝郷長瀬 甚右衛門→中野条御役所 川上金吾	繼紙	
C c 4	不詳(近世)	覚(祝物進上目録、2通)	石澤繁吉→齋藤甚右衛門	豎紙	
C c 5	不詳(近世)	茂久録(御祝儀目録)	村山長平→嫁御	折紙	
C c 6	不詳	神札御文(第吉番大吉)	戸隠神社 高山多膳→堺村長瀬 齋藤琢郎	豎紙	
C c 7	不詳	地券帳	不詳	豎帳	
C c 8	不詳	大々御神楽奉奏趣意書(戦捷祈願)	伊勢神宮敬守会本部	豎帳	
C c 9	明治12年1月22日	高祖承陽大師御真影並御絵傳	曹洞宗大本山永平寺	絵図	
C c 10	不詳	俳画(6枚)	不詳	豎紙	
C c 11	明治19年	納金切符(税金)	堺村戸長役場①→齋藤幸右衛門	切紙	
C c 12	明治15年	種々領収証(他、10枚)	堺村戸長 市川銀右衛門①→齋藤甚右衛門	切紙	
C c 13	明治19年	領収証(税金、他9枚)	戸長 森隆英→齋藤幸右衛門	切紙	
C c 14	不詳	記(茅屋根改修材料等記載、その他5枚)	不詳	切紙	
C c 15	明治21年	自家用料酒類製造御届書扣(委任状2枚)	堺村 齋藤幸右衛門①	罫紙	
C c 16	明治22年	自家用料酒濁酒製造仕込帳、自家用料酒酒源品買入帳	堺村387番地 齋藤幸右衛門①	横半帳	
C c 17	明治17年	諸上納金請取通	戸長役場→長瀬 齋藤甚右衛門	横半帳	
C c 18	明治13年	各種領収書一括紙袋在中	戸長役場、他→齋藤幸右衛門	切紙	
C c 19	明治13年	記(受取証、他11枚)	角右衛門→長瀬 齋藤甚右衛門	切紙	
C c 20	明治24年	決算表(金銭貸付・米売渡・他2枚)	不詳→齋藤幸右衛門	折紙	
C c 21	不詳	記(糯米受取)	常慶院①→齋藤甚右衛門	切紙	
C c 22	不詳	手紙(證文請戻願入度)	桑原重左衛門→長瀬 齋藤甚右衛門	折紙	
C c 23	不詳	不詳(当部助左衛門小作米等記載)	不詳	折紙	
C c 24	不詳(近世)	手紙(家屋棟上に付大工御借被下度)	東大滝村 鈴木浅右衛門→長瀬 齋藤甚右衛門	豎紙	
C c 25	明治12年	記(金銭貸付確認、他18)	小瀧 利左衛門→長瀬 齋藤甚右衛門	切紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C c 26	不詳	地所書入に付登記願（地所書入13枚）	下高井郡市川村 代人 野崎折右衛門→下水内郡飯山町 水内銀行頭取 高橋茂右衛門	豎帳	
C c 27	明治31年	委任状（宮沢伊作を代理人に委任す）	下水内郡飯山町 高橋庄作	豎紙	
C c 28	明治31年	差入證（借入金拙者方にて一切責任を以て返済致可候）	不詳	切紙	案文
C c 29	不詳	手紙（金策、銀行借入紹介）	飯山町 高橋正作→齋藤琢郎	繼紙	他一括包新聞紙在中
C c 30	不詳	手紙（入用金之趣差上候間御受取可被下候）	高橋正作→中島屋方 齋藤真蔵	切紙	
C c 31	不詳	手紙（貧生之腕にて貳本の大金無覺束事に御座候）	□□井上→飯山町 高橋庄作	豎紙	
C c 32	明治31年	念証（一金借用仕處確実也）	堺村 齋藤琢郎→飯山町 高橋正作	豎紙	
C c 33	明治31年12月22日	借用証（一金六百円也）	下高井郡堺村 齋藤琢郎	豎紙	他、証文・証・念証 雜形
C c 34	明治31年12月22日	證券（堺村8233番字上ノ田、外85筆）	飯山町 高橋庄作①→齋藤琢郎	豎紙	
C c 35	明治31年12月28日	借入金証文（一金參百円也）	堺村 齋藤琢郎①→飯山町 高橋庄作	豎紙	
C c 36	明治31年11月30日	借入金證書	堺村長瀬 齋藤琢郎→中野貯蓄銀行飯山支店	切紙	写
C c 37	不詳（近代）	記（料理屋支払受取書）	山長①→齋藤信蔵	切紙	
C c 38	不詳（近代）	記（請取書）	住吉屋 富蔵①→高橋	繼切紙	
C c 39	不詳（近代）	記（受取書）	野田屋 文之助①→齋藤新蔵	切紙	
C c 40	不詳（近代）	記（請求書）	きくや→高橋	繼切紙	
C c 41	不詳（近代）	記（請求書）	ふじや①→上	繼切紙	
C c 42	不詳（近代）	記（請求書）	あふぎや（扇屋）→高橋	切紙	
C c 43	不詳（近代）	手紙（御申越之件）	飯山町 株式会社水内銀行→高橋庄蔵	封筒	
C c 44	大正4年3月7日	手紙（依頼状）	小坂順造→齋藤幸右衛門	封筒	
C c 45	不詳	第三十五回議會報告並に立候補の宣言	小坂順造	書籍	
C c 46	不詳	手紙（依頼状）	立憲政友会北信支部→齋藤幸右衛門	切紙	
C c 47	大正4年3月	小坂前代議士再選ノ檄	全国新聞記者同盟会	繼切紙	
C c 48	大正4年2月12日	委任状（愛国婦人会委員）	愛国婦人会長野支部長 力石喜の子→齋藤みつの子	封筒	
C c 49	大正4年3月6日	推選状（衆議院議員候補）	原敬、他6名→齋藤幸右衛門	封筒	
C c 50	不詳	書取（小学読本）	齋藤徳太郎①	豎帳	
C c 51	不詳（近世）	手紙（蚕種、成績不良之由）	蚕興堂 石澤信→関谷	罫紙	
C c 52	明治35年	委任状	齋藤作蔵①→飯山区裁判所虫生出張所	豎紙	
C c 53	不詳	年賦金借用証書	下高井郡堺村 齋藤作蔵①→堺村阿部善蔵	綴	
C c 54	不詳	実習旅行生徒心得（新潟上越方面）	齋藤徳太郎	綴	
C c 55	不詳	手紙（薩摩芋送る様）	妹→姉	切紙	
C c 56	大正5年8月30日	稻種類別栽培面積調査	堺村農会①→組惣代	切紙	
C c 57	大正5年7月28日	明治神宮奉賛献金（名簿）	堺村 小山文弥→長瀬組惣代	罫紙	
C c 58	大正4年10月31日	北信新報		新聞	
C c 59	大正8年1月29日	弔辞	堺村会代表 助役 齋藤萬蔵→齋藤琢郎	豎紙	
C c 60	大正8年1月29日	弔辞	野沢温泉 池田良治→齋藤甚右衛門		宛名は琢郎の誤りか？
C c 61	大正8年1月29日	弔詞	勲七等 齋藤廣吉→齋藤琢郎	繼切紙	
C c 62	大正8年1月29日	弔詞	岳北消防同盟会長 干田齋喜→堺村消防組頭 齋藤琢郎	豎紙	
C c 63	大正8年1月29日	弔詞	堺青年会代表 齋藤殿司→齋藤琢郎	豎紙	
C c 64	大正8年1月29日	弔詞	日本赤十字社下高井郡委員長 武盛仲太→齋藤琢郎	豎紙	
C c 65	大正8年1月29日	弔辞	帝国在郷軍人会堺村分会代表者 桑原友治→齋藤琢郎	豎紙	
C c 66	大正8年1月26日	弔電	野沢温泉村 河野精二→長瀬 齋藤幸一	電報	
C c 67	大正8年1月27日	弔電	野沢温泉村 住吉屋→長瀬 齋藤琢郎	電報	
C c 68	大正8年1月27日	弔電	ツヤマ 清野小満→長瀬 齋藤方 清野徳太郎	電報	
C c 69	大正8年1月26日	弔電	マツヤマ 清野小満→長瀬 齋藤琢郎	電報	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C c 70	大正8年1月27日	弔文	中村岳北通信員 小倉完一郎→長瀬 齋藤幸一	葉書	
C c 71	不詳(近世)	記(頼母子講受取金額収)	宿 箕作 久保田佐七→長瀬村 齋藤甚右衛門	切紙	
C c 72	明治38年	下高井通常郡会日誌		書籍	
C c 73	明治34年10月19日	賞詞(報恩謝徳の御寄附領収証・参拜券)	大本山 永平寺→齋藤幸右衛門	豎紙	他、齋藤ツル分含む
C c 74	明治42年3月25日	修業證書	下高井郡立乙種農林学校長 小林 俊治郎→齋藤幸一	賞状	他9枚、包紙1枚
C c 75	明治24年3月28日	高等小学校卒業證書	下水内高等小学校長 飯尾悺太郎 →齋藤義太郎	賞状	他5枚
C c 76	大正11年3月24日	卒業證書(高等小学校)	堺尋常高等小学校長 池田良治→ 齋藤ひさ	賞状	他14枚
C c 77	明治34年3月31日	修業證書(中学科第貳年級)	長野県長野中学校①→齋藤徳太郎	賞状	他2枚
C c 78	明治45年3月24日	卒業證書(尋常小学校)	村立堺尋常小学校長 高橋米作① →齋藤ミズノ	賞状	他12枚
C c 79	明治39年3月1日	修業證書(農業科稲作法)	堺村農会長 市川寅三①→齋藤幸 右衛門	賞状	他2枚
C c 80	明治43年3月25日	学習證書(尋常小学校)	村立堺尋常小学校長 高橋米作① →齋藤アサノ	賞状	
C c 81	大正9年3月26日	修業證書(男子部本科)	村立堺實業補習学校①→齋藤辰二	賞状	
C c 82	明治31年2月19日	奇特状(衛生費寄附)	長野県知事 権藤貫一①→齋藤琢 郎	賞状	
C c 83	大正7年4月24日	感謝状	愛国婦人会長野県支部長 赤星雪 子①→齋藤みつの子	賞状	
C c 84	明治23年10月30日	教育勅語		継紙	写
C c 85	明治6年10月16日	手紙(来る25日午前9時礼服着用にて登庁可有之)	下高井郡役所①→学務委員 齋藤 甚左(ママ) 衛門	郵便紙	
C c 86	明治27年10月31日	皆勤證(尋常小学校)	堺村立尋常小学校 准訓導 松村 香織→齋藤徳太郎	切紙	12枚
C c 87	明治17年12月	辞職御願(学務委員)	学務委員 齋藤甚右衛門→下高井 郡郡役 松屋重義	豎紙	下書5枚
C c 88	不詳(近世)	賞品・賞状・御給伝	曹洞宗大本山永平寺→齋藤ツル	封筒	封筒のみ
C c 89	明治17年11月	手紙(書面に着次第出所願度)	戸長役場→齋藤甚右衛門	郵便紙	他1通
C c 90	明治30年4月10日	通告書(酒造税法違反)	松本税務管理局長 司税官 磯貝 信行→堺村 齋藤琢郎	綴	
C c 91	明治30年4月16日	指示書(酒造税法違反書類送達費)	中野税務署長 税務属 保田祐一 →堺村 齋藤琢郎	郵便紙	
C c 92	明治30年4月21日	領収書(弁償金)	中野税務署 分任収入官吏 税務 属 涌井侃一→下高井郡堺村 齋 藤琢郎	切紙	他2枚
C c 93	明治17年9月30日	通知書(三十日午前八時、礼服着用 登庁可有様)	堺村戸長役場①→齋藤甚右衛門	豎紙	封筒入れ
C c 94	明治18年1月28 日	請書(学務委員)	齋藤甚右衛門①→長野縣令 木梨 精一郎	豎紙	
C c 95	不詳11年2月6日	選挙人依頼	堺村戸長役場→齋藤甚右衛門	切紙	
C c 96	明治30年3月27 日	御預り證(酒造用具、證拠物件)	堺村 齋藤琢郎①→間税官吏 税 務係 菅沼丈吉・松野周九郎	豎紙	
C c 97	明治14年12月	学校卒業証	公立箕城学校①→齋藤さく	切紙	紙袋入り
C c 98	明治11年6月3日	證(種痘済證)	新潟県大井平村 種痘医 保坂昇 ①→齋藤義太郎	切紙	他4枚
C c 99	明治35年7月29日	謝状(寄附金)	堺村北野神社社務所①→齋藤琢郎	賞状	
C c 100	安政6年7月17日	寄附状之事(中庭敷石料)	菩提所十四代 林秀庵①→長瀬村 齋藤甚右衛門	豎紙	
C c 101	明治19年7月27日	受取証(田舎口拾六歩寄附)	林秀庵①→齋藤幸右衛門	豎紙	
C c 102	明治25年3月31日	修業証(小学簡易科三級)	長瀬簡易小学校訓導 塚田寅治① →齋藤徳太郎	賞状	
C c 103	明治21年3月27日	卒業証(小学簡易科)	堺学校訓導 岡田安太郎①→齋藤 真三	切紙	
C c 104	明治17年11月8日	御請書(学務委員)	堺村 齋藤甚右衛門→長野縣令 大野誠	郵便紙	
C c 105	不詳17年11月7日	手紙(別紙書式に拵へ請書三通差出 し有之度候也)	堺村戸長 河久保角治①→齋藤甚 右衛門	郵便紙	
C c 106	明治17年9月24日	辞令(学務委員)	長野縣→齋藤甚右衛門	豎紙	
C c 107	明治18年1月13日	解任状(学務委員)	長野縣→齋藤甚右衛門	豎紙	
C c 108	明治28年3月16日	承認状(軍資金、献納)	陸軍恤兵監 陸軍騎兵大佐 大蔵 平三→齋藤幸右衛門	豎紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
C c 109	明治27年3月27日	卒業証書（尋常小学校）	堺村立長野尋常小学校 准訓導 松村秀誠→齋藤徳太郎	賞状	他3通
C c 110	明治29年3月27日	修業證書（高等小学校二学年）	下水内郡町村立下水内高等小学校 @→齋藤真造	賞状	他7通
C c 111	不詳	履歴書	堺村 齋藤真三	豎紙	下書
C c 112	明治29年	入学願書	不詳	豎紙	下書
C c 113	明治16年12月10日	卒業証書（小学中等科五級）	下高井郡野沢学校五等訓導 藤岡 大城@→齋藤義太郎	切紙	他3枚
C c 114	明治14年12月	卒業証書（小学十四級）	下高井郡第廿九番小学 公立筑城 学校@→齋藤さく	切紙	他1枚
C c 115	明治22年4月18日	当選証書（村会議員）	堺村選挙掛長 島田三左衛門@→ 齋藤幸右衛門	切紙	他1枚
C c 116	明治22年3月10日	囑託状	長野縣 皇典講究分所→堺村 齋 藤幸右衛門	豎紙	
C c 117	不詳6月24日	手紙（洋服購入被下度願上奉候）	飯山町廣小路 小野澤二テ 齋藤 義太郎→堺村之内長瀬 齋藤幸右 衛門	切紙	他2通（1通封筒のみ）
C c 118	不詳4月2日	手紙（迎之人遣可被下候）	飯山町 小野沢口道→齋藤幸右衛 門	切紙	他1通
C c 119	不詳	手習状（初登山手習教訓書）	不詳	豎紙	
C c 120	不詳（近世）	短冊（和歌）	清河	料紙	他短冊50枚、包装紙2枚
C c 121	不詳（近世）	絵図（秋山）	不詳	豎紙	
C c 122	不詳（近世）	書（和歌）	天村雲命齋正五位下度会 神主 清河@	料紙	
C c 123	不詳（近世）	和歌	不詳	豎紙	
C c 124	不詳（近世）	住宅図面	不詳	継紙	
C c 125	安政2年12月	覚（貸附金）	長瀬 甚右衛門@→寺石村 重兵 衛	切紙	
D a 1 1	不詳（近世）2月29日	手紙（柄の処理に関するもの他2通）	三左衛門→長瀬 甚右衛門、新左 衛門	継切紙	7.11.17番号有り
D a 1 2	明治33年6月5日	金子借用證他4通	堺村 齋藤琢郎@→宮野原村 島 田丈二郎	豎紙	
D a 1 3	明治3年11月	覚（商社発行之積立差加金） 他記 17通	北信会社為替方→箕作村之内長瀬 甚右衛門	切紙	
D a 1 4	不詳（近世）	和合取極メ之事（争論がましき義）	当役 六左衛門	切継紙	下書2枚
D a 1 5	明治4年3月12日	差上申一札之事（雑木立一条に付村 方重立並に小前一同心配相成候）	佐治右衛門→箕作村 由右衛門、 又右衛門	切紙	下書
D a 1 6	明治4年5月5日	中の吉之丞より質入畑（宇天神様上 畑3枚、他山林3枚）	不詳→不詳	切継紙	
D a 1 8	不詳（近世）6月15日	手紙（川浦罷出、漸漸13日罷帰り 貴報迄如此御座候）	保坂吉右衛門→齋藤甚右衛門	切継紙	
D a 1 9	不詳（近世）5月29日	手紙（差入一札名所相違二付）	大井平村 保坂又兵衛→長瀬村 齋藤甚右衛門	切継紙	
D a 1 10	不詳（近世）6月26日	差紙	中野役所@→箕作村長瀬組百姓 惣右衛門、六左衛門、本郷組名主 三左衛門	切紙	
D a 1 12	不詳（近世）6月18日	手紙（私よんどころなき義にて今朝 他行罷候間、追て申上候迄御差控下 されたく）	本郷 三左衛門→長瀬 甚右衛 門、他重立衆中	切紙	
D a 1 13	不詳（近世）5月14日	手紙（場所違の義貴家より先方へ申 送りたく候）	本郷 三左衛門→長瀬 甚右衛門	切紙	
D a 1 14	不詳（近世）2月22日	手紙（日出山、扱の義当月2月20 日限り出可申約束）	本郷 三左衛門→長瀬 甚右衛門	切紙	
D a 1 17	嘉永6年2月24日	手紙（日出山、扱の義2月迄差延願 いたく）	本郷 三左衛門→長瀬 甚右衛門	切継紙	
D a 2 1	1 安政2年2月	内済和熟為取替證文之事（中野組北 野組両組ら志久見村仁ての組山論一 件）	仁て野組惣代 三左衛門@、他2 名、北野組惣代 銀右衛門@、他 2名、中野組惣代 藤左衛門@、 他1名	継紙	包紙上書内済和熟書、甚右衛門様江可申上
D a 2 1	2 文政9年10月	乍恐以書付奉願上候（中野村名主等 悪謀相巧み之事）	郡中村々惣代 赤岩村 半七 牟 礼村 甚兵衛→中野御代官	継紙	端書に「中野御宿にて写す」とあり
D a 2 2	明治9年5月2日	乍恐以書付奉願上候（天代と坪野山 地塚の儀）	箕作村の内三番組伍長 齋藤又右 衛門 代儀人 齋藤新左衛門他1 名→副戸長 湯本平八	豎紙	
D a 2 3	不詳（近世）	用水に関する書状（宮野原村河水堰 入等）	長瀬 甚右衛門→箕作村 島田三 左衛門	継紙	袋入り 下書
D a 2 4	不詳（近世）	差出申一札之事（用水不足に関する もの）	不詳→不詳	継紙	案文
D a 2 5	不詳（近世）	手紙（鍬入れ見合わせの件）	志久見村用掛り 桑原重左衛門→ 長瀬用掛り 齋藤甚右衛門	切紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D a 3 1	明治23年3月30日	土地売渡証	堺村貳百六十七番地 倉俣康①→長瀬 齊藤幸右衛門	豎紙	19通一括束ね
D a 3 2	明治23年9月	耕地小作之証	堺村笹原 関沢吉三①、保証人 関澤栄吉→長瀬 齊藤幸右衛門	豎紙	2枚
D a 3 3	明治23年12月26日	年譜金証書	北野 齊藤栄蔵①→長瀬 齊藤幸右衛門	豎紙	2枚
D a 3 4	明治25年1月27日	地所増金証書	堺村中野組 藤木音松①→長瀬組 齊藤幸右衛門	豎紙	2枚
D a 3 5	明治26年7月9日	御詫証証（間違えて伐木した件）	笹原 関澤吉蔵→長瀬 齊藤幸右衛門	豎紙	
D a 3 6	明治3年12月15日	書入證書之件（米売渡し代金に関すること）	堺村 倉俣康①→同村 齊藤幸右衛門	豎紙	罫線有り
D a 3 7	明治23年12月3日	証書3通（①詫書一札之事②耕地小作證書③杉植付ケ約定證書）	野口常光院 齊藤兵衛①→長瀬村 齊藤幸右衛門	豎紙	包紙にて3通一括
D a 4 1	天保8年12月	金子借用証文之事	箕作村枝笹原 三右衛門①→長瀬 甚右衛門	豎紙	10通一括束
D a 4 2	嘉永5年12月	質入地証文之事	箕作村笹原 市右衛門①→長瀬 甚右衛門	豎紙	3通一括束
D a 4 3	安政5年12月	譲り申田地畑証文之事	箕作村之内 治郎右衛門①→長瀬 甚右衛門	豎紙	3通一括束
D a 4 4	弘化3年3月	田畑小作証文之事	箕作村之内笹原 重左衛門①→長瀬 甚右衛門	豎紙	2通一括束
D a 5 1	天保15年10月21日	質売畑証文之事	中野村 吉之丞①→北野村 善右衛門	豎紙	11通一括束
D a 5 2	万延元年10月22日	金子借用申証文之事	箕作村枝中野 長七①→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D a 5 3	慶応4年12月	譲渡し申杉木林証文之事	箕作村之内中野 吉之丞①→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D a 5 4	明治11年4月	右証文売渡田地江増金願証書之事	下高井郡小第1大区6小区堺村之内中野 藤木慶二郎①→長瀬 齊藤甚右衛門	豎紙	罫紙
D a 6 1	1 文政9年4月	乍恐以口上書奉願候（牢番勤方之儀）	若宮村 孫八、他22ヶ村→御郡中御村々 御名主衆中	繼紙	写
D a 6 1	2 天保8年4月	内済和熟規定為取替証文之事（用水為取替証文）	笹原惣代 五左衛門①→長瀬 甚右衛門	繼紙	
D a 6 2	天明3年	覚（田畑売渡に関するもの）	加用村 源兵衛→加用村 安右衛門	豎紙	D-a-6付箋有り
D a 6 3	天保9年3月6日	禁酒神文之事	箕作村枝長瀬 甚右衛門→大日本神社	豎紙	
D a 6 4	明治3年3月	連印証文帳（惣印金子借用証文）	箕作村之内長瀬組 要左衛門①、外35名→甚右衛門	豎帳	
D a 6 5	明治30年2月28日	書入申念書（堀切藤木多吉詫び証文）	堺村字堀切 齋藤多吉→堺村長瀬 齊藤幸右衛門	豎紙	
D a 7 1	明治26年11月9日	地所売渡証	堺村之内字柳在家 関口三郎右衛門①→長瀬 齊藤幸右衛門	豎紙	他17通
D a 7 2	慶応3年8月	金子借用証文之事	箕作村 政左衛門①→長瀬村 甚右衛門	豎紙	他8通
D a 7 3	明治7年5月	差入申一札之事（地券状と租税諸役に関すること）	箕作村長瀬組組頭 齊藤甚右衛門→右村 倉科健逸	豎紙	
D a 7 4	明治24年4月30日	訴訟証書（杉切りに関すること）	堺村四百三番地 関沢角造①→堺村長瀬組 齊藤幸右衛門	豎紙	他念証1通
D a 7 5	明治28年5月	示談為取替書（境界立会確定に関すること）	一万千四百三十九番地 齊藤長吉①他5名①	豎紙	他3通
D a 8 1	元治元年12月	田地小作証文之事	箕作村当部新田 文左衛門①→箕作村枝長瀬 甚右衛門	豎紙	
D a 8 2	安政5年10月	五ヶ年季質入田地証文之事	箕作之内当部新田 文左衛門①→長瀬 甚右衛門	豎紙	他4通
D a 8 3	嘉永2年12月	金子借用年賦返済証文之事	長瀬新田 新兵衛①→長瀬 甚右衛門	豎紙	他3通
D a 8 4	明治2年7月	七ヶ年季質売畑証文之事	箕作村之内長瀬新田 金左衛門①→長瀬 甚右衛門	豎紙	他6通
D a 9 1	明治2年6月	金子借用証文之事	長瀬 善右衛門①→森村 与右衛門	豎紙	他4通
D a 9 2	明治11年5月14日	記（受取証）	桑原弥五八①→齊藤甚右衛門	豎紙	他1通（切紙）
D a 9 3	明治11年4月31日	為取替証書之事（地券再縄量入用費に関すること）	長瀬 齊藤甚右衛門①、北野組 桑原弥五八①、立会人 齊藤龜太郎①	豎紙	
D a 9 4	天保13年12月	七ヶ年季質売田地証文之事	越後国魚沼郡宮野原村枝小池 喜右衛門→箕作村枝長瀬 甚右衛門	豎紙	写
D a 9 5	1 天保12年12月	売渡申木葉板之事（木ノ葉、板酒や様御渡申候）	木葉売主 太作→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D a 9 5	2 明治9年3月12日	記（各種入用金）		切紙	
D a 10 1	不詳（近世）	手紙（借金のお願ひ）	三つくりむら 友太郎→長瀬 齊藤甚右衛門	切紙	他9通、D-a-10-7の付箋有り

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D a 10 2	明和3年8月13日	覚(一金1兩2分請取)	中村 権左衛門◎他3名◎→長瀬 村 甚右衛門	切紙	他8通
D a 10 3	明治32年2月3日	玄米積預証	下高井郡堺村 斎藤幸右衛門◎→ 下水内郡飯山町 山室友治	豎紙	他1枚
D a 10 8	不詳(近世)4月11日	手紙(柝板運送り日出山村中江御手当被下度)	中沢要次郎、保坂吉右衛門→斎藤 甚右衛門	切紙	他1枚
D a 11 1	安政4年6月	乍恐以書付奉願上候(海岸御備上納金に關すること)	箕作村之内長瀬組 甚右衛門→中野御役所 今川要作	豎紙	控
D a 11 2	元禄14年5月16日	指上申證文之事(宮ノ原村と志久見村との国境の件)	越後国魚沼郡宮ノ原村庄や 長太郎他4名、信濃国高井郡志久見村長右衛門、他4名→松平遠江守御内 川口源五右衛門		写
D a 11 3	慶応元年6月	差上申一札之事(盜賊取締まり触書に對する請書)	不詳→不詳	豎紙	写
D a 11 4	慶応元年5月7日	乍恐以書付奉願上候(金子上納に關すること)	御支配所 水内郡森村百姓 与右衛門	豎紙	下書
D a 11 5	不詳(近世)	熟談内濟為取替證文之事	三ヶ組重立	繼紙	下書
D a 11 6	不詳(近世)11日	被仰渡趣之事(長脇差、鑓、鉄砲の所持等に關すること)	御役所	繼紙	写
D a 11 7	嘉永7年6月	金子借用證文之事	長瀬 甚右衛門◎→箕作村 三左衛門	豎紙	他に借用證文1、譲渡証2、取交証1、その他3
D a 12 1	文政10年7月	差出申一札之事(惣右衛門欠落一件、村へ歸住誓書)	箕作村枝郷長瀬 惣右衛門→本郷名主 三左衛門、他1名	繼紙	写、他4通、包紙1枚有り
D a 12 2	文政8年10月	覚(検地帳並見取帳差上候)	箕作村名主 三左衛門◎→中野御役所	豎紙	
D a 12 3	弘化2年2月	差出申一札之事(古着商渡世一件に付認書)	善右衛門◎→本家 甚右衛門	豎紙	D-a-12-10附箋有り
D a 12 4	1 嘉永5年6月15日	とちの木ばん(板)あつかりをく一札之事(御樂場山木伐採一件)	下日出山 惣佐衛門、惣治右衛門→三つくり(箕作)村名主 三左衛門、すもり衆中	豎紙	
D a 12 4	2 天保13年1月28日	差出申一札之事(中尾川原桐木争論の節入置證文改め一件)	長瀬 三郎右衛門◎→同所 村長中	繼紙	D-a-12-3附箋有り
D a 12 5	正徳4年6月12日	差出申一札之事(土蔵にて失物一件)	長瀬 助左衛門→長瀬惣本家 長命寺	繼紙	写
D a 12 6	安政3年12月	卯御年貢皆濟	本郷名主 三左衛門→長瀬組	繼紙	写
D a 12 7	天保8年12月	差出申一札之事(三右衛門儀印判替)	箕作村内笹原 三右衛門◎→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D a 12 8	慶応2年11月	差出申一札之事(庄右衛門田地質売一件)	長瀬 庄右衛門→同所甚右衛門	豎紙	写、他2通
D a 12 9	嘉永5年閏2月	熟談内濟為取替證文之事(入会地争論一件)	箕作村枝郷北野 銀右衛門、天代甚右衛門→北野 作左衛門、他2名	繼紙	
D a 12 10	明和7年11月	差出申取替せ一札之事(新堰堀用水)	箕作村枝郷笹原 又四郎◎、他6名→長瀬組頭 惣助、他6名	豎紙	
D a 12 11	1 元治元年4月	差上申一札之事(御樂鷹山木伐採一件)	越後魚沼郡赤沢村若者惣代 久左衛門、他3名→箕作村長瀬 巢守役人中	豎紙	下書、写
D a 12 11	2 明治3年7月	乍恐以書付奉願上候(商社基立差加金一件)	高井郡箕作村百姓 甚右衛門◎、他3名→中野御役所	繼紙	下書、他1通
D a 12 12	明治4年3月	取極一札之事(組頭由右衛門、村内の儀は万事名主役相動候事)	本村小前惣代 儀助、他25名	豎紙	写
D a 12 13	明治2年11月	差出申一札之事(月岡人名主長右衛門儀、中野表へ嘆願書一件)	月岡詫人名主 長右衛門、他2名→本村御役人衆中	繼紙	写
D a 12 14	不詳(近世)	差出申取極一札之事(長瀬組長命寺、年貢諸夫銭割合一件)	不詳→不詳	豎紙	下書
D a 12 15	不詳(近世)2月22日	手紙(田地質地證文一件)	幸右衛門→斎藤甚右衛門	豎紙	
D a 13 1	嘉永6年2月9日	米借用三ヶ年賦二返済可申證文之事(米4斗2升入1俵)	当部 重右衛門◎→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D a 13 2	明治4年12月	杉木林地木共證文之事(字加用向半地木、杉4尺廻りより2尺5寸外に細木5、6本、代金1兩3分)	宮野原之内加用 福蔵◎→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D a 13 3	天保2年10月	年賦金借用申證文之事(金4兩2分也、此書入田地50束苅、名所中段)	長瀬年賦借用人 六之丞◎→当所 甚右衛門	豎紙	他2通
D a 13 4	天保9年11月	質売田畑證文之事(代金2兩1分1朱、名所北長瀬田1枚7束苅、家之裏北畑三仕切、他2ヶ所)	箕作村枝郷長瀬田畑売主 大治郎◎→同村 甚右衛門	豎紙	他2通
D a 15 1	天保4年12月	林売渡證文之事(名所中段代金1分2朱也)	箕作村枝郷北野組之内当部 忠右衛門◎→長瀬 甚右衛門	豎紙	他売渡証文等4通
D a 15 2	文化6年11月	借用申金子證文之事(一金1兩2朱、書入名所さ以乃神畑5枚、宮上小畑1枚)	当部村 仙左衛門◎→長瀬村甚右衛門	豎紙	他借用金子証文等19通
D a 15 3	嘉永3年3月	替地頼入一札之事(長三郎家之下田1枚稻10束苅)	箕作村之内当部 長三郎◎→長瀬 甚右衛門	豎紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D a 15 4	明治12年1月	増金證書之事 (一金120円50銭)	箕作村当部 藤木貞之助①→長瀬組 齊藤甚右衛門	豎紙	
D a 15 5	天保14年2月	小作證文之事 (3口×稻529束苅名所字才ノ神田1枚他4枚)	当部 金右衛門①→長瀬 甚右衛門	豎紙	他2通
D a 15 6	嘉永3年12月	五年季二質入田地證文之事 (代金15両也 名所字重右衛門家之上田1枚他4枚稻110束苅)	当別 甚右衛門①→長瀬 甚右衛門	繼紙	他質地証文等22通
D a 16 1	明治25年3月1日	和合定約證 (家督相続の件)	戸主 齊藤弥左衛門①、他9名→齊藤幸右衛門	繼紙	
D a 16 2	明治36年4月24日	年賦返済借用証書 (一金27円也)	連帯借主 齊藤達九①、他1名→齊藤幸右衛門	豎紙	他1通
D a 16 3	不詳 (近世) 4月13日	御印書 (金1朱仏殿江差上候、鳥目30銅)	奥老女→信州長瀬 甚左衛門	豎紙	写
D a 16 4	文久3年5月	永代万度料證文 (金1両也)	御師 松井左大夫①→齊藤甚右衛門	豎紙	他請取書1枚
D a 16 5	明治18年8月5日	質地証書 (金50円也、質地名所、字峯)	長瀬 齊藤甚右衛門→白鳥 小林 三郎兵衛	綴	扣
D a 16 6	慶応元年5月7日	断簡 (中野御役所組合16ヶ村年貢割附)	不詳→不詳	切紙	写、他切紙代官名記載有り、他年貢割附一部有り 他2通
D a 16 7	明治25年1月9日	地所売渡證券 (字中田反別3畝13歩、他3口、代金27円95銭)	堺村388番地 齊藤勇吉①→同村387番地 齊藤幸右衛門	豎紙	
D a 16 8	明治29年5月5日	返済証書 (一金87円9銭)	堺村389番地 齊藤亀太郎①→齊藤幸右衛門	綴	
D a 16 9	明治31年1月	誓約書 (一層勉強御奉公申上候)	長瀬 齊藤為吉①→齊藤幸右衛門	豎紙	
D a 16 10	明治31年1月19日	借用証 (一金2円也、玄米1俵也)	笹原 関沢庄右衛門①→齊藤幸右衛門	豎紙	
D a 16 11	明治31年7月2日	収領證 (金1円也)	白鳥大勧進寺建築世話人 半藤彦三郎①→長瀬 齊藤幸右衛門	豎紙	
D a 16 12	明治22年12月12日	恩文書 (借入金申入れ御さき済之処ありがたく奉存候)	当村 齊藤利右衛門→齊藤幸右衛門	罫紙	
D a 16 13	不詳 (近世)	断簡 (惣右衛門身持不宜酒狂喧嘩口論好我振申居候)	不詳→不詳	豎紙	下書
D a 17 1	明治4年4月	七ヶ年季質売田地證文之事 (此代金1両2分也、字長瀬新田金左衛門家之東向之新畑)	長瀬新田九治郎跡式 金左衛門①→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D a 17 2	明治19年10月	年賦金借用証券 (一金10圓)	堺村野口 齊藤兵衛①→長瀬 齊藤幸右衛門	豎紙	他常光院の証文1通
D a 17 3	明治19年7月28日	年々小作米約定証券 (田地408束苅、此小作苅4石2斗3升)	堺村長瀬新田組 中村甚右衛門①→同村長瀬組 齊藤幸右衛門	豎紙	
D a 17 4	明治20年1月	差入申一札之事 (小作致候については毎年粟1斗5升急度相渡可申)	拙村 (長瀬村野口) 齊藤兵衛①→齊藤幸右衛門	豎紙	
D a 17 5	明治19年5月1日	小作證文 (作得米7俵其割合を以て籾5石8斗相納可申候)	小作人 堀切 藤木多吉①→齊藤幸右衛門	豎紙	
D a 17 6	明治19年2月	恩文証一札 (甚右衛門儀、金、石、共御勘弁に相成候)	長瀬新田 中村甚右衛門①→長瀬 齊藤幸右衛門	豎紙	
D a 17 7	明治20年1月14日	賣渡證 (畑、原野、字狐峯、代金291円7銭2里)	堺村 藤木太吉①→齊藤幸右衛門	豎紙	他4通
D a 17 8	明治19年7月24日	公証願 (字長瀬17002番 畑4歩地代金1円)	齊藤幸右衛門→堺村戸長 森隆英	罫紙	写
D a 18 6 1	安永5年7月	借用申金子之事 (一金11両錢500文也)	長瀬村 与市①→当村 甚右衛門	豎紙	他11通
D a 18 6 2	弘化4年10月	10ヶ年季質入田地證文之事 (田高1斗3升3合、畑高2斗5升7合、此地代金10両也)	箕作村枝当部 徳蔵①→長瀬 甚右衛門	豎紙	他1通
D a 18 6 3	宝曆5年12月	三年季に相定申質売田畑證文之事 (志地代金3両3分也)	売主 吉右衛門①→当村 仁右衛門	豎紙	他23通
D a 18 6 4	安永4年10月21日	売渡し申地林證文之事 (名所ながだ道より上杉木かりほしは午道よりはぶち迄、地代金2両1分也)	当村 与一→当村 甚右衛門	豎紙	
D a 18 6 5	天明6年12月	売渡中田地證文之事 (本田高1斗8升、名所下川原田1枚他4ヶ所、地代金11両2朱也)	当村売主 小右衛門①→当村 甚右衛門	豎紙	他11通
D a 18 6 6	嘉永7年10月	質地添證文之事 (稻9束刈田1枚、同2束3把刈田)	箕作村之内当部 市兵衛①→長瀬 甚右衛門	豎紙	他1通
D a 18 6 7	天保5年11月	夫食代金借用證文之事 (一金2両也)	箕作村枝長瀬 勘助①→同村 甚右衛門	豎紙	
D a 18 6 8	天保14年10月	米借用證文之事 (米1俵也、但し4斗2升入)	高井郡長瀬 重右衛門①→同村 甚右衛門	豎紙	他7通
D a 18 6 9	天保12年5月	土蔵屋敷替地類證文之事 (此替地名所於かん平畑東方4間4尺南之方5間)	箕作村枝長瀬 善右衛門①→同所 甚右衛門	繼紙	
D a 18 6 10	不詳 (近世) 3月15日	手紙 (御樂鷹山崇守一件)	本村名主 三左衛門→長瀬 甚右衛門	切紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D a 18 6 11	寛政元年10月16日	質売田地證文之事(本畑高1升也、名所下中だん畑1枚、地代金1分2朱也)	当村 又右衛門◎→当村 甚右衛門	豎紙	4通、要撮影附箋有り
D a 18 6 12	天明4年10月	預り申金子之事(1両1分也、此書入家屋敷)	当村預り主 文助◎→当村 甚右衛門	豎紙	
D a 18 6 13	天保15年12月	年賦金借用證文之事(一金12両3分也)	長瀬 市兵衛◎→同所 甚右衛門	繼紙	
D a 18 6 14	寛政8年12月	売渡申畑並林證文之事(此地代金4両1歩 ^(ママ) 也)	長瀬 喜三郎→同村 甚右衛門	豎紙	
D a 18 6 15	天保15年3月	質入田地證文之事(名所横渡境沢道下、稻20束刈、代金2両と銭1文)	箕作村枝長瀬 名右衛門◎→同所 甚右衛門	豎紙	他3通
D a 18 6 16	天保15年3月	3年季に質入杉林草苺場證文之事(字白出之川向杉林、見取米1合5勺、代金1両也)	箕作村枝村長瀬 名右衛門◎→同所 甚右衛門	豎紙	
D a 18 6 17	天保12年12月	金子借用利米證文之事(金1両1分と銭700文、此利米每年上米2斗1升宛、書入田畑横沢境沢道下田3枚)	箕作村枝郷長瀬 名右衛門◎→同所 甚右衛門	豎紙	
D a 18 6 18	天保9年11月	年賦金子借用證文之事(一金9両1分也、書入名右衛門家並屋敷境内持分不残)	箕作村枝長瀬 名右衛門◎→同所 甚右衛門	豎紙	他1通
D a 18 7 1	文政12年10月	売渡申杉林證文之事(見取米四勺、杉林壹ヶ所、名所かんひら、代金壹分也)	箕作村之内長瀬 重右衛門◎→同村 甚右衛門	豎紙	D-a-18-7附箋有り
D a 18 7 2	天保4年10月	五年季二質売田地證文之事(本田高壹升、見付畑高壹升、名所場舟田貳枚四束刈、惣左衛門裏畑壹枚、此代金貳分貳朱也)	高井郡長瀬 重右衛門◎→同村 甚右衛門	豎紙	
D a 18 7 9	天保9年12月	夫食米借用證文之事(米壹斗也、粉三斗也)	箕作村枝長瀬 重右衛門◎→同村 甚右衛門	豎紙	D-a-18-7-9附箋有り
D a 18 7 10	天保12年11月	米借用證文之事(米四斗貳升入壹俵)	長瀬 重右衛門◎→同村 甚右衛門	豎紙	
D a 18 21	嘉永7年10月	質入田地證文之事(本畑高三斗五升六合、同畑高壹升五合、名所宮之前他五ヶ所、刈稻百三拾貳束刈、代金九両貳分也)	箕作村之内当部 市兵衛◎→長瀬 甚右衛門	豎紙	D-a-18-21附箋有り
D a 18 22	天保7年5月	雑木林売渡證文之事(字中段よりどて迄上り道の北、代金三分也)	箕作村枝当部 吉左衛門◎→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D a 18 23	天保5年6月	杉林売渡證文之事(名所どうの岩瀧之向杉木地不残、代金壹分貳朱也)	箕作村枝北野組之内当部 吉左衛門◎→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D a 18 26	弘化4年10月	拾ヶ年季質入田地證文之事(字坂之下田五枚稻五拾束刈、成畑高貳斗五升、此地代金四両也)	箕作村枝当部 徳藏◎→甚右衛門	豎紙	D-a-18-26附箋有り
D a 18 27	安政5年7月	質売申雑木林證文之事(字中段のひら、高見取米貳合、此代金壹兩也)	箕作村枝当部 市兵衛◎→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D a 18 28	天保4年12月	林売渡證文之事(字中段坂道より南貳ヶ所、杉林壹ヶ所、舟木林壹ヶ所、此見取米貳合、代金貳分也)	箕作村北野組之内当部 吉左衛門◎→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D a 18 29 1	万延元年9月	乍恐奉願上候一札之事(市兵儀筋違仕り詫證文)	箕作村枝当部 市兵衛◎→長瀬 甚右衛門	豎紙	D-a-18-29附箋有り
D a 18 29 2	天明2年10月	利米證文之事(新畑高貳斗五升、名所中田畑不残)	当部 市兵衛◎→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D a 18 30	天明2年10月26日	売渡申杉林證文之事(名所家之上北平杉林立木地共、此代金壹兩貳分八百五十文也)	当村 市兵衛◎→長瀬村 甚右衛門	豎紙	他切紙1枚
D a 18 32 11	安永7年10月8日	五年季二相定申質売田地證文之事(田高四斗七升、名所本地八足 ^(マ) がり貳枚下道八枚、代金六両貳分也)	当村 惣助◎→甚右衛門	豎紙	D-a-18-32-11附箋有り
D a 18 32 12	安永8年12月15日	売渡申杉林證文之事(名所大林下壹ヶ所立木地所共不残、代金壹兩貳朱也)	長瀬村 惣介→当村 甚右衛門	豎紙	
D a 18 32 13	明和4年10月11日	質売田地證文之事(名所善右衛門家上、田高四升五合也)	惣助◎→仁右衛門	豎紙	D-a-18-32-13附箋有り
D a 18 32 14	天明2年11月20日	売渡申杉林證文之事(名所大林之下杉林、此代金貳分貳朱也)	長瀬村 惣助◎→村 甚右衛門	豎紙	
D a 18 33 1	天保2年10月	桐木売渡證文之事(名所中尾川原桐木貳本、代金壹分也)	長瀬 寛兵衛◎→同所 甚右衛門	豎紙	
D a 18 33 2	文政8年5月	利米二而借用申金子證文之事(一金貳兩也、字当部塚之根堀田三枚)	箕作村枝郷長瀬 宇右衛門◎→同村 嘉三右衛門	豎紙	他金子借用證文3通、質売田地證文2通、D-a-18-2附箋有り

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D a 18 34	1 天保4年12月	質売畑證文之事(名所志久見村枝郷堀切塚之畑万吉持分不残、高貳斗七升六合、代金壹兩貳分也)	箕作村枝長瀬 万吉◎→同村 甚右衛門	甚 豎紙	D-a-18-34-1附箋有り
D a 18 34	2 天保4年13月	林藪売渡證文之事(名所上三中段之かみ坂之上ノひら、見取米五勺、代金三分ト銭貳百文)	箕作村枝長瀬 万吉◎→同村 甚右衛門	甚 豎紙	
D a 19 1	明治3年3月	金子借用申證文之事(一金五拾兩也、字小長瀬、此書入田地稻三百束苅)	長瀬組 甚右衛門◎→水内郡森村 与右衛門	甚 豎紙	他7通
D a 19 2	天保8年4月	村方取極證文之事(長瀬用水儀、訴詔入用金持高に應割符致し候)	箕作村枝郷長瀬 兵三郎、他37名◎	繼紙	
D a 19 3	天明6年2月	村定一札連印證文之事(御公儀様より被仰出候御定法少茂相背申間敷候、御上納、盗人、博奕、村普請人足定め)	箕作村枝長瀬五人組頭 太助、他8名◎	繼紙	
D a 19 4	天保13年2月	組合取極一札之事(村々取締方之儀)	役元	繼紙	
D a 19 5	寛政5年2月	村定一札連印證文之事(御公儀様より被仰出候御定法少茂相背申間敷候)	箕作村枝長瀬組当年組頭 辰右衛門◎、他39名◎	繼紙	
D a 19 6	文政3年3月	村定一札連印證文之事(御公儀様より被仰出候御定法少茂相背申間敷候)	箕作村枝長瀬組当年組頭 茂右衛門◎、他50名◎	繼紙	
D a 19 7	天明8年2月	不詳(御法度之趣等閑二相心得心鉢之者有之、一同百姓連判致違背仕間敷候)	不詳	繼紙	下書
D a 19 8	文政2年3月	村定一札連印證文之事(御公儀様より被仰出候御定法少茂相背申間敷候)	箕作村枝長瀬組当年組頭 甚右衛門◎、他49名◎	繼紙	
D a 19 9	文政3年6月	差上申一札之事(米直段下直候処、諸色直段高直にて諸人及難儀候間)	箕作村→古山善吉 中野御役所	繼紙	案文、他1通
D a 19 10	明治3年4月21日	御拝借金三ヶ年賦證文之事(一金貳拾六兩壹朱ト銭四百五拾文、但シ壹人二付金三分ト銭四百拾壹文)	箕作村之内長瀬組 三郎右衛門◎、他32人◎→同所重立衆 甚右衛門、他5名	繼紙	
D a 19 11	寛政7年12月	為後日書付差上申候事(中野御役所より家毎御見廻り可相改旨)	治郎左衛門◎、他33名◎	繼紙	
D a 19 12	不詳(近世)	内済和熟取替證文之事(箕作村枝中野組北野組両組与志久見村枝仁手野組の山論)		豎紙	案文、他包紙3枚、内山紙3有り
D b 1 1	1 弘化5年3月	粟年賦返済證文之事	箕作村之内当部 粟年賦返済人◎→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 1 1	2 不詳(近世)	熟談内済取極證文之事(貸金に関すること)	不詳→不詳	豎紙	下書き
D b 1 1	3 明治3年6月25日	御拝借金證文之事	長瀬組触頭 誰 組親 誰→箕作村名主 東次郎、御役人衆中	豎紙	
D b 1 1	4 明治22年4月	日延證之事(借金返済日延べのお願い)	下水内郡白鳥村一札入置人 半藤治右衛門◎→下高井郡長瀬組 齊藤幸右衛門	豎紙	
D b 1 1	5 文久3年12月	田地加質金子借用證文之事	高井郡箕作村之内長瀬金子借用人 甚右衛門◎、他請人→水内郡森村 与右衛門	豎紙	
D b 1 1	6 安政5年4月	五ヶ年季質売申畑證文之事	高井郡箕作村枝当部質売人 市兵衛◎、受人2名→長瀬 甚右衛門、名主 奥書	豎紙	
D b 1 1	7 嘉永7年10月	田地小作證文之事	箕作村之内当部田地小作人 市兵衛◎、立会人2名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 1 1	8 明治19年12月	借用金証券	下水内郡豊栄村之内白鳥借用人 半藤治右衛門◎、受人1名→下高井郡長瀬村 齊藤幸右衛門	豎紙	
D b 1 1	9 嘉永7年10月	金子借用證文之事	高井郡箕作村之内当部金子借用人 市兵衛◎、請人2名、名主 奥書→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 1 1	10 弘化5年4月	畑小作證文之事(一畑此小作粟5斗宛)	箕作村枝当部畑小作人 徳藏◎、請人1名→長瀬甚右衛門	豎紙	
D b 1 1	11 安政5年12月	小作證文之事(一稲80束苅)	当部小作頼入人 市兵衛◎→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 1 1	12 弘化4年10月	金子借用證文之事	箕作村之内当部新田金子借用人 甚之丞、請人1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	裏面に跡相續取極めの文書あり
D b 1 2	1 明治17年6月5日	村会議員当選証書	堺村戸長役場◎→齋藤甚右衛門	豎紙、封筒	
D b 1 2	2 明治17年6月24日	本村会議開催の通知	堺村戸長役場◎→齋藤甚右衛門	豎帳	明治16年度協議費支出予算議案書添付

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D b 1 2 3	不詳(近代)	予算書(収入・支出)議案書		縦帳	
D b 1 2 4	不詳(近代)	堺村村議会議事規則		縦帳	
D b 1 2 5	明治17年10月16日	村会開催の通知	堺村戸長役場印→村会議員 齋藤甚右衛門	切紙	
D b 1 5 1	明治10年4月14日	曹洞宗世話掛の依頼	講長 少講義 鶴沢古鏡→齋藤甚右衛門	切紙	
D b 1 5 2	年不詳(近世)3月23日	御普請志	下間 宮ノ内与郎印、他 名→信州長瀬村 甚右衛門	切紙	
D b 1 5 3	年不詳(近世)9月22日	仮御殿御引移御祝(金百疋)	川那部 帯刀印、他1名→信州長瀬村 甚右衛門	切紙	
D b 1 5 4	年不詳(近世)11月22日	御再建志(金1両1朱)	下間 大蔵卿印、他1名→信州 甚右衛門	切紙	
D b 1 5 5	年不詳9月	申渡(感賞状)	→高井郡箕作村 幸右衛門	切紙	
D b 1 5 6	年不詳(近世)9月	御褒賞(金1両ほか)	伊那県→箕作村 東次郎、甚右衛門、銀右衛門	切紙	
D b 1 5 7	不詳(近世)10月16日	覚(一金10両也)	箕作村 三左衛門印→長瀬組 甚右衛門、外世話人中	切紙	
D b 1 5 8	明治9年3月	傳長依奇い候事	浦安協会印→高井郡箕作村 齋藤甚右衛門	切紙	
D b 1 6 1	弘化3年正月	天神記抜書、見聞集目録		横半帳	
D b 1 番外 1	不詳(近世)7月晦日	書状(病氣治療について)	→齋藤	継切紙	上下朱引き
D b 1 番外 2	不詳(近世)2月24日	書状	口村 嶋田→齋藤	切紙	
D b 1 番外 3	(近世)2月27日	書状	三右衛門→長瀬組 齋藤甚右衛門、庄屋 善右衛門	切紙	
D b 1 番外 4	(近世)4月4日	書状	箕作村 巖田三左衛門→長せ 齋藤甚右衛門	切紙	
D b 3 1	不詳(近世)	絵図(長瀬、笹原の水田・畑色分図)	不詳→不詳	鋪	絵図3枚入
D b 3 2 1	不詳(近世)29日	口上(御無心に参り候)	隠居→齋藤主人	切紙	
D b 3 2 2	不詳(近世)	絵図(長命寺境内并境内附持分)	不詳→不詳	鋪	75cm×55cm
D b 3 2 3	不詳(近世)		不詳→不詳	切紙	
D b 3 3	文化9年4月	近年鷹巣山并百姓持山に、出所不知もの共入込獵業一件	→杉庄兵衛 中野御役所	折紙	宝永年中奉行の触れのあり
D b 3 4	文化9年4月	頂戴之御制札写(近年鷹巣山并百姓持山に、出所不知もの共入込獵業一件)	→杉庄兵衛 中野御役所	折紙	宝永年中頂戴之御制札写あり
D b 3 5	文政9年5月	絵図(箕作村枝郷長瀬地内惣谷中尾)	信州高井郡箕作村枝郷長瀬寺御門跡御掛所長命寺肴坊 信天代父北天、相手方 甚右衛門、他4名→大原四郎右衛門、御手代 稲岡茂作、御手附 百瀬進八	鋪	83cm×40cm
D b 9 1	文化6年3月22日	差上申一札之事(高まち山押潰し、16軒転居のため御見分願ひ)	高井郡志久見村太三右衛門五人組 義右衛門印、他8名→古橋隼人、御手附 中嶋小太郎	縦紙	
D b 9 2 1	不詳(近世)	乍恐以書附奉願上候(用水及び畑田成一件)	不詳→不詳	切紙	
D b 9 2 2	文政6年正月	差出申口書之事(畑田成一件)	箕作村枝郷長瀬組 喜右衛門→組頭 治郎左衛門、惣村衆中	縦紙	
D b 9 2 3	天保8年4月	乍恐以書附奉願上候(一堰敷故障狼藉出入)	高井郡箕作村枝郷長瀬百姓38人、惣代百姓 甚右衛門、相手 箕作村枝郷笹原百姓 五左衛門→脇野町御役所 平岡文治郎	継切紙	
D b 9 7 1	天保4年2月5日	往来一札之事	高井郡箕作村名主 三左衛門、御用に付御役所出勤代兼長瀬組頭 甚右衛門→御関所 御役人衆中、宿々・村々御役人衆中	縦紙	
D b 9 7 2	不詳(近世)11月19日	表題不詳(老衰、多病のため農業成兼酒請売一件)	九右衛門、以下13名連名→中野村郡中代 林右衛門、他1名	縦紙	
D b 9 7 3	寛政11年7月	差出申書付之事(博奕停止一件)	当村 吉右衛門印、他4名連印→村組頭中	縦紙	
D b 9 7 4	寛政6年8月	差出申之事(博奕停止、宣誓与市欠落一件)	長瀬村 辰右衛門印、以下8名連印→長瀬五人組中	縦紙	
D b 9 7 5	文政2年2月20日	往来一札之事(諸国神社佛閣参詣一件)	箕作村名主 三左衛門印、奥書あり→諸国御関所 御役人衆、宿々・村々御役人衆中	縦紙	
D b 9 8	天保8年6月13日	麦作盗人有之候に付村取極之事(麦作畑盗人有之候に付修験者の祈禱を依頼一件)	箕作村枝郷長瀬組頭 甚右衛門印、他36名連名	縦紙	
D b 12 1	天保6年4月	田地質入證文之事	高井郡箕作村之内笹原田地質入主 弥三右衛門、他1名→同村之内長瀬 仁右衛門、奥書あり	縦紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D b 12 1 2	(近代) 10月24日	書状(取り込みゆえ遣いの者口上にて申上げ候)	高井郡神戸村 四郎左衛門(高沢屋)→長瀬村 佐伊藤甚右衛門	豎紙	
D b 12 1 3	(近世) 5月3日	書状(近々の御役所引き替えについて)	西大滝村取締役 三郎右衛門→青倉村 庄右衛門、長瀬組 幸右衛門	切紙	包紙あり
D b 12 1 4	明治19年12月	三ヶ年季質入田地證書	堺村長瀬 齊藤利左衛門、他2名→同所 齋藤幸右衛門	豎紙	
D b 12 1 5	明治19年9月29日	三ヶ年季質入証書	堺村字野口 齋藤兵衛→同村之内長瀬組 齋藤幸右衛門、奥書あり	豎紙	
D b 12 1 6	明治23年2月14日	日延願書(畑の年季明け延期について)	右願人 齋藤兵衛、他1名→長瀬組 齋藤幸右衛門	豎紙	
D b 12 1 7	明治21年1月30日	棄年賦証書(棄5斗5ヶ年賦返済の件)	堺村之内堀切組棄借用人 藤木長左衛門→堺村之内長瀬組 齋藤幸右衛門	豎紙	
D b 12 1 8	明治18年1月	年賦借用書証	堺村長瀬年賦借用人 齋藤勇吉、他2名→同村之内切欠組宿 齋藤善五良、奥書あり	豎紙	
D b 12 1 9	明治11年5月	七ヶ年季質売り田地證文之事	堺村質売人 齋藤兵衛、他2名→同村之内天代組 齋藤太三右衛門、奥書あり	豎紙	
D b 12 1 10	明治28年8月16日	金子借用証	借用人 齋藤兵衛、他1名→長瀬組 齋藤幸右衛門	豎紙	
D b 12 1 11	明治28年7月2日	金子借用証	堺村野口借用人 齋藤友吉→堺村長瀬 齋藤幸右衛門	豎紙	
D b 12 1 12	天保6年4月	十力年季質売田地證文之事(一畑高2斗2升4合此地代金20兩也)	高井郡箕作村之内笹原田地質入主 弥三左衛門、他1名→同村之内長瀬 仁右衛門	豎紙	奥書、附箋あり
D b 12 1 13	寛政12年3月	小作水入田地證文之事(質入證文一件)	小作之長瀬百姓 六右衛門、他2名→長命寺	豎紙	
D b 12 2	明治11年2月27日	以書付上申仕候(越後国魚沼郡宮原村枝加用、信濃国下高井郡堺村旧名箕作村枝長瀬組国境線の調べ)	魚沼郡宮原村戸長 中島文吉代り 島田茂、他2名→新潟県令 永山盛輝	縦帳	
D b 16 1	(近世年不詳) 6月24日	口上内談一札之事、古畑替地願一件	程久保、野田沢→長瀬 村役人衆中、惣御百姓衆中	継切紙	包紙あり
D b 16 2	元治2年4月	差上申一札之事(竹治郎がこの度心得違をして申し訳ない)	箕作村枝長瀬一札差出人 竹治郎、他2名→同村御重立衆中	豎紙	
D b 16 3	文化5年8月	為取旨申一札之事(長瀬組新堰を作りたい)	不詳→不詳	切紙	
D b 16 4	安政4年6月	乍恐以書附奉願上候(一金10兩、海岸防備のため供出一件)	高井郡箕作村枝長瀬組百姓 幸右衛門→今川要作 中野御役所	継紙	奥書あり
D b 16 5	宝暦14年3月	断簡(年貢割付)	→本郷名主 茂右衛門、長瀬組頭中		6月より明和と改、後半のみ
D b 16 6	安政6年正月	差出申一札之事(中野陣屋取締方一件)	箕作村小前一同→三役人	豎紙	
D b 16 7	天保15年10月	乍恐以書付奉願上候(高井郡神戸村百姓又右衛門盗難に合う)	高井郡神戸村百姓 又右衛門、他4名→川浦御役所	継紙	
D b 16 8	明治3年3月	林借用證文之事(齋藤卷寄合林借用一件)	林借用人 勘吉、他15名、請人2名→齋藤重立衆中	豎紙	
D b 16 9	文政9年6月	差出申一札之事(巢場山にある朽木をみだりに切った一件)	箕作村枝北野与右衛門、同組之内中野善助、他4名連印→巢場番人衆中	継紙	包紙あり
D b 16 10	文政5年正月	差出申一札之事(反り村延命寺本堂再建につき多くの材木を鷹巣場より買いたい)	魚沼郡上日出山惣代 善右衛門、同下日出山惣代 文右衛門→箕作村、志久見村 巢場守御番衆中	豎紙	
D b 16 11	寛政9年3月16日	差出申一札之事(庄八、さらし場のおがせを隠し置く不調法をして申し訳ない)	高井郡箕作村枝長瀬大工 庄八→平助、他1名	継紙	奥書2件
D b 16 12	文政9年7月18日	乍恐以書付奉願上候(名主三左衛門益婦村の途中暑気当り、本服不仕一件)	本村名主 三左衛門、他3名→中野御役所 大原四郎右衛門	豎紙	
D b 16 13	文化10年8月吉日	神文前書之事(当社氏神八幡宮の御罰(罰)者也一件)	高井郡箕作村ノ内長瀬 齋藤大輔→同村計見村 野口湖龍大	豎紙	包紙あり
D b 16 14	安政3年正月	覚え(夫錢納入方一件)	本郷名主 三郎左衛門→長瀬組役頭中	豎紙	
D b 16 15	安政8年10月	断簡	箕作村枝郷長瀬百姓 甚右衛門、他3名→中野御役所 奥書 三左衛門		
D b 16 16	元治2年4月3日	差上申一札之事(桑名川村三代吉心得違ひ一件)	箕作村之内長瀬一札差出人 半左衛門、他3名→同村 御重立衆中	豎紙	
D b 16 17	明和8年5月18日	差上申一札之事(此度私不忠仕候一件)	長瀬村当人 与市、他4名→浅之丞、其外村方惣百姓中	豎紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D b 17	文政13年閏3月	覚（近来、野火附が多発しているの で見回り実施を通過）	和田主馬	豎紙	
D b 18	文政3年12月	御代官様よりお渡しくださったハケ 条からなる人生訓	中野陣屋代官 古山善吉	継紙	
D b 19	不詳（近世）	橋好古卿、藤資業卿等の人生訓	不詳→不詳	豎紙	
D b 20	文政6年8月	乍恐以書付奉申上候（地区内中尾と 申す長命寺地所に付き御聞届願一 件）	高井郡箕作村取噺人名主 三左衛 門、右同断月岡組名主 銀右衛門 →矢嶋藤藏、中野御役所	継紙	
D b 21	文政5年6月	相渡申一札之事（貴寺所有地を開墾 させていただきたい）	箕作村枝郷長瀬組惣代 治郎左衛 門、立会人本郷名主 三左衛門、 他2名→同所 長命寺	豎紙	
D b 22	文政9年4月	乍恐以書付御届奉申上候（字中尾論 所雪消失に付御見分願）	高井郡箕作村枝郷長瀬百姓 甚右衛 門、相手方 治郎左衛門、他2名 →中野御役所	豎紙	
D b 23	文政6年10月	乍恐以返答書奉申上候（長瀬組長命 寺へ違乱につき御吟味返答書）	高井郡箕作村枝郷長瀬組 治郎左 衛門、他2名→矢嶋藤藏、中野御 役所	継紙	奥書 箕作村名主 三左衛門、他1名
D b 24	（文政）10年18日	乍恐以書付奉願上候（長命寺より村 内百姓4人、本郷名主 三左衛門へ の中尾原出入御吟味一件）	箕作村枝郷長瀬百姓 甚右衛門、他 1名→中野御役所	豎紙	
D b 25	文政6年正月	差出申口書之事（北野川より用水取 入、当初は連判せず、思案の上、連 判にあい加えくだされたく）	高井郡箕作村枝郷長瀬 喜右衛門 →組頭 治良左衛門、惣村衆中	豎紙	
D b 26	文政6年3月	乍恐以ヶ條書奉願上候（長命寺と村 人との年始登山に関する対立）	箕作村枝郷長瀬組 浄土真宗長命寺 信天、同村相手方 治良左衛門、 他2名→矢嶋藤藏、中野御役所	継紙	
D b 27	（近世年不詳）10月 20日	乍恐書付ヲ以奉願上候（長命寺より 村内百姓3名、進退出入に付、水沢 村あたりで、名主三左衛門持病を発 し満足いたし候）	高井郡箕作村枝郷長瀬百姓 甚右衛 門、他2名→中野御役所	豎紙	
D b 28	文政6年3月	乍恐御尋之趣以書奉願上候（長命 寺住は北天から信天へ相渡す）	箕作村枝郷長瀬組 長命寺老僧 北 天→矢嶋藤藏、中野御役所	継紙	
D b 29	文政9年4月	乍恐以書付御届奉申上候（字中尾論 所雪消失につき御届一件）	箕作村枝郷長瀬百姓 甚右衛門、 他4名、相手方 助右衛門、他1 名→大原四郎右衛門、中野御役所	継紙	
D b 30	文政5年5月	乍恐以書付奉願上候（往古、中尾は 長命寺の寺屋敷、慶安5年に現在地 へ移転、残地・空地・芝地等に新田 を開墾したい）	箕作村枝郷長瀬組願人百姓 惣右衛 門→矢嶋藤藏、中野御役所	継紙	浄土真宗勢州一身田 専修寺末長命寺
D b 31	文化8年3月	乍恐以書奉願上候（拙寺持病差起 り寺役差支え御本山にて後住職御見 立願）	高井郡長瀬村 長命寺→御本山 御月番	継紙	
D b 32	文政7年4月	乍恐御糺之趣以書奉申上候（中尾 論所之場、獄入一切あいならず）	高井郡箕作村枝郷長瀬百姓惣代 甚右衛門→矢嶋藤藏、中野御役所	豎紙	
D b 33	文政7年4月	乍恐御糺之趣以書奉申上候（長命 寺長瀬地内論所に獄入れ一件）	箕作村枝郷長瀬百姓惣代 甚右衛 門、他に2名→矢嶋藤藏 中野 御役所	継紙	下書
D b 34	不詳（近世）	乍恐以書付奉願上候（長瀬長命寺よ り同村百姓5人中尾原進退出入り一 件）	不詳→不詳	豎紙	
D b 35	（文政9）年3月	乍恐以書付御届申上候（長命寺古屋 敷から薪伐取り候一件）	箕作村枝郷長瀬組百姓惣代 甚右衛 門、他に3名→中野御役所	豎紙	箕作村3役人奥書あ り、下書
D b 36	文政6年10月	乍恐以書付奉願上候（長命寺代北天 より百姓二人へ掛る不如法并違乱出 入一件）	高井郡箕作村枝郷長瀬百姓→矢嶋 藤藏 中野御役所	継紙	
D b 37	文政9年5月	差上申口書之証文之事（長命寺移転 後、元寺跡の取扱いについて訴訟・ 済口）	箕作村長瀬組訴訟方 長命寺信天 代北天、相手方 本郷名主 三 左衛門、長瀬組百姓 甚右衛門 、他3名、扱人5名→大原四郎 右衛門 中野御役所	継紙	
D b 38	不詳（近世）	村方取極證文之事（長命寺より村方 相手取中尾原出入に付、村方の取極 一件）	箕作村枝郷長瀬組当触役 甚右衛 門、連印35名	継紙	
D b 39	文政8年4月	乍恐以書付奉願上候（村中持中尾原 新古畑、北野川より用水取入新開一 件）	高井郡箕作村枝郷長瀬村中惣代長 百姓 甚右衛門、右村役3名→矢 嶋藤藏 中野御役所	継紙	
D b 40	文政10年6月	乍恐書付以（ママ）御吟味下奉願上候 （私共出入訴上御吟味中、今般御吟 味下願上候）	高井郡箕作村枝郷長瀬組訴訟人 長 命寺、信天煩に付北天、相手 名主 三左衛門、他に3名、 扱人2名→大原四郎右衛門、中 野御役所	継紙	
D b 41	文政9年7月	乍恐以書付奉願上候（惣右衛門文政 6年六左衛門、名主三左衛門相手取 借方用證文加判差滞）	高井郡箕作村枝郷長瀬組百姓 六 左衛門、他3名→大原四郎右衛門 中野御役所	継紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D b 42	文政7年12月6日	差上申一札之事(長瀬組惣右衛門再欠落一件、手鎖の俣、逃去候)	高井郡箕作村枝長瀬組百姓 惣右衛門、他5名、中野郷宿 定兵衛◎、5名→矢嶋藤藏 中野御役所	継紙	
D b 43	不詳(近世)	差出申一札之事(惣右衛門、今般立戻り、村衆に対し申し訳なく)	高井郡箕作村枝長瀬組住人百姓 惣右衛門、他に2名→不詳	継紙	不詳多数あり
D b 44	文政10年7月	差出申一札之事(文政6年8月の頼母子講之證文事件、以后村方親類に難儀相掛け申間敷)	箕作村長瀬組百姓 惣右衛門→大原四郎右衛門 中野御役所	継紙	本郷名主 三左衛門、他3名奥書あり◎
D b 45	文政6年8月	乍恐書付を以奉願上候(印形差拒、打擲出入一件)	箕作村枝郷長瀬組百姓願人 惣右衛門、相手箕作村本郷名主 三左衛門、他に1名→矢嶋藤藏 中野御役所	継紙	奥書、同村組頭 五左衛門
D b 46	文政10年7月	差出申一札之事(文政6年の欠落より立戻り農業に出精、法度を守り御咎、御免にて村方帰住難有奉存候)	箕作村枝長瀬組住人百姓 惣右衛門、他に2名→同所組親 助右衛門	豎紙	下書か、手直し多数
D b 47	文政7年閏8月	乍恐以書付御届申上候(出入御吟味中惣右衛門再度欠落、御尋中人女房・娘当7月善光寺参詣之由今以帰宅せず)	箕作村枝郷長瀬 惣佐衛門親類喜右衛門◎、他に4名連印→矢嶋藤藏 中野御役所	継紙	
D b 48	文政10年2月	乍恐以書付奉申上候(文政6年より惣右衛門心得違之趣、村内治まり兼ね、御定法を以御糺被下置候)	高井郡箕作村名主 三左衛門、他に2名→大原四郎右衛門 中野御役所	継紙	
D b 49	文政7年4月	乍恐以書附奉申上候(枝郷長瀬惣右衛門儀去る未10月欠落、此節風聞にて罷出候や、相尋候処、何地へ落行くや行衛相知れず候)	箕作村名主 三左衛門→矢嶋藤藏 中野御役所	豎紙	
D b 50	文政6年8月	乍恐返答書を以奉申上候(長瀬組百姓惣右衛門より触役、名主を相手取訴訟の返答書)	高井郡箕作村名主 三左衛門、長瀬組触頭百姓 六左衛門→矢嶋藤藏 中野御役所	継紙	
D b 51	安政2年12月	質売田地證文之事(代金貳分也、拙者当卯年年貢金・要用金に相滞り質売致候)	箕作村枝中野田地質入人 吉之丞◎、他1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 52	天保7年12月	七年季に質売田地證文之事(拙者儀上納金に差支書面の田地質売致し候、代金三兩貳分也)	高井郡志久見村之内堀切田地質売人 治郎右衛門◎、他1名→箕作村長瀬 甚右衛門		奥書あり
D b 53	嘉永元年12月	米苺干場売渡證文之事(拙者儀年貢金・要用金に差支、質売致し候、代金壹兩貳分三朱也)	志久見村枝堀切苺干場質入人 藤左衛門◎、他1名→長瀬 甚右衛門		
D b 54	天保8年6月	質売田地證文之事(拙者儀違作続家内一同餓死躰に付田畑質売致し候、地代金三兩三分三朱也)	高井郡志久見村枝郷堀切 善左衛門◎、他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	継紙	奥書あり
D b 55	文政4年10月	五年季に質売田地證文之事(拙者儀年貢金・上納金に差支、質売致し候、代金貳兩也)	質売金借用人 志久見村枝郷堀切七右衛門◎、他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 56	天保12年12月	質入畑證文之事(拙者儀御年貢・要用金に差支、質入仕候、代金壹兩也)	高井郡志久見村枝郷堀切畑質入人 治良右衛門◎、他1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 57	天保4年12月	質売畑苺干場證文之事(拙者儀年貢金・上納要金に差支質売仕候代金四兩也)	高井郡志久見村枝郷堀切畑質売人 多右衛門◎、他2名→長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 58	天保5年4月	雑木林之苺干場売渡證文之事(拙者儀年貢金・要用金に差支売渡候代金壹兩貳分也)	高井郡志久見村枝郷堀切雑木林苺干場売主 藤左衛門◎、他2名連印→長瀬 甚右衛門		奥書あり
D b 59	天保4年10月	質売田地證文之事(拙者儀年貢金・要用金に差支質売致し候代金貳兩也)	志久見村枝郷堀切田地質売人 善左衛門◎、他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門		奥書あり
D b 60	文化12年5月	杉林証文之事(杉林ヶヶ所、地代金壹兩百五拾文御年貢金差支貴殿に御無心申入候)	林売主堀切 七右衛門◎、他1名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 61	天明8年12月	預り申金子之事(御上納金に差支金子貳朱受取り候)	預り主 堀切 作之丞◎、他1名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D b 62	天保4年10月	質売田地證文之事(御年貢金・要用金に差支代金貳兩也借用)	志久見村枝郷堀切田地質売人 善左衛門◎、他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 63	天保4年10月	質売田地證文之事(不勝手に付御年貢金・要用金に差支借用致し候代金貳兩貳分也)	志久見村枝郷堀切田地質売人 善左衛門◎、他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 64	天保4年10月	質売田地證文之事(御年貢金・要用金に差支代金貳兩貳分三朱借用)	志久見村枝郷堀切田地質売人 善左衛門◎、他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 65	天保4年10月	質売田地證文之事(不勝手に付御年貢金・要用金に差支質売致し候代金貳兩貳分也)	志久見村枝郷堀切田地質売人 善左衛門◎、他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D b 66	天保4年10月	質売田地證文之事(御年貢金・要用金に差支代金貳両にて質売致し候)	志久見村枝堀切田地売人 善左衛門①、他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 67	天保7年10月	雑木林之苅干場売渡證文之事(夫食代金・要用金に差支代金三朱也売渡候)	志久見村枝堀切雑木林苅干場売人 善左衛門①、他1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 68	天明3年10月28日	利米證文之事(上納金に相撫申に付金子請取候ヶヶ年に米四斗二升入春俵宛相払可申候代金貳両貳朱錢九拾五拾文)	願主 堀切 甚左衛門①、他1名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D b 69	天保7年11月	違作に付夫食代金追々借用證文之事(当中大悪作に付田畑共に一切実法不申家内一同餓死可致体に付御無心申入候金子の借用之内毎年割にト(ママ)五厘の利足勘定可仕候)	志久見村枝堀切金子借用人 善左衛門①、他1名→長瀬 甚右衛門	繼紙	
D b 70	寛政6年12月	畑ヶ書入利足之證文之事(私儀当寅御上納金に相撫申に付畑書入仕候、一金子壹両也)	畑書入主 堀切村 甚左衛門①、他1名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D b 71	享和2年11月	利示にて金子借用證文之事(御上納諸拂金に年々相撫申に付一金貳兩貳分也)	金子預り主堀切村 善左衛門①、他1名→不詳	豎紙	
D b 72	天保3年11月	質売田地證文之事(不勝手に付御年貢金・上納金に差支田畑質売仕一代金貳兩と錢四百文也)	志久見村枝堀切質売人 藤左衛門①、他2名→長瀬 甚右衛門	繼紙	奥書あり
D b 73	天保4年12月	借用申金子證文之事(不勝手に付御年貢・要用金に差支借用仕一金三分也一玄米壹斗也此当来午春上縮貳反)	志久見村枝堀切金借用人 藤左衛門①、他1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 74	天保3年11月	金子借用證文之事(不勝手に付御年貢・要用金に相撫借用仕一金三分と錢貳百三拾文也此書入巳春縮上物貳反)	志久見村枝堀切金子借用人 藤左衛門①、他1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 75	天保4年3月	小作田畑預り證文之事(質売に致置候当巳春より拙者預り小作仕候念入上米四斗貳升宛急度相斗り可申候)	志久見村枝堀切 藤左衛門①、他1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 76	天保4年12月	質売田地證文之事(不勝手に付当巳御年貢金・要用金に差支候代金貳分壹朱也)	志久見村枝堀切田地質売人 藤左衛門①、他2名→長瀬 甚右衛門		奥書あり
D b 77	天明4年2月	質入畑證文之事(御上納金相撫申に付、金子壹歩慥に請取候)	畑質入主 与兵衛①、他1名→長瀬 文左衛門	豎紙	裏書あり、付箋あり
D b 78	嘉永2年4月	田地小作証文之事(右は其元方江質入之田地書面之通御座候、当酉年より小作仕四歩其元へ納、拙者六歩苅取(ハヶ所))	志久見村枝堀切 藤左衛門①、他1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 79	天保4年12月	御年貢金・要用金に差支、杉木地所売渡代金壹分也慥に請取候	志久見村枝堀切 藤左衛門①、他2名→長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 80	天保2年10月	金子借用證文之事(不勝手に付御年貢金・要用金に差支、金子貳分貳朱也慥に借用仕候)	志久見村枝堀切金子借用人 藤左衛門①、他1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 81	寛政7年12月	借用金子證文之事(御上納金に相撫申に付、借用一金三歩也)	金借用主堀切 惣左衛門①、他1名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D b 82	文政8年12月	質売畑證文之事(御年貢金・諸拂金に相撫申に付、借用地代金壹兩也)	畑質売人 志久見村枝堀切 彦右衛門①、他1名→長瀬新田 文左衛門	豎紙	奥書あり
D b 83	天明5年12月	備用利米證文之事(御年貢金に相撫申に付、借用代金壹兩壹歩錢四百文也利米年に貳斗五升宛返済)	地主書入主堀切 惣左衛門①、他2名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D b 84	天保4年10月	質売田地證文之事(御年貢金・要用金に差支、借用代金貳兩壹分也)	志久見村枝堀切田地質売人 善左衛門①、他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 85	天保6年12月	質売畑證文之事(御年貢金に相撫に付、借用代金貳朱と錢貳百五拾文)	志久見村枝堀切畑質売人 藤左衛門①、他2名→長瀬 六左衛門	豎紙	奥書、付箋あり
D b 86	不詳(近世)	売渡し畑證文之事(御上納金に相撫申に付借用一代金貳分也)	売主 作右衛門①、他2名→新田村 勤兵衛	豎紙	裏書あり、附箋あり
D b 87	天保4年10月	質売田地證文之事(御年貢金・要用金に差支借用代金三兩壹分也)	志久見村枝堀切田地質売人 善左衛門①、他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 88	天保4年10月	質売田地證文之事(御年貢金・要用金に差支借用代金貳兩壹分貳朱也)	志久見村枝堀切田地質売人 善左衛門①、他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 89	天明3年11月28日	五年季相定畑證文之事(御上納金に相撫申に付、借用代金三分也)	堀切り村質入主 重兵衛①、他1名→長瀬新田 勤兵衛	豎紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D b 90	文政2年10月	雑木林藪と杉木替證文之事(杉木式本と堀切宮つるね雑木藪との交換)	志久見村枝堀切 七右衛門@、他1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 91	天保4年10月	質売田地證文之事(御年貢金・要費用に差支、借用代金三兩也)	志久見村枝堀切田地質売人 善左衛門@、他1名→箕作村長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 92	明治8年4月	添証書(私儀従御貴殿借財方殊の外相嵩及大事件に及び候處、御勘弁を以、無足元金に而・・・)	水内郡白鳥村添 置人 小林作馬@、他1名→高井郡長瀬 齊藤甚右衛門	罫紙	附箋あり、包紙あり
D b 93	不詳(近代)	舌代(孫次郎悴等近況を記す)	不詳→不詳	豎紙	
D b 94	明治8年4月	質地證書(五件の質地證文を纏たもの、租税・要費用に差支)	水内郡白鳥村質置人 小林作馬@、他2名→高井郡長瀬 齊藤甚右衛門	繼紙	×モ書き2枚あり、附箋あり
D b 95 1	元治元年4月	拾ヶ年季質入田地證文之事(御年貢、諸払、要費用に差支、地代金五兩也)	水内郡白鳥村質入人 茂右衛門@、他1名→高井郡長瀬 甚右衛門	繼紙	奥書あり、包紙あり
D b 95 2	元治元年4月	田地請作水入證文之事(請作水入いたし候所、実正に御座候)	白鳥村水入人 茂右衛門@、他1名→長瀬 甚右衛門	繼紙	D-b-95-1と同じ包
D b 96	元治2年3月	七ヶ年季質売田地證文之事(御年貢金、引負に差支、質代金五兩也)	水内郡白鳥村質売人 茂右衛門@、他1名→高井郡長瀬 甚右衛門	繼紙	奥書あり
D b 97	元治2年3月	水入小作證文之事(請作水入致候處、実正に御座候、此小作入立料壹俵半(但し粗五斗五升入))	白鳥村水入人 茂右衛門@、他1名→高井郡長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 98	慶応3年4月	五ヶ年季質地證文之事(御年貢金に差支、無礼御貴殿に御無心申上候、質代金拾兩也(請作水入證文之事あり))	水内郡白鳥村 茂右衛門@、他1名→高井郡長瀬 甚右衛門	繼紙	奥書あり
D b 99	明治2年4月	七ヶ年季質地證文之事(御年貢金に差支御無心申上候、此地代金五兩也)	水内郡白鳥村質所人 茂右衛門@、他1名→高井郡長瀬 甚右衛門	豎紙	奥書あり
D b 100	不詳(近世) 4月14日	覚(丑御年貢一錢1貫893文、夫錢、同様の覚4件、孫治郎御上納金三つ)	白鳥村名主 又右衛門@→長瀬 甚右衛門		色紙入り、慶応2年か
D b 101	元治元年4月	拾ヶ年季質入田地證文之事(御年貢金、要費用相撫借用此地代金拾貳兩也、田地請作水入證文之事)	水内郡白鳥村質入人 孫治郎@、他1名→高井郡長瀬 甚右衛門	繼紙	奥書あり
D b 102	明治3年4月	譲り渡證文之事(要費用に差支譲り渡し候此地代金五兩三分也)	水内郡白鳥村地所譲り人 茂右衛門@、他1名→右村 小林丹波	豎紙	奥書あり
D b 103	文化6年10月	御頼母子譲り證文之事(不勝手に付、御頼母子金拾兩也御譲り被下候此書入の抵当家屋敷持分不残)	無売譲り主 長瀬 清右衛門@、他1名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	包紙あり
D b 104	文政8年6月	借用申金之事(縮買売金撫に付借用)	金借用人 笹原 五左衛門@、他1名→甚右衛門	切紙	清書用紙付
D b 105	文政8年6月	年賦金借用證文之事(御年貢金、諸色入用金に差支年賦返金仕候一金六兩貳分也)	高井郡箕作村枝長瀬年賦借用人 甚右衛門、他2名→不詳(立替か)	豎紙	
D b 106	文化13年10月	年賦金借用申證文之事(御上納諸役年々相撫申に付借用一金三兩貳分錢六百七十文也)	金子借用 長瀬 七左衛門@、他1名→同所 甚右衛門	豎紙	
D b 107	文化2年6月	借用申金子證文之事(御上納并に要費用に年々相撫申に付借用一金八兩三分)	高井郡長瀬組金子借用主 茂右衛門@、他1名→当村 甚右衛門	豎紙	
D b 108	文政8年10月	年賦金借用證文之事(御年貢金、諸入用金に差支借用一金五兩也)	志久見村枝郷堀切年賦借用人 藤左衛門@、他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	繼紙	奥書あり
D b 109	文政7年5月	年賦金借用證文之事(御年貢金、諸色入用金に差支借用一金三兩壹分也)	箕作村枝長瀬年賦借用人 嘉三右衛門@、他1名→箕作村 三左衛門、小池組 嘉右衛門	豎紙	
D b 110	文政5年11月	年賦金借用證文之事(御年貢金、諸色入用金に差支借用一金七兩三分也)	箕作村枝長瀬組年賦借用人 嘉三右衛門@、他2名→同所 甚右衛門	繼紙	
D b 111	文化12年12月	頼母子譲り金子之事(御上納金に借用相成借用一金貳兩貳分朱錢六百貳拾四文也)	金子預り人 当村 庄右衛門@、他1名→当村 甚右衛門		
D b 112	文政5年11月	年賦金借用證文之事(長瀬組地内字中尾之場所、新規開闢御公儀様江御願奉申上候、諸入用金七兩三分借用)	箕作村枝長瀬組頭 治郎左衛門@、他9名→同所 甚右衛門	繼紙	
D b 113	文化9年5月	御頼母子譲り證文之事(不勝手に付、書面之通り御無心申上候一金五兩也)	金子預り主 新田 文右衛門@、他1名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D b 114	文政2年10月	借用金子年賦返済證文之事(御年貢金、上納金に相撫申に付借用一金六兩也)	金備用人 長瀬 喜助@、他1名→//所 甚右衛門	豎紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D b 115	文化14年10月	借用申金子年賦返済證文之事(御年貢金、御上納金相撫百姓相統難に付借用一金拾三両也)	金借用人 長瀬 嘉右衛門、他1名→同所 甚右衛門	豎紙	
D b 116	文化14年10月	借用申金子年賦返済證文之事(御年貢金、御上納金に相撫借用一金八両也)	年賦金借用人 堀切 惣左衛門、他1名→長瀬組 甚右衛門	豎紙	
D b 117	文政5年5月	年賦金借用證文之事(御年貢金、其外諸入用金に差支借用一金拾六兩二分也)	箕作村長瀬組年賦金借用人 治良左衛門、他1名→同村 甚右衛門	繼紙	
D b 118	文政11年10月	年賦金借用證文之事(御年貢金、御上納金に相撫借用一金貳拾三兩三分也)	高井郡志久見村枝郷堀切年賦金借用人 善左衛門、他1名→長瀬 甚右衛門	繼紙	
D b 119	文政8年	年賦金借用證文之事(御年貢金、諸色入用金に差支借用一金三両也)	箕作村枝郷長瀬年賦金借用人 忠右衛門、他1名→同村 甚右衛門	繼紙	
D b 120	文化5年10月	頼母子年賦金證文之事(頼母子宿私方へ御譲り被下年賦金元利九兩請取)	志久見村頼母子譲受人 善右衛門、他2名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D b 121	文政8年	金子借用證文之事(困窮之百姓共諸雜用拂方に差支借用縮相場返済(長命寺より村方相手役相手取中尾畑掠取出入の時)一金不詳)	箕作村枝郷長瀬金借用人 五人組 惣代 兵三郎、他7名→不詳	繼紙	
D b 122	文化13年10月	年賦金借用申證文之事(御上納金、諸役之金に相撫申に付借用一金三兩貳分貳朱也)	金借主 長瀬 仙左衛門、他1名→同所 甚右衛門	豎紙	
D b 123	文化8年6月	頼母子金借用證文之事(小滝村清左衛門殿宿頼母子御譲り被下一金四兩と錢百五拾文也)	長瀬村 金子借主 喜助、他1名→同村 甚右衛門	豎紙	
D b 124	文化9年10月	頼母子譲り金子證文之事(私共宿頼母子御譲り金子借用一金三兩口歩錢貳百貳拾四文也)	金子預主 北野 口右衛門、他1名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D b 125	文化12年10月	頼母子譲り證文之事(志久見村甚左衛門宿頼母子譲り金子借用一金四兩貳分貳朱也)	当部村金子預り主 仁右衛門、他1名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D b 126	不詳(近世)7月6日	預り申金子口(金子五兩は本金也、慥かに預り申)	飯山上町 布屋嘉左衛門→長瀬村 甚右衛門	切紙	
D b 127	文政9年6月	年賦金借用證文之事(金5兩1分永83文)	高井郡箕作村枝郷預年賦借用人 三之丞、外1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 128	文政4年10月	借用申金子年賦返済證文之事(金1兩3分余、大畑1枚)	箕作村枝郷金借用人 北野 仁助、外1名→同村枝郷長瀬組 甚右衛門	豎紙	
D b 129	文政11年6月	年賦金借用證文之事(右村組頭 助右衛門、奥書あり)(金7兩1分、小右衛門家屋敷不残)	高井郡箕作村枝郷長瀬年賦金借用人 小右衛門、外2名→同村 甚右衛門	豎紙	
D b 130	文政10年11月	年賦金借用證文之事(金4兩3分、田地10束苅、畑2枚)	高井郡箕作村枝郷長瀬金借用人 丈右衛門、外1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 131	文化13年10月	年賦金借用申金子證文之事(金3兩2分余、居屋敷不残)	金子借主 長瀬 小右衛門、外1名→当所 甚右衛門	豎紙	
D b 132	文化5年2月	借用申金子年賦返済證文之事(金1兩、拙者居屋敷不残)	年賦金借用人 長瀬 喜左衛門、外1名→同所 甚右衛門	豎紙	
D b 133	文化9年6月	年賦金借用證文之事(金3兩2分余、書入田地40苅)	金子借主 長瀬組 丈右衛門、外1名→同所 甚右衛門	豎紙	
D b 134	文化13年10月	年賦金借用申證文之事(金3兩2分余、田地50束苅、名所下水相田)	金子預り主 柳在家 五左衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 135	文化14年5月	年賦金借用申證文之事(金4兩1分余、田地50束苅)	天代 金借主 佐五右衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 136	文化13年6月	年賦金借用申證文之事(金54兩、田地500苅)	長瀬 伊右衛門→同村 甚右衛門	豎紙	
D b 137	文化13年6月	年賦金借用申證文之事(金32兩、300苅、名所丸山ほか)	長瀬村 仁右衛門→長せ 甚右衛門	豎紙	
D b 138	文化9年10月	年賦金借用證文之事(金16兩、田地100苅、名所野平)	長瀬借用人 金三郎→長せ 甚右衛門	豎紙	
D b 139	文政9年10月	年賦金借用證文之事(金11兩、田地100苅、名所当部)	年賦金借用人 藤左衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 140	文政元年10月	年賦金借用申證文之事(金6兩、田地60苅、家の下)	金借用人 北野 清左衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D b 141	明治	健命寺経蔵寄付金受取証、借用金仮証、永楽や喜右衛門受取証	健命寺世話人、永楽屋、ほか→齊藤幸右衛門、甚右衛門	切紙	3通あり
D b 142	明治25年1月	登記掛証書入(金子借用證ほか)	当部 藤木鶴松、ほか→齊藤幸右衛門	豎紙	袋入り、10通同封
D b 143	文政11年霜月	北越地震口説上巻(天地ひらけてふしぎといふは・・・)	北越三嶋住 苦楽齊撰	豎帳	別名三条地震
D b 144	弘化4年2月	当部市兵衛一件之事(親父齋藤甚右衛門代)		豎帳	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D b 145	不詳(近世)	不詳(長命寺中尾原元屋敷見捨地訴訟一件)	不詳→不詳	継紙	
D c ① 1	安永7年7月	志久見、箕作両村山論(地境扱済証文)	箕作村志久見村の住人連名20人	継紙	
D c ① 2	明治	箕作、志久見村耕地境図	左記両村住人15人	継紙	
D c ① 3	明治7年5月30日	地券発行に伴う取替絵図面	箕作村、志久見村住人	鋪	
D c 1 4	明治7年11月17日	以書付日延奉願候(村の耕地境界絵図の提出日延べ願い)	箕作村 齊藤甚右衛門、志久見村 倉俣熊次郎→長野県参事 榎崎寛直	横半帳	
D c 1 5	明治7年5月30日	為取替絵図面添書(箕作村と志久見村の示談成立)	志久見村住人18名、箕作村住人26名→第52区長 川久保伊兵衛(柏尾村)、同副区長 片桐久右衛門(野沢村)	罫紙	
D c 1 6	明治(年不詳)11月21日	長瀬組耕地絵図及び送付の添文	齊藤甚右衛門(長瀬組)→島田源次郎(本郷)	罫紙、 継紙	
D c 1 7	万延元年正月	覚・錦縮緬之打志金(金2分也)	常光院→長瀬 甚右衛門	切紙	
D c 1 8	明治8年7月	取極め証書之事(志久見村からの土地借用継続願い)	高井郡第21大区6小区3番組(箕作村の内3番組)	縦帳	
D c 1 9	明治7年7月31日	取極置規定之事(村境争論の費用分担についての取決め)	箕作村枝長瀬、北野、中野三組	縦帳	
D c ② 0	明治22年6月	御巢鷹山一件書類入袋	齊藤幸右衛門		D-c-2-1~7はこの包紙に入っていた
D c ② 1	宝永3年11月27日	須鷹山の困難な状況口上書	箕作村長瀬兼番 権四郎、他4名→庄屋 三左衛門	継紙	破損箇所あるにつき取扱注意、破損部は写真に撮り同封
D c ② 3	近世不詳	書簡(借用金催促一件)	不明→不明	継紙	本文前欠く D-c-②-2は欠番
D c ② 4	天明4年12月18日	御巢鷹献上の無い事から巢守に油断ない様子の廻状	中野御役所→長瀬 甚右衛門	罫紙	
D c ② 5	弘化3年	乍恐以書付奉願上候(御巢鷹山に関する願書)	長瀬兼鷹惣代、志久見村兼鷹惣代 甚右衛門→石原清左衛門 川浦御役所	縦帳	
D c ② 6	宝永5年9月	巢守役召し上げに対する継続の願書	野沢、坪山、箕作、志久見の四ヶ村巢守20名→御代官	継紙	
D c ② 7	享保10年10月27日	指上申一札之事(越後国魚沼郡34ヶ村と信濃国箕作志久見村の山論訴え)	松平肥後守御預所越後魚沼郡庄屋・百姓7名、箕作志久見村庄屋組頭9名	継紙	
D c ③ 1	宝永(不詳)/文化9年4月	宝永年中御制札写(鷹山への入込禁止のこと)、文化年中御制札写(鷹山百姓持山で猟を行う者禁止のこと)	宝永年中は奉行、文化年中は杉庄兵衛 中野御役所		
D c ③ 2	宝暦7年4月	御尋に付申上候覚(御巢鷹守屋敷に対する免税等の回答書)	箕作志久見村 巢守10名→天野助次郎	継紙	
D c ③ 3	元治元年4月	差上申一札之事(御巢鷹山越境で木々無断伐採の顛末)	越後魚沼郡赤沢村若者惣代願人 久左衛門、他3名→箕作村長瀬 巢守役人中	継紙	
D c ③ 4	元治元年4月	差上申一札之事(御巢鷹山越境で木々無断伐採の顛末)	越後魚沼郡赤沢村若者惣代願人 久左衛門、他3名→箕作村長瀬 巢守役人中	継紙	(D-c-③-3)と同一の一件
D c ③ 5	文政2年9月15日	差出し申一札之事(御巢鷹山での不法行為。御慈悲で許される一件)	高井郡四久宮 庄左衛門、他5名→箕作志久見村 巢場守御役人中	継紙	
D c ③ 6	宝暦7年4月	御尋に付申上候覚(御巢鷹差上げの回答書)	箕作村名主 茂右衛門、他7名、志久見村 名主清右衛門、他7名→天野助次郎 御役所	継紙	巢守10名の名前あり
D c ③ 7	天明2年4月	御尋に付以書奉申上候(鷹匠の改名、御鷹場の杭や建札の状況回答書)	箕作村御巢鷹守惣代 浅之丞→原田清右衛門 御役所	罫紙	
D c ③ 8	文化6年3月22日	乍恐以書付御注進奉申上候(御巢鷹場にて越後国の百姓狼藉一件の報告)	箕作志久見村 巢守10名→寺社奉行	継紙	
D c ③ 9	宝暦5年9月	乍恐書付を以願上候御事(御巢鷹山巢守の持高、諸役免に関する願書)	野沢、坪山、箕作、志久見村20名の巢守→御代官	継紙	紙質、熱による硬化状態、この為一部切離れ封筒に同封
D c 4 1	文政9年6月	年賦金借用証文	月岡組年賦借用人 善次郎、他請人3名→箕作村枝長瀬 甚右衛門、清太夫	継紙	(D-c-2~3)不明、文書番号④×モ在中、(D-c)関連の束ヒモ在中
D c 4 2	文政2年2月	借用申金子年賦返済証文	飯山上町借用人 かざりや清吉、請人(2名) 布屋・布袋屋→長瀬組 甚右衛門	継紙	借用元金12両也
D c 4 3	文政13年5月23日	借用申金子之事(借用書)	金子借用人塩尻 長左衛門→長瀬村 甚右衛門	罫紙	借入金10両也
D c 4 4	文政12年5月	年賦金借用証文	借用人志久見村 清右衛門→箕作村 三左衛門、他4名	継紙	借入金6両2歩也
D c 4 5	文政11年5月	年賦金借用証文	越後国魚沼郡宮野原村借用人 与七→箕作村本郷 三左衛門、他4名	継紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D C 4 6	文政7年	年賦金借用証文	平滝村借用人 弥惣八→箕作村枝 長瀬組 甚右衛門、他1名	継紙	
D C 4 7	文政7年10月	年賦返済証文	借用人飯山本町 嘉三治→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D C 4 8	文政10年10月	年賦金借用証文	借用人雪坪 新右衛門→箕作村 三左衛門、他3名	継紙	証文は包紙の中
D C 4 9	文政5年10月	年賦金借用証文	借用人柳在家 五郎右衛門→箕作村 三左衛門、他4名	継紙	証文は包紙の中
D C 4 10	文政11年4月	年賦金借用証文	借用人程久保村 藤吉→三左衛門、他3名	継紙	
D C 4 6 11	天保8年12月	質売畑証文	長瀬新田 藤三郎→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c ⑤ 1	近代	御改正地券帳入袋		袋	袋のみ
D c ⑤ 2	近世	御代官矢嶋藤蔵様代官所役人名		切紙	
D c ⑤ 3	享和3年3月	以書付御届け申上候（御鷹の嘗巢の届出）	栄守→記載なし	継紙	
D c ⑤ 4	慶応元年12月	増金添書請文之事（改借用書）	柳在家 三郎右衛門→長瀬 甚右衛門	切紙	
D c 6 1 1	文化2年12月	利米にて借用申金子証文	借主人長瀬新田新田 金左衛門→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D c 6 1 2	文政11年10月	質売田地証文	長瀬新田質売人 金左衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 6 1 3	文化6年10月	利米借用申金子証文	長瀬新田 伊左衛門→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D c 6 1 4	文化9年12月	売渡申畑証文	長瀬新田 伊左衛門→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D c 6 1 5	文化5年10月	利米借用申証文	借用人長瀬新田 伊左衛門→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D c 6 1 6	文化9年12月	売渡申畑証文	畑売主長瀬新田 伊左衛門→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D c 6 2 1	天保6年10月	畑替地取加わせ証文	長瀬新田 藤三郎、多左衛門→長瀬村 甚右衛門	豎紙	(D-c-6-2)の束ヒモ在中
D c 6 2 2	天保2年10月	質売田地証文	長瀬新田 多左衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 6 2 3	天保4年2月	質売畑証文	長瀬新田 多左衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 6 3 1	文政11年12月	質売田地証文	長瀬新田 文右衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	(D-c-6-3)の束ヒモ在中
D c 6 3 2	文政11年12月	米借用証文	長瀬新田 文右衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 6 3 3	天保3年11月	金子借用証文	長瀬新田 文右衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 6 3 4	天保3年6月19日	金子借用証文	長瀬新田 文右衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 6 3 5	天保2年10月	金子借用証文	長瀬新田 文右衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 6 3 6	文政4年10月	借用金子利米証文	長瀬新田 文右衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 6 3 7	文政12年3月	小作田地証文	長瀬新田 文右衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 6 4 1	天保8年正月	金子借用証文	長瀬新田 四郎左衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	(D-c-6)の束ヒモ（長い方）、白ヒモ紙在中、(D-c-6)の束ねる豎紙（新田古証文のメモあり）在中、(D-c-6-4)の束ヒモ（短い方）在中
D c 6 4 2	天保8年2月	質売畑証文	長瀬新田 四郎左衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 6 4 3	文化10年11月	質売畑証文	長瀬新田 兵治郎→長瀬村 大助	豎紙	
D c 6 4 4	天保4年11月	撰芋（青芋）借用証文	長瀬新田 四郎左衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 6 4 5	文化2年極月	質売田地証文	長瀬新田 四郎左衛門→箕作村枝 北野組之内中野 佐平治	豎紙	
D c 6 4 6	文政4年10月	質売田地金子借用証文	長瀬新田 四郎左衛門→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D c 6 4 7	天保4年12月	質売田地証文	長瀬新田 四郎左衛門→長瀬村 甚右衛門	継紙	
D c 6 4 8	天保7年7月	質売畑証文	長瀬新田 四郎左衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 6 4 9	天保7年4月24日	金子借用証文	長瀬新田 四郎左衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 6 4 10	寛政11年11月	利米借用金子証文	長瀬新田 勤兵衛→長瀬村	豎紙	
D c 6 4 11	弘化4年12月	質地証文	長瀬新田 久治郎→長瀬村 甚右衛門	豎紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D c 6 4 12	弘化4年12月	質地證文	長瀬新田 久治郎→長瀬村 甚右衛門	甚右 豎紙	
D c 6 4 13	弘化4年12月	質地證文	長瀬新田 久治郎→長瀬村 甚右衛門	甚右 豎紙	
D c 6 4 14	弘化4年12月	質地證文	長瀬新田 久治郎→長瀬村 甚右衛門	甚右 豎紙	
D c 6 4 15	天保5年11月	売渡杉木證文	長瀬新田 藤三郎→長瀬村 甚右衛門	甚右 豎紙	
D c 6 4 16	弘化4年12月	金子借用利米證文	長瀬新田 久治郎→長瀬村 甚右衛門	甚右 豎紙	
D c 7 1	明治25年7月26日	地所売渡証	堺村 齊藤才蔵→長瀬村 右衛門 齊藤幸	豎紙	他に借用証、地所質入証等6通あり、(D-c-7-1)の束紙
D c 7 2	明治19年3月23日	売渡山林証書	齊藤助左衛門→齊藤幸右衛門	豎紙	他に借用証書、地所売渡証書
D c 7 3	明治11年4月	宮ノ原村出来絵図面		豎紙	
D c 7 4	明治19年11月17日	上申(北野組と越後結束村の国境に関する上申書)	北野組総代 桑原弥左衛門	罫紙	
D c 7 5	天保15年10月	乍恐書附以御届奉申上候(盗人に関する報告書)	長瀬 善右衛門、他3名→川浦御役所	罫紙	
D c 7 6	文政11年9月	世情證文之事(神主との不都合関係の回復)	桑名川村名主 要右衛門、他7名→当年行司 五束村高橋山城正、他1名	罫紙	
D c 7 7	文政8年11月	乍恐以書付奉願上候(天候不順の不作に伴う金子借用の願い文)	水内郡坂上組合、芹沢村、他10ヶ村名主→大原四郎右衛門 中野御役所	罫紙	
D c 7 8	明治8年7月22日	相渡申一札の事(樽田村半七娘ひじの一件)	越後口口村 小林彦右衛門、長瀬彦左衛門→齊藤甚右衛門	罫紙	関連切紙2通あり
D c 7 9	天保8年5月	御尋に付乍恐以書付御届奉申上候(凶作時の施し内訳の報告書)	箕作村庄屋 三左衛門、他6名→脇野町御役所	罫紙	
D c 7 10	明治34年3月18日	不行跡の詫状	齊藤忠作→御本家 齊藤幸右衛門	罫紙	
D c 7 11	寛政6年8月	差出申一札の事(風聞に伴う村預の一件)	当人 与右衛門、組合 次郎右衛門、他4名→甚右衛門	罫紙	
D c 7 12	近世	金子借用證文(案文)	不詳→不詳	罫紙	
D c 7 13	寛政7年12月24日	去卯11月申上筋衆中江戸表江被招出候御指紙(江戸表へ呼び出された9件について)		罫紙	
D c 7 14	近世	紀州大納言瘡瘡での薬効案内書		罫紙	
D c ⑦ 15	慶応2年9月5日	口上(慶長度の黒印文書の件)	長瀬 甚右衛門→本郷 三左衛門	切紙	一部破れる
D c ⑦ 16	嘉永6年6月	一札の事(御栗鷹山の枯材を無断伐採の通報)	日山隣村大井平村庄屋 吉右衛門→長瀬村役人	罫紙	
D c ⑦ 17	享保8年8月	崇守関連書簡		切紙	
D c ⑦ 18	近代(明治)	御届(魚沼郡宮ノ原村と堺村の国境の不一致届)	堺村用掛→長野県警察署	罫紙	
D c 7 19	明治25年7月11日	証券(齊藤乙吉儀養子に付き仕付金証券関連文書一件)	堺村長瀬 齊藤幸右衛門→水内村上倉仙之助	罫紙	
D c 7 20	明治25年5月17日	博奕詫状	堺村当部組 関沢為吉→長瀬組 齊藤幸右衛門	罫紙	
D c 7 21	元治元年8月	修葺金堂重健仁王門募縁跡、椿臺居士に手向 2通	仁王門募縁跡は善光寺別当大勧進	罫紙	椿臺居士は弘化4年11月死去の幸右衛門
D c 7 22	近世	為取替申證文之事(越後宮野原村用水不足のため志久見川より取水の一件)		罫紙	
D c 7 23	明治21年10月19日	熟談之為取替証(現地目調査に伴う土地替一件)	志久見村組惣代 桑原重左衛門、他4名→長瀬組、他、当部、天代御中	罫紙	×モ紙添付、D-C-7の資料包紙及びヒモ同封
D c 8 1	近世	金子借用證文関連10通		罫紙	D-C-8の白×モ紙同封
D c 8 2	天保13年9月	乍恐以書付御願奉申上候(借入金返済に関するトラブル訴え、他2通)	長瀬 甚右衛門→平岡熊太郎 御役所	罫紙	
D c ⑨ 1	元治元年4月	鳥居の木一件に付取置候書付(標題のみの包紙)			D-C-9-2の包紙
D c ⑨ 2	元治元年4月	差出申一札の事(御栗鷹山にて鳥居を作る為無断伐採の詫状)	魚沼郡赤沢村若者惣代願人 久左衛門→長瀬 崇守役人中	罫紙	D-C-9-1の中に含まれていた
D c 9	文化10、安政5、明治元年	質売田地證文3通		罫紙	代官所役人名×モ紙同封
D c 10	文政6年8月	一札の事(出入での組預け身慎し守る一件)	長瀬組 惣右衛門→長瀬組触頭 六左衛門、本郷組頭 三左衛門	切紙	
D c ⑩ 1	慶応3年10月	金子口合に質売田地證文之事	志久見村 常光院→長瀬 甚右衛門	罫紙	D-C-⑩の東ヒモ及び⑩の白×モ書用紙在中
D c ⑩ 2	慶応3年12月	三ヶ年季質売杉植附証文之事	常光院→長瀬組 甚右衛門	罫紙	
D c ⑩ 3	慶応2年10月	譲り渡し申林證文之事	常光院→長瀬 甚右衛門	罫紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D c ⑪ 4	明治2年12月	三ヶ年季林荒野証文訳書一札之事	常光院→長瀬 甚右衛門	豎紙、 継紙	
D c ⑪ 5	明治2年12月	三ヶ年季売渡し林荒野証文之事	常光院→長瀬 甚右衛門	継紙	
D c ⑪ 6	明治元年12月	三ヶ年季売渡し雑木林証文之事	常光院→長瀬村 甚右衛門	継紙	
D c 11 7	明治5年6月	郊干場荒野証文之事	野口 常光院→ 長瀬 甚右衛門	継紙	この証文に包まれていたD-C-⑪-7の白メモ紙同封、「包紙か⑪-1」のメモ書あり
D c 11 8	安政5年	質入田地証文之事（表題の例文）		豎紙	
D c 11 9	明治3年12月	七ヶ年季質売田地証文之事	野口 常光院→ 長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c ⑪ 14	明治3年6月	雑木林売渡し証文之事	常光院→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D c 11 15	慶応2年10月24日	五ヶ年季質売田地証文之事	野口 常光院→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 1	文政11年	文政11年子年徳左衛より渡高	三左衛門→□□ 甚右衛門	継切紙	包紙；笹原右証文、こより1本
D c 12 2	不詳	覚 金八両入金覚		切紙	
D c 12 3	天保2年12月19日	手紙 質地証文の問合せの返事	三左衛門→御中 甚右衛門	用事 切紙	
D c 12 4	文化10年12月	三ヶ年季に而賣渡申田地証文之事	田地賣主 笹原 安右衛門⑩、受人 元右衛門⑩、他1名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D c 12 5	文政12年10月	年賦金借用証文之事	高井郡箕作村之内笹原 頼母子返金方引請人 五左衛門、同村請人 市右衛門、他1名→頼母子宿 北野与右衛門、清左衛門	豎紙	
D c 12 6	文政13年11月	質賣田地証文之事	高井郡箕作村枝笹原 田地質賣人 源六⑩、同村請人 弥三右衛門⑩、外1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 7	文政13年11月	質賣田地証文之事	高井郡箕作村枝笹原 田地質賣人 源六⑩、同村請人 弥三右衛門⑩、外1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 8	文政13年11月	質賣田地証文之事	高井郡箕作村枝笹原 源六⑩、同村請人 弥三右衛門⑩、外1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 9	文政13年11月	質賣田地証文之事	高井郡箕作村枝笹原 田地質賣人 源六⑩、同村請人 弥三右衛門⑩、外1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 10	不詳(近世)	小作証文之事	笹原 小作人 与喜右衛門⑩、立合 五左衛門⑩→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 11	天保3年11月	質賣田地証文之事	箕作村之内笹原 田地質賣人 与喜右衛門⑩、同村請人 五左衛門⑩→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 12	天保10年12月	質入田地証文之事	信州高井郡箕作村枝郷笹原 田畑質入人 弥三八⑩、同村請人 三右衛門⑩、外1名→長瀬 甚右衛門	継紙	
D c 12 13	天保3年6月	金子借用証文之事	金子借用人 笹原 吉右衛門⑩、請人本家 五左衛門⑩、外1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	切紙1点
D c 12 14	文政9年10月	利米に而金子借用証文之事	高井郡箕作村枝笹原 利米金借用人 市右衛門⑩、同村請人 五左衛門⑩→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 15	天保4年12月	質賣田地証文之事	信州高井郡箕作村枝笹原 田地質賣人 市右衛門⑩、同村請人 五左衛門⑩→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 16	天保4年12月	質賣田地証文之事	信州高井郡箕作村枝長瀬之内笹原 田地質賣人 市右衛門⑩、同村請人 五左衛門⑩→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 17	天保4年12月	質賣田地証文之事	信州高井郡箕作村枝笹原 田地質賣人 市右衛門⑩、同村請人 五左衛門⑩→長瀬 甚右衛門	豎紙	切紙1点
D c 12 18	天保4年12月	質賣田地証文之事	信州高井郡箕作村枝笹原 田地質賣人 市右衛門⑩、同村請人 五左衛門⑩→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 19	天保4年12月	質賣田地証文之事	信州高井郡箕作村枝笹原 田地質賣人 市右衛門⑩、同村請人 五左衛門⑩→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 20	天保4年12月	質賣田地証文之事	信州高井郡箕作村枝笹原 田地質賣人 市右衛門⑩、同村請人 五左衛門⑩→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 21	天保14年正月	質入田地証文之事	信州高井郡箕作村枝当部 田地質入人 重右衛門、同村請人 浅右衛門→長瀬 甚右衛門	継紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D c 12 22	天保4年12月	米借用證文之事	箕作村枝笹原 米借用人 弥三右衛門①、同村請人 弥三八→長瀬甚右衛門	豎紙	
D c 12 23	天保3年11月	頼母子金譲り證文之事	頼人 笹原 重左衛門①、同村立合人 五左衛門①、同宿 市右衛門①→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 24	天保4年12月	金子借用證文之事	箕作村枝笹原 金子借用人 弥三右衛門①、同村請人 弥三八→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 25	天保8年12月	頼母子講金預り證文之事 金拾兩壹朱	箕作村枝長瀬 金子預人 甚右衛門、同村立合人 甚三郎→頼母子宿 笹原 五左衛門	豎紙	
D c 12 26	天保2年3月	小作證文之事	高井郡箕作村枝笹原 田地小作人 源六①、立合 弥三右衛門①→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 12 27	嘉永元年11月	拾ヶ年季賃入田地證文之事	箕作村之内笹原 田地賃入人 辰右衛門①、同村請人 弥三八①→長瀬 甚右衛門	繼紙	
D c 13 1	天保4年12月	質売田地證文之事（金4兩1分、本田高9升）	信州高井郡箕作村枝長瀬 田地質売人 治郎左衛門①、同村請人 七郎右衛門①→同所 甚右衛門、組頭 吉兵衛①	豎紙	こより1本、包紙
D c 13 2	天保6年10月	質売田地證文之事	高井郡箕作村枝北野 田地質売人 弥右衛門①、外2名①→箕作村枝長瀬 甚右衛門、本郷名主 三左衛門①	豎紙	
D c 13 3	天保4年10月19日	金子借用證文之事 金五兩也	箕作村枝北野 金子借用人 弥右衛門①→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 13 4	天保15年3月	借地證文之事	高井郡箕作村枝長瀬 地面借主 長右衛門、同所請人 豊吉→同 甚右衛門	繼紙	
D c 13 5	安政3年12月	五ヶ年季杉林賃入證文之事 杉林式ヶ所	箕作村枝北野 林賃入人 九兵衛①、外2名①→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 13 6	慶応3年12月	賃入田地證文之事	志久見村枝極野 金子借用人 源右衛門①、請人 長三郎①→長瀬 甚右衛門	豎紙	こより1本、包紙
D c 13 7	明治3年12月	五ヶ年季賃賣申田地證文之事	高井郡志久見村之内 極野田地質賣人 与八①、外2名①→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 13 8	明治5年9月28日	金子借用證文之事	高井郡志久見之内 権兵衛弟 久左衛門、同所受人 菊之丞→長瀬 幸右衛門	豎紙	
D c 13 9	明治16年3月14日	差出申助弁証	右願人 齊藤久兵衛①、外2名①→長瀬郷 齊藤甚右衛門	豎紙	
D c 13 10	不詳	田地小作水入書	下高井郡堺村刀組 右願人 齊藤才吉①、外2名①→同村長瀬組 齊藤幸右衛門	豎紙	
D c 13 11	明治20年1月15日	地所賣渡證券 堺村之内持主當部	九組惣代 藤木鶴松①、笹原組保証人 関沢栄吉①→同村長瀬 齊藤幸右衛門	豎紙	
D c 14 1	文政6年8月	乍恐書付を以奉申上候（訴訟人 惣右衛門日延願）	高井郡箕作村 相手名主 三左衛門、外2名→矢嶋藤藏 中野御役所	豎紙	こより1本
D c 14 2	文政9年4月	指上一札之事	高井郡組合若宮村 孫八①→高井郡御郡中御村々 御名主衆中	繼紙	
D c 14 3	文政5年6月	乍恐以書付奉願上候 長瀬村地内中尾原開田願い	信州国高井郡箕作村枝長瀬 百姓48人惣代 百姓願人 甚右衛門、同所 六左衛門→矢嶋藤藏 中野御役所	繼紙	
D c 14 4	不詳	乍恐以書附御訴奉り申上候 惣右衛門欠落儀		繼紙	
D c 14 5	不詳	差出申口書之事 北野川より用水取入畑田成の件		豎紙	
D c 15 1	天保2年6月	御年貢金借用證文之事 金63分也	信濃国高井郡箕作村枝長瀬 年賦金借用人 兵三郎①、外7名→同所 甚右衛門	繼紙	包紙1枚、こより1本
D c 15 2	天明3年12月	賣渡田畑證文之事	賣主当村 作右衛門①、外2名①→甚右衛門	豎紙	
D c 15 3	文化5年12月	借用申金子證文之事（不勝手に付御年貢・要金に差支借用仕一金三分也一玄米壹斗也此当来午春上縮式反）	長瀬村借用主 庄右衛門、請人同村 清右衛門→同村 甚右衛門	豎紙	
D c 15 4	天保5年10月29日	御年貢金借用證文之事	箕作村枝郷長瀬 御年貢金借用人 仙左衛門①、外6名①→同所 甚右衛門	豎紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D c 15 5	寛延2年10月23日	三年季相定申質賣田地證文之事	当村請主 多郎口@、外2名@→ 当村 仁右衛門	豎紙	
D c 15 6	寛保元年12月26日	八年季に相定申質入田地證文之事	質入主 善六@、親類 九右衛 門、外3名→当村 仁右衛門度	豎紙	
D c 15 7	寛延2年12月11日	五年季相定申質賣田地證文之事	当村願主 重助@、請人 吉右衛 門@、外1名→当村 仁右衛門	豎紙	
D c 15 8	宝暦6年2月	五年季相定質入田地證文之事	当村願主 重助@、請人 又左衛 門@→当村 仁右衛門	豎紙	
D c 15 9	宝暦6年11月	五年季相定申質賣田地證文之事	願主当村 五郎兵衛@、請人 又左 衛門@→当村 仁右衛門	豎紙	
D c 15 10	宝暦6年12月	五年季に相定申賣畑證文之事	願主当村 五郎兵衛@、請人 又左 衛門@→当村 仁右衛門	豎紙	
D c 15 11	宝暦6年2月	五年季相定申質賣田地證文之事	願主当村 半右衛門@、請人 又 左衛門@→当村 仁右衛門	豎紙	
D c 15 12	宝暦5年10月	三年季相定申質賣田地證文之事	願主当村 重助@、請人 又左衛 門@→当村 仁右衛門	豎紙	
D c 15 13	宝暦6年4月5日	五年季相定申質賣田地證文之事	願主当村 多郎助@、請人 吉右 衛門@、外1名→当村 仁右衛門	豎紙	
D c 15 14	寛延元年12月23日	五年季相定申質賣田地證文之事	願主当村 重助@、請人 甚口口 @、外1名→当村 仁右衛門	豎紙	
D c 15 15	寛延2年12月1日	五年季相定申質賣田地證文之事	当村賣主 甚七@、請人 吉右衛 門@→当村 仁右衛門	豎紙	
D c 15 16	宝暦3年12月	三年季相定申質賣田地之事	願主当村 権十郎@、請人 庄右 衛門@→当村 仁右衛門	豎紙	
D c 15 17	宝暦6年11月	三年季相定申質賣田地證文之事	願主当村 多郎兵衛@、請人 吉 郎兵衛@、外1名→当村 仁右衛 門	豎紙	
D c 15 18	明和9年12月13日	質賣申證文之事	賣主当村 又兵衛@、請人 長兵 衛@→甚右衛門	豎紙	
D c 15 19	不詳	賣渡申田地證文之事	賣主当村 作右衛門@、請人惣 助、外1名@→甚右衛門	豎紙	
D c 16 1	慶應元年5月	乍恐以書付奉願上候 冥加金子上納 之事	高井郡箕作村名主 三左衛門、同 村長瀬組百姓 甚右衛門→小川達 太郎 中野御役所	豎紙	こより1本
D c 16 2	不詳	乍恐以書付奉願上候 箕作村惣右衛 門不祥事の事			
D c 16 3	不詳	相渡申一札之事 中野村名主廣右衛 門取扱にて和談之事	高井郡箕作村枝長瀬組 助左衛門 @、外32名連印	繼紙	
D c 16 4	文政6年10月28日	差上申一札之事 新開地に関する訴 公	高井郡箕作村 長命寺信天頼に付 代訴公方 北天、外7名→矢嶋藤 蔵 中野御役所	繼紙	
D c 16 5	不詳(近世)8月	差上申御請書之事 長命寺附地新開 其外の件	信州高井郡箕作村枝郷長瀬組百姓 治郎左衛門、外4名→矢嶋藤蔵 中野御役所	繼紙	
D c 16 6	嘉永3年5月	差出申一札之事 質地改に付請人立 合の件	箕作村枝 重右衛門、外2名→長 瀬組 長命寺隠居	豎紙	
D c 17 1	嘉永8年3月	小作田地證文之事	田地小作人 長瀬 浅之丞→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 17 2	嘉永7年12月	質入田地證文之事	箕作村枝長瀬 田地質入人 金三 郎、外2名→組頭 市兵衛	豎紙	外同證文4点
D c 17 3	明治35年1月	金子借用証書 金36円70銭 但 し利子年1割5分定む	下高井郡堺村当部 金子借用人 関澤為蔵@→堺村長瀬 齋藤琢郎	豎紙	外同証書8点
D c 18 1	寛政6年8月	乍恐以書付願上候 長瀬百姓与右衛 門、月岡組百姓九右衛門兩人儀御慈 悲を以兩人村領ヶ被仰付被下置候	箕作村名主 三左衛門、他9名→ 河尻甚五郎 中野	繼紙	写
D c 18 2	文化6年8月	為取替申熟談證文之事(宮野原新堰 一件濟口熟談書)	箕作村庄屋 三左衛門@、志久見 村庄屋 藤左衛門@、宮野原村 屋 六郎左衛門@、他10名@	繼紙	
D c 19	弘化4年10月	質地證文之事	箕作村之内当部新田 田畑借受人 人 甚之丞@、同所請人 又右衛 門@→長瀬 甚右衛門、本郷名主 三左衛門@	繼紙	外同證文1点、寛1 点
D c 20 1	慶應4年4月	五ヶ年季質地證文之事 手入手形の 事	水内郡白鳥村 質入人 徳兵衛 @、親類受人 新右衛門@→高井 郡長瀬 甚右衛門	豎紙	こより1本、包紙1枚
D c 20 2	文久2年	為念添書證文之事	水内郡白鳥村源書渡し人 長四郎 @、親類請人 佐七 代印@→長 瀬村 甚右衛門	豎紙	
D c 20 3	文久3年4月	田地請作手入證文之事	水内郡白鳥村 田地手入人 小林 丹波@、高井郡東大滝村 親類受 人 三郎右衛門@→高井郡箕作村 長瀬 甚右衛門、田地小作米引受 人 水内郡白鳥村 長四郎	繼紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D c 20 4	元治元年4月	借用申金子證文之事	水内郡白鳥村 借用人名主 廣右衛門①、外2名→高井郡長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 20 5	元久2年4月	借用申金子證文之事	水内郡白鳥村 借用人 小林丹波①、西大瀧村受人 小林神主→藤沢三郎右衛門	豎紙	
D c 20 6	元久2年4月	質置申地所證文之事	地所質置人 当村 丹波①、親類受人 同 伊兵右衛門①→右村又右衛門	豎紙	
D c 20 7	萬延元年4月	拾ヶ年季に相定申賃入田地證文之事	信州水内郡白鳥村 田地質賣人 小林丹波①、親類受人 三郎兵衛①、外1名→同国同郡森村 与右衛門	豎紙	
D c 20 8	萬延元年4月	田地請作水入證文之事	信州水内郡白鳥村 請作水入人 小林丹波①、外2名→同国同郡森村 与右衛門	豎紙	
D c 20 9	安政4年4月	借用申金子證文之事	水内郡白鳥村 借用人 三郎兵衛①、受人 小林丹波①→高井郡長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D c 20 10	文久2年10月	借用申金子證文之事	白鳥村 借用人 小林丹波①、右村親類受人兼名主 三郎兵衛①青倉村 庄右衛門	豎紙	
D c 20 11	嘉永7年6月6日	為請證之口上書	神主 信州水内郡白鳥村 小林丹波、藤原元勝	切紙	
D c 20 12	元治元年10月	田地請作水入證文之事	水内郡白鳥村 水入人 廣右衛門①、受人 丹波正①→高井郡長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 20 13	慶應3年4月	五ヶ年季賃入田地證文之事、田地請作水入證文之事	水内郡白鳥村 質受人 吉右衛門①、親類受人 藤右衛門①→高井郡長瀬 甚右衛門	豎紙	包紙1枚、こより1本
D c 20 14	慶應3年4月	借用申金子證文之事	水内郡白鳥村 借用人 徳兵衛①、親類受人 新右衛門①→高井郡長瀬 甚右衛門	繼紙	
D c 20 15	文久2年4年	有合質地證文之事	水内郡白鳥村 地主 徳兵衛①、受人 市郎右衛門①→同村 長四郎	豎紙	こより1本、包紙1枚
D c 21 1	明治〇年7月19日	日延証書（借入金返済延期願い）	水内郡白鳥村 齋藤治右衛門、外1名→下高井郡長瀬村 齋藤幸右衛門	豎紙	21の束書在中
D c 21 2	明治17年12月28日	地券証預り書	堺村之内長瀬 齋藤甚右衛門→宮野原村 中島定作	切紙	
D c 21 3	明治16年3月	差上申一札之事（心得違いの詫び状）	長瀬 齋藤忠作→本家 齋藤甚右衛門、親類 齋藤久右衛門	豎紙	
D c 21 4	明治10~11年	記（3通）（召し使い勤め等による貸し付金の割引記録）	長瀬 齋藤甚右衛門→中野 齋藤伝之丞	豎紙、切紙	
D c 21 5	天保3年6月	差出申一札之事（御祭礼時の喧嘩狼藉の詫び状）	長瀬組 当人 太右衛門、笹原本家 五左衛門、親類 治右衛門→志久見村 菊右衛門	繼紙	
D c 21 6	明治15年7月末日	米借用証書之事	長瀬組笹原 関沢治右衛門→同所 齋藤甚右衛門	豎紙	
D c 21 7	明治15年1月	杉ノ木賃請証書	魚沼郡外丸村 江村市兵衛、堺村雪坪 上倉新助→齋藤甚右衛門	豎紙	
D c 21 8	明治2年	長瀬村田地図		豎紙	
D c 21 9	明治4年12月29日	賃入証文	坪野 久左衛門→長瀬 甚右衛門	切紙	
D c 21 10	天保8年12月29日	金子借用証文之事、外10通	笹原 五左衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 21 11	文久元年5月	借用申金子之事（同人より文久元年、慶應元年、明治元年の3通）	静間村 広右衛門→長瀬村 幸右衛門	豎紙	
D c 21 12	文政10年11月	田地相渡証文之事	中野 惣八→同村 七右衛門	豎紙	
D c 21 13	明治12年6月1日	濟口之証	堺邨中野分 齋藤伝之丞→長瀬組 齋藤甚右衛門	罫紙	
D c 21 14	明治17年12月	賃入山田・賃入田畑証書（2通）	中魚沼郡結東村 山本源三、他2名→堺村 齋藤甚右衛門	罫紙	
D c 21 15	天保6年12月	米借用証文	中魚沼郡結東村 善太郎→堺村 齋藤甚右衛門	豎紙	D-c--21-15~17の東七モ同封
D c 21 16	近世		宮の原村枝小池 兵右衛門	豎紙	年号、宛名不明
D c 21 17	明治19年12月	御念書（借入金に関する、2通）	豊栄村 半藤治右衛門→長瀬村 齋藤幸右衛門	罫紙	
D c 21 18	明治18年12月	借入金念書	長瀬 齋藤甚右衛門→小池 中島定作	罫紙	
D c 22 1	安政6年11月	借用金子之事	長瀬村 甚右衛門→野沢村 九十郎	豎紙	22記入のメモ紙同封

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D c 22 2	文政5年12月	乍恐以書付御届奉申上候(質物商売に關するトラブル)	久兵衛、他2名→御役所	豎紙	
D c 22 3	寛政9年8月	書付一札之事(長命寺本堂再建に關する)	長命寺→村長 甚右衛門、他1名	繼紙	D-c-22-4は欠番
D c 22 5	3 安政4年6月16日	田地書入金子借用証文之事(馬買入に伴う金子借用)	柿在家村 五右衛門→長瀬村 甚右衛門	豎紙	D-c-22-5-1~2は欠番、D-c-22-5-3のメモ書用紙在中
D c 22 5	4 天保8年12月	年賦金借用証文之事(他借用證文4件)	常光院→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 22 6	文化14年3月	替地取替証文之事	長瀬 長命寺→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 22 7	文政10年11月	奉指上起請之事(修験道起請文)	信濃国高井郡野口村 常光院 寛明→本山修験宗 東光院 行園	繼紙	
D c 22 8	文政9年8月	乍恐以書付奉願上候(身持不埒の百姓を嚴重なる吟味願い)	長瀬組 惣代百姓 六左衛門、他3名→中野御役所 大原四郎右衛門	繼紙	
D c 22 9	天保8年4月	乍恐以書付奉願上候(堰敷の故障狼藉の訴え)	長瀬 百姓38人惣代 甚右衛門→脇野町御役所 平岡文治郎	繼紙	
D c 22 10	天保15年11月	差上申一札之事(盗難物の引渡し的一件)	神戸村 又右衛門、長瀬村 善右衛門→川浦御役所 石原清左衛門	繼紙	
D c 22 11	文化10年8月	相定に申隠免証文之事(大助父甚右衛門病死に係る家督一件)	長瀬 大助、他親籍7名	豎紙	D-c-22の束ヒモ在中
D c 23 1	天保11年6月	質売田地証文之事	箕作村枝中野 平兵衛、他2名→長瀬 甚右衛門	豎紙	D-c-23の束ヒモ在中
D c 23 2	安政2年10月28日	金子借用証文之事	小野 長之丞、他2名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 23 3	文政元年12月	質売田地証文之事	中野 佐平治→長瀬 甚右衛門	豎紙	23-3のメモ紙同封
D c 23 4	文化11年6月11日	売渡し申杉木證文之事	北野村 彦右衛門→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D c 23 5	享和2年10月	売渡し申杉林證文之事	北野村 吉郎右衛門→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D c 23 6	文化元年12月	杉木売渡し申證文之事	北野村 彦二郎→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D c 23 7	1 文政12年10月	年賦金借用証文之事	箕作村中野 藤左衛門→長瀬 甚右衛門	繼紙	23-7のメモ書用紙在中
D c 23 7	2 明治20年1月	地所売渡証	堺村 桑原藤左衛門→同村 齊藤 幸右衛門	罫紙	
D c 23 7	3 嘉永5年12月	質売田地証文之事	箕作村 市兵衛→北野組 善右衛門	罫紙	
D c 23 7	4 安政3年12月	質入田地証文之事	箕作村枝北野 久兵衛→長瀬村 幸右衛門	豎紙	
D c 23 8	1 天保5年4月	雑木林之効干場売渡証文之事	志久見村枝堀切 藤左衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	23-8のメモ書用紙在中、23-8の束用紙として使用あり
D c 23 8	2 天保11年6月	質売田地証文之事	箕作村枝郷中野 平兵衛→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 23 8	3 文政11年10月	金子有合に質売田地証文之事	箕作村枝北野 清左衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 24 1	明治19年	公証願(字長瀬17002番 畑4歩 地代金1円)	齊藤幸右衛門→堺村戸長 森隆英	罫紙	D-c-24の束紙として使用、D-c-24のメモ用紙、束ヒモ同
D c 24 2	明治14年4月	齊藤氏杉林造儀記録		豎帳	
D c 24 3	明治19年3月26日	土地売渡証	堺村 藤木三左衛門→堺村 齊藤 幸右衛門	罫紙	
D c 24 4	明治15年1月14日	杉林売渡し証書	長瀬 齊藤甚右衛門→魚沼郡外丸 村 江村市兵衛	豎紙	
D c 24 5	明治13年2月6日	売渡申地所証文之事	堺村 齊藤惣八→堺村 齊藤甚右衛門	豎紙	
D c 24 6	明治15年12月27日	差入申証書之事	齊藤亀太郎→齊藤甚右衛門	豎紙	
D c 24 7	明治14年	讓売杉林証券(讓渡代金320円也)	齊藤茂右衛門、他22名→齊藤甚右衛門	豎帳、罫紙	
D c 24 8	明治20年1月16日	売渡証(原野6歩、売渡金60銭)	齊藤久右衛門→齊藤幸右衛門	豎紙	
D c 24 9	明治19年3月29日	売渡証書	長瀬 中村音松→長瀬 齊藤幸右衛門	罫紙	
D c 24 10	明治20年1月17日	讓渡証	堺村 齊藤周寿→堺村 齊藤幸右衛門	罫紙	
D c 24 11	明治20年1月15日	地所売渡証	齊藤勇吉→齊藤幸右衛門	豎紙	
D c 24 12	明治13年	讓渡松木林証書之事	堺村 齊藤作右衛門→堺村 齊藤 甚右衛門	豎紙	
D c 24 13	明治19年7月	売渡証書(畑4歩、地代金壹円也)	堺村 齊藤幸右衛門→堺村 齊藤 甚兵衛	罫紙	
D c 24 14	明治19年7月24日	売渡証(田壹畝壹歩、売渡金10円也)	長瀬 齊藤幸右衛門→長瀬 齊藤 周寿	罫紙	
D c 24 15	明治19年7月25日	売渡証書(地代金2円25銭也)	堺村 齊藤幸右衛門→堺村 藤木 三左衛門	罫紙	
D c 24 16	明治20年1月	売渡証券(代金3円也)	長瀬組売渡人惣代 中村辰右衛門、他39名→齊藤幸右衛門	豎紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D c 24 17	明治19年8月20日	年賦借借証書	下水内郡白鳥村 小林茂右衛門→長瀬村 齊藤幸右衛門	豎紙	
D c 24 18	明治6年12月	田地換金証書之事	長瀬組 齊藤六左衛門→同村 齊藤甚右衛門	豎紙	
D c 24 19	明治19年7月25日	譲渡証書(田地金4円16銭)	堺村 齊藤幸右衛門→同村 林秀庵	豎紙	
D c 24 20	明治12年12月	譲り地証書(山林金10円也)	堺村野口組 齊藤要→長瀬組 齊藤甚右衛門	豎紙	
D c 24 21	明治19年12月	恩儀証(中尾新堰の土地譲渡に関する証文)	長瀬組惣代 中村辰右衛門、他5名→齊藤幸右衛門	豎紙	
D c 24 22	明治13年12月	譲渡林証書之事(金子供用に伴い林地券状譲渡)	堺村 齊藤佐右衛門→齊藤甚右衛門	豎紙	
D c 24 23	明治19年11月25日	地所売渡証券(原野売渡金1円50銭)	長瀬村 齊藤利左衛門→同村 齊藤幸右衛門	豎紙	
D c 24 24	明治	離縁復籍願(離縁復籍願の届け形式見本)		豎紙	
D c 24 25	1 明治15年3月17日	売渡田地証券	堺村 齊藤六左衛門→同村 齊藤甚右衛門	豎紙	D-c-24-25の束ヒモと束紙同封
D c 24 25	2 明治18年1月	売渡申田地証券	堺村 齊藤勇吉→同村 齊藤甚右衛門	豎紙	
D c 24 25	3 明治16年10月24日	売渡証書(田地売渡し)	堺村 齊藤勇吉→同村 齊藤甚右衛門	豎紙	
D c 24 25	4 明治16年1月	差入一札之事(田地を形に金子借用)	堺村 齊藤甚左衛門→齊藤善右衛門	豎紙	
D c 25 1	1 天保6年11月	米ら苧(からむし)借用証文之事	長瀬 大治郎→同村 甚右衛門	豎紙	D-c-25の束紙として使用、D-c-25-1-1の束ヒモと25の×モ紙同封
D c 25 1	2 安政6年	箕作道地図		切紙	D-c-25-1の束ヒモ在中
D c 25 1	3 慶応4年12月	年季質売雑木林証文之事	志久見村野口 大宝院→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 25 1	4 明治4年7月	年季売渡し雑木林苧干場荒野証文之事	志久見村野口 佐次右衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 25 1	5 安政4年12月	譲渡申雑木林荒野証文之事	志久見村野口 大宝院→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 25 1	6 天保13年10月	雑木林売渡証文之事	志久見村野口 甚左衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 25 1	7 安政6年12月23日	借用申金子証文之事	野口 佐次右衛門→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
D c 25 1	8 慶応4年12月	売渡申借用証文之事	野口 大法院→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 26 1	文政元年12月	林売渡申証文之事	七左衛門→兵三郎	豎紙	
D c 26 2	1 天保9年12月	林と畑売渡証文之事	長瀬 仙治郎→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 26 2	2 天保8年10月	年季質売畑証文之事	長瀬 喜助→同村 甚右衛門	豎紙	26とD-c-26-2の×モ書用紙、束ヒモ同封
D c 26 3	1 天保4年12月	林質売証文之事	長瀬 奥之丞→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 26 3	2 天保9年11月	売渡畑証文之事	長瀬 奥之丞→同村 甚右衛門	豎紙	D-c-26-3、3-2の×モ書用紙同封
D c 26 3	3 嘉永3年12月	雑木林永代譲証文之事	長瀬 奥之丞	豎紙	
D c 26 3	4 元治元年12月	田地取替証文之事、他2通	長瀬 佐治右衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 26 4	天保8年10月	年賦金借用証文之事	長瀬組 佐治右衛門→同村 甚右衛門	豎紙	
D c 26 5	文政9年10月	年賦金借用証文之事	長瀬組 重右衛門→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 6	嘉永2年12月	質入田地証文之事	長瀬 奥之丞→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 26 7	1 万延元年12月	年賦金借用証文、他1通	長瀬 庄助→同所 甚右衛門	豎紙	D-c-26-7、7-1の×モ書用紙同封、束ヒモ在中
D c 26 7	2 嘉永3年11月	杉桐漆立之地質入証文之事、他1通、替地談合証文之事	長瀬 重右衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 26 7	3 安政6年8月	質入田地証文之事、他5通	長瀬 伴左衛門→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 7	4 慶応3年12月	田地譲り渡し申証文之事、他1通	長瀬 六左衛門→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 7	5 嘉永6年11月	年賦金借用証文之事、他2通	長瀬 吉兵衛→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 7	6 安政6年11月	金子借用申証文之事、他2通	長瀬 吉右衛門→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 7	7 慶応4年8月26日	呑井堰井に家敷添替地願入証文之事	長瀬 常右衛門→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 7	8 安政4年12月	質入田地証文之事、他1通	長瀬 源左衛門→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 7	9 天保9年12月	金子借用証文之事	長瀬 勝右衛門→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 7	10 慶応2年12月	差上申一札之事(質売田地質戻しに関して双方の考え相違から同意の一件)	長瀬 元右衛門、他4名→長瀬 甚右衛門	繼紙	
D c 26 7	11 明治2年12月	年季質売田地証文之事	長瀬 林口口→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 8	嘉永6年12月	金子借用証文之事	長瀬 清右衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 26 9	天保2年12月	年賦金借用証文之事	長瀬 六右衛門→同村 甚右衛門	豎紙	
D c 26 10	1 明治元年12月	荒野売渡し証文之事	長瀬 吉右衛門→甚右衛門	豎紙	D-c-26-10の束ヒモ同封

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D c 26 10	2 明治元年12月	年季売渡し雑木林荒野証文之事	長瀬 吉右衛門→長瀬 甚右衛門	豎紙	
D c 26 10	3 慶応元年12月	質地証文之内へ増金之事	長瀬組 吉右衛門→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 11	明治11年4月	売渡申証文之事	長瀬 中村あき→同村 齊藤甚右衛門	豎紙	
D c 26 12	天明3年12月	売渡申し田地証文之事	長瀬 平兵衛→同村 甚右衛門	豎紙	
D c 26 13	天保15年3月	金子借用証文	長瀬 名右衛門→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 14	1 天保4年12月	質売田地証文之事	長瀬 治郎左衛門→同所 甚右衛門	豎紙	D-c-26-14東ヒモ同封
D c 26 14	2 明治3年8月	五ヶ年季質売田地証文之事	長瀬 友右衛門→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 15	明治4年12月	金子有合に相定質売田地証文之事、2通	長瀬 友右衛門→甚右衛門	豎紙	
D c 26 16	安政5年12月	売渡し申田地証文之事	長瀬 友右衛門→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 17	弘化4年12月	質売証文之事	長瀬 多右衛門→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 18	安政5年11月	質売申雑木林証文之事	長瀬 治郎右衛門→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 19	文政2年12月	売渡申林証文之事	野口 常光院→長瀬 大法院	豎紙	
D c 26 20	1 天明6年12月	質売田地証文之事	中野村 三郎右衛門→中野村 五左衛門	豎紙	D-c-26-20の東ヒモ同封
D c 26 20	2 文政11年10月	金子有合に質売田地証文之事	長瀬 伴左衛門→当村 甚右衛門	豎紙	
D c 26 21	1 明治元年12月	田地増金之事	長瀬村 惣八→同所 甚右衛門	豎紙	D-c-26-21の東ヒモ同封
D c 26 21	2 明治元年12月	雑木林売渡し証文之事	長瀬村 惣八→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 22	嘉永3年6月	金子借用証文之事	長瀬 清蔵→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 23	嘉永2年12月	田八質入証文之事	長瀬 清蔵→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 24	安政5年	質売申杉雑木林丸証文之事	長瀬 平吉→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 26 25	慶応4年12月	田畑并林増金願入添書証文之事	長瀬 平吉→同所 甚右衛門	豎紙	
D c 27 1	天保3年11月5日	頼母子廿式等取立覚帳	宿 甚三郎	横帳	27のメモ書用紙と東ヒモ同封
D c 27 2	天保4年5月28日	頼母子廿三等取立覚帳	宿 甚三郎	横帳	
D c 28 1	近世5月9日	覚 酒、豆腐、外代金の請求	門屋→御客	切紙	こより1本
D c 28 2	近世	和歌3首	知患有犬	切紙	
D c 28 3		数え歌(表面)、中国の歴史(裏面)	不明	継切紙	
D c 28 4	近世3月26日	手紙	箕作 嶋田三左衛門→上長瀬 齊藤甚右衛門	切継紙	
D c 28 5	近世	覚 関宿是より船乗、外1枚		切紙	
D c 28 6	近世8月27日	覚 代金請求取候	信州善光寺町横町 小升屋太兵衛→長瀬村 甚右衛門	継紙	
D c 28 7	近世12月4日	手紙 米無心願上	村本→御主人	継紙	
D c 28 8	近世8月27日	覚 布代金請求取覚	信州善光寺町横町 小升屋太兵衛→長瀬村 甚右衛門	継切紙	
D c 28 9	近世11月2日	志 四百銅、報恩講への寄進お礼	池尾伊織、栗津大進→信州長瀬村 御中 甚右衛門	切紙	包紙1枚
D c 28 10	近世8月27日	覚 女足袋外代金受取覚	池田屋清兵衛→甚右衛門	切紙	
D c 28 11	近世	手習下書、外1枚		切紙	
D c 28 12	近世8月28日	覚 女足袋代金受取覚	池田屋清兵衛→甚右衛門	切紙	
D c 28 13	近世	(永久小作為致呉候様頼入候)		切紙	
D c 28 14	近世20日	手紙 年貢受取書私に御見せ被下度願上候	三左衛門→御中 甚右衛門 用事	継切紙	
D c 28 15	近世	田毎の取れ高書出しの下書		切紙	
D c 28 16	近世2月11日	覚 年貢金甚右衛門様より受取	名主 善八→笹原 五左衛門	切紙	
D c 28 17	近世8月3日	口上(当部地所杉村へ証文此度書添いたし差置申候間)	月岡 銀右衛門→長瀬 甚右衛門	継切紙	
D c 28 18	近世	齊藤当主の述懐録、俳句あり		豎紙	
D c 28 19	近世	災害覚書 8月23日夜、上下石川村43人即死、27人掘出		継切紙	
D c 28 20	近世7月27日	手紙 俳句推考(俳句6首)	倉俣様御内泊先 齊藤為之助 平安用→同 甚右衛門	継切紙	
D c 28 21	近世10月13日	手紙 久々時候挨拶	江戸八丁堀幸町 奈春や善兵衛、こんにゃくや→為信州長瀬村 長命寺 隠居	切紙	
D c 28 22	近世10月13日	手紙 久々時候挨拶	船松町 家主 作兵衛→信州長瀬 長命寺 隠居	切紙	
D c 28 23	近世8月27日	覚 品物代金受取	駿河口 閑衛門→甚右衛門	切紙	
D c 28 24	近世4月26日	覚 水引、外物品代金覚	信州善光寺御堂前 彦八→長瀬村 甚右衛門	継切紙	
D c 28 25	文政12年	現金正札附 書林内栄堂 書籍一覽見本	善光寺大門町中程 鷲屋伴五郎	切紙	
D c 28 26	近世8月26日	覚 品物代金受取覚	ふ志や 善兵衛→甚右衛門	切紙	
D c 28 27	近世8月27日	覚 品物代金受取覚	小升屋与五郎	継切紙	
D c 28 28	近世	短歌8首		切紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
D c 28 29	近代8月27日	覚(書籍詩経經典等購入内訳)	善光寺大門街向栄堂 鷲屋伴五郎 →長瀬 甚右衛門	切紙	
D c 28 30	天保14年12月16日	覚(借入金の返金残金の内訳)	長瀬 甚右衛門→同組 浅右衛門	切紙	
D c 28 31	近世	法要時の貢物記録と7首の歌のメモ		切紙	
D c 28 32	近世	江戸町名と商家名簿		折紙	
D c 28 33	天保15年3月	覚(質入田地に関する証文受渡し前の状況)	長瀬 甚右衛門→程久保 藤吉	切紙	
D c 28 34	近世6月	手紙(金子返済の件)	林秀庵→齋藤為之助	切紙	
D c 28 35	近世3月3日	手紙(桃花一首の紹介)	柿在家 辰右衛門→長瀬村 齋藤 甚右衛門	切紙	
D c 28 36	11月6日	手紙(書物の貸し借りの件)	中島嘉右衛門→長瀬村 齋藤若御主君	継切紙	
D c 28 37	近世10月26日	手紙 時候挨拶手紙	内山藤三郎→齋藤甚右衛門	切紙	
D c 28 38	近世 12日	手紙	草房	継切紙	
D c 28 39	近世	歌2首		切紙	
G 1	不詳(近世)2月	覚(御鷹巣場山立入禁止板札)	奉行	板	
G 3 1	文政6年5月	[包紙1枚]年賦金借用申證文之事(計10通)	年賦金借用人 天城 六右衛門、外2名→金主惣代 月岡 銀右衛門、外4名	継紙	こより1本
G 3 2	寛政9年3月	指出申一札之事(長瀬内おがせ盗人の件)	箕作村枝長瀬 当人大工 庄八、外4名→長瀬村衆中	継紙	こより1本
G 3 3	寛政10年3月	乍恐以書付奉願上候(質鑑札)	箕作村質稼札 銀右衛門、外1名→竹内平右衛門 御役所	継紙	
G 3 4	寛政6年8月	乍恐以書付奉願上候(長瀬、月岡百姓2名不祥事の件、推考文書)	高井郡箕作村名主 三左衛門、外9名→河尻甚五郎 中野御役所	継紙	
G 3 5	正徳4年6月12日	差上ヶ申一札之事(長瀬助左衛門不届之儀、箕作村14名奥書あり)	長瀬 助左衛門→当村惣本家 長命寺	継紙	
G 3 6	文政2年12月	乍恐以書附奉申上候(質鑑札)	高井郡箕作村月岡組質稼人名主 銀右衛門→河野新蔵	縦紙	
G 3 7	天明4年8月	濟口一札之事(寛保3年借用濟口、仕組み林秀庵奥書あり)	柳在家 卯之助、長瀬村 甚右衛門→扱仲人 儀之丞、外3名	継紙	
G 3 8	天保2年6月	御年貢金借用證文之事(同所組頭助右衛門奥書あり)	高井郡箕作村枝長瀬 御年貢金年越借用人村惣代五人組 兵三郎、外6名→同村 甚右衛門	継紙	
G 3 9	不詳(近世)	拾年季に弟子入證文之事	坪野村人主 安治衛門→長瀬村 清蔵	縦紙	
G 3 10	不詳(近世)	連中定一札之事(志久見村善右衛門頼母子金子くじ引推考文)		継紙	
G 3 11	不詳(近世)	乍恐以書付を奉返答候(頼母子金について推考文)		継紙	
G 3 12	文化6年11月	質屋稼之者請書(差上申一札之事)	信州高井郡箕作村稼人 三左衛門、外名	綴	
G 3 13	不詳(近世)5月3日	覚外計6枚	頼母子元請人→齋藤甚右衛門	縦紙、折紙	
G 4 1	明治2年10月25日	御拝借金證文之事(一金貳拾八兩七錢五百八拾七文)	長瀬組触頭 治郎右衛門、他10名→箕作村名主 東治郎、御役人衆中	縦紙	他4通
G 4 2	不詳(近世、明治)	不詳(雑文、種々断片)		縦紙	15通
G 4 3	明治20年4月20日	証(種痘接種)	種痘医 海津禎悦→堺村第230番地 齋藤幸右衛門長男 齋藤義太郎	継紙	他2通
G 4 4	明治31年3月1日	地所売渡證(名所堺村当部とど畑六畝貳歩地価金四拾八錢)	堺村442番地 齋藤文蔵→堺村 齋藤琢郎	縦紙	
G 4 5	明治17年12月30日	記(金貳拾円也受取書)	森村 広瀬鉄三→長瀬 齋藤甚右衛門	切紙	
G 4 6	不詳(近世)1月27日	金貳朱也(御門跡様右之通進上志之段神妙被答)	不詳→甚右衛門	切紙	寺八寄附金
G 4 7	不詳(明治)	手紙(発起講之儀廿七日執行仕度何卒御光来願申上げ)	島田武三郎→齋藤甚右衛門	切紙	他5通
G 5	寛永8年	箕作村已御年貢納事(米六拾八石七斗八升、口代金拾八兩銀五匁六分、但し香兩に付三石八斗かへ)	曾我佐五衛門→名主、百姓中	切紙	虫損有り、棒軸巻
G 6	慶長18年2月1日	覚(志くミ山かた能すもり十人百五拾石)	松平大隅守→長瀬 甚右衛門、同十人	縦紙	他に乍恐以書附奉願上候(巢守山に付諸書物裏打出仕候)一枚有り
G 7	文政10年4月	乍恐以書付奉願上候(孫治郎百姓を除帳仕候義)	箕作村枝郷長瀬組 勢州一身田専修寺御門跡御掛取長命寺口坊信天頼に付代父北天)→大原四郎右衛門 中野御役所	縦帳	写
G 8	文政9年5月	長命寺田畑高小前帳(田畑高合巻石五升合)	箕作村名主 三左衛門判、他3名判→大草四郎右衛門 中野御役所	縦帳	写

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
G 9	不詳(近世)天保年間	覚口(種々雑多)	甚右衛門	横半帳	
G 10	天保2年6月	家普請諸口覚帳	不詳→不詳(甚右衛門坊)	横帳	
H a 1 1	天明5年12月	己御年貢目録(錢貳百四拾六文)	名主 仙右衛門@→甚右衛門	切紙	附箋1枚
H a 1 2	不詳(近世)5月5日	手紙(拙老儀迎も帰る所存無之候)	長瀬 隠居→長瀬 喜左衛門	継切紙	
H a 1 3	不詳(近世)11月13日	手紙(内婦並に子供之儀何卒親子御世話に相成候)	江戸 隠居→長瀬村 齋藤甚右衛門	継切紙	
H a 1 4	文政6年6月	頼に付惣左衛門へ相渡申一札之事(頼母子講掛金借入用入證文一件)	長瀬組頭 六左衛門	継切紙	
H a 1 5	不詳(近世)	記(米受取書)	大井平村 保坂奥右衛門@→長瀬村 菊右衛門	切紙	
H a 1 6	不詳(近世)6月10日	記(米受取書)	大井平村 保坂奥右衛門→長瀬村 小右衛門	切紙	
H a 1 7	不詳(近世)5月1日	手紙(教訓之為御座候)	隠居→齋藤主人	切紙	
H a 1 8	不詳(近世)2月7日	手紙(他を恨候之族世間に多く御座候心得違ひ無之様)	同所 隠居→村 甚右衛門	切紙	
H a 1 9	不詳(近世)4月29日	手紙(無尽掛金の儀その他)	隠居→齋藤甚右衛門	継切紙	
H a 1 10	不詳(近世)	手紙(露用銀持參可被成右趣宣敷御伝可被下候)	從江戸 隠居→長瀬村 齋藤甚右衛門	継切紙	
H a 1 11	不詳(近世)4月7日	手紙(金子出来不申候らば福城寺江一先身分ひき可被申候)	坊寺 長命寺→甚右衛門	切紙	
H a 1 12	不詳(近世)	手紙(一金貳両当月下旬迄時貸可被下候)	寺 隠居→村 甚右衛門	継紙	
H a 1 13	不詳(近世)1月12日	手紙(口上)(当書拜見致候此方も御返し可申候)	寺 隠居→当所 甚右衛門	縦紙	
H a 1 14	不詳(近世)5月	手紙(庄右衛、甚右衛門二人の薬代持參いたすへし)	同所 隠居→村 甚右衛門	継切紙	
H a 1 15	不詳(近世)3月6日	手紙(頼母子之件)	寺より→齋藤主人	切紙	
H a 1 16	不詳(近世)4月7日	手紙(当日下旬頃迄は帰国も覚束無候)	長命寺→齋藤主人	継切紙	
H a 1 17	不詳(近世)3月29日	手紙(先、今日迄之事、便りにませ御知らせ申上候)	不詳	縦紙	
H a 1 18	不詳(近世)6月18日	手紙(村内を恨之様子 先々得と御賢察あって可然奉存候)	甚右衛門→長命寺	切継紙	
H a 1 19	不詳(近世)8月29日	手紙(居所之儀北八丁堀地蔵橋の横堀と申所)	江戸八丁堀幸町家主彦浜店 長命寺 隠居→長瀬村 齋藤甚右衛門	切継紙	
H a 1 20	不詳(近世)	乍恐御尋之趣以書付奉願上候(拙僧看住職之下札に被仰付被下置度奉願上候)	長命寺 老僧 北天→矢嶋	縦紙	下書
H a ② 1 1-1	明治20年9月23日	地所登記済証下付願、登記済(印虫生登記所)	下高井郡堺村 齋藤幸右衛門→虫生登記所 御中	縦紙	
H a ② 1 1-2	明治20年9月23日	地所売渡証證(原野 四畝廿歩)	地所売主 堺村字鉢ノ下 関口文六@他1名→同村 齋藤幸右衛門	縦紙	
H a ② 1 3	明治21年1月18日	杉林外に田地増金証書	柳在家 関口文六@他1名→長瀬 齋藤幸右衛門	縦紙	
H a ② 1 4-1	文化13年極月	利米にて借用申證文之事(一金三両也)	金借用主 当部 徳左衛門@他1名→長瀬 甚右衛門	縦紙	
H a ② 1 4-2	明治元年12月	古證文武通江田地稻式百貳拾束刈へ増金之事	志久見村ノ内柳在家 増金借用願人 文六@他1名→長瀬 甚右衛門	縦紙	
H a ② 1 4-3	慶応3年卯極月	書入証文之事(杉数350本、名所・原の赤坂にて)	柳在家 常左衛門@他1名→長瀬 甚右衛門	切紙	束の中の1点
H a ② 1 4-4	文化11年12月	質売申畑證文之事(此代金 二分)	志久見村枝柳在家 売主 嘉左衛門@他2名→長瀬村 甚右衛門	縦紙	
H a ② 1 4-5	文化7年11月	米利豆に而質借用申金子之事(一金貳両也)	志久見村枝切欠 金借用主 彦右衛門@他1名→長瀬村 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-6	文化元年12月	質売田地證文之事(此地代金 拾壹両也)	志久見村 売主 善右衛門@他2名→長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-7	寛政10年12月	質売申手形之事(代金 拾両也)	志久見村枝柳在家 源七@他2名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	縦紙	名主善八@の奥書あり
H a ② 1 4-8	天保4年6月	頼母子返金方借用證文之事(金 壹両三分錢六百貳拾文也)	志久見村枝雪坪 頼母子返金借用人 太兵衛@他1名→長瀬 甚右衛門、他宿2名	継紙	
H a ② 1 4-9	嘉永6年10月	年賦金借用證文之事(一金 貳両貳分也)	志久見村ノ内柳在家 金借用人 弥五右衛門@他1名→長瀬村 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-10	文政13年5月	年賦金借用申證文之事(金 五両三分也)	志久見村年賦金借用人 又市@他2名→長瀬村 甚右衛門、他4名	切紙	名主善八@奥書あり
H a ② 1 4-11	文政6年極月	六年季に質売申田地證文之事(此代金 貳両貳朱也)	志久見村之内干場 田地質売人 兼五郎@他2名→長瀬 甚右衛門	切紙	志久見村名主茂左衛門@奥書あり

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
H a ② 1 4-12	文化5年12月	質売申田畑證文之事(地代金 五兩也)	志久見村 田畑質売人 善八⑧他1名→箕作村枝長瀬組 甚右衛門	切紙	志久見村名主茂左衛門⑧奥書あり、付箋1枚あり
H a ② 1 4-13	天保5年12月	金子借用年賦返済證文之事(一金三兩也)	金子借用人 三郎右衛門⑧他1名→長瀬 甚右衛門	切紙	裏書あり、名主善右衛門⑧
H a ② 1 4-14	文化元年12月	質売田地證文之事(此地代金 拾壹兩貳分也)	志久見村 売主 善右衛門⑧他3名→長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-15	文化4年10月	売渡申田地證文之事(此代金 八兩貳分貳朱貳百拾文)	志久見村枝柳在家 地所売主 太右衛門⑧他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-16	安永5年10月26日	書入に而借用申金子之事(一金子貳兩)	金子借用人 柳在家 太三右衛門⑧他1名→長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-17	享和2年12月	預り申田地證文之事(一本田六拾苻)	志久見村田地預り人 清左衛門⑧他1名→長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-18	文化12年12月	売渡し申田地證文之事(此地代金 拾壹兩貳分也)	志久見村枝柳在家 売主 弥助⑧他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	切紙	名主奥書あり
H a ② 1 4-19	文化8年12月	売渡申田地證文之事(此代金 壹分)	志久見村枝柳在家 田地売主 金七⑧他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	切紙	名主の奥書あり
H a ② 1 4-20	文化2年4月	預り申小作證文之事(一田地百束苻)	柳在家 田地預り主 太右衛門⑧→長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-21	享和2年10月	質売申田地證文之事(代金 拾兩也)	志久見村枝柳在家 売主 加右衛門⑧他2名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-22	享和2年10月	預申證文之事(一田地 百苻)	志久見村枝柳在家 小作人 加右衛門⑧他2名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-23	文化2年10月	差出申小作證文之事(一田地貳反三畝歩也)	柳在家 孫七⑧→長瀬村 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-24	天保8年極月	有合相定質売田地證文之事(他代金 拾兩也)	志久見村柳在家 質売人 文六⑧他1名→長瀬村 甚右衛門	切紙	名主奥書あり
H a ② 1 4-25	文化5年12月	質売申畑證文之事(地代金 三兩壹朱也)	志久見村 畑売人 善八⑧他1名→長瀬村 甚右衛門	切紙	志久見村名主奥書あり、不明の付箋あり
H a ② 1 4-26	寛政12年4月	小作證文之事(一田地 六拾苻)	志久見村枝柳在家 小作人 太三右衛門⑧→箕作村枝長瀬 地主 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-27	天保8年12月	金子有合質売田地證文之事(代金 五兩貳分也)	志久見村枝柳在家 田地売人 三郎右衛門⑧他1名→長瀬 甚右衛門	切紙	名主裏書あり
H a ② 1 4-28	天保13年12月	年賦金借用證文之事(金 拾貳兩貳分貳朱錢四百文也)	志久見村枝柳在家 金子借用人 三郎右衛門⑧他2名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	切紙	名主裏書あり
H a ② 1 4-29	文化13年極月	売渡申田地證文之事(此地代金 壹分貳朱貳百文)	志久見村枝切欠 田地売主 善助⑧他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-30	文化6年12月	売渡申田地證文之事(地代金 七兩貳分也)	志久見村枝切欠 地所売主 善助⑧他2名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-31	明治12年極月	有合相定質売田地證文之事(一金 四兩也)	柳在家 関沢源右衛門⑧→長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-32	慶応2年12月	有合相定質売田地證文之事(地代金 貳拾五兩貳分也)	高井郡志久見村枝柳在家 田地質売人 文六、同所親類受人→長瀬村 甚右衛門	継紙	添書:質売田地増金證文之事あり
H a ② 1 4-33	嘉永5年5月	金子借用利米證文之事(一金 壹兩貳分也)	金子借用人 柳在家 兵三郎⑧他2名→長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-34	明治元年12月	質売田地證文之事(地代金 拾四兩壹分也)	志久見村之内柳在家 田地質売人 文六⑧他1名→長瀬 甚右衛門	切紙	名主奥書あり
H a ② 1 4-35	慶応2年12月	質入田地増金證文之事(元金 拾三兩貳朱也)	志久見村ノ内柳在家 願入本人 兵三郎⑧他1名→長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-36	慶応4年	質売證文之事(地代金 六兩貳分也)	柳在家売主 常左衛門⑧他1名→長せ 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-37	嘉永4年10月2日	金子借用利米證文之事(一金 四兩也)	柳在家村 金借用人 弥五右衛門⑧他1名→長瀬村 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 4-38	明治15年12月	田地江増金証文之事(一金 八拾三兩九拾四錢)	堺村之内志久見村柳在家 関口文六⑧他1名→同村之内長瀬組 齋藤甚右衛門	豎紙	
H a ② 1 9	天保10年3月	田地小作證文之事	高井郡志久見村 田地小作人 又市⑧他2名→長瀬村 甚右衛門	切紙	
H a ② 1 10	天保8年12月	小作米借用證文之事(一米六斗三升)	高井郡志久見村 米借用人 又市⑧他2名→長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 2 1-1	天保4年12月	質売田地證文之事(代金 壹兩三朱と錢貳百文也)	箕作村枝長瀬 地所質売人 弥三右衛門⑧他2名→同所 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-2	天保4年12月	質売田地證文之事(代金 壹兩也)	箕作村枝長瀬 地売人 弥三右衛門⑧他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-3	天保4年12月	質売田地證文之事(代金 壹兩貳朱也)	箕作村枝長瀬 田地質売人 弥三右衛門⑧他2名→同村 甚右衛門	豎紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
H a ② 2 1-4	天保4年12月	質売田地證文之事(代金 壹分貳朱也)	箕作村枝郷長瀬 田地売主 弥三右衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-5	天保4年10月	五年季に質売畑證文之事(代金 貳分貳朱錢百文也)	箕作村枝長瀬 質売主 弥三右衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-6	天保4年10月	五年季に質売田地證文之事(代金 三歩也)	箕作村枝長瀬 質売主 三右衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-7	天保4年12月	質売田地證文之事(代金 壹兩貳分也)	箕作村枝長瀬 田地質売人 六左衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-8	天保4年12月	質売田地證文之事(代金 五兩也)	箕作村長瀬 田地売人 六左衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-9	天保4年12月	質売田地證文之事(代金 五兩貳分也)	箕作村枝長瀬 田地質売人 六左衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-10	天保4年12月	質地田地證文之事(代金 四兩貳分也)	箕作村枝長瀬 田地質売人 六左衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-11	天保4年12月	質売田地證文之事(代金 七兩也)	箕作村枝長瀬 田地質売人 六左衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-12	天保4年12月	質売田地證文之事(代金 貳兩貳分也)	箕作村枝長瀬 田地質売人 六左衛門①他1名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-13	天保4年12月	質売田地證文之事(代金 四兩三分也)	箕作村枝長瀬 田地質売人 六左衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	包紙入り
H a ② 2 1-14	天保4年12月	質売田地證文之事(代金 壹兩也)	箕作村枝郷長瀬 田売主 奥之丞①他2名→同所 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-15	天保4年12月	質売畑證文之事(代金 貳分也)	箕作村枝郷長瀬 畑売主 奥之丞①他2名→同所 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-16	天保4年12月	質売畑證文之事(代金 貳兩也)	箕作村枝長瀬 畑質売主 奥之丞①他2名→同所 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-17	天保4年12月	質売畑證文之事(代金 三兩也)	箕作村枝長瀬 畑売主 奥之丞①他2名→同所 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-18	文政3年12月	借用申金子之事(一金 壹分貳朱也)	金借用人 長瀬七左衛門①他1名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-19	文政元年6月	質売田地證文之事(地代金 拾兩貳分貳朱也)	地主 長瀬 七左衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-20	文政元年6月	質売田地證文之事(地代金 拾兩貳分貳朱也)	質売主 長瀬 七左衛門①→同村 甚右衛門	豎紙	組頭 奥書あり
H a ② 2 1-21	文政元年6月	質売田地證文之事(地代金 拾兩貳分貳朱也)	質売主 長瀬 七左衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-22	文政元年6月	質売田地證文之事(地代金 拾兩貳分貳朱也)	質売主 長瀬 七左衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	組頭 奥書あり
H a ② 2 1-23	文政11年12月	金子有合に相定質売田地證文之事(地代金 拾壹兩貳分貳朱也)	箕作村枝合(ママ)長瀬 田地質売人 助左衛門①他2名→当村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-24	文政7年12月	売渡申田地證文之事(此代金 三兩貳分也)	長瀬 田地売主 佐五左衛門①他3名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-25	天保4年12月	質売田地證文之事(代金 三兩貳朱と錢三百文也)	箕作村枝長瀬 田地質売人 寛兵衛①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-26	文政10年12月	質売田地證文之事(地代金 壹兩三分貳朱也)	箕作村枝長瀬 田地売主 小右衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	組頭 奥書あり
H a ② 2 1-27	天保8年12月	七年季に質売田地證文之事(地代金 拾伍兩也)	箕作村枝長瀬 田地質売人 勝右衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	長瀬組頭 奥書あり
H a ② 2 1-28	文政12年3月	田地小作證文之事(上米四斗貳升入貳俵宛)	箕作村枝長瀬 小作人 伊左衛門①他1名→当村 甚右衛門	豎紙	別紙 返金・利足の定め書入れあり
H a ② 2 1-29	天保4年12月	質売田地證文之事(代金 五兩壹分貳朱也)	箕作村枝長瀬 田地質売人 治郎左衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-30	文政5年12月	有合に而田地質入證文之事(地代金 拾兩也)	長瀬組 田地質売人 喜右衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-31	文政5年12月	年賦金借用證文之事(地代金 拾壹兩也)	長瀬組 借用主 喜右衛門①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-32	享和3年11月	五年季に相定申證文之事(代金 貳分)	地主 長瀬 善治郎①他1名→同所 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-33	寛政5年10月	利米に而借用申金子之事(一金 三兩也)	箕作村枝長瀬 金子借用主 善治郎①他2名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-34	寛政9年極月6日	質売田地證文之事(一金 三分)	金子預り主 同村 六左衛門①他1名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-35	寛政4年極月	売渡し申畑證文之事(代金 三分二朱)	売主 市右衛門①他1名→甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-36	天明3年10月12日	預り申證文之事(取米貳斗八升)	預り主 堀切 作右衛門①他1名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	裏書あり、名主 仙右衛門、付箋あり
H a ② 2 1-37	寛政9年10月5日	五年季質売田地證文之事(代金 三兩三分)	金子預り主 当村 又右衛門①他2名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-38	享和元年10月	売渡し申畑證文之事(メ金 三兩貳朱也)	地主 長瀬組 又右衛門①他1名→村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-39	寛政6年極月	五年季売渡し申田地證文之事(一金 子 四兩也)	田地売渡し主 村の六左衛門①他1名→村の甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-40	天明3年極月	売渡し申證文之事(残一貫文也)	預り主 金助①→当村 甚右衛門	豎紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
H a ② 2 1-41	天明3年2月10日	指上申一札之事(拙者忝丑松不屈者に御座候…)	長瀬村願人 市右衛門@→当村組頭 市兵衛他1名	豎紙	
H a ② 2 1-42	寛政2年10月21日	三年季に相定田地證文之事(代金二分二朱也)	田地主村 市右衛門@他1名→当村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-43	天明3年10月29日	預り申口事(金壹部銭壹百拾四文)	借主 当戸新田 庄七@他1名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	虫食い多数
H a ② 2 1-44	天明6年極月	利米證文之事(金子三両也)	借り主 又右衛門@他2名→当村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-45	安永7年11月14日	利米證文之事(代金 貳両也)	預り主 重兵衛@他2名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	名主裏書あり、一部虫食い
H a ② 2 1-46	天明3年極月28日	五年季に相定申證文之事(代金 貳分也)	当村 五助@他1名→当村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-47	寛政5年10月21日	借用申金子之事(金 壹両貳分)	金子預り主 当村 又右衛門@他2名→当村 甚右衛門	豎紙	付箋あり
H a ② 2 1-48	寛政10年10月	三年季相定質売田地證文之事(代金五兩三分貳朱也)	金子預り主 当村 又右衛門@他1名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-49	寛政2年10月	売渡し申畑證文之事(代金 貳分也)	当村 又右衛門@他1名→当村 甚右衛門他1名	豎紙	
H a ② 2 1-50	寛政11年極月	未年より酉年迄三年季相定質売證文之事(代金 三分也)	当村 質入主 又右衛門@他2名→不詳	豎紙	
H a ② 2 1-51	寛政12年12月	売渡し申畑證文之事(代金 貳分六百文也)	箕作村枝長瀬 又右衛門@他1名→同村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-52	寛政3年11月	売渡し申田地證文之事(代金 三兩貳分也)	当村 売主 喜三郎@他1名→当村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-53	寛政5年12月	預り申金子之事(代金 三分也)	預り主 当村 喜三郎@他2名→当村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-54	寛政4年	質売田地證文之事(代金 三兩壹分也)	金子預り主 当村 喜三郎@他1名→当村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-55	安永2年4月28日	売渡し申證文之事(三分也)	預り主 市之丞@他1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	名主裏書あり
H a ② 2 1-56	寛政元年12月	質売證文之事(代金 壹両貳歩也)	志久見村枝堀切 売主 作之丞@他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	豎紙	名主裏書あり
H a ② 2 1-57	天明6年6月7日	かや畑證文之事(代金 壹歩也)	売主 作右衛門@他1名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-58	寛政元年極月	質売證文之事(代金 壹歩也)	売主 堀切 市之丞@他2名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-59	天明4年10月	売渡し申畑畑證文之事(代金 六兩貳分貳朱也)	売り主 当村 奥右衛門@他2名→当村 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-60	文化元年12月	子御年貢皆済目録(高 五石四斗壹升)	名主 善八@→長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 2 1-61	文化7年12月	牛御年貢皆済目録	志久見村 名主 茂左衛門@→長瀬組中 越右御上納	切紙	
H a ② 2 1-62	不詳(近世)	覚(巳十月御上納并国役夫銭村入用共)	志久見村→長瀬組	切紙	
H a ② 2 1-63	不詳(近世)	覚(越石分)	不詳→長瀬村	切紙	
H a ② 2 1-64	不詳(近世)	覚(大豆)		切紙	
H a ② 2 1-65	文化7年12月	覚(請取)	志久見村 名主 茂左衛門@→長瀬村 甚右衛門	切紙	
H a ② 2 1-66	不詳(近世)4月27日	御触之趣(中野御役所、御廻状写)	名主 本郷 三左衛門→組頭 善右衛門他1名	切紙	追手書あり、包紙あり
H a ② 2 1-67	文化6年	御年貢金請取通	本郷 名主 三左衛門@→長瀬組頭 七左衛門	切紙	
H a ② 2 1-68	(近世)11月20日	覚(金 五兩三分六百八拾文、請取)	古間 与市兵衛→長瀬村 甚右衛門	切紙	
H a ② 2 1-69	11月27日	北野組御年貢(入作田地御年貢・夫銭の請求書)	名主 三左衛門→組頭 次郎兵衛	折紙	
H a ② 2 1-70	(近世)5月20日	書状(廿一日御出可被成候)	本郷 三左衛門→長瀬組 甚右衛門	切紙	包紙あり
H a ② 2 1-71	天明8年11月15日	覚(一拾兩貳歩貳朱、五判貳兩貳朱銭切入)	不詳→極の 作右衛門	折紙	
H a ② 2 1-72	11月6日	入作者御年貢	名主 三左衛門→仙助	折紙	
H a ② 2 1-73	(近世)11月11日	覚(受取)	志久見村 名主 茂左衛門@長瀬 善右衛門	切紙	
H a ② 2 1-74	文化8年2月	牛御年貢皆済目録	名主 茂左衛門→甚右衛門	切紙	
H a ② 2 1-75	11月	覚(御年貢の取立)	名主 三左衛門→長瀬 組頭 治郎右衛門他1名	折紙	
H a ② 2 1-76	(近世)10月晦日	覚(取立持参にと)	志久見村 名主 金左衛門→長瀬組 善右衛門	切紙	
H a ② 2 1-77	寛政9年正月	辰御年貢目録之事(高 六斗貳升)	名主 十左衛門@→長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 2 1-78	(近世)3月朔日	越石当子御年貢納め方	本村 名主 三左衛門→長瀬 組頭 茂左衛門他1名	折紙	
H a ② 2 1-79	12月	覚(御年貢北野へ持参)	三左衛門→長瀬組頭中	折紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
H a ② 2 1-80	12月1日	覚(北野越石御年貢の納め方)	本郷 名主 三左衛門①→長瀬組頭 甚右衛門	折紙	
H a ② 2 1-81	(近世) 不詳	覚(十月立、三百八拾四文、御年貢、夫銭・国役金、省略、メ八百九拾弍文)	不詳→甚右衛門	切紙	
H a ② 2 1-82	文化2年12月	覚(長瀬越石御年貢目録送付)	名主 善八①→長瀬 越石	切紙	
H a ② 2 1-83	文化2年12月	覚(丑御年貢目録送付)	名主 善八①→長瀬 六左衛門	切紙	
H a ② 2 1-84	文化2年12月	覚(丑御年貢目録相渡)	名主 善八①→長瀬 治郎左衛門	切紙	
H a ② 2 1-85	文化2年12月	覚(丑御年貢目録相渡)	名主 善八①→長瀬 治郎右衛門	切紙	
H a ② 2 1-86	文化2年12月	覚(丑御年貢目録相渡)	名主 善八①→佐右衛門	切紙	
H a ② 2 1-87	文化2年12月	覚(丑御年貢目録相渡)	名主 善八①→新田 文左衛門	切紙	
H a ② 2 1-88	文化2年12月	覚(丑御年貢目録相渡)	名主 善八①→仙助	切紙	
H a ② 2 1-89	文化2年12月	覚(丑御年貢目録相渡)	名主 善八①→久助	切紙	
H a ② 2 1-90	文化2年12月	覚(丑御年貢目録相渡)	名主 善八①→長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ② 2 1-91	文化2年12月	覚(丑御年貢目録相渡)	名主 善八①→伊三郎	切紙	
H a ② 2 1-92	文化2年12月	覚(丑御年貢目録相渡)	名主 善八①→新田 甚兵衛	切紙	
H a ② 2 1-93	文化2年12月	覚(丑御年貢目録相渡)	名主 善八①→与右衛門	切紙	
H a ② 2 1-94	文化14年10月	借用申金子年賦返済證文之事(一金四両三分也)	年賦金借用人 長瀬新田 四郎左衛門①他2名→箕作村枝郷 甚右衛門	継紙	包紙あり
H a ② 2 1-95	享和2年10月	借用金子證文之事(金弍分也)	金子預り主 堀切村 作右衛門①他1名→長瀬村 甚右衛門	縦紙	
H a ② 2 1-96	享和2年11月	借用金子證文之事(金 弍分弍朱也)	借用主 仁て野村 又右衛門①他1名→長瀬組 甚右衛門	縦紙	
H a ② 2 1-97	文政5年	乍恐以書附を御届奉申上候	箕作村 質稼人 甚右衛門、他村役人3名→矢嶋藤藏 御役所	縦紙	
H a ② 2 1-98	文化13年5月	年賦金借用申證文之事(一金 三拾三両也)	金子預り主 長瀬村 仁右衛門①他2名→同村 甚右衛門	縦紙	
H a ② 2 1-99	天明3年10月	質入御田地に而借用申金子之事(金子 壹両弍歩也)	箕作村枝郷長瀬 借用主 佐右衛門①他2名→同村 甚右衛門	縦紙	
H a ② 2 1-100	寛政3年10月	預り申金子之事(代金 三両也)	預り主 当村 又右衛門①他1名→当村 甚右衛門	縦紙	
H a ② 2 1-101-1	弘化4年2月	乍恐以書付奉願上候(田畑小作米滞出入)	箕作村枝郷長瀬 百姓訴訟人 甚右衛門、相手 当部百姓 徳藏	継紙	雛形、墨入多数
H a ② 2 1-101-2	天保13年12月	差出申證書事	箕作村枝郷当部 重右衛門、他親類1名→長瀬 甚右衛門	継切紙	101-1の中に入る、覚書2件別に入る
H a ② 2 1-102	天保13年10月	乍恐以書付奉願上候(小作稻刈取差障 ^(ママ) 出入)	箕作村枝郷長瀬組 百姓願人 甚右衛門①→相手 当部百姓 重右衛門	継紙	
H a ② 2 1-103	弘化4年3月	乍恐以書付奉願上候(田畑小作米滞出入)	箕作村枝郷長瀬 百姓訴訟人 甚右衛門、相手 同村枝郷 徳藏→川上金吾助 中之条御役所	継紙	5月29日川金吾助①奥書あり
H a ② 2 1-104	天保13年10月	乍恐以書付御訴訟奉申上候(小作地理不尽出入)	箕作村枝郷長瀬 百姓訴訟人 甚右衛門、相手 同村枝郷当部 百姓 重右衛門→平岡熊太郎 川浦御役所	継紙	10月16日御役所①奥書あり、三左衛門奥書あり
H a ② 2 1-105	文政12年6月	年賦金借用證文之事(金 四拾八両也)	箕作村枝郷当部 年賦金借用人 忠右衛門、他2名→箕作村枝郷長瀬組 甚右衛門	継紙	名主 三左衛門奥書あり
H a ② 2 1-106	文政12年6月	年賦金借用證文之事(金 四拾八両也)	箕作村枝郷当部 年賦金借用人 忠右衛門、他2名→箕作村ノ内長瀬組 甚右衛門	継紙	名主 三左衛門署名
H a ② 2 1-107	天保2年12月	質売田地證文之事(金 四拾九両弍分也)	箕作村枝郷当部 田地質売人 忠右衛門、他1名→箕作村枝郷長瀬 甚右衛門	継紙	名主 三左衛門署名
H a ② 2 1-108	天保10年11月	證文之事	箕作村枝郷当部 重右衛門(判)、他2名→長瀬 甚右衛門	継紙	
H a ② 2 1-109	文政8年6月	年賦金借用證文之事(金 拾壹両弍部也)	箕作村枝郷当部 年賦金借用人 忠右衛門、他2名→長瀬 甚右衛門	継紙	
H a ② 2 1-110	天保7年10月	質売畑證文之事	箕作村之内当部 畑売主 吉左衛門、他2名→長瀬 長命寺御隠居	継紙	本郷箕作村名主 三左衛門奥書あり、付箋あり
H a ② 2 1-111	文政11年10月	金子有合質売田地證文之事	箕作村枝郷当部 田地質売主 吉左衛門、他2名→長瀬 甚右衛門	継紙	本郷名主 三左衛門①署名あり
H a ② 2 1-112	文政12年	金子有合に質売地證文之事(地代金七両也)	箕作村之内笹原 地所質売人 弥三右衛門、他2名→長瀬 甚右衛門	継紙	
H a ② 2 1-113	天保11年11月	證文之事	箕作村枝郷当部 重右衛門、他2名→長瀬 甚右衛門	継紙	
H a ② 2 1-114	弘化4年2月	乍恐以書付奉願上候	箕作村枝郷長瀬 百姓訴訟人 甚右衛門、相手 同村枝郷当部 百姓 徳藏	継紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
H a ② 2 1-115	弘化4年4月	差出濟口證文之事	箕作村百姓 甚右衛門◎、同百姓 徳藏◎他2名→川上金吾助 中野 条御役所	継紙	
H a ② 2 1-116	天保4年5月29日	長瀬甚三郎宿 頼母子一件に付願之事	箕作村枝長瀬 頼母子世話人 甚右衛門(判)、頼母子宿 甚三郎(判)→大井平村 又兵衛	継紙	
H a ② 2 1-117	天保14年2月	差上申熟談内済證文之事	箕作村枝長瀬 百姓 甚右衛門、同村枝当部 百姓 重右衛門、他3名→川浦御役所	継紙	甚右衛門、重右衛門 奥書あり
H a ② 2 1-118	不詳(近世)	乍恐以書付御訴訟申上候(小作米滞出入)	箕作村枝郷長瀬 訴訟人 甚右衛門→相手 同村当部 重右衛門	継切紙	下書カ
H a ② 2 1-119	天保13年11月8日	乍恐以書付奉願上候(母病氣付日延被仰付被下…)	箕作村枝郷長瀬 百姓 甚右衛門→川浦御役所	切紙	下書カ
H a ② 2 1-120	(近世)正月21日	書状	箕作村 島田三左衛門→長瀬 齋藤甚右衛門	切紙	
H a ② 2 1-121	(近世)11月9日	書状(写)	川浦御役所→箕作村 名主 三左衛門、他3名	切紙	
H a ② 2 1-122	文政11年10月	覚書カ	不詳	切紙	
H a ② 2 1-123	天保14年2月	小作證文之事	当部 小作人 重右衛門、他1名→長瀬 甚右衛門	継紙	
H a ② 2 1-124	天保14年正月	一札之事	箕作村枝当部 百姓 重右衛門◎他1名→長瀬 甚右衛門	継紙	
H a ② 2 1-125	天保2年12月	質売田地證文之事(代金 貳拾四兩三分也)	箕作村枝当部 田地質売人 吉左衛門、他2名→長瀬 甚右衛門	継紙	本郷 名主 三左衛門 奥書あり
H a ② 2 1-126	不詳(近世)	質売田地證文之事	不詳	切紙	
H a ② 2 1-127	天保3年	御年貢・諸役上納仕候(長瀬 甚右衛門以下7名)	不詳	切紙	
H a ② 2 1-128	文政7年10月	年賦金借用申證文之事(金 拾壹兩也)	箕作村枝当部 年賦金借用人 吉左衛門、他2名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
H a ② 2 1-129	天保2年12月	質売田地證文之事(金 貳拾四兩三分也)	箕作村枝当部 田地質売人 吉左衛門、他2名→長瀬 甚右衛門	継紙	本郷名主奥書あり
H a ② 2 1-130	弘化4年6月	乍恐返答書始末奉申上候	箕作村 百姓 徳藏、他1名→川上金吾助 中野邑御役所		
H a ② 2 1-131	弘化4年6月	乍恐以書付奉願上候(豊高島神社弘化の地震で損壊)	箕作村 百姓代 彦左衛門→御役所	継紙	下書カ
H a ② 2 1-132	天保12年3月	金子請取證文之事(金 壹分貳朱也)	箕作村枝当部 浅右衛門、他1名→長瀬 甚右衛門	継紙	
H a ② 2 1-133	天保14年2月	差上申熟談内済證文之事	箕作村枝長瀬 百姓 甚右衛門、同村枝当部 百姓 重右衛門、他3名→川浦御役所	継紙	本名主他2名の奥書あり
H a ② 2 1-134	不詳(近世)	乍恐以書付御訴訟奉申上候(理不尽に小作米滞り候出入)	箕作村枝郷長瀬 訴訟人 百姓 甚右衛門、同村枝郷当部 相手 百姓 重右衛門→不詳	継紙	下書カ
H a ② 2 1-135	天保4年12月	質売畑證文之事(代金 三分と錢六百文也)	箕作村枝北野組之内当部 畑質入人 吉左衛門◎他1名→長瀬 甚右衛門	継紙	附箋あり、包紙あり
H a ② 2 1-136	文政11年10月	金子有合に質売田地證文之事(地代金 八兩也)	箕作村枝当部 田地質売人 吉左衛門、他2名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	継紙	
H a ② 2 1-137	天保14年正月	一札之事	箕作村枝当部 百姓 重右衛門、他1名→長瀬 甚右衛門	継紙	
H a ② 2 1-138	文政11年11月	年賦金借用證文之事(金 貳拾三兩三分也)	箕作村枝当部 年賦金借用人 吉左衛門、他2名→長瀬 甚右衛門	継紙	本郷名主奥書あり
H a ② 2 1-139	天保13年11月	乍恐以書付奉願上候(甚右衛門母病の為御差紙日延願い)	箕作村枝長瀬 百姓 甚右衛門→平岡熊太郎 川浦御役所	継紙	本紙で證文を包んであった、付箋あり
H a ② 2 1-140	不詳(近世)	乍恐以書付御訴訟奉申上候(小作米理不尽出入、付箋)	箕作村枝郷 訴訟人 甚右衛門、相手 箕作村枝郷当部 重右衛門→不詳	継紙	
H a ② 2 3-2	天保4年12月	杉林売渡證文之事(代金三分也)	箕作村枝長瀬 杉林売主 奥之丞◎他2名→同所 甚右衛門	切紙	
H a ② 2 3-4	天保4年12月	質売萱野證文之事(代金壹分貳朱也)	箕作村枝長瀬 売主 奥之丞◎他2名→同所 甚右衛門	切紙	
H a ② 4 1	寛政8年12月	売渡し申畑并林證文之事(此代金四兩壹分也)	当村地所売主 喜三郎◎他1名→当村 甚右衛門	切紙	
H a ② 4 2	天明3年極月	地木共に売渡し申證文之事(此地代金三兩也)	箕作村枝長瀬 売主 請右衛門◎他2名→同村 甚右衛門	切紙	
H a ② 4 4	寛政元年10月	売渡し申杉林證文之事(此地代金貳分)	売主 当村 与兵衛◎他1名→当村 甚右衛門	切紙	
H a ② 2 4-13	寛政元年11月	杉林地木売渡證文之事(代金三分也)	箕作村枝長瀬 杉林売人 喜右衛門◎他1名→同所 甚右衛門	切紙	組頭奥書あり
H a ② 4 17	安永5年極月	預り申金子之事(一金壹歩錢四百文)	堀切り村 預り主 重兵衛◎他1名→長瀬村 甚右衛門	切紙	名主裏書あり
H a ② 4 22	寛政2年12月	永々売渡し杉木蔵木地所共證文之事(此代金壹兩三分也)	杉林売主 当村 与市◎他2名→当村 甚右衛門	切紙	剥離した小紙片が伴っている

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
H a ② 4 31	寛政4年10月18日	渡し申杉林ざつ地所證文之事	売主 当村 又右衛門@他2名→ 当村 甚右衛門	切紙	
H a ② 4 34	安永6年11月	借用金子之事(一金 貳分也)	堀切り村 杉林書入主 七郎兵衛 @他2名→長瀬村 甚右衛門	切紙	裏書あり
H a ③ 1 2	天明2年10月26日	預り申金子之事(代金壹分也)	当部村 市兵衛@他2名→長瀬村 甚右衛門	切紙	
H a ③ 1 15	弘化3年11月	金子并米借用證文之事(メ金貳分と 錢四百三拾文、米貳斗九升)	箕作村之内当部 借用人 長三郎 @他1名→長瀬 甚右衛門	豎紙	
H a ③ 2 1-1	天保4年12月	質売畑林證文之事(代金 三分貳朱 と錢貳百文也)	箕作村枝当部 忠右衛門@他2名 →長瀬 甚右衛門	豎紙	
H a ③ 2 1-2	(近世)6月23日	預り證、御布施、その他3件	不詳	切紙	白水No.③
H a ③ 2 2	文化7年11月	利米に而借用申金子證文之事(一金 四兩也)	金子借用主 当部村 仁右衛門@ 他1名→箕作村枝長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ③ 2 3	天明7年10月	質売田地證文之事(地代金四兩壹部 也)	売主 徳右衛門(判)他1名→惣 右衛門		名主奥書あり
H a ③ 2 4	文化8年極月	売渡申し杉林證文之事(一金壹分 也)	杉林売主 当部村 仙左衛門@他 1名→長瀬村 甚右衛門		
H a ③ 2 5	天保10年12月	金子借用利米證文之事(一金壹兩と 錢貳百文也)	箕作村枝当部 金子借用人 長三 郎@他1名→長七組 甚右衛門	切紙	
H a ③ 2 6	文化13年10月	利米にて金子借用証文之事(一金貳 兩也)	金子借主 当部村 惣右衛門@他 1名→長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ③ 2 7	天保7年10月	質売畑證文之事(此代金壹兩貳分 也)	箕作村之内当部 畑売主 吉左衛 門@他2名→長瀬 長命寺 御隠 居		本郷名主奥書あり
H a ③ 2 8-1	天保2年7月	金子借用證文之事(金壹兩也、此書 入、縮三反)	金子借用人 当部 吉左衛門他1 名→長瀬 甚右衛門	豎紙	附箋あり
H a ③ 2 8-2	文政12年	年賦金借用證文之事(一金貳拾三兩 三分也)	箕作村枝当部 年賦金借用人 吉 左衛門@他2名→長瀬 甚右衛門	切紙	本郷名主奥書あり
H a ③ 2 9	文政7年10月	年賦金借用證文之事(一金拾壹兩 也)	箕作村枝 年賦金借用人 当部 吉左衛門@他2名→長瀬 甚右衛 門	切紙	
H a ③ 2 10	寛政6年極月	借用申金子之事(代金貳兩也)	当部 惣右衛門@他2名→長瀬 甚右衛門	切紙	
H a ③ 2 11	文化11年10月	利米に而金子借用證文之事(一金貳 兩也)	金借用 当部村 惣右衛門@他1 名→長せ 甚右衛門	豎紙	
H a ③ 2 12	文化5年10月	利米に而借用申金子證文之事(一金 貳兩也)	当部田地筆入主 惣右衛門@他1 名→長瀬村 甚右衛門	豎紙	包紙に而書式の雛形 あり
H a ③ 2 13	文政10年10月	利米に而金子借用證文之事(一金三 兩也)	箕作村北野組之内当部 金子借用 人 惣右衛門@他1名→長瀬 甚 右衛門	豎紙	
H a ③ 2 14	1月19日	書状	東京 小林作口(馬力)@→長瀬 組 齋藤甚右衛門	罫紙	
H a ③ 2 15	天保11年11月	證文之事(金壹兩也)	箕作村枝当部 重右衛門@他3名 →長瀬 甚右衛門	繼紙	
H a ③ 2 15-2	明治15年1月14日	書留郵便物請取證(書状吉通@)	長瀬 齋藤甚右衛門→東京浅草 半藤金五郎	切紙	
H a ③ 2 16	11月21日	受取證(一金五円也)	大井平村 大工 利七→不詳	切紙	
H a ③ 2 17	明治12年9月3日	書状(虎列刺<コレラ>病の発生に ついて)	東大滝村 鈴木清左衛門→長瀬組 齋藤甚右衛門	切紙	
H a ③ 2 18	明治12年9月7日	書状(虎列刺(コレラ)病の伝染・ 予防の連絡)	宮ノ原村人民惣代 島田茂→長瀬 分 齋藤甚右衛門	罫紙	封筒あり
H a ③ 2 19	12月12日	書状(頼母子講一件)	林秀庵 石塚便成@→長七 齋藤 甚右衛門	切紙	包紙あり
H a ③ 2 20	明治8年12月1日	御届(養子貰請て御届)	右願人 藤木助右衛門@他2名→ 戸長副 御中	罫紙	
H a ③ 2 21	不詳	書状(桑原長四郎次男金蔵儀徴兵年 に相当り候…)	戸長役場 倉科健逸→三番組 齋 藤甚右衛門	切紙	封筒あり
H a ③ 2 22	2年4月	記(請取書)	齋藤口友三郎→当所 齋藤甚右衛 門	切紙	
H a ③ 2 23	不詳	書状	銀座(八)店にて 小林作馬@→ 長瀬組 齋藤甚右衛門他1名	切紙	封筒あり
H a ③ 2 24	8月	川除奉納金(一金百疋)	千明院→信州高井郡長瀬村 甚右 衛門	切紙	包紙あり
H a ③ 2 25	不詳	守護口(候カ)	不詳	切紙	包紙あり、折りタタ ミのため開けない
H a ③ 2 26	不詳	過去帳法名一覽(15名分)	不詳	折紙	
H a ③ 2 27	不詳	馬頭観音護摩供御守(3枚)	小菅山	切紙	包紙あり
H a ③ 2 28	寛政7年4月26日	奉納六十疋	信州善光寺 向佛坊@→長瀬村 施主 甚右衛門他12名	繼紙	
H a ③ 2 29	6月14日	御印書(志 御礼壹兩)	本山到来所 役人→信州長瀬 甚 右衛門内	切紙	包紙あり
H a ③ 2 30	明和9年今月今日	念佛日課許・菩提心論授与	不詳	切紙	包紙あり
H a ③ 2 31	不詳	御礼(仏像の印刷物)	不詳	切紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
H a ③ 2 32	(近世) 7月25日	證状(法名一駄料)	信州善光寺御堂會所①→高井郡長瀬村 甚右衛門	切紙	包紙あり
H a ③ 2 33	天明7年10月	證印日	立山願主 宝伝坊①→齋藤甚右衛門	豎紙	
H a ③ 2 34	(近世) 10月12日	覚(頼母子講掛金請取)	箕作村 常慶院→長瀬村 甚右衛門	切紙	包装紙あり、紙には林秀庵とある
H a ③ 2 35	安永7年9月10日	月牌請取之状	信州善光寺大日堂 向佛坊①→当国高井郡長瀬 齋藤甚右衛門	豎紙	包紙あり
H a ③ 2 36	明和7年6月26日	月牌之證文	立山室伝坊現住 法印 長伝①→信州水内郡長瀬村 齋藤甚右衛門	豎紙	包紙あり
H a ③ 2 37	宝曆12年	戒名三枚	不詳	切紙	
H a ③ 2 38	不詳	本師如来(宝印牛王)4枚(厄除けの護符カ)	不詳	切紙	
H a ③ 2 39	2月28日	御印書(一金 壹朱、右御菓子料として)	奥口女→越後延命寺下 長瀬村 甚右衛門	豎紙	包紙あり
H a ③ 2 40	文化元年8月9日	受取之事(一四百文)	秩父回そんめ新木寺①→信州長瀬邑 善右衛門	切紙	包紙あり
H a ③ 2 41-1	(近世) 6月18日	御印・御再建志(一金壹両)	川那部帯刀①他1名→長瀬村 甚右衛門	切紙	包紙あり
H a ③ 2 41-2	(近世) 4月18日	御印・御再建志(金百疋)	川那部帯刀①他1名→信州長瀬村 甚右衛門	切紙	
H a ③ 2 41-3	(近世) 6月26日	御印(志 金壹両)	下間大蔵卿①他1名→信州長瀬村 甚右衛門	切紙	
H a ③ 2 41-4	(近世) 11月15日	覚(一金三分式朱請取)	林秀庵①→長瀬村 甚右衛門	切紙	
H a ③ 2 42	(近世) 4月15日	覚(一金式兩九六式百廿式文)	小池村 喜右衛門①→長瀬村 甚右衛門	切紙	
H a ③ 2 43	天保年中	覚(寄附書・両新為月供料、一金三両也)	林秀庵①、東冬(花押)→長瀬村 甚右衛門	豎紙	包紙あり
H a ③ 2 44	寛政6年12月	大般若転読料田地御寄附事(一納米八斗四升)	林秀庵①、東雲①→長瀬村 甚右衛門	豎紙	包紙あり
H a ③ 2 45	寛政6年	寄附金證文之事(一金子六両也)	林秀庵十代①、登雲(花押)→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
H a ③ 2 46-1	寛政元年12月	覚(地代金壹両也)、寄附證文4	志久見村 林秀庵①→長瀬村 甚右衛門	豎紙	包紙あり、4通
H a ③ 2 46-2	安永6年11月	寄附金證文之事(一金子五両三分也)	林秀庵十世①、東雲(花押)→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
H a ③ 2 46-3	寛政4年	寄附金證文之事(一金壹両也)	林秀庵十代①、東雲(花押)→長瀬村 甚右衛門	豎紙	
H a ③ 2 46-4	宝曆8年	寄附金證文之事(一金壹両也)	林秀庵九代①、口全(花押)→長瀬村 仁右衛門	豎紙	包紙:長瀬村 仁右衛門
H a ③ 2 47	弘化3年4月	寄附金證文之事(一金子四両也)	長瀬村 長命寺①、信天(花押)→当村 甚右衛門	豎紙	包紙あり
H a ③ 2 48	不詳	包紙類(御印…(中身なし))			
H b 1	近世	手紙(僧籍にある某氏よりの近況連絡2枚)	不明→甚右衛門	折紙	こより1本、包紙1枚
H b 2 1	(近世) 8月6日	覚(金子受取覚)	小子谷 井口廣→長瀬村 甚右衛門	切紙	こより1本、包紙2枚
H b 2 2	嘉永2年11月17日	米三石六斗四升三合六分引請	堀切 与六、藤左衛門→甚右衛門、志久見村越石	継切紙	
H b 2 3	近世	本田・本畑・新田・新畑取石覚		継紙	
H b 2 4	明治11年6月5日	記(米賣渡)	齋藤甚右衛門→飯山新町 松屋兵衛	切紙	
H b 2 5	近世	記(米代金)	齋藤四郎左衛門→長瀬 利左衛門、外3名	切紙	
H b 2 6	近世	家屋間尺下書		折紙	
H b 2 7	明和3年10月13日	覚(金子請取覚)	箕作村 三左衛門・藤右衛門→長瀬 甚右衛門	切紙	
H b 2 8	(近世) 4月23日	覚(金子請取覚)	森村 与右衛門→長瀬村 齋藤甚右衛門	切紙	
H b 2 9	(近世) 4月20日	記(金子請取覚)	森村 与八郎→長瀬 甚右衛門	切紙	
H b 2 10	近世	覚(堀切 与兵衛、他22名、田高・畑高)		継切紙	
H b 2 11	明治20年7月15日	金2円借用証	仁右衛門①借用人		
H b 2 12	近世	記(武左右衛門、外8名、金子請取覚)	不明→齋藤甚右衛門	切紙	
H b 2 13	(近世) 2月朔日	手紙(年貢皆済等について)	小林丹波→齋藤甚右衛門	豎紙	
H b 2 14	明治3年12月16日	金子借用申證文之事(下書々)		豎紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
H b 2 15	(近世) 7月10日	手紙(父よりの伝言にて明日印形持参し中野御役所へ来て戴きたい)	本郷名主代 与三郎→長瀬 甚右衛門	齊藤 継切紙	
H b 2 16	天保11年12月	覚(4名分畑高請取覚)	志久見村名主 善右衛門→長瀬村 甚右衛門	継切紙	
H b 2 17	(近世) 7月7日	手紙(證文之奥印依頼されたが御用捨願いたい)	志久見村名主 善左衛門→長瀬村 齊藤甚右衛門	切紙	
H b 2 18	(近世) 2月5日	手紙(質地証文一件の立合について)	志久見村 桑原重左衛門→長瀬村 齊藤甚右衛門	切紙	
H b 2 19	近世	覚(五地籍の石高覚)		切紙	
H b 2 20	近世	畑地返却覚		切紙	
H b 2 21	(近世) 4月18日	舌代(金子を借用し迷惑を掛けている)	小林丹波→齊藤甚右衛門	豎紙	
H b 2 22	近代	錢札換金書付	不明	切紙	
H b 2 23	近世	覚(4名の新田高覚)	不明	切紙	
H b 2 24	嘉永3年	御年貢割目安	不明	折紙	
H b 2 25	弘化4年8月16日	手紙(證文の五兩二分が戻らない旨の便り)	不明	切紙	
H b 2 26	近世	4名分畑・田高入覚	不明	継切紙	
H b 2 27	嘉永2年	高覚	長瀬 甚右衛門→不明	切紙	
H b 2 28	近世	覚(4名分畑・田高入覚)	不明	切紙	
H b 2 29	文化	覚(齊藤家新田改石高記帳、文化～文政～天保年間)	不明	継切紙	
H b 3 1	近世	箕作村渡船打替に関する村々への割賦		豎帳	「③07.4/28」の×モ書用紙及び③の束ヒモ在中、「③」資料の包紙としてあり
H b 3 2	(近世) 2月29日	手紙(北野・権三郎田地受戻の一件)	本郷 東次郎→長瀬 甚右衛門	継切紙	
H b 3 3	(近世) 2月11日	手紙(質地証文に関する手紙)	箕作 島田東次郎→長瀬 齊藤甚右衛門	継切紙	
H b 3 4	(近世) 12月26日	手紙(有合証文の請戻の件)	本郷 島田東次郎→長瀬 齊藤甚右衛門	継切紙	
H b 3 5	(近世) 11月19日	手紙(質地証文の件)	箕作 島田東次郎→長瀬村 齊藤甚右衛門	継切紙	
H b 3 6	(近世) 11月29日	手紙(田地証文の一件)	箕作 島田東次郎→長瀬村 齊藤甚右衛門	継紙	
H b 3 7	(近世) 3月4日	手紙(北野・権三郎との事済について)	本郷 島田東次郎→長瀬組 齊藤甚右衛門	継切紙	
H b 3 8	(近世) 2月晦日	手紙(証文請戻しの件)	箕作 島田東次郎→長瀬 齊藤甚右衛門	継切紙	
H b 3 9	(近世) 12月7日	手紙(名主役取極りの一件)	本郷 島田東次郎→長瀬 齊藤甚右衛門	継切紙	
H b 3 10	(近代) 10月28日	手紙(商社立上の一件)	本郷 島田三左衛門→長瀬 齊藤甚右衛門	継切紙	
H b 3 11	(近代) 7月10日	手紙(商社・国役金等の件)	箕作 島田儀左衛門→長瀬 齊藤甚右衛門	豎紙	
H b 3 12	(近世) 6月10日	頼母子金子請取書	箕作村 三左衛門→長瀬組	継紙	
H b 4 1	明治5年4月	貨幣換金書付	尾州御取締 中野御役所	判横帳	「407.4/28」×モ用紙と④束ヒモ在中
H b 4 2	(近世) 12月8日	覚(小作米の取り立て内訳)	長瀬組 齊藤甚右衛門→志久見 倉俣伊右衛門	継切紙	
H b 4 3		手紙(金子15両の借用願い)		継切紙	
I 1 1	天保15年正月吉日	家内入用諸事覚帳		豎帳	
I 1 2	天保7年正月吉日	家内諸入用覚帳		豎帳	
I 1 3	文政4年正月吉日	家内入用諸事覚帳		豎帳	
I 1 4	文化8年正月吉日	家内入用帳	長瀬 甚右衛門	豎帳	
I 1 5	文化10年正月	家内入用覚帳	長瀬 齊藤甚右衛門	豎帳	
I 1 6	文化12年正月吉日	家内入用覚帳	長瀬 甚右衛門	豎帳	
I 1 7	文化13年	家内出入諸事覚帳	長瀬 齊藤甚右衛門	豎帳	
I 1 8	文政3年正月	家内入用諸事覚帳	長瀬 齊藤甚右衛門	豎帳	
I 1 9	文化6年正月吉日	家内入用帳	長瀬村 甚右衛門	豎帳	
I 1 10	文化9年正月吉日	家内入用帳	長瀬村 甚右衛門	豎帳	
I 1 11	文政8年正月	舊時貸覚帳	信州高井郡長瀬組 齊藤甚右衛門	豎帳	
I 1 12	文化7年	諸夫入用覚	長瀬 甚右衛門	豎帳	こより1本
I 1 13	弘化5年正月吉日	小作利米證文覚帳		豎帳	
I 2 1	文化7年9月吉日	撰芋賣覚帳	長瀬村 甚右衛門	豎帳	麻ひも1本
I 2 2	文化6年10月吉日	撰芋貸覚帳	長瀬村 甚右衛門	豎帳	
I 2 3	文化8年8月吉日	撰芋貸覚帳	長瀬村 甚右衛門	横半帳	
I 2 4	(文化)	撰芋貸覚帳(表紙欠損)	(長瀬村 甚右衛門)	横半帳	
I 2 5	文化5年10月吉日	撰芋請覚帳	長瀬 甚右衛門	横半帳	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
2 6	文化4年10月吉日	撰字請覚帳	長瀬村 齋藤甚右衛門	横半帳	
2 7	文化2年10月吉日	撰字請覚帳	長瀬村 齋藤甚右衛門	横半帳	
2 8	文化5年10月吉日	撰字賣覚帳	長瀬 甚右衛門	縦帳	
3 1	明治13年4月	志久見抱持証證書抜帳	旧長瀬組 齋藤甚右衛門	縦帳	
3 2	明治9年2月	反米取調留帳	第本寺大區六小區 齋藤氏	横半帳	
3 3	天保13年3月	乍恐以書付奉申上候(頼母子発記関連について)	信濃國高井郡箕作村枝長瀬 甚右衛門→大井平村 甚右衛門	縦帳	
3 4	明治15年	旧志久見抱持地証書抜帳	齋藤甚右衛門	縦帳	ひも1本
3 5	文政10年2月	御割附之写	信濃國高井郡箕作村名主・組頭・惣百姓→大原四郎右衛門 判	綴	
3 6	寛延2年2月17日	旅日記(出羽・陸奥・常陸國神社仏閣参拜の旅)	越後國高田五智余諸記	綴	
3 7	明治6年8月31日	地目交換帳	箕作村之内長瀬組	綴	
3 8	安永8年正月	富村高割覚帳	箕作村枝長瀬	綴	
4 1	明治14年8月吉日	十王建替諸費記	発願人 齋藤甚右衛門、世話人 齋藤助右衛門	横半帳	
4 2	文政11年正月	観音堂再建出入覚帳		横半帳	
4 3	明治9年10月	3力年分の糸繭、米外受取覚	甚右衛門	切紙、袋	切紙7枚
4 4	嘉永2年正月吉日	御買物之通	水澤奈遍屋(なべや)→長瀬村 齋藤甚右衛門	横半帳	紅白こより1本
4 5		大光普照集上・下	三条通富小路入町 銭屋利兵衛	縦帳	
4 6 1	天保12年	長命寺口説	長命寺口説書	縦帳	
4 6 2	明治28年2月1日	風聞録 幸一調、實測日清韓軍用精圖	東京都京橋區発行所 目黒甚七	地図	
4 7	寛政元年11月	角力之起(齋藤甚右衛門写)	吉田善左衛門	綴	
4 8	明治27年度	縣税戸別等級割収入豫算表		便箋	
4 9	安永5年6月22日	蓮如上人道西へ御勸化ノ趣			
4 10	不明	仏教關係書4冊(天神經、東本願寺、外2冊)		綴	
5 1	不明	書簡包紙2枚(中に書簡70通在中)	和栗村飛脚 権左衛門→信州高井郡長瀬村 齋藤甚右衛門	切紙	より紐1本
5 2	(明治)	書簡70通	長瀬村 齋藤甚右衛門	切紙	
6 1	不明	書簡包紙1枚(裏書あり)(文化、文政、天保5、6年迄之手紙38通在中)	長瀬村 齋藤甚右衛門	切紙	こより1本
6 2	不詳(近世)	書簡38通	長瀬村 齋藤甚右衛門、長瀬村 齋藤大助	切紙	
7 1	弘化4年3月	弘化4年3月から嘉永2年8月3日×入用書(書簡55通在中)		封筒	
7 2	不詳(近世)	書簡(55通)、巢守 秋山笠打	島田三左衛門、ほか→長瀬村 齋藤甚右衛門	切紙	
8 1	弘化	弘化、嘉永、文目録等入用(書簡44通在中、裏書あり)		切紙	こより1本
8 2	不詳(近世)	書簡(44通)	長瀬村 齋藤甚右衛門	切紙	
9 1	文政	[包紙:裏書あり]包紙文政より天保書可貯置候(書簡51通在中)		切紙	こより1本
9 2	不詳(近世)	書簡(51通)、秋山金堀、山鳥、秋山屋敷	長瀬村 齋藤甚右衛門	切紙	
10 1	文政2年5月	借用申金子年賦返済証文之事	信州高井郡箕作村枝長瀬全借用人 齋藤甚右衛門、同仁右衛門→同國同郡志久見村頼母子宿 茂左衛門、御連中	継紙	
10 2	不詳(近世)4月18日	和論語10冊、算法天元録3冊を送ってほしい旨の書簡	齋藤甚右衛門→齋藤吉兵衛、外衆中、母上	継紙	
11 1	明治19年6月	證書辞令(長埜中学校卒業證書、商船学校入学辞令、外時間割、問題4枚、海軍省辞令)	長野縣平民 齋藤徳太郎(明治19年6月生)	封筒	卒業證書、外8枚在中
11 2	明治37年5月	[包紙]家族に累係なき者には一切秘密、要用件	利権者 齋藤徳太郎	切紙	手紙3通、葉書3通、受験票1枚、外1枚、計8通在中
12 1	文化	[包紙:裏書あり]文化より、文政より天保 貯可納置候(書簡・覚等65通在中)	→長瀬村 齋藤甚右衛門	切紙	こより1本
12 2	不詳(近世)	書簡・覚65通、三条、長岡大地震	志久見村 林秀庵、白鳥村 月岡又右衛門、外→長瀬村 齋藤甚右衛門	切紙	
13 1	文化	[包紙:裏書あり]文化、文政天保貯可置書類也(書簡・覚39通在中)	→長瀬村 齋藤甚右衛門	切紙	こより1本
13 2	不詳(近世)	書簡・覚39通	林秀庵、外→長瀬村 齋藤甚右衛門	切紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
I 14 1	文化	[包紙：裏書あり]文化、文政 比之 手紙 貯置可申也(書簡・寛19通 在中)	→長瀬村 齋藤甚右衛門	切紙	こより1本
I 14 2	不詳(近世)	書簡・句集・寛19通	林秀庵、白鳥村 小林丹後、他→ 長瀬村 齋藤甚右衛門、齋藤大助	切紙	
I 15 1	天保8年	[包紙2枚：裏書あり]天保8・9年 御年貢之目録(年貢割賦覚・寛・書 簡45通)		切紙	ひも1本、こより2本
I 16 1	天保	[包紙2枚]天保弘化文通入用分(書 簡45通在中)	→長瀬村 齋藤甚右衛門、他	切紙	
I 16 2	天保12年	書簡45通	清水数馬、他→長瀬村 齋藤甚右 衛門、齋藤英雅、他	切紙	
I 17 1	天保	[包紙：裏書あり]天保弘化入用分手 紙分(書簡、力士免許、寛35通)		切紙	こより1本
I 17 2	天保15年8月	書簡、力士免許、寛等33通	大井平 平助外、木村庄之助→長 瀬村 齋藤甚右衛門、外、箕作村 住人 桜川はん右衛門儀	豎紙、 切紙	
I 17 5	天保9年正月11日	禁酒神文之事	年拾九歳男禁酒人 為之助→大日 本之神祇并両親	豎紙	
I 17 6	弘化2年6月	覚(年貢諸役村入用書面)	長瀬 助左衛門→同所 幸右衛 門	切紙	
I 17 7	弘化2年12月	覚(元米・粟外勘定書)	野田屋平助→長瀬村 甚右衛門	切紙	
I 17 9	(年不詳)7月	覚(塩値段附)	水沢 鍋屋又右衛門→信州長瀬御 村方御衆中、甚右衛門	折紙	
I 17 10	不詳(近世)7月1日	手紙(大井平村善福寺の件)	大井平 平助→長瀬 齋藤甚右衛 門、為之助、貴下用書	切紙	
I 18 1	文政9年	長瀬年貢入金帳、紙片、覚(計43 点)		切紙、 横半帳	こより1本
J 1	明治8年4月	地券之證	第貳拾壹區六小區 高井郡箕作村 長瀬組→長野縣參事榎崎寛直 中 属中西美受付	綴り	
J 2 1	明治6年4月吉日	婚礼祝儀並孫祝諸事記	高井郡箕作村之内長瀬五拾貳區第 九拾壹小區 齋藤甚右衛門	横帳	
J 2 2	文久4年4月7日	御祝儀物願載帳	齋藤内	横帳	
J 2 3	明治7年4月4日	結婚式客来人数・祝儀並買物・料理 献立諸事覚帳	実父 齋藤幸右衛門・忰 齋藤義 太郎	横帳	
J 3 1	明治29年11月27日	鉄岩玄石居士百回忌他4件の香資帳	不明	横帳	
J 3 2	明治29年11月27日	佛事客来献立並手傳人扣	不明	横帳	
J 3 3	明治30年3月吉日	伊勢參宮錢別・土産物覚記	齋藤幸右衛門・ツル年50才、供 齋藤久右衛門	横帳	
J 4 1	明治28年1月初日	家内出入覚帳	下高井郡堺村字長瀬三百八拾七番 地 齋藤幸右衛門	横帳	
J 4 2	明治30年1月吉日	家内出入諸事帳	下高井郡堺村長瀬 齋藤幸右衛門	横帳	
J 4 3	明治31年1月吉日	家内出入附込帳	下高井郡堺村長瀬 齋藤幸右衛門	横帳	
J 4 4	明治32年1月吉日	家内出入付込帳	堺村字長瀬 齋藤幸右衛門	横帳	
J 4 5	明治33年1月吉祥日	家内出入付込帳	下高井郡堺村長瀬 齋藤幸右衛門	横帳	
J 4 6	明治33年9月	貸附金計算帳	信用組合	横帳	
J 4 7	明治34年1月吉祥日	當座附込簿	下高井郡堺村長瀬 齋藤琢郎	横帳	
J 5 1	明治35年1月吉日	大福帳	下高井郡堺村長瀬 齋藤幸右衛門	横帳	
J 5 2	明治31年1月吉日	大福帳	下高井郡堺村長瀬 齋藤幸右衛門	横帳	
J 5 3	明治32年1月吉日	大福帳	成加以武羅何々奈加世 齋藤幸右 衛門	横帳	
J 5 4	明治33年1月吉祥日	大福帳	下高井郡堺村長瀬 齋藤幸右衛門	横帳	
J 5 5	明治34年1月吉祥日	大福帳	下高井郡堺村長瀬 齋藤幸右衛門	横帳	
J 6 1	明治6年1月吉日	土蔵普請諸事覚帳	不明	横帳	
K 1	明治13年5月26日	地券2枚	主事 新潟縣中魚沼郡長 岡田龍 松→越後國中魚沼郡宮野原6951 番字平島 太田喜十		
L 1	天保5年	困窮に付諸品施覚帳 困窮に付糶穀施帳	齋藤甚右衛門	横帳	表題2枚あり
L 2	天保15年	家普請見舞頂戴帳	長瀬 豊吉	横帳	
L 3	明治3年	糶糶皆々江施扣帳	信州高井郡才力七 質屋	横帳	
L 4	明治18年	伊勢參宮土産物頂戴帳	齋藤幸右衛門	横帳	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
L 5	明治16年	下村大林金貸方帳	不詳	横帳	
L 6	不詳	不詳	不詳	横帳	利左衛門、土蔵仕事 (片附手間)記載有り
L 7	明治5年	當座帳	高井郡長瀬 齋藤甚右衛門	横半帳	
L 8	明治10年	當座帳	信州下高井郡長瀬 齋藤甚右衛門	横帳	
L 9	明治36年	月末日記	齋藤氏	横半帳	
L 10	明治30年8月10日	金円借用証券	下高井郡堺村齋藤久左衛門@→同 郡同村 宮川周松	縦紙	
L 11	明治37年8月	報知新聞綴(日露戦争記事)		新聞	日露陸戦方面地図、 日露軍艦一覧図添付
L 12	明治3年	家内出入諸事覚帳(歳中入用、萬留 書、縮仕入、諸職人、日雇人足、泊 り人)	信州下高井郡長瀬 齋藤甚右衛門	横帳	
L 13	明治4年	家内出入諸事覚帳(歳中入用、萬 留、縮仕入、諸職人、日雇人、泊り 人)	信州下高井郡長瀬 齋藤甚右衛門	横帳	
L 14	明治5年	家内出入諸事覚帳(歳中入用、萬留 書、仕入、諸人足、宿泊り書留)	信州下高井郡長瀬 齋藤甚右衛門	横帳	
L 15	明治14年	家内出入諸事覚帳(歳中入用、萬留 書、縮仕入、日雇人足、職人入足、 泊り人)	信州下高井郡長瀬 齋藤甚右衛門	横帳	
L 16	明治20年	家内出入諸事覚帳(萬取入、萬留 書、縮仕入、商人泊り、日雇人足)	信州下高井郡長瀬 齋藤甚右衛門	横帳	
L 17	明治21年	家内出入諸事覚帳(萬取入、商人泊 り、萬留書、縮取入仕入、箴かし、 日雇人足)	信州下高井郡長瀬 齋藤甚右衛門	横帳	
L 18	明治22年	家内出入諸事覚帳(年中入用、萬取 入、商人泊り、縮仕入取入、箴か し、諸職人薬分、日雇人足、下男下 女給金)	信州下高井郡長瀬 齋藤甚右衛門	横帳	
L 19	明治23年	家内出入諸事覚帳(年中書入、萬取 入、商人泊り、萬留書、縮仕入取 入、箴かし、職工人、日雇人足、下 男下女給金)	信州下高井郡長瀬組 齋藤幸右衛 門	横帳	
L 20	明治24年	家内出入諸事覚帳(年中入用、萬取 入、商人泊り、萬留書、職人薬、日 雇人足、下男下女賃)	信州下高井郡長瀬組 齋藤幸右衛 門	横帳	
L 21	明治2年	大福帳	信州高井郡長瀬村 齋藤甚右衛門	横帳	
L 22	明治4年	大福帳	信州高井郡長瀬村 齋藤甚右衛門	横帳	
L 23	明治10年	大福帳	信州高井郡長瀬村 齋藤甚右衛門	横帳	
L 24	明治口5年	大福帳(米請取、時かし、書物か し、村方一同取替記)	高井郡堺村ノ内長瀬 齋藤甚右衛 門	横帳	
L 25	明治17年	大福帳(諸時かし、書物かし、米請 取、下男下女給金)	高井郡堺村ノ内長瀬 齋藤甚右衛 門	横帳	
L 26	明治20年	大福帳(時貸、書物貸、米請取)	下高井郡長瀬組 齋藤幸右衛門	横帳	
L 27	明治6年	大福帳(時かし、書物かし、米請 取)	下高井郡堺村之内長瀬 齋藤甚右 衛門	横帳	
L 28	明治36年	大福帳	下高井郡堺村長瀬組 齋藤幸右衛 門	横帳	
M 1	天保4年正月	萬年貸覚帳(天明7年より天保7年 まで)	齋藤甚右衛門	横帳	
M 2	明治25年1月	小作人連名帳	堺村 齋藤幸右衛門	横帳	
M 3	明治17年1月	家内出入諸事覚帳	齋藤甚右衛門	横帳	
M 4	天保14年6月	家普請諸懸覚帳	長瀬 豊吉	横帳	
M 5	文久元年11月	和宮様御輿入に付信州岩村田・小田 井両宿助合入用帳	本郷名主 三左衛門、長瀬組頭 元右衛門@	横帳	裏表紙に齋藤甚右衛 門と記載
M 6	明治6年正月	家内出入諸事覚帳	信州高井郡長瀬村 齋藤甚右衛門	横帳	
M 7	明治10年1月	家内出入諸事覚帳	信州高井郡長瀬村 齋藤甚右衛門	横帳	附箋有り
M 8	明治2年正月	家内出入諸事覚帳	信州高井郡長瀬村 齋藤甚右衛門	横帳	
M 9	明治18年	家内出入諸事覚帳	下高井郡堺村 齋藤甚右衛門	横帳	
M 10	明治15年1月	家内出入諸事覚帳	信州高井郡長瀬村 齋藤甚右衛門	横帳	
M 11	天保3年正月	小作米證文書出帳	信州高井郡長瀬村 齋藤甚右衛門	横帳	
M 12 1	明治41年	雇人足取調扣帳(惣代取立帳)	齋藤琢郎	横帳	
M 12 2	明治33年3月	土地合筆届出地所取調扣	齋藤琢郎	横帳	
M 13	明治29年1月	大福帳	下高井郡堺村長瀬 齋藤幸右衛門	横帳	
M 14	明治18年	大福帳(天保年間~明治年間)	下高井郡堺村 齋藤甚右衛門	横帳	
M 15	明治19年	大福帳	下高井郡堺村之内長瀬 齋藤甚右 衛門	横帳	
M 16	明治14年	大福帳	齋藤甚右衛門	横帳	
M 17	大正3年1月1日	日誌出納簿(1月1日~7月17日)	齋藤琢郎	縦帳	
M 18	大正3年7月18日	日誌並びに金銭出入帳(7月18日 ~12月30日)		縦帳	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
M 19	大正2年1月1日	日誌収納・支出簿（1月1日～1月31日）	琢齋館 齋藤琢郎	豎帳	
M 20	明治33年	公正証書謄本	請求人惣代 齋藤琢郎	豎帳	
M 21	大正5年2月	竹細工製法及原料仕込方指示書	下高井郡役所囑託 竹細工講師 北澤重太郎	豎帳	
M 22	明治42年正月	雇人豆拔書帳	琢齋館	横半帳	
M 23	明治37年12月	貸金整理帳	不詳	横半帳	
M 24	明治38年9月	諸作分記・諸作収獲覚帳（明治39年10月）	長瀬 齋藤琢郎	横半帳	2冊
M 25	明治37年	寶福	長瀬組 齋藤琢郎	横半帳	
M 26	明治37年	貸金整理帳第弐号（拾弐月取調）	長瀬組 齋藤琢郎	横半帳	
M 27	明治7年8月	不就学取調	長瀬組 用掛 齋藤甚右衛門	豎帳	
M 28	明治8年11月10日	社寺取調地図（長瀬組 八幡宮）		切紙	
M 29	不詳	歴史（甲組第弐年級）巻二	佐伊登宇	豎帳	
M 30		第弐号 国語	長野中学校第弐年 齋藤徳太郎	豎帳	
M 31	文政2年5月	頼母子金宿請證文之事	越後国魚沼郡宮野原村 宿頼母子 弁記人 六郎左衛門 宿請連名	豎帳	
M 32	不詳	不詳	長瀬惣代 齋藤七右衛門①→下高井郡堺村戸長 森隆英	豎帳	
M 33	明治7年11月17日	安政五午年出生者 国民軍取調（2冊）	長瀬組・北野組・中野組→六小区 戸長 嶋田東治郎	豎帳	
M 34	明治7年10月	記（第二類判取帳の届）	六小区三ノ組用掛 齋藤甚右衛門 →信濃国第弐拾壹大区六小区 戸長 嶋田東次郎	豎帳	
M 35	不詳	御布令之趣承知仕候以上（一番組～二拾一番組）	不詳	豎帳	
M 36	不詳	天満社・八幡社旧境内反別	不詳	折紙	
M 37	明治8年5月15日	金札引替に付金高取調書上帳	長野御管下第二拾壹大区六小区三番組 村用掛 齋藤甚右衛門①→戸長副	豎帳	
M 38	明治8年5月25日	北野天満宮・八幡宮略図立木本数	不詳	折紙	
M 39	明治7年11月	十六歳を越えるので届出	算作村住人八名→六小区戸長 嶋田東治郎	豎帳	
M 40	明治8年5月	八幡宮・天満宮両社旧境内并に上知共書上帳（写）	不詳	豎帳	
M 41	不詳	委任之證	長野県第十壹大区六小区高井郡算作村三番組 用掛 齋藤甚右衛門 →同村番組 倉科健逸	罫紙	
M 42	不詳	海軍下士徵募人員表	不詳	罫紙	
M 43	明治33年7月	受取證書（一金拾五円也）	下高井郡堺村九拾壹番地 市川銀右衛門①→堺村四百拾八番地 齋藤久左衛門	切紙	
M 44	明治7年9月	私長男農藤木繁蔵儀嘉永五年四月二十日出生に而二拾二年六ヶ月相成…御届申上候以上（2枚）	高井郡算作村二百九拾七番 藤木藤左衛門→戸長 嶋田東治郎	折紙	
M 45	明治9年3月	送籍請取證	戸長代理兼村用掛 齋藤甚右衛門 ①→第拾二大区小五区 小区長	折紙	
M 46	明治44年12月1日	修了證書（改良製炭法）	信濃山林会長 正四位勲二等 千葉貞幹①→長野県平民 齋藤徳太郎	賞状	明治44年6月23日付 信越新聞に而包
M 47	明治39年2月18日	美術時事画報第4号（凱旋大行軍總指揮官閑院宮殿下…）	東京市 発行所 博画館	豎紙	
M 48 1		書状（齋藤琢郎殿、7通）	堺村役場	封筒	
M 48 2		書状（齋藤琢郎殿、5通）	長野市（株）長野農工銀行		
M 48 3		書状（齋藤琢郎殿、3通）	中魚郡芦ヶ崎大字谷内 谷内銀行 期成会2、千代田生命1	封筒	
M 48 4		書状（齋藤琢郎様、22通）	知人	封筒	
M 48 5		書状（齋藤琢郎殿、4通）	知人	葉書	
M 49	明治33年7月	契約書（長野農工銀行との開田事業資本として金伍千円勺乳に関する契約書、9通）	堺村長瀬組 齋藤琢郎①他8名→長野農工銀行	罫紙	
M 50		戸隠神社御籤文	聚長 高山多膳→齋藤琢郎	罫紙	
M 51	明治34年6月8日	借用金証書（一金 伍円也）	堺村天代 齋藤佐吉①他1名→堺村 齋藤琢郎	罫紙	
M 52	明治33年12月28日	金子借用證（一金五円也）	堺村坪野 齋藤正作①→堺村長瀬 齋藤琢郎	罫紙	
M 53		書状・書付・包紙 壬寅新報（明治38年7月10日）	不詳	新聞	
M 54	大正期	書状（大正期）、葉書（大正5年12月27日）	家、知人、友人等→齋藤幸一	葉書、封筒	書状11通、葉書1枚
M 55	明治37年2月20日	衆議院議員選挙投票立会人に選任	堺村長 齋藤廣吉①→齋藤琢郎	罫紙	
M 56	明治36年3月	国幣小社戸隠神社御寄附の懇願	戸隠神社聚長 募集委員 高山多膳①→長瀬 世話人 齋藤幸右衛門、他1名	豎紙	他2件

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
M 57	不詳	八海五穀・養蚕祈念守	不詳		
M 58	7月	堺青年団幹事会の連絡	鈴木松太郎→齋藤真三	郵便紙	2通
M 59	大正4年2月2日	郡立農林校生徒募集の依頼	校長 小林俊似郎→齋藤琢郎	便箋	
M 60	明治38年1月30日	明治37年村税賦課第四期領収書	堺村収入役 藤木久蔵@→齋藤琢郎	綴り	23枚
M 61	明治36年4月	共済員人名報告（他に領収書）	直江津町至徳寺 中央共済会社→齋藤琢郎	横半帳	
M 62	大正2年4月4日	通牒（産業組合長会に欠席之處…）、産業組合成績品展覧会規則	下高井郡長→堺信用購買生産組合	綴り	
M 63		丁末年御籤文	戸隠神社→甚右衛門	切紙	
M 64	明治34年1月	寄附金募集趣意書並規則書	国幣小社戸隠神社事務所→長瀬齋藤幸右衛門、他1名	切紙	
M 65	明治20年1月	賞状（幅紗吉画）	小泉郡蚕糸業上田組合事務所@→同組合保野村 茂一妹 村上か能	賞状	
M 66	明治36年9月12日	進歩党同志大会に於いて県会議員候補者に推薦文	宮崎三郎治・高井同志会→齋藤幸右衛門	縦紙	封筒あり
M 67	明治38年8月11日	本県知事秋山より長瀬組を通行	長瀬組惣代 齋藤亀太郎→笹原・当部・北野・中野・極野・天代惣代	切紙	
M 68	明治38年	志久見耕地坪刈成績		折紙	
M 69	明治34年5月10日	農友 物産館第四十号	配売所 名古屋市主税町 農産館	書籍	
M 70	不詳	日本赤十字社有功章候例、他3則	齋藤の印	書籍	
M 71	明治38年4月20日	千代田生命保険相互会社保険案内	東京市日本橋区新右衛門町 千代田生命保険相互会社	折紙	
M 72	(明治) 38年12月	領収書	内山医院@→長瀬 齋藤甚右衛門	切紙	
M 73	不詳	雑記、引札、葉書、その他			
M 74	不詳	住宅絵図面及設計材料書出し（平屋四間六寸）	不詳	横帳	
M 75	大正元年	1912-1913 カタログ（種子・球根・苗木ほか 定価表）	横濱市 横濱植木株式会社	書籍	
M 76	明治28年	受業料領収証	下水内高等小学校→齋藤真造	袋	
M 77	不詳	道德（自筆）	不詳	縦帳	
M 78	不詳	自筆メモ（重心・引力・重量など）	不詳	縦帳	
M 79	不詳	天皇名列記（神武天皇～桓武天皇）		横半帳	
M 80	不詳	小学習書帳（臨写通則）	不詳	横半帳	
M 81	不詳	織物の図案		切紙	14枚
M 82	不詳	機織の説明図	不詳		M33.5.1付長野新聞にて梱包
M 83	大正5年8月	領収証（杓子製造人夫賃 一金 四拾七円式拾銭五厘）	極野 藤木久蔵→田尻佐三	切紙	
M 84	明治37年9月30日	租税領収書、雑地租	堺村収入役 藤木久蔵→中島喜作代納人 藤木鶴松	切紙	
M 85	不詳	五十四才、二拾八才、年方の女 梅沢と申 神子より見賞申し候、		折紙	
M 86	不詳	断簡		切紙	4件
N 1 1	近世	和紙袋		その他（和紙袋）	N-1-2~N-1-22はこの袋に収納
N 1 2	近代	旅行用絵図面（秋葉山麓図）	一新構社	舗	
N 1 4	弘化2年	旅行用絵図面（秋葉山・鳳来寺・善光寺・身延山）	信州高遠 松田屋又右衛門	舗	
N 1 5	近世	京都名所旧跡方角界図	京都三条通 扇や正七	舗	
N 1 6	近世	吉野山名所記		舗	
N 1 7	近世	いせ・大和まわり名所絵図・道のり	よしの なべや平治良	舗	
N 1 8	近代	京都栗田青蓮院之図		切紙	
N 1 9		大和吉野山世尊寺古鐘銘目	吉水神社蔵板	切紙	
N 1 10	近世	名所記絵図板本（摂州須磨浦）	須磨浦 産亀堂	舗	
N 1 11	明治11年6月	臥竜松之図	松翁五世之孫 一井口唯明	舗	
N 1 12	近代	播磨国石宝殿社真景図		舗	
N 1 13	近代	伊勢大々御神楽之図	半堂力	舗	
N 1 14	近代	三井寺鐘由来		切紙	
N 1 15	近世	御札		切紙	
N 1 16	近代11月27日	手紙（私信）	亀谷→齋藤琢郎	継紙	
N 1 17	近代	築地・深川米商之覚書	小林右膳	折紙	
N 1 18	明治23年10月30日	勅諭		折紙	
N 1 19	明治27年8月30日	領収書（萬善堂仏殿再建費之内御寄附に対して）	善光寺大勧進執事→長瀬組 齋藤幸左衛門	縦紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
N 1 20	近代	土産 鬻斗紙	中村力蔵→齋藤辰二		
N 1 21	大正5年2月	3月分農家行事	下高井郡農会	切紙	
N 1 22	近代	県外町村視察員 長野県下高井郡 (視察員名)		切紙	
N 2 1	不詳(近世) 3月6日	手紙(御願書)	山口屋 周寿→齋藤幸右衛門	切紙	他包み布1枚
N 2 2	不詳(近世)	記(地價割、学校費明細)	不詳	切紙	
N 2 3	不詳(近世)	記(学費記載)	山口屋 周寿→学校世話役 齋藤 幸右衛門	罫紙	他7枚
N 2 4	不詳(近世)	教育協議会規則	不詳→不詳	綴	
N 2 5	不詳(近世)	組合通常会 議案書	不詳→不詳	罫紙	写
N 2 6	明治17年7月	校費支拂明細帳(明治17年7月よ り18年4月迄)	不詳	綴	写
N 2 7	明治17年7月	校費支拂明細帳(明治17年度、7 月より12月迄)	不詳	綴	写
N 2 8	明治16年10月16日	手紙(校費督促状)	堺村戸長役場→長瀬校校務掛 齋藤幸右衛門	罫紙	
N 2 9	明治17年3月31日	記(軍籍異動届)	戸長役場→長瀬組伍長惣代 齋 藤甚右衛門	罫紙	
N 2 10	不詳(近世)	手紙(借金断り)	不詳→齋藤助右衛門他3名	切紙	
N 2 11	不詳(近世)	手紙(分離の儀相談申上度、桑原重 左衛門宅迄出頭被下)	志久見村伍長惣代 石沢茂左衛門 →長瀬村 齋藤龜太郎、利吉	切紙	
N 2 12	明治17年4月5日	下高井全郡共同民立共進会規則	民立共進会事務所	綴	
N 2 13	明治17年2月23日	手紙(種々協議の儀有之当庁へ出頭 候様)	堺村戸長役場→長瀬組 齋藤幸 右衛門	罫紙	
N 2 14	明治17年3月13日	手紙(共進会出品依頼)	下高井郡役所勸業掛→堺村共進 会委員 齋藤幸右衛門	罫紙	
N 2 15	不詳(近世) 18年2 月2日	記(当校割合金6円也)	齋藤利吉	切紙	
N 2 16	不詳(近世)	印(長瀬校)	飯山愛宕町 稲葉太助	木印	
N 2 17	明治16年9月	紙袋(学校書類入)	堺村事務掛 齋藤	紙・袋	袋のみ
N 2 18	明治15年1月10日	就学督責規則	長野県令 大野誠代理 長野県少 書記官 鳥山重信	綴	
N 2 19	明治12年5月	学校書籍取調簿	事務 齋藤幸右衛門	横帳	
N 2 20	明治12年5月	支学校経費簿	世話係 齋藤幸右衛門	横帳	
N 2 21	明治12年12月	学校経費取立簿	堺村箕城支校長瀬分→執事 齋藤 甚右衛門	横帳	
N 2 22	明治18年1月	諸差引通帳	箕城長瀬支校世話役 齋藤幸右衛 門	横半帳	
N 2 23	明治18年9月	箕城長瀬支学費割賦	事務掛 堺村之内長瀬 齋藤幸右 衛門	横帳	
N 2 24	明治13年1月	惣計帳(中村辰右衛門勤役、13年 1月ヨリ14年3月迄)	不詳	横帳	
N 2 25	明治17年8月	学校費一期取立帳(長瀬学校)	事務掛	横帳	
N 2 26	明治17年1月	学校費第四期取立帳(長瀬学校)	不詳	横帳	
N 2 27	明治16年11月	買物帳(長瀬学校)	不詳	横半帳	
N 2 28	明治16年8月	学齡生徒人名簿(箕城学校長瀬支 校)	不詳	横半帳	
N 2 29	明治16年7月	学校経費帳(長瀬支校)	不詳	横半帳	
N 2 30	明治16年8月	学校諸費帳(長瀬支校)	事務掛 齋藤幸右衛門	横半帳	
N 2 31	明治16年9月	学校諸入費帳(長瀬支校)	長瀬 齋藤	横半帳	
N 2 32	明治16年9月	学校費長瀬北野引分割賦帳	長瀬組学務掛 齋藤幸右衛門	横帳	
N 2 33	明治16年9月	箕城長瀬支校学費割賦帳	長瀬組学務掛 齋藤幸右衛門	横帳	
N 2 34	明治14年3月15日	学校費諸拂帳(箕城学校)	副悉員 齋藤菊太郎	横帳	
N 2 35	明治13年3月	学校受拂帳	中村辰右衛門	横半帳	
N 2 36	明治13年3月	学校諸費覚	中村辰右衛門	横半帳	
N 2 37	明治13年10月	学校費三期取立帳(箕城学校長瀬支 校)	堺村長瀬箕城支校世話役 中村辰 右衛門	横半帳	
N 2 38	明治13年7月25日	学校費二期取立帳(箕城支校)	長瀬箕城支校世話役 中村辰右衛 門	横帳	
N 2 39	明治13年4月	学校費初期取立帳(箕城支校)	長瀬箕城支校世話人 中村辰右衛 門	横帳	
N 2 40	明治12年5月	箕城支校々費帳	世話人 齋藤幸右衛門	横半帳	
N 2 41	明治12年12月26日	雑費簿(箕城支学校)	事務 齋藤幸右衛門	横半帳	
N 2 42	明治17年1月6日	上申(長瀬支校費)	長瀬支校事務掛 齋藤甚右衛門→ 戸長 嶋田藤治郎	綴、罫 紙	
N 2 43	明治17年	上申(長瀬支校費17年前・後期 分)	長瀬村学校事務掛 齋藤甚右衛門 →堺村戸長 河久保角治郎	綴、罫 紙	他、控1冊有り
N 2 44	明治18年	長瀬支校費用調査簿、長瀬支校明細 費支拂簿	堺村事務生→御村方	綴、罫 紙	写
N 2 45	明治18年4月9日	通知(学費支払明細帳持参出頭)	箕城校学務委員→堺村戸長役場 →長瀬支校事務掛 齋藤利吉	綴、罫 紙	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
N 2 46	明治10年10月	箕城学校長瀬支校生徒生年月日	不詳	折紙	
N 2 47	不詳10月8日	学費割賦(箕城長瀬支校)	堺村戸長役場→長瀬組惣代 齋藤亀太郎	折紙、綴	
N 2 48	不詳(近世)17年3月17日	16年度田税納付書	戸長役場①→伍長組代 齋藤亀太郎	折紙、綴	
N 2 49	明治18年10月3日	学校諸事取替記(金銭貸借)	学校世話掛 齋藤甚右衛門	折紙	
N 2 50	不詳(近世)	記(学校費関係)	齋藤亀太郎→齋藤甚右衛門	折紙	他6通(学校関係)
N 2 51	不詳(近世)	記(家計費出入記載)	不詳	折紙	
N 2 52	不詳(近世)	記(金銭請取等記載)	不詳	綴切紙	他4枚
N 2 53	不詳(近世)	書籍目録	不詳	切紙	
N 2 54	不詳	子女・子守等の就学セシムル条文	不詳	豎紙	
N 2 55	明治10年7月7日	上申(学校費記載)	不詳	綴紙	他2枚
N 3 1	天保13年7月	差出申一札之事(巢鷹山木材切出詫状)	箕作村小赤沢 六之丞・源四郎、魚沼郡谷内村 轉吉→箕作村・志久見村 巢鷹衆中	綴紙	N-3の下方より出た文書
N 3 2	近代	風呂敷			N-3-2~N-3-17が入っていた風呂敷
N 3 3	明治32年	納税告知書	堺村長 関谷政吉→長瀬 関沢安右衛門、他34名	綴	
N 3 4	明治29年7月	東部協議会員選挙人名一覧(男性のみ)		綴	
N 3 5	明治29年7月	東部協議会員選挙得点表		綴	
N 3 6	明治29年7月	請書(東部協議会員当選)	雪坪組 齋藤治郎右衛門、他8名分→当部協議会々頭 齋藤広吉	綴	
N 3 7		東部団体会々則		綴	
N 3 8	近代	長瀬橋梁架設〇〇委員(名簿)		豎紙	
N 3 9	明治30年	東部協議会諸経費受払帳		横半帳	
N 3 10	明治28年	人足銘々帳	齋藤幸右衛門	横半帳	
N 3 11	明治30年	のみよけ売控	長瀬 齋藤幸右衛門	横半帳	
N 3 12	明治32年5月	養蚕雑費覚帳		横半帳	
N 3 13	明治26年	雇人名帳	齋藤用	横半帳	
N 3 14	明治31年	桑葉買入帳	長瀬 齋藤幸右衛門	横半帳	
N 3 15	明治28年	諸税金地帖	齋藤幸右衛門	横半帳	
N 3 16	明治24年	日雇人足控帳	長瀬 齋藤幸右衛門	横半帳	
N 3 17	弘化4年7月	信濃国三災見聞扣帳		豎帳	
N 4 1	大正7年7月29日	信濃日日新聞第8334号	信濃日日新聞社	新聞	
N 4 2	大正	学業成績表(断簡)		罫紙	
N 4 3	明治14年7月10日	和歌(3枚)		切紙	
N 4 4	近代	函面	不明	舗	
N 4 5	近代	漢詩(2枚)	青陵漁夫稿→不明	豎紙	
N 4 6	明治36年9月25日	大日本絵画講習会規則	発行所 大日本絵画講習会	綴	
N 4 7	近代	歌集	不明	綴	
N 4 8	文政元年12月	俳諧道能便 下	江戸日本橋南貳丁目 山城屋佐兵衛板	綴	
N 4 9	昭和10年7月3日	手紙 遠路訪問お礼、保坂家縁談取り返し等について	飯山 東寿平→下高井郡堺村長瀬 齋藤幸一	綴切紙	
N 4 10 1	明治22日12月	大林利取立記帳	齋藤新吉→不明	横帳	こより1本
N 4 10 2	明治21年9月	大林利子取立記帳	宿 齋藤亀太郎→不明	横帳	
N 4 10 3	明治25年	大林利子取立割賦帳 明治25年・26年・27年 三年分	担当者 齋藤亀太郎	横帳	
N 4 10 4	明治28年12月30日	大林共有金元利子共割調帳	齋藤亀太郎→不明	横帳	
N 4 10 5	明治25年2月	大林売払二付25軒共有金元利子講払帳	担当者 齋藤廣吉→不明	横帳	
N 4 10 6	明治24年7月19日	大林金貸方計算帳	不明→不明	横帳	
N 4 10 7	明治24年9月	大林共有地所買受控	不明→不明	横帳	
N 4 10 8	明治29年1月	齋藤幸右衛門殿式拾三取共有金貸方帳	保護人 齋藤亀太郎→不明	横帳	
N 4 10 9	明治28年1月	大林共有金貸方取調帳	齋藤幸右衛門→不明	横帳	
N 4 10 10	不詳(近代)	お斎客・夕飯客受付帳(2冊)	不明	横帳	
N 4 10 11	明治37年	長瀬組諸上納取立帳	惣代 齋藤琢郎→不明	横帳	
N 4 10 12	不詳(近代)	献立帳	不明	横帳	
N 4 10 13	明治2年7月	大林利子取立帳	惣代 齋藤幸右衛門→不明	横帳	
N 4 11 1	大正7年	家庭野務帳	齋藤家婦→不明	横半帳	
N 4 11 2	明治34年旧2月24日	表題なし、野口村外田毎取れ高記載帳	不明	横半帳	
N 4 11 3	明治33年	明治参拾参年作者日記 田毎の取れ高を記載	佐可以屋 佐以堂宇多具羅宇→不明	横半帳	
N 4 11 4	明治32年1月	酒類現金帳…表紙のみ(中味なし)	瀧澤組酒店→長瀬 齋藤幸右衛門	横半帳	
N 4 11 5	明治37年1月1日	組傳馬其他費附込帳	長瀬組惣代 齋藤琢郎→不明	横半帳	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
N 4 11 6	明治34年	生糸量目・雑費・工費記載等	長野縣下高井郡堺 齋藤商店部→不明	横半帳	
N 4 11 7	明治(不詳)	表題なし、大福帳	下高井郡堺村長瀬 齋藤幸右衛門→不明	横半帳	
N 4 12 1	明治43年5月28日	明治四拾三年度地租第六期田租取立帳	長瀬組惣代 齋藤琢郎→不明	横帳	こより1本
N 4 12 2	明治44年	明治四拾四年度縣稅后末期・地租第二期所得稅 第二期取立帳	惣代 齋藤琢郎→不明	横帳	
N 4 12 3	明治44年	明治四拾四年度村稅賦課第三期徵收帳	長瀬組臨時惣代 齋藤琢郎→不明	横帳	
N 4 12 4	明治44年5月28日	徵收期日五月廿拾八日 明治四拾四年度縣稅前半年期取立帳 第壹号甲	長瀬組惣代 齋藤琢郎→不明	横帳	
N 4 12 5	明治44年	明治四拾四年度村稅第四期組費積算取立帳 附道路費徵收	齋藤琢郎→不明	横帳	
N 4 12 6	明治44年2月26日	徵收期日貳月廿拾六日・明治四拾四年度縣稅追加・同年度租田租第二期取立帳	長瀬組惣代 齋藤琢郎	横帳	
N 4 12 7	明治44年	明治四拾四年度村稅賦課第二期戸数割取立帳 附全年度村稅營業稅半年期徵收	長瀬組惣代 齋藤琢郎→不明	横帳	
N 4 12 8	明治44年1月14日	明治四拾四年度田租第壹期取立帳	長瀬組惣代臨時代表 齋藤琢郎	横帳	
N 4 12 9	明治44年	明治四拾四年度地租第壹期宅地租取立帳	長瀬組惣代 齋藤琢郎	横帳	
N 4 12 10	明治45年3月26日	明治四拾五年三月二十六日徵收 明治四拾四年度地租田租第三期・所得稅第四期・村稅所得稅附加稅取立帳	長瀬組惣代 齋藤琢郎	横帳	
N 4 12 11	明治45年2月10日	徵收期同四拾五年二月十日 明治四拾四年度村稅追加取立帳	長瀬組惣代 齋藤琢郎→不明	横帳	
N 4 12 12	明治45年1月30日	明治四拾五年壹月參拾日徵收 明治四拾四年度宅地租第二期取立帳 同所得稅第三期	長瀬区長代理 齋藤琢郎→不明	横帳	
N 4 12 13	明治45年4月20日	徵收期四月二十日 明治四拾五年度村稅賦課第一期取立帳	長瀬組惣代 齋藤琢郎→不明	横帳	
N 4 12 14	大正元年	大正〔 〕徵收 大正元年口地租第一期取立帳	長瀬組惣代 齋藤琢郎→不明	横帳	
N 4 12 15	大正元年11月27日	大正元年度縣稅地租割・戸数割后半年期同年地租第三期取立帳 附所得稅第二期縣稅營業稅附加稅 十一月二七日徵收	長瀬組惣代 齋藤琢郎→不明	横帳	
N 4 12 16	大正元年11月	村稅賦課第四期租割取立帳	長瀬惣代 齋藤琢郎→不明	横帳	
N 4 12 17	明治35年5月18日	切欠・作蔵発起頼母子貳番會徵收帳	不明	横帳	
N 4 12 18	明治34年9月23日	切欠・作蔵発起頼母子初會徵收帳	発起者 齋藤作蔵→不明	横帳	
N 4 12 19	近代(不詳)	表題なし、内容 宿泊人名、宿賃、宿泊日数書上帳	不明	横帳	
N 4 13 1	近代(不詳)	御通 萬屋様	不明	横半帳	
N 4 13 2	明治39年	雇職人其他人夫覚帳	長瀬 齋藤琢郎	横半帳	
N 4 14 1	明治15年	中尾新せぎ普請入費(齋藤仁右衛門名請)		横半帳	N-4-14の束紙縫在中
N 4 14 2	近代	封筒	飯山町 高橋市蔵→長瀬 齋藤琢郎	封筒	
N 4 14 3	明治45年7月	中尾堰掘抜工事費取立帳	齋藤琢郎・齋藤利吉	横半帳	
N 4 14 4	明治13年5月	志久見越石抱持地券書拔帳 地主 齋藤甚右衛門	齋藤龜太郎	横半帳	
N 4 14 5	明治19年9月3日	正徳院忠冠長興居士 法會進物控		横半帳	
N 4 15 1	明治5年	大福帳	信州高井郡長瀬村 齋藤甚右衛門	横帳	
N 4 15 2	明治7年	大福帳	信州高井郡 齋藤甚右衛門	横帳	
N 4 15 3	明治8年	大福帳	信州高井郡長瀬村 齋藤氏	横帳	
N 4 15 4	明治11年	大福帳	信州高井郡長瀬村 齋藤甚右衛門	横帳	
N 4 15 5	明治12年	大福帳	信州高井郡 齋藤甚右衛門	横帳	
N 4 15 6	明治13年	大福帳	齋藤甚右衛門	横帳	
N 4 15 7	明治22年	大福帳	下高井郡堺村長瀬組 齋藤幸右衛門	横帳	
N 4 15 8	明治24年	大福帳	下高井郡堺村長瀬 齋藤幸右衛門	横帳	
N 4 15 9	明治25年	大福帳	下高井郡堺村長瀬 齋藤幸右衛門	横帳	
N 4 15 10	明治26年	大福帳	下高井郡堺村長瀬 齋藤幸右衛門	横帳	
N 4 15 11	明治27年	大福帳	下高井郡堺村長瀬 齋藤幸右衛門	横帳	
N 4 15 12	明治28年	大福帳	下高井郡堺村長瀬 齋藤幸右衛門	横帳	
N 4 16 1	天保3年	家普請人足日数帳		横帳	
N 4 16 2	明治8年	家内出入諸事覚帳	信州高井郡 齋藤甚右衛門	横帳	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
N 4 16 3	明治9年	家内出入諸事覚帳	信州高井郡長瀬村 齊藤甚右衛門	横帳	
N 4 16 4	明治12年	家内出入諸事覚帳	信州高井郡長瀬村 齊藤甚右衛門	横帳	
N 4 16 5	明治13年	家内出入諸事覚帳	信州高井郡長瀬村 齊藤甚右衛門	横帳	
N 4 16 6	明治16年	家内出入諸事覚帳	信州高井郡長瀬村 齊藤甚右衛門	横帳	
N 4 16 7	明治26年	家内出入諸事覚帳	下高井郡堺村長瀬 齊藤幸右衛門	横帳	
N 4 16 8	明治27年	家内出入諸事帳	齊藤幸右衛門	横帳	
N 4 16 9	明治26年	共有金子貸付簿	担当者 齊藤龜太郎 齊藤広吉	横帳	
N 4 16 10	明治36年	穀田畑小作取立帳	長瀬 齊藤	横帳	
N 4 16 11	明治37年	諸作収獲帳	長瀬 齊藤	横帳	
N 4 16 12	明治38年	田畑小作取立帳		横帳	
N 4 16 13	明治41年	長瀬組諸上納金取立帳	惣代 齊藤琢郎	横帳	
O 1 1	天保14年4月	日光御社參御供請人数名前	此主 六之丞	横半帳	
O 1 2	近代	記 村税(内訳)		横半帳	
O 1 3	近世	写本「八百屋左衛門」		縦帳	
O 1 4	明治32年旧9月	諸作取入扣記	長瀬組 齊藤	横半帳	
O 1 5	明治24年	御買物通帳	吉村屋→長瀬村 御苗甚右衛門	横半帳	
O 1 6	明治40年2月14日	萬屋買物控	帳場	横半帳	
O 1 7	文化10年11月	関方諺解算盤術	野口湖龍→齋藤大輔	横半帳	
O 1 8	近代	進物用表紙	齊藤清口		製斗紙の一部欠損
O 1 9	近世	算盤開平法		横半帳	
O 1 10	近代	木炭予算書	野田重商店	罫紙	
O 1 11	近代	山毛櫨(フナ)鉄道枕木(鉄道枕木について説明)	林業士 佐藤銀五郎	罫紙	
O 1 12	明治42年	中村吉右衛門発起頼母子会取立帳	取入人 中村亀吉	横帳	
O 1 13	近世	字中田 地順収獲帳		縦帳	
O 1 14	近代	開墾願・地目変換願・重服地取消願		罫紙	
O 1 15	近代	書籍「実験の因縁」のカバー			
O 1 16	近世	絵図面 此場所長命寺元屋敷		継紙	
O 1 17	大正6年6月6日	土地所有権保存登記申請	申請人 齊藤琢郎→長野区裁判所 虫生出張所	便箋	
O 1 18	明治7年8月	地券切繪圖書日記其外出入筆墨諸事 明細雑込帳	信州長瀬 齊藤菊太郎	綴帳	
O 1 19	明治6年5月19日	新田方高反別改帳引記帳(2帳)	信濃國高井郡箕作村之内長瀬組 組頭 齊藤甚右衛門	横帳	
O 1 20	明治37年正月	月末日記	不明	横半帳	
O 1 21	現代	地順収獲取調帳 笹原分	不明	綴帳	
O 1 22	明治26年1月	大林利子請拂帳	担当者 齊藤廣吉→不明	横半帳	
O 1 23	明治6年3月4日	田畑名寄帳	板木山長命寺 齊藤甚兵衛外8名	横帳	
O 1 24	明治33年4月14日	長野縣中学校寄宿舎第二号室 所有會計簿(表裏表紙)	齊藤 信州下高井郡堺村字長瀬 齊藤徳 太郎→不明	切紙	
O 1 25	明治33年4月14日	會計簿	齊藤→不明	便箋	
O 1 26	現代	乗法問題・除法問題	岡田龍私用→不明	便箋	
O 1 27	明治31年2月21日	動植物 理科 筆記	高等科貳学年生徒 齊藤徳太郎	便箋	
O 1 28	明治35年10月	穀作取入日記帳	下高井郡堺村字長瀬 齊藤徳太郎 →不明	横帳	
O 1 29	明治8年11月20日	①長瀬組之内字横渡り 田畑繪図外 笹原等23枚(下書含む)、②地租 御届書外覚4枚	高井郡箕作村 代儀人 倉科健逸 外4名→長野縣地租改正掛	縦紙、 切紙、 継紙	こより1本
O 1 30	明治38年正月	月末日記	不明	横半帳	
O 1 31	不詳(近世)	標題なし 畑名寄覚帳	不明	横帳	
O 1 32	明治8年4月	地券諸入費取立帳、地券之證御印税 取立帳	長野縣管下信濃國高井郡第二十吉 大區六小區箕作村三之組村用掛り 齊藤甚右衛門→不明	横帳	
O 1 33	不詳(近世)	標題なし 田畑名寄覚帳	不明	横帳	
O 1 34	明治6年3月	田畑名寄覚帳、元禄八新田高足引覚 帳、字中田々方畑方改帳	笹原村中、新田村中 外 当部・ 天代2名 信濃國高井郡箕作村之 内長瀬組→不明	横帳	
O 1 35	明治6年7月	反別高生米取調記、外1冊	長瀬組→不明	横帳	
O 1 36	不詳(近世)	標題なし 田畑名寄帳	不明	綴帳	
O 1 37	明治8年	地券之證	第貳拾壹大區六小區高井郡箕作村 長瀬組	綴帳	
O 1 38	明治20年8月	遠山共有地取賣渡證	唯時總代 齋藤幸右衛門	綴帳	
O 1 39	明治6年2月	口高小前寄覚帳、長瀬組字限反別高 寄附帳、田畑名寄覚帳(2冊)	長瀬	横帳	
O 1 40	明治6年3月	田畑名寄覚帳	齊藤六左衛門、外5名→不明	横帳	
O 1 41	不詳(近世)	標題なし 田畑名寄覚帳	不明	横帳	
O 1 42	明治6年6月	長瀬組地生米記帳	不明	横帳	
O 1 43	不詳(近世)	笹原村下より川原家西畑迄改帳	不明	横帳	
O 1 44	不詳(近世)	標題なし 畑高名寄覚	不明	横帳	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
○ 1 45	明治6年3月4日	田畑名寄帳	不明	横帳	
○ 1 46	明治6年2月	本田足引名寄帳	長瀬組→不明	横帳	
○ 1 47	明治6年5月18日	本田高足引覚帳	組頭 齋藤甚右衛門→不明	横帳	
○ 1 48	不詳(近世)	標題なし 田畑名寄帳	不明	綴帳	
○ 1 49 1		資料「O-1-49」の収納箱		菓子箱	破損
○ 1 49 2	明治～昭和戦中	日常生活関連資料、日支事変後の会議召集等の関連文書、日支事変後の齋藤家への私信、年賦米借用証書、頼母子取立帳		単票、葉書、封筒、パンフ	
○ 1 49 3	大正期	日常生活関連資料		切紙	
○ 2 1	嘉永2年12月書改	長瀬田畑小前高附帳	高井郡箕作村枝長瀬組頭 甚右衛門→不明	横帳	
○ 2 2	不詳(近世)	標題なし 名寄帳	不明	綴帳	
○ 2 3	不詳(近世)	標題なし 名寄帳(2綴)	不明	綴帳	
○ 2 4	不詳(近世)	標題なし 名寄帳	不明	綴帳	
○ 2 5	不詳(近世)	標題なし 名寄帳	不明	綴帳	
○ 2 6	不詳(近世)	標題なし 名寄帳	不明	綴帳	
○ 2 7	明治6年3月	田畑名寄帳	齋藤新左衛門、外5名	横帳	
○ 2 8	不詳(近代)	標題なし 諸入費割	不明	綴帳	
○ 2 9	不詳(近世)	標題なし 名寄帳	不明	綴帳	
○ 2 10	不詳(近世)	標題なし 畑田名寄帳	不明	綴帳	
○ 2 11	不詳(近世)	標題なし 名寄帳	不明	綴帳	
○ 2 12	明治6年3月4日	田畑名寄帳	齋藤佐右衛門、外4名→不明	横帳	
○ 2 13	明治6年5月18日	本畑高反別足引記帳	信濃國高井郡箕作村枝長瀬組→不明	横帳	
○ 2 14	不詳(近世)	改帳とど宮地より笹原とど迄	不明	横帳	
○ 2 15	不詳(近世)	屋敷成畑田成書抜帳 讀合と濟 第 壱号三号七号	齋藤龜太郎書→不明	横帳	
○ 2 16	明治6年2月	笹原本畑高小前寄覚帳 此帳面無用	不明	横帳	
○ 2 17	不詳(近世)	標題なし 畑田名寄帳(6綴)	不明	綴帳	
○ 2 18	明治7年12月改	長瀬組番号帳	不明	横帳	
○ 2 19	明治6年3月1日	申丑区高足引帳	長瀬組中→不明	横帳	
○ 2 20	明治6年3月	元禄8亥新田高足引帳	不明	横帳	
○ 2 21	不詳(近世)	観音堂 ^{シタヨリ} 村東本地下 ^タ 道名野平 龍屋迄 實地帳(2綴)	不明	綴帳	
○ 3 1	明治6年3月4日改	田畑名寄覚帳	齋藤甚右衛門、外2名→不明	横帳	
○ 3 2	不詳(近世)	標題なし 田畑名寄帳(2綴)	不明	綴帳	
○ 3 3	不詳(近世)	中尾畑方改帳	不明	横帳	
○ 3 4	不詳(近世)	標題なし 名寄帳	不明	綴帳	
○ 3 5	不詳(近世)	標題なし 個人別高米名寄帳	不明	横帳	
○ 3 6	不詳(近世)	正真陽之上より村西下迄 改帳	不明	横帳	
○ 3 7	不詳(近世)	標題なし 田畑名寄帳	不明	綴帳	
○ 3 8	明治6年5月10日改	中田田畑迄	不明	横帳	
○ 3 9	不詳(近世)	標題なし 畑名寄帳	不明	綴帳	
○ 3 10	不詳(近世)	標題なし 畑名寄帳	不明	綴帳	
○ 3 11	近世	名寄縄張帳		横帳	
○ 3 12	近世	個人別高米名寄帳		横帳	
○ 3 13	近世4月6日	實地帳(白土より震坂道上下、湯船 辰右衛門、菊太郎、外4名より三味場迄)		横帳	
○ 3 14	近代	(地券丈量野帳)		横帳	
○ 3 15	近世	(地券丈量野帳)		横帳	
○ 3 16	明治6年4月	地券実地		横帳	
○ 3 17	近世	新田田方二度改帳		横帳	
○ 3 18	近世	田畑名寄帳(下川原、豊ノ口、湯舟)		横帳	
○ 3 19	近代	長瀬組開墾歩		縦帳	
○ 3 20	明治6年2月	本田方地券帳	長瀬組	横帳	
○ 3 21	明治6年5月	寛文拾庚戌新畑高反別足引帳		横帳	元帳は寛文10年作成
○ 3 22		新聞紙片、布きれ			容器○の中に散在
T 1	近代	東京名称清涼(松塊社)		錦絵	
T 2	近世	源平逆櫓論	魁斉芳平	錦絵	
T 3	近世	誠忠岳王凶伝	恵斉芳幾	錦絵	
T 4	明治29年3月20日	東京名所 靖国神社	東京市 伊藤伊三郎	錦絵	
T 5	明治28年5月10日	東京青山 観兵式	東京浅草 百花堂 今井敬太郎	錦絵	
T 6		足利治部大輔尊氏	錦朝棲芳上口画、版本 山田屋	錦絵	
T 7	明治14年11月4日	富国養蚕之図	国利画、出版人 南伝馬町2丁目 林吉蔵	錦絵	
T 8	明治28年10月	東京浅草 吾妻橋之図	出版人 日本橋伝馬町 長谷川国吉	錦絵	

20 齋藤励二家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
T 9	近世	福神口年	孟齊画、版本 沢村板	錦絵	
T 10	明治22年	東京名所 観世音真景	発行者 浅草 奥田忠兵衛	錦絵	
T 11	近代	東京名所 開運通 三ツ井ハウス	一景芋	錦絵	
T 12	近代	薩摩守忠度 岡部六弥太忠澄	芳艶画	錦絵	
T 13	明治21年	皇国武者揃	国利画、発行者 浅草区 小玉又七	錦絵	
T 14	近世	新田義貞	国宗画	錦絵	
T 15	近世	東京三十六景 不忍池	広重画	錦絵	
T 16	近世	本朝武者揃 鎮西八郎為朝	春暁画、版本 神田 長谷川常治郎	錦絵	
T 17	近代	東京名所之内萬世橋	曜齐国輝写、版本 両国加賀吉	錦絵	
T 18	近代	英勇武者揃 佐々木三郎盛綱	芳盛画	錦絵	
T 19	近代	役者絵		錦絵	
T 20	近代	役者絵		錦絵	
T 21	明治29年6月	役者絵	豊原国閨筆	錦絵	
T 22	近世	江戸子供遊	芳幾画	錦絵	
T 23	近世	役者絵	国周画	錦絵	
T 24	近世	鬼兒嶋弥太郎	重宣画	錦絵	

21 福原国吉家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A ① 1	(現代)	(長野県教育委員会調査済みメモ)		単票	
A ① 2	昭和51年10月	信濃国高井郡秋山郷福原家所蔵文書目録	新潟大学法文学部農村社会研究室編集	綴帳	全41頁
A ① 3	昭和51年10月	信濃国高井郡秋山郷福原家所蔵文書目録	新潟大学法文学部農村社会研究室編集	綴帳	A-①-2のコピー
A ① 4 1	(現代)	(文書整理封筒)	長野県教育委員会	封筒	長野県教育委員会の長4封筒を用い、表に「Aの式 参枚在中」と記載。本封筒にA-①-4-2以下を収納
A ① 4 2	(近世) 9月28日	覚(年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→小赤沢 平右衛門	切紙	もとは折紙であったか
A ① 4 3	(近世) 11月12日	覚(年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→小赤沢 平右衛門	切紙	もとは折紙であったか
A ① 4 4	(近世)	覚(年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→小赤沢 平右衛門	切紙	もとは折紙であったか
A ① 4 5	(近世) 10月	覚(年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→小赤沢 平右衛門	折紙	
A ① 5 1	(現代)	(文書整理封筒)	長野県教育委員会	封筒	長野県教育委員会の長4封筒を用い、表に「Aの巻 天明飢饉(巻枚在中)」と記載。本封筒にA-①-5-2以下を収納
A ① 5 2	天明3年	天明飢饉状況覚書	福原平右衛門	縦紙	
A ① 5 3	(現代)	(天明飢饉状況覚書翻刻)		単票	
A ① 5 4	(現代)	(天明飢饉状況覚書解説ならびに翻刻)		単票	
A ① 6 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を利用し、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-6-2以下を収納
A ① 6 2	(近世)	(天保4・5年粉受領覚)		切紙	片貝の佐平治・藤丸村の新左衛門の名が出る
A ① 6 3	(近世)	(人足3人遣し願)	外丸村 新左衛門→小赤沢 与次右衛門	切紙	
A ① 7 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の角A2封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-7-2以下を収納
A ① 7 2	正徳5年6月10日	銅山萬荷物之帳覚(味噌・酒・煙草・米等)	福原平右衛門	横帳	
A ① 7 3	正徳6年4月28日	人足覚帳<和山/家作>、(裏表紙)信州高井郡湯沢庄志久見郷先年返組頭元 〆覚帳	小赤沢村 福原平右衛門	横帳	
A ① 7 4	正徳6年4月11日	信州高井郡湯沢庄志久見郷銅山と材木方とまり人数帳覚	小赤沢村 福原平右衛門(花押)	横帳	表紙がなく、裏表紙に表紙のような記載がある
A ① 8 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-8-2以下を収納
A ① 8 2	(近世) 11月5日	覚(年貢金・人別金受取状)	本郷名主 三左衛門①→小赤沢 組頭 平右衛門	切紙	撮影不良(後欠)
A ① 8 3	(近世) 11月	覚(年貢・夫銭受取状)	本郷名主 三左衛門①→小赤沢 組頭 平右衛門	切紙	
A ① 8 4	(近世) 12月3日	覚(御上納・諸夫銭受取状)	本郷名主 三左衛門①→小赤沢 組頭 平右衛門	切紙	撮影不良
A ① 8 5	享和2年11月17日	享和二年戌御年貢金(請取状)	本郷名主 左衛門①→秋山小赤沢 組頭 平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 6	(近世) 11月14日	覚(御年貢・諸夫銭受取状)	本郷名主 三左衛門①→秋山小赤沢 組頭 平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 7	(近世) 12月22日	覚(御年貢・夫銭受取状)	本郷名主 三左衛門①→小赤沢 組頭 平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 8	(近世) 11月20日	覚(御年貢・人別銭・高野山御初尾受取状)	本郷名主 三左衛門①→小赤沢 組頭 平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 9	天保2年11月	天保二卯年御年貢請取通	本郷名主 三左衛門①→小赤沢 組頭 平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 10	(近世) 11月5日	覚(御年貢・夫銭受取状)	本郷 三左衛門①→小赤沢 平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」

21 福原国吉家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A ① 8 11 1	(近世) 11月10日	覚(御年貢・諸夫錢受取状)	本郷名主 三左衛門④→小赤沢組頭 平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 11 2	(近世) 10月26日	覚(御年貢夫錢・人別錢受取状)	本郷名主 三左衛門④→小赤沢平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 11 3	(近世) 11月25日	覚(御年貢・人別錢受取状)	本郷名主 三左衛門④→秋山小赤沢組頭 平右衛門	折紙	作成者印「信州箕作村大和屋」▼写真は2001年4月27日にカラーフィルムで撮影
A ① 8 12	(近世) 11月7日	覚(御年貢・人別錢受取状)	本郷名主 三左衛門④→小赤沢平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 13	(近世) 12月6日	覚(御年貢・夫錢・人別錢受取状)	箕作村名主 三左衛門④→小赤沢平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 14	(近世) 11月10日	覚(金銭受取状)	本郷名主 三左衛門④→小赤沢組頭 平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 15	(近世) 12月	覚(御年貢・人別錢受取状)	箕作村庄屋 三左衛門④→小赤沢組頭平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 16	(近世) 11月16日	覚(御年貢・夫錢受取状)	本郷箕作村 三左衛門④→小赤沢平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 17	天保4年11月	天保四年御年貢(納入年貢差引書上)	箕作村 三左衛門④→小赤沢平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 18	(近世) 11月13日	辰十一月御年貢并諸夫錢受取通	名主 三左衛門④→上ノ原又助、金左衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 19	(近世) 11月18日	覚(御年貢・御夫錢受取状)	本郷名主 三左衛門④→小赤沢平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 20	(近世) 11月10日	覚(御年貢・人別錢受取状)	本郷名主 三左衛門④→小赤沢平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 8 21	(近世) 10月29日	覚(御年貢・諸夫錢受取状)	本郷名主 三左衛門④→小赤沢組頭 平右衛門	折紙	作成者印「信州箕作村大和屋」▼丑年は本文中より判明
A ① 9 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-9-2以下を収納
A ① 9 2	安永2年10月21日	請取月牌之事(父のため、及び母逆修のため)	高野山常慶院権大僧都法印法道(角印)→施主 平右衛門	縦紙	作成者印は朱印
A ① 9 3	文政4年5月	<弘法大師堂/位牌堂>土蔵作建立勸進記五十六番	高野山宝幢院谷常慶院→秋山邑御七話人中	縦帳	末尾に「秋山村先年より納有之位牌覚」として17名の位牌奉納者と内容・年号等が記されている
A ① 9 4	文政4年5月	<弘法大師堂兼/位牌堂>土蔵作建立勸進記	高野山宝幢院谷常慶院→秋山郷中 御檀中 御衆中	縦帳	版本自体はA-①-9-4と同一
A ① 10 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-10-2以下を収納
A ① 10 2	寛政8年11月27日	百観音建立百万人講	秩父十番 大慈寺(朱角印)	横半帳	年号は「寛八年」とあるが、辰年より寛政8年と判断した▼平右衛門以下21名の寄付金額を記載
A ① 11 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-11-2以下を収納
A ① 11 2	(近世) 11月24日	濱口(小若狭<小赤沢>村よりの商売人、怪我にて歩行叶わざるにつき、箕作村まで送り届け願)	水内郡瀬木村庄屋 庄右衛門④→村々御役人衆	折紙	折下部分に手習いの書き散らしあり
A ① 11 3	(近世) 11月28日	口上(秋山小赤沢村人、上筋に罷出でし折、瀬木村にて足怪我にて歩行困難につき、帰村途中村々に助力願)	箕作村 三左衛門→長瀬組中子村役人様、横根村役人様、上東結(ママ)役人	切紙	もと折紙か▼A-①-44-9-2と関連か
A ① 12 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-12-2を収納
A ① 12 2	寛政10年7月7日	覚天満帳(寛政10年~19年)	福原平右衛門→中笠御役人中、名主 三左衛門	横帳	裏表紙には寛政12年正月吉日の年月日を記載

21 福原国吉家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A ① 13 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-13-2を収納
A ① 13 2	文政4年2月	覚(源右衛門娘もと、谷内村茂右衛門に嫁ぐにつき、人別送状)	信州箕作村名主 三左衛門@→越後谷内村庄屋 庄左衛門	切紙	
A ① 14 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-14-2以下を収納
A ① 14 2	(近世) 10月	覚(御年貢・夫銭受取状か)	本郷名主 三左衛門→小赤沢組頭 平右衛門	切紙	差出印・花押等なし ▼受取状か割付状か不明
A ① 14 3	(近世) 10月13日	覚(御年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→秋山小赤沢組頭 平右衛門	切紙	差出印・花押等なし
A ① 15 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-15-2以下を収納
A ① 15 2	(現代)	(文書内容についてのメモ)		単票	
A ① 15 3	(近世) 9月吉日	(御祓大麻進上につき書状)	御師 松井左太夫清(花押)→平右衛門	折紙	
A ① 15 4	(近世) 4月5日	口演(伊勢曆入手の件等につき)	御師 広田→小赤沢村 御檀中	切紙	
A ① 16 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-16-2以下を収納
A ① 16 2	(近世) 4月29日	覚(一角丸・千金散等薬代金明細)	竹村林蔵 代文蔵@→平右衛門	切紙	作成者印「江州日野鎌掛町 竹村林蔵」
A ① 16 3	4月8日	覚(一角丸・実母散等薬代金明細)	竹村林蔵□□□→平右衛門	切紙	口は写真不鮮明のため未詳
A ① 17 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-17-2以下を収納
A ① 17 2	(近世) 2月16日	覚(御用の材木御渡し人足ならびに道作人足差出の件等につき申渡)	島田三左衛門(花押)→秋山彦助、小赤沢 平右衛門、屋敷平次郎、上ノ原 善吉	切紙	「木廬に番」の字あり
A ① 17 3	(近世) 4月26日	覚(京の田中九右衛門殿より預かりの8種の品、手交につき)	小赤沢村 平右衛門→寺石村 勘七	切紙	
A ① 17 4	2月26日	覚(京都田中九右衛門方より預かる諸道具、寺石村文右衛門方へ渡すべき旨申渡)	島田三左衛門(花押)→小赤沢村 平右衛門	切紙	
A ① 17 5	享保2年11月17日	覚(よぎ1つ・風呂敷包み1つ請取状)	新井徳右衛門@→小赤沢村 平右衛門	切紙	
A ① 18 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-18-2以下を収納
A ① 18 2	(近世) 10月	覚(御年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→秋山小赤沢組頭 平右衛門	折紙	
A ① 18 3	(近世) 10月15日	覚(御年貢・夫銭割付状)	箕作名主 三左衛門→秋山小赤沢組頭 平右衛門	切紙	
A ① 18 4	(近世) 10月朔日	覚(御年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→秋山小赤沢組頭 平右衛門	切紙	
A ① 18 5	(近世) 9月29日	覚(御年貢・夫銭割付状)	箕作名主 三左衛門→小赤沢 平右衛門	切紙	
A ① 18 6	(近世) 10月	覚(御年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→小赤沢組頭 平右衛門	切紙	
A ① 18 7	(近世) 10月	覚(御年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→秋山小赤沢組頭 平右衛門	切紙	
A ① 18 8	(近世) 10月13日	覚(御年貢・夫銭割付状)	名主 三左衛門→小赤沢組頭 平右衛門	切紙	
A ① 18 9	(近世) 10月	覚(御年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→秋山小赤沢 平右衛門	切紙	
A ① 18 10	(近世) 9月	覚(御年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→小赤沢組頭 平右衛門	切紙	
A ① 18 11	(近世) 10月9日	午御年貢 小赤沢(御年貢・夫銭割付状)	三左衛門→小赤沢 平右衛門、六左衛門	切紙	

21 福原国吉家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A ① 18 12	(近世) 10月	覚(御年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→小赤沢組頭 平右衛門	切紙	
A ① 18 13	(近世) 10月	覚(御年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→小赤沢組頭 平右衛門	折紙	
A ① 18 14	(近世) 10月24日	覚(御年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→小赤沢組頭 平右衛門	切紙	
A ① 18 15	文化1年10月	覚(御年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→秋山小赤沢 平右衛門	切紙	
A ① 18 16	(近世) 10月	覚(御年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→小赤沢組頭 平右衛門	切紙	
A ① 18 17	(近世) 10月28日	戌御年貢(御年貢・例年夫銭・夫銭割付状)	名主 三左衛門→秋山小赤沢組頭 平右衛門	切紙	高入れ免除のための費用等により当年限りの夫銭あり
A ① 18 18	(近世) 11月	覚(御年貢・夫銭割付状)	本郷名主 三左衛門→小赤沢組頭 平右衛門	折紙	
A ① 19 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-19-2以下を収納
A ① 19 2	(近代)	(金額・人名書上覚)		折紙	4人ずつの単位で書かれている
A ① 19 3	明治13年1月20日	(明治9～12年分人別山野税税額割付帳)	堺村戸長 市川銀右衛門(角印)→秋山分総代人 島田東二郎	横帳	作成者印「長野県下高井郡堺村戸長役場之印」
A ① 19 4	(近代) 11月29日	覚(諸品金額書上)	□□□若船屋→小赤沢 与次右衛門	切継紙	
A ① 19 5	(近代)	(人別金額書上)		折紙	
A ① 19 6	明治20年	(金銭出入帳)		横半帳	明治18年～20年までの事項を記入
A ① 19 7	(近代) 5月25日	(小赤沢分長寿者賞天金書上)		折紙	折下は地価に関するメモ断簡
A ① 19 8	明治9年	(明治8・9年租税・焼堺費・民費等取り立て内訳覚)		折紙	
A ① 20 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-20-2以下を収納
A ① 20 2	明治12年12月16日	御請書(字鍋割沢落口より字小赤沢川迄の間、越信国境確認につき)	長野県下下高井郡堺村枝小赤沢百姓総代人 福原与次右衛門、他2名、新潟県下中魚沼郡中深見村枝大赤沢百姓総代人 石沢六十郎、他3名→新潟県令永山盛輝	単票	文書奥に印9類あり
A ① 21 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-21-2を収納
A ① 21 2	正徳3年5月18日	御払材木并御奉行衆名寄	信州高井郡湯沢庄志久見郷小赤沢村 福原平右衛門→塩田 金平治	横帳	年代は内容末尾より採用。作成者は裏表紙より採用
A ① 22 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-22-2以下を収納
A ① 22 2	文政9年11月3日	差上申一札之事(19年間奉公の倅平三郎、荏草・大豆等盗みにつき詫状)	秋山小赤沢村詫人 平助、同村同断 与二右衛門、同断 源四郎、同断 久左衛門→谷内村伝吉	縦紙	
A ① 22 3	(近代) 11月22日	(諸品代書上)	大黒屋→小赤沢 与治右衛門	切継紙	紙背に「大黒屋」とあり
A ① 22 4	(近代)	記(甲戌年夫銭・諸割合金3円50銭受取状)	箕作村 島田助三郎→秋山小赤沢組	単票	
A ① 22 5	(近代)	記(小赤沢分・屋敷分懸り金覚)		切紙	
A ① 23 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-23-2を収納
A ① 23 2	文政11年	正遷宮御寄附名前人別帳(丑年伊勢神宮式年遷宮につき)	御師 広田与三大夫	縦帳	小赤沢村の10人の名が記されている

21 福原国吉家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A ① 24 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-24-2以下を収納
A ① 24 2	(近世) 8月12日	覚(銅山荷物運搬人足につき)	福原平右衛門	折紙	
A ① 24 3	(近世) 極月19日	覚(銅山まで用儀人送りの件、湯小屋・銅山小屋保守の件等につき指図)	島田三左衛門→秋山彦助、小赤沢平右衛門	切紙	
A ① 24 4	(近世) 閏2月24日	口上(御用木等出し人足手配につき指図)	三左衛門→留左衛門、織左衛門	切紙	
A ① 24 5	(近世) 10月28日	覚(銅山小屋仕廻につき諸道具預かり置くべき旨指図)	島田三左衛門(花押)→秋山彦助、小赤沢平右衛門、上ノ原善吉、屋敷平治郎	切紙	
A ① 25 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-25-2以下を収納
A ① 25 2	元文2年	覚(享保2年～元文2年運び人足書上帳)		横帳	
A ① 25 3	(近世) 10月晦日	銅山の道具しまい申候人足事		横帳	
A ① 26 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-26-2以下を収納
A ① 26 2	(近世) 極月14日	卯極月十四日勘定下り(秋山組分人別金額書上)	島田三左衛門(花押)→小赤沢平右衛門	切紙	
A ① 26 3	(近世) 極月14日	辰極月十四日勘定借シ(人別金額書上)	島田三左衛門	切紙	
A ① 26 4	(近世) 極月20日	<丙/午>極月十四日勘定借し小赤沢組	島田三左衛門→小赤沢平右衛門	切紙	端裏書「小赤沢」
A ① 27 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-27-2以下を収納
A ① 27 2	(近世) 9月25日	口上(御役所よりお尋ねにつき屋敷茂左衛門等3人召喚状)	本郷庄屋元より→屋敷ノ茂左衛門、小赤沢与治右衛門、上ノ原十右衛門	切紙	
A ① 27 3	(近世) 6月28日	(小赤沢組触頭御拝借金持参すべき旨等につき書状)	本郷茂左衛門→小赤沢触頭与治右衛門	切紙	
A ① 28 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-28-2以下を収納
A ① 28 2	(近世) 10月26日	(預け置く道具、入用につきお渡しとされたい旨、書状)	黒川源右衛門(花押)→小赤沢福原平右衛門	切紙	
A ① 28 3	(近世)	覚(荷物運搬につき覚書)	黒川源右衛門(花押)→田中九衛門	切紙	
A ① 29 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-29-2を収納
A ① 29 2	文政12年	善光寺釈迦如来講中名画扣	発起人 太兵衛 [㊟] 、重三郎 [㊟] 、磯右衛門 [㊟] 、重兵衛 [㊟] 、重右衛門 [㊟]	縦帳	
A ① 30 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-30-2を収納
A ① 30 2	(近世)	(度会神主和歌)	従四位度会神主公政	舗	
A ① 31 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-31-2以下を収納
A ① 31 2	(近代) 11月10日	覚(御年貢・人別銭受取状)	本郷役元 [㊟] →与治右衛門	切紙	作成者印はA-①-8-21とは異なる
A ① 31 3	(近代) 10月25日	丑御年貢請取	本口三左衛門(角印)→小赤沢納人平左衛門(ママ)	切紙	
A ① 31 4	明治3年11月1日	覚(御年貢・人別銭受取状)	本村三左衛門(角印)→小赤沢与治右衛門	切紙	

21 福原国吉家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A ① 31 5	(近世) 11月12日	覚(御年貢・人別銭受取状)	本郷名主 三左衛門⑨→秋山小赤沢組頭 平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 31 6	(近代) 11月10日	覚(御年貢・人別銭受取状)	箕作 三左衛門(角印)→秋山小赤沢 与治右衛門	切紙	
A ① 31 7	(近代) 11月19日	覚(御年貢・人別銭受取状)	島田(角印)→小赤沢 平右衛門	切紙	
A ① 31 8	(近世) 12月14日	覚(御年貢・夫銭・人別銭受取状)	本郷名主 三左衛門⑨→小赤沢組頭 平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 31 9	(近代) 11月1日	覚(御年貢・人別銭受取状)	三左衛門⑨→小赤沢 平右衛門	切紙	作成者印はA-①-31-8とは異なり、A-①-31-2と同一。本文書、近世か近代か微妙
A ① 31 10	(近代) 11月11日	記(御年貢・人別銭受取状)	箕作 東治郎(角印)→小赤沢 与治右衛門	切紙	字体、印より近代と判断される
A ① 31 11	明治6年12月	記(御年貢受取状)	本村 島田□□□□→小赤沢 与治右衛門	切紙	作成者印「みつくり大和屋」
A ① 31 12	天保4年12月	覚(御年貢・夫銭・人別銭受取状)	本郷名主 三左衛門⑨→小赤沢組頭 平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 31 13	文政13年12月	覚(御年貢・夫銭・人別銭受取状)	本郷名主 三左衛門⑨→秋山小赤沢組頭 平右衛門	切紙	作成者印「信州箕作村大和屋」
A ① 32 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-32-2を収納
A ① 32 2	(近世) 9月7日	(深見・秋成両村より新道開削に入山につき、和山・上ノ原にて差留めあるも、承知なさるべき旨書状)	本郷 東治郎⑨→小赤沢 与治右衛門、屋敷 平五郎、上ノ原 治左衛門	切紙	表書には差出人として源治郎の名も連記されている
A ① 33 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-33-2を収納
A ① 33 2	享保2年1月吉日	泊人数附并調物通	田中久右衛門⑨→福原平右衛門	横帳	
A ① 34 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-34-2を収納
A ① 34 2	正徳2年6月17日	指上申一札之事(御金山見分の節、平右衛門組人足遅々にて役立たざるにつき、詫状)	組頭 平右衛門、六右衛門(爪印)、与惣左衛門(爪印)、作十郎(爪印)、清十郎(爪印)、他6名→清水九兵衛、中島竹右衛門	縦紙	
A ① 35 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-35-2以下を収納
A ① 35 2	(現代)	(古文書の解説・訳)		単票	A-①-35-4の解説と訳
A ① 35 3	(現代)	(古文書の解説・訳の下書)		単票	A-①-35-4の解説と訳の下書
A ① 35 4	(近世) 6月13日	(恒例の御祈禱札村方に差送るにつき各様へ配布願ならびに御初穂取集め願)	高野山常慶院 親浄→平右衛門、奎兵衛	縦紙	筆跡等から写と考えられる
A ① 36 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-36-2以下を収納
A ① 36 2	明治7年2月21日	記(明治6年区長給料分銭8貫340文受取状)	箕作村 島田茂右衛門⑨→小赤沢組頭 平右衛門	切紙	
A ① 36 3	(近世) 10月21日	覚(金銭請取状)	□ □□□→小赤沢 平右衛門	切紙	
A ① 37 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-37-2を収納
A ① 37 2	天保2年6月	(人別金銭取立帳)		横帳	裏表紙には「福原喜左衛門 文政十三年 寅十一月吉」とあり

21 福原国吉家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A ① 38 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-38-2を収納
A ① 38 2	(近代)	(伊勢神宮代拝封筒)	三日市 太夫次郎(角朱印)→福原小弥三	封筒	封筒のみ残存
A ① 39 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-39-2を収納
A ① 39 2	(近世) 7月13日	引替札(小赤沢与二右衛門他3人引替金額等書上)	島田儀左口口@→屋敷組、小赤沢組	切紙	
A ① 40 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-40-2を収納
A ① 40 2	(近世)	(人名書上)		折紙	人名とその頭文字2文字の仮名文字を記している
A ① 41 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-41-2以下を収納
A ① 41 2	明治5年7月2日	御拝借糶代金(金2分2朱と210文)	本郷役元(角印)→小赤沢 与治右衛門	切紙	受取状か
A ① 41 3	明治5年7月2日	御拝借糶代金(金1両1分と415文受取状)	本郷役元(角印)→小赤沢 与治右衛門	切紙	
A ① 41 4	(近世) 極月21日	貸し金出金(人別貸金書上)	島田三左衛門→小赤沢組	切紙	
A ① 42 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-42-2以下を収納
A ① 42 2 1	文政13年12月8日	香代覚帳 平右衛門事		横帳	A-①-42-2-1とA-①-42-2-2は紙縫でつながれている
A ① 42 2 2	天保2年3月14日	干卜仏神(香奠帳か)		横帳	A-①-42-2-1とA-①-42-2-2は紙縫でつながれている
A ① 42 2 3	天保3年11月3日	年七十三才 ばゝ(香奠帳か)		横帳	
A ① 42 2 4	文政5年3月28日	覚幸代長(香代帳)		横半帳	
A ① 43 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	祥文堂印刷長野工場 の角3封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-43-2以下を収納
A ① 43 2	(近世) 10月	人別覚(名前別人数書上)	名主→小赤沢 平右衛門	折紙	
A ① 43 3	(近世) 10月	秋山人別(人別銭割付状)	本郷名主→小赤沢 平右衛門	折紙	
A ① 43 4	未詳	(白紙)		縦紙	
A ① 44 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の角2封筒を用い、表に「雑5の2」と記す。本封筒にA-①-44-2以下を収納
A ① 44 2 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-44-2-2を収納
A ① 44 2 2	(近世) 10月29日	金山人足御ふちき被下覚(×94人、代2分154文)	島田三左衛門→小赤沢 平右衛門	切紙	
A ① 44 3 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-44-3-2を収納
A ① 44 3 2	明治10年10月17日	記(小赤沢組地租金割付状)	用掛り 倉科健造→秋山代役人 山田弥三右衛門	折紙	
A ① 44 4 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-44-4-2を収納
A ① 44 4 2	(近世) 今月吉日	(天神・十三夜・十七夜・二十三夜月神等書上)		切紙	

21 福原国吉家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A ① 44 5 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-44-5-2を収納
A ① 44 5 2	寛政8年7月25日	覚(人別金銭書上)		横帳	
A ① 44 6 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-44-6-2を収納
A ① 44 6 2	(近代)	(白紙・蠟燭等諸品代書上)		横帳	
A ① 44 7 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-44-7-2を収納
A ① 44 7 2	(近代)	記(白米・そば・味噌・白紙・まいたけ代等書上)		折紙	
A ① 44 8 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-44-8-2を収納
A ① 44 8 2	(近世) 8月19日	てかた事(上ノ原・こあかわ<小赤カ>までの荷物25荷、預置きにつき)	新六⑨、口口(花押)→ふくはら平右衛門	切紙	
A ① 44 9 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-44-9-2を収納
A ① 44 9 2	(近世) 11月25日	(小若狭村<小赤沢村>太郎右衛門足を傷め、当村丹右衛門の治療を受けるにつき、御礼致すべき様、仰聞かせ願)	野沢村名主 源右衛門→箕作村名主 三左衛門	切紙	A-①-11-3と関連か
A ① 44 10 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-44-10-2以下を収納
A ① 44 10 2	(近世) 9月15日	覚(反魂丹等薬代書上)	と山 久蔵→平右衛門	折紙	
A ① 44 10 3	(近世)	(人別金銭書上)		折紙	
A ① 44 10 4	(近世)	覚(出人足勘定書)		切紙	
A ① 44 10 5	享和3年12月8日	覚(米代売掛金勘定書)	岡 市左衛門→小赤沢 平右衛門	切紙	年号は文中に亥聞正月とあるにより判断した
A ① 44 10 6	(近世) 2月10日	(人別枚数書上 小赤沢×153枚・和山153枚)		切紙	益か折敷か板等の枚数か
A ① 44 10 7	(近世)	(人別金額書上)		折紙	
A ① 44 10 8	(近世)	(大豆等人別分量書上)		折紙	
A ① 45 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の角2封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-45-2以下を収納
A ① 45 2	(近世)	人別(小赤沢・秋山人別割覚)		切紙	
A ① 45 3	(近世)	覚(人別銭割付状)	本郷名主 三左衛門→平右衛門、又助	折紙	
A ① 45 4	(近世)	(人名書上)		折紙	
A ① 45 5	(近世)	人別銭覚(人別金額書上)		切紙	
A ① 45 6	(近世)	覚(人別銭割付状)		折紙	
A ① 45 7	(近世)	(人別金額書上)		切紙	
A ① 45 8	(近世)	覚(人別金額書上)		折紙	
A ① 45 9	(近世)	人別(人別銭書上)		切紙	全体にわたり線で抹消されている
A ① 45 10	(近世)	覚(人別金額書上)		切紙	
A ① 45 11	(近世)	覚(人別銭等書上)		切紙	
A ① 45 12	(近世)	寅暮下り覚(人別金額書上)		切紙	
A ① 45 13	(近世)	ひつし年人別銭(人別金額書上)		切紙	
A ① 45 14	(近世)	人別帳(人名書上)		切紙	
A ① 45 15	(近世) 9月	人別銭覚(人別銭割付状)	本郷名主 三左衛門→小赤沢組頭 平右衛門	折紙	
A ① 45 16	(近世) 10月	覚(人別銭割付状)	本郷名主 三左衛門→平右衛門	折紙	
A ① 45 17	(近世) 10月	覚(人別銭割付状)	本郷名主 三左衛門→小赤沢 平右衛門	折紙	

21 福原国吉家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A ① 45 18	(近世)	覚(人別金額書上)		切紙	
A ① 45 19	(近世)	覚(人別銭割付状)	本郷名主 三左衛門→小赤沢組頭 平右衛門	折紙	
A ① 45 20	(近世) 10月	午人別銭(割付状)	本郷名主 三左衛門→小赤沢平右衛門	折紙	
A ① 45 21	(近世) 10月1日	覚(人別銭割付状)	名主元→小赤沢 平右衛門	折紙	フィルム上の文書番号は変え忘れたためずれている
A ① 46 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の角2封筒を用い、表に「雑5の3」と記載。本封筒にA-①-46-2以下を収納
A ① 46 2	(近代)	記(大小区割金等書上)		切紙	
A ① 46 3	明治9年9月25日	記(租税割付状)	用掛り 倉科健造→福原与治右衛門、外一衆中	単票	年号は「九年年」とのみあり。子年より明治と判断した
A ① 46 4	明治19年	(豆代金等書上)		折紙	年号は文中に「明治十九」とみえることより推定
A ① 46 5	(近代) 3月19日	記(掛り金等受取状)	源治郎(角印)→小赤沢 与治右衛門	切紙	
A ① 46 6	(近世) 9月24日	(金2分2朱・糶2斗書上)	大久や(角印)→小赤沢 与二右衛門	切紙	
A ① 46 7	(近世) 6月19日	覚(人別銭割書上)		折紙	
A ① 46 8	(近代)	(人別金銭覚)		折紙	
A ① 46 9 1	享保8年4月28日	(人別屋敷面積等書上)		折紙	次号と写真番号重複(A①46-9)のため、便宜上枝番を追加して文書番号とする
A ① 46 9 2	(近世) 12月20日	覚(租税カ金勘定書)		切紙	前号と写真番号重複(A①46-9)のため、便宜上枝番を追加して文書番号とする
A ① 46 10	(近世)	(人別金額書上)		切紙	
A ① 46 11	(近世) 11月5日	(金・米・茶書上)	□口大久屋(角印)→小赤沢 与治右衛門	切紙	
A ① 46 12	(近世) 7月8日	覚(つか打?24丁代金につき)	→小赤沢 平右衛門	切紙	
A ① 46 13	(近世)	覚(はへり・かま・包丁等諸道具書上)	田中九左衛門	切紙	
A ① 46 14	(近世) 11月17日	(金・米・ゆ山紙書上)	大久屋(角印)→小赤沢 与治右衛門	切紙	
A ① 46 15	(近世)	来儿戌之年鑑(式日別人名書上断簡)		切紙	
A ① 46 16	(近世) 11月14日	覚(預置く筆筒長瀬まで明日運出しにつき指図)	島田三左衛門(花押)→小赤沢平右衛門	切紙	
A ① 46 17	(近世) 11月16日	覚(金子勘定書)	谷地村 伴右衛門→小赤沢村 与治右衛門	切紙	
A ① 46 18	明治23年6月11日	記(地図清書料金領収書)	越後国松之山福島村 西湯仁七、受取代人 同外丸村の内巻下分 滝沢治作→小赤沢村惣代 福原小弥蔵	単票	
A ① 46 19	(近世) 6月8日	覚(極上気多茶代金領収書)	村田屋 常右衛門→秋山小赤沢 与治右衛門	切紙	
A ① 46 20	(近世) 9月11日	口上(申し渡し事あるにつき近日中にお出で願)	名主 三左衛門→小赤沢組頭 平右衛門、上ノ原 又右衛門	切紙	
A ① 46 21	(近世) 11月6日	覚(御拝借初年別書上)	本郷 □元(角印)→秋山組中	切紙	
A ① 46 22	(近代) 11月28日	記(ふとん・足袋等諸品代請求書)	中深見村 若松や→平右衛門	切紙	
A ① 46 23	(近世)	(手習い断簡)		縦紙	
A ① 46 24	(近代) 4月15日	記(人別銭割付状)	用掛り→小赤沢組伍長 与二右衛門	横帳	
A ① 46 25	(近世)	(箕作村申年懸り勘定書)		折紙	
A ① 46 26	(近世)	覚(よし・石臼・くれ木等書上)		切紙	
A ① 46 27	(近代) 12月14日	記(夫銭割金受取状)	箕作村用掛り 島田作左衛門→小赤沢 福原平次郎	切紙	
A ① 46 28	明治12年	(地租金等勘定書)		折紙	

21 福原国吉家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A ① 46 29	天保2年3月14日	(白米・そば・酒等諸品代書上)		折紙	文書には「保二年」とあるが、字体より天保と推定した
A ① 46 30	明治8年9月29日	(夫銭勘定の件につき書状)	→小赤沢組、屋敷組	切紙	文書には「八年」とあるが、明治と判断した
A ① 46 31	(近世) 今月吉日	(十二支年別祈禱神仏覚)	福原与次右衛門	縦紙	紙背にも墨書あり(紙背の墨書は写真番号A①46-32で撮影)
A ① 47 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の角2封筒を用い、表に「雑5の4」「10月22日現在未さつえい未整理」と記載。本封筒にA-①-47-2以下を収納
A ① 47 2	文政9年2月6日	覚(伊勢神宮寄進銭人別書上)		折紙	
A ① 47 3	(近代) 4月23日	記(金2両余領収書)	本郷戸長(角印)→小赤沢 与二右衛門	切紙	袖に「徴兵国民軍井」云々の書込みあり
A ① 47 4	(近世) 11月18日	(先日申遣す筆筒運搬の儀、未だ届かず、早々長瀬まで運ばるべき旨、申渡)	島田三左衛門(花押)→小赤沢 平右衛門	切紙	
A ① 47 5	(近世) 9月18日	覚(貴殿畑の上を材木出しにつき、酒代遣す旨)	中沢与兵衛印→福原平右衛門	切紙	
A ① 47 6	(近代) 3月28日	(小赤沢山田辰治郎、徴兵の儀につき本村まで出頭すべき旨、書状)	戸長取続人 甚右衛門→小赤沢 山田作之丞	切紙	
A ① 47 7	元文元年	かななやく覚(かなな役・人別銭等書上)		横帳	
A ① 47 8	嘉永7年7月吉日	つかいをば長(遣人足覚帳)		横帳	
A ① 47 9	6月吉日	頼母子(人別出金帳)		横帳	
A ① 47 10	(近世) 1月	覚(大本山勤金納入額定)	船山龍源寺印→秋山小赤沢 平右衛門、旦中御中	切紙	1年1軒宛て50文とあり
A ① 47 11	明治6年5月11日	記(地券懸り金5両割付状)	副区長 島田東次良(角印)→小赤沢 与二右衛門、く上ノ原ノ屋敷ノ和山ノ触頭衆中江	単票	1軒宛銭1貫220文とあり▼作成者印「信州高井郡算作村島田三(か)左衛門」
A ① 47 12	(近世) 10月9日	(当寺十世方丈三十三年忌招請状)	→横根 源七、他11村旦中衆等	切紙	
A ① 47 13	(近世)	覚(建材書上)		横帳	
A ① 47 14	(近世)	(月別福日書上)		折紙	
A ① 47 15	(近世) 6月20日	(屋敷・大赤沢・上野原・村人別書上)		横帳	人別の何の書上かは不明
A ① 47 16	天保4年5月28日	(人別金額書上帳)		横帳	
A ① 47 17	享保5年4月28日	覚(薬代・借錢合400文返済証書)	平右衛門→庄や 三左衛門	切紙	
A ① 47 18	(近世) 10月25日	覚(鍋・やかん・摺鉢等諸品書上ならびに引渡し願)	島田三左衛門→小赤沢 平右衛門、上ノ原 善吉	切紙	
A ① 47 19	(近世)	(人別粟等数量書上)		折紙	
A ① 47 20	(近代)	記(屋敷組・小赤沢組民費等割付状)	→小赤沢組、屋敷組、村吏御中	単票	「長野県下第二十一大区」用箋使用
A ① 48 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の角2封筒を用い、表に収納文書の概要を記載。本封筒にA-①-48-2以下を収納
A ① 48 2	文政4年1月吉日	御供書(御膳を岩屋内に引入れの旨)	戸隠山御供所→三郎右衛門	縦紙	
A ① 48 3	文化12年1月吉日	御供書(御膳を岩屋内に引入れの旨)	戸隠山御供所→おまつ	縦紙	
A ① 48 4	文化14年1月吉日	御供書	戸隠山御供所→お松	縦紙	
A ① 48 5	(近世) 1月吉日	御供書	戸隠山御供所→三郎右衛門	縦紙	
A ① 48 6	(近世)	戸隠山御供書(包紙)	→三郎右衛門内お松	縦紙	
A ① 48 7	(近世)	戸隠山御供書(包紙)	→三郎右衛門内お松	縦紙	
A ① 48 8	(近世)	戸隠山御供書(包紙)	→小赤沢村 三郎右衛門	縦紙	
A ① 48 9	(近世)	戸隠山御供書記(包紙)	→小赤沢村 三郎右衛門	縦紙	
A ① 48 10	(近世)	戸隠山御供書(包紙)	→小赤沢村 三郎右衛門	縦紙	
A ① 48 11	(近世)	戸隠山御供書(包紙)	→小赤沢 三郎右衛門	縦紙	
A ① 48 12	(近世)	戸隠山御供書(包紙)	→小赤沢村 右衛門内おたこ	縦紙	

21 福原国吉家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A ① 48 13	(近世)	戸隠山御供書(包紙)	→三郎右衛門	豎紙	
A ① 48 14	(近世)	戸隠山御供書記(包紙)	→三郎右衛門内お松	豎紙	
A ① 48 15	文政6年1月吉日	御供書	戸隠山御供所→三郎右衛門	豎紙	
A ① 48 16	文政1年1月吉日	御供書	戸隠山御供所→おまつ	豎紙	
A ① 48 17	文化10年1月吉日	御供書	戸隠山神前→小赤沢村 三郎右衛門	豎紙	
A ① 48 18	文化13年1月吉日	御供書	戸隠山御供所→三郎右衛門内お松	豎紙	
A ① 48 19	天保2年1月吉日	御供書	戸隠山御供所→三郎右衛門	豎紙	辛卯は天保2年か明和8年と考えられるが、他の御供所と時期的に近い天保2年と推定した
A ① 48 20	文政5年1月吉日	御供書	戸隠山御供所→三郎右衛門	豎紙	
A ① 48 21	文化14年1月吉日	御供書	戸隠山御供所→三郎右衛門	豎紙	
A ① 48 22	文政1年1月吉日	御供書	戸隠山御供所→三郎右衛門	豎紙	
A ① 49 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の角2封筒を用い、表に「雑5の5」「10月22日現在未さつえい未整理」と記載。本封筒にA-①-49-2以下を収納
A ① 49 2	(近世)	春之分(白米・蕎麦分量、味噌・蠟燭・人足等代金書上)		折紙	
A ① 49 3	(近世) 11月8日	(銅山にて借りる茶1斤、お渡し願)	源右衛門(花押)、久右衛門(花押)、光助(花押)→平右衛門	切紙	
A ① 49 4	寛政7年3月14日	覚(村別人別銭額書上帳)		横半帳	
A ① 49 5	(近世) 10月25日	覚(足役・かまだ・駄賃等費用書上)		折紙	折上と折下の両方に日付があり、折上には午10月20日とある。全体としては折下の日付を採用したが、別文書と見なす余地もある
A ① 49 6	(近世)	村(人別銭額書上)		折紙	男性のあとに女性の分も書き上げられている
A ① 49 7 1	(近世)	家作之覚(各村人別寄附分量書上)		折紙	升単位での書上だが、内容は米か雑穀等か不明。A①49-7-2が紙背にあり
A ① 49 7 2	享保18年3月吉日	内かり覚(中平久三殿等より白粟等借用)		豎紙	A①49-7-1の紙背。料紙を縦にして書かれている
A ① 49 8	寅年春	(烏上納覚カ)		切紙	人別に「とり」の記載あり
A ① 49 9	(近世)	(手習い)		豎紙	紙背にわたって書かれている
A ① 49 10	(近世) 7月2日	覚(銭33貫800文渡すにつき)	箕作 三左衛門代源口郎(角印)→小赤沢 与治右衛門	切紙	作成者印「信州高井郡箕作村島田三(か)左衛門」
A ① 49 11	(近世) 12月	覚(銭ならびに荏草貸付けにつき)	岡孫口衛門→小赤沢 与治右衛門	切紙	
A ① 49 12	(近世)	(手習い手本)		豎紙	紙背に家紋が数個描かれている
A ① 49 13	(近世) 2月7日	(金3両預り証文)	箕作村 茂助	切紙	
A ① 49 14	(近世) 11月12日	(金・茶・米等数量書上)	大久屋 口衛門(角印)→小赤沢 与二右衛門	切紙	
A ① 49 15 1	(近世)	(人別銭・札代・足代等書上)		折紙	番号付と重複のため次号文書と校番とする
A ① 49 15 2	文政10年6月吉日	(各村人別金子取立帳)		横帳	番号付と重複のため次号文書と校番とする▼「式木」と見えるのは「式末」の書き癖。A②1-5参照
A ① 49 16	(近世)	酉年御上納(かまだ・足役・折敷等書上)		折紙	
A ② 1 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を用い、表に「何のこ」とやら不明の書上げ類」と記載。本封筒にA-②-1-2以下を収納
A ② 1 2	(近世)	(金・米等貸借書上)		横半帳	
A ② 1 3	(近世)	(人別金額書上)		折紙	

21 福原国吉家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A ② 1 4	(近世)	覚 (金額・米数量等書上)		折紙	
A ② 1 5	(近世) 11月1日	(上ノ原・大赤沢人別金額書上)		横帳	大半の者が2朱づつと なっている▼計算す ると「武木」と見え る書き癖は「武朱」
A ② 1 6	(近世)	(春口数書上)		折紙	末尾に「春 くちか づ 廿七」とある
A ② 1 7	(近世)	(人別金額書上)		折紙	
A ② 2 1	(現代)	(文書整理封筒)		封筒	栄村役場の長4封筒を 用い、表に「各種の 覚類 島田三左衛門 より小赤沢村宛」と 記載。本封筒にA-②- 2-2以下を収納
A ② 2 2	(近世) 10月1日	覚 (根方小屋用小は板、中深見村 与治右衛門方に残らず相渡すべき 旨)	島田三左衛門→小赤沢 平右衛 門、和山 彦助	切紙	
A ② 2 3	(近世) 7月2日	覚 (上ノ原・秋山に樽あらば持参 すべき旨等)	島田三左衛門 (花押) →小赤沢 平右衛門	切紙	
A ② 2 4	(近世)	人数覚 (小赤沢組67人分書上)		切紙	
A ② 2 5	(近世)	(人足ならびに人足銭書上覚)		切紙	
A ② 2 6	(近世) 10月2日	(金子・糶・米書上覚)	大久や (角印) →小赤沢 与二 右衛門	切紙	
A ② 2 7	文化11年2月6日	(人別人足数ならびに代米・代味 噌書上のうえ招集につき覚)	岡 三右衛門→小赤沢村	切紙	
A ② 2 8 1	(近世)	覚 (金額勘定)		折紙	小型の折紙状の料紙 の折上部分に書かれ ている▼折下部分にA ②2-8-2が書かれて いる
A ② 2 8 2	(近世)	覚 (金子書付)		折紙	小型の折紙状の料紙 の折下部分に書かれ ている▼折上部分にA ②2-8-1が書かれて いる
A ② 2 9	(近世) 11月1日	覚 (其元に預置くよぎ、渡すべき 旨)	島田三左衛門→小赤沢 平右衛 門	切紙	
A ② 2 10	(近世) 11月1日	覚 (金銭2分216文請取状)	三左衛門④→小赤沢 平右衛門	切紙	
A ② 2 11	文政12年3月	覚 (貸付金勘定書)	大和屋 三左衛門→小赤沢 平 右衛門	切紙	
A ② 2 12	(近世) 9月23日	覚 (金子9両返済につき請書)	小赤沢 与治右衛門、同所 平 助、同断 又右衛門→岡村 三 右衛門	切紙	見慣れない筆跡
A ② 2 13	(近世) 11月1日	覚 (夫銭2貫160文請取につき)	箕作村名主 三左衛門→秋山小 赤沢組頭 平右衛門	切紙	見慣れない筆跡
A ② 2 14	明治12年12月何日	記 (宿泊代・草履代等領収書雛 型)	福原与治右衛門→御官員	折紙	
A ② 2 15	(近世) 2月晦日	覚 (上ノ原善吉に預置くおけご、 さいのかみまで出すべく旨)	島田三左衛門 (花押) →彦助、 平右衛門、善吉、平次郎	切紙	
A ② 2 16	天保4年11月29日	覚 (茶代等勘定書)	桂口 長右衛門→小赤沢 平右 衛門	切紙	
A ② 2 17	(近世)	巳年覚 (金額書付)		切紙	
A ② 2 18	(近世) 6月8日	覚 (金銭利足等勘定書)	岡 久左衛門④→小赤沢 平右 衛門	切紙	文中「荏草」「塩」 等見える
A ② 2 19	(近世)	覚 (人足数書付)		切紙	
A ② 3 1	(近世)	(白紙包紙)		縦紙	本包紙にA②3-1以下 が包まれていた
A ② 3 2	(近世)	(元善光寺光明日御札)	元善光寺	切紙	
A ② 3 3	(近世)	(血盆経御札)	④	切紙	数センチ角の小型の もので、未開封
A ② 3 4	(近世)	(十一面観音像御札)		切紙	「十一面観音越後国 魚沼郡口用村」とあ る
A ② 3 5	(近世)	(御札)		切紙	手書きの墨書で「西 方大西方大」とのみ ある
A ② 3 6	(近世)	(三尊像御札)		切紙	赤茶色の印刷
A ② 3 7	(近世)	(血盆経御札)		切紙	数センチ角の小型の もので、未開封
A ② 3 8	(近世)	(血盆経御札)		切紙	数センチ角の小型の もので、開封されて いる
A ② 3 9	(近世)	(経文御守)		切紙	

21 福原国吉家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A ② 3 10	(近世)	(瘡瘡御札)		切紙	「瘡瘡御守護」の文字と梵字が印刷されている▼朱刷り
A ② 3 11	(近世)	八十八袋 (ハナ袋)	やしき 山田けさ	布袋	福原国吉氏妻京子氏によれば、これはハナ袋といい、米寿の祝いに小銭や米等を入れて親類・近所に配るものという
A ② 3 12	(現代)	霊牛の由来 (善光寺函館別院に関する霊牛の由来を説明したもの)	北海道函館<信州>善光寺大勸進別院	単票	

22 福原照一家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
1 1		神代卷直指詳解 上七之九（内容は序・巻一・二・三）		和装本	
1 2		神代卷直指詳解 上四之八（内容は巻四・五・六）、同 巻七・八・九		和装本	2冊
1 3		神代卷直指詳解 上十之三（内容は巻十・十一・十二・十三）		和装本	
1 4		神代卷直指詳解（内容は巻十四・十五・十六）		和装本	
1 5		神代卷直指詳解 下十七之九（内容は巻十七・十八・十九）		和装本	
1 6		神代卷直指詳解 下廿之二（内容は巻二十・二十一・二十二）		和装本	
2 1		論語 巻壹（内容は序説・巻之一・二）		和装本	
2 2		論語 巻三（内容は巻之三・四・五）		和装本	茶表紙と青表紙の2冊
2 3		論語 巻六（内容は巻之六・七）		和装本	
2 4		論語 巻八（内容は巻之八）		和装本	
3 1		孟子 巻一（内容は序説・巻之一）		和装本	
3 2		孟子 巻二（内容は巻之三・四・五）		和装本	茶表紙
3 3		孟子 巻三（内容は巻之三・四・五）		和装本	青表紙
3 4		孟子 巻三（内容は巻之七・八・九・十）		和装本	
4 1		勢語臆談（巻之一）		和装本	
4 2		勢語臆談（巻之二）		和装本	
4 3		勢語臆談（巻之三）		和装本	
4 4		勢語臆談（巻之四）		和装本	
4 5		勢語臆談（巻之五）		和装本	
5 1		廣益助語辭（天）		和装本	
5 2		廣益助語辭（地）		和装本	
6		古文真実諺解大成（巻之五・六）		和装本	
7		史記評林（巻之六十六～七十）		和装本	
8		白氏長慶集（巻三十七・三十八）		和装本	
9		古言梯		和装本	
10		中庸章句		和装本	
11	寛政4年3月	清長洲願譎吉撰集		和装本	
12		四書集註		和装本	
13		山陽詩鈔		和装本	
14 1		草庵和歌集（巻第六）		和装本	
14 2		草庵和歌集（巻第九）		和装本	
15 1		自助論（第九冊第11編）		和装本	
15 2		自助論（第十冊第12編）		和装本	
15 3		自助論（第十一冊第13編）		和装本	
16 1		詞乃やちぐさ（上）		和装本	
16 2		言葉のやちぐさ（中）		和装本	
16 3		言葉のやちぐさ（？）		和装本	
17					欠番
18 1		明題和歌全集（上）		和装本	
18 2	寛政7年	明題和歌全集（中・下）		和装本	
19 1	延宝3年（乙卯） 2月	草書淵海（序・元・他）		和装本	
19 2		草書淵海（利・貞・他）		和装本	
20 1		律書訓解（巻之上）		和装本	
20 2		律書訓解（巻之中）		和装本	
20 3		律書訓解（巻之下）		和装本	
21 1		職原捷脛（上）		和装本	
21 2		職原捷脛（下）		和装本	
22 1	明治3年（庚午）	山陽文稿（上）		和装本	
22 2	明治4年（庚午）	山陽文稿（下）		和装本	
23	昭和2年3月	梅溪遺稿（完）		和装本	
24		近世名家書画談		和装本	
25		續近世畸人傳（二）		和装本	

22 福原照一家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
26		宝氏経済学（卷之四）		和装本	
27	明治12年	簿記教授本		和装本	
28	寛政3年（辛亥）	隷辨（卷之上）		和装本	
29		姓氏解 卷上		和装本	
30	近代	世界一覽		和装本	
31	文政10年	芭蕉翁文集 卷下		和装本	
32	近代	正文章軌範評林註釋 卷之三・四		和装本	
33	明治12年	唐宋八家文讀本便覧 卷十三～二十九		和装本	
34	近代	五洲紀事（卷之二）		和装本	
35	明治30年6月	新年勅題 詠進歌集第拾壹編		縦帳	
36	大正10年2月13日	禅学指針（全）	蝸牛庵主	縦帳	写
37	不詳	鯖石川新堤桜樹植栽建議書		綴帳、 便箋	
38	大正15年1月1日	袖中秘録（村役場事務機関心付き覚書）	蝸牛庵主	仮綴	虫損大
39	大正	不詳（歌集）		綴帳	
40	明治44年1月1日	文典	鹿嶋則泰（講述）	綴帳	高野健介写之
41	明治30年8月	明治卅年度前期人足入用拾出し帳（川除杭打工事）	秋津邨役場	横帳	

23 福原さき家文書

史料番号	年代	史料名	差出→受取	形態	備考
A 1	慶応3年3月7日	秩父三十四ヶ寺参詣和歌奉納書上		半切継紙	
A 2	安政3年2月吉日	(米、荏代金書上)	(友右衛門の署名)	横半帳	明治10年の年記あり
A 3	不詳	不詳		縦帳	文中に文久4年、元治2年の年号、易曆か
A 4	明治27年6月24日	未代長		横半帳	貰受書上帳、破損あり
A 5	明治27年6月24日	香代帳		横帳	最後の丁のみ一部破損
A 6	不詳	不詳		縦紙	三毛猫の様子を記載、破損大
A 7	不詳			切紙	代金書上、破損あり
A 8	明治32年9月6日	香代帳		横帳	福原友右衛門87才、一部破損
A 9	(明治26年8月)	(三鎮守の神名等)		折紙	
A 10	不詳	(元治～慶応年間の鎮守様入用買物控)		横半帳	
A 11	不詳			折紙	亥、子、年 三鎮守様祭経費記載、貳貫五百九十文
A 12		屋固め(棟上げ)普請見舞貰い受書上		折紙	破損あり
A 13	不詳	棟上時の普請見舞貰い受書上		折紙	縄、米等の数量等を個人毎に記載
A 14	不詳	(貰受物受書上)		折紙	
A 15				新聞	この新聞にA1～13の史料が含まれていた
B 1	天保9年	天保10年曆		継紙	破損大
B 2	天保12年	天保13年曆		継紙	
B 3	天保13年	天保14年曆		継紙	一部破損あり
B 4	天保14年	天保15年曆		継紙	破損大
B 5	天保15年	天保16年曆		継紙	
B 6	弘化3年	弘化4年曆		継紙	破損大
B 7	弘化4年	弘化5年曆		継紙	
B 8	嘉永元年	嘉永2年曆		継紙	前欠
B 9	嘉永2年	嘉永3年曆		継紙	
B 10	嘉永3年	嘉永4年曆		継紙	一部破損
B 11	嘉永6年	嘉永7年曆		継紙	一部破損
B 12	嘉永5年	嘉永6年曆		継紙	一部破損
B 13	嘉永7年	嘉永8年曆		継紙	
B 14	安政3年	安政4年曆		継紙	
B 15	安政4年	安政5年曆		継紙	一部破損
B 16	安政5年	伊勢曆(安政6年)		継紙	一部破損
B 17	万延元年	万延2年曆		継紙	一部破損
B 18	文久元年	文久2年曆		継紙	破損大
B 19	文久3年	文久4年曆		継紙	一部破損
B 20	元治元年	元治2年曆		継紙	破損大
B 21	慶応元年	慶応2年曆		継紙	
B 22	慶応3年	慶応4年曆		継紙	一部破損
B 23	不詳(近世)	伊勢曆		継紙	前後破損
B 24	昭和50年11月3日	信濃毎日新聞		新聞	この新聞にB1～23の史料が含まれていた
C 1	不詳(近世)	(革の袋)			用途不明

栄村域所在古文書目録

令和5年（2023）3月31日発行

発行 栄村教育委員会

〒 389-2792

長野県下水内郡栄村大字北信 3433

TEL 0269-87-3118

印刷 （有）津南印刷商事

〒 949-8201

新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊 550 番地 3

TEL 025-765-2171